社会医療法人 かりゆし会 年報

第22巻　平成27年度
（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

Annual report of Social medical corporation KARIYUSHIKAI
Vol.22　2015（April 1,2015-March 31,2016）

年報発刊によせて

医療界の大きな課題は地域医療構想、新しい専門医制度と社会保障費の動向でしょう。地域医療構想は 12 都道府県で策定され、残りは平成 28 年度秋に策定の予定で、その中身は 15 ～ 20 万床の病床削減を伴う病床機能分化と連携、地域包括ケアシステムの構築と推察します。新しい専門医制度は平成 30 年度から一斉スタートを目指すことになったようです。消費税の増税分はすべて社会保障に当てることになってますが、その増税延期は国民にとって良かったのでしょうか？ 今は良いでしょうが、将来に大きな負債が残るのを危惧しています。社会保障費の多くを医療費・介護費が占めており、国家財政が厳しい昨今、2018 年度の診療報酬・介護報酬同時改定は我々にとって厳しいものになると思われます。

沖縄県においても、地域医療構想は大きな課題です。福岡県・熊本県・鹿児島県は、1 万床以上の病床削減が示されており、厳しい現状がある鹿児島県における 2040 年の人口動態は 77% となっています。一方、沖縄県中部医療圏の人口は、2025 年に 102.3%、2040 年においても 100.4% と微増です。今、地域医療構想協議会は、沖縄県における病床の増床を厚生労働省案（稼働率 75% 割戻し）でいくのか、沖縄県案（Ⅰ案：稼働率 85% 割戻し、Ⅱ案はⅠ案変法）でいくのかに加え、各医療圏からの要望等もあり滞っています。その必要病床数と機能分化が示されれば、急性期の地域医療連携はスムーズにいくでしょう。在宅医療と介護の連携、すなわち多職種連携が強く必要とされる地域包括システムの充実が沖縄県にとって大きな課題であり、またそれ以上に 65 歳未満の健康状態の改善が喫緊の課題であると考えます。

ハートライフ病院は昭和 63 年 8 月 22 日に開設以来、今年で 28 年になろうとしています。次の時代の高度急性期・急性期を担って行くには、置かれている環境（中南部東海岸医療圏における人口動態や医療現況の把握）と自院の医療の歴史、そしてこれからの医療の展開（もちろん必要とされている日々の診療のニーズに加え、県下レベルの 3 ～ 4 柱を樹立し）を推し進めることが望まれます。平成 29 年 8 月頃に新館が開設されます。ハードは超急性期・急性期仕上げで、中身もそれを超えていくことへの模索と同時に引き続き若い息吹の注入が望まれます。

社会医療法人かりゆし会
理事長　安里　哲好

目次

年報発刊によせて ……3

ハートライフ病院
平成 27 年度　年次報告 ……7

年報発刊によせての挨拶 ……9

病院概要…… 10
- 組織概要 …… 10
- 施設概要 …… 10
- 診療体制 …… 13

平成27年度事業目標 …… 14

患者統計…… 17
- 外来・救急外来 …… 17
- 入院 …… 20
- 医療の質 Quality Indicator（QI）…… 26
- 地域医療支援病院認定　関連統計情報 …… 31
- 紹介率・逆紹介率 …… 31
- ハートライフ病院 DMAT …… 33

食道アカラシア等に対する
経口内視鏡的筋層切開術（POEM）…… 38

部署別業務実績…… 39

医　局…… 40
- 各科概要・実績 …… 50
- 内　科 …… 50
- 呼吸器内科 …… 51
- 循環器内科 …… 53
- 消化器内科 …… 56
- 血液内科 …… 61
- 小児科 …… 64
- 心療内科 …… 65
- 外　科 …… 66
- 整形外科 …… 70
- 形成外科 …… 72
- 脳神経外科 …… 75
- 眼　科 …… 77
- 耳鼻咽喉科 …… 79
- 泌尿器科 …… 81
- 産婦人科 …… 83
- 皮膚科 …… 86
- 放射線科 …… 87
- 麻酔科 …… 90
- 血液浄化部 …… 92
- 救急総合診療部 …… 96
- メディカルクラーク …… 100
- 医局総括 …… 102

看護部…… 103
- 各部署概要・実績 …… 108
- 外来 …… 108
- 救急外来 …… 114
- 人工透析室 …… 116
- 手術室・中央材料室 …… 119
- ICU …… 121
- 西 2 階病棟（産婦人科） …… 125
- 3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科） …… 128
- 3 階新病棟 …… 130
- 4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科） … 132
- 5 階病棟（消化器内科・小児科） …… 135
- 6 階病棟　（血液内科・腎臓内科）…… 137
- 7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科） …… 141
- 内視鏡センター …… 144
- 看護部　年度総括 …… 147

医療技術部…… 149
- 各部署概要・実績 …… 149
- 放射線科 …… 149
- 臨床検査科 …… 156
- 臨床工学科 …… 160
- 栄養科 …… 173
- 薬局 …… 176
- リハビリテーション科 …… 178
- 医療技術部　年度総括 …… 183

事務部…… 185
- 各部署概要・実績 …… 186
- 総務課 …… 186
- 経理課 …… 187
- 管財課 …… 188
- 管財課用度係 …… 188
- 管財課施設管理係 …… 189
- 診療情報管理室 …… 195

請求業務課 …… 197
地域医療連携室 …… 200
ハートライフ病院 企画室・法人事務局 経営企画室 211
企画室 電算係…… 214
企画室 広報係…… 216
企画室 臨床研究事務係…… 218
料飲・販売 …… 219
人事課（法人事務局） …… 221
かりゆし会病児保育室　利用実績推移 …… 222
事務部　年度総括 …… 223

医療安全管理室…… 225

感染対策管理室…… 228

栄養サポート室 …… 232

内視鏡センター …… 235

予防医学センター …… 241

委員会活動…… 247

ハートライフクリニック
平成 27 年度　年次報告 …… 287

年報発刊によせての挨拶 …… 289

クリニック概要 …… 290
組織概要 …… 290
施設概要 …… 290
職員数 …… 290

患者統計…… 292

ハートライフクリニック業務実績…… 295
糖尿病内科 …… 296
内科 …… 302
小児科 …… 304
疾病予防運動施設リューザ …… 305
ヘルシーカフェ ohana…… 307

ハートライフ地域包括ケアセンター
平成 27 年度　年次報告 …… 309

施設概要…… 310
組織概要 …… 310
ハートライフ地域包括ケアセンター　年度総括314

かりゆし会の１年 …… 315

平成27年度　20年勤続者 …… 320

サークル活動 …… 322

笑顔で親切、
ハートライフ病院

笑顔だと、
気持ちいいよね。

ハートライフ病院
平成 27 年度　年次報告

Annual report of Heartlife hospital 2015

理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 急性期医療（質の高いチーム医療）

2. 地域完結型医療（地域保健・医療・福祉施設との連携）

3. 救急医療（24 時間二次救急）

4. がんの予防と治療

5. 研修教育病院

6. 健全な医療経営

7. 笑顔で親切

年報発刊によせての挨拶

平成 27 年度はハートライフ病院にとって素晴らしい一年でした。今年度も県医師会から 20 年永年勤続職員として 6 人の職員が表彰を受けました。院長として大変、名誉に思うと同時にご本人の努力とご家族や職場の同僚の支えや励ましに心から感謝申し上げます。870 余名の職員がスクラムを組んで「笑顔で親切、ハートライフ病院」を合言葉により安全な医療、より質の高い医療の実践に尽力しました。黒字経営を継続するために病棟運営の 3 指標を 1. 新規入院患者数 675 人 / 月、2. 病床利用数 281 床（93.7%）、3. 平均在院日数 12.7 日を目標に全職員で頑張りました。その結果 1. 新規入院患者数は 684 人 / 月と目標を上回り、3. 平均在院日数 12.2 日と短縮できました。2. 病床利用数は 275 床（91.9%）と目標を下回りましたが良い結果が得られたと考えています。しかし、今後も病床利用数を上げていく努力が必要です。また「健全な医療経営」を達成すべく総医業収入 86 億 8 千万円（対前年比 3 億 9 千万円増）、当期利益 6 億 2 千万円（利益率 7.17%）を目指しましたが　総医業収入 83 億 5 千万円、当期利益 4 億円でした。これも目標には達しませんでしたが前年度に比べ増収増益になりました。職員の皆さんお一人、おひとりの頑張りに心より感謝いたします。

平成 27 年 10 月に厚生労働省から沖縄県内では初めて食道アカラシアに対する POEM 治療（経口内視鏡的筋層切開術）の先進医療施設として認められました。全国でも 8 番目の認定施設となり患者さんが県外で治療を受ける必要がなくなりました。

平成 28 年 2 月 21 日の日本経済新聞に「診療体制が充実した病院はどこか？」という特集があり、「診療体制」の実力病院全国 32 病院にハートライフ病院が沖縄県からは県立中部病院と共に選ばれました。これは日経新聞が独自に調査、採点したそうで 1. 当院も 4 年ごとに受審している日本医療機能評価機構の病院機能評価（医療の質や安全管理、患者サービスなどの項目を審査）で 70 点以上（当院は 72 点）、かつ 2. 厚生労働省が毎年評価している DPC 機能評価係数で効率性（入院期間の短さ）、複雑性（重症などの治療が複雑な患者の受け入れ）、カバー率（より多くの疾患の治療対応）、救急医療（救急患者の受け入れ）、地域医療（がん、脳卒中、産婦人科、小児科などの周産期医療への貢献）、後発医薬品（入院患者への後発医薬品の使用）の 6 項目を A ～ D の 4 段階評価し、6 項目全てが B 以上の評価、の 2 つの方法で採点したそうです。ある基準で評価するとハートライフ病院も全国の一流病院と肩を並べられることがわかったのは我々にとって大きな自信になりました。これは全職員が誇りにして良いことだと思います。これまで我々が「私たちは心と心を結ぶ信頼される医療を目指します」の理念のもとに「より安全な医療の実践、より質の高い医療の実践」に努力してきた方向性は間違っていなかったことがわかりました。

今後もこれまで同様、職員一人ひとりが生き生きと働くことができる労働環境の整備、職員が日々成長を感じることのできる病院づくりを目指してみんなで努力していきたいと思います。

社会医療法人かりゆし会　ハートライフ病院
院長　奥島　憲彦

病院概要

（平成 27 年 4 月 1 日現在 / データ作成　総務課　吉川）

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会　ハートライフ病院

所在地

〒 901-2492　沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地

連絡先

電話　（098）895-3255（代表）

FAX　（098）895-2534

ホームページ　http://www.heartlife.or.jp/

管理者一覧

理事長	安里哲好	副院長	佐久川廣	看護部長	西銘宣子
院長	奥島憲彦	循環器内科部長	與座一	医療技術部長	宮城竜也
副院長	松元悟	外科系統括部長	西原実	事務部長	當銘秀之
副院長	久場良也	医局長	普天間光彦		

施設概要

許可病床数

300 床（開放病床 22 床）

敷地面積及び建物概要

敷地面積　19,474.80㎡　　建築面積　7,231.56㎡　　延べ床面積 24,680.51㎡

規模構造　鉄筋コンクリート造　地上 9 階・地下 1 階

職員数

総　数　　864 名

職種別

（平成 27 年 4 月 1 日現在 / データ作成　総務課　吉川）

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	67	クラーク	18	OMA	1	ソーシャルワーカー	7
研修医	11	臨床工学士	12	視能訓練士	1	施設技術者	5
保健師	5	臨床検査技師	36	診療放射線技師	18	保育士	1
助産師	21	理学療法士	15	管理栄養士	6	その他	32
准看護師	18	言語聴覚士	5	調理師	13		
看護師	354	作業療法士	7	事務	120		
看護助手	56	薬剤師	12	医師事務作業補助者	20	合計	864

指導医・専門医・認定医

（平成 27 年 4 月現在 / データ作成　総務課　吉川）

名称	人数
日本内科学会指導医	2
日本内科学会総合内科専門医	4
日本内科学会認定内科医	16
日本循環器学会専門医	5
日本消化器病学会指導医	3
日本消化器病学会専門医	6
日本消化器がん検診学会認定医	3
日本消化器内視鏡学会指導医	3
日本消化器内視鏡学会専門医	8
日本肝臓学会専門医	3
日本肝臓学会指導医	1
日本感染症学会指導医	1
インフェクションコントロールドクター	2
日本感染症学会専門医	1
日本血液学会指導医	1
日本血液学会専門医	4
日本透析医学会専門医	3
日本透析医学会指導医	1
日本透析医学会認定医	1
日本臨床腎移植学会腎移植認定医	1
精神保健指定医	1
日本精神神経学会指導医	1
日本精神神経学会専門医	1
日本小児科学会専門医	3
日本がん治療認定医機構暫定教育医	4
日本がん治療認定医機構認定医	6
日本外科学会指導医	3
日本外科学会専門医	9
日本外科学会認定医	4
日本乳癌学会認定医	3
検診マンモグラフィ読影認定医	7
日本食道学会認定医	1
日本大腸肛門病学会専門医	1
日本消化器外科学会指導医	3
日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医	2
日本消化器外科学会専門医	3

名称	人数
日本内視鏡外科学会技術認定医	2
日本小児外科学会指導医	1
日本小児外科学会専門医	1
日本整形外科学会専門医	4
日本整形外科学会リウマチ認定医	2
日本手外科学会認定手外科専門医	1
日本形成外科学会専門医	1
日本創傷外科学会専門医	1
日本熱傷学会専門医	1
日本レーザー医学会指導医	1
日本レーザー医学会専門医	1
日本脳神経外科学会専門医	2
日本脳神経血管内治療学会専門医	1
日本産婦人科学会専門医	2
日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍指導医	1
母体保護法指定医	1
日本泌尿器科学会指導医	1
日本眼科学会専門医	2
AMO Advanced Femtosecond Laser	1
iEK certification	1
日本医学放射線学会診断専門医	1
日本医学放射線学会専門医	2
日本麻酔科学会指導医	1
日本麻酔科学会専門医	1
日本ペインクニック学会認定医	1
麻酔科標榜医	3
日本病理学会専門医	1
日本病理学会認定医	1
日本集中治療医学会専門医	1
日本救急医学会救急科専門医	2
日本人間ドック学会人間ドック健診専門医	1
日本人間ドック学会認定医	2
日本体育協会公認スポーツドクター	3
日本東洋医学会認定医	1
日本抗加齢医学会専門医	1
日本老年医学会専門医	1

名称	人数
日本医師学会認定健康スポーツ医	1
日本医師会認定産業医	5

名称	人数
身体障害者福祉法指定医	23

病院機能認定など

1. 医師臨床研修指定病院（基幹型）　厚生労働省発医政第 1030005 号
2. 地域医療支援病院
3. 24 時間二次救急指定病院
4. （財）日本医療機能評価機構　一般病院　認定第 GB97-3 号
5. DPC 対象病院

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 労働者災害補償保険指定医療機関
3. 妊娠中毒症医療費援護法指定医療機関
4. 母体保護法指定医療機関
5. 結核予防法指定医療機関
6. 生活保護法指定医療機関
7. 戦傷病者特別援護法指定医療機関
8. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
   《腎臓に関する医療》
9. 原爆医療法指定医療機関
10. 指定自立支援医療機関（精神通院医療）
    《てんかん》
11. 母子保健法指定病院医療機関（養育医療）
    《未熟児医療》
12. 特定疾患治療研究事業指定医療機関
13. 小児特定疾患治療研究事業指定医療機関
14. 指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）
    《心臓脈管外科に関する医療》
15. 身体障害者福祉法指定医療機関（更正医療）
    18 歳以上、肝臓に係わるもの
16. 児童福祉法指定医療機関（育成医療）

施設認定一覧

1. 日本脳神経外科学会認定研修施設
2. 日本内科学会認定教育病院
3. 日本血液学会血液研修施設
4. 日本がん治療認定医機構認定研修施設
5. 日本感染症学会研修施設
6. 非血縁者間骨髄採取認定施設
7. 非血縁者間骨髄移植認定施設
8. 日本肝臓学会認定施設
9. 日本整形外科学会専門医研修施設
10. 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
11. 日本循環器学会認定循環器専門医研修施設
12. 日本泌尿器科学会専門医教育認定施設
13. 日本乳癌学会認定施設
14. 日本眼科学会専門医制度研修施設
15. 日本消化器内視鏡学会指導施設
16. 日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
17. 日本救急医学会救急科専門医指定施設
18. 日本周産期・新生児医学会暫定研修施設
19. 日本外科学会外科専門医制度修練施設
20. 日本消化器外科学会専門医修練施設
21. 日本臨床細胞学会施設
22. 日本静脈経腸栄養学会 NST 稼働施設
23. 日本消化器病学会認定施設
24. 日本呼吸器学会関連施設
25. 健康保険組合連合会指定日帰り人間ドック実施施設

26. 日本透析医学会教育関連施設
27. マンモグラフィ検診施設画像認定
28. エキスパンダー実施施設（二次再建）
29. インプラント実施施設
30. 日本形成外科学会教育関連施設

診療体制

標榜診療科目

- ●内科
- ●呼吸器内科
- ●循環器内科
- ●消化器内科
- ●肝臓内科
- ●血液内科
- ●腎臓内科
- ●人工透析内科
- ●心療内科
- ●小児科
- ●外科
- ●乳腺外科
- ●食道外科
- ●血管外科
- ●大腸･肛門外科
- ●膵臓外科
- ●整形外科
- ●形成外科
- ●脳神経外科
- ●産婦人科
- ●泌尿器科
- ●眼科
- ●耳鼻咽喉科
- ●皮膚科
- ●放射線科
- ●麻酔科
- ●ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科
- ●救急科
- ●病理診断科

その他、センター・専門外来など

- ●予防医学センター（人間ドック・一般健診・生活習慣病予防健診）
- ●内視鏡センター
- ●人工透析センター（昼間・夜間）
- ●無菌治療センター
- ●悪性腫瘍相談センター
- ● 胸やけ外来
- ●不整脈外来
- ●甲状腺外来
- ●生活習慣病・禁煙外来
- ●睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来
- ●股関節外科・股関節スポーツ外来
- ●ヘルニア外来
- ●通院治療室（外来化学療法）

24 時間救急指定病院【内科・外科・整形外科・脳神経外科・循環器内科】

受付時間

月曜日～金曜日	午前	8：00 ～ 11：30	午後	12：00 ～ 16：30
土曜日	午前	8：00 ～ 11：30	午後	休診

診療時間

月曜日～金曜日	午前	9：00 ～ 12：00	午後	14：00 ～ 17：00
土曜日	午前	9：00 ～ 12：30	午後	休診

休診日

救急を除き、日曜日・祝日・土曜日の午後

平成27年度事業目標

平成 26 年度は消費税 8% の上昇があり、診療報酬改正も含めると 1 億 5 千万円の減収が予想されていました。しかし、内科医の増加もあり、職員の皆様の努力とご協力のお蔭で総医業収入は当初目的の 81 億 8 千万円を大きく超える 82 億 8 千万円（前年比で 1 億 9 千万円増）となりました。頑張って下さった職員の皆様に心から感謝申し上げます。今年度もハートライフ病院は職員が生き生きと働ける、職員が日々成長を感じることができる労働環境をつくるべく努力したいと思います。平成 26 年度は「2025 年モデル」に向かって病床機能報告制度が始まりました。また 36 万床ある 7:1 入院基本料取得病院を 2 年間で 9 万床削減すべく基準の厳格化（重症度、医療、看護必要度 15% 以上、平均在院日数 18 日以内、在宅復帰率 75% 以上）が行われました。当院の 300 床の機能の明確化が求められています。

今年度、当院は急性期医療に主軸を置きながらも、現在、一部ある高度急性期機能をできる限り伸ばしていきたいと思います。そして、地域包括ケアシステムにおける当院の役割を院外や県に実績で示して、県が策定する地域医療ビジョンに反映させたいと思います。

平成 27 年度は総医業収入 86 億 8 千万円（対前年比 3 億 9 千万円増）、当期利益 6 億 2 千万円（利益率 7.17%）をめざします。そのために病棟運営の 3 指標を病棟運営会議での検討、各科部長へのヒヤリングをもとに下記のように設定しました。

[平成 27 年度病棟運営の 3 指標]		[平成 26 年度目標]
1．新規入院患者数	675 人 / 月	609 人 / 月
2．病床利用数	281 床 (93.7%)	281 床 (93.7%)
3．平均在院日数	12.7 日	14 日

この目標を達成することが黒字経営のかぎになりますので全職員が日々の診療でこの数値を常に意識して努力していきましょう。

また、今期の入院日当額の目標を 54,300 円（平成 26 年度 52,300 円）に設定しました。

各部署の事業計画などを参考にハートライフ病院の平成 27 年度の目標を下記のように設定しました。各部署の目標もこれに沿って作成してください。全職員でこの目標の達成に向けて努力していきたいと思います。

[平成 27 年度ハートライフ病院の目標]

1．　より安全な医療とより質の高い医療の実践
2．　急性期医療のレベルアップを図る
3．　健全な医療経営（増収入と経費節減）をめざす
4．　５年後を見すえ充実した職員研修を行う
5．　より良い接遇の実践
6．　ワークライフバランスのとれた労働環境の整備
7．　チャレンジ

左記目標を職員一人一人が毎日の診療の中で、仕事の中で努力していただきたいと思います。特に役職者は、病院の目標を「率先垂範」して行い、職員の模範になっていただきたいと思います。

平成 19 年に沖縄県から地域医療の中核病院として「地域医療支援病院」に認定されました。昨年度から認定条件が厳しくなり紹介率 65%、逆紹介率 40% 以上となりました。

紹介率を上げるため各科の特徴や実績を診療所の先生方に宣伝を行い、出前健康講座を積極的に行い地域の方々へも PR したいと思います。また、専門外来は確保しながら一般外来はより縮小することにより、逆紹介率を上げ数年後には入院診療に特化した形を目指したいと思います。これまで地域の診療所、病院、施設と連携して行ってきた「地域完結型医療」をより一層継続します。

平成 21 年に沖縄県で初めて「社会医療法人」に認定されました。当院は「救急医療」の分野で社会医療法人に認められましたので救急医療のより一層の充実を図っていきたいと思います。一昨年に救急専従医の採用が実現できましたが、今年度は夜間や土、日の体制の強化に取り組み、後期研修医を採用できる救急総合診療部をつくっていきたいと思います。早期に「ロードエンドゴー」の夜間受け入れを実現し、２４時間「救急車は断らない」体制づくりに努力します。

今年度は入院日当額の目標を 54,300 円に設定しました。その実現のためにも取れる加算は確実にとると同時に、新しい加算やより高次の施設基準を取得すべくチャレンジしていきたいと思います。また、医師数減となる内科医は早急に採用、増員を図り勤務医の過重労働を避けたいと思います。今年度は医師数増の外科、形成外科を中心にした外科系に頑張っていただき手術件数増加、総収入増加につなげたいと思います。そのために現在 3 人体制の麻酔医は早急に 5 人体制にもっていきたいと思います。これまで同様、DPC の機能係数 II を上げるべく努力していきたいと思います。昨年度 0.0566 から今年度は 0.0593 にあがり年間 550 万円の収入増加が見込まれます。

一昨年度に健全な医療経営をマネージメントするために「BSC(バランストスコアカード)」導入を図りましたが、一部の役職者への研修しかできませんでした。是非、今年度も「経営の視点」「顧客の視点」「業務プロセスの視点」「学習と成長の視点」の 4 つの視点から戦略をたてて実行していく BSC を役職者研修にとりいれていきたいと思います。

がん、脳卒中、心筋梗塞、糖尿病の 4 疾病の院内体制の強化を行うと同時に救急医療、災害時における医療、離島、僻地の医療、小児救急を含めた小児医療、周産期医療の 5 事業にも市町村や県などの行政や医師会と連携して取り組んでまいります。昨年 DMAT チームが当院にも誕生し、災害対策委員会を中心に災害対策トレーニングを行いました。これまで当院の取り組みの遅れている部分であり、災害対策はまだ多くの問題点があることがわかりました。今年度も災害対策委員会を中心に多くの職員に参加していただき、災害対策トレーニングに力を入れていきたいと思います。

入院患者に占める高齢者の割合が増加しています。また、80 歳、90 歳の高齢でも手術を受ける例が増えています。入院したらリハビリ開始、手術前、手術直後からリハビリ、とより一層「急性期リハビリ」に力をいれたいと思います。

一昨年度受審した日本病院機能評価で指摘された点を今年度も、一つ一つ改善すべく努力します。患者さんの療養環境のアメニティの向上や職員の接遇教育の強化、患者満足度評価を行い患者さんの満足度向上を図る努力を継続します。

年度はじめの「各科診療実績報告会」を今年度も継続します。そして、より充実した「年報（年度)」を作製します。職員の頑張りが詰まった年報の発刊遅れが生じていますが 8 月までには発刊できるように

努力します。一昨年から日本病院協会の「医療の質検討プロジェクト」の参加病院に選ばれクリニカルインジケーターをホームページに公開しています。今年度も参加を継続し、全国の病院とベンチマークを行い改善につなげたいと思います。

現在、産婦人科病棟や外来、手術室増、ICU 増を含めた増改築計画が進んでいます。当初の計画より遅れていますが平成 29 年度オープンを目指しています。手術件数増、各科の診療の充実、診療密度の高度化につなげるべく人員確保や体制づくりも並行して行います。

他病院が新しい専従の建物を作って競争の厳しい人間ドックは経鼻細径内視鏡の導入やホテルとのタイアップで宿泊ドックの改善やオプションメニューの導入などを行い受診者増を図ります。また、今年度ドックの機能評価を受診し、改善につなげます。

企画経営室や病歴室など事務部を中心に医療データーが出されていますが、まだ十分にわかりやすいデーターが提示できていない、DPC データーの有効活用ができていない現状があります。全国の同規模病院とのベンチマークや県内での各疾患のシェアの現状なども含めてリアルタイムにデーターを提示できるように強化したいと思います。そして、経営陣や各科の医師や各部署のニーズに応じたデーターが提供できるようにしたいと思います。

病院にとって「人財が宝」です。医師を含めた職員がいきいきと健康的に働ける労働環境の整備に取り組みます。職員の満足度調査の結果も反映させ、各部署の離職率の低下に努力します。 5 年後を見据えた人財育成を実現するためにより充実した人財育成を行います。研修教育委員会を活性化させ人財育成、高度技術の習得、各部署の診療レベルの向上に取り組みます。現在、フルマッチが続いている初期臨床研修医教育のより一層の充実を図ります。そして、初期研修医が後期研修医に残れるような魅力ある後期研修医教育の整備に努めます。また看護師、薬剤師などメディカルスタッフの教育システムのより一層の充実に努力し、マグネットホスピタルになれるようにします。昨年度、厚生労働省、沖縄労働局の推奨する「ひやみかち健康経営宣言」に「職員の健康無くして、地域の健康は守れない」をスローガンに参加しています。「健康経営」は職員の健康増進を経営投資だとする考え方で、職員一人一人の生産性向上につなげたいと思います。これまで同様「健康増進委員会」の活動を継続します。また「職員健診 100% 受診」「要精査、要治療の 100% 受診」を目指します。

今年度も国の医療政策との整合性を図りながら、ハートライフ病院の地域における立ち位置を把握し、地域に求められている医療は何か？を常に問い続けながら事業計画を実行していきたいと思います。

今年度も厳しい医療環境ですが、私たちは「笑顔で親切ハートライフ病院」をスローガンに職員が一丸となって「より安全な医療」「より質の高い医療」を実践していきたいと思います。そして、患者さんやご家族が病院を出るときに「ハートライフ病院に来て良かった」と言っていただけるように努力します。そして、職員が生き生きと働ける労働環境、職員が日々成長を実感できる労働環境をつくり、健全な医療経営も実現していきたいと思います。

ハートライフ病院　院長　奥島　憲彦

患者統計

外来・救急外来

外来１日平均患者数推移

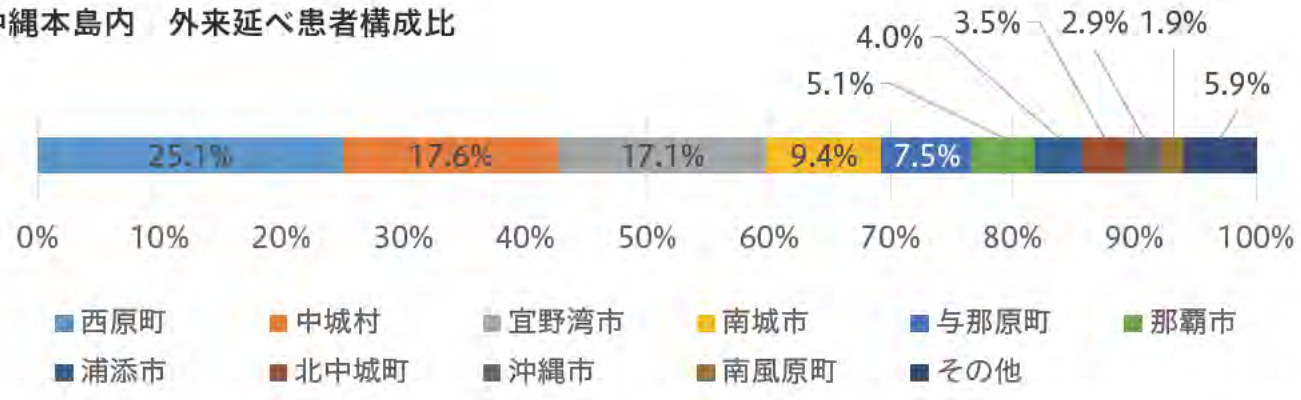
（データ作成：請求業務課　桑江）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平成 23 年度	503.4	523.6	489.1	505	499.7	525.9	510.7	532	544.3	526.6	519.3	501.4	515.1
平成 24 年度	455.7	461.3	446.5	475.9	459.4	488.1	466.9	481.7	481.1	483.0	475.9	470.4	470.5
平成 25 年度	464.0	488.0	462.2	480.1	452.3	478.9	470.7	469.3	492.8	496.8	483.7	484.9	477.0
平成 26 年度	465.2	477.8	459.8	471.1	446.2	481.9	491.1	477.7	495.2	499.2	473.0	476.4	476.2
平成 27 年度	467.3	468.8	463.9	461.4	443.8	503.8	479.4	502.8	500.7	480.4	475.8	462.1	475.9

地域別外来患者数（延べ患者数）

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	143,018
離島	862
県外	768
国外・その他・不明	360
総合計	**145,008**

沖縄本島内　外来延べ患者構成比



救急搬送件数推移と救急患者の入院数

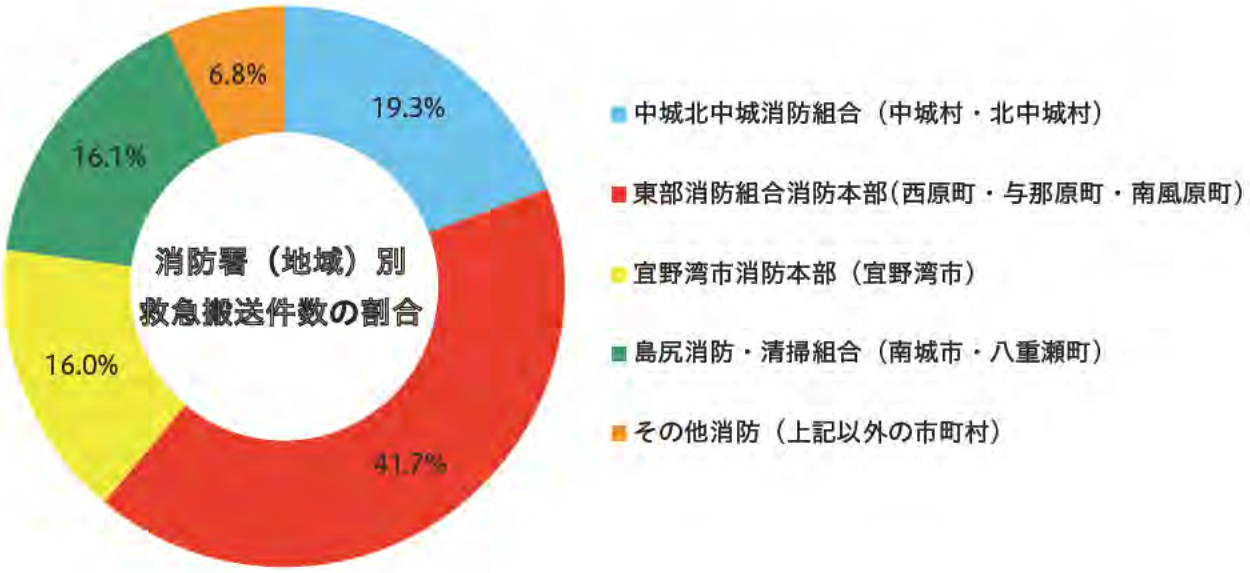
（データ作成：地域医療連携室　砂川）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	入院率
H19 年度	搬送人数	210	183	190	210	170	195	173	157	161	184	200	192	2,225	185.4	
	内入院数	91	87	83	95	67	97	76	77	81	99	92	77	1,022	85.2	45.9%
H20 年度	搬送人数	204	179	174	219	195	183	190	169	195	208	158	168	2,242	186.8	
	内入院数	92	68	67	79	69	67	85	80	85	92	71	72	927	77.3	41.3%
H21 年度	搬送人数	131	117	140	187	207	194	154	153	194	207	175	176	2035	169.6	
	うち入院数	65	55	56	90	101	87	71	82	98	99	81	81	966	80.5	47.5%
H22 年度	搬送人数	163	188	185	230	221	224	195	225	223	231	169	222	2476	206.3	
	うち入院数	81	76	91	88	83	84	87	110	96	110	91	99	1096	91.3	44.3%
H23 年度	搬送人数	202	187	201	209	215	190	230	209	226	224	240	250	2583	215.3	
	うち入院数	84	78	91	90	109	84	112	98	118	105	101	114	1184	98.7	45.8%
H24 年度	搬送人数	205	193	184	230	226	204	215	241	234	228	179	204	2543	211.9	
	うち入院数	97	99	94	108	107	96	107	127	111	118	91	90	1245	103.8	49.0%
H25 年度	搬送人数	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2443	203.6	
	うち入院数	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1168	97.3	47.8%
H26 年度	搬送人数	185	188	209	235	204	197	200	193	199	262	187	191	2450	204.2	
	うち入院数	80	91	95	110	94	98	113	94	106	131	99	97	1208	100.7	49.3%
H27 年度	搬送人数	194	209	206	217	192	222	218	191	196	212	228	222	2507	208.9	
	うち入院数	98	106	97	122	98	119	119	90	88	104	101	108	1250	104.2	49.9%

消防署（地域）別救急搬送件数

（地域医療支援病院運営委員会資料より / データ作成：地域医療連携室　砂川）

	当院救急搬送件数	うち、時間外救急搬送件数	時間外の比率
中城北中城消防組合（中城村・北中城村）	485	293	60.4%
東部消防組合消防本部（西原町・与那原町・南風原町）	1,046	672	64.2%
宜野湾市消防本部（宜野湾市）	402	242	60.2%
島尻消防・清掃組合（南城市・八重瀬町）	403	269	66.7%
その他消防（上記以外の市町村）	171	98	57.3%
合計	2,507	1,574	62.8%

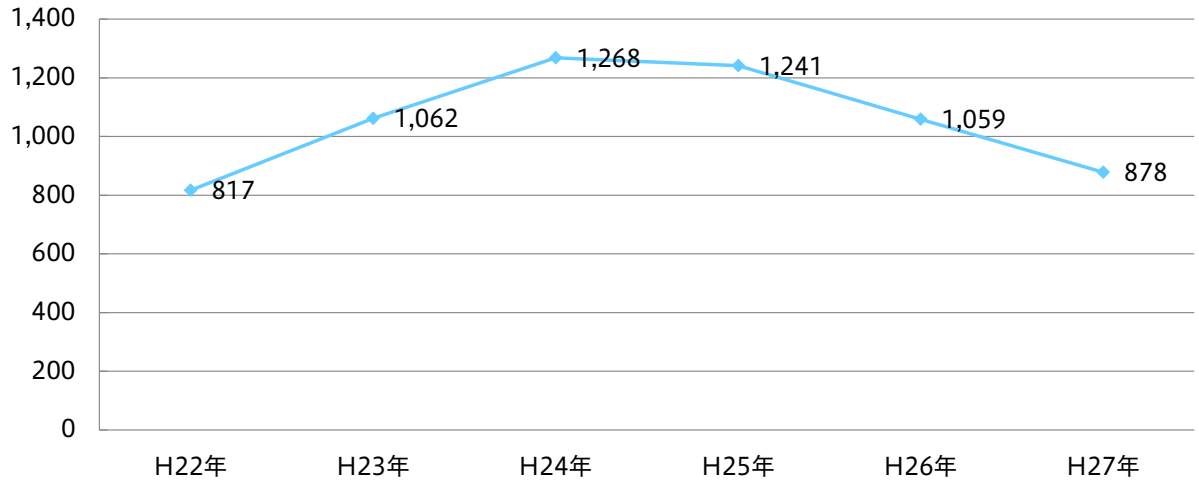


外来化学療法室施行数推移

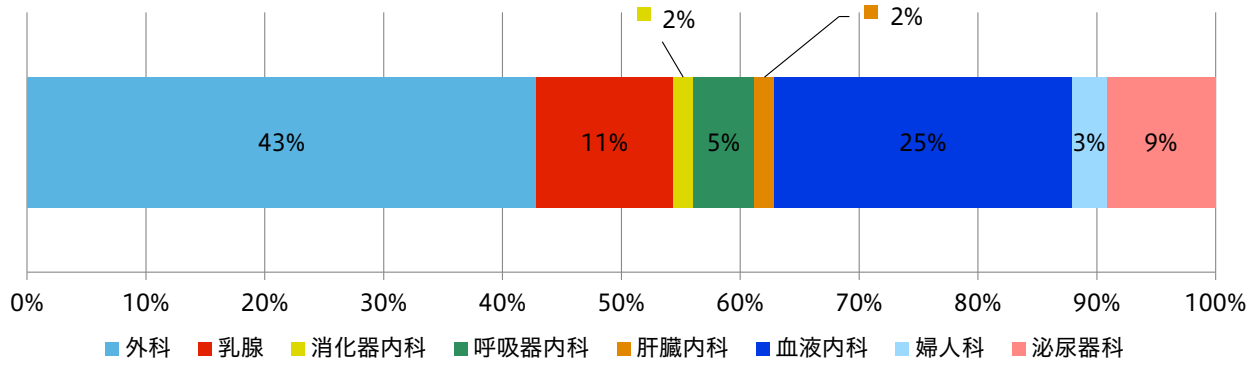
（データ作成：看護部　外来　本田）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外科	33	39	47	45	37	58	50	43	47	47	50	56	552
乳腺	18	13	14	11	11	8	13	12	11	11	11	15	148
消化器内科	0	2	2	5	3	3	2	0	1	0	1	3	22
呼吸器内科	6	6	6	3	3	4	7	7	8	3	7	6	66
肝臓内科	2	2	2	2	2	2	1	3	1	2	2	1	22
血液内科	27	28	41	34	28	31	27	23	14	23	20	26	322
婦人科	1	1	1	3	4	5	2	4	3	3	6	5	38
泌尿器科	9	11	8	8	7	10	8	10	12	10	15	10	118
合計	96	102	121	111	95	121	110	102	97	99	112	122	1,288

外来化学療法加算の件数年次推移



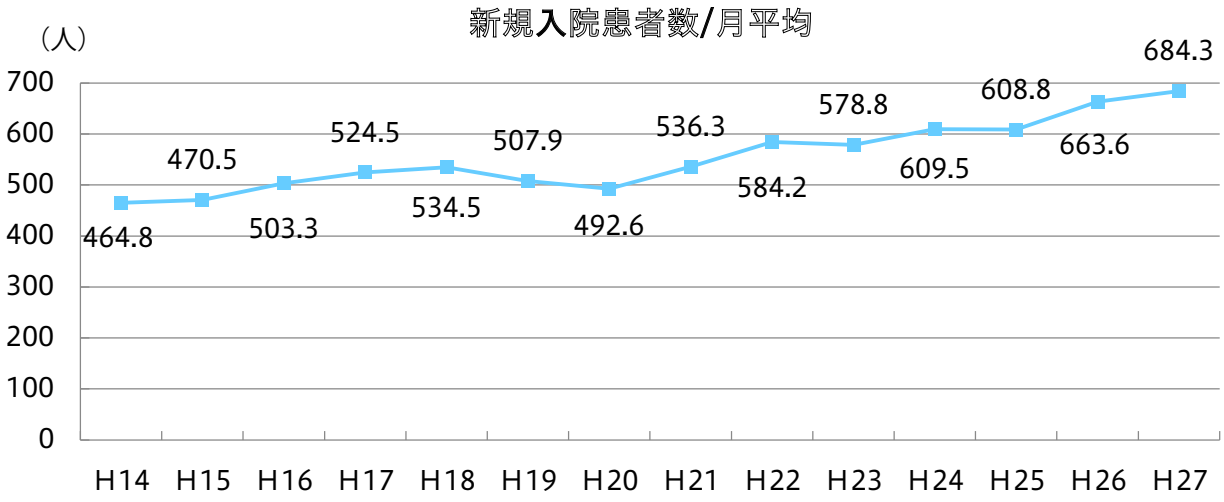
外来化学療法　診療科別割合

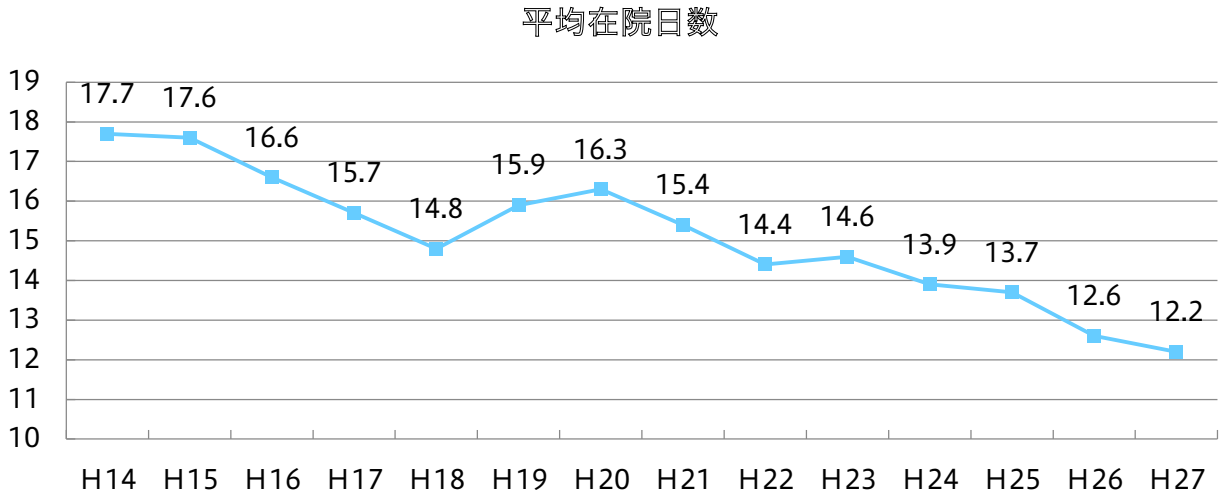


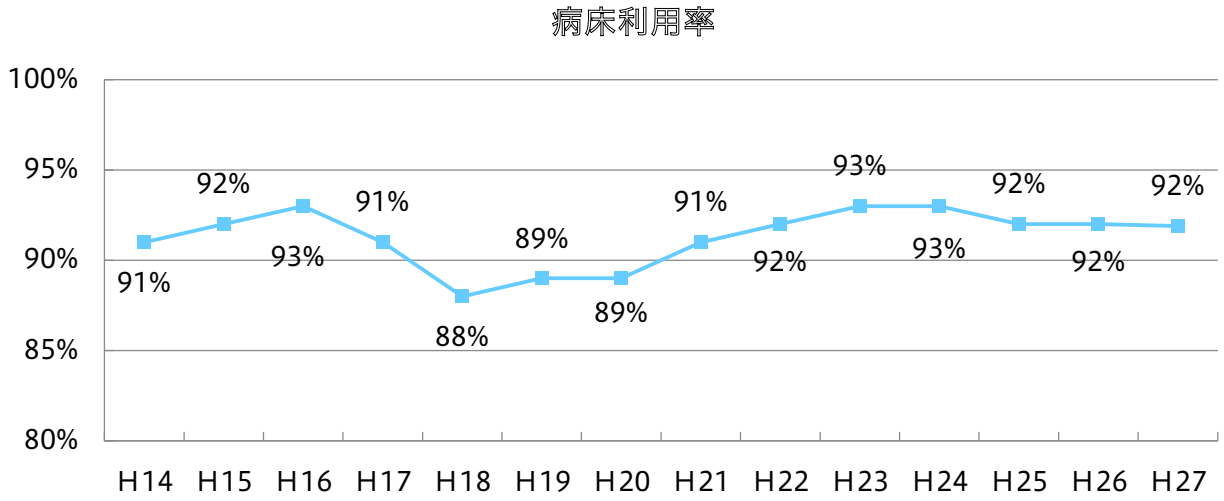
入院

3 指標

（データ作成：地域医療連携室　粟盛）



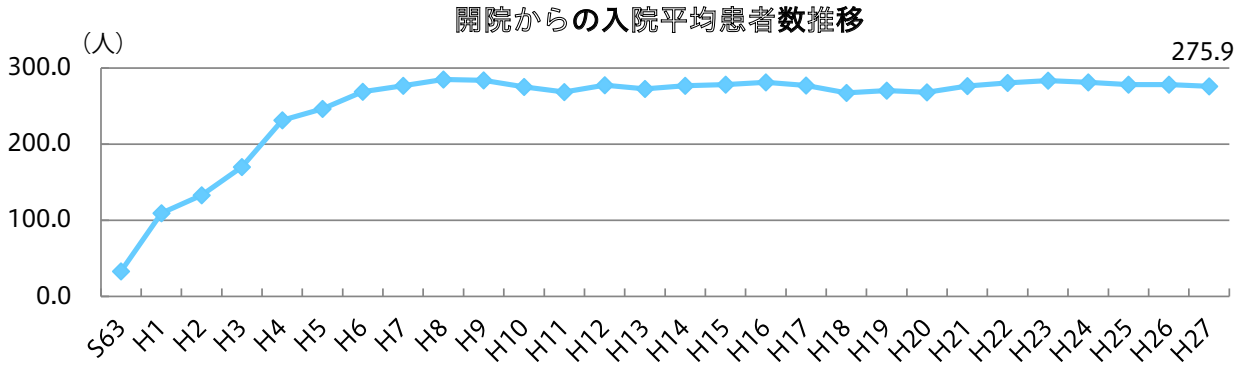




入院１日平均患者数推移（稼働）

（データ作成：請求業務課　宮城）

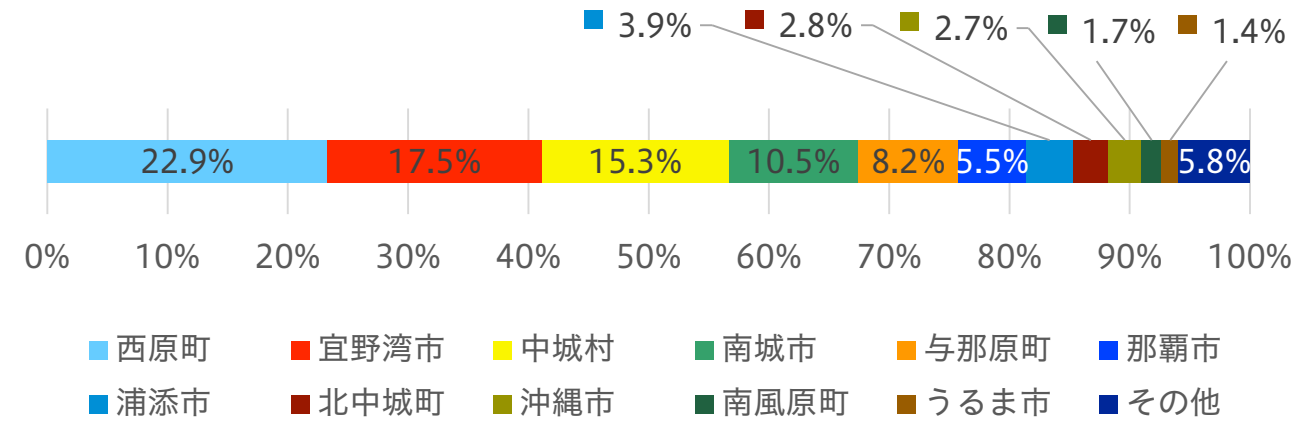
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
H24	283.6	274.2	273.4	277.7	273.1	274.7	281.5	283.7	284.8	290.6	294.5	284.8	281.4
H25	270.3	270.4	286.9	284.5	275.3	287.4	278.5	274.2	270.5	286.0	284.2	271.4	278.3
H26	267.3	256.7	274.0	290.2	291.0	278.0	276.8	268.2	267.6	291.1	291.5	288.4	278.4
H27	281.3	268.9	283.3	278.5	272.7	272.1	270.8	272.8	266.8	277.4	291.7	274.8	275.9



エリア別入院患者数（延べ患者数）

地域	患者数
沖縄本島（橋で接続されている島を含む）	8,529
離島	91
県外	153
その他	14
総合計	8,787

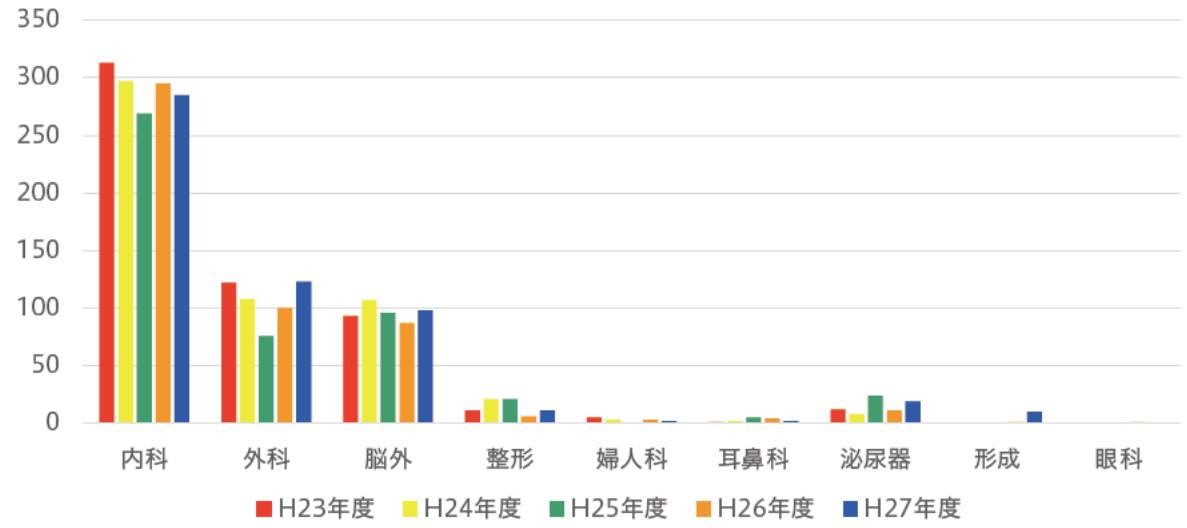
沖縄本島内　入院延べ患者構成比



ICU 患者統計

（データ作成　ICU　安村）

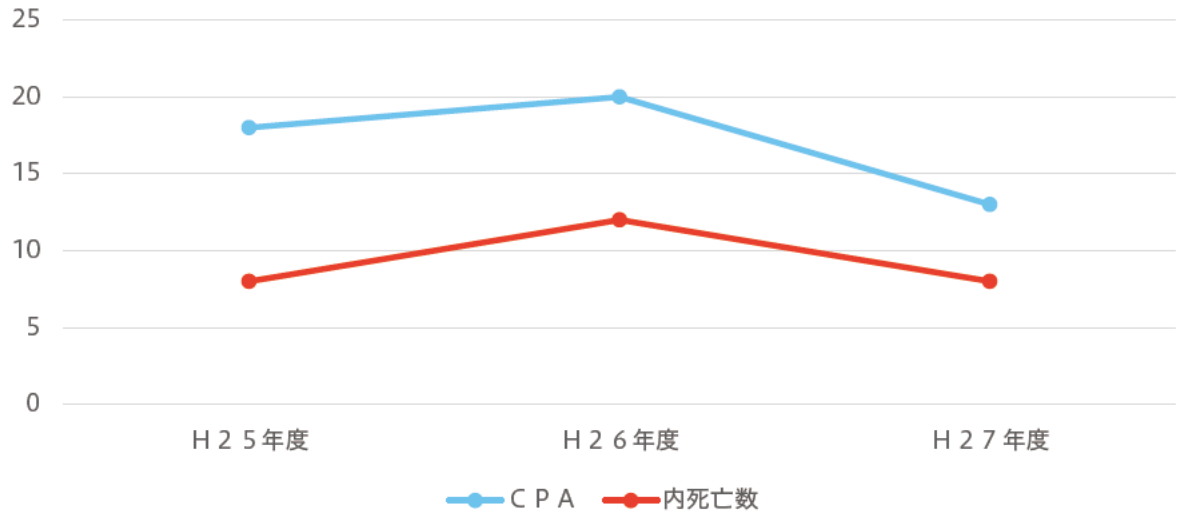
科別入院患者数



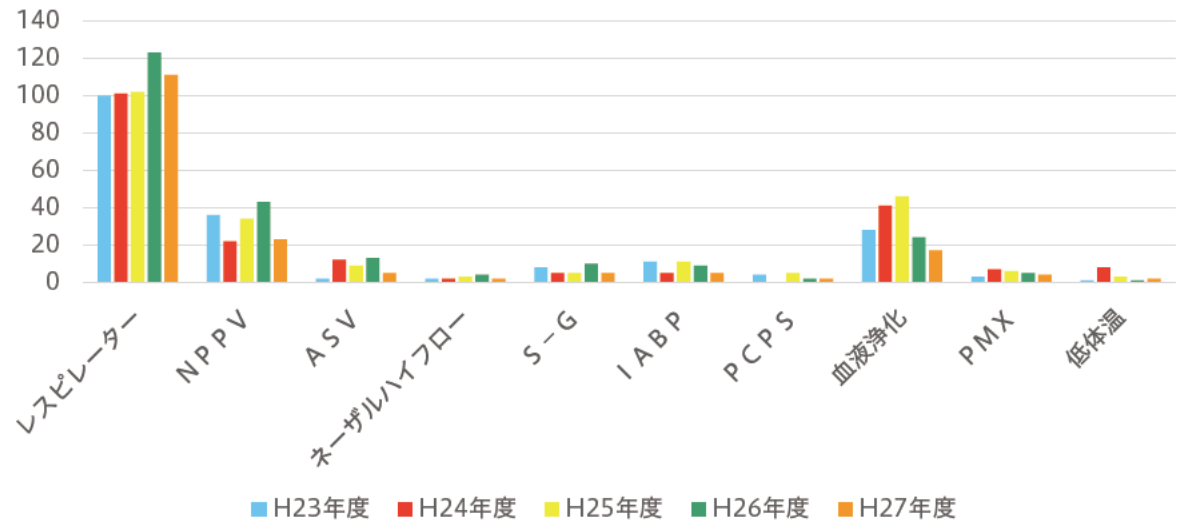
	H16 年度	H17 年度	H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度	H23 年度	H24 年度	H25 年度	H26 年度	H27 年度
内科	384	367	366	370	313	300	257	313	295	269	295	285
外科	324	318	319	362	306	302	175	122	102	76	100	123
脳神経外科	62	104	116	104	98	113	123	93	110	96	87	98
整形外科	100	83	103	102	142	64	24	11	20	21	6	11
産婦人科	74	86	80	52	65	27	17	5	3	0	3	2
耳鼻咽喉科	41	55	76	101	101	9	7	1	2	5	4	2
泌尿器科	12	13	5	10	7	22	15	12	14	24	11	19
形成外科											1	10
眼科	15	35	20	31	34	11	2	0	0	0	1	
総数	1,012	1,061	1,085	1,132	1,066	848	620	557	546	491	508	550

※収容のルール変更により ICU に収容された外科の患者数は減少傾向にあります。

CPA 件数（死亡数）動向



特殊治療の動向



退院患者疾患別（病態）分類

（データ作成：診療情報管理室　田河）

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	形成外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
Ⅰ. 感染症および寄生虫症（A 00- B 99）	男	80	4	4	-	-	-	-	2	24	2	1	7	124
	女	94	4	2	-	1	4	-	-	29	-	-	4	138
	計	174	8	6	-	1	4	-	2	53	2	1	11	262
Ⅱ. 新生物（C 00- D 48）	男	209	204	3	9	27	1	1	7	-	3	82	1	547
	女	348	209	36	8	12	-	1	25	-	-	-	1	640
	計	557	413	39	17	39	1	2	32	-	3	82	2	1,187
Ⅲ. 血液および造血器の疾患ならびに免疫機構の障害（D 50- D 89）	男	28	3	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	36
	女	20	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
	計	48	4	2	-	-	-	-	-	2	-	3	-	59
Ⅳ. 内分泌、栄養および代謝疾患（E 00- E 90）	男	66	7	1	-	1	-	-	-	4	-	-	4	83
	女	33	7	3	-	-	-	-	-	5	-	-	2	50
	計	99	14	4	-	1	-	-	-	9	-	-	6	133
Ⅴ. 精神および行動の障害（F 00- F 99）	男	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	女	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	計	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
Ⅵ. 神経系の疾患(G 00- G 99)	男	28	1	-	12	2	11	-	11	-	-	-	2	67
	女	49	-	1	1	1	15	-	6	2	-	-	3	78
	計	77	1	1	13	3	26	-	17	2	-	-	5	145
Ⅶ. 眼および付属器の疾患（H 00- H 59）	男	1	-	-	-	6	1	225	1	1	-	-	-	235
	女	-	-	-	-	17	-	188	-	-	-	-	-	205
	計	1	-	-	-	23	1	413	1	1	-	-	-	440
Ⅷ. 耳および乳様突起の疾患（H 60- H 95）	男	13	1	1	-	-	-	-	21	7	-	-	1	44
	女	7	-	-	-	-	-	-	15	12	-	-	-	34
	計	20	1	1	-	-	-	-	36	19	-	-	1	78
Ⅸ. 循環器系の疾患（I 00- I 99）	男	194	23	6	-	10	55	-	-	1	-	-	19	308
	女	310	26	4	1	-	67	-	-	-	-	-	59	467
	計	504	49	10	1	10	122	-	-	1	-	-	78	775
Ⅹ. 呼吸器系の疾患（J 00- J 99）	男	422	6	5	-	-	-	-	32	142	2	-	10	619
	女	407	12	2	-	1	-	-	44	177	-	-	6	649
	計	829	18	7	-	1	-	-	76	319	2	-	16	1,268
Ⅺ. 消化器系の疾患（K 00- K 93）	男	289	250	1	1	3	-	-	2	-	1	-	-	547
	女	302	373	4	2	-	-	-	3	-	-	-	-	684
	計	591	623	5	3	3	-	-	5	-	1	-	-	1,231
XII. 皮膚および皮下組織の疾患（L00-L99）	男	19	35	-	3	29	-	-	-	7	-	-	-	93
	女	10	19	1	12	30	-	-	4	6	-	-	-	82
	計	29	54	1	15	59	-	-	4	13	-	-	-	175
XIII. 筋骨格系および結合組織の疾患（M00-M99）	男	16	1	-	78	5	-	-	-	5	-	-	-	105
	女	14	5	2	50	2	-	-	-	1	-	-	-	74
	計	30	6	2	128	7	-	-	-	6	-	-	-	179
XIV. 腎尿路生殖器系の疾患(N00-N99)	男	166	16	88	-	4	-	-	-	8	2	57	4	345
	女	68	6	67	-	4	-	-	-	8	-	-	7	160
	計	234	22	155	-	8	-	-	-	16	2	57	11	505
ⅩⅤ. 妊娠、分娩および産じょく<褥>（O00-O99）	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-	506	1	-	507
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	506	1	-	507
ⅩⅥ. 周産期に発生した病態（P00-P96）	男	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	8
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	9
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	17

		内科	外科	泌尿器科	整形外科	形成外科	脳外科	眼科	耳鼻咽喉科	小児科	産科	婦人科	救急科	総計
ⅩⅦ. 先天奇形、変形および染色体異常（Q00-Q99）	男	1	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	6
	女	1	4	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	14
	計	2	4	-	3	-	1	-	10	-	-	-	-	20
ⅩⅧ. 症状、徴候および異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの（R00-R99）	男	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
	女	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
	計	4	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7
ⅩⅨ. 損傷、中毒およびその他の外因の影響（S00-T98）	男	52	22	8	275	11	24	2	5	2	1	5	2	409
	女	65	34	10	227	40	32	-	8	1	-	-	6	423
	計	117	56	18	502	51	56	2	13	3	1	5	8	832
ⅩⅩⅠ. 健康状態に影響をおよぼす要因および保健サービスの利用（Z00-Z99）	男	44	35	4	43	1	-	-	-	217	-	7	-	351
	女	110	49	12	71	1	-	-	-	207	-	-	-	450
	計	154	84	16	114	2	-	-	-	424	-	7	-	801
総計		3,471	1,359	270	796	208	211	417	196	886	517	156	138	8,625

医療の質 Quality Indicator（QI）

（データ作成：診療情報管理室　柳）

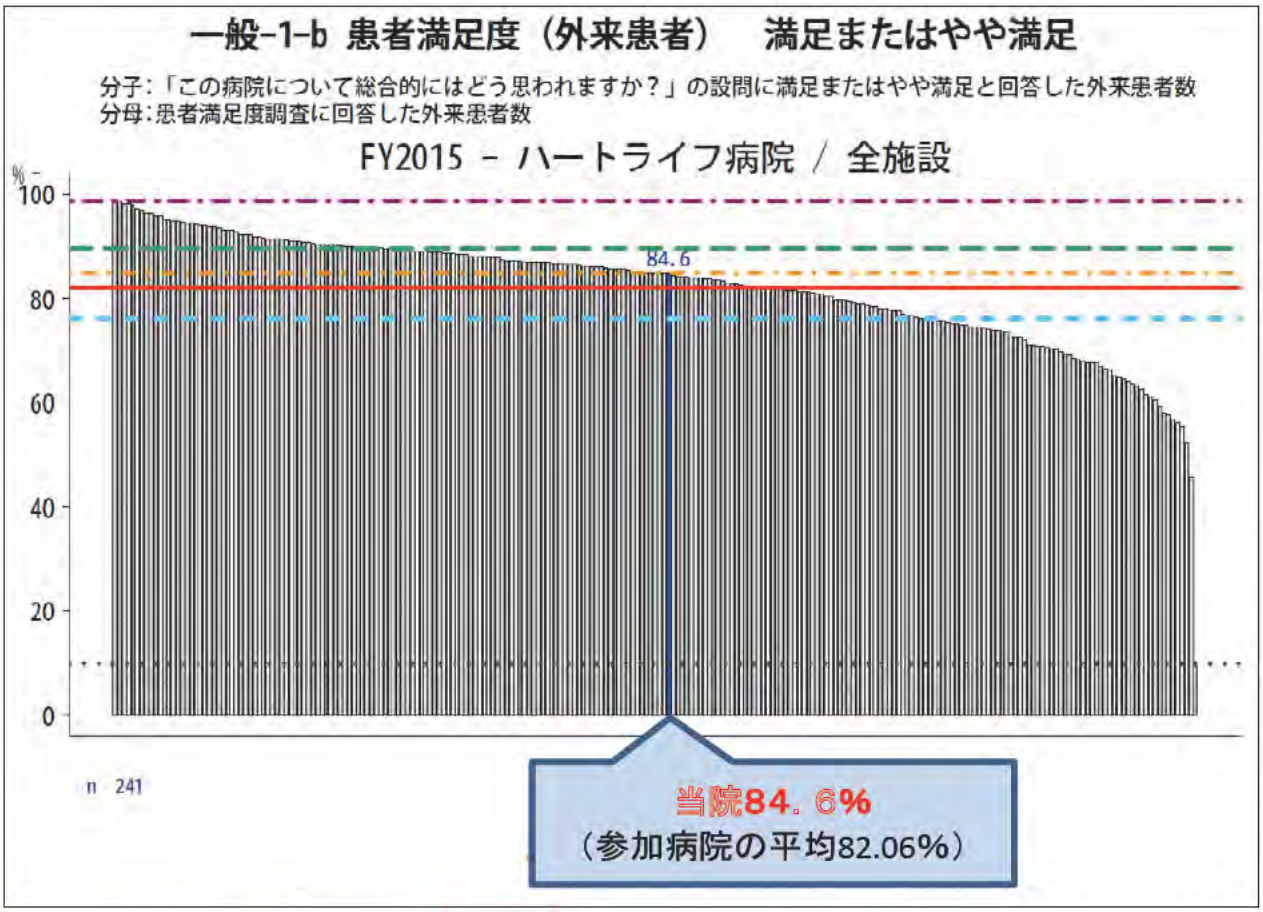
当院では、2013 年 4 月より日本病院会主催「QI プロジェクト」参加しています。このプロジェクトでは、日本病院会が指定する 32 の指標について、全国の参加病院 343 病院がデータを提出、ベンチマークすることで、自院の立ち位置を確認することが出来ます。これらの指標を観察・分析し常に医療の質の向上につとめています。これらの指標の一部をここで紹介します。

患者満足度調査

Q．この病院について総合的にはどう思われますか？

「不満 / やや不満 / どちらともいえない / やや満足 / 満足」の 5 段階評価をして頂き、満足またはやや満足とご回答頂いた外来患者の割合。

※外来調査期間：平成 27 年 3 月 22 日～ 23 日の 2 日間　　回答者数：234 名



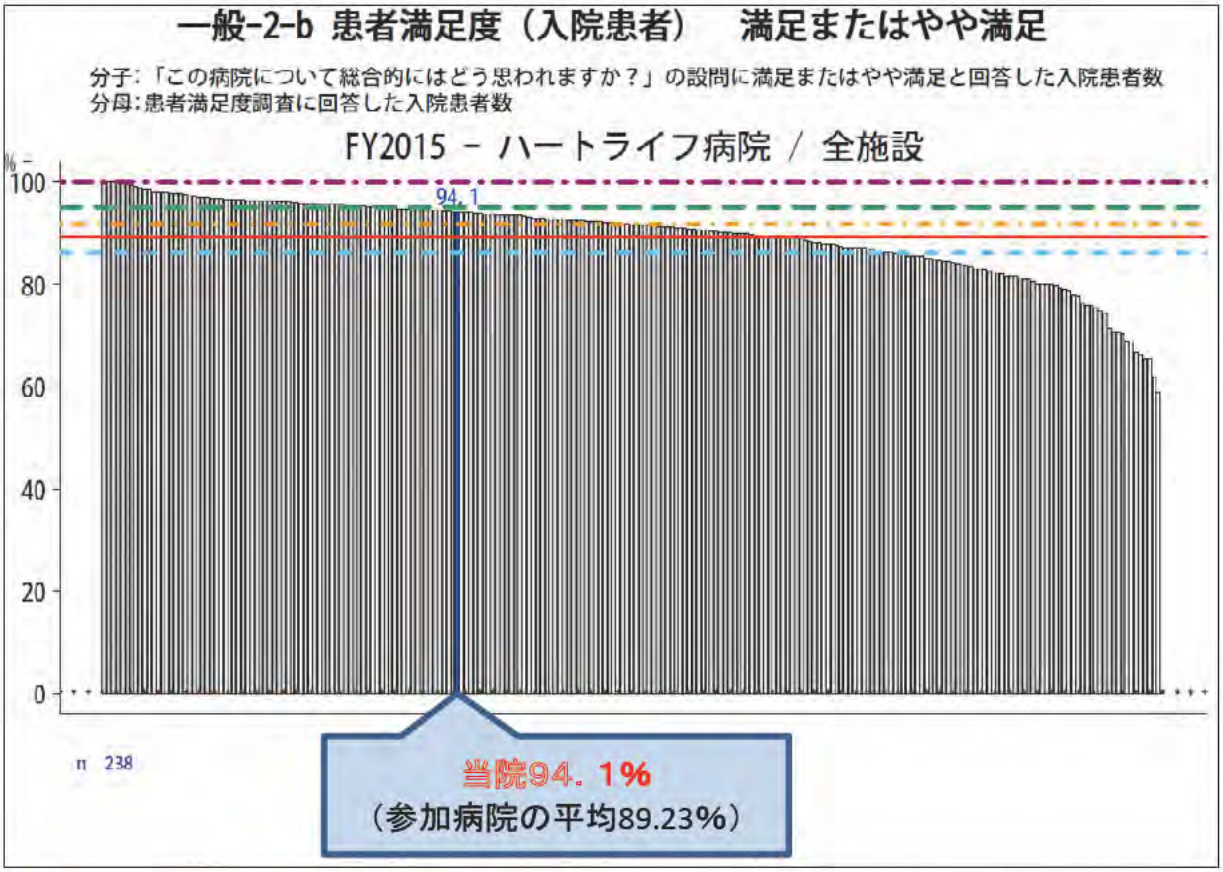
	2013	2014	2015
満足のみ	26.4%	33.1%	32.5%
満足またはやや満足	88.9%	87.6%	84.6%

外来患者さんの「満足またはやや満足」の全国平均は 82%、当院は 84.6%でした。外来における患者満足度は、「満足のみ」は上昇傾向ですが、「満足またはやや満足」は減少傾向にあります。待ち時間短縮の要望があり、現在改善に努めております。。

Q．この病院について総合的にはどう思われますか？

「不満 / やや不満 / どちらともいえない / やや満足 / 満足」の 5 段階評価をして頂き、満足またはやや満足とご回答頂いた外来患者の割合。

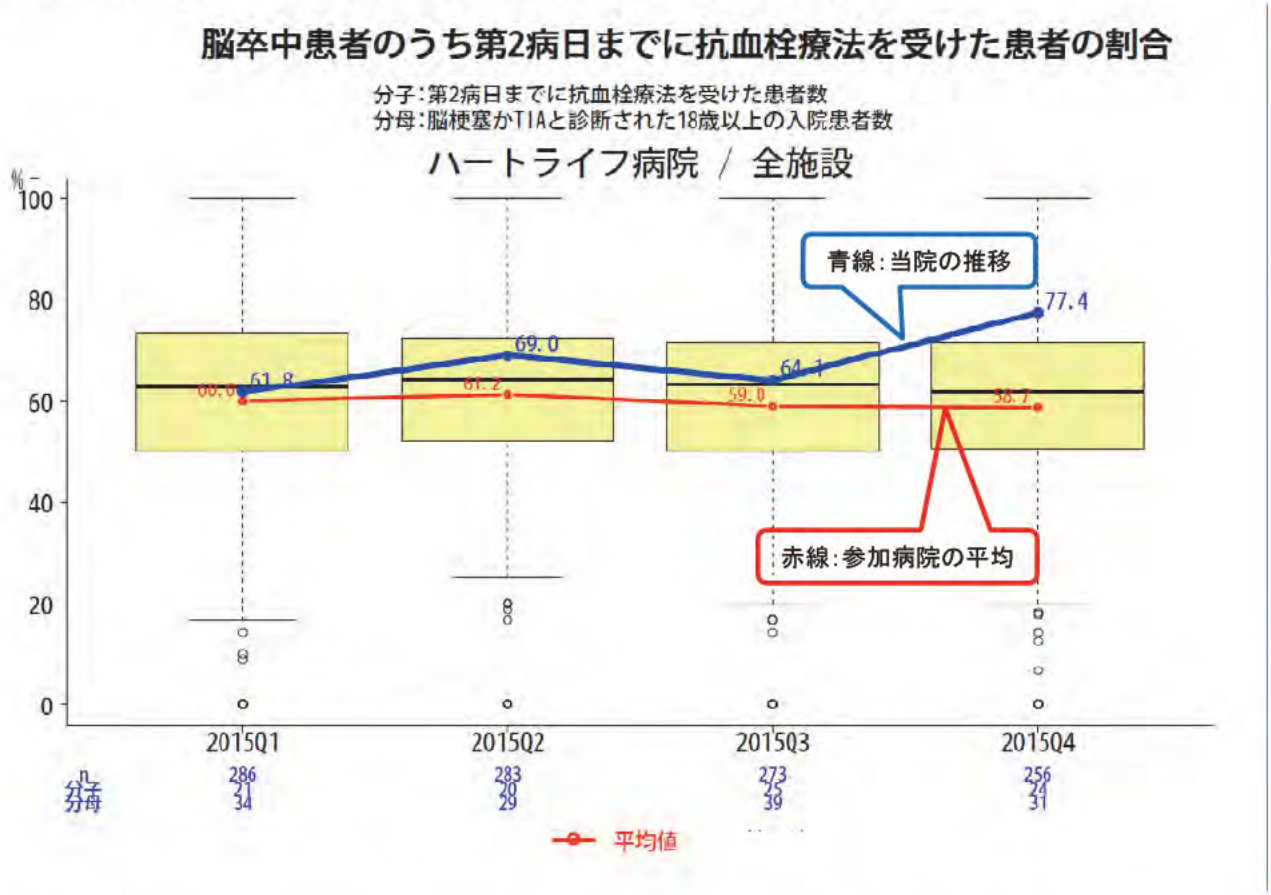
※入院調査期間：平成 27 年 3 月 21 日～ 6 日の 6 日間　　回答者数：102 名



	2013	2014	2015
満足のみ	26.4%	41.7%	42.2%
満足またはやや満足	88.9%	87.6%	94.1%

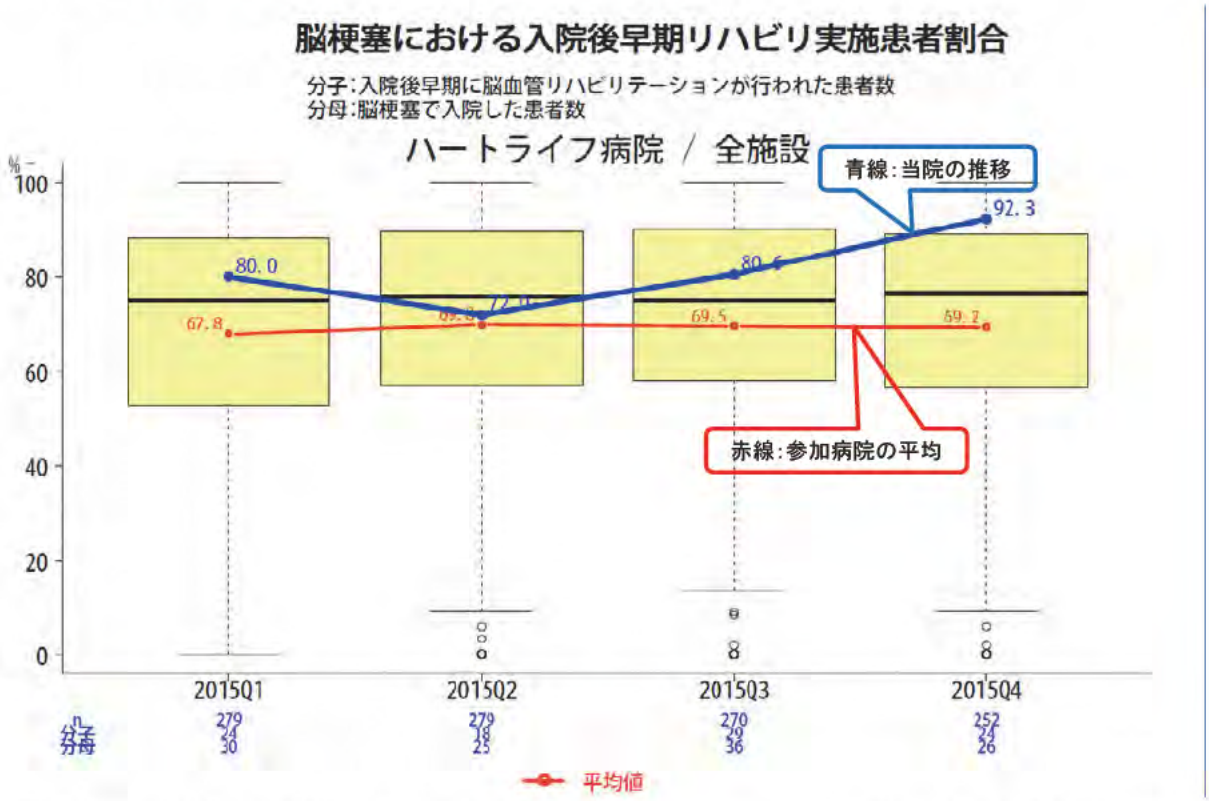
入院患者さんの「満足またはやや満足」の全国平均は 89％で当院は 94％でした。入院における患者満足度は、年々上昇傾向にあります。

脳卒中患者のうち第２病日までに抗血栓療法を受けた患者の割合



「脳卒中患者のうち第２病日までに抗血栓療法を受けた患者の割合」は、ＱＩプロジェクト参加病院の平均５９．７に対し%、当院は６７．７％と、参加病院の平均を上回っていました。（診療情報管理室）

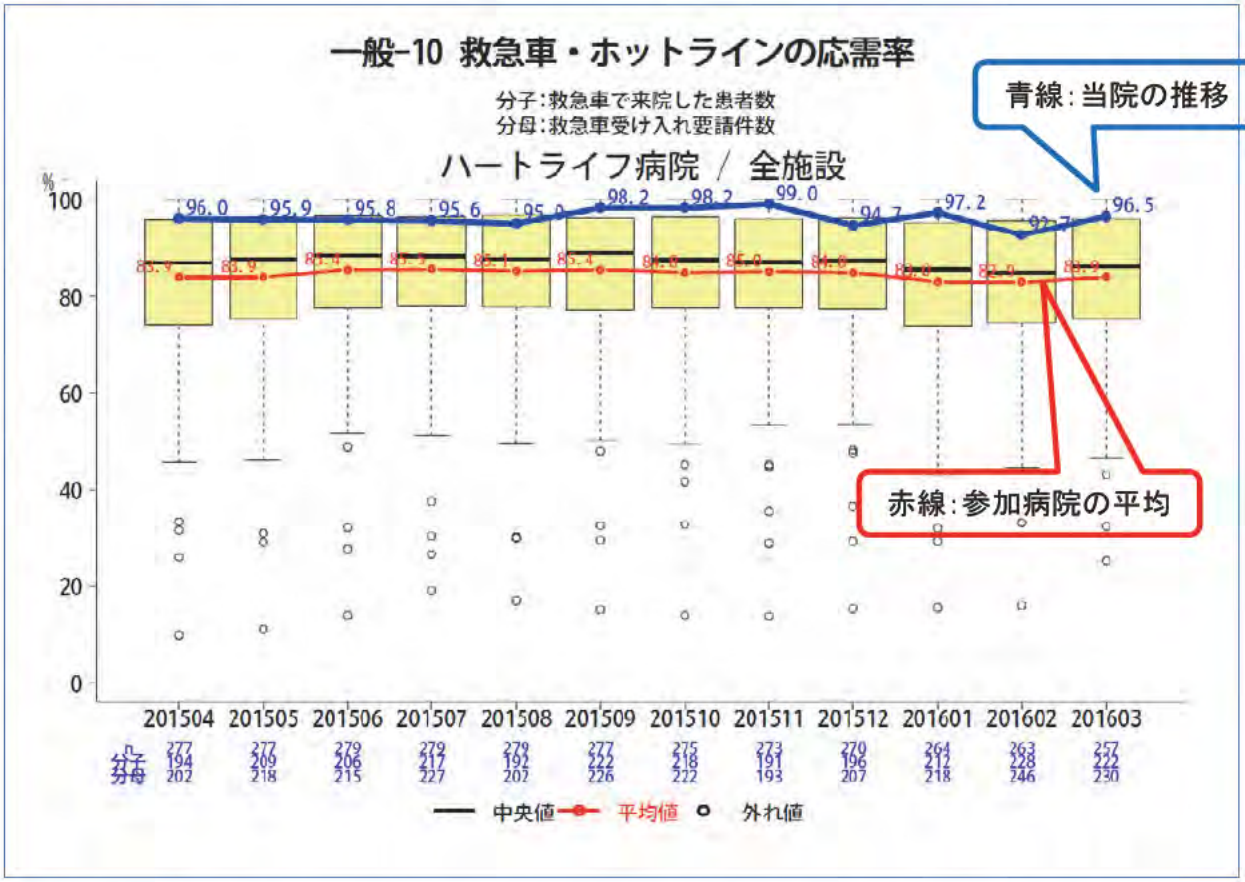
脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合



「脳梗塞における入院後早期リハビリ実施患者の割合」は、ＱＩプロジェクト参加病院の平均６８．６％に対し、当院は８１．２％と参加病院の平均を大きく上回っていました。（診療情報管理室）

救急車・ホットライン応需率

救急車・ホットライン応需率とは、救急車受入要請のうち何台を受け入れることができたかの割合を指名しています。本指標の向上のために、救急センターをはじめ、病棟や各診療科、スタッフの協力が必要です。ハートライフ病院は本島中南部東海岸の中核病院の役割を担う地域医療支援病院で 2 次救急指定病院です。「救急車は断らない」を目標に積極的な受け入れに取り組み、地域の救急医療に貢献できるよう努めています。



救急車搬入台数は年々増加し、救急車･ホットラインの応需率は当院が 96.2% で全国平均 82.9%を上回っていました。毎月断り症例の検討を行い、応需率を上げるように努力しています。

地域医療支援病院認定　関連統計情報

紹介率・逆紹介率

平成 26 年度より計算式と認定基準が変更になりました。紹介率 60％かつ逆紹介率 30％から紹介率 65％かつ逆紹介率 40％という厳しい基準になりました。

（データ作成　地域医療連携室　新垣）

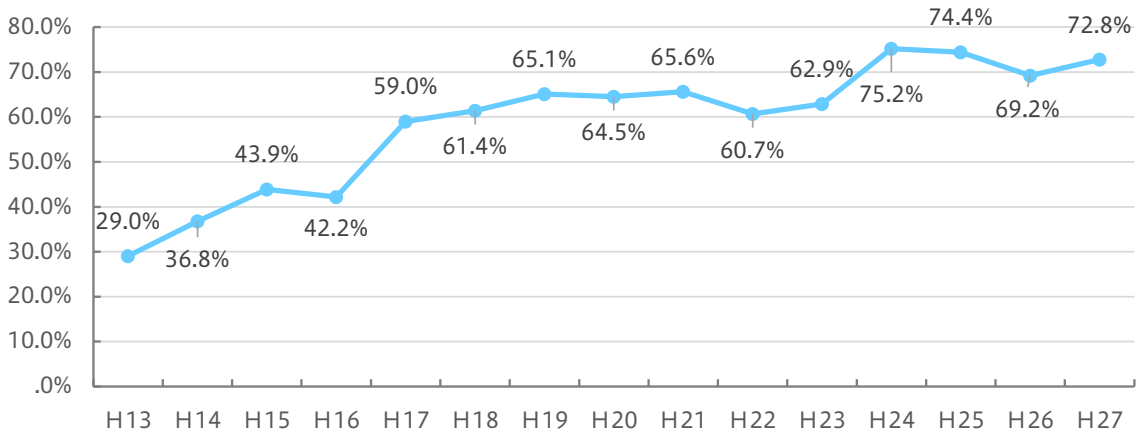
紹介患者状況

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度	
	患者数（人）	月平均	患者数（人）	月平均	患者数（人）	月平均	患者数（人）	月平均	患者数（人）	月平均
紹介患者数	6,067	506	6,345	529	6,931	578	7,591	633	8,281	690
緊急入院患者数※1	1,846	154	2,041	170	1,956	163				
初診患者数	18,662	1,555	17,254	1,438	18,641	1,553	18,509	1,542	17,791	1,483
救急初診患者数	6,704	559	6,874	573	7,431	619	7,700	642	6,512	543
初診救急入院患者数※1	684	57	803	67	738	62				
時間内初診救急搬送件数							485	40	613	51
逆紹介患者数	5,478	457	5,329	444	5,418	452	5,813	484	6,949	579
紹介率	62.9%		75.2%		74.4%		69.2%		72.8%	
逆紹介率	43.8%		47.9%		45.5%		53.0%		61.1%	

※１　平成 26 年度の認定基準の変更により「初診救急入院患者数」と「緊急入院患者数」の集計は行っておりません。

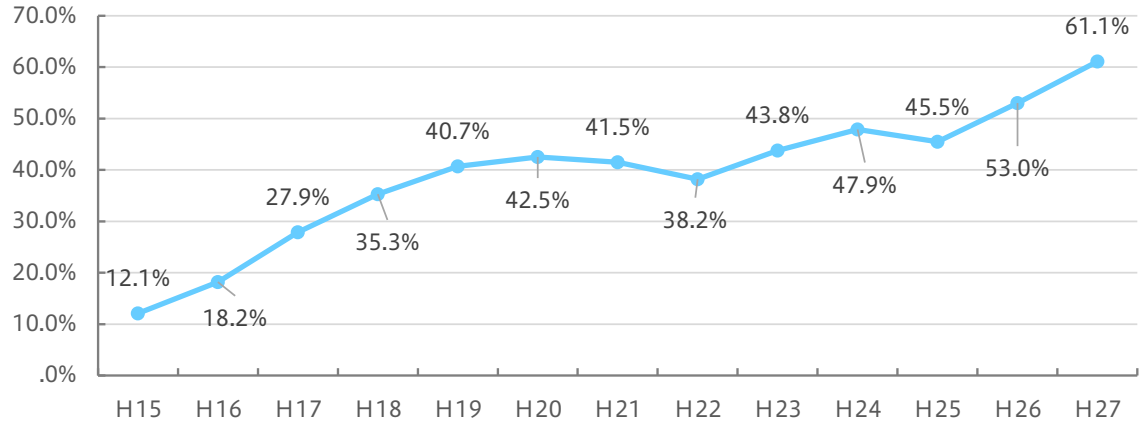
地域医療支援病院紹介率の実績（月平均紹介率 / 基準値 65%　目標値 71%）

（月平均紹介率）



地域医療支援病院逆紹介率の実績（基準値 40%　目標値 55%）

（月平均紹介率）



共同利用

年度別　登録医状況

	登録医数	備考
平成 20 年 3 月	276	
平成 21 年 3 月	292	
平成 22 年 3 月	303	
平成 23 年 3 月	307	登録医療機関は 303
平成 24 年 3 月	304	登録医療機関は 300
平成 25 年 3 月	299	登録医療機関は 294
平成 26 年 3 月	297	登録医療機関は 290
平成 27 年 3 月	300	登録医療機関は 292

平成 27 年度登録施設 診療圏内訳

医療圏	件数	医療圏	件数
北部医療圏	9	八重山医療圏	8
中部医療圏	100	その他医療圏	1
南部医療圏	161		
宮古医療圏	13	合　　計	292

開放病床の共同利用状況（開放病床 22 床）

（データ作成　地域医療連携室　新垣）

	延べ利用患者数	年間平均利用率
平成 22 年度	11,073	137.0%
平成 23 年度	9,300	115.0%
平成 24 年度	9,892	123.0%
平成 25 年度	8,557	106.6%
平成 26 年度	8,950	115.1%
平成 27 年度	8,846	110.0%

医療機器の共同利用状況

		MRI	CT	RI	超音波
平成 22 年度	総件数	3,417	11,073	293	12,876
	紹介件数	678	972	33	1,586
	利用率	19.8%	8.8%	11.3%	12.3%
平成 23 年度	総件数	3,452	11,775	333	14,533
	紹介件数	626	894	39	1,854
	利用率	18.1%	7.6%	11.7%	12.8%
平成 24 年度	総件数	3,551	11,322	341	12,942
	紹介件数	664	941	42	2,049
	利用率	18.6%	8.3%	12.5%	15.9%
平成 25 年度	総件数	3,964	11,547	307	13,094
	紹介件数	689	1,055	49	2,156
	利用率	17.4%	9.1%	16.0%	16.5%
平成 26 年度	総件数	3,823	12,256	317	13,263
	紹介件数	658	1,093	41	2,250
	利用率	17.2%	8.9%	12.9%	17.0%
平成 27 年度	総件数	3,758	12,147	286	12,884
	紹介件数	667	1,134	46	2,270
	利用率	17.9%	9.4%	15.8%	17.6%

研修

（データ作成　地域医療連携室　砂川）

地域医療従事者に対する検討会・勉強会実施状況

訳	回数	症例件数		参加人数		
				院　内	院　外	合　計
救急症例検討会	3	10		150	179	329
消化器系症例検討会	6	16		119	22	141
その他講習会・講演会等	10	1		401	78	479
合　計	19	17		670	279	949

救急救命士実習実績（気管挿管：8 名・薬剤投与：0 名）

消防本部名	実習名	実習期間（開始～終了）	成功症例	備考
東部消防組合消防本部	気管挿管	2015 年 4 月 28 日～ 6 月 25 日	3 0例	（救気管）第 27 － 001 号
沖縄市消防本部	気管挿管	2015 年 6 月 26 日～ 8 月 11 日	3 0例	（救気管）第 27 － 002 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2015 年 8 月 11 日～ 9 月 30 日	3 0例	（救気管）第 27 － 003 号
金武地区消防衛生組合	気管挿管	2015 年 9 月 30 日～ 11 月 25 日	3 0例	（救気管）第 27 － 004 号
沖縄市消防本部	気管挿管	2015 年 11 月 30 日～ 2016 年 1 月 6 日	3 0例	（救気管）第 27 － 005 号
東部消防組合消防本部	気管挿管	2016 年 1 月 7 日～ 2 月 22 日	3 0例	（救気管）第 27 － 006 号
中城北中城消防本部	気管挿管	2016 年 2 月 22 日～ 3 月 29 日	3 0例	（救気管）第 27 － 007 号
比謝川行政事務組合ニライ消防本部	気管挿管	2016 年 3 月 30 日～ 5 月 19 日	3 0例	（救気管）第 27 － 008 号

ハートライフ病院 DMAT

概要

DMAT とは、大地震や航空機・列車事故といった災害時に、被災地に迅速に駆けつけ、救急医療を行うための専門的な訓練を受けた医療チームのことを言います。

ハートライフ病院はこれまで、救急・災害医療面で、多くの会議・協議会・実習訓練・学会等に参加し、実績を残してきましたが、なかなか DMAT 隊員養成研修の公募における沖縄県の当選枠を得ることができませんでした。

根気強く申請とアピールを続けた結果、平成 26 年に DMAT 隊員養成研修に 5 名の職員が受講することができ、正式にハートライフ病院が DMAT 指定医療機関となり、ハートライフ DMAT が設立されました。設立後は、各種訓練に参加し、研鑽を重ねつつ、薬局・臨床工学科・管財課用度係・企画室・救急総合診療部・災害対策委員会と主に連携しながら、DMAT 派遣・災害医療の体制作りを進め、地域医療に更に貢献したいと考えています。

これからも引き続き、院内の各種委員会との連携を進め、DMAT 活動体制を更に前進させます。

メンバー構成

氏名	所属・役職	職種
三戸 正人	救急総合診療副部長兼循環器内科副部長	医師（内科系）
国吉 史雄	外科	医師（外科系）
兼本 愛美	救急外来	看護師
竹本 健太	救急外来	看護師
安里 健二	事務部企画室電算係	ロジスティクス（事務・調整役）
野原 剛	臨床工学科	ロジスティクス（事務・調整役）※補助要員

活動報告

種別	内容	参加者
訓練	美ら島レスキュー 2015（7 月・沖縄県 陸上自衛隊那覇駐屯地）	三戸、竹本、兼本、安里
	平成 27 年度 総合防災訓練における大規模地震時医療活動訓練（9 月・千葉県 ）	三戸、国吉、竹本、兼本、安里
	平成 27 年度 沖縄県総合防災訓練（9 月・沖縄県北中城村）	三戸、国吉、竹本、兼本、安里、野原
	平成 27 年度 九州・沖縄ブロック DMAT 実動訓練（11 月・大分県）	三戸、国吉、竹本、兼本、安里
	平成 27 年度 航空機事故対処部分訓練（12 月・沖縄県 那覇空港）	三戸、竹本、兼本、安里、野原
研修	第 3 回 日本災害医療ロジスティックス研修（7 月・岩手県）	野原
	西第 4 回 DMAT 隊員養成研修（9 月・兵庫県）	三戸（タスクとして 4 日間参加）
	西第 6 回 DMAT 隊員養成研修（11 月・兵庫県）	三戸（タスクとして 4 日間参加）
会議	平成 27 年度 沖縄県総合防災訓練全体会議	
	平成 27 年度 沖縄県総合防災訓練医療部会	
	平成 27 年度 航空機事故対処部分訓練に伴う訓練評価会議	
	那覇空港緊急計画連絡協議会幹事会	
事務局活動	ハートライフ DMAT 委員会（DMAT 隊員、企画室、臨床工学科、管財課用度）	

2015/07/23美ら島レスキュー

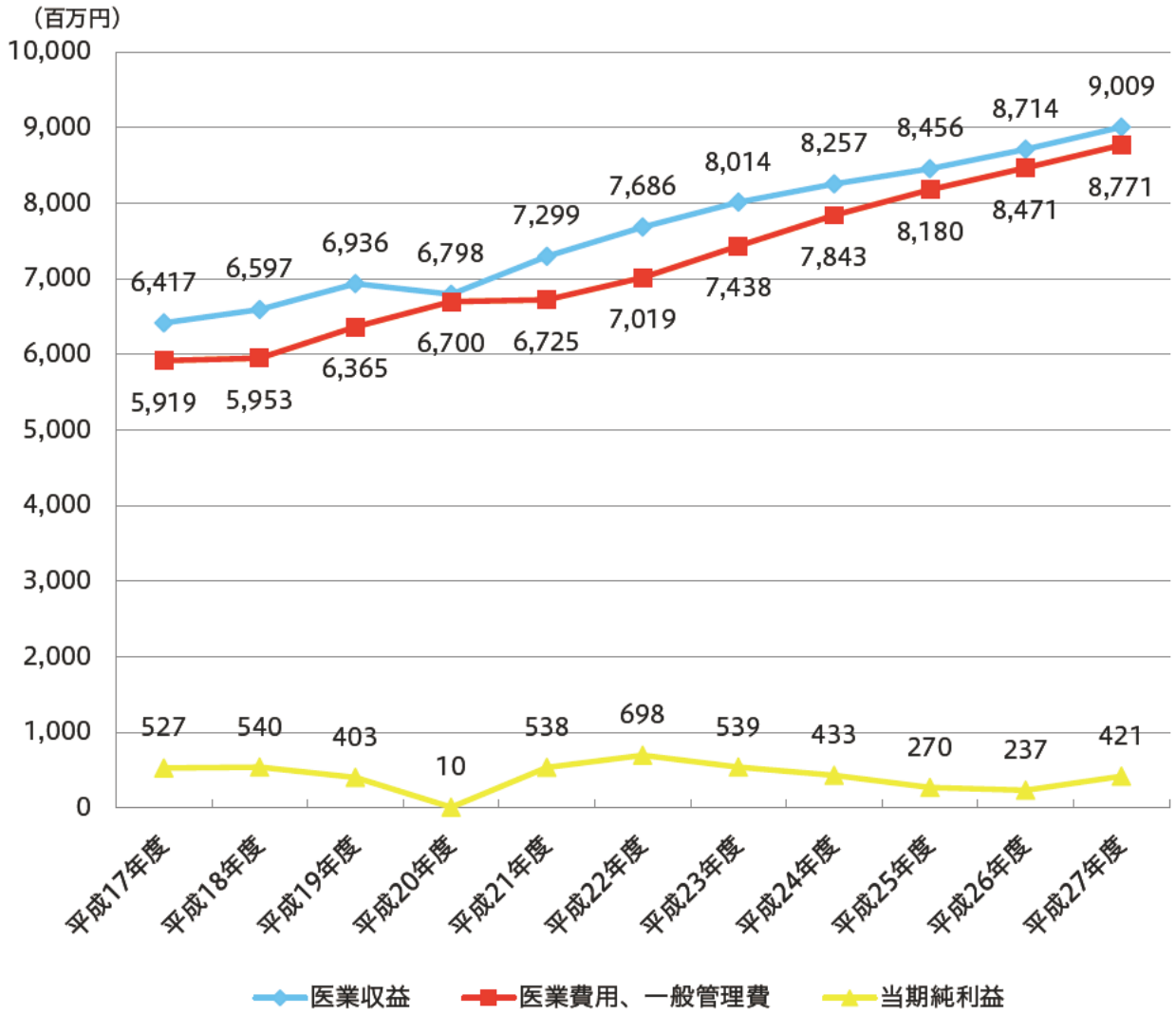
2015/09/05沖縄県総合防災訓練

2015/09/01総合防災訓練における
大規模地震時医療活動訓練

2015/12/03
航空機事故対処部分訓練

2015/11/08
九州・沖縄ブロックDMAT実動訓練

財務状況推移



※平成 24 年度より、ハートライフ病院単体の医業収入（本体収入）のみの掲載に変更いたしました。
データの都合上、平成 23 年度までは医業収益以外の収入が含まれています。

社会医療法人かりゆし会　平成 27 年度の活動実績

(データ作成　総務課　吉川)

日付	名称
2015 年 4 月 1 日	入職式・新入職員オリエンテーション (1 日目)
2015 年 4 月 1 日	新入職者歓迎会
2015 年 4 月 1 日	春季 職員健診 (35 歳未満 : 4/1 ～ 11、35 歳以上 : 4/1 ～ 30)
2015 年 4 月 1 日	膵臓外科・腎臓内科・音声外来 (耳鼻咽喉科) を開設
2015 年 4 月 2 日	新入職員オリエンテーション (2 日目)
2015 年 4 月 27 日	院内合同慰霊祭
2015 年 4 月 28 日	小児疾患勉強会
2015 年 5 月 13 日	救急症例検討会
2015 年 5 月 15 日	院内感染対策講演会「①標準予防策を知ろう　②手指衛生から始めよう」 講師 : 普天間　光彦　呼吸器内科部長
2015 年 5 月 18 日	リンパ浮腫看護外来を開設
2015 年 5 月 21 日	消化器症例検討会
2015 年 5 月 21 日	事業計画説明会 (役職者対象)
2015 年 5 月 29 日	講演会「診療支援のための Qikview 活用事例」 講師 : 岩淵 勝好先生　山形市立病院済生館 呼吸器内科医長
2015 年 5 月 29 日	講演会「下肢静脈疾患の診断と治療」 講師 : 八巻　隆先生　東京女子医科大学形成外科准教授
2015 年 6 月 1 日	東部消防組合消防本部との 12 誘導心電図・画像伝送システムの運用を開始
2015 年 6 月 2 日	科別実績報告会 (1 日目)
2015 年 6 月 3 日	〃　(2 日目)
2015 年 6 月 9 日	医療安全講演会「医療におけるヒューマンエラー」 講師　久場　良也　副院長
2015 年 6 月 22 日	当院小児科医が乳幼児健康診査功労賞を受賞
2015 年 6 月 22 日	講演会「時間を意識した外傷診療」 講師 : 船曳 知弘先生　済生会横浜東部病院救急科副部長
2015 年 6 月 27 日	「住宅型有料老人ホームはーとらいふ」「デイサービスはーとらいふ」開設祝賀会及び内覧会
2015 年 6 月 27 日	第 19 回　日本外科病理学会　沖縄支部会　市民公開講座 演題 : 大腸癌 (歴史と雑学)　講師 : 阿嘉　裕之　大腸・肛門外科医長
2015 年 7 月 1 日	中城北中城消防本部との 12 誘導心電図・画像伝送システムの運用を開始
2015 年 7 月 2 日	講演会「回って回って回って回る…めまい !」 講師 : 林 寛之先生　福井大学医学部附属病院総合診療部 教授
2015 年 7 月 8 日	第 2 回 クリニカルパス大会 「普及に向けて」～見えてきた課題～
2015 年 7 月 13 日	小児疾患勉強会
2015 年 7 月 22 日	卓球大会 (健康増進委員会)
2015 年 7 月 23 日	院内献血
2015 年 7 月 23 日	消化器症例検討会
2015 年 7 月 24 日	卓球大会 (健康増進委員会)
2015 年 7 月 27 日	「火災訓練に向けての事前講習会」
2015 年 7 月 29 日	地域医療支援病院運営委員会
2015 年 7 月 30 日	院内火災訓練
2015 年 8 月 4 日	講演会「臨床倫理について　～寛義ケアと倫理～」 講師 : 金城 隆展先生　琉球大学医学部附属病院 臨床心理士
2015 年 8 月 7 日	血液疾患研修会
2015 年 8 月 11 日	講演会「血液を介して起こる医療関連感染　～肝炎ウィルス感染の基礎知識～」 佐久川　廣　副院長
2015 年 8 月 12 日	緩和ケア看護講演会「患者の意思決定支援」について 講師 : 屋良 尚美先生　沖縄県立中部病院 緩和ケア認定看護師
2015 年 8 月 15 日	新入職員歓迎 ビアフェスタ (ユインチホテル南城)
2015 年 8 月 20 日	第 91 回中部合同カンファレンス 演題 1　「当院における RRT の取り組み」 演者　　社会医療法人敬愛会　中頭病院　救急部　仲村　尚司　先生 演題 2　「肝癌に対する肝動脈化学塞栓療法」 演者　　社会医療法人かりゆし会　ハートライフ病院　放射線科部長　高良　誠　先生
2015 年 8 月 21 日	救急医療講演会「救急医療に待ったなし ～臨床・行政の視点から～」 講師 : 亀山 大介先生　厚生労働省医政局　救急医療対策専門官

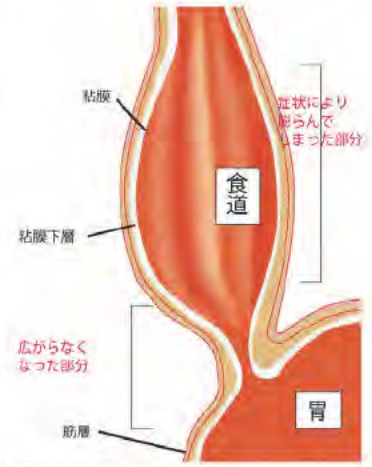
日付	名称
2015 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院２７周年
2015 年 9 月 11 日	講演会「膵癌の診断と治療の最前線」 講師：伊佐地 秀司先生　三重大学肝胆膵・移植外科 教授
2015 年 9 月 16 日	講演会「テーラーメイド医療における形成再建手術の多様化」 講師：櫻井 裕之先生　東京女子医科大学形成外科主任教授
2015 年 9 月 25 日	中城北中城消防署による立入検査
2015 年 9 月 26 日	公益社団法人 日本人間ドック学会「人間ドック・健診施設機能評価」認定を取得
2015 年 10 月 1 日	「地域医療連携懇談会」　エリスリーナ西原ヒルズガーデン
2015 年 10 月 1 日	民間病院初の「経口内視鏡的筋層切開術（POEM/ ポエム）」の先進医療 A 認定を取得（県内初･全国 7 番目）
2015 年 10 月 6 日	救急症例検討会
2015 年 10 月 10 日	第 5 回 かりゆし会職員大運動会　吉の浦体育会館
2015 年 10 月 15 日	院内研究発表会 事務部予選会
2015 年 10 月 16 日	化学療法講演会「切れ目のないがん医療を目指して」 講師：篠崎 勝則先生　県立広島病院 臨床腫瘍科
2015 年 10 月 23 日	院内研究発表会 医療技術部予選会
2015 年 10 月 28 日	院内研究発表会 看護部予選会
2015 年 11 月 13 日	第 22 回 院内研究発表会　「心と心を結ぶ信頼される医療」　～質を高く そして効率良い業務を目指して～
2015 年 11 月 20 日	メンタルヘルス研修会「ハートライフ病院 笑顔の改革」 講師：鈴木 紀之先生　筑波メディカルセンター事務局長
2015 年 11 月 21 日	緩和ケア研修会
2015 年 11 月 26 日	消化器症例検討会
2015 年 11 月 27 日	医療監視（中部保健所による立入検査）
2015 年 12 月 3 日	医療事故調査制度セミナー　講師：損保ジャパン
2015 年 12 月 9 日	大規模災害訓練
2015 年 12 月 18 日	M & Mカンファレンス　「食道癌術後 心タンポナーデを起こした一例」
2015 年 12 月 19 日	かりゆし会大忘年会　エリスリーナ西原ヒルズガーデン
2015 年 12 月 26 日	ハートライフ病院増改築工事起工式
2015 年 12 月 30 日	御用納め 納会
2016 年 1 月 4 日	仕事始め
2016 年 1 月 8 日	新春もちつき大会
2016 年 1 月 12 日	地域医療連携のためのＷｅｂシンポジウム
2016 年 1 月 12 日	手洗い講習会
2016 年 1 月 27 日	院内献血
2016 年 1 月 28 日	消化器症例検討会
2016 年 2 月 2 日	勉強会「平成 28 年度診療報酬改定の最新動向と対応策」
2016 年 2 月 5 日	講演会「食道内圧検査の基本」 講師：秋山 純一先生　国立国際医療研究センター　消化器内科
2016 年 2 月 26 日	講演会「意識改革とチーム医療による病院経営改善」 講師：世古口 務先生　松坂市民病院 総合企画室副室長・診療部経営担当
2016 年 3 月 10 日	地域医療連携講演会 演題Ⅰ　「心電図・画像伝送システム導入の効果」 ハートライフ病院　救急総合診療部　副部長　三戸　正人 演題Ⅱ　「心電図伝送装置（スクナ）の活用について」 東部消防組合消防本部　救急救命士　翁長　寿人　氏
2016 年 3 月 18 日	講演会「フットケア外来に必要なコンセプトと創傷除圧・フットウェアの実際」 講師：岡橋 伸浩先生　（株）アステム　事業開発部部長
2016 年 3 月 18 日	講演会「明日から使える！薬剤を使わない超音波ガイド下注射の実際」 講師：皆川 洋至先生　城東整形外科 診療部長
2016 年 3 月 23 日	卒後臨床研修終了式
2016 年 3 月 23 日	卒後臨床研修修了パーティ　エリスリーナ西原ヒルズガーデン
2016 年 3 月 24 日	消化器症例検討会

食道アカラシア等に対する経口内視鏡的筋層切開術（POEM）

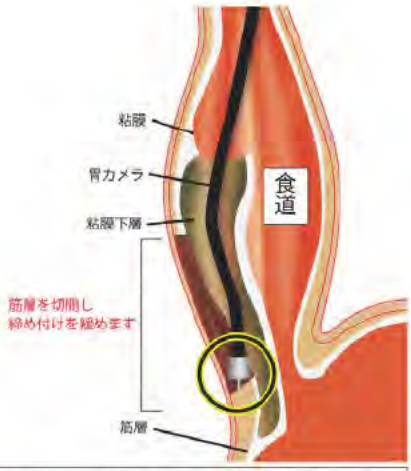
ハートライフ病院が全国で 7 番目、民間病院として初の先進医療 A として実施が可能になりました（平成 27 年 10 月 1 日認定）。

食道アカラシアとは

下部食道の狭窄により、食物の通過障害、嘔吐、胸痛、誤嚥性肺炎を生じる珍しい病気で、約１０万人に１人の割合で発症すると言われています。内視鏡検査だけでは診断がつきにくく、食道造影と食道内圧検査を併用して診断を行います。



食道下部が広がらなくなることで、胃に食物が落ちにくくなります。



胃カメラで粘膜と筋肉の間（粘膜下層）にトンネルを作り胃側の内輪筋を切開することで、締め付けが緩み、食物が胃へ落ちるようになります。

POEM とは

経口内視鏡的筋層切開術のことで、開胸や腹腔鏡手術よりもさらに低侵襲な、胃カメラによる治療方法です。昭和大学横浜市北部病院ほか、全国６つの大学病院にて、先進医療として 600 症例以上の良好な治療成績があります。

先進医療 A としての実施承認施設

昭和大学横浜市北部病院
福岡大学病院
長崎大学病院
大分大学医学部附属病院
昭和大学江東豊洲病院
新潟大学医歯学総合病院
ハートライフ病院

2015 年 10 月 15 日　沖縄タイムス

食道の病気治療
先進医療認定
内視鏡使い患者負担軽減
ハートライフ病院、県内初

2015 年 10 月 14 日　琉球新報

食道治療で先進認定
ハートライフ病院
県内初　痛み軽減「ポエム法」

部署別業務実績

医　局

部門紹介

平成 27 年度の医局は病院の中心部署として頑張ってきました。その構成は内科 20 名（内科初診担当 1 名、呼吸器 3 名、循環器 4 名、消化器 6 名、血液 5 名、腎臓内科 1 名）、外科 12 名、麻酔科 3 名、整形外科 5 名、産婦人科 4 名、小児科 3 名、脳神経外科 2 名、泌尿器科 1 名、眼科 2 名、耳鼻咽喉科 1 名、形成外科 3 名、放射線科 2 名、救急科 2 名（1 名は兼任）、心療内科 1 名、人間ドック 3 名、人工透析内科 1 名、病理診断科 1 名、初期研修医 11 名の計 77 名となっていました。

年間 145,053 名の外来患者、8,787 名の入院患者、2,507 件の救急搬送患者の診察をしています。また、初期研修医 11 名、後期研修医 3 名の指導に加え、年間 60 名程のクリニカルクラークシップ（琉球大学医学部生）に対応しています。

医師数（常勤）

（平成 27 年 4 月現在）

	内科	外科	救急科	小児科	産婦人科	整形外科	脳神経外科	泌尿器科	耳鼻咽喉科	眼科	放射線科	心療内科	麻酔科	予防医学	人工透析	形成外科	病理診断科	合計
全医師数（初期研修医除く）	20	12	2	3	4	5	2	1	1	2	2	1	3	3	1	3	1	66
うち各種学会認定指導医数	9	8	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	1	0	24
うち臨床研修指導医数	16	6	2	2	2	2	2	1	0	1	1	1	2	1	1	1	0	41
後期専門研修医	1	0											1			1		3
初期研修医	1年目：5名　2年目：6名																	11

医局方針

1. 患者の安全・QOL を第一とし、インフォームドコンセントによる良好な信頼関係を確立する。
2. 自己の専門性の確立のため学会活動など自己研鑽に励み、専門性の提供によりチーム医療を行う。
3. 地域の医療機関、保健、福祉施設との連携を積極的に行う。
4. 他部署との交流・院内行事への参加を積極的に行う。
5. 健全な医療経営の意識を持ち、院内各会議に積極的に参加する。

活動実績

Journal Club（抄読会 / 毎週水曜日　8:00 ～ 8:30 ）

年	月日	担当者	演題名
2015 年（H27）	4 月 1 日	上原　博香	電解質異常、横紋筋融解症、急性腎不全、肝障害、消化器症状、脳症を伴ったレジオネラ肺炎の 1 例
	4 月 8 日	立津　朝成	腹膜炎を発症せず、局所麻酔下に摘出し得た魚骨による消化管穿通の1例
	4 月 15 日	田中　悠也	食道癌が疑われた亜急性甲状腺炎の一例
	4 月 22 日	普久原　朝規	特発性大網出血が疑われた 1 例
	5 月 13 日	末吉　健次	スポーツ頭部外傷、脳震盪について
	5 月 20 日	花城　直次	絞扼性イレウス
	5 月 27 日	渡慶次　学	変形性肘関節症
	6 月 3 日	高良　誠	新しい MRI の使用報告
	6 月 10 日	佐久川　廣	自己骨髄細胞を用いた肝硬変治療の臨床研究
	6 月 17 日	武田　理	異所性子宮内膜症
	6 月 24 日	銘苅　正	病院前医療（救護）体制におけるメディカルコントロール～MC理解のために～
	7 月 1 日	嘉手苅　由梨	硬膜外自己血パッチ（ブラッドパッチ）
	7 月 8 日	仲吉　博亮	プロカルシトニンにおける検討
	7 月 15 日	耒田　美和	肺の真菌症の症例
	7 月 22 日	上笹　航	t-PA 療法無効時の再開通療法について
	7 月 29 日	安里　義秀	乳児の急性胃腸炎
	8 月 5 日	溝渕　貴俊	壊死性筋膜炎について
	8 月 12 日	尾下　陽大	上行結腸癌多発骨転移の1例
	8 月 19 日	柴田　大介	いわゆるメタボではないＮＡＳＨ
	8 月 26 日	張　同輝	血液透析についてわかりやすくしてみました
	9 月 2 日	久場　良也	医療事故発生時の対応について
	9 月 9 日	林　健太郎	褥瘡について
	9 月 16 日	林　裕樹	胆石イレウスの2例
	9 月 30 日	平塚　宗久	舌腫脹を来した血管性浮腫の一例
	10 月 7 日	梁　英樹	膵外科とわたし　自己紹介を兼ねて
	10 月 14 日	城間　丈二	当院における自己骨髄細胞投与療法の治療成績
	10 月 21 日	照屋　明子	コンタクトレンズ関連　感染性角膜潰瘍
	10 月 28 日	三戸　正人	救急／集中治療の基本
	11 月 4 日	狩俣　かおり	造血幹細胞移植におけるドナー
	11 月 11 日	比嘉　章子	脂質異常症
	11 月 18 日	川満　豊	日本版新生児蘇生法ガイドライン　2015 改正点のポイント
	11 月 25 日	名嘉山　裕子	原発性マクログロブリン血症の経過中に胸水貯留をきたし呼吸不全にて死亡した1例
	12 月 2 日	国吉　史雄	福島第 1・第 2 原子力発電所視察記
	12 月 9 日	宮城　純	乳酸菌と整腸剤・プロバイオティクス
	12 月 16 日	山入端　敦	血小板減少症～網血小板比率（IPF）の臨床応用～
2016 年（H28）	1 月 6 日	大西　勉	子宮頸癌検診の変化
	1 月 13 日	与座　一	新規経口抗凝固薬と心房細動
	1 月 20 日	普天間　光彦	耐性菌の現状
	1 月 27 日	宮平　工	大腸癌治療ガイドラインにおける腹腔鏡手術の位置付け
	2 月 3 日	釜野　武志	局所麻酔薬中毒（LAST）が疑われた症例
	2 月 10 日	嘉川　春生	前立腺癌の診断と治療
	2 月 17 日	西原　実	成人鼠径部ヘルニアに対する LPEC の適応拡大の試み
	2 月 24 日	阿嘉　裕之	大腸肛門外科
	3 月 2 日	湧川　林	劇症型心筋炎の1例から学んだ ECMO 導入
	3 月 9 日	牟田　宏樹	敗血症
	3 月 16 日	石川　瀬里	人工呼吸器について勉強してみました
	3 月 30 日	根間　優美	大動脈解離について

院内 CPC（臨床病理検討会）

症例	日付	担当者
原発性マクログロブリン血症の経過中に胸水貯留をきたし呼吸不全にて死亡した一例	2015 年 11 月 17 日	上原　千晶（研修医）、名嘉山先生、喜友名先生、佐久川先生、宮城純先生、折田先生、城間先生、與座先生、普天間先生、平良先生、宮城敬先生、狩俣先生、宮平先生、普久原先生、湧川先生
肺炎を契機に間質性肺炎を発症し死亡に至った1例	2016 年 2 月 23 日	立津　朝成（研修医）、宮城純先生、佐久川先生、宮城敬先生、轟先生、與座先生、秋元先生、普天間先生、名嘉山先生、仲吉先生、銘苅先生、喜友名先生、普久原先生、山田先生
ショック状態で救急搬送され剖検で出血性ショックが疑われた1例	2016 年 2 月 23 日	普久原　朝規（研修医）、宮城純先生、佐久川先生、宮城敬先生、轟先生、與座先生、秋元先生、普天間先生、名嘉山先生、仲吉先生、銘苅先生、喜友名先生、立津先生、山田先生
閉塞性黄疸を伴い胆管癌との鑑別に苦慮した肝細胞癌の 1 例	2016 年 3 月 22 日	山田　義貴（研修医）、青山先生（病理）、佐久川先生、宮城純先生、與座先生、銘苅先生、宮城敬先生、狩俣先生、轟先生、牟田先生、平良和樹先生（浦添研修医）
急性骨髄性白血病の経過中に肝硬変様の病態を発症し治療継続困難となり死亡した 1 例	2016 年 3 月 22 日	牟田　宏樹（研修医）、青山先生（病理）、佐久川先生、宮城純先生、與座先生、銘苅先生、宮城敬先生、狩俣先生、轟先生、山田先生、平良和樹先生（浦添研修医）

研修医向け教育

研修医向けに、毎週下表のスケジュールで各種ミニレクチャーを開催しています。また、外部講師を招聘して講習会を行っています。

	時間・内容	時間・内容
月曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	
火曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 画像診断レクチャー
水曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45 Journal Clab（全医師対象）
木曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45　基礎的手技
金曜日	8:00 ～ 8:15　ミニ救急症例検討会	8:15 ～ 8:45　ケースカンファレンス

画像診断ミニレクチャー

（毎週火曜日　午前 8：15 ～ 8：45 医局にて）

呼吸器内科					
胸写	正常	気胸	肺炎	腫瘍	胸水
日付	4 月 14 日	4 月 21 日	4 月 28 日	5 月 12 日	5 月 19 日
担当医	普天間　光彦				
循環器					
心電図	正常	徐脈性不整脈	頻脈性不整脈	虚血性心疾患	房室ブロック
日付	5 月 26 日	6 月 2 日	6 月 9 日	6 月 16 日	6 月 23 日
担当医	三戸正人				

外科					
腹部画像	正常	腹部外傷	肝・胆のう疾患	膵疾患	腸管
日付	6 月 30 日	7 月 7 日	7 月 14 日	7 月 21 日	7 月 28 日
担当医	西原　実				
整形外科					
骨単純（骨折・脱臼）	上肢	下肢	大腿骨	椎体	骨盤
日付	9 月 1 日	9 月 8 日	9 月 15 日	9 月 29 日	10 月 6 日
担当医	川越得弘	久保田　徹也	立花　真理	渡慶次　学	
放射線科					
診断学	診断学	診断学	診断学	診断学	診断学
日付	10 月 13 日	10 月 20 日	10 月 27 日	11 月 10 日	11 月 17 日
担当医	高良誠				
脳神経外科					
頭部画像	正常	脳出血	SAH・硬膜下出血	脳梗塞	脳腫瘍
日付	11 月 24 日	12 月 1 日	12 月 8 日	12 月 15 日	12 月 22 日
担当医	末吉健次	上笹　航			末吉健次
呼吸器内科					
胸部ＣＴ	正常	気胸	肺炎	肺腫瘍	縦隔腫瘍
日付	1 月 5 日	1 月 12 日	1 月 19 日	1 月 26 日	2 月 2 日
担当医	名嘉山　裕子				
放射線科					
シンチ	骨シンチ	Ｇａシンチ	心筋シンチ	出血シンチ	肺血流シンチ
日付	2 月 9 日	2 月 16 日	2 月 23 日	3 月 1 日	3 月 8 日
担当医	高良　誠				

基礎的手技（毎週木曜日　午前 8:15 ～ 8:45　医局にて）

内容	日付	担当	講師・担当医
Common disease	2015 年 4 月 16 日	研修医（2 年目）	田中悠也
Common disease	2015 年 4 月 23 日	研修医（2 年目）	上原千晶
グラム染色の検鏡所見	2015 年 4 月 30 日	呼吸器	仲吉 博亮
熱中症・低体温	2015 年 5 月 7 日	研修医（2 年目）	上原千晶
高血糖緊急症・低血糖	2015 年 5 月 14 日	研修医（2 年目）	伊藤誠
急性呼吸不全　ＡＬＩ／ＡＲＤＳ	2015 年 5 月 21 日	研修医（2 年目）	普久原朝規
喘息発作	2015 年 5 月 28 日	研修医（2 年目）	上原千晶
急性腹症	2015 年 6 月 4 日	研修医（2 年目）	立津朝成
肺血栓塞栓症	2015 年 6 月 11 日	研修医（2 年目）	上原博香
高血圧緊急症	2015 年 6 月 18 日	研修医（2 年目）	伊藤誠
ＩＶＨの挿入方法	2015 年 6 月 25 日	麻酔科	釜野武志
心電図の解釈とその処置	2015 年 7 月 2 日	循環器	三戸正人
導尿・尿道カテーテルの挿入方法	2015 年 7 月 9 日	泌尿器科	嘉川春生
消毒と縫合	2015 年 7 月 16 日	外科	林裕樹
外来における緊急止血方法	2015 年 7 月 23 日	外科	国吉史雄
形成外科的縫合①	2015 年 7 月 30 日	形成外科	東盛貴光
腰椎穿刺の実際	2015 年 9 月 3 日	麻酔科	嘉手苅由梨
輸血の適応	2015 年 9 月 10 日	血液内科	宮城敬
外来における鼻出血止血方法	2015 年 9 月 17 日	耳鼻科	平塚宗久

内容	日付	担当	講師・担当医
経鼻・経口胃管・イレウスチューブ挿入方法と胃洗浄	2015 年 9 月 24 日	外科	阿嘉裕之
耳鏡の見方と異物除去（鼻腔・耳腔・咽頭・気管）	2015 年 10 月 1 日	耳鼻科	平塚宗久
骨折と福木固定	2015 年 10 月 8 日	整形外科	渡慶次学
直腸診・肛門鏡の取り扱い	2015 年 10 月 15 日	外科	阿嘉裕之
機械的人工呼吸方法	2015 年 10 月 22 日	呼吸器	普天間光彦
形成外科的縫合②	2015 年 10 月 29 日	形成外科	東盛貴光
形成外科的縫合③	2015 年 11 月 5 日	形成外科	東盛貴光
動脈ラインのとり方と圧測定の方法・中心静脈圧の測定方法	2015 年 11 月 12 日	麻酔科	釜野武志
腹腔穿刺法	2015 年 11 月 19 日	消化器	佐久川廣
骨髄穿刺および生検方法	2015 年 11 月 26 日	血液内科	平良直也
眼底の見方とその所見	2015 年 12 月 3 日	眼科	親川格
緊急ﾍﾟｰｽﾒｰｶｰ挿入と設定の仕方	2015 年 12 月 10 日	循環器	三戸正人
腹腔臓器破裂・損傷	2015 年 12 月 17 日	外科	花城直次
緊急透析の判断と適応	2015 年 12 月 24 日	泌尿器科	嘉川春生
胸腔穿刺とトロッカーカテーテルの挿入方法	2016 年 1 月 7 日	呼吸器	普天間光彦
切開とドレナージ	2016 年 1 月 14 日	外科	林裕樹
気管切開法と輪状甲状間膜穿刺法	2016 年 1 月 21 日	救急	銘苅正
眼内異物と眼外傷	2016 年 1 月 28 日	眼科	親川格
内視鏡（ＧＦ・ＣＦ）の適応とその前処置	2016 年 2 月 4 日	消化器	折田均
ｽﾜﾝｶﾞﾝﾂｶﾃｰﾃﾙの適応とその解釈	2016 年 2 月 18 日	循環器	三戸正人
気管支鏡の適応とその前処置	2016 年 2 月 25 日	呼吸器	普天間光彦

ケースカンファレンス（毎週金曜日　午前 8:15 ～ 8:45　医局にて）

内容	日付	担当	講師・担当医
Common disease	2015 年 4 月 17 日	研修医（2 年目）	田中悠也
Common disease	2015 年 4 月 24 日	研修医（2 年目）	田中悠也
アナフィラキシーショック	2015 年 5 月 1 日	研修医（2 年目）	田中悠也
敗血症	2015 年 5 月 8 日	研修医（2 年目）	普久原朝規
抗生剤の使い方	2015 年 5 月 15 日	呼吸器	仲吉 博亮
急性中毒	2015 年 5 月 22 日	研修医（2 年目）	普久原朝規
徐脈・頻脈	2015 年 5 月 29 日	研修医（2 年目）	上原博香
吐血・下血	2015 年 6 月 5 日	研修医（2 年目）	立津朝成
急性冠症候群	2015 年 6 月 12 日	研修医（2 年目）	伊藤誠
急性心不全	2015 年 6 月 19 日	研修医（2 年目）	上原博香
脳血管障害	2015 年 6 月 26 日	脳外科	上笹航
気胸	2015 年 7 月 3 日	呼吸器	普天間光彦
脊髄損傷について	2015 年 7 月 10 日	整形外科	渡慶次学
裂傷・刺傷・挫創	2015 年 7 月 17 日	外科	尾下陽大
小児科	2015 年 7 月 24 日	小児科	国島知子
子宮外妊娠・救急で見る産婦人科疾患	2015 年 7 月 31 日	産婦人科	喜久本藍
肺炎	2015 年 9 月 4 日	呼吸器	普天間光彦
急性腹症・消化管穿孔	2015 年 9 月 11 日	外科	宮平工
めまい・救急でみる耳鼻咽喉科	2015 年 9 月 18 日	耳鼻咽喉科	平塚宗久
多発骨折	2015 年 9 月 25 日	整形外科	渡慶次学
甲状腺機能亢進症　※クリニックにて	2015年10月3日(土)	DM	山本壽一
せん妄	2015 年 10 月 9 日	心療内科	菅野善一郎
小児科	2015 年 10 月 16 日	小児科	川満豊
尿管結石の救急	2015 年 10 月 23 日	泌尿器科	嘉川春生
急性膵炎	2015 年 10 月 30 日	消化器	宮城純
出血傾向・DIC	2015 年 11 月 6 日	血液内科	宮城敬
急性肝炎	2015 年 11 月 13 日	消化器	城間丈二
解離性大動脈瘤	2015 年 11 月 20 日	循環器	三戸正人
小児科	2015 年 11 月 27 日	小児科	国島知子
頭痛	2015 年 12 月 11 日	脳外科	末吉健次
救急でみる眼科疾患	2015 年 12 月 18 日	眼科	照屋明子

内容	日付	担当	講師・担当医
喀血	2015 年 12 月 25 日	呼吸器	普天間光彦
認知症	2016 年 1 月 8 日	心療内科	菅野善一郎
多発性外傷	2016 年 1 月 15 日	外科	国吉史雄
高カルシウム血症	2016 年 1 月 22 日	血液内科	平良直也
見落としやすい骨折	2016 年 1 月 29 日	整形外科	渡慶次学
腰痛	2016 年 2 月 5 日	脳外科	屋比久博巳
胆石・胆嚢炎・胆管炎	2016 年 2 月 12 日	消化器	柴田大介
小児科	2016 年 2 月 19 日	小児科	川満豊
卵巣捻転	2016 年 2 月 26 日	産婦人科	喜久本藍
痛風発作	2016 年 3 月 4 日	整形外科	屋比久博巳
腎臓内科症例（仮）	2016 年 3 月 11 日	腎臓内科	張同輝

外部講師による教育回診・講習会

研修・勉強会名	内容	主催	開催日	参加者
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 総長亀井徹正先生による教育回診（神経内科）	症例検討（52 歳男性 右片麻痺）	ハートライフ病院	2015 年 4 月 23 日	上原千晶、普久原朝規、山田義貴、湧川林、根間優美、医学生 6 年次 4 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（28 歳女性 発熱、倦怠感）	群星沖縄プロジェクト	2015 年 5 月 7 日	普久原朝規、田中悠也、山田義貴、牟田宏樹、湧川林、院外研修医 1 名、医学生 6 年次 5 名
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 総長亀井徹正先生による教育回診（神経内科）	症例検討（80 歳男性 ものわすれ）	ハートライフ病院	2015 年 5 月 28 日	石川瀬里、根間優美、牟田宏樹、湧川林、医学生 6 年次 5 名
スタンフォード大学チーフレジデント Dr. Boonyaratanakornkit【Jim Boonyaratanakornkit, MD/ Chief Resident, Clinical Instructor of Medicine Stanford University】による教育回診	症例検討（65 歳女性 腹部膨満感、便秘、腹痛、体重減少） ※英語にてプレゼン	群星沖縄プロジェクト	2015 年 6 月 2 日	Dr. B（講師）、宮城征四郎先生、群星沖縄宮里事務長、茨城県研修医 4 名 上原博香（発表）、立津朝成、石川瀬里、根間優美、牟田宏樹、山田義貴、湧川林、医学生 5 年次 3 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（82 歳女性 湿性咳嗽、呼吸苦、倦怠感）	群星沖縄プロジェクト	2015 年 6 月 11 日	上原博香、石川瀬里、根間優美、牟田宏樹、山田義貴、湧川林、医学生 6 年次 5 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（86 歳女性 発熱、下痢、腰背部痛）	群星沖縄プロジェクト	2015 年 7 月 2 日	立津朝成、石川瀬里、根間優美、牟田宏樹、山田義貴、医学生 6 年次 5 名
福井大学医学部附属病院救急総合診療部教授林寛之による講演会	回って回って回って回る・・・めまい！	ハートライフ病院	2015 年 7 月 2 日	参加者 103 名
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 総長亀井徹正先生による教育回診（神経内科）	症例提示（85 歳男性 ふらつき）	ハートライフ病院	2015 年 8 月 13 日	上原千晶、根間優美、牟田宏樹、山田義貴
総合診療医学教育研究所　所長　兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長　徳田安春先生による教育回診	症例検討① 52 歳男性 頭痛、計算が出来ない（呼吸器内科後期研修医） 症例検討② 35 歳男性 発熱、頭痛、咽頭痛（初期研修医）	群星沖縄プロジェクト	2015 年 9 月 8 日	仲吉博亮、伊藤誠、上原千晶、石川瀬里、根間優美、牟田宏樹、山田義貴、湧川林、院外研修医 1 名、医学生 6 年次 2 名
福井大学医学部付属病院　地域医療推進講座教授　兼　群星沖縄臨床研修センター副センター長　寺澤秀一先生による教育回診	症例検討（86 歳男性 左大腿部痛）	群星沖縄プロジェクト	平成２７年1月16日	仲吉博亮、伊藤誠、上原千晶、上原博香、田中悠也、立津朝成、普久原朝規、院外研修医 4 名
一般社団法人群星沖縄臨床研修センター センター長 宮城征四郎先生による教育回診	症例検討（84 歳女性 突然の呼吸苦）	群星沖縄プロジェクト	2015 年 10 月 16 日	上原博香、田中悠也、石川瀬里、根間優美、牟田宏樹、山田義貴、湧川林、院外研修医 3 名

研修・勉強会名	内容	主催	開催日	参加者
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 総長亀井徹正先生による教育回診（神経内科）	ベッドサイド症例検討	ハートライフ病院	2015 年 11 月 19 日	普久原朝規、立津朝成、上原博香、石川瀬里、根間優美
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 総長亀井徹正先生による教育回診（神経内科）	症例検討（19 歳　頭痛、痙攣）	ハートライフ病院	2015 年 12 月 17 日	普久原朝規、石川瀬里、根間優美
聖路加国際病院　アレルギー・膠原病科 医長　岸本 暢将先生によるプレゼン回診	症例提示（65 歳　突然発症の腰痛、発熱）	群星沖縄プロジェクト	2015 年 12 月 28 日	石川瀬里、根間優美、牟田宏樹、山田義貴、湧川林
スタンフォード大学ホスピタリスト Dr. Hosamani【Poonam Hosamani, MD/ Clinical Instructor of Medicine Stanford University】による教育回診	症例検討（52 歳男性 腹部膨満感、背部痛、吐き気、呼吸苦）※英語にてプレゼン	群星沖縄プロジェクト	2016 年 1 月 12 日	Dr. Hosamani（講師）、宮城征四郎先生、群星沖縄宮里事務長、新潟県研修医 4 名（糸魚川総合病院）、立津朝成、石川瀬里、根間優美（発表）、牟田宏樹、山田義貴、湧川林、院外研修医 4 名
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 総長亀井徹正先生による教育回診（神経内科）	症例検討（頭痛）	ハートライフ病院	2016 年 1 月 21 日	石川瀬里、根間優美、牟田宏樹、院外研修医 2 名、医学生 5 年次 4 名
総合診療医学教育研究所　所長　兼 群星沖縄臨床研修センター副センター長　徳田安春先生による教育回診	症例検討　（88 歳女性　意識レベル低下）※患者さん講堂まで降りてきてもらい診察	群星沖縄プロジェクト	2016 年 2 月 2 日	奥島院長、轟先生、仲吉先生、伊藤誠、上原博香、上原千晶、田中悠也、普久原朝規、立津朝成、根間優美、牟田宏樹、山田義貴、湧川林、院外研修医 4 名、医学生 5 年次 6 名
医療法人徳洲会 湘南藤沢徳洲会病院 総長亀井徹正先生による教育回診（神経内科）	症例検討（61 歳女性 左の顔が引きつる、右眼が閉じ難い）	ハートライフ病院	2016 年 2 月 18 日	伊藤誠、上原千晶、石川瀬里、牟田宏樹、山田義貴、医学生 5 年次 4 名

研修医学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
免疫組織化学染色により MYC 蛋白、BCL2 蛋白の高発現を認めたびまん性体細胞型 B 細胞リンパ種の1例	第309回日本内科学会九州地方会	福岡県	2015 年 5 月 30 日	普久原朝規、宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり、平良直也、佐久川廣（医療法人かりゆし会ハートライフ病院）大島孝一（久留米大学病理学教室）
可溶性 IL2 レセプター高値を認めた汎血救減少症	第 119 回沖縄県医師会医学会	沖縄県	2015 年 6 月 14 日	普久原朝規、宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり、平良直也、佐久川廣
原発性肝癌の胃前庭部浸潤をきたした１例	第 119 回沖縄県医師会医学会	沖縄県	2015 年 6 月 14 日	伊藤誠、圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、折田均、柴田大介、佐久川廣
特発性大綱出血が疑われた１例	第 119 回沖縄県医師会医学会	沖縄県	2015 年 6 月 14 日	上原千晶、宮平工、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岻安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
若年ＧＩＳＴの１例	第 119 回沖縄県医師会医学会	沖縄県	2015 年 6 月 14 日	立津朝成、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岻安勝、宮平工、西原実、花城直次、奥島憲彦
電解質異常、横紋筋融解症、急性腎不全、肝障害、消化器症状、脳症を伴ったレジオネラ肺炎の１例	第 119 回沖縄県医師会医学会	沖縄県	2015 年 6 月 14 日	上原博香、仲吉博亮、新垣珠代、上地華代子、名嘉山裕子、大濱昌代、普天間光彦、金城武士、比嘉太、藤田次郎（琉球大学医学部）
食道癌が疑われた亜急性甲状腺炎の一例	第 105 回日本消化器病	長崎県	5015 年 6 月 19 日	田中悠也、奥島憲彦、上原千晶、国吉史雄、中川裕、澤岻安勝、阿嘉裕之、花城直次、宮平工、西原実、久高弘志
UDCA 内服中に急性増悪を起こしたオーバーラップ症候群の１例	第 105 回日本消化器病	長崎県	5015 年 6 月 19 日	伊藤誠、城間丈二、仲本学、宮城純、折田均、柴田大介、佐久川廣（ハートライフ病院）圓若修一（琉球大学第一内科）
悪性胃十二指腸閉塞に対して十二指腸ステントを留置した２例	第 310 回日本内科学会九州地方会	佐賀県	2015 年 8 月 29 日	上原千晶、折田均、柴田大介、城間丈二、仲本学、宮城純、佐久川廣
当院で経験した有毛細胞白血病４例	第 77 回日本血液学会学術集会	石川県	2015 年 10 月 16 日	上原千晶、宮城敬、山入端敦、大濱昌代、狩俣かおり、平良直也（医療法人かりゆし会ハートライフ病院）板村英和、木村晋也（佐賀大学）
心タンポナーデ発症を契機に診断に至った APS を合併した活動期 SLE の一例	第 43 回日本救急医学会総会	東京都	2015 年 10 月 21 日	伊藤誠、三戸正人、菅谷明子、銘苅正
カテーテルアブレーション１年後に肺静脈狭窄を発症した１例	第 311 回内科学会九州地方会	長崎県	2015 年 11 月 15 日	山田義貴、普天間光彦、仲吉博亮、名嘉山裕子、
ESD を行った直腸粘膜症群の１例	第 100 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2015 年 12 月 4 日	田中悠也、柴田大介、城間丈二、宮城純、佐久川廣
ハーセプチン投与後に心肺停止をきたした HER2 陽性乳癌の一例	第 119 回日本循環器学会九州地方会	福岡県	2015 年 12 月 5 日	根間優美、三戸正人
経口内視鏡的筋層切開術（POEM）を施行したびまん性食道痙攣症の１例	第 100 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2015 年 12 月 4 日	牟田宏樹、奥島憲彦、根間優美、上原博香、林裕樹、尾下陽大、国吉史雄、白石牧子、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、西原実（ハートライフ病院）湧田森明（わくさん内科）
高ガストリン血症を伴う胃カルチノイドの１例	第 100 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2015 年 12 月 4 日	山田義貴、奥島憲彦、根間優美、上原博香、林裕樹、尾下陽大、国吉史雄、白石牧子、野村寛徳、阿嘉裕之、花城直次、梁英樹、宮平工、西原実（ハートライフ病院）郷克己(徳洲会新都心クリニック健康管理センター)
糖尿病患者に生じた第１趾骨髄炎の救趾例と切断例の比較検討	第 120 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2015 年 12 月 13 日	上原千晶、溝渕貴俊、林健太郎、東盛貴光
埋め込み後１年で断裂が確認された Pinch-off syndrome の一例	第 120 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2015 年 12 年 13 日	普久原朝規、三戸正人、秋元芳典、與座一

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における肝細胞癌に対する冠動脈塞栓療法（TACE）併用ラジオ波焼却療法（RFA）と RFA 単独療法の治療成績の比較検討	第 120 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2015 年 12 年 13 日	上原博香、高良誠、未田美和、柴田大介、城間丈二、佐久川廣、宮平工、西原実、奥島憲彦
下行結腸人口肛門造設術後に人口肛門から脱出し壊死になった腸重積症の一例	第 120 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2015 年 12 年 13 日	根間優美、花城直次、林裕樹、尾下陽大、国吉史雄、阿嘉裕之、宮平工、西原実、梁英樹、奥島憲彦
気胸を契機に発券された肺結核の一例	第 120 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2015 年 12 年 13 日	石川瀬里、仲吉博亮、名嘉山裕子、普天間光彦
メトトレキセートによる葉酸欠乏が原因と疑われた直腸潰瘍の 1 症例	第 120 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2015 年 12 年 13 日	田中悠也、柴田大介、城間丈二、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣
発熱と失神を主訴に搬送された劇症型心筋炎の 1 例	第 312 回日本内科学会九州地方会	福岡県	2016 年 1 月 16 日	湧川林、三戸正人、秋元芳典、與座一
敗血症性ショックに心肺梗塞を合併したものの集中的治療により救命した一例	第 43 日本集中治療医学会学術集会	兵庫県	2016 年 2 月 12 日	牟田宏樹、三戸正人
保存的に治癒しえた腹腔内出血の 1 例	第 52 回日本腹部救急医学会総会	東京都	2016 年 3 月 3 日	上原千晶、宮平工、林裕樹、尾下陽大、花城直次、国吉史雄、阿嘉裕之、西原実、梁英樹、野村寛徳、奥島憲彦

※各科より初期研修医のみ再掲。後期研修医の実績については、各診療科ページをご覧ください。

医師卒後臨床研修　第 11 期生（平成 26 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

（前方左より）

上　原　千　晶（琉球大学卒）

上　原　博　香（琉球大学卒）

（後方左より）

立　津　朝　成（琉球大学卒）

伊　藤　　誠（琉球大学卒）

田　中　悠　也（琉球大学卒）

普久原　朝　規（琉球大学卒）

医師卒後臨床研修　第 12 期生（平成 27 年 4 月 1 日～）

（前方左より）

石川　瀬里（鳥取大学卒）

根間　優美（琉球大学卒）

（後方左より）

山田　義貴（琉球大学卒）

牟田　宏樹（琉球大学卒）

湧川　林（琉球大学卒）

研修風景

エコー合宿

福井大学医学部附属病院救急総合診療部教授林先生講演会

クリスマス回診（呼吸器内科）

院内 JATEC・JPTEC 講習会

スタンフォード大学医師 Dr.B による教育回診

群星沖縄臨床研修センター長宮城征四郎先生による教育回診

各科概要・実績

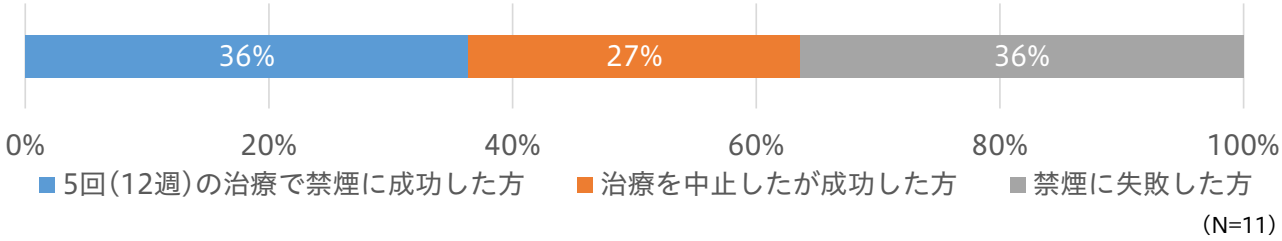
内　科

ハートライフ病院の内科は、消化器 6 名、循環器 4 名、血液 5 名、呼吸器 5 名、総合診療 1 名の体制です。それぞれの専門分野において、県内でトップレベルの診療をしております。一方で、循環器内科医が救急総合診療部の診療を兼任で行っており、幅広い疾患に対応しています。また、当院は県内に 7 病院しかない内科学会の認定教育施設になっております。

平成 22 年 10 月に非血縁者間の骨髄移植を施行できる施設として認定され、現在、沖縄県内で唯一の骨髄バンクを介した骨髄移植が可能な施設になっています。また、自己骨髄細胞投与による肝の再生療法（ABMi 療法）が臨床研究として平成 24 年 11 月に厚生労働省に認可され、平成 25 年 1 月に ABMi 療法を始めて実施し、その後症例を重ね、平成 26 年度には 6 症例に対して ABMi 療法を実施しました。今後は、これまでの 10 症例の実績を元に先進医療として厚生労働省に申請する予定です。

「内科」では、各専門内科に含まれない初診・二次精査および各種専門外来を紹介いたします。内科系の詳細なデータは、以降の各専門内科ページをご参照ください。

生活習慣病・禁煙外来



（N=11）

二次精査件数

他医療機関からの二次精査の紹介患者数※	1,336
ハートライフ病院の予防医学センターからの紹介で2次精査として当院を受診した患者数※	1,968

※診療科にかかわらず、すべての患者を含みます。

呼吸器内科

呼吸器内科は現在、医師 3 名（うち後期研修医 1 名）体制で毎日の外来診療と入院診療を行っています。対象となる疾患は肺炎、気管支炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患、気管支拡張症、慢性呼吸不全、間質性肺炎、気胸、肺癌、縦隔腫瘍等と多岐に渡っており、他疾患を合併した患者さんも多く診療しています。当科のスケジュールとしては、金曜日の午後 1 時より 7 階病棟で呼吸器内科回診を行っており、医師に加え、研修医・病棟師長・病棟リーダー・薬剤師・リハビリ・MSW と一緒に部屋を回診しています。各部署と回診する事により共通した患者認識を持ち、より良いグループ診療が出来るように目指しています。また、画像カンファレンスとして月曜日の 13 時から胸写カンファレンスを行い、水曜日 17 時からは放射線科との合同画像カンファレンスを行う事で胸写や胸部 CT の読影力向上に努めています。火曜日の午後は気管支鏡検査を施行し、呼吸器疾患の診断率向上に努めています。木曜日の午後は医師・看護師・リハビリ・臨床工学士等の各職種と連携した RST ラウンドを行っています。

医師プロフィール

（平成 27 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
呼吸器内科部長 7 階病棟医長 医局長 ＜専門外来＞睡眠時無呼吸症候群（SAS）外来	普天間　光彦	肺炎、気管支喘息、肺気腫、肺癌、肺結核	
	名嘉山　裕子	呼吸器内科一般	日本内科学会認定内科医
後期研修医	仲吉　博亮	呼吸器内科一般	

検査・治療件数

検査・治療	件数
気管支鏡検査	75

検査・治療	件数
睡眠時無呼吸外来のべ患者数	906 名

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
電解質異常、横紋筋融解症、急性腎不全、肝障害、消化器症状、脳症を伴ったレジオネラ肺炎の1例	第 119 回沖縄県医師会医学会総会	南風原町	2015 年 6 月 14 日	上原博香、仲吉博亮、新垣珠代、上地華代子、名嘉山裕子、大濱昌代、普天間光彦、金城武士、比嘉太、藤田次郎（琉球大学医学部）
カテーテルアブレーション1年後に肺静脈狭窄症を発症した 1 例	第 311 回日本内科学会九州地方会	長崎県	2015 年 11 月 15 日	山田義貴、普天間光彦、仲吉博亮、名嘉山裕子、
気胸を契機に発見された肺結核の1例	第 120 回沖縄県医師会医学会総会	南風原町	2015 年 12 月 13 日	石川瀬里、仲吉博亮、名嘉山裕子、普天間光彦

年度総括

呼吸器内科部長
普天間　光彦

平成 27 年度は年間 711 名ほどの入院患者の診療を行い、75 名の気管支鏡検査を実施しました。学会活動としては呼吸器学会に参加して見聞を広め、県医学会や日本内科学会九州地方会で演題発表を行いました。また、呼吸気同好会や胸部レントゲン勉強会等の県内での研究会へ参加し他医療機関との連携や診療の向上に努めています。教育活動として初期研修医の指導、学生への指導も積極的に行っており、ほとんどの初期研修医は当科での研修を修了しています。来年度は学会参加や県内の研究会等の院外活動をさらに活発にしていく予定です。

循環器内科

医師プロフィール

（平成 27 年 8 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
循環器内科部長	與座　一	一般循環器内科	
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸　正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師学会認定健康スポーツ医
循環器内科副部長	秋元　芳典		日本循環器学会専門医 日本内科学会総合内科専門医 日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医
	相澤　直輝 （非常勤）		
	潮平　朝洋 （非常勤）		
＜専門外来＞不整脈外来	石垣　清子 （非常勤）		

検査・治療・手術件数

検査件数一覧

	H23	H24	H25	H26	H27
ペースメーカークリニック患者数	-	-	226	221	222

	H23	H24	H25	H26	H27
冠動脈 CT	556	412	467	508	515
トレッドミル	304	85	69	82	52
ホルター心電図	229	176	187	232	236
心筋シンチ	111	149	106	140	110
経胸壁心エコー	3,085	2,827	2,778	2,796	2,605
経食道心エコー	31	34	22	24	28

治療件数一覧

	H23	H24	H25	H26	H27
経皮的冠血行再建術（PCI）	145	124	125	158	116
ペースメーカー植込み術	18	10	21	9	25
電池交換	2	6	5	2	2
一時的ペースメーカー	6	5	10	9	16
IABP	12	7	10	9	6
PCPS	3	1	4	2	6
下大静脈フィルター	5	2	0	7	2
末梢血管拡張術（PPI）	5	7	7	17	57

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
心エコーで確認できない薬剤性心筋症の描出に MIBI WOR が有効と思われた一例	第 25 回　日本心臓核医学会総会・学術集会	東京	2015 年 6 月 26 日	三戸正人、秋元芳典、與座一

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
心タンポナーデ発症を契機に診断に至った APS を合併した活動期 SLE の一例	第 43 回　日本救急医学会総会・学術集会	東京	2015 年 10 月 21 日	伊藤誠、三戸正人、銘苅正、秋元芳典、與座一
抗毒素血清が使用できず重症化したものの集学的治療により救命したハブ咬傷の一例	第 43 回　日本救急医学会総会・学術集会	東京	2015 年 10 月 21 日	三戸正人、銘苅正
ハーセプチン投与後に心肺停止をきたした HER2 陽性乳癌の一例	第 119 回　日本循環器学会九州地方会	福岡	2015 年 12 月 5 日	根間優美、三戸正人、秋元芳典、與座一
埋め込み後1年で断裂が確認された Pinch-off syndrome の一例	第 120 回　沖縄県医学会	沖縄	2015 年 12 月 13 日	普久原朝規、三戸正人、秋元芳典、與座一
発熱と失神を主訴に搬送された劇症型心筋炎の一例	第 312 回　日本内科学会九州地方会	福岡	2016 年 1 月 16 日	湧川 林、三戸正人、秋元芳典、與座 一
モバイルクラウド心電図伝送システムを利用、早期冠血行再建を行い救命した一例	第 3 回　12 誘導心電図伝送を考える会	東京	2016 年 1 月 16 日	三戸正人、秋元芳典、與座一
病院前心電図の可能性と画像伝送併用の可能性	第 1 回　沖縄クラウド型 12 誘導心電図伝送研究会	沖縄	2016 年 2 月 2 日	三戸正人、仲村義一、秋元芳典、與座一
敗血症性ショックに心筋梗塞を合併したものの集学的治療により救命した一例	第 43 回　日本集中治療医学会総会	神戸	2016 年 2 月 14 日	牟田宏樹、三戸正人
アクションカードづくりを通して CSCATTT を伝えることが災害への準備をすすめるために有効である	第 21 回　日本集団災害医学会総会	山形	2016 年 2 月 27 日	三戸正人

年度総括

循環器内科部長
與座　一

循環器内科は平成 27 年 3 月に離職した仲田先生の後、平成 26 年 7 月に秋元先生、平成 28 年 1 月に仲村先生がチームに加わり、これまでより強力な布陣となっています。平成 27 年 3 月に入職した弘岡さんの精力的な心臓リハビリへの取り組みにより入院リハビリのみでなく、外来リハビリでもさらなる充実・レベルアップがみられています。

琉球大学第Ⅲ内科より応援医師の派遣を頂いておりますが、平成 27 年度は外来のみの応援となりました。現在、潮平先生に週 1 回、循環器内科外来として応援頂いております。

係る状況の中で平成 27 年度は PCI 件数についてはやや減少しましたが、秋元先生による透析患者さんのシャントトラブルに対する積極的な血管形成術の著しい増加により、例年同様の血管形成術件数が得られております。今後はハートライフクリニックの糖尿病患者さんの循環器合併症に対して、更なる厳格な評価により心臓カテーテル検査件数が増えていくものと思われます。

救急については、銘苅先生を中心に三戸先生の院内外の取り組みによって質・量的にレベルアップが図られ、県外での講演や学会活動も活発に行われております。また、当院救急と消防の緊密な連携・活動などを参考にすべく県外からの見学者も増えつつあります。緊急カテーテル検査・治療も増えつつあり、これまで目指してきた救急から直接循環器救急への連携が順調に滑り出しているものと推測されます。循環器内科は外来＋入院患者診療以外にも、予定・緊急を含む心臓カテーテル検査、トレッドミル運動負荷試験、運動負荷心筋シンチ、心肺運動負荷試験など医師が直接携わる検査が多く、現在のスタッフで良好に運営していけるよう今後も鋭意努力して参ります。

平成 28 年度も例年同様、これまで進めてきたことの更なる充実を図るとともに、医師のみでなく循環器内科に関連した心臓リハビリ指導士、心不全専任看護師、心臓カテーテル及びペースメーカーのスタッフとして大いに循環器内科に貢献している臨床工学技士などの育成・スキルアップに率先して協力し、循環器内科ひいては病院全体のレベルアップにつながるような取り組みを進めていきたいと考えております。また、平成 29 年度の完成を目指し進められている増改築計画で、脳神経外科での血管内治療とともに不整脈治療を始めるべく、当科でもカテーテル室設計の準備も進めてまいります。

消化器内科

消化器内科が扱う臓器は幅広く、腹部の臓器のほとんど (腎臓、副腎など一部臓器を除く) が守備範囲となります。そのため対象となる患者は多く多岐にわたります。また、人間は精神的ストレスが掛ると身体的には消化管に影響が出る事が多く、心身医療とも密接な関わりがあります。さらにはメタボリツクシンドロームと関連する消化器疾患もあり、おそらく病院を受診する患者さんのかなりの部分を消化器系の疾患が占めているものと思われます。当科はなかでも肝疾患に対する治療に力を入れており、平成 25 年以降、アルコール性肝硬変症例に対する自己幹細胞投与療法を行っています。

医師プロフィール

(平成 27 年 9 月現在)

役職	氏名	専門分野	学会認定
消化器内科部長 5 階病棟医長	宮城　純	上部・下部消化管疾患の診断・治療。	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医
内視鏡センター長 ＜専門外来＞胸やけ外来	折田　均	胸やけ外来 (機能性消化管疾患)、胃癌・大腸癌の内視鏡的治療	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
消化器内科副部長	城間　丈二	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	日本消化器内視鏡学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本肝臓学会専門医 日本消化器病学会専門医
内視鏡センター副センター長	仲本　学	消化管内視鏡診断・治療 (ESD)	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医
	柴田　大介	肝癌の治療、肝・胆道系疾患の治療	

検査・治療・手術件数

1. 検査内視鏡実績

	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	平成 27 年度
胃内視鏡	7,288	8,169	8,439	8,947	9,586
大腸内視鏡	2,318	2,471	2,663	2,860	3,052
ＥＲＣＰ	64	91	140	161	134
超音波内視鏡 (上部・下部合計)	39	52	36	28	23

※外科症例を含みます。

2. 治療内視鏡実績

上部消化管（内訳）	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	平成 27 年度
止血術	60	70	42	45	44
EMR	10	13	20	18	4
EVL	27	21	28	25	23
EIS	17	29	9	8	10
異物摘出術	7	13	10	12	16
粘膜下層切開剥離術（ESD）	18	19	14	22	27

下部内視鏡（内訳）	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
EMR	235	272	280	331	355
止血術	7	14	11	11	14

時間外緊急内視鏡下手技件数

内訳	H 23 年度	H 24 年度	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
胃・十二指腸内視鏡検査	2	4	8	6	6
大腸内視鏡検査			1	5	2
食道・胃静脈瘤結紮術	5	4	5	7	6
食道下部及び胃内異物摘出	1	1	2	1	3
消化管止血術	9	4	6	4	7
胆管・膵管ｽﾃﾝﾄ留置術			1	1	0
合計	17	13	23	24	24

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
原発性肝癌の胃前庭部浸潤をきたした 1 例	第 119 回沖縄県医師会医学会	沖縄県	2015 年 6 月 14 日	伊藤誠、圓若修一、城間丈二、仲本学、宮城純、折田均、柴田大介、佐久川廣
沖縄県におけるバレット食道とバレット食道癌についての調査および GERD の治療実態調査と自験例における GERD の長期経過と治療	第 43 回日本潰瘍学会	沖縄県	2015 年 6 月 19 日	折田均
UDCA 内服中に急性増悪を起こしたオーバーラップ症候群の 1 例	第 105 回日本消化器病学会九州支部例会	長崎県	2015 年 6 月 19 日	伊藤誠、城間丈二、仲本学、宮城純、折田均、柴田大介、佐久川廣、圓若修一
悪性胃十二指腸閉塞に対して十二指腸ステントを留置した 2 例	第 310 回日本内科学会九州地方会	佐賀県	2015 年 8 月 29 日	上原千晶、折田均、柴田大介、城間丈二、仲本学、宮城純、佐久川廣

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
生活習慣病関連肝硬変に対する自己骨髄幹細胞投与療法の経験	第 41 回日本肝臓学会西部会	愛知県	2015 年 12 月 3 日	城間丈二、柴田大介、佐久川廣、圓若修一、新垣伸吾、前城達次、藤田次郎（琉球大学第一内科）外間昭（琉球大学光学医療診療部）石川剛、高見太郎、坂井田功（山口大学消化器病態内科学）寺井崇二（新潟大学消化器内科学分野）
ESD を行った直腸粘膜症群の 1 例	第 100 回日本消化器内視鏡学会九州支部例会	福岡県	2015 年 12 月 4 日	田中悠也、柴田大介、城間丈二、宮城純、佐久川廣
メトトレキセートによる葉酸欠乏が原因と疑われた直腸潰瘍の 1 症例	第 120 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2015 年 12 年 13 日	田中悠也、柴田大介、城間丈二、仲本学、折田均、宮城純、佐久川廣

肝臓内科

文：ハートライフ病院 副院長 兼 内科部長　佐久川　廣

担当医師 / 佐久川　廣、城間丈二、柴田大介

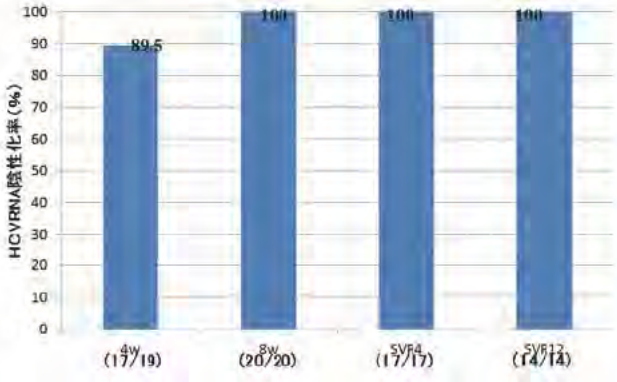
肝臓内科は科として独立しているわけでなく、消化器内科の 1 グループとして存在します。消化器内科は 6 名体制で、その中で消化管の疾患を主に扱う者が3名（折田均、宮城純、仲本学）、肝臓疾患を主に扱うのが 3 名（佐久川廣、城間丈二、柴田大介）です。胆膵疾患は 6 名全員で診療しています。

肝臓内科は肝臓疾患全般の診療を行っていますが、その中で重点的に取り組んでいるのが、B 型、C 型ウイルス性肝疾患に対する抗ウイルス療法、非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）の診断と治療、肝癌の局所療法です。更に、臨床研究として生活習慣病関連肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法を行っています。

C 型慢性肝炎・肝硬変に対する抗ウイルス療法は、日本において平成 4 年頃から行われるようになりました。当初、ゲノタイプ 1 型で高ウイルス量の難治例に対する治療成績は悪く、著効率が5％程度でした。その後、治療法が進歩し、特にプロテアーゼ阻害剤が使用されるようになった平成24年から著効率が70％以上になりました。当院においてもプロテアーゼ阻害剤のシメプレビルとペグインターフェロン、リバビリンの 3 剤併用療法を20例に実施し、18例（90％）が著効を示しました。

このように、プロテアーゼ阻害剤はインターフェロンとの併用で高い有効性を示しますが、インターフェロンは副作用が強い薬剤で、高齢者には使用しにくい治療法です。その後、インターフェロンフリーの経口 2剤による治療が保険適用となり、当院でも平成26年度から平成27年度にかけて14症例にインターフェロンフリー治療（ダグラタスビル+アスナプレビル）を実施しました。14例中9例は肝硬変症例で、また、14例中9例は65歳以上の高齢者でありましたが、13例において治療後ウイルス消失が12週以上持続し、著効と判定しました。更に平成27年の9月からハーボニー（SOF/LDV）が保険適用となり、治療期間が24週から12週に短縮しました。これまでに14例において効果判定が終了しており、全例で治療後12週以上ウイルス消失を認め、著効と判定されました（図 1 ）。

図 1　当院におけるハーボニー（SOF/LDV）の治療成績



沖縄県は肥満の割合が全国で最も高く、肥満に関連した肝疾患であるNASHが増加傾向にあります。

NASHの診断は肝生検を必要としますので、肝臓内科では肝生検を積極的に行っています。平成27年度の肝生検数は80件で、毎年70件以上の肝生検を行っており、沖縄県内で最も多い肝生検実施施設になっています。80例中、NASHと診断した症例は19例でした。NASHの治療は食事療法や運動療法が基本ですので、栄養師に介入してもらい、食事指導を積極的に行っています。また、糖尿病のコントロールの悪化により、NASHが悪化する症例も多いため、ハートライフクリニックの糖尿病内科と連携して診療しています。

図2 肝動脈塞栓化学療法(TACE)症例数の推移

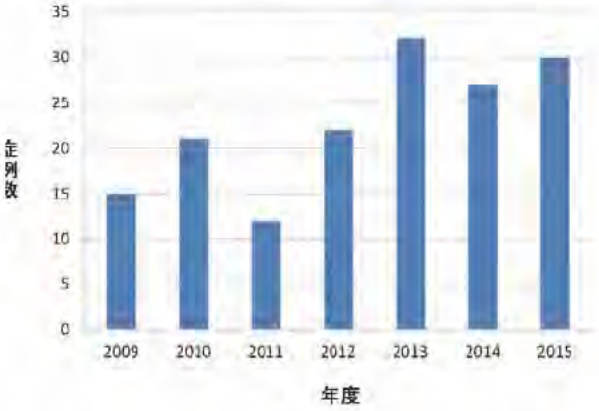
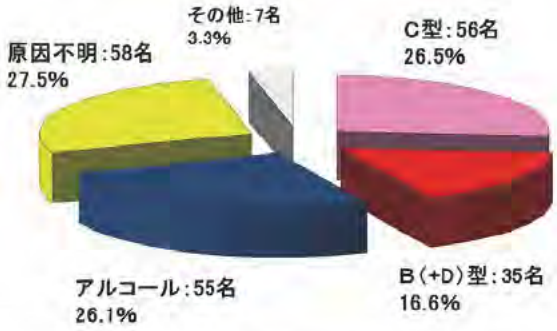


図3 当院における肝細胞癌の成因別患者数



(ハートライフ病院2006年4月～2015年12月, n=211)

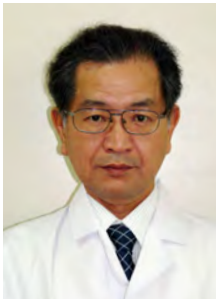
当院において肝癌は増加傾向にありますが、肝臓内科では肝癌の局所療法を積極的に行っています。肝動脈化学塞栓療法は放射線科の高良医師と共同で行っており、平成27年度は30例に実施しました。肝動脈化学塞栓療法の症例数は年々増加傾向にあり、実施件数は沖縄県内で最も多くなっています(図2)。また、城間丈二を中心に肝癌に対するラジオ波焼灼術を積極的に行っております。ラジオ波焼灼術は、平成22年以降症例数が増加傾向にあり、平成27年度は30例に実施しました。ラジオ波焼灼術の実施件数も沖縄県で最も多くなっています。肝動脈化学塞栓療法とラジオ波焼灼術を施行した患者さんは中部や南部医療圏のみでなく、北部や宮古、八重山からの紹介患者が増えてきています。沖縄県において、今後も60歳以上のいわゆる癌年齢の人口が増加するため、肝癌は増加するものと思われます。また、当院を含めて沖縄県はB型やC型肝炎ウイルスが原因の肝癌の割合が低く、アルコール性肝疾患やNASHが原因の非B非C肝癌の占める割合が多いという特徴があります(図3)。人口の高齢化と生活習慣病の増加により肝癌が増加すると思われ、肝癌の局所療法は今後も増えることが予想されます。

肝硬変の治療は、抗ウイルス剤の進歩により、原因療法が可能となり、治療効果を認める症例も多くなっています。しかしながら、非代償期肝硬変になると原因療法だけでは不十分で、肝再生を促す治療の研究が国内外で盛んに行われています。

沖縄県はアルコール性や肥満に関連するNASH由来の肝硬変が多く、このような生活習病関連肝硬変が肝硬変全体の60%以上を占めています。当院では山口大学消化器内科との共同研究で生活習慣病関連肝硬変に対する自己骨髄細胞投与療法の臨床研究を実施しています。平成22年度に沖縄県の「医療産業化プラットフォーム基盤構築事業」から助成を受け、平成23年3月に細胞調製施設(CPC)が完成しました。その後、平成24年4月にヒト幹細胞臨床研究実施計画書を厚生労働省に提出し、平成24年11月に民間病院として2施設目の承認を得ることができました。平成25年１月にアルコール性肝硬変の患者に対して自己骨髄細胞投与療法を初めて実施しました。その後症例を重ね、これまで10症例に対して自己骨髄細胞投与療法を施行して来ました。今後は、これまでの実績を元に先進医療Bとして厚生労働省に申請する予定です。

肝臓内科の診療は病院内の様々なスタッフの協力により成り立っていますが、中でも 5 階病棟看護師、外来看護師、薬剤師は診療の良きパートナーです。また、肝癌に対する肝動脈塞栓術は高良医師を始めとする放射線科のスタッフの協力が必要ですし、肝胆膵外科グループには手術を依頼しています。更に、自己骨髄細胞投与療法の臨床研究は血液内科や麻酔科を始めとする手術室のスタッフ、検査室職員の協力を得ています。その他にも事務系職員やメディカルクラークのサポートにより、日々の診療が円滑に行われており、今後とも多くの職員の協力を得て、更に診療内容を向上させたいと思います。

年度総括



消化器内科部長
宮城　純

・平成 27 年度は、内視鏡検査の開始時間の繰り上げにより、内視鏡検査件数は、上部消化管内視鏡検査が、前年比約 560 件、下部消化管内視鏡検査で前年比約 200 件増加しました。

・平成 26 年度に内視鏡の新機種への変更を行い、より詳細な観察が可能となりました。・平成 26 年度に開業の先生方が内視鏡検査依頼で紹介するときの、手続きや準備する書類の簡素化を行いました。これによりこれまで紹介していただいていなかった先生方からの内視鏡検査紹介がみられるようになりましたが、平成 27 年度も内視鏡検査の依頼件数は増える傾向でした。

・平成 24 年 2 月から、ヘリコバクターピロリの検査・除菌の保険適用疾患の拡大により、除菌療法が急増しました。ヘリコバクターピロリ感染胃炎は、胃癌の原因の一つで、あり、ヘリコバクターピロリ感染胃炎を診断し、除菌を行うことで、胃癌の撲滅が可能となります。ヘリコバクターピロリの検査・除菌を行うためには、内視鏡検査が行われていることが必須となっています。そのため、胃検診をすべて内視鏡で施行することが理想です。前述しましたように内視鏡検査の開始時間の繰り上げにより検査件数を増加することができました。しかし、現状の内視鏡検査室数、スタッフ数では検査件数の増加はほぼ限界と思われます。内視鏡検査室の増設、スタッフの増員が必要です。

平成 28 年度目標

- 消化器疾患の診断能・治療技術の更なる向上を目指します。
- 消化器病内科関連専門医、内視鏡専門医の確保を目指します。
- 消化器内科志望の後期研修医の確保を目指します。
- 長期の目標として、胃検診の全件を内視鏡で行える体制を目指します。

血液内科

血液内科は造血器腫瘍や貧血性疾患、血友病を除く出血・血栓性疾患などほとんどの血液疾患の診療を行っています。平成 27 年度のスタッフは平良 直也、宮城 敬、狩俣 かおり、大濵 昌代、山入端 敦の 5 人です。同種造血幹細胞移植は主に宮城、山入端、狩俣が行い、ドナーの診療は狩俣、大濵、平良が担当しています。当院の特徴としては、完全無菌室を 10 床有し、血縁者間・非血縁者間の造血幹細胞移植（骨髄移植、臍帯血移植、末梢血幹細胞移植）を行っています。沖縄県内の血液内科で造血幹細胞移植を行っているのは琉球大学附属病院と当院のみで、沖縄県の造血器移植医療、血液診療を支えているという自負があります。週 1 回、琉球大学保健学科の福島卓也先生も参加してグループカンファレンスを行い、最善の診断・治療ができるよう心がけています。

医師プロフィール

（平成 27 年 8 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
血液内科部長 無菌治療センター長 6 階病棟医長 外来通院治療室室長	平良　直也	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会総合内科専門医
血液内科副部長	宮城　敬	一般血液内科	日本血液学会指導医 日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医
血液内科医長	山入端　敦	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医
	狩俣　かおり	一般血液内科	日本血液学会専門医 日本内科学会認定内科医
	大濵　昌代	一般血液内科	日本内科学会認定内科医

検査・治療・手術件数

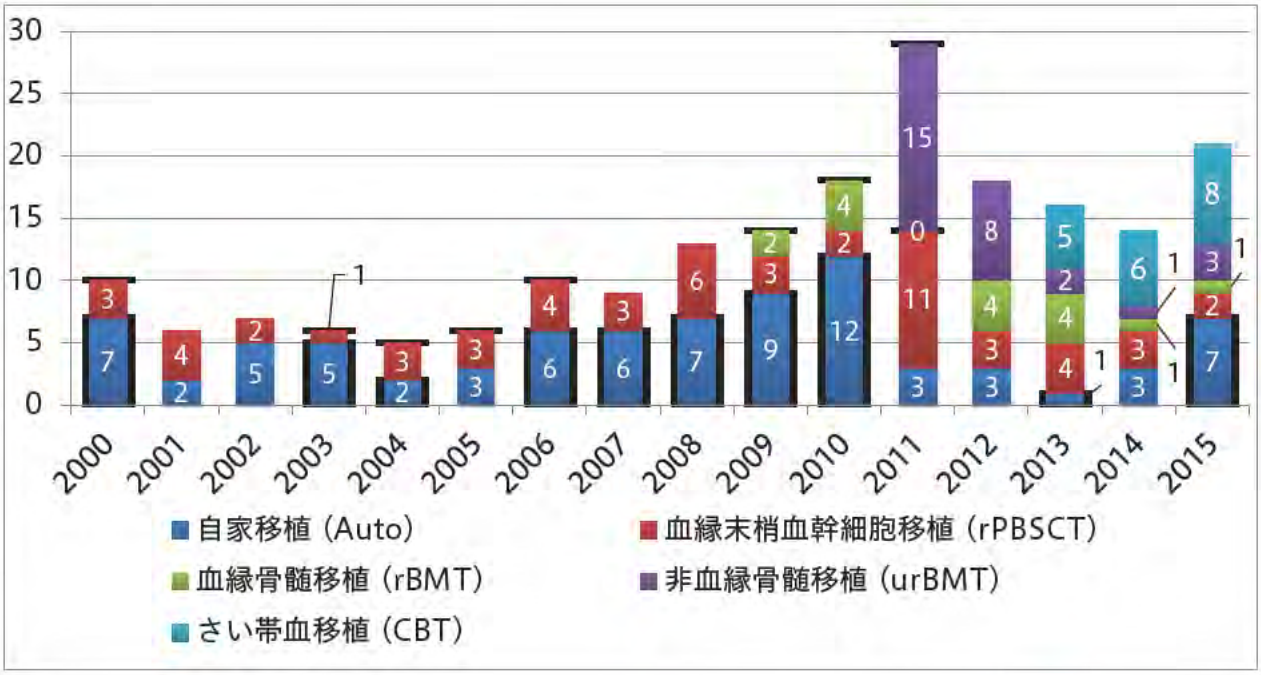
骨髄移植術実施一覧

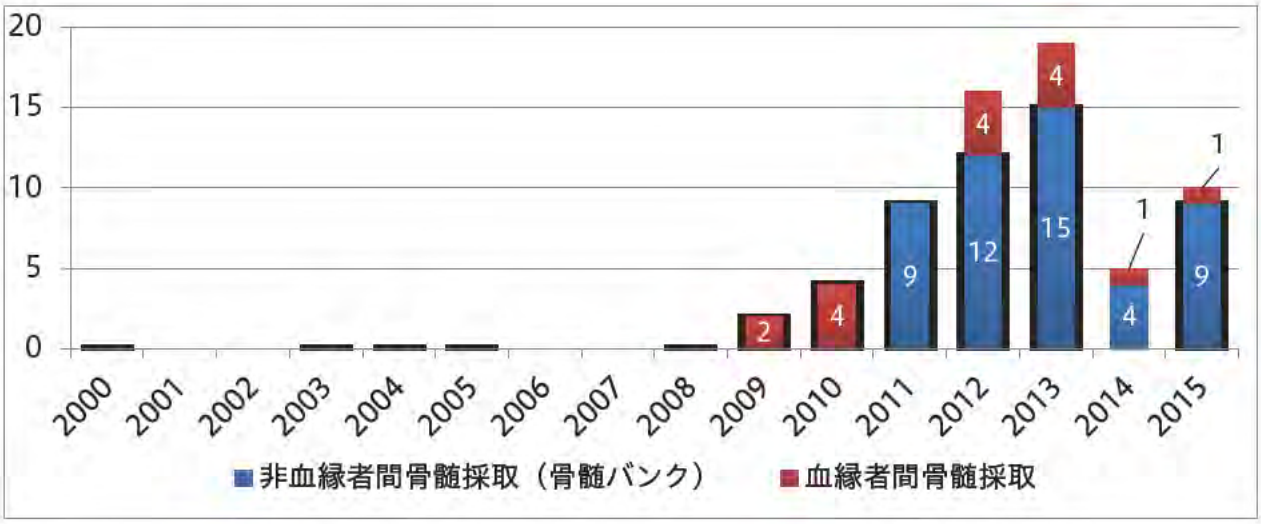
	H23	H24	H25	H26	H27
自家末梢血幹細胞移植	3	3	1	3	7
同種血縁者間末梢血幹細胞移植	11	3	4	3	2
同種血縁者間骨髄移植	0	4	4	1	1
非血縁者間骨髄移植（骨髄バンク）	15	8	2	1	3
臍帯血移植（臍帯血バンク）	0	0	5	6	8
計	29	18	16	14	21

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
臍帯血移植後に、髄液漏・脳脊髄圧低下症から両側性硬膜下血腫を発症した成人 T 細胞白血病リンパ腫の一例	第 37 回日本造血細胞移植学会	兵庫県	2015 年 3 月 5 日～3 月 7 日	宮城　敬、山入端　敦、大濱　昌代、狩俣　かおり、平良　直也





年度総括

血液内科部長
友寄　毅昭

平成 28 年 4 月より血液内科部長に就任いたしました友寄 毅昭と申します。平成 27 年度で、12 年以上勤務されていた平良直也先生が開業されました。当院での造血幹細胞移植を本格的に軌道にのせ、骨髄バンク・さい帯血バンクの認定施設になれたのも平良先生と人柄に魅せられ集まったスタッフの賜物です。精神的な支柱をなくした思いはありますが、それに負けないよう努力できるものと思います。平成 27 年度は移植件数、骨髄採取件数ともに前年度を上回りました。疾患特性から、平均入院患者数、延べ入院患者数が多く、在院日数が長い傾向は変わらず、医師の負担が懸念されるところです。継続できる医療、安全で質の高い医療を提供できるような人、システムの環境づくりに努力する所存です。今後ともご協力、ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

内科年度総括

内科部長・副院長
佐久川　廣

平成 27 年度の内科の収益は、前年と比較して -3.7％の減少となりました。その主な要因として内科常勤医の減少による入院収益の減少が挙げられます。外来は、延患者数で 26 名と僅かに増加しましたが、日当額が 15,955（昨年度：16,481）と、昨年度より減少したことにより、収益は -3.1％の減少となりました。入院患者数に関しては、新規入院患者数が月平均で 316.8 名と前年と比較して約 0.8 名と僅かに増加しましたが、平均在院日数の短縮で病床利用数は平均で 143.0 名と前年より 5.4 名の減少となりました。稼働患者数の減少により、入院収益は昨年と比較して -3.8％の減少となりました。しかしながら、日当額が 51,175（昨年度：51,024）と、昨年度を僅かに上回っており、今後も日当額を増やす対策が必要と思われます。内科の診療グループ別には、血液内科が平成 26 年度と比較して、約 1.5 億円の増収となっており、特に入院収入が 1.6 億の増収を示しました。しかしながら、他の診療グループは医師数減少等の影響で収益減となりました。

平成 27 年度の入院と外来を合わせた内科の収益が約 33.8 億で、病院全体の入院・外来総収益（約 79 億）の 42.8％であることを考慮すると高収益部門と評価できます。しかしながら、医業収益と最終利益は必ずしも比例しないことにより、今後は厳密な損益原価計算を行い、医薬品や医療材料のコストを抑えて、より高い利益を目指す必要があると思われます。高齢化により増加する医療需要を取り込み、更に収益を伸ばすためには内科医を早めに増やす必要があり、他の診療科と同様に医師確保が内科部門の重要な課題と思われます。

小児科

当院小児科では二次病院として紹介患者を中心に診療を行い、外来部門であるハートライフクリニックからの入院を含め、2 名の医師が連携し感染症などの一般的な疾患、予防接種、小児の手術の術前診、早期乳児の術後管理を行っています。

また二次医療機関としてだけではなく、宜野湾市、中城村、西原町、与那原町などの近隣市町村の乳幼児健診や西原小学校、中城小学校の校医の活動を通して地域の小児の健康管理への貢献も目標として活動しています。

なお、食物アレルギー分野の診療開始準備として平成 27 年 4 月から一年間、崎原 徹裕 医師をあいち小児医療総合センターアレルギー科へ派遣しました。

医師プロフィール

（平成 27 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
小児科副部長	国島知子	一般小児科	日本小児科学会専門医 地域総合小児医療認定医
	川満　豊	一般小児科	日本小児科学会専門医

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
鶏卵未摂取児に対するゆで卵白経口負荷試験の結果を予測するプロバビリティカーブの作成	第 52 回日本小児アレルギー学会	奈良県	2015 年 11 月 21 日	崎原徹裕

年度総括

小児科副部長
国島　知子

総入院患者数は在院日数の短さ（3.6 日 / 人）や治癒退院率の高さを維持しながら、468 名でした。入院患者の 46.4% は紹介患者で、60% は 3 歳未満の児が占めており、また 50% は気道感染が占めています。

外来に関しては、クリニックと病院小児科の役割分担を明確にし、クリニック小児科は急性期患者を、病院小児科は慢性患者の定期フォローを行っており、かりゆし会の小児科としての外来患者数は 14,296 名で 2% の増加となっています。

心療内科

当科は医師一名体制で、専属スタッフの配置はありません。そのため、待ち時間が長くなることもありご迷惑をおかけすることもしばしばです。また外来診療のほか、他科に入院中の方のメンタルヘルストラブルの対応や相談なども行っています。なお、当科での入院治療はやっておりません。

よく言われる心療内科と精神科の違いですが、精神科は精神疾患の治療をする科で、心療内科は自律神経の治療をする科ということになります。

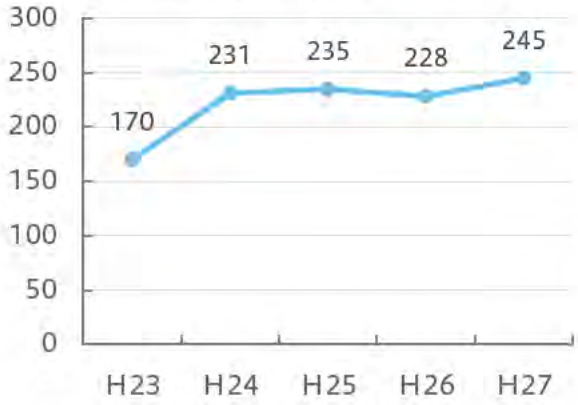
自律神経の機能がうまく調整できなくなる原因は、老化や体質、ホルモン機能のほか、ストレスや過労などさまざまです。そのため、厳密にわけることが難しい分野でもあります。検査しても病気じゃないといわれたけど体調が悪いというかたは、自律神経の治療を受けることで楽になることがあるかもしれません。

医師プロフィール

（平成 27 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
心療内科医長	菅野　善一郎	リエゾン精神医学・心身医療	精神保健指定医 日本精神神経学会専門医 日本精神神経学会指導医

心療内科への院内コンサルト件数



外来患者数推移

年度総括

心療内科
菅野　善一郎

心療内科を立ち上げて 6 年目になりました。これまで、外来診療および他科と連携した診療を続けていましたが、院内・院外ともに紹介をいただくことが増え、実績に伴いそれなりに役立っているという自負も育ってきております。

前年度のせん妄対応に続き、認知症診療が多かった一年間でした。高齢化社会では精神科医療のニーズが増えるのを実感しております。

外　科

医師プロフィール

（平成 27 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
院長	奥島　憲彦	消化器外科、食道外科、食道癌の内視鏡的治療、食道アカラシアの POEM 治療	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本食道学会認定医 日本体育協会公認スポーツドクター
外科系統括部長 外来診療部長	西原　実	一般消化器外科、肝胆膵外科、内視鏡外科、抗がん剤治療	日本外科学会指導医 日本外科学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医
外科部長	宮平　工	胃癌・大腸癌に対する手術治療、抗がん剤治療、各種消化器疾患に対する腹腔鏡手術、単孔式手術	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本内視鏡外科学会評議員 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
膵臓外科部長	梁　英樹	膵・胆道外科、消化器外科全般	日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本消化器外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本乳癌学会認定医
外科副部長 兼 4 階病棟医長	花城　直次	一般外科、腹腔鏡下大腸切除術	日本外科学会認定医 日本外科学会専門医
大腸・肛門外科医長	阿嘉　裕之	肛門科・消化器外科、各種肛門疾患（痔核・痔瘻・裂肛・直腸脱・尖圭コンジローマなど）、炎症性肛門疾患に伴う肛門疾患、便通異常などに対して注射療法	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会認定登録医
	国吉　史雄	一般外科	
	尾下　陽大	一般外科	日本外科学会専門医
	林　裕樹	消化器、一般外科	日本外科学会専門医
乳腺外科医長	野村 寛徳	乳癌、一般外科	日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医 検診マンモグラフィ読影認定医
	白石　牧子	乳腺・漢方	日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 検診マンモグラフィ読影認定医
血管外科	仲栄真　盛保 （非常勤）		日本外科学会専門医 日本脈管学会専門医
＜専門外来＞ 甲状腺外来	久高　弘志 （非常勤）		

役職	氏名	専門分野	学会認定
＜専門外来＞ ヘルニア外来	嵩原　裕夫 （非常勤）		日本外科学会専門医 日本外科学会指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 日本小児外科学会専門医 日本小児外科学会指導医

検査・治療・手術実績

術式別一覧

手技	件数
肺	
胸腔鏡下手術	3
食　　道	
POEM 手術	10
食道癌 ESD	3
食道悪性腫瘍手術	5
甲状腺	
甲状腺良性腫瘍手術	3
甲状腺悪性腫瘍手術	4
乳腺	
乳腺良性腫瘍切除術	14
乳腺悪性腫瘍切除術	41
胃	
胃悪性腫瘍手術（開腹）	21
胃切除術	1
腹腔鏡下胃切除術（悪性）	4
腹腔鏡下胃切除術（良性）	3
腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術	1
胃縫合術	3
胃縫合術（大網充填術又は被覆術を）	3
胆嚢・胆管	
腹腔鏡下胆嚢摘出術	86
開腹胆嚢摘出術	9
胆管切開結石摘出術	7
胆管胆嚢悪性腫瘍手術	1
胆嚢悪性腫瘍手術	1
総胆管胃（腸）吻合術	2
胆嚢外胃瘻造設術	1
肝　臓	
肝切除術	18
開腹ラジオ波	1
膵　臓	
膵頭部腫瘍切除術	6
膵嚢胞胃（胃）吻合術	1
小　腸	
小腸切除術	2
腸吻合術	2
腸閉塞症手術	11
虫垂	
腹腔鏡下虫垂切除術	54
開腹虫垂切除術	1
腹腔鏡下結腸良性腫瘍切除術	3
腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	22
開腹結腸悪性腫瘍切除術	21
開腹結腸切除術	9

手技	件数
直　腸	
ハルトマン手術	2
腹腔鏡下直腸悪性腫瘍切除術	9
開腹直腸悪性腫瘍切徐術	11
経肛門直腸腫瘍摘出術	5
人工肛門造設術・人工肛門閉鎖術	16
直腸脱手術	3
肛　門	
痔核硬化療法	34
痔核根治手術	7
痔瘻根治手術	4
肛門形成手術	1
肛門ポリープ切除術	2
毛巣洞手術	5
肛門周囲膿瘍切開術	2
痔核結紮術	1
肛門皮膚剥離切除術	3
裂肛根治手術	1
ヘルニア	
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（成人）	77
腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（小児）	46
鼠径ヘルニア手術	6
臍ヘルニア手術（成人）	2
臍ヘルニア手術（小児）	3
停留精巣固定術	4
腹壁瘢痕ヘルニア手術	5
白線ヘルニア手術	1
胃　瘻	
内視鏡下胃瘻造設術	38
その他部位	
気管切開術	6
大網、腸間膜、後腹膜手術	4
リンパ節生検	18
体表の手術	257
CV ポート	17
経皮的膿瘍ドレナージ術	1
胸壁悪性腫瘍摘出術	1
腟瘻閉鎖術	3
咽頭悪性腫瘍手術（内視鏡下）	2
限局性腹腔内腫瘍手術	3
急性汎発性腹膜炎手術	6
腸切開術	1
血管結紮術（開腹）	1
試験開腹術	3
止血術	1

手技	件数
食道周囲膿瘍切開誘導術	1
胃・十二指腸ファイバースコピー(PEG 中止)	3
内視鏡的胃・十二指腸ポリープ粘膜切開術	2

手技	件数
食道 EMR	3
腹腔鏡下尿管切開術	1
総合計	999

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
LAPAROSCOPIC PERCUTANEOUS EXTRAPERITONEAL CLOSURE(LPEC)METHOD FOR THE EXPLORATION AND TREATMENT OF INGUINAL HERNIA IN ADULTS	1st Would Conference on Abdominal Wall Hernia Surgery	イタリア, ミラノ	2015 年 4 月 25 日	西原実、嵩原裕夫、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岻安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦、
前立腺がん術後の外鼠径ヘルニア 3 例に対する cone mesh+LPEC 法（かりゆしモデル2）	第 13 回日本ヘルニア学会学術集会	名古屋	2015 年 5 月 22 日	国吉史雄、西原実、嵩原裕夫、中川裕、阿嘉裕之、澤岻安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦
80 歳以上超高齢者鼠径ヘルニアへの LPEC の適応拡大		名古屋	2015 年 5 月 23 日	西原実、嵩原裕夫、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岻安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦
成人鼠径ヘルニアに対する LPEC 変法ー	第 14 回 LPEC 研究会	名古屋	2015 年 5 月 22 日	西原実、嵩原裕夫、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岻安勝、宮平工、花城直次、奥島憲彦、
若年ＧＩＳＴの１例	第 119 回沖縄県医師会医学会総会集合会	沖縄県	2015 年 6 月 14 日	立津朝成、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岻安勝、宮平工、西原実、花城直次、奥島憲彦
大腸癌との鑑別が困難であった大腸憩室炎の１例		沖縄県	2015 年 6 月 14 日	花城直次、国吉史雄、阿嘉裕之、宮平工、西原実、奥島憲彦
特発性大綱出血が疑われた１例		沖縄県	2015 年 6 月 14 日	上原千晶、宮平工、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岻安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
回盲部に発生した原発不明癌の一例		沖縄県	2015 年 6 月 14 日	国吉史雄、宮平工、花城直次、阿嘉裕之、西原実、奥島憲彦
化学療法が奏功した進行十二指腸癌の1例		沖縄県	2015 年 6 月 14 日	宮平工、上原千晶、中川裕、国吉史雄、阿嘉裕之、澤岻 安勝、花城直次、西原実、奥島憲彦
ESD 術後 7 年 10 ヵ月で腹部リンパ節転移が判明した sm 癌の一例	第 69 回日本食道学会学術集会	神奈川県	2015 年 7 月 2 日	奥島 憲彦、国吉 史雄、中川 裕、澤岻 安勝、阿嘉 裕之、花城 直次、宮平 工、西原 実、仲本 学、戸田 隆義
食道胃接合部の食道静脈瘤上に発生した表在食道癌に対して左開胸開腹術を行った１例		神奈川県	2015 年 7 月 3 日	花城直次、国吉史雄、宮平工、西原実、奥島憲彦
乳腺転移を来した十二指腸神経内分泌癌の１例	第 20 回日本外科病理学会	和歌山県	2015 年 11 月 6 日	西原実、花城直次、尾下陽大、林裕樹、国吉史雄、白石牧子、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、梁英樹、奥島憲彦
超高齢者鼠径ヘルニアへの”かりゆしモデル”の適応拡大	第 77 回日本臨床外科学会総会	福岡県	2015 年 11 月 28 日	西原実、尾下陽大、花城直次、林裕樹、国吉史雄、白石牧子、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、梁英樹、奥島憲彦
巨大卵巣転移を伴った直腸癌の１例		福岡県	2015 年 11 月 28 日	尾下陽大、西原実、花城直次、林裕樹、国吉史雄、白石牧子、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、梁英樹、奥島憲彦
上行結腸巨大憩室穿孔の１例		福岡県	2015 年 11 月 26 日	林裕樹、宮平工、尾下陽大、国吉史雄、阿嘉裕之、花城直次、西原実、梁英樹、奥島憲彦

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院における大腸癌に対する腹腔鏡下手術の検討	第 28 回日本内視鏡外科学会	大阪府	2015 年 12 月 10 日	宮平工、林裕樹、尾下陽大、花城直次、国吉史雄、阿嘉裕之、西原実、梁英樹、野村寛徳、奥島憲彦
ハートライフ病院における膵空腸吻合の工夫　－膵吻合の理想をまとめて－	第 120 回沖縄県医師会医学会総会	沖縄県	2015 年 12 月 13 日	梁英樹、奥島憲彦、西原実、花城直次、宮平工、阿嘉裕之、野村寛徳、国吉史雄、尾下陽大、林裕樹
高齢者鼠頚部ヘルニアに対する LPEC の適応拡大の試み		沖縄県	2015 年 12 月 13 日	西原実、国吉史雄、林裕樹、尾下陽大、野村寛徳、阿嘉裕之、宮平工、花城直次、梁英樹、奥島憲彦、嵩原裕夫
緊急手術を施行した結腸巨大憩室穿孔の 1 例		沖縄県	2015 年 12 月 13 日	林裕樹、宮平工、尾下陽大、国吉史雄、阿嘉裕之、花城直次、西原実、梁英樹、奥島憲彦
直腸脱 ALTA 治療後再発例に Delorme 手術を施行した 1 例		沖縄県	2015 年 12 月 13 日	阿嘉裕之、林裕樹、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、宮平工、西原実、花城直次、梁英樹、奥島憲彦
Trousseau 症候群を契機に診断された胃癌に対し術前化学療法が奏功した 1 例	第 88 回日本胃癌学会総会	大分県	2016 年 3 月 18 日	宮平工
保存的に治癒しえた腹腔内出血の 1 例	第 52 回日本腹部救急医学会総会	東京都	2016 年 3 月 3 日	上原千晶、宮平工、林裕樹、尾下陽大、花城直次、国吉史雄、阿嘉裕之、西原実、梁英樹、野村寛徳、奥島憲彦

年度総括

外科部長
宮平　工

平成 27 年度は院長の奥島憲彦（食道）、外科系統括部長の西原実（肝胆膵）、外科部長の宮平工（胃・大腸）、消化器外科部長の花城直次（胃・大腸）、大腸肛門科医長の阿嘉裕之（大腸･肛門）、乳腺外科医長の野村寛徳、白石牧子（乳腺）、若手の国吉史雄、尾下陽大、林裕樹（一般外科）の 10 名の常勤医と、非常勤の嵩原裕夫（ヘルニア）、久高弘志（甲状腺）、仲栄真盛保（血管）各先生方のご尽力を頂き、運営してまいりました。（カッコ内は専門領域）

手術件数は過去最高の 769 件（小手術を除く）を達成しましたが、特にヘルニア、乳癌、大腸癌、肛門疾患の手術の増加が著明でした。手術だけでなく、消化器癌、乳癌の化学療法も担当し、さらには研修医の指導も行っています。臨床の合間には学会発表や論文投稿も積極的に行っています。

また平成 27 年 4 月より、東京の至誠会第二病院より膵臓外科部長の梁英樹先生が常勤医として加わったことで、肝胆膵領域の Major surgery が増加し、臨床がさらに充実しています。

今後もより安全な医療、より質の高い医療を目指すだけでなく、最新の医療も提供すべく邁進してまいります。皆様方のますますのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

整形外科

スタッフは、松元悟・渡慶次学・琉球大学からのローテーター松田英敏・屋比久博己の 4 人です。琉球大学整形外科講座より、金曜日は関節外科非常勤医師の応援を得ています。また、水曜日はじのん整形外科新垣薫先生に股関節専門外来および手術指導など御協力いただいています。バークレーじのん整形外科院長新城宏隆先生には週 1 日膝関節手術を御執刀いただいています。松元悟は膝関節･スポーツを担当。沖縄県整形外科医会会長で運動器疾患の県民への啓蒙活動にも努めています。渡慶次学は手の外科を担当し、上肢外傷・末梢神経絞把障害等の手術を行っています。松田英敏と屋比久博己は膝関節を担当し、関節鏡を用いた前十字靭帯再建・半月板縫合等の手術を行っています。

医師プロフィール

（平成 27 年 9 月現在）

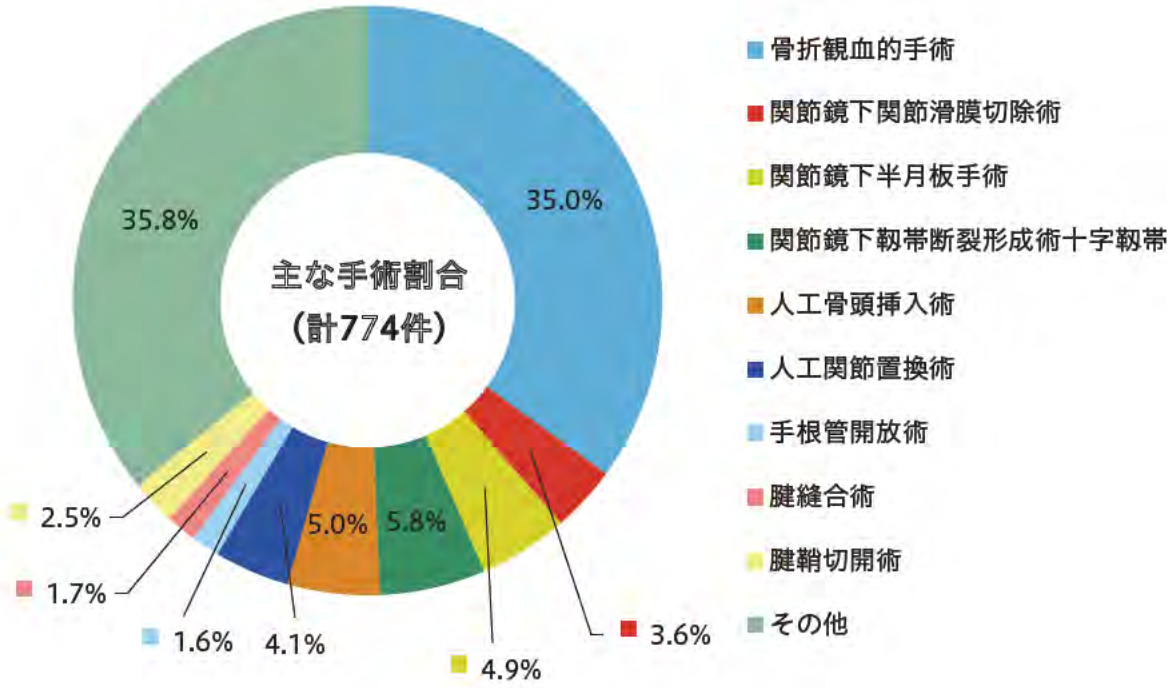
役職	氏名	専門分野	学会認定
副院長	松元　悟	一般整形外科	日本整形外科学会専門医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師学会認定健康スポーツ医
整形外科部長	渡慶次　学	手外科	日本整形外科学会専門医 日本手外科学会認定手外科専門医 日本整形外科学会リウマチ認定医 日本整形外科学会運動器リハビリテーション認定医
	松田英敏	関節外科（膝関節）	日本整形外科学会専門医
	屋比久博己		
＜専門外来＞膝関節スポーツ外来	新垣　和伸	関節外科（膝関節）	日本整形外科学会専門医
＜専門外来＞股関節外来	新垣　薫	関節外科（股関節）	日本整形外科学会専門医

検査・治療・手術件数

主な手術一覧

部位・行為	件数
骨折観血的手術	271
関節鏡下関節滑膜切除術	28
関節鏡下半月板手術	38
関節鏡下靱帯断裂形成術十字靱帯	45
人工骨頭挿入術	39

部位・行為	件数
人工関節置換術	32
手根管開放術	12
腱縫合術	13
腱鞘切開術	19
その他	277
総計	774



年度総括

整形外科部長
渡慶次　学

平成 27 年度は 10 月より川越得弘医師の転勤により 4 人体制となりましたが、新規入院患者数・手術件数ともに増加しました。手術内訳では手外科領域・四肢軟部腫瘍は昨年度と変化無く関節外科・骨折その他外傷症例が増加しました。

平成 28 年度は膝前十字靭帯再建術・半月板縫合術等の関節鏡視下手術への取り組みを継続し、スポーツ障害患者へより満足いただける医療を目指していく予定です。今後も安全で、健全な診療を継続していけるよう努力致します。

形成外科

当科は、平成 23 年 4 月に非常勤として診療を開始し、平成 26 年 4 月からは常勤として 2 年目を迎えました。当科の特徴は、県内に数少ない形成外科専門施設として、難治性皮膚潰瘍、皮膚軟部組織腫瘍摘出術、巻き爪などの爪のトラブル、眼瞼下垂症やわきがなどの美容的手術のみならず、癌切除後の再建手術や四肢のリンパ浮腫、重度顔面外傷、重症熱傷などオールラウンドに、大学レベルで対応できるように心がけていることです。今後は下肢難治性皮膚潰瘍に対するフットケアを含めた総合的な治療や、救急部門における重度四肢外傷の対応、重症熱傷治療、レーザー設備の拡大など、ますます発展させて形成外科治療で県民に貢献して参りたいと考えておりますので今後ともよろしくお願い申し上げます。

医師プロフィール

（平成 27 年 4 月現在）

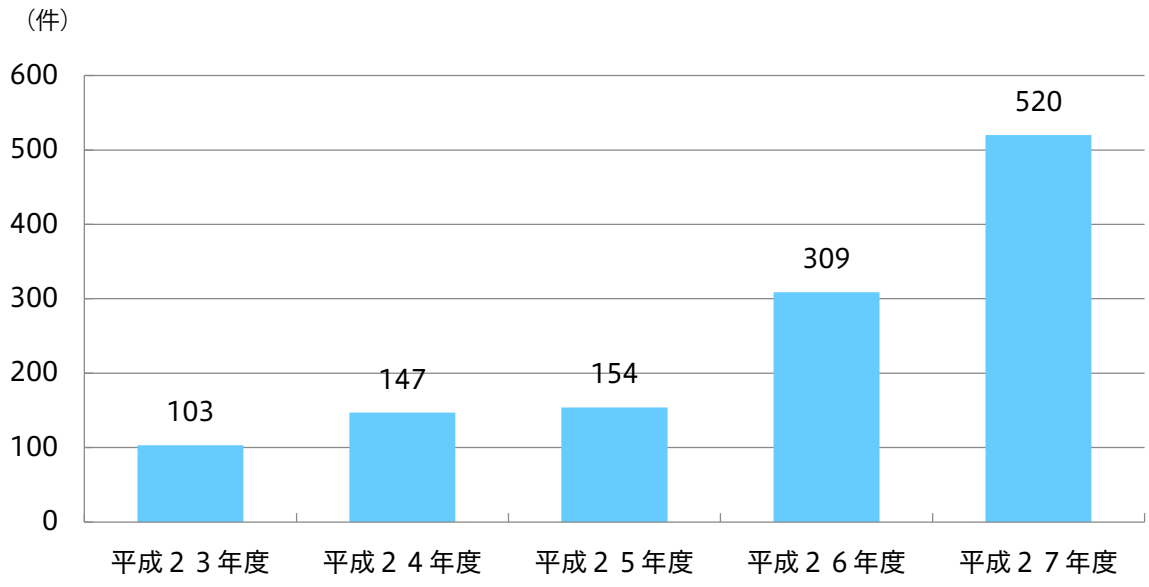
役職	氏名	専門分野	学会認定など
形成外科部長	東盛貴光	創傷外科、手の外科、広範囲重症熱傷、下肢難治性皮膚潰瘍に対する治療、マイクロサージャリー、レーザー治療	日本形成外科学会専門医 日本熱傷学会専門医 日本レーザー医学会専門医 日本レーザー医学会指導医 日本創傷外科学会専門医 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定エキスパンダー・インプラント治療責任医師 身体障害者福祉法指定医（肢体不自由）
	溝渕　貴俊	形成外科一般、創傷外科	

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

	デブリードマン	植皮術	局所皮弁術	腫瘍摘出術	筋皮弁・動脈皮弁術	遊離皮弁術	陥入爪手術	眼瞼の手術	その他	計
平成２３年度	18	8	4	43	7	2	21	0	0	103
平成２４年度	6	0	5	101	5	2	27	0	1	147
平成２５年度	13	0	1	104	1	0	32	3	0	154
平成２６年度	15	10	16	148	11	5	58	24	22	309
平成２７年度	18	12	16	252	19	8	37	24	134	520

※外来での日帰り手術もすべて含まれます。



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当施設における末梢用アミノ酸製剤の血管外漏出と形成外科の役割	第 58 回　日本形成外科学会総会・学術集会	京都	2015 年 4 月 8 日―4 月 10 日	東盛貴光、溝渕貴俊、林健太郎
当施設における褥瘡から発生した壊死性筋膜炎 10 症例の検討	第 12 回　日本褥瘡学会九州沖縄地方会	福岡	2015 年 5 月 16 日―5 月 17 日	東盛貴光、溝渕貴俊、林健太郎
仙骨部褥瘡に対する上臀動脈穿通枝皮弁の有用性	第 12 回　日本褥瘡学会九州沖縄地方会	福岡	2015 年 5 月 16 日―5 月 17 日	林健太郎、溝渕貴俊、東盛貴光
当院での末梢用アミノ酸製剤の血管外漏出に対するマニュアルの有用性	第 119 回沖縄県医師会総会・学術集会	沖縄県医師会館	2015 年 6 月 14 日	東盛貴光、溝渕貴俊、林健太郎
当施設における壊死性筋膜炎 10 症例の検討	第 119 回沖縄県医師会総会・学術集会	沖縄県医師会館	2015 年 6 月 14 日	溝渕貴俊、林健太郎、東盛貴光
広範囲の下肢 Avulsion injury に対して自家凍結保存皮膚を用いて治療した 2 例	第 7 回日本創傷外科学会総会・学術集会	東京	2015 年 7 月 24 日―25 日	東盛貴光、堀圭二朗、菊池雄二、櫻井裕之
当科における壊死性筋膜炎の検討	第 49 回　新宿フォーラム	東京	2015 年 10 月 23 日	溝渕貴俊、林健太郎、東盛貴光
当科における壊死性筋膜炎の検討	第 99 回　日本形成外科学会　九州沖縄地方会	大分	2015 年 11 月 7 日	溝渕貴俊、林健太郎、東盛貴光
手外科領域における静脈皮弁の有用性	第 120 回沖縄県医師会総会・学術集会	沖縄県医師会館	2015 年 12 月 13 日	東盛貴光、溝渕貴俊、林健太郎
当科における下眼瞼内反症手術の治療経験	第 120 回沖縄県医師会総会・学術集会	沖縄県医師会館	2015 年 12 月 13 日	林健太郎、溝渕貴俊、東盛貴光
糖尿病患者に生じた第 I 趾骨髄炎の救趾例と切断例の比較	第 120 回沖縄県医師会総会・学術集会	沖縄県医師会館	2015 年 12 月 13 日	上原千晶、東盛貴光
維持透析患者における下肢切断後の断端形成に遊離皮弁移植を施行した 1 例	第 14 回日本フットケア学会年次学術集会	神戸	2016 年 2 月 6 日―7 日	東盛貴光、溝渕貴俊、林健太郎、櫻井裕之

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
外傷性母指内転拘縮に対する治療方針	日本手外科学会雑誌	32 巻 (6).p954-958,2016	東盛貴光

その他実績

- 日本形成外科学会専門医研修　教育関連施設（施設番号 15-3030-009）
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定　エキスパンダー実地施設（二次再建）（実地施設認定番号 EY439 号）
- 日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会認定　インプラント実地施設（一次二期再建・二次再建）（実地施設認定番号 IY439 号）
- 日本褥瘡学会九州・沖縄地方会　世話人
- 沖縄実践フットケア研究会　世話人

次年度目標

手術件数大幅増

レーザー設備充実

リンパ浮腫治療の充実（手術件数、診断機器などの設備充実）

学会発表（2 回 / 年以上）

論文執筆（1 編 / 年以上）

年度総括

形成外科
東盛　貴光

常勤となり 2 年目を迎え、昨年度を大幅に超える入院患者数、外来患者数となり、それに伴い手術件数も大幅に増加しました。当科としての学会発表を 12 回行い、研究論文を 1 編執筆しました。また、初期研修医は院内から 4 名、他院から 1 名が研修されました。当院で初期研修を終えた後期研修医が常勤に加わり、形成外科の基礎的な手術を多く執刀経験し、次年度はさらに高度な手術研修に入ります。さらにもう 1 名の後期研修医はこの春から当科の連携施設である東京の大学病院で形成外科医として研修を開始しました。専門医となって当院に戻ってきて県民に貢献する日が近くまで来ています。来年度もますます手術実績、研究業績を上げていきたいと思いますので、今後とも、御指導の程、よろしくお願いいたします。

脳神経外科

脳神経外科は末吉 健次、上笹 航の二人の脳神経外科専門医で担当しています。

脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）を中心に診療し、脳動脈瘤治療に関しましては患者さんの状態に応じて開頭手術、脳血管内手術を選択しております。

一般的に治療可能な認知症として知られている慢性硬膜下出血、正常圧水頭症の手術も行っております。

医師プロフィール

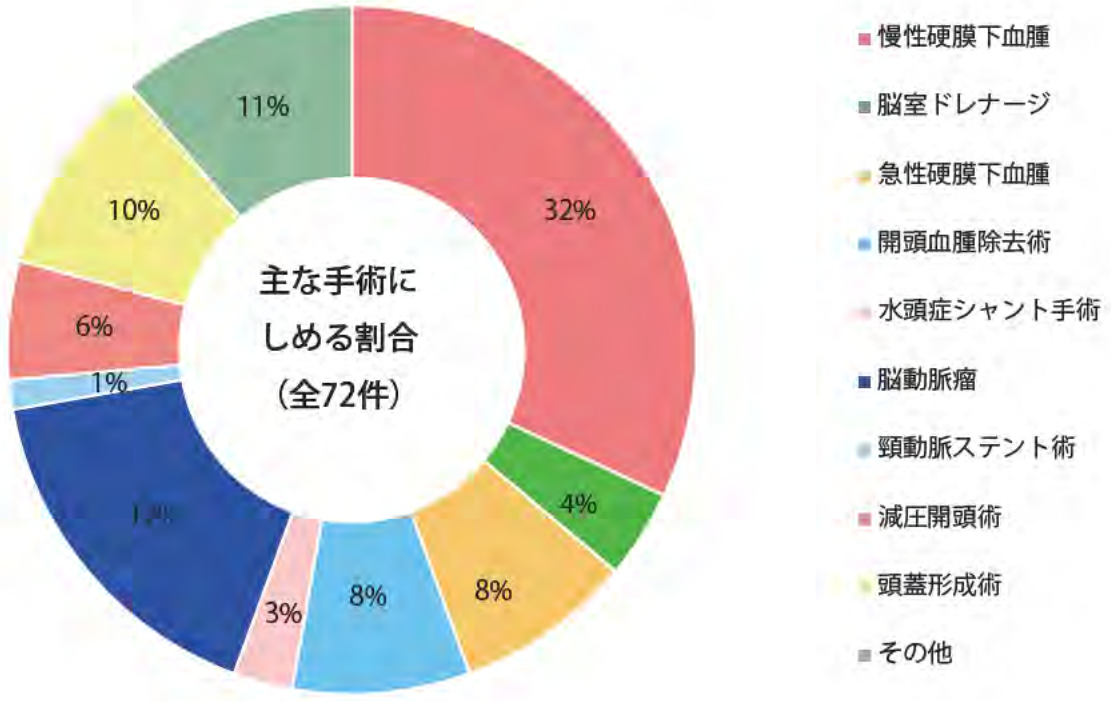
（平成 27 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
脳神経外科部長	末吉健次	顔面痙攣、三叉神経痛の手術、脳動脈瘤開頭クリッピング	日本脳神経外科学会専門医
脳神経外科医長 3 階病棟医長	上笹　航	脳血管内手術、顔面痙攣、ボトックス治療	日本脳神経外科学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医

検査・治療・手術件数

	件数
慢性硬膜下血腫	23
脳室ドレナージ	3
急性硬膜下血腫	6
開頭血腫除去術	6
水頭症シャント手術	2

	件数
脳動脈瘤 うち開頭クリッピング　4 件 うち血管内手術　8 件	12
頸動脈ステント術	1
減圧開頭術	4
頭蓋形成術	7
その他	8
総計	72



年度総括

脳神経外科部長
末吉　健次

未破裂脳動脈瘤治療の件数は増加しました。これは他院との連携が順調で血管内手術がスムーズに行えるようになったためです。
今後は、認知症を扱う病院とも連携して、少しでも手術で改善する認知症の方を社会復帰できるように努力していきます。

眼　科

当科の特徴は、前眼部（角膜・結膜）疾患に力を入れて診療を行っていることで、外来では一般的な眼科診療はもとより、アトピー性角結膜炎や春季カタルといった重症アレルギー性疾患や、細菌・真菌性角膜炎などの前眼部感染症の症例経験も豊富です。また円錐角膜や角膜移植後に用いる特殊なハードコンタクトレンズ処方も行っています（注：通常のコンタクトレンズは取り扱っておりません）。

その他、糖尿病性網膜症などの網膜疾患や、緑内障に対する各種レーザー治療も行っています。緑内障や網膜疾患に関しては、必要に応じて琉大附属病院の専門外来と連携しており、患者さんにとって最適な医療を提供できるよう工夫しています。

手術は、白内障手術や翼状片手術をはじめ、年間約 30 件の角膜移植手術を行っており、表層角膜移植や角膜内皮移植といった角膜部分移植（パーツ移植）は、県内では当科のみが行っています。当科での手術は白内障や翼状片手術も含め、基本的に入院手術となりますが、それにより病院スタッフによるしっかりとした周術期の管理を行うことが可能です。近隣の眼科クリニックからも多数の患者さんをご紹介いただいており、皆様に安心して手術を受けていただけるものと思っています。

医師プロフィール

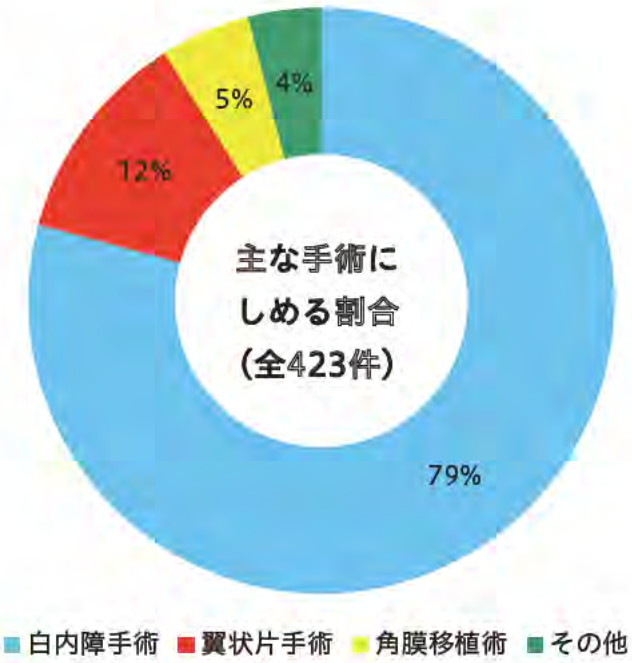
（平成 28 年 8 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定など
眼科部長	親川　格	一般眼科・角膜移植（移植、特に角膜内皮移植）	日本眼科学会専門医 AMO Advanced Femtosecond Laser iEK certification

検査・治療・手術件数

手術件数一覧

部位・行為	件数
白内障手術	335
翼状片手術	50
角膜移植術	21
その他	17
合計	423



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
DMEK 手術合併症(graft detachment)の回避に有用な新たな方法	第 69 回日本臨床眼科学会	愛知県	2015 年 10 月 24 日	親川 格

年度総括

眼科医長
親川　格

平成 25 年度より、角膜内皮移植術を導入することができ、より専門性を活かした眼科診療が可能になっています。

これからも患者さん一人一人に最も適した、質の高い医療を提供できるよう、スタッフ一同精進していきたいと考えています。

耳鼻咽喉科

耳鼻咽喉科は文字どおり、耳や鼻、咽頭、咽喉の手術、頸部腫瘍などを扱っている診療科ですが、その範囲は広く、のどの先の気管や食道の病気や機能異常も取り扱います。

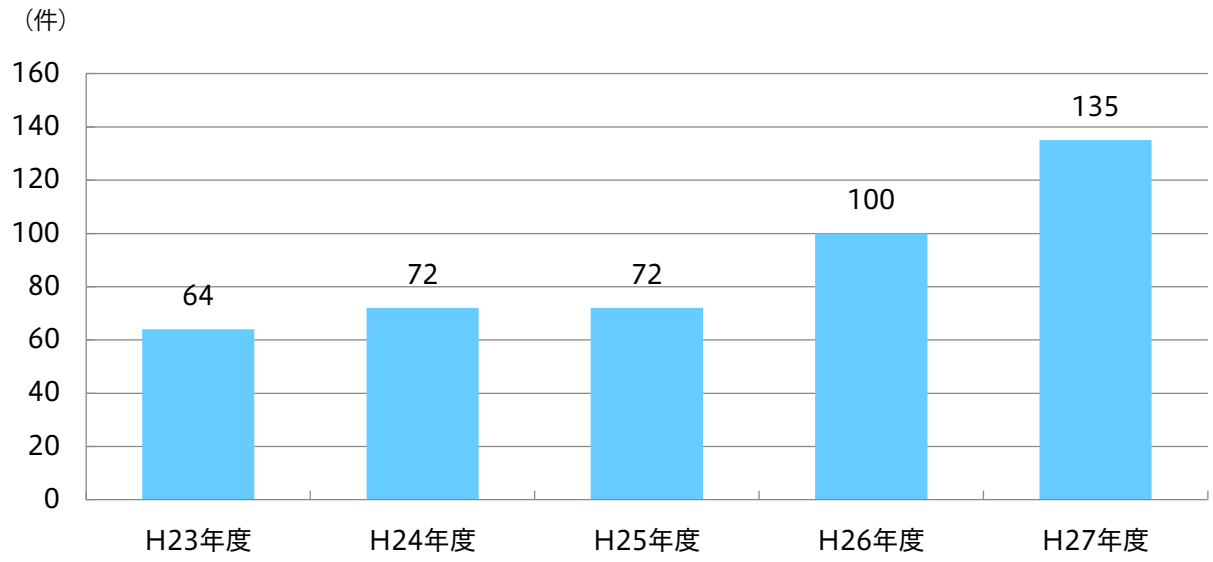
医師プロフィール

（平成 27 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
	平塚　宗久		

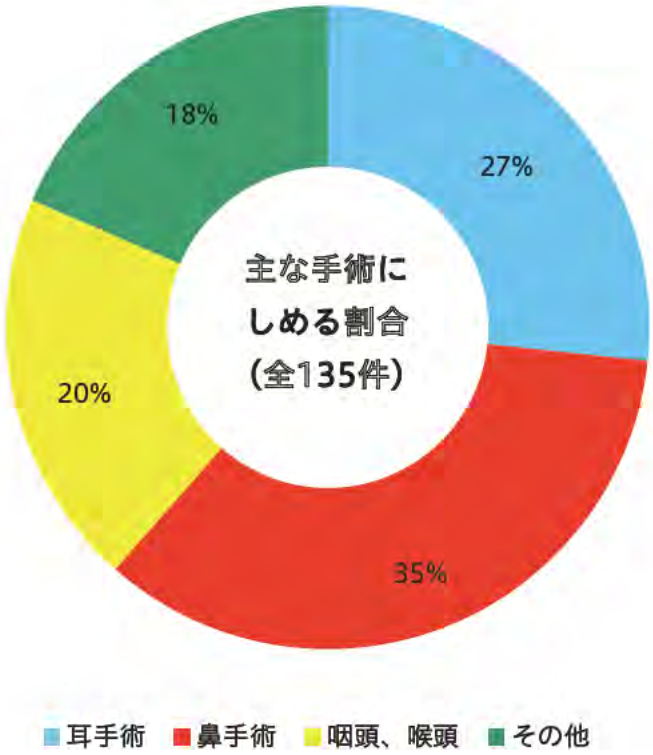
検査・治療・手術件数

手術件数推移



手術件数一覧

名称	件数
耳手術	36
鼻手術	47
咽頭、喉頭	27
その他	25
総計	135



年度総括

耳鼻咽喉科
平塚　宗久

平成 27 年度より皆様の診療にあたらせていただいております。

平成 27 年度の手術では前年度 100 件より 35 件増加し 135 件になりました。現在、手術は主に開業医、大学病院医師との連携で行っております。地域医療支援病院として、今後も他院・他科の先生方との病診連携の維持に努め、より患者さんの立場に立った診療が行えるように努力したいと考えております。平成 28 年度は常勤医不在となってしまい大変ご迷惑をおかけすると思いますが、引き続き大学病院からの医師を招聘しさらに外来体制を充実させていく予定です。

今後とも皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いします。

泌尿器科

当科は、平成 8 年度から琉球大学泌尿器科からの常勤医 1 人体制でスタートし、平成 20 年 4 月からは常勤医 2 人体制になりました。しかしながら大学の医局員不足の影響から平成 26 年 4 月からは 1 人体制で診療を継続しています。当科の特徴としてとしては北中城村、宜野湾市、中城村、西原町、与那原町、南城市、那覇市の一部、浦添市の一部をカバーしています。　この広い地域で泌尿器科は琉大以外、当院と与那原中央病院のみとなっています。

病診連携の浸透でクリニックや施設からの紹介の増加とともに、患者さんが年を追うごとに増加しています。PSA 検査が普及し、前立腺生検は 40 施行し 27 例が前立腺癌の診断でした。前立腺全摘術は琉大やダビンチのある中部徳洲会病院へ紹介し、放射線治療はトモセラピーで南部徳洲会病院へ依頼しています。ホルモン療法の患者さんは総計 100 人程度に達しています。

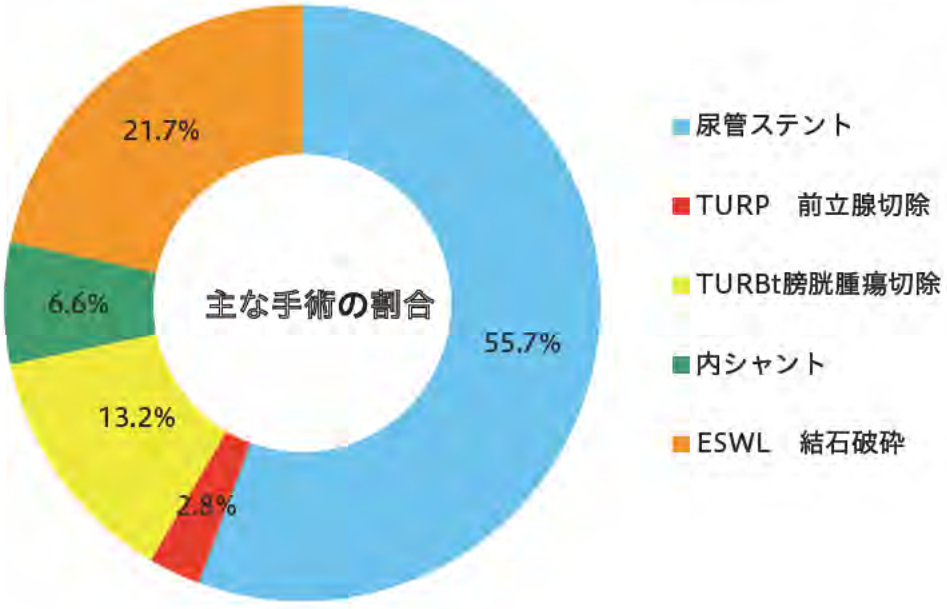
手術では、尿管ステント、経尿道的手術、腹腔鏡下腎摘術等施行しています。尿路結石治療では、27 年度 6 月から ESWL が再稼働可能となり 24 例の破砕治療を施行しました。また、琉大泌尿器科からは月、金、土曜午前の外来と月曜日の手術の応援を頂きました。

医師プロフィール

（平成 27 年 9 月現在）

役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川　春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医
	宮里　実 （非常勤）		
	安次嶺　聡 （非常勤）		

検査・治療・手術件数



年度総括

泌尿器科部長
嘉川　春生

平成 27 年度は外来患者さんが増加しており、なかでも紹介の患者さんが増加傾向にあります。患者さんの増加に伴い、待ち時間対策が必要となってきています。

平成 24 年 12 月から外来に軟性膀胱鏡が導入され、痛みの少ない膀胱鏡検査が可能となりました。検査数は年間 100 例以上となっています。

一方、入院に関しては、手術件数は減少しています。前立腺全摘術等は琉大や中部徳州会病院に紹介しています。ESWL による結石治療は新規 24 人でした。

平成 28 年度 4 月から喜久山明先生を迎え、常勤 2 人となり診療体制が充実する予定です。

次年度目標

- 琉大泌尿器科との連携の継続
- 待ち時間対策
- 検査日の拡充
- ESWL の継続と症例数の増加
- 常勤 2 人体制の確立

産婦人科

常勤医師 3 名、後期研修医 1 名 (8 月末退職)、助産師 18 名、看護師 8 名、看護助手 3 名、医療事務 1 名の体制でした。産科領域では 35 週以降の分娩、無痛分娩、婦人科領域では良性、悪性腫瘍の開腹、経膣、腹腔鏡手術 / 化学療法や緩和医療、不妊内分泌ホルモン療法、更年期の薬物療法等を行い、放射線及び体外受精以外の治療を幅広く行なっています。

医師プロフィール

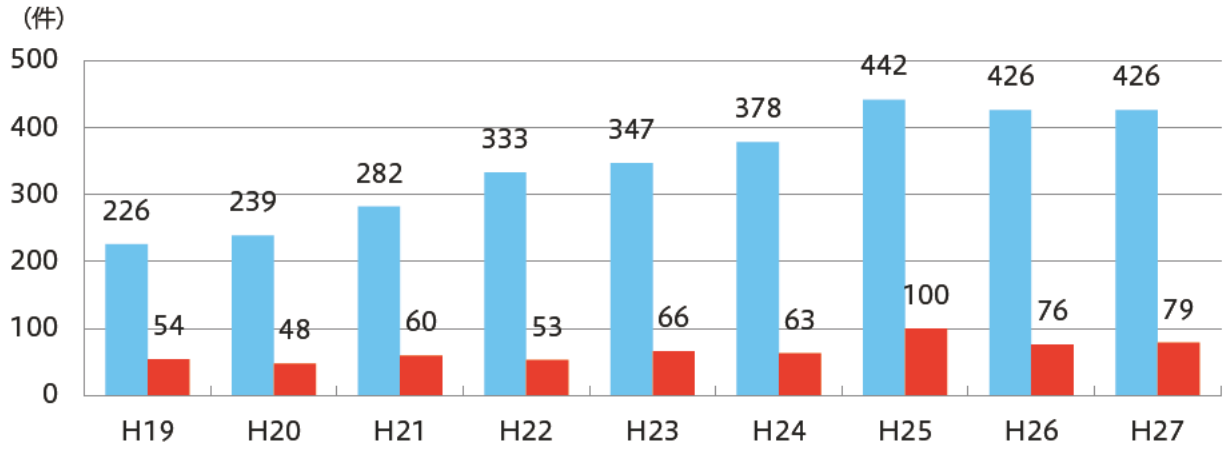
(平成 27 年 9 月現在)

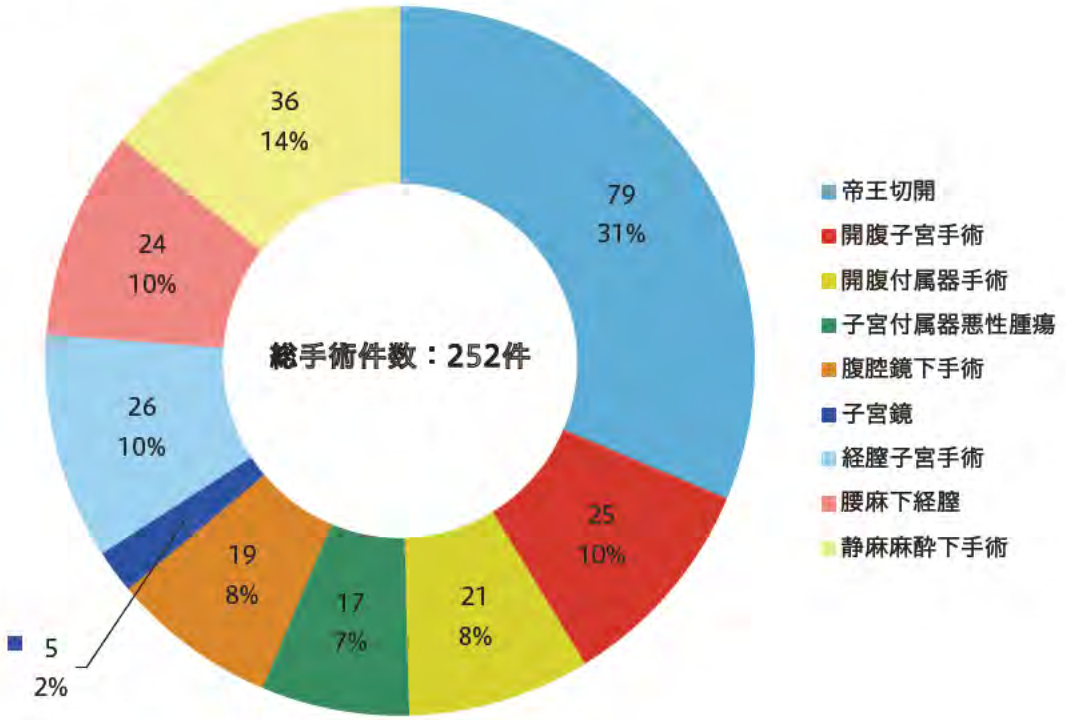
役職	氏名	専門分野	学会認定
産婦人科センター長 婦人科部長	武田　理	産婦人科全般、婦人科腫瘍、腹腔鏡下手術	日本産婦人科学会指導医 日本婦人科腫瘍学会婦人科腫瘍専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
産科部長	大西　勉	産婦人科全般	日本産婦人科学会専門医 母体保護法指定医
	喜久本　藍	一般産婦人科	日本産婦人科学会専攻医

検査・治療・手術件数

産科部門

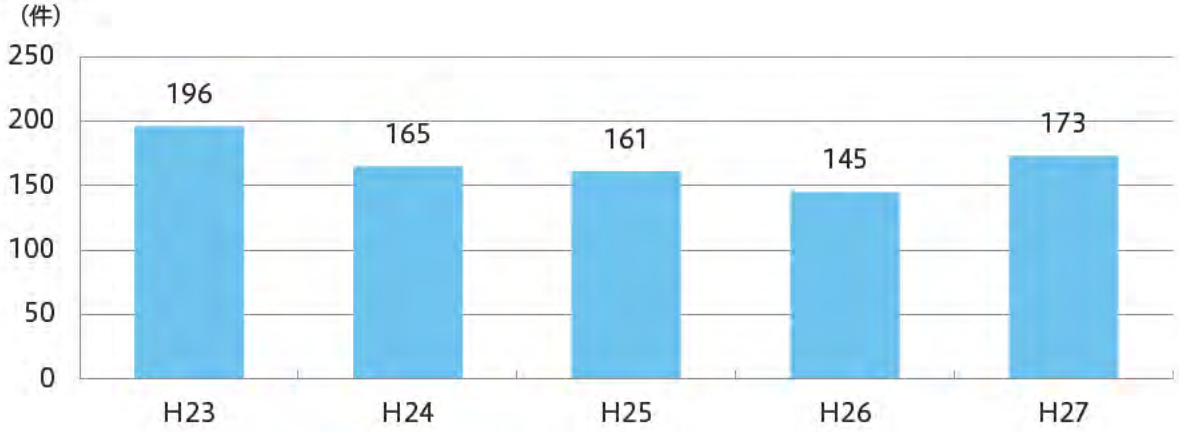
総分娩件数　　426 件　（うち経膣分娩 347 件 , 帝王切開　79 件）

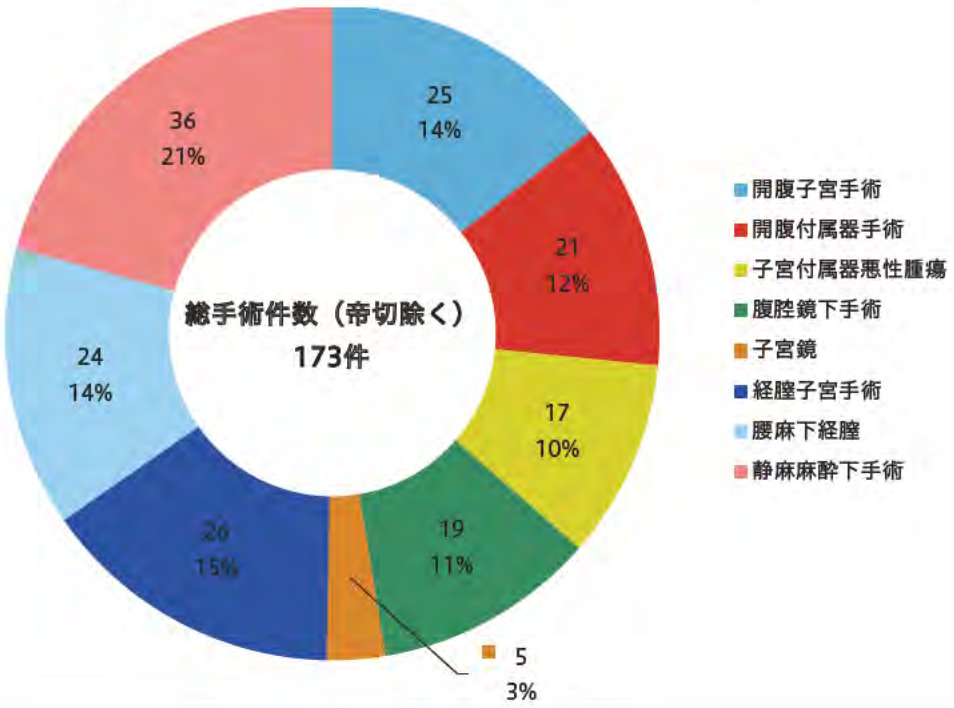



79
31%
25
10%
21
8%
17
7%
19
8%
5
2%
26
10%
24
10%
36
14%
総手術件数：252件
帝王切開
開腹子宮手術
開腹付属器手術
子宮付属器悪性腫瘍
腹腔鏡下手術
子宮鏡
経膣子宮手術
腰麻下経膣
静麻麻酔下手術

婦人科部門

総手術件数


(件)
250
200
150
100
50
0
196
165
161
145
173
H23
H24
H25
H26
H27


25
14%
21
12%
17
10%
19
11%
5
3%
26
15%
24
14%
36
21%
総手術件数（帝切除く）
173件
開腹子宮手術
開腹付属器手術
子宮付属器悪性腫瘍
腹腔鏡下手術
子宮鏡
経膣子宮手術
腰麻下経膣
静麻麻酔下手術

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
悪性転化を伴う卵巣成熟嚢胞性奇形腫の1例	第 67 回日本産科婦人科学会学術集会	神奈川県	2015 年 4 月 9 日～12 日	武田　理、山本裕介、喜久本藍、大西　勉
Brenner 腫瘍の成分を伴った卵巣甲状腺腫の1例	第 57 回日本婦人科腫瘍学会学術講演会	岩手県	2015 年 8 月 7 日～9 日	武田　理、山本祐介、喜久本藍、大西勉、戸田隆義、喜友名正也
子宮内膜症における腫瘍マーカーの検討	第 41 回沖縄産科婦人科学会　学術集会	沖縄県	2015 年 9 月 6 日	武田　理、喜久本　藍、山本裕介、大西　勉
異所性妊娠で腹腔鏡下卵管切除により判明した卵管境界悪性腫瘍の2例	第 55 回日本産科婦人科内視鏡学会学術講演会	神奈川県	2015 年 9 月 10 日	武田　理、山本祐介、喜久本藍、大西勉、戸田隆義、喜友名正也

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
GIST との鑑別を要した腸管子宮内膜症の 1 例	日本エンドメトリオーシス学会会誌 36 巻	171-175 2015	武田　理、山本裕介、喜久本　藍、大西　勉、阿嘉裕之、戸田隆義、喜友名正也
子宮内膜症における腫瘍マーカーの検討	沖縄産科婦人科学会雑誌 第 38 巻	p49-54	武田　理、喜久本　藍、大西　勉

年度総括

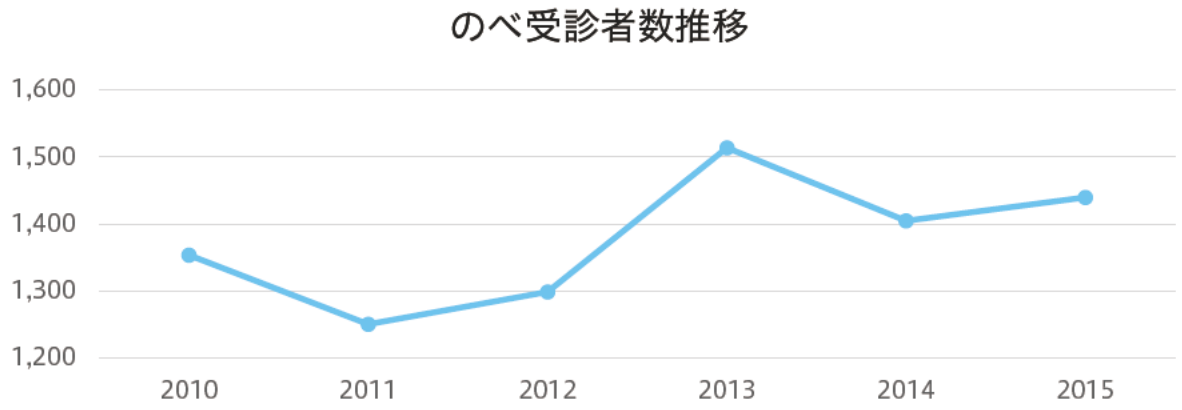
産婦人科
センター長
武田　理

分娩数は平成 26 年度とほぼ同数で 400 件を越え、現状のスタッフ数から考えて十分健闘していると思われますが、医師や病棟スタッフの増員が急務と思われます。一方、婦人科手術は内視鏡手術や経膣手術例が増加し 26 年度から約 30 件増に反映されました。分娩数の維持と更なる婦人科患者数の増加を図ることが重要で、院外への広報活動も引き続き活発に推進いただけますと幸甚です。宜しくお願いします。

皮膚科

皮膚科は、毎週火曜日と木曜日の午後の外来診療を行っています。
診療は琉球大学医学部附属病院の皮膚科医師が非常勤で対応しております。

診療実績



放射線科

放射線科の診療は CT、MRI、RI(ラジオアイソトープ)、マンモグラフィー、IVR(血管内治療) の適用判断、検査内容の指示、診断、読影が主な業務内容になっております。画像のみを扱う画像診断と画像支援で治療を行う IVR に大きく分かれます。IVR には肝動脈化学塞栓療法などの待機的治療から、出血に対する血管塞栓術など緊急を要する治療も行っています。さらに他科とのカンファレンスや研修医教育なども重要な業務です。

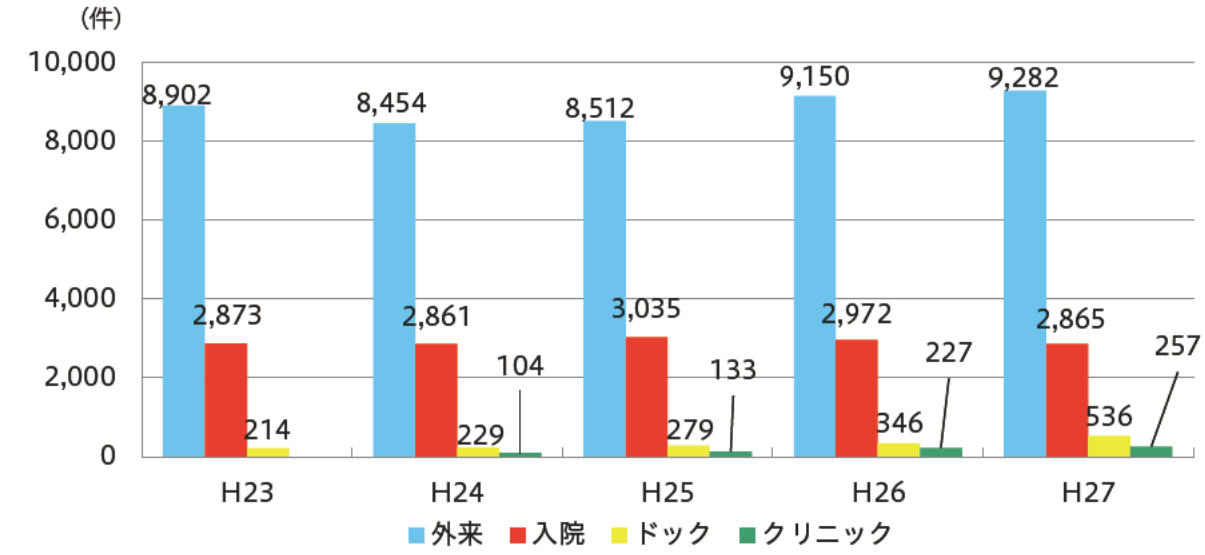
医師プロフィール

(平成 27 年 8 月現在)

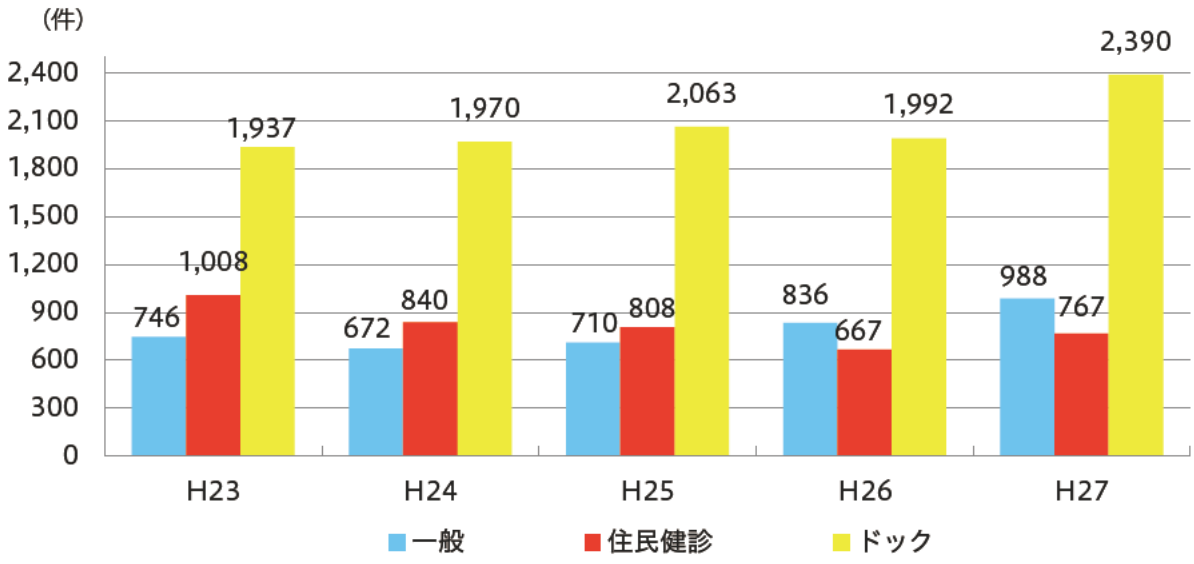
役職	氏名	専門分野	学会認定など
放射線科部長	高良　誠	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医
	耒田　美和	放射線診断学	日本医学放射線学会診断専門医

各種検査・治療件数と推移一覧

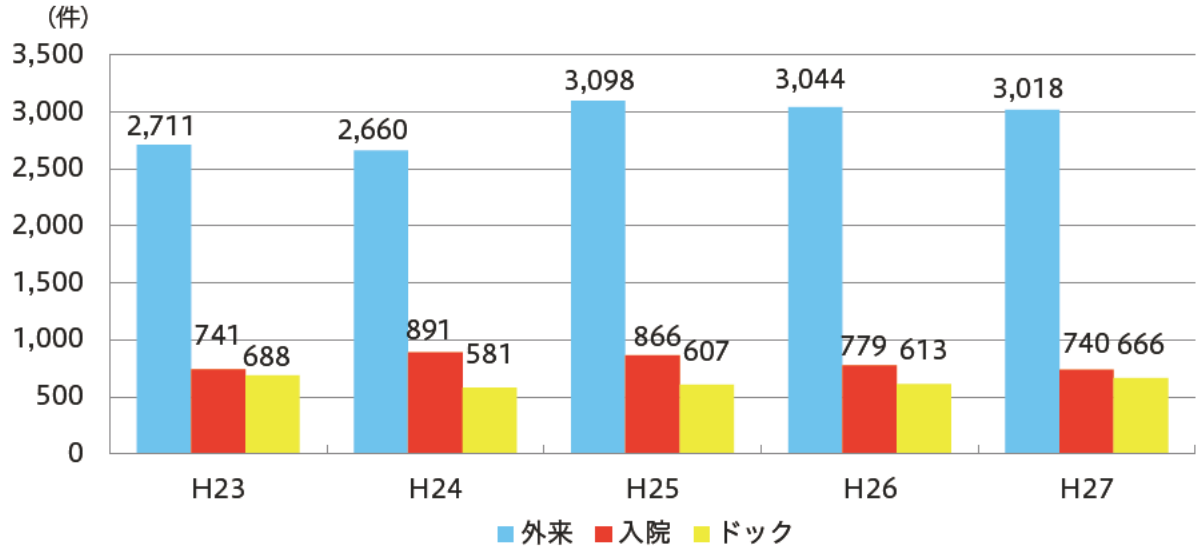
CT 検査



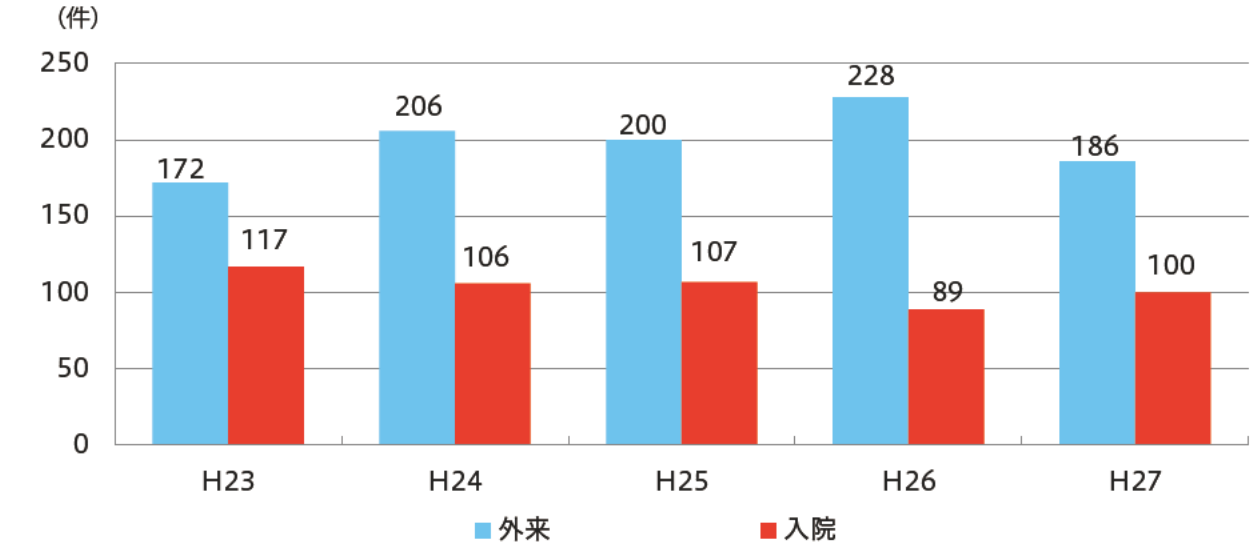
マンモグラフィ検査



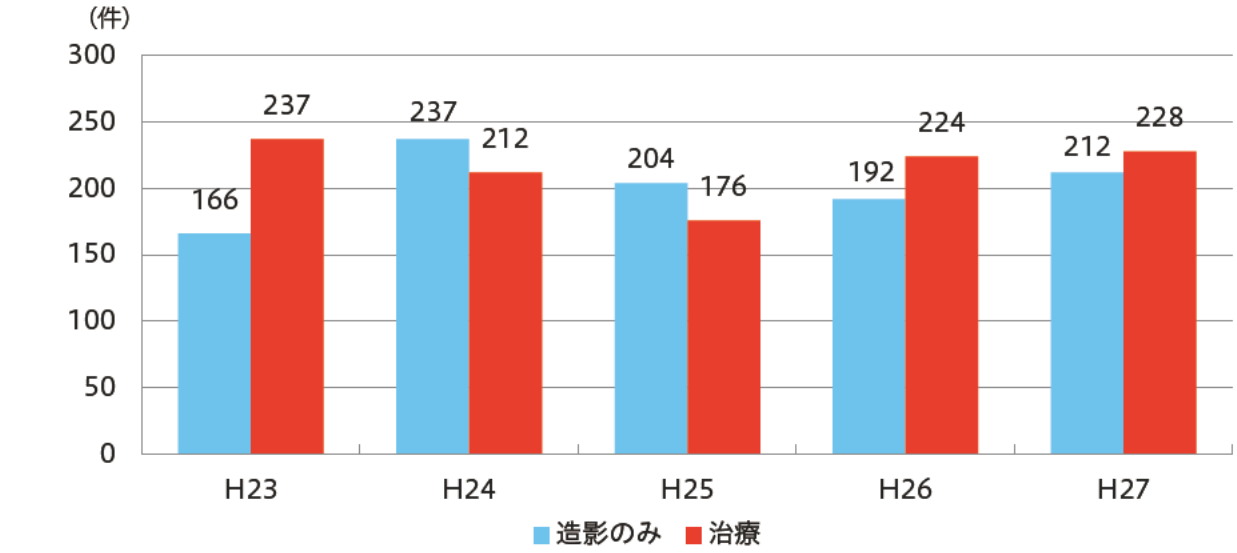
MRI 検査



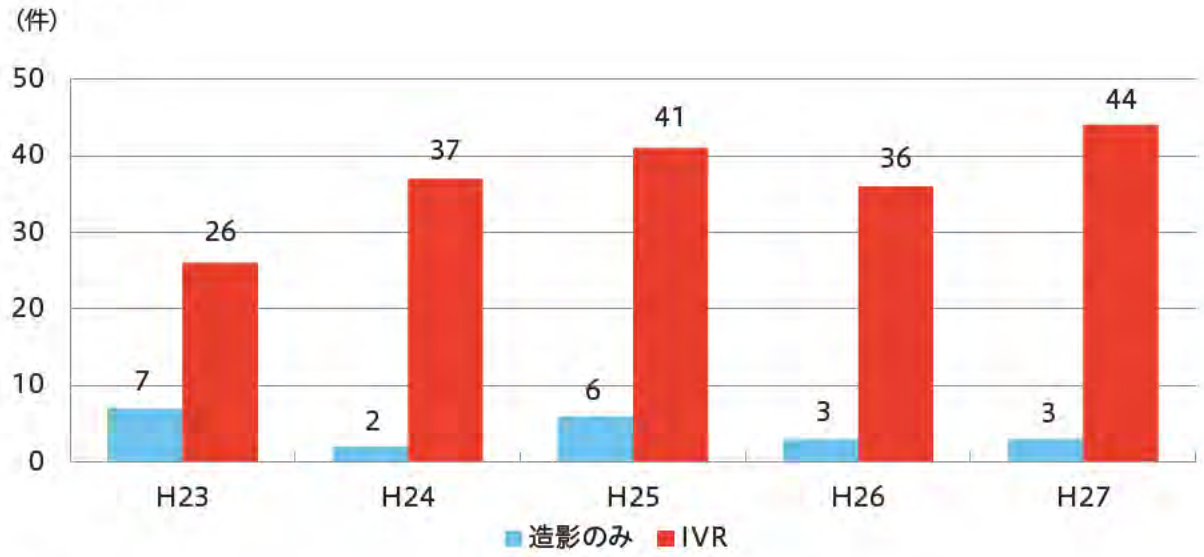
RI 検査



angio 総計



腹部アンギオ



年度総括

放射線科副部長
高良　誠

平成 27 年度は常勤二名体制で、ダブルチェック体制、カンファレンス、研修医教育等、放射線科業務に対応しています。

今年度の CT、MMG、IVR の検査件数は増加し、RI、MRI はやや減少。翌診療日までの読影加算 2 の規定は十分クリアできています。

IVR では特に肝動脈塞栓化学療法の件数が増加し、さらに新しいデバイスなどによる治療効果の向上がありました。最新の MRI、CT、マンモグラフィー機器の導入とスタッフの努力があり、画質が向上し診断能が上昇しています。

平成 28 年度は新しいアンギオ装置の導入を準備しています。さらに要望の高い 2 台目の MRI の導入を検討していきます。救急症例に血管内治療で対応していきます。

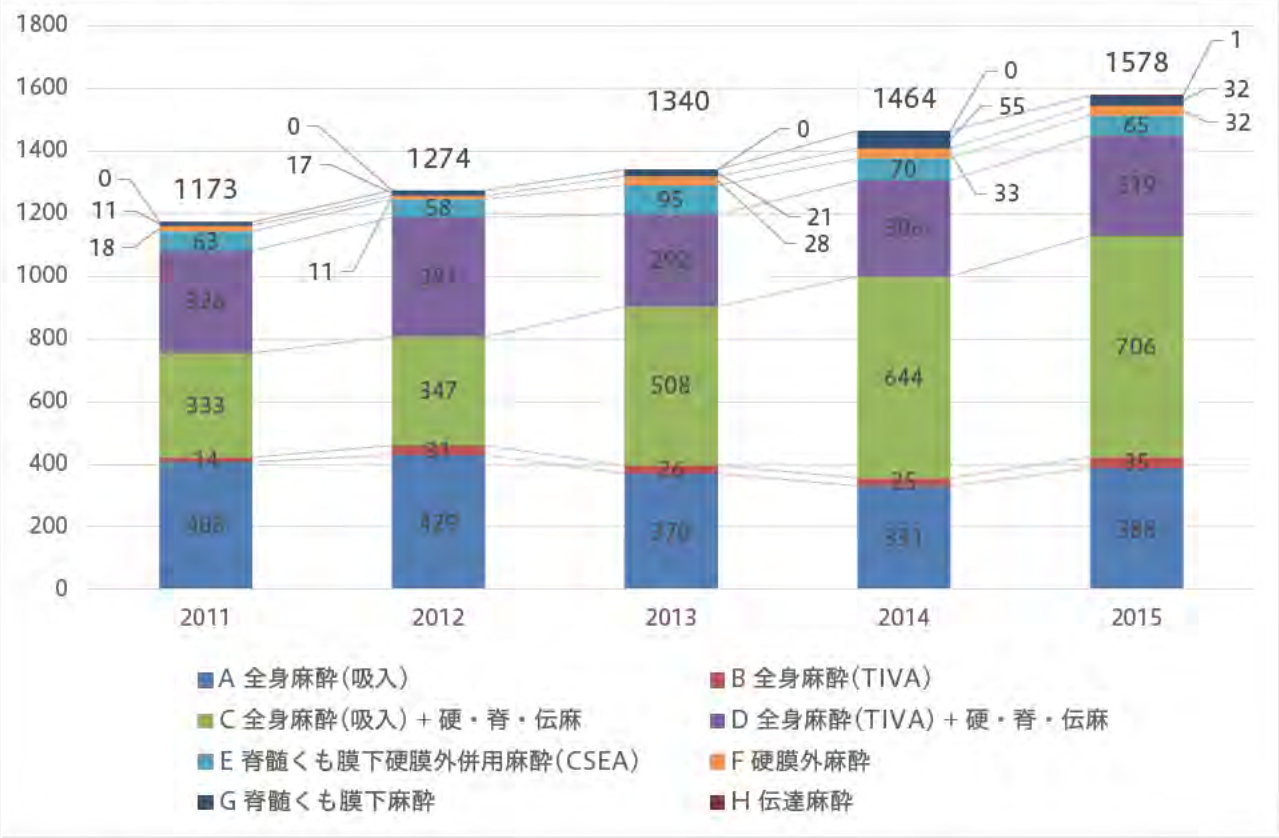
麻酔科

医師プロフィール

（平成 27 年 12 月現在）

麻酔科			
副院長 麻酔科部長	久場　良也	集中治療・麻酔	日本麻酔科学会指導医 日本集中治療医学会専門医 日本ペインクニック学会認定医
麻酔科医長	釜野　武志	一般麻酔	日本麻酔科学会専門医
	喜屋武　秀文	一般麻酔	日本麻酔科学会認定医
	嘉手苅　由梨	一般麻酔	

麻酔別件数推移



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
エンドドキシン値の再上昇を認めたが、2 回の PMX-DHP+CHDF により救命した S 状結腸穿孔の 1 例	第 25 回日本集中治療医学会九州地方会	福岡県	2015 年 6 月 20 日	久場　良也、釜野　武志、奥間　陽子、嘉手苅　由梨
ICU 離床プログラムを導入後の現状	第 43 回日本集中治療医学会	兵庫県	2016 年 2 月 12 日	又吉　愛美、新川　愛美、安村　公均、勝連しのぶ、洲鎌　正子、久場　良也
当院における高齢者の敗血症性ショック集中治療の現況 -PMX-DHP 施行症例の年代別比較 -	第 43 回日本集中治療医学会	兵庫県	2016 年 2 月 13 日	久場　良也、釜野　武志、嘉手苅　由梨

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
PMX-DHP と CHDF の併用が有効であった非閉塞性腸管虚血症による敗血症性ショックの 1 例	エンドトキシン血症救命治療研究会誌	2015;19(1) : 180-84	久場良也、釜野武志、奥間陽子、嘉手苅由梨

年度総括

麻酔科医長
釜野　武志

麻酔科は大きく変わりました。平成 27 年 12 月より喜屋武 秀文医師を迎え、今後は久場 良也副院長、釜野、研修中の嘉手苅 由梨医師計 4 人の常勤医師で手術室を管理していきます。今後手術室を 3 室増やす予定ですので、もう少し常勤医師を確保できればと考えており、平成 28 年 5 月に 1 人増員予定です。

主な業務は手術麻酔と集中治療室管理です。外科、整形外科、産婦人科、脳神経外科、泌尿器科、形成外科など各外科系手術、及び内科経口内視鏡的手術の麻酔をまんべんなく行っております。昨年同様アカラシアに対する経口内視鏡的手術（POEM）など県内他施設ではほぼ目にすることのない手術の麻酔管理、90 代の骨折手術の麻酔から乳幼児の腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術の麻酔管理、帝王切開の麻酔管理まで幅広い症例の麻酔に対応しています。集中治療室管理として、術後の呼吸管理、鎮痛管理や血液浄化の管理を中心に行っておりますが、必要時には他科の先生方の集中治療室での呼吸管理、循環管理、鎮痛管理、鎮静管理など様々な手伝いもしております。

平成 27 年度の麻酔管理件数は 1,578 件（前年比 7.5% 増）、全身麻酔管理件数 1,448 件（同 10.9% 増）でした。12 月より常勤医師（喜屋武医師）が増えたことと、手術室運用の更なる改善に伴う可動率の増加がそのまま手術件数の増加につながり、麻酔管理件数の増加に反映されたと考えております。今後手術室増室までは現在の件数を維持できるようにしたいと考えております。

研究業績に挙げたとおり、久場副院長を筆頭に全員が可能な限り各学会に参加・発表を行い、レベルの高い周術期管理を実践できるよう日々研鑽しております。学会出張時には手術制限を行い各科の先生方にはご迷惑をおかけしておりますが、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。今後とも安全な手術室管理へのご理解・ご協力よろしくお願い致します。

麻酔科部長
久場　良也

喜屋武　秀文

嘉手苅　由梨

血液浄化部

血液浄化部は、医師 3 名、夜間透析回診琉大非常勤医師、正看護師 20 名、臨床工学技士 12 名、看護助手 2 名、クラーク 1 名で診療にあたっています。

昨年度に続き平成 27 年度も、医師が増員となり体制が強化されました。特に今回は、透析治療に造詣が深い腎臓内科の張先生が加わり、診療の幅が広がり、また、レベルアップが図られました。

平成 27 年度の透析患者数は 110 名程度と昨年と大きく変わりはありませんでした。外科・整形外科手術のための透析患者転院受け入れ、透析患者の施設入所支援、近隣の透析クリニックの後方支援も行っています

職員数

医師	3 名	臨床工学技士	11 名（機器管理、カテ業務含む）
正看護師	19 名	助手	2 名
		クラーク	1 名

医師プロフィール

（平成 27 年 9 月現在）

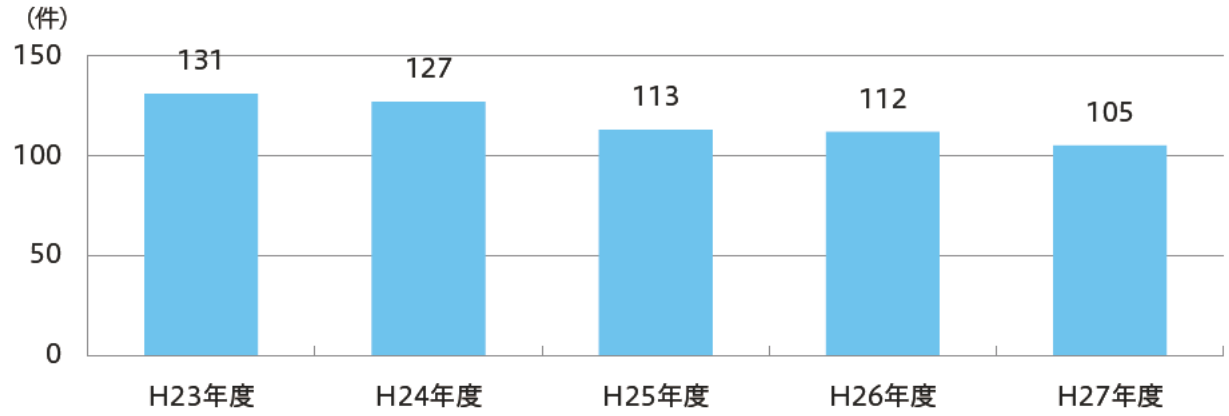
役職	氏名	専門分野	学会認定
泌尿器科部長 血液浄化部長	嘉川　春生	一般泌尿器	日本透析医学会専門医 日本泌尿器科学会指導医
血液浄化部医長	菅谷　明子	急性血液浄化、産業保険、外傷外科・集中治療	日本産業衛生学会専門医 日本救急医学会救急科専門医 産業医科大学産業医学ディプロマ 日本医師会認定産業医
	張　同輝	腎臓内科一般	日本透析医学会指導医 日本透析医学会透析専門医 日本腎臓学会腎臓専門医 日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医

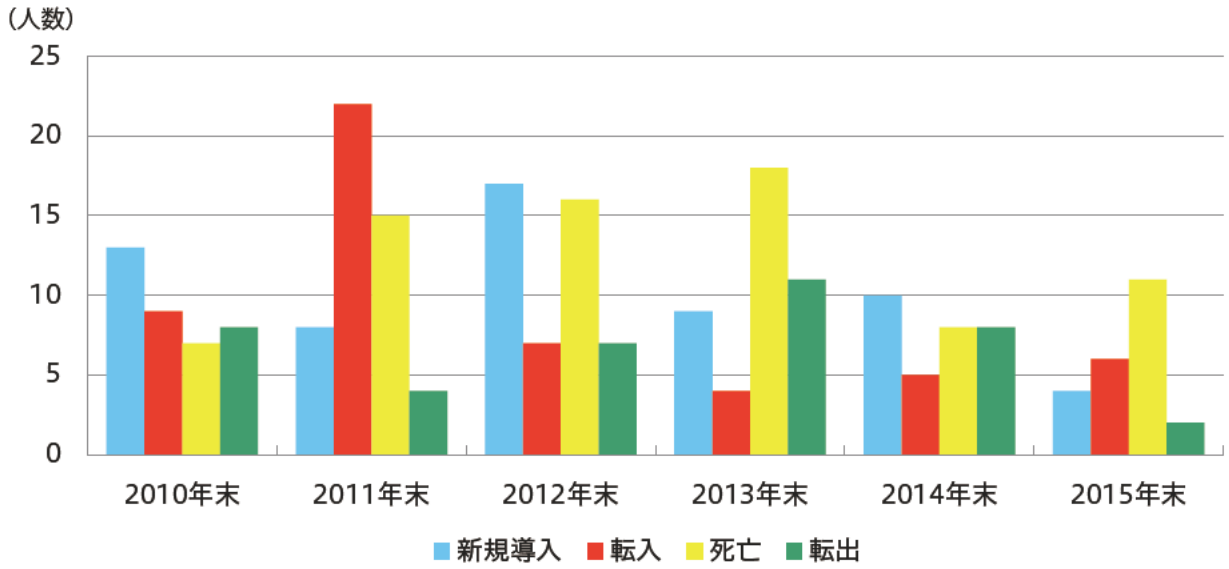
認定・資格

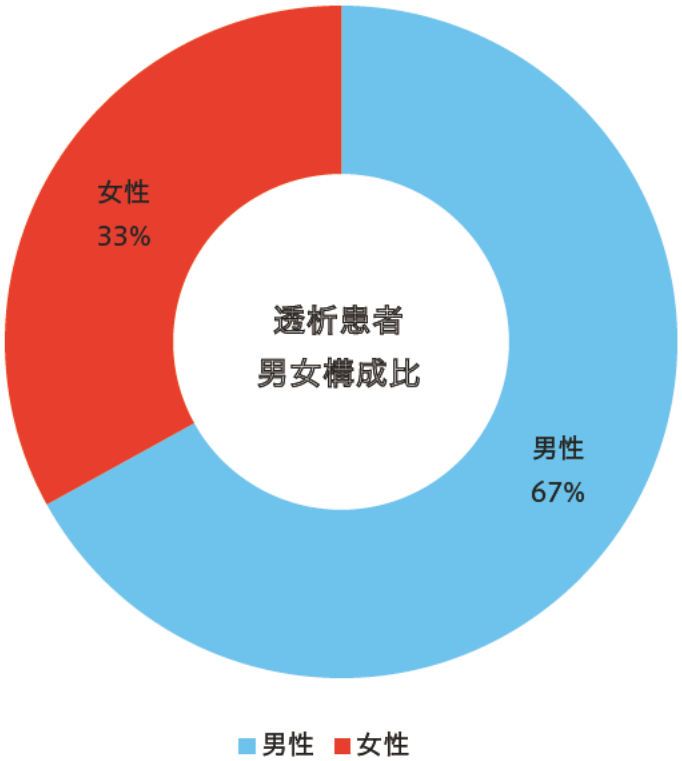
氏　　名	認　定　・　資　格　名
竹本直美	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
宮城幸江	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
屋良淳子	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
新里恭子	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
米須真由美	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
清水史恵	透析療法指導看護師
大城安	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
野原剛	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
弓濵義之	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
仲松晋也	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士
内里司	透析療法専門合同委員会認定　透析技術認定士

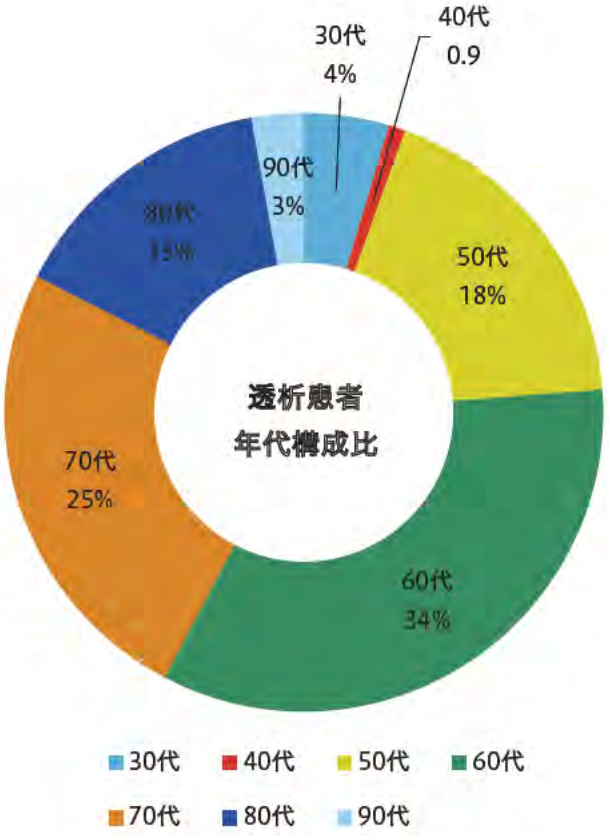
透析関連統計

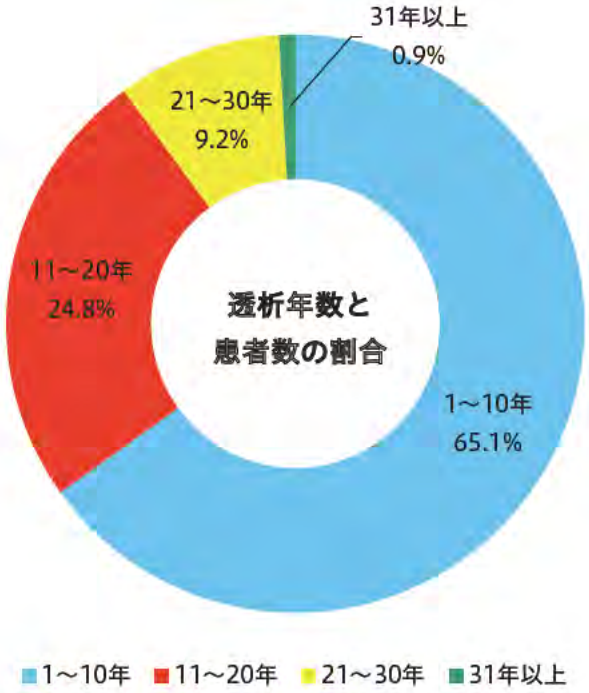
透析患者推移



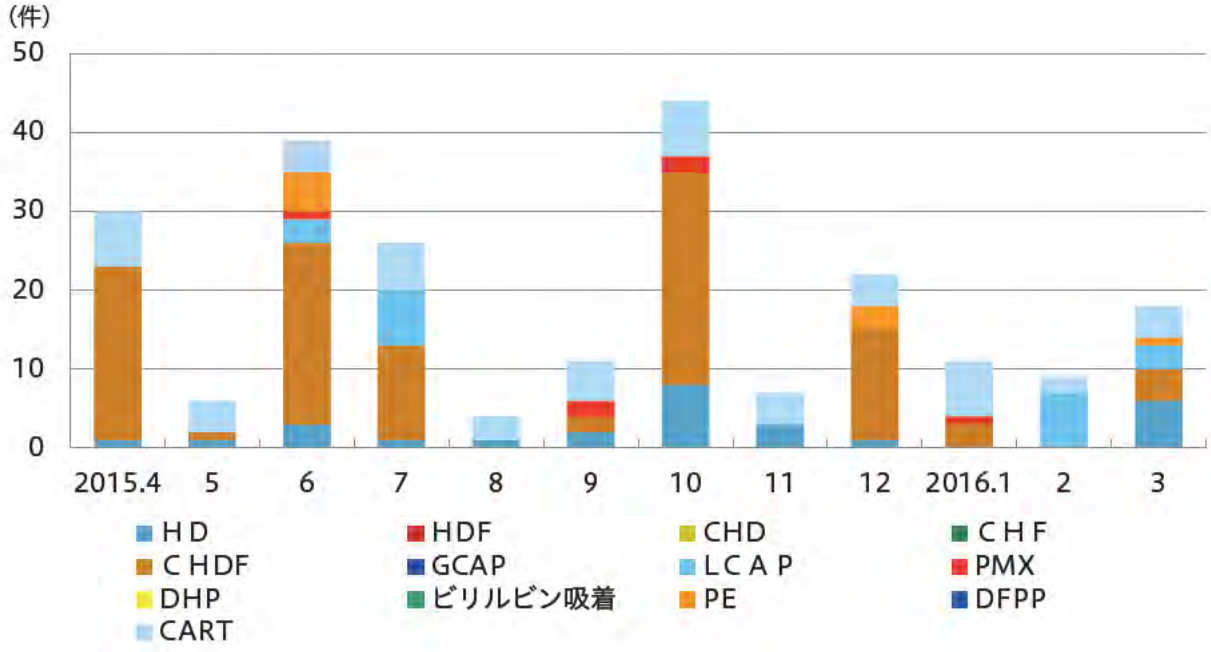





透析患者
年代構成比
30代
4%
40代
0.9
50代
18%
60代
34%
70代
25%
80代
15%
90代
3%
30代
40代
50代
60代
70代
80代
90代


透析年数と
患者数の割合
31年以上
0.9%
21～30年
9.2%
11～20年
24.8%
1～10年
65.1%
1～10年
11～20年
21～30年
31年以上

出張血液浄化症例数


(件)
50
40
30
20
10
0
2015.4
5
6
7
8
9
10
11
12
2016.1
2
3
HD
HDF
CHD
CHF
CHDF
GCAP
LCAP
PMX
DHP
ビリルビン吸着
PE
DFPP
CART

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
災害対策の取り組み	第 60 回日本透析医学会・学術集会・総会	神奈川県	2015 年 6 月 27 日	○久場和子、與那覇直子
災害対策の取り組み	第 60 回日本透析医学会・学術集会・総会	神奈川県　パシフィコ横浜	2015 年 6 月 27 日	○久場和子、與那覇直子
当院の台風災害対策～台風 8 号沖縄本島接近時の対応～	第 60 回日本透析医学会学術集会・総会	神奈川県　パシフィコ横浜	2015 年 6 月 28 日	○内里司、栄野川盛広、宮城幸江、野原剛
ﾊﾞｽｷｭﾗｰｱｸｾｽの管理向上を試みて	第 49 回九州人工透析学会	長崎県	2015 年 12 月 6 日	○屋良淳子、島袋さおり
VA・透析モニタリング	第 1 回　腎代替療法研究会	那覇市医師会館	2016 年 2 月 20 日	○大濵明日香
透析用留置針変更に伴う緊急離脱法の検討	第 21 回日本集団災害医学会総会・学術集会	山形県　山形ビックウィング	2016 年 2 月 27 日	○野原剛
透析室専用フットカルテ作成、継続的ケアをめざし	第 34 回沖縄人工透析学会	沖縄県	2016 年 3 月 13 日	○赤嶺美智江、上原千晶

年度総括

血液浄化部部長
嘉川　春生

今年度は、院内でも、対外的にも、たくさんの連携が始まり、また、それらが強化された 1 年でした。例えば、ずっと休止になっていた腹膜透析外来の再立ち上げのための研修を開始しました。また、多くの腎不全の患者さんに血液透析以外の選択肢を提供するため、琉大第 3 内科腎選択療法外来との連携を強化しました。

平成 28 年 2 月には院外から先生を招いて、腹壁ヘルニア修復と腹膜透析カテーテル挿入の同時手術をおこなっていただき、多くのスタッフがその手術を見学する機会を得ることもできました。これらにより、来年度には腹膜透析外来開始の目処が立ちました。更に、臨床工学技士が中心となってシャント管理についての対応の統一化が進められました。今まではシャント不全の際に多くの患者さんが転院を余儀なくされていましたが、院内において、検査科・放射線科の協力と循環器内科の先生方のご支援により、当院内で安心してシャント PTA（血管内治療）を受ける事ができるようになりました。また、シャント作成においては、形成外科の先生方からご協力を得ることができるようになりました。これにより導入前のシャント造設がスムースになっただけでなく、PTA だけでは改善することができない、シャント不全への対応方法の幅が広がりました。他にも院外処方を開始し、近隣の薬局の薬剤師さんたちに、人数が多いためにこれまでなかなか難しかった服薬指導をしてもらえるようになりました。

また、今年度も琉大第 3 内科には月曜日夜間の応援を継続していただくことができ、助けていただきました。

【次年度目標】

1．患者さんの待ち時間対策

2．腹膜透析外来の開始

3．腎臓リハビリテーションの取り組み開始

救急総合診療部

「ちゃんと助ける救急室」「地域に開かれた救急室」「専門診療科との高度な連携を取る救急室」「充実した研修のできる救急室」を目標に業務の改善を図っています。

平成 27 年度は、心電図伝送システムの運用開始と、DMAT 隊の本格的な出動が、大きなエピソードとなりました。

研究業績

学会発表

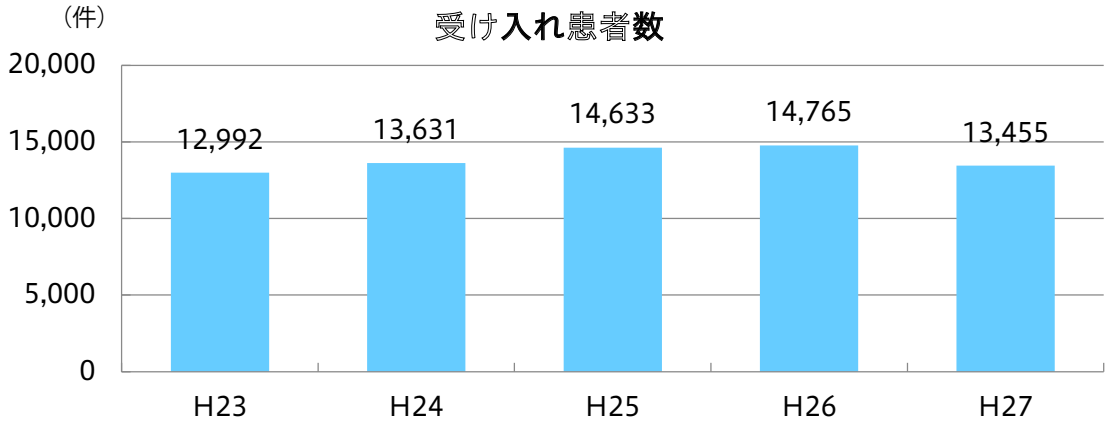
演題名	学会名	開催地	発表年月	発表者
心エコーで確認できない薬剤性心筋症の描出に MIBI WOR が有効と思われた一例	第 25 回日本心臓核医学会総会・学術集会	東京	2015 年 6 月 26 日	三戸正人
心タンポナーデ発症を契機に診断に至った APS を合併した活動期 SLE の一例	第 43 回日本救急医学会総会・学術集会	東京	2015 年 10 月 21 日	伊藤誠、三戸正人、銘苅正
抗毒素血清が使用できず重症化したものの集学的治療により救命したハブ咬傷の一例	第 119 回日本循環器学会九州地方会	福岡	2015 年 12 月 5 日	三戸正人、銘苅正
ハーセプチン投与後に心肺停止をきたした HER2 陽性乳癌の一例	第 120 回沖縄県医学会	沖縄	2015 年 12 月 13 日	根間優美、三戸正人、秋元芳典、與座一
埋め込み後1年で断裂が確認された Pinch-off syndrome の一例	第 312 回日本内科学会九州地方会	福岡	2016 年 1 月 16 日	普久原朝規、三戸正人、秋元芳典、與座一
発熱と失神を主訴に搬送された劇症型心筋炎の一例	第 1 回沖縄クラウド型 12 誘導心電図伝送研究会	沖縄	2016 年 2 月 2 日	湧川林、三戸正人、秋元芳典、與座一
病院前心電図の可能性と画像伝送併用の可能性	第 3 回 12 誘導心電図伝送を考える会	東京	2016 年 1 月 16 日	三戸正人

医師プロフィール

（平成 27 年 9 月現在）

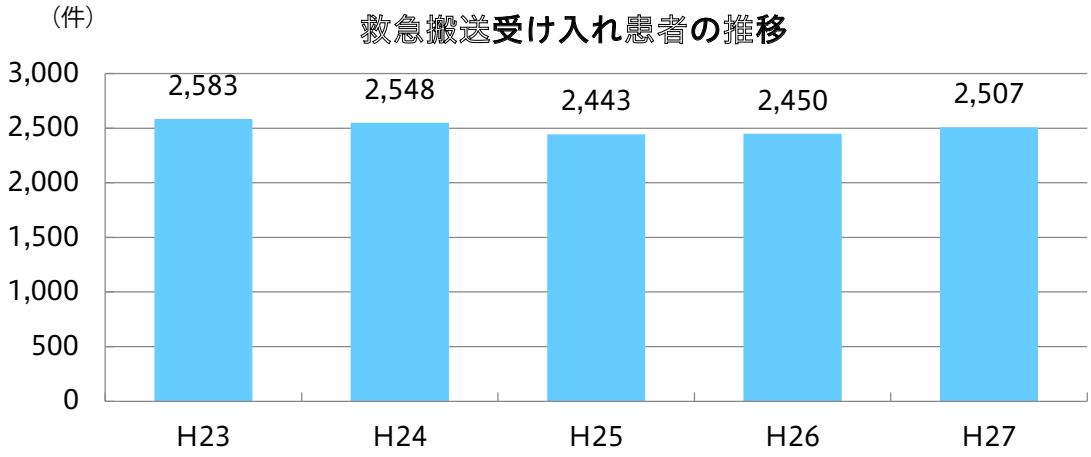
役職	氏名	専門分野	学会認定
救急総合診療部長	銘苅　正	一般外科、外傷外科	日本医師会認定産業医
救急総合診療部副部長 循環器内科医長	三戸　正人	循環器救急、地域医療、スポーツ医学	日本救急医学会救急科専門医 日本循環器学会専門医 日本内科学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本医師学会認定健康スポーツ医

実績

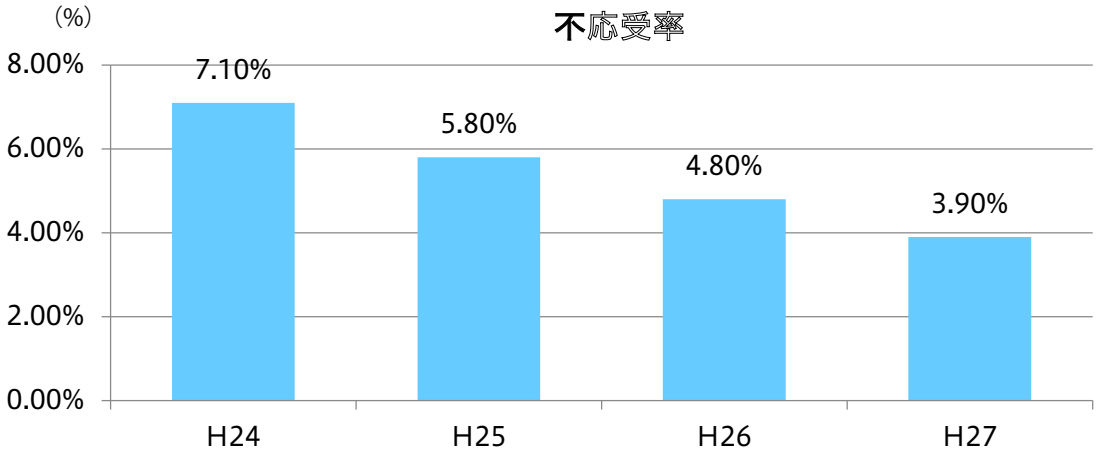


救急室を受診した患者数はかなり減少しています。原因としては、小児科の休日診療の中止と受付時間や紹介状のない患者への対応が、地域に浸透してきており、外来代わりの救急室利用が減少したことが考えれます。

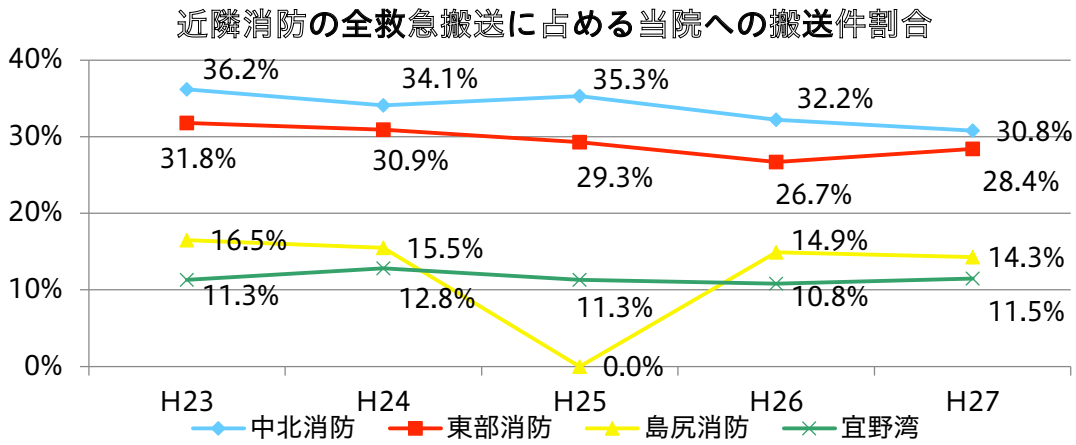
また、インフルエンザ流行時に、病床満床のため施設からの受診制限をかけたことも多少の影響があったと思われます。

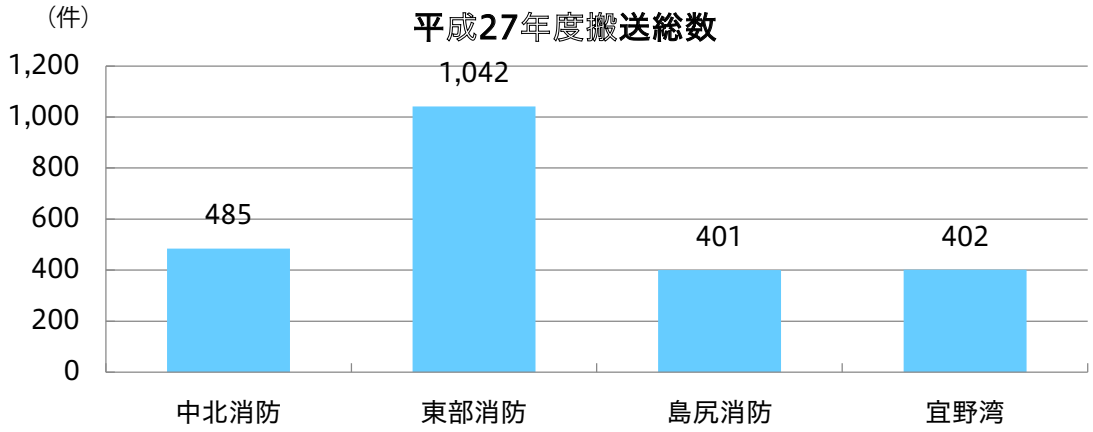


救急搬送患者数は 3 年ぶりに 2,500 件の大台を回復しました。搬送患者の入院率は 50% でこの 4 年間では最高でした。今後、6 時間～ 12 時間程度の経過観察の必要な患者を入院として管理できる体制を目指したいと考えています。



救急車の断り件数・不応受率は低下傾向にあり、平成 24 年度の 55% まで減少しています。





当院に最も救急患者を搬送している東部消防の搬送率が低下傾向であったのが、昨年度は増加に転じ平成 24 年度水準へ復しました。東部消防からは与那原中央病院の救急業務縮小により、平成 28 年度は増加が見込まれます。中北消防・宜野湾消防は中部徳洲会の移転や琉球大学の救急施設の増築などにより、今後減少する可能性があります。

その他の実績

心電図伝送システムが本格的に動き出しました。全国的にも先進的な活動で、NTT による広報・学会発表・講演会への講師派遣などで知名度を上げています。DMAT 隊が熊本地震被災に派遣されました。当院の DMAT 隊は沖縄県勢では、熊本一番乗りを果たしました。

来年度の目標

●外科受け入れ態勢の充実

平日オンコール体制は構築しましたが、休日の外傷断りがあります。

●救急車断り症例の減少

●研修医教育の充実：特に後期研修医希望者の育成

JATEC への 2 年目研修医の派遣

新専門医研修関連病院申請中

● DMAT, 病院救急車同乗出動の体制構築

●携帯型心電計の活用

年度総括

救急総合診療部長
銘苅　正

1: 診療体制

月～金の夜間の Load&GO 患者の受け入れを開始しました。残念ながら昨年度は、平日夜間の L&G 症例は 1 例のありませんでした。休日には数件の要請がありましたが、断り症例となっています。

夜間の体制を整備したことで、平日時間内の外傷診療にも良い影響がありました。各診療科の連携が、これまで以上にスムーズに進んでいます。

H27 年度は、2 年目研修医がほぼ通期に渡って救急室を担当したので、これまでより人的な余裕が出ました。それに伴い、かりゆし救急隊の出動件数が増加しました。

平成 28 年度には、新しい救急車が導入される予定なので、近隣医療施設や介護施設などに、積極的に出動することで、安定的な患者の確保を図るとともに、2 年目研修医の臨床力向上につなげたいと考えています。

2: 地域支援

DMAT 隊が正式に災害派遣されました。当院は、熊本に沖縄県勢では一番乗りでした。日頃からの訓練や連絡体制の確立、フットワークの軽さが功を奏したと考えています。

救急隊にオンラインで 12 誘導心電図を当院に遅れる装置を貸し出し、迅速な指示や受け入れ準備ができる体制の運用を開始しました。当院の活動は全国的にも注目され、システムを開発した研究者が当院に見学に訪れたり、NTT の広報に、当院の導入例が使用されました。

中部地区で精神救急を行っている病院と一般救急を行っている病院とで話し合いが一応の結論が出ました。当院の MSW と協力して、積極的に参加しました。28 年度は、全県的な検討の場が開かれる予定で、これにも積極的に参加していく予定です。

3: 専門診療科との連携

専門診療科との連携を今後も深めていく方針です。病院内で孤立した救急室にはしない方針です。救急室を経験した研修医が、後期研修で専門診療科に残ることが多くなれば、一層の連携が可能と考えます。

4: 研修・教育

今年度は可能な限り、院外の研修医や学生を受け入れたいと考えていました。H28 年度も積極的に受け入れたいと考えています。また、救急室で研修した研修医には、救急や循環器の学会にいくつかの演題を出すことができました。これは副部長の三戸先生の頑張りが大きいところです。

今年度も救急や総合診療の専門家に講演をお願いしました。H28 年度も積極的に講演会を計画したいと思います。

当院で行っている救急隊との症例検討会は、院外からの関心も高く評価されています。研修医の教育や学会発表の訓練の場としても有効と感じています。当院の初期研修医の中から、救急医療を希望する者が出るように努力します。その一環として、2 年目研修医の JATEC 受講を積極的に進めていきたいと思っています。当院で行っている救急隊との症例検討会は、院外からの関心も高く、今年度は他院の救急の Dr や海上保安庁の救難部門の職員の見学などもありました。今後も継続します。

研修医の中から、救急医療の専門医が生まれるのを目標に頑張りたいと考えています。

メディカルクラーク

職員数

総数

17 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	3
医師事務作業補助技能認定資格	15

運営方針

1. 医師の業務軽減を図る
2. 他職種との協働によるチーム医療を目指す
3. スキルの向上に努める

平成 27 年度業務計画

1. 退院サマリー 2 週間以内記載率アップに向けサポートする
2. 請求業務課との連携により請求漏れの対策をはかる
3. 各担当科の医師との連携を密にし、専門性を高める
4. 文書受付から受け渡しまでをミスなく最短で行えるよう、請求業務課と連携して再構築する
5. 学会・研究会の運営補助
6. 逆紹介状の記載と添付加算のサポート

業務実績

統計業務

1. 日本胸部外科学会食道分野学術調査
2. 日本内視鏡外科学会症例報告
3. 日本外科学会指定施設年次報告
4. 日本ヘルニア学会症例報告
5. 日本血液学会疾患登録
6. 日本短期滞在手術外科手術手技研究会アンケート
7. 外科研修関連施設実績報告（琉大・東京女子医大）
8. 乳癌症例報告

その他

平成 27 年度中に新たに開始した業務

- 4 月　透析室定期採血オーダー代行入力
- 4 月　退院時の治癒、添付加算カルテ記載
- 4 月　日本造血細胞移植データーセンター症例登録
- 5 月　退院確定後カルテチェック
- 7 月　外科疾患別検査実施歴チェック

文書作成

	H 24	H 25	H26	H27
生命保険文書	1,620	1,655	1,747	1,847
介護主治医意見書	554	485	485	480
傷病手当金請求書	500	387	404	464
医療要否意見書	551	564	653	606
特定疾患調査票	290	291	288	226
身障 / 年金診断書	95	112	155	265
自賠責診断書		1,025	1,107	1,181
その他	759	956	982	1,762
合計	4,369	5,475	5,821	6,831

	H 24	H 25	H26	H27
退院サマリー	775	2,665	1,053	774
高額コメント	161	224	287	290
NCD（外科手術症例登録）	939	875	805	999

活動実績

研修会・セミナー参加など

名称	開催地	年月日	参加者
血液疾患勉強会	院内	2015 年 8 月 7 日	3 名
第 1 回沖縄県医師事務作業補助者研修会	県内	2015 年 11 月 7 日	8 名
院内緩和ケア研修会	院内	2015 年 11 月 21 日	2 名
消化器症例検討会	院内	2015 年 11 月 26 日	4 名
〃	院内	2016 年 1 月 28 日	4 名
〃	院内	2016 年 3 月 24 日	4 名

医局総括

医局長兼
呼吸器内科部長
普天間　光彦

日々の診療に関してはプライマリーケアから専門的な医療までエビデンスに基づき、患者さんに寄り添った医療に取り組んできました。

第一、第三木曜には、夕方に医局会を開催し、医局員の団結を深めています。

学術的領域では、院外での取り組みとしては、年間 2 ～ 6 回の学会出張、アニマルラボ実習や手術・手技見学等の院長派遣による出張、県内・県外の講演会参加等を行いました。

また、院内での定期的な取り組みとしては、毎週水曜のジャーナルクラブ (勉強会)、火曜・木曜・金曜の朝には研修医に対するレクチャー等、大変忙しく勉強してまいりました。

また、医局行事としては、年に数回の歓送迎会、ビアパーティー、研修終了パーティー、忘年会等を執り行いました。

このように活気あふれる医局として自認しておりますが、平成 28 年度もさらに活気にあふれ、充実した診療、勉強を行っていけるように努力する所存です。

看護部

部門紹介

職員数（平成 27 年 4 月 1 日現在）

総数	**471 名**	臨床心理士	1 名
保健師	5 名	保育士	1 名
助産師	21 名	栄養士	1 名
正看護師	354 名	クラーク	19 名
准看護師	18 名	事務	2 名
看護助手	48 名		

認定看護師・認定看護管理者

氏名	認定看護分野
内間　幸人	集中ケア
宮城　美那	感染管理
島袋　すが子	慢性心不全看護
本田　由佳里	がん化学療法看護
砂川　克子	乳がん看護

氏名	認定看護分野
兼本　愛美	救急看護
石川　由希	感染管理
城間　克也	感染管理
仲地　ますみ	認定看護管理者

看護部理念

わたくしたちは、患者さんの信頼に応え、感性豊かな心ふれあう看護を提供いたします。

看護部運営方針

1. 患者さんに満足していただける環境ときめ細やかな看護サービスを提供する
2. 専門職として看護の基本を大切にした質の高い看護を実践する
3. 温かい心のふれあう看護ができる豊かな感性を培う
4. 地域住民のニーズに応える医療・保健・福祉を総合的にとらえ、地域医療に貢献する
5. 医療チーム内の情報交換を密にし、よいチームワークを図り、業務を円滑にする

看護体制

7：1 看護

勤務体制　二交替制

看護方式　PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）

看護記録　POS（電子カルテ）

看護単位

■外来

■救急外来

■ ICU

■手術室 / 中央材料室

■透析室

■内視鏡センター

■予防医学センター

■一般病棟

・2 階病棟（産婦人科）

・3 階病棟
（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科）

・3 階新病棟（混合）

・4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

・5 階病棟（消化器内科・小児科）

・6 階病棟（血液内科※クリーンルーム 10 床）

・7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科・糖尿病）

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
新入職者オリエンテーション	病院	院内	2015 年 4 月 1 日	—	総務課、看護部
基礎看護技術研修	看護部	院内	2015 年 4 月 2 日～4 月 20 日	主任会・教育委員会	仲地ますみ、主任会
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2015 年 4 月 28 日	主任会	仲地ますみ、半嶺梢、屋宜鮎美
助手研修①	看護部教育委員会	院内	2015 年 5 月 1 日	教育委員会	仲地ますみ、竹本直美、仲田ひろ子
看護研究入門編	沖縄県看護協会	県内	2015 年 5 月 9 日	6 F	本郷朋美
介護施設等で勤務する看護職員の研修	沖縄県看護協会	県内	2015 年 5 月 10 日	7 F、3 F	丸山友望、片山のぞみ
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	県内	2015 年 5 月 13 日、20 日、27 日		新人看護師 18 名
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2015 年 5 月 27 日	主任会	仲地ますみ、半嶺梢、屋宜鮎美
日本輸血・細胞治療学会総会	日本輸血・細胞治療学会	東京	2015 年 5 月 28 日～30 日	6 F	比嘉暢、金城隆也
フィジカルアセスメント	沖縄県看護協会	県内	2015 年 5 月 29 日	7 F	真玉橋幸、米須さやか
施設実習	ハートライフ地域包括ケアセンター	県内	2015 年 6 月 2 日	3 F	比嘉藤子
助手研修②	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 5 日	教育委員会	仲地ますみ、古波倉美登利、平屋敷加代
看護部領域研修（呼吸ケア）	認定看護師会	院内	2015 年 6 月 12 日	救急外来	内間幸人
感染管理 I 研修	沖縄県看護協会	県内	2015 年 6 月 17 日	4 F	林俊介

研修名	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
中堅研修①	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 19 日	教育委員会	仲地ますみ、屋良ちえみ、内間幸人、比嘉憲貴、宮平典子、各部署1名
九州消化器内視鏡技師研究会	九州消化器内視鏡技師研究会	長崎	2015 年 6 月 19 日～20 日	内視鏡センター	渡久山すえの、国仲トモ子
沖縄介護・福祉施設向けセミナー	サラヤ株式会社	県内	2015 年 6 月 20 日	ケアセンター	比嘉藤子ほか４名
新人看護師３か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 26 日	教育委員会	仲地ますみ、屋宜鮎美、市川祐鼓
日本透析医学会学術集会・総会	日本透析医学界	神奈川	2015 年 6 月 26 日～28 日	透析	与那覇直子、久場和子
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 29 日	主任会	仲地ますみ、屋宜鮎美、半嶺梢
日本乳癌学会学術総会	日本乳癌学会学術総会	東京	2015 年 7 月 2 日～4 日	外来	砂川克子
がん看護研修Ⅰ	沖縄県看護協会	県内	2015 年 7 月 4 日	４F、６F、７F	徳元千里、呉屋友美、宮城梨乃
看護部領域研修（がん看護）	認定看護師会	院内	2015 年 7 月 8 日	外来	本田由佳理
災害医療と看護	沖縄県看護協会	県内	2015 年 7 月 9, 日 10 日	急外ＨＤ	真志取美幸、伊保和加子
看護部領域研修（呼吸ケア）	認定看護師会	院内	2015 年 7 月 10 日	救急外来	内間幸人
看護職と倫理	沖縄県看護協会	県内	2015 年 7 月 11 日	７F	半嶺梢
新人リフレッシュ研修	看護部教育委員会	県内	2015 年 7 月 15 日	教育委員会	新人看護師、ﾌﾟﾘｾﾌﾟﾀｰ主任会、、２６名
日本臨床腫瘍学会学術集会	日本臨床腫瘍学会学術集会	札幌	2015 年 7 月 15 日～18 日	外来	本田由佳理
助産実践能力習熟段階レベルⅢ認定審査研修	沖縄県看護協会	県内	2015 年 7 月 16 日	２F	原順子、渡辺みなみ、諸喜田久美、新城真鶴
看護部領域研修（救急）	認定看護師会	院内	2015 年 7 月 17 日	救急外来	兼本愛美
日本心臓リハビリテーション学会学術集会	日本心臓リハビリテーション学会学術集会	福岡	2015 年 7 月 18 日～19 日	７F、外来	比嘉明日美、島袋須すが子
中堅研修②	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 24 日	教育委員会	仲地ますみ、屋良ちえみ、内間幸人、比嘉憲貴、宮平典子、各部署1名
モニター講習会	日本光電	院内	2015 年 7 月 28 日		３年目職員含む２３名
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 30 日	主任会	仲地ますみ、屋宜鮎美、半嶺梢
２年目研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 31 日	教育委員会	仲地ますみ、屋宜鮎美、勝連しのぶ、諸喜田久美、東恩納小百合
臨床倫理～看護ケアと倫理～	看護部	院内	2015 年 8 月 4 日	教育委員会	看護職員
救急看護	沖縄県看護協会	県内	2015 年 8 月4日、5日	５F、６F	近藤祐可、上原拓也
人工呼吸器管理の基礎と患者のケア	沖縄県看護協会	県内	2015 年 8 月 7 日	４F、７F	与那覇亜紀子、宮城梨乃、嶺井慎二
がん看護研修Ⅱ	沖縄県看護協会	県内	2015 年 8 月 8 日	４F、５F、６F、７F	玉城久美子、徳元千里、佐藤友美、呉屋友美、宮城梨乃、
皮膚・排泄ケア認定看護師教育課程	沖縄県看護協会	県内	2015 年 8 月 3 日～2 月 26 日	ＴQM室	嘉数智子
看護部領域研修（呼吸ケア）	認定看護師会	院内	2015 年 8 月 14 日	救急外来	内間幸人
看護部領域研修（がん看護）	認定看護師会	院内	2015 年 8 月 21 日	外来	本田由佳理
中堅看護師研修③	看護部教育委員会	院内	2015 年 8 月 21 日	教育委員会	屋良ちえみ、内間幸人、比嘉憲貴、宮平典子、各部署1名
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2015 年 8 月 28 日	主任会	仲地ますみ、屋宜鮎美、半嶺梢
ＥＬＮＥＣ－Ｊコアカリキュラム指導者養成プログラム	日本緩和医療学会	大阪	2015 年 9 月 4 日～6 日	外来	山内美咲

研修名	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
看護の本質を再確認しよう	沖縄県看護協会	県内	2015 年 9 月 5 日	2F、7F	仲地春代、宮城久美子、長峰厚子、
看護部領域研修（慢性心不全）	認定看護師会	院内	2015 年 9 月 9 日	外来	島袋すが子
がん看護研修III	沖縄県看護協会	県内	2015 年 9 月 9 日	4F、5F、6F、2F、7F	玉城久美子、徳元千里、森春香、呉屋友美、仲地春代、宮城梨乃
看護部領域研修（呼吸ケア）	認定看護師会	院内	2015 年 9 月 11 日	救急外来	内間幸人
看護部領域研修（救急）	認定看護師会	院内	2015 年 9 月 18 日	救急外来	兼本愛美
５Sの取り組みについて	民間病院看護管理者会	県内	2015 年 9 月 18 日	看護部、5F、4F、MSC、事務	西銘宣子、米須智子、斉藤路子、小橋川広美、金城信矢
中堅看護師研修④	#REF!	院内	2015 年 9 月 18 日	教育委員会	屋良ちえみ、内間幸人、比嘉憲貴、宮平典子、各部署1名
新人看護師6か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 9 月 19 日	教育委員会	半嶺梢、屋宜鮎美、市川祐鼓、安村公均、成田明日香
医療安全管理者養成研修公開講座	沖縄県看護協会	県内	2015 年 9 月 24 日、28 日	2F	仲地春代、新城真鶴、原順子
保健師助産師看護師実習指導者講習会	沖縄県看護協会	県内	2015 年 9 月 28 日～11 月 27 日	6F	宮城杏子
看護部領域研修（がん看護）	認定看護師会	院内	2015 年 9 月 30 日	外来	本田由佳理
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 10 月 2 日	教育委員会	半嶺梢、市川祐鼓
師長・主任合同研修	看護部	院内	2015 年 10 月 8 日	看護部	西銘宣子、中野久野
看護部領域研修（慢性心不全）	認定看護師会	院内	2015 年 10 月 14 日	外来	島袋すが子
看護部領域研修（がん看護）	認定看護師会	院内	2015 年 10 月 16 日	外来	本田由佳理
中堅看護師研修⑤	#REF!	院内	2015 年 10 月 23 日	教育委員会	屋良ちえみ、内間幸人、比嘉憲貴、宮平典子、各部署1名
業務改善報告会（院内研究発表会予選会）	看護部	院内	2015 年 10 月 28 日	教育委員会	屋良ちえみ、内間幸人、比嘉憲貴、宮平典子、各部署1名、全スタッフ対象
日本癌治療学会学術集会	日本癌治療学会学術集会	京都	2015 年 10 月 28 日～31 日	外来	本田由佳理
内視鏡外科手術機器取扱セミナー	オリンパス株式会社	県内	2015 年 10 月 31 日	OR	大城星乃、田原美郁、宮城美那、名城唯奈
沖縄周産期セミナー	新生児医療連絡会	県内	2015 年 10 月 31 日	2F	古謝奈津記、世嘉良裕美
３年目研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 11 月 1 日	教育委員会	外間真紀子、新川優子、鈴木千恵、宮城幸江
創傷・褥瘡ケア	沖縄県看護協会	県内	2015 年 11 月 5 日、6 日	4F	池原勇弥、平田美加、新地博美、外間幸代、
看護部領域研修（慢性心不全）	認定看護師会	院内	2015 年 11 月 11 日	外来	島袋すが子
看護部領域研修（救急）	認定看護師会	院内	2015 年 11 月 12 日	救急外来	兼本愛美
認知高齢者の理解と看護	沖縄県看護協会	県内	2015 年 11 月 18 日	看護部、内視鏡	西銘宣子、古波倉美登利
日本脳神経血管内治療学会学術総会	日本脳神経血管内治療学会学術総会	岡山	2015 年 11 月 19 日～21 日	救急外来	又吉康矢、比嘉哲也
看護部領域研修（呼吸ケア）	認定看護師会	院内	2015 年 11 月 20 日	救急外来	内間幸人
母乳育児支援を学ぶ沖縄教室	BSCO	県内	2015 年 11 月 22 日	2F	中根汐香
新生児蘇生法講習会	沖縄周産期ネットワーク協議会	県内	2015 年 11 月 28 日	2F	上原美佳
中堅看護師研修　実践報告会	日本看護協会	院内	2015 年 11 月 28 日	教育委員会	内間幸人、比嘉憲貴、宮平典子、屋良ちえみ、中堅看護師12名
プリセプター報告会	看護部教育委員会	院内	2015 年 11 月 30 日	主任会	屋宜鮎美、半嶺梢
九州人工透析研究会総会	九州人工透析研究会総会	長崎	2015 年 12 月 6 日	透析	島袋さおり、屋良淳子

研修名	主催	開催地	開催日	所属	担当・参加者
２年目症例発表会	看護部教育委員会	院内	2015 年 12 月 18 日	看護部	當眞、安谷屋、２年目看護師１９名
看護部領域研修（呼吸ケア）	認定看護師会	院内	2015 年 12 月 18 日	救急外来	内間幸人
看護部領域研修（救急）	認定看護師会	院内	2016 年 1 月 15 日	救急外来	兼本愛美
最適な栄養輸液と透析療法を安全にサポートする感染対策		県内	2016 年 1 月 23 日	ＴQM室	石川由希
１年目症例報告会	看護部教育委員会	院内	2016 年 1 月 29 日	教育委員会	島袋香、半嶺
日本集中治療学会学術集会	日本集中治療学会学術集会	神戸	2016 年 2 月 11 日～14 日	ＩCU	又吉愛美、新川愛実、勝連しのぶ
新人看護職員研修教育担当者研修	沖縄県看護協会	県内	2016 年 2 月 12 日～16 日	７F	半嶺梢
１年目フォローアップ研修 プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2016 年 2 月 26 日	教育委員会	仲地ますみ、市川祐鼓、洲鎌正子、半嶺梢、比嘉暢
透析運動療法研究会	透析運動療法研究会	岐阜	2016 年 2 月 27 日～29 日	透析	山内敦子
日本造血細胞移植学会総会	日本造血細胞移植学会総会	名古屋	2016 年 3 月 3 日～5 日	６F	比嘉暢、本郷朋美、金城隆也
師長・主任合同研修	看護部	院内	2016 年 3 月 4 日	看護部	宮平典子、師長主任４４名
Ｗｅｌｌｂｅｉｎｇの視点から褥瘡対策を考える	メディカルケアサポートセミナー事務局	県内	2016 年 3 月 13 日	７F、ＩＣＵ	宮城久美子、新垣仕言、松堂かおり、比嘉若菜
フットケア実技研究会	沖縄実践フットケア研究会	県内	2016 年 3 月 19 日	透析	上原千晶

各部署概要・実績

外来

外来師長　屋良　ちえみ

職員数

総数　　38 名

看護師　　24 名　　看護助手　4 名

准看護師　　1 名　　クラーク　9 名

認定看護師

がん化学療法認定看護師　1 名　　慢性心不全認定看護師　　1 名

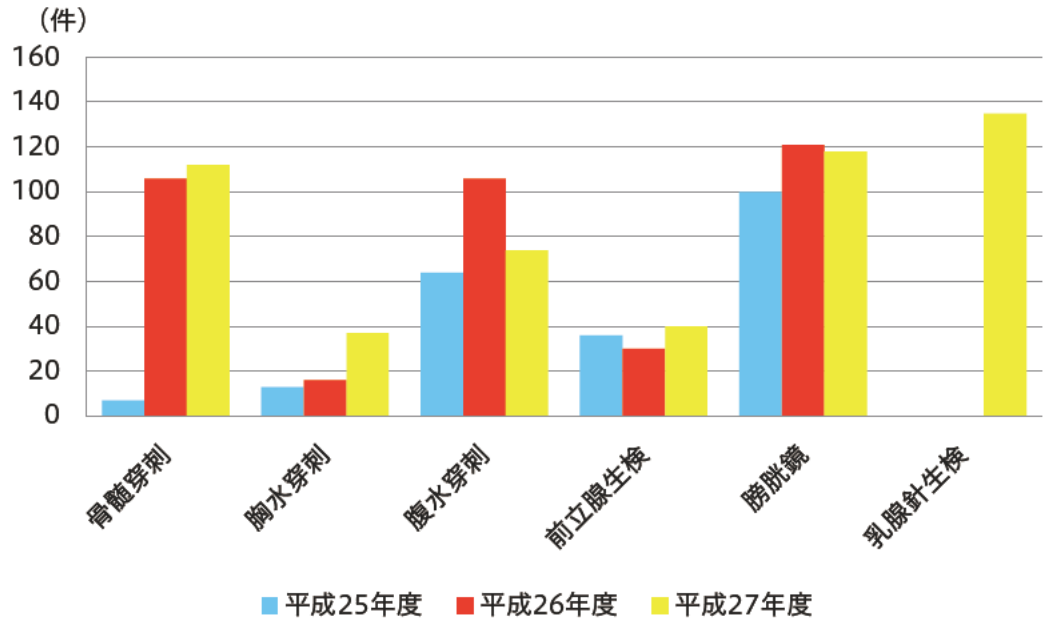
乳がん認定看護師　　1 名

年間外来患者数と 1 日平均患者数

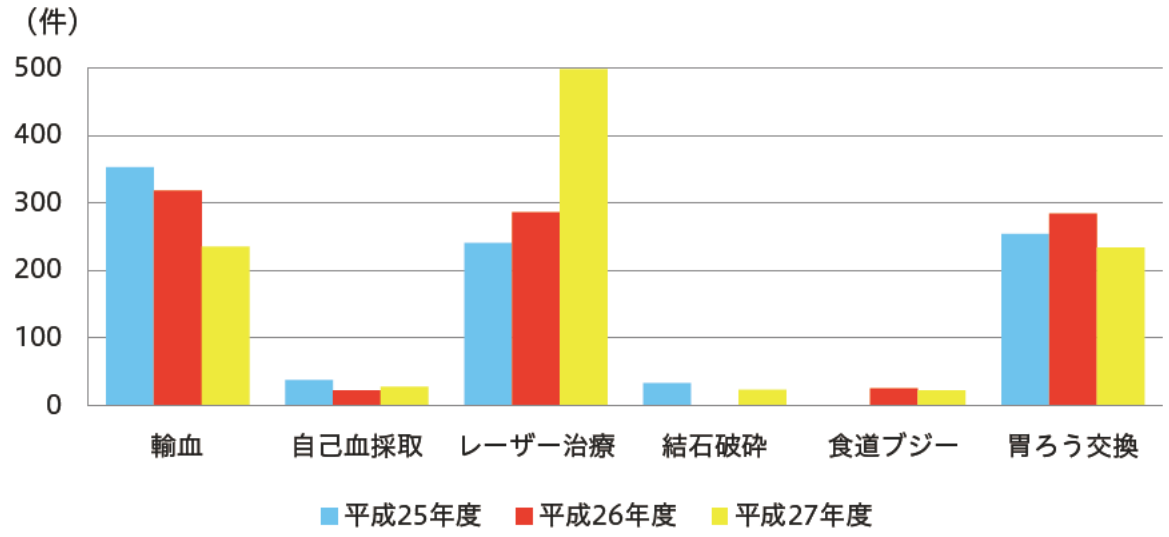
	年間患者数	1 日平均患者数
H27 年度	145,499 人	478.4 人
H 26 年度	145,812 人	477.6 人
H 25 年度	145,200 人	474.0 人

業務実績

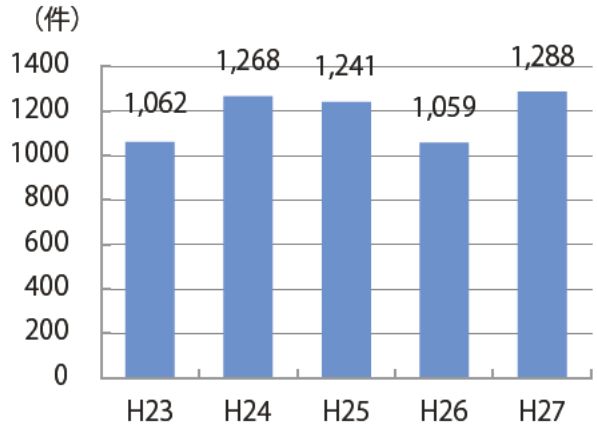
外来で行われる主な検査の年次推移



外来で行われる主な処置の年次推移



外来化学療法（H 25 年より加算可能件数のみ表示 ）



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
心不全患者に対する効果的な減塩指導の検討～塩分摂取量測定を開始して～	第21回日本心臓リハビリテーション学会	福岡県	2015 年 7 月 18 ～ 19 日	島袋すが子
外来化学療法施行後心肺停止となった症例の検討	第 53 回がん治療学会学術集会	京都府	2015 年 10 月 28 ～ 31 日	本田由佳理
C 型慢性肝炎患者への介入を試みて～ペグ IFN 療法を受けている患者を対象に～	院内研究発表会	院内	2015 年 11 月 13 日	島袋すが子、安里直美、砂川敦子、石原桂子、仲松裕香、

活動実績

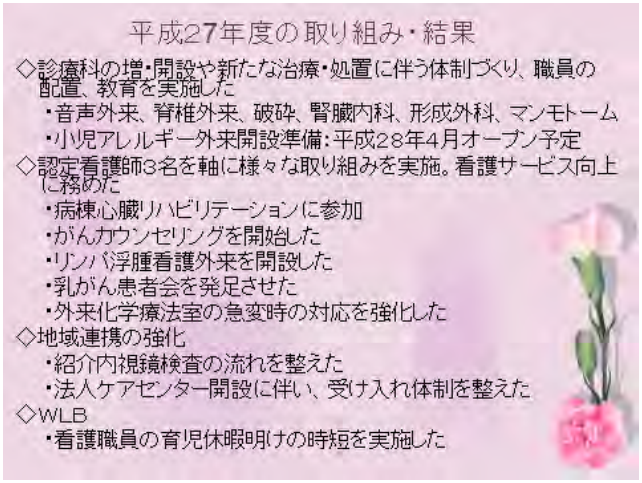
院内・院外研修実績

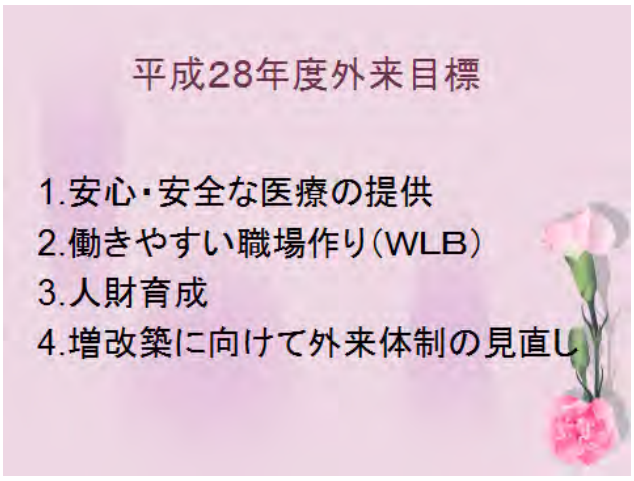
研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新人研修	看護部	院内	2015 年 4 月～	本田由佳理、島袋香織、島袋すが子、安谷屋佳子
ICLS 指導（新入職員）	院内 ICLS 担当	院内	2015 年 4 月 4 日	島袋すが子（指導者）
新入職研修	病院内	院内	2015 年 4 月 1 ～ 2 日	新里七美
看護助手研修	看護部	院内	2015 年 5 月 1 日	安里真実、比嘉照美
看護助手研修	看護部	院内	2015 年 6 月 5 日	新垣千賀子、大田ひろみ
新入職研修	看護部	院内	2015 年 4 月 14 日 20 日	パチェコ知子
WISH you 沖縄	琉球乳腺倶楽部	院外	2015 年 5 月 9 日	砂川克子
マンモトーム勉強会	外科・放射線科	院内 放射線室	2015 年 5 月 20 日	屋良、本田放射線スタッフ、医師
ヘノッホ・シェーンライン紫斑病	小児科外来玉那覇	院内 （外来）	2015 年 5 月 20 日	外来スタッフ
マンモトーム勉強会	外科・放射線科	院内 放射線室	2015 年 5 月 25 日	屋良、外科スタッフ、放射線スタッフ、医師
感染領域研修①	感染管理者石川	院内	2015 年 5 月 26 日	石原桂子
サーフロ留置針勉強会	感染管理者石川	院内（外来）	2015 年 5 月 27 日	外来スタッフ
経皮的ラジオ波焼却法（RFA）	内科外来木庭	院内（外来）	2015 年 6 月 18 日	外来スタッフ
中堅研修①	看護部	院内	2015 年 6 月 19 日	金城こずえ　屋良
アカラシアに対する内視鏡治療（POEM）	外科外来	院内（外来）	2015 年 6 月 25 日	外来スタッフ
安全領域研修①	看護部	院内	2015 年 6 月 30 日	安里直美
脂質異常症	外来看護師島袋すが子	院内（外来）	2015 年6月8日 15 日	外来クラーク
経過表と問診の取り方	外来看護師島袋すが子	院内（外来）	2015 年6月2 2日 29 日	外来クラーク
問診時の労作時胸部不快感時の取り扱い	外来看護師島袋すが子	院内（外来）	2015 年 7 月2 2日	外来クラーク
リンパ浮腫症状と原因	外来看護師島袋すが子	院内（外来）	2015 年8月1 7日	外来クラーク
がん看護領域研修①	看護部	院内（外来）	2015 年 7 月 8 日	本田由佳理（講師）
感染看護領域研修②	感染管理者石川	院内	2015 年 6 月 23 日	石原桂子
3か月フォロ―アップ研修（EKG）	看護部（島袋すが子）	院内	2015 年 6 月 26 日	島袋すが子
第 3 回日本乳癌学術総会	日本乳癌学術学会	東京	2015 年 7 月 2 ～ 4 日	砂川克子
第 13 回日本臨床腫瘍学術集会	日本臨床腫瘍学会	北海道	2015 年 7 月 16 ～ 18 日	本田由佳理
第 21 回日本心臓リハビリテーション学会	日本心臓リハビリテーション学会	福岡県	2015 年 7 月 18 ～ 19 日	島袋すが子
感染看護領域研修③	感染管理者石川	院内	2015 年 7 月 21 日	石原桂子
中堅研修②	看護部	院内	2015 年 7 月 24 日	金城こずえ　屋良
音声外来について	耳鼻科外来大城	院内（外来）	2015 年 7 月 30 日	外来スタッフ
2 年目研修（接遇）	看護部	院内	2015 年 7 月 31 日	屋良、安谷屋
サラジェン	キッセイ薬品株式会社	院内（外来）	2015 年 8 月 6 日	平塚医師、屋良、大城、小橋川看護師、山城クラーク、メディカルクラーク
がん化学療法看護研修	沖縄県看護協会	院外	2015 年 8 月 8 日	本田由佳理（講師）
那覇市立病院見学（リンパ浮腫）	リンパ浮腫準備委員	院外	2015 年 8 月 17 日	屋良、砂川克子、請求業務課、企画、用度科
感染領域研修④	感染管理者石川	院内	2015 年 8 月 18 日	石原桂子
ザイザルシロップアラミスト点鼻薬	グラクソ、スミスクライン株式会社	院内（外来）	2015 年 8 月 19 日	平塚医師、大城、小橋川、石原、泉、大滝看護師、山城、田仲、新垣クラーク、メディカルクラーク

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
緊急手術発生時の流れについて（早出出勤の事も含めて）	外来処置室金城	院内（外来）	2015 年 8 月 20 日	外来スタッフ
がん看護領域研修②	看護部	院内	2015 年 8 月 21 日	本田由佳理（講師） 砂川克子（講師）
中堅研修③	看護部	院内	2015 年 8 月 21 日	金城こずえ　屋良
安全領域研修②	看護部	院内	2015 年 8 月 24 日	安里直美
ELNEC－J 指導者講習会	日本緩和医療学会	院外	2015 年 9 月 5 ～ 6 日	山内美咲
慢性心不全領域研修①	看護部	院内	2015 年 9 月 9 日	島袋すが子（講師）
アシテアの紹介（ダニ抗原によるアレルギー性鼻炎に対する減感作療法）	塩野義製薬	院内（外来）	2015 年 9 月 10 日	平塚医師、大城、小橋川、島袋香織、玉元、冨里、池村、屋良看護師、山城クラーク、メディカルクラーク
手術不能又は再発乳癌治療薬 「パージェタ」	中外製薬	院内（化学療法室）	2015 年 9 月 10 日	看護師（砂川克子、新垣薫、山内美咲、泉淑子、川添貴世）メディカルクラーク（仲松、内間、根間）
感染領域研修⑤	感染管理者石川	院内	2015 年 9 月 15 日	石原桂子
中堅研修③	看護部	院内	2015 年 9 月 18 日	金城こずえ　屋良
乳がん看護講師	那覇看護学校	院外	2015 年 9 月 24 日	砂川克子（講師）
アレルギー科研修	あいち小児保健医療総合センター	愛知県	2015 年 9 月 29 日～ 10 月 3 日	玉那覇久美子
がん看護領域研修③	看護部	院内	2015 年 9 月 30 日	本田由佳理（講師） 砂川克子（講師）
師長主任合同研修	看護部	院内 （看護部）	2015 年 10 月 6 日	屋良ちえみ、本田由佳理、島袋すが子、安谷屋佳子島袋香織
慢性心不全領域研修②	看護部	院内	2015 年 10 月 14 日	島袋すが子（講師）
がん看護領域研修④	看護部	院内	2015 年 10 月 16 日	本田由佳理（講師）
第１２回日本循環器看護学会学術集会	日本看護協会	東京都	2015 年 10 月 17 日～ 18 日	島袋すが子
緩和ケア研修	緩和ケア委員会	院内	2015 年 10 月 21 日	本田由佳理　山内美咲　新垣薫
散瞳検査について	眼科看護師大滝	院内（外来）	2015 年 10 月 22 日	外来スタッフ
災害訓練研修（机上訓練）	久場医師他	院内	2015 年 10 月 24 日	安谷屋桂子
安全領域研修③	看護部	院内	2015 年 10 月 26 日	安里直美
第 53 回日本癌治療学会学術集会	癌治療学会	京都	2015 年１０月２８日～３１日	本田由佳理
中堅研修④	看護部	院内	2015 年 10 月 30 日	金城こずえ　屋良
ミティキュア　ダニ舌下錠	鳥居製薬株式会社	院内（外来）	2015 年１１月４日	平塚医師、大城、小橋川、屋良、石原、島袋すが子、新垣聖菜、大田
喘息について（エリプタ）	グラクソ、スミスクライン株式会社	院内（外来）	2015 年１１月１１日	平塚医師、大城、小橋川、屋良、宮城、垣静菜、山城、安里真実、大田
フォルテオの特徴、自己注射の進め方	日本イーライリリー株	院内（整形外来）	2015 年１１月１２日	當間直美、島袋香織、石原、古牧
４種混合ワクチン（スクエアキッズ１２/ １４発売）	ジャパンワクチン株	院内（小児科外来）	2015 年１１月１７日	医師（国島、川満、普久原研修医）看護師（玉那覇、安里、金城、石原、大城）クラーク（田仲、宮城）
乳がん看護講師	おもと看護学校	院外	2015 年 11 月 19 日	砂川克子（講師）
予防接種コンセェルジュ ～現場で役立つワクチンの知識～	アステラス製薬 川崎医科大学小児科 中野貴司	院内（小児科外来）	2015 年１１月２６日	医師（国島、川満、普久原研修医）看護師（玉那覇、安里、島袋、大城、神山、當間、屋良）

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
食物アレルギーとは	小児科外来玉那覇	院内（外来）	2015 年11月26日	外来スタッフ
BCG 膀胱内注入療法	泌尿器科外来新垣	院内（外来）	2015 年11月27日	外来スタッフ
災害訓練研修（机上訓練）	久場医師他	院内	2015 年11月28日	安谷屋桂子、島袋すが子、本田由佳理、屋良ちえみ 島袋香織、石原桂子
「ガドサイラ」 乳癌手術不能＋再発乳癌 治療薬	中外製薬	外科外来	2015 年12月1日	野村寛徳医師、本田由佳理、砂川克子、山内美咲、泉淑子、志喜、屋幸子
ゴナックス	アステラス製薬	外科外来	2015 年12月10日	本田由佳理、山内美咲、砂川克子、島袋香織、新垣薫
災害訓練研修	久場医師他	院内	2015 年12 月 9 日	安谷屋桂子、本田由佳理、屋良ちえみ、石原桂子、島袋香織、
安全領域研修④	看護部	院内	2015 年 12 月 21 日	安里直美
変形性膝関節症	整形外来當間	外来休憩室	2015 年12月29日	外来スタッフ
アフィントール、タイケルブ 乳癌再発治療薬	ノバルティスファーマ（株）	化学療法室	2016 年1月21日	野村寛徳医師、本田由佳理、砂川克子、山内美咲、泉淑子、
プリックテスト（アレルゲン検査）	ＴＯＲＩＩ（株）	小児科外来	2016 年1月26 日	国島医師、川満医師、NS（安谷屋佳子、石原桂子、安里直美、大城貴子、玉那覇久美子）
第２回沖縄乳がん学校	琉球乳腺倶楽部	沖縄県医師会館	2016 年1月 30 日～ 31 日	砂川克子
緩和ケア	緩和ケア委員会	院内	2016 年1/30 ～ 31 日	本田由佳理
プリックテスト（アレルゲン検査）	鳥居薬品	院内	2016 年2月23日	国島医師、川満医師、NS（安谷屋佳子、金城こずえ、安里直美、大城貴子、玉那覇久美子）
ザイザル勉強会	グラクソ、スミスクライン株式会社（	耳鼻科外来	2016 年3月9日	平塚医師、大城貴子、小橋川春子、屋良ちえみ、比嘉一世、山城あかね、伊波菜摘
デブラミド勉強会	セルジーン（株）	薬局	2016 年3月9日	薬剤師、安谷屋佳子、安里直美、
リンパ浮腫とは	リンパ浮腫看護担当	外来休憩室	2016 年3月31日	外来スタッフ

実績報告資料等


平成27年度の取り組み・結果
◇診療科の増・開設や新たな治療・処置に伴う体制づくり、職員の配置、教育を実施した
・音声外来、脊椎外来、破砕、腎臓内科、形成外科、マンモトーム
・小児アレルギー外来開設準備：平成28年4月オープン予定
◇認定看護師3名を軸に様々な取り組みを実施。看護サービス向上に務めた
・病棟心臓リハビリテーションに参加
・がんカウンセリングを開始した
・リンパ浮腫看護外来を開設した
・乳がん患者会を発足させた
・外来化学療法室の急変時の対応を強化した
◇地域連携の強化
・紹介内視鏡検査の流れを整えた
・法人ケアセンター開設に伴い、受け入れ体制を整えた
◇WLB
・看護職員の育児休暇明けの時短を実施した


平成28年度外来目標
1.安心・安全な医療の提供
2.働きやすい職場作り（WLB）
3.人財育成
4.増改築に向けて外来体制の見直し

救急外来

救急外来師長　内間　幸人

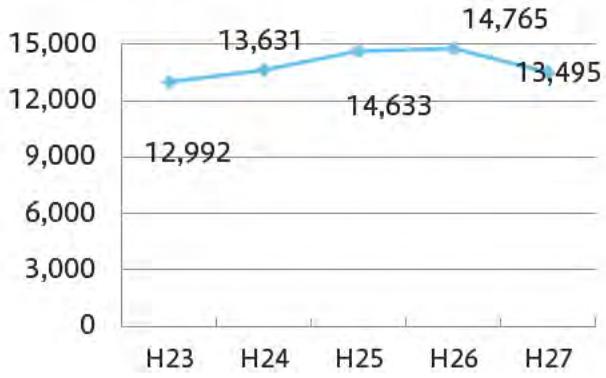
職員数

総数　20 名

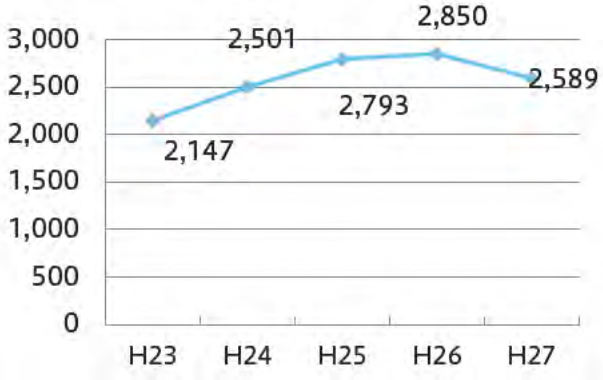
正看護師　20 名

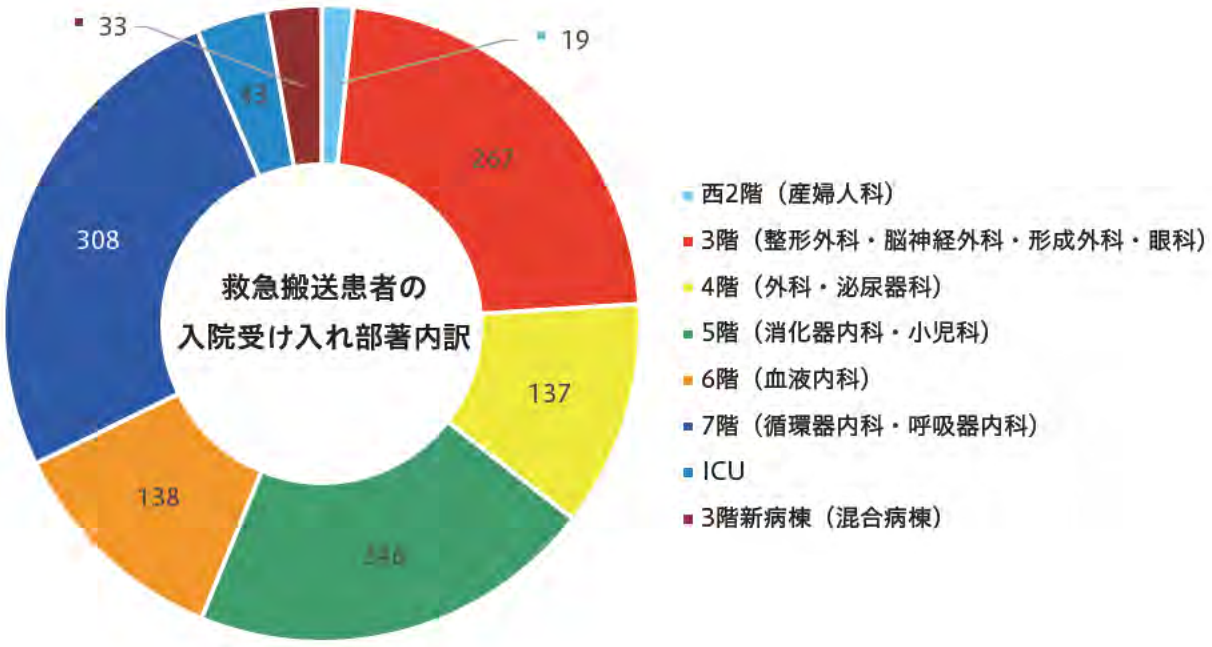
業務実績

救急受付患者年次推移



救急受付患者の入院数年次推移





研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
血管治療の現状と今後の課題	第 31 回日本脳神経血管内治療学会	福島	2015 年 10 月 1 日	又吉康矢、比嘉哲也、内間幸人

活動実績

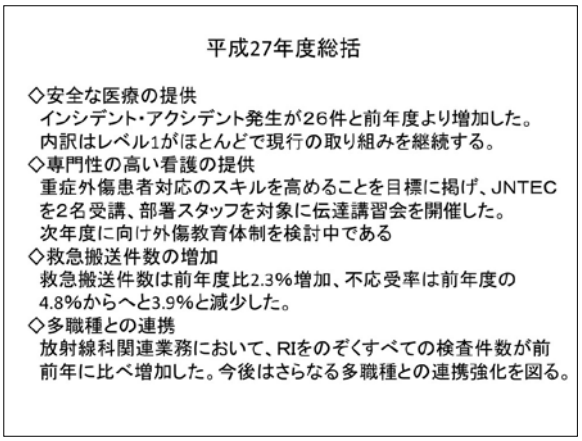
院外研修実績

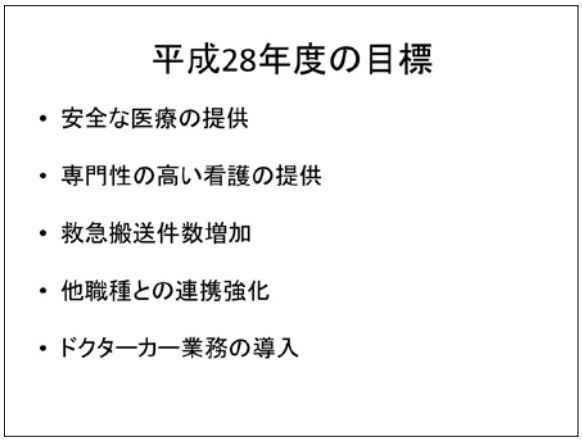
研修名	開催地	開催日	参加者
AHA　BLS プロバイダーコース	県内	2015 年 5 月 17 日	平田千佳
JTEC プロバイダーコース	県内	2015 年 6 月 21 日	兼本愛美
PEARS プロバイダーコース	県内	2015 年 6 月	兼本愛美、知花満津子
ITLS プロバイダーコース	県内	2015 年 2 月	兼本愛美
MCLS プロバイダーコース	県内	2015 年 2 月	真志取美幸
JNTEC プロバイダーコース	県外	2015 年 2 月	恒富加奈

その他

研修名	開催日	担当者
具志川看護専門学校　非常勤講師　「周術期看護～術後～」	平成 27 年 10 月	内間幸人

実績報告資料等





人工透析室

人工透析室師長　宮城　幸江

職員数

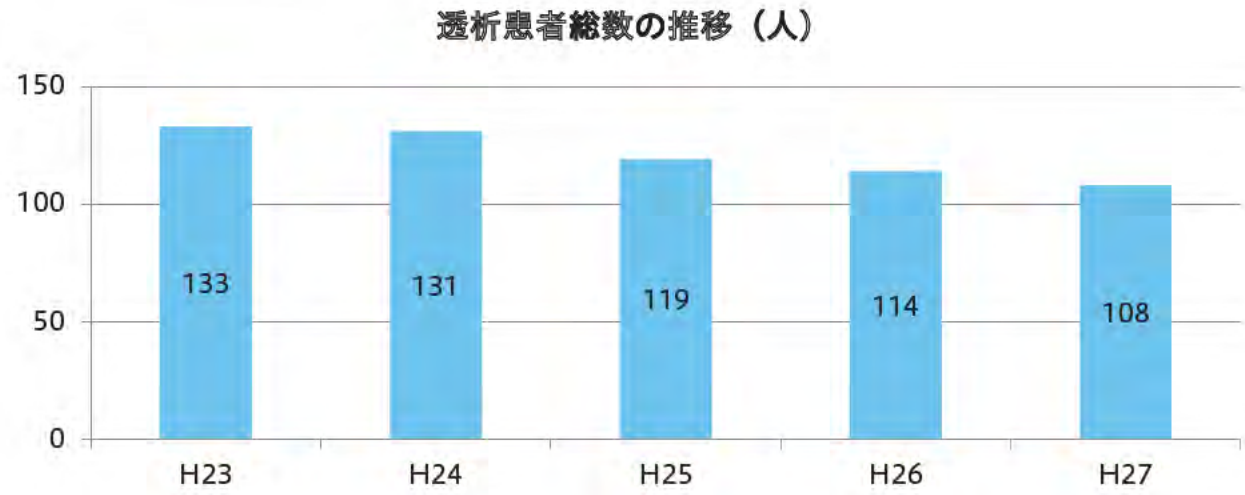
総数 21 名

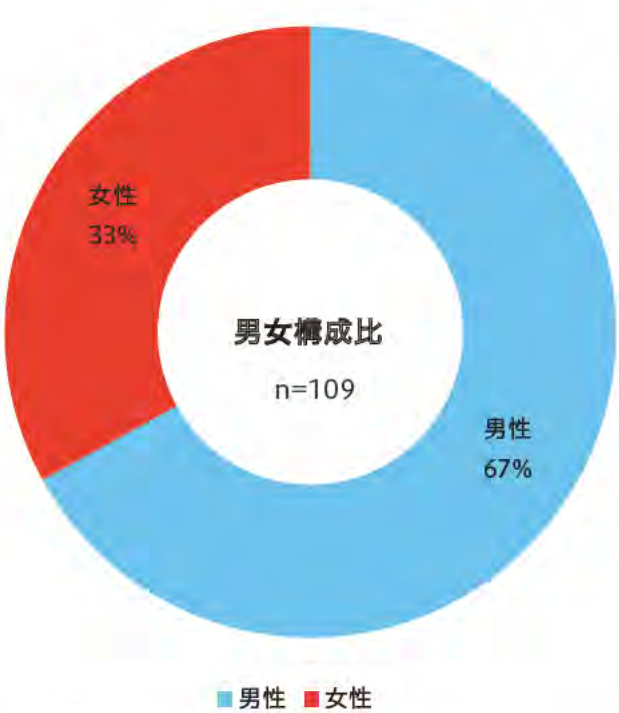
正看護師　19 名　　看護助手　2 名

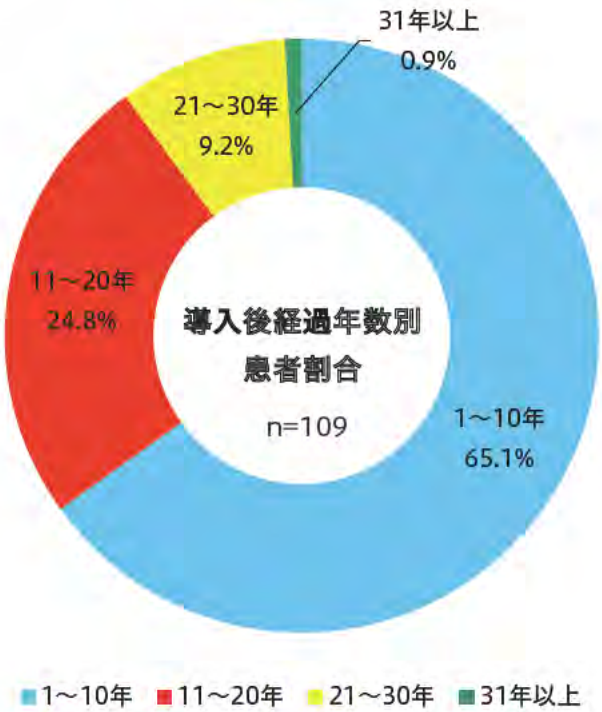
認定・資格取得状況

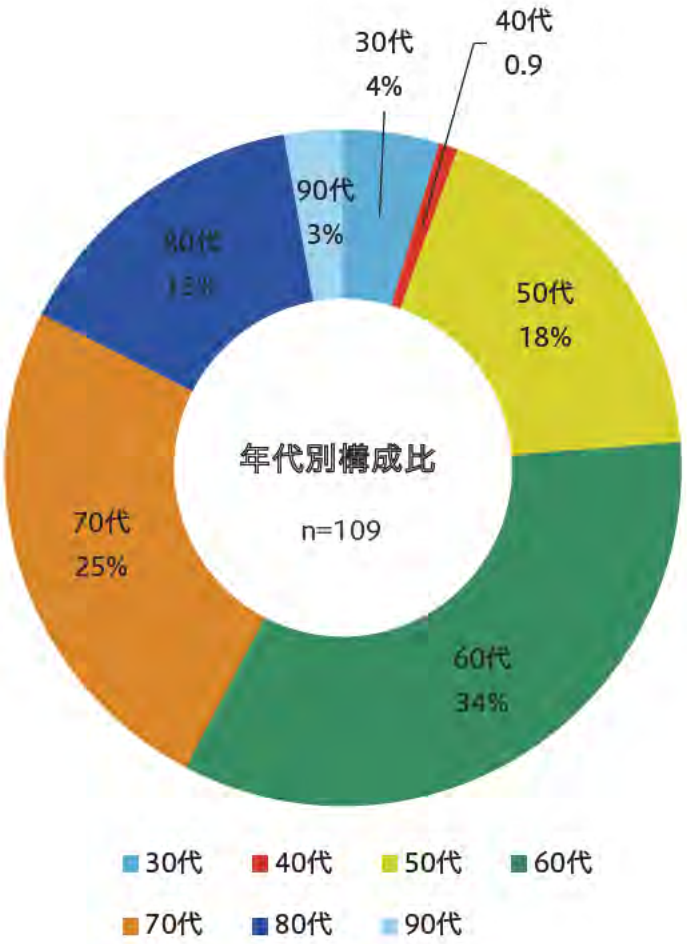
資格・認定名称	人数
透析療法指導看護師	1 名
透析技術認定士	8 名

業務実績









研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
災害対策の取り組み	第 60 回日本透析医学会・学術集会・総会	神奈川県	2015 年 6 月 27 日	久場和子、與那覇直子
ﾊﾞｽｷｭﾗｰｱｸｾｽの管理向上を試みて	第 49 回九州人工透析学会	長崎県	2015 年 12 月 6 日	屋良淳子、島袋さおり
透析室専用フットカルテ作成、継続的ケアをめざし	第 34 回沖縄人工透析学会	沖縄	2016 年 3 月 13 日	赤嶺美智江、上原千晶

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助手研修①	看護部	院内	2015 年 5 月 1 日	仲松初美、竹本直美
領域研修（感染）	看護部主任会	院内	2015 年 5 月 26 日	大工夏希
CAPD 勉強会	テルモ	豊見城中央病院	2015 年 5 月 30 日	佐次田桃子、瀬底真由美
助手研修②	看護部	院内	2015 年 6 月 5 日	仲村多鶴代
中堅研修	看護部	院内		瀬底真由美
領域研修（安全）	看護部	院内	2015 年 6 月 29 日、8 月 24 日、12 月 21 日、1 月 21 日	山内敦子、田下　茜

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
	看護協会	看護協会	2015 年 7 月 8 日	伊保和加子
領域研修（救急）	看護部	院内	2015 年 7 月 17 日	清水史恵
心電図研修	日本光電	院内	2015 年 7 月 28 日	新里恭子、與那覇直子
領域研修（急性心不全）	看護部	院内	2015 年 9 月 9 日、10 月 14 日、11 月 11 日	伊保和加子
領域研修（救急）	看護部	院内	2015 年 9 月 19 日	平良美幸
師長・主任合同研修	看護部	院内	2015 年 10 月 6 日	宮城幸江、瀬底真由美
領域研修（感染）	看護部	院内	2015 年 10 月 20 日、11 月 17 日、12 月 15 日、1 月 19 日	新垣直樹
領域研修（救急）	看護部	院内	2015 年 11 月 12 日	佐次田桃子
領域研修（救急）	看護部	院内	2016 年 1 月 15 日	屋良淳子
第 6 回インフェクションコントロール研修会	沖縄県ｲﾝﾌｪｸｼｮﾝｺﾝﾄﾛｰﾙ研修会	浦添市民会館	2016 年 2 月 23 日	米須真由美
第 6 回透析運動療法研究会	透析運動療法研究会	岐阜県	2016 年 2 月 28 日	山内敦子、宮城幸江
CAPD 研修	テルモ	岡山県	2016 年 3 月 6 日	上原千晶、田下茜、佐次田桃子
師長・主任合同研修	看護部	院内	2016 年 3 月 8 日	宮城幸江、瀬底真由美
フットケア研修	沖縄実践フットケア研究会	院内	2016 年 3 月 19 日	上原　千晶

実績報告資料等

平成27年度　目標
- 安全第一　インシデント、アクシデントの低減
  （確認・照合の徹底）
- 患者、家族への教育指導の充実

平成27年度　取り組みと成果
◇ブラットアクセスチームの立ち上げ
　ブラッドアクセス管理をすることでシャントPTAの流れが
　できシャント閉塞患者が減少した
◇フットケアーの取り組み
　評価表の電子化で業務効率が向上し、評価体制が
　整い取り組み継続中
◇腹膜透析外来の立ち上げ

平成28年度　目標
- インシデント、アクシデントの低減
  （確認・照合の徹底）
- 専門的ケア、サービスの提供、選択療法
  （血液透析・腹膜透析）
- 患者、家族への教育指導の充実

手術室・中央材料室

手術室・中央材料室師長　比嘉　憲貴

職員数

総数 25 名

正看護師　20 名

准看護師　1 名

看護助手　4 名

業務実績

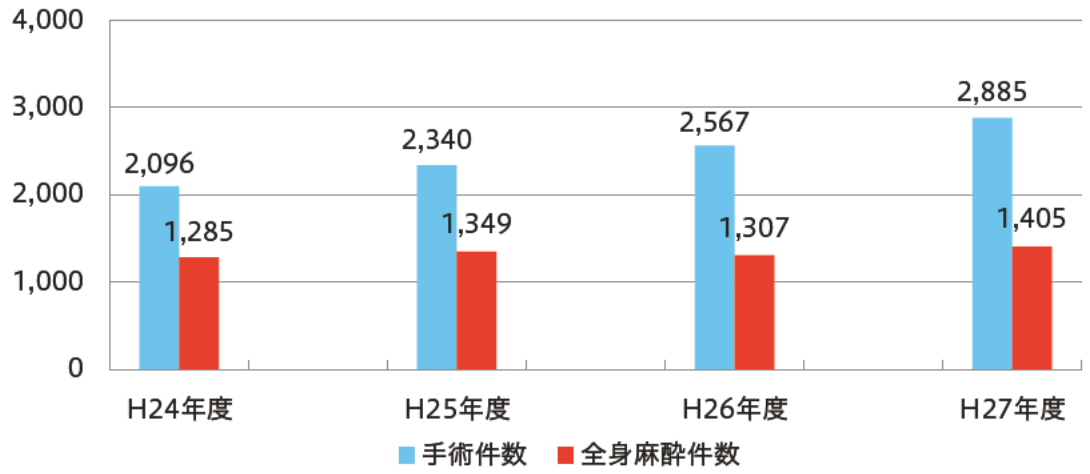
月平均手術件数

240 件

1 日平均手術件数

11 件（MAX 20 件）

手術実績



研究業績

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
長時間 ESD の皮膚トラブルに関する対策と効果検討	日本手術医学会誌 (1340-8593)	2012.8) 1340-8593) 33 巻 3 号 Page308-310	大城祥子、中野久乃、釜野武志、佐久川陽子、久場良也

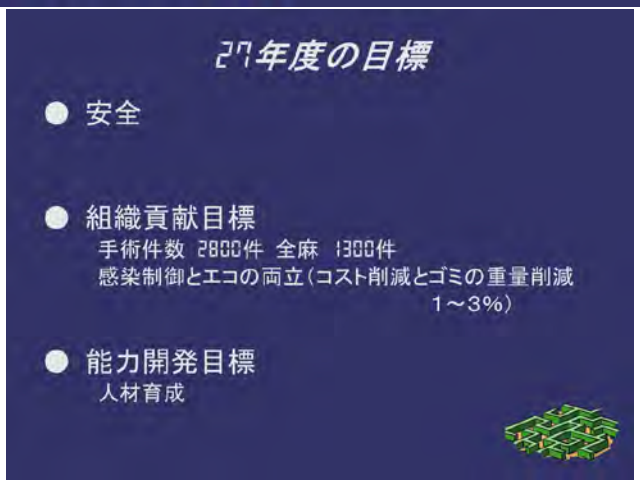
活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
日本手術看護学会周術期セミナー	日本手術看護学会	院外		冨田賢一、松川幸樹
看護連盟通常総会	沖縄県看護協会	院外	2015 年 5 月 24 日	大城星乃
看護助手研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 5 日	山城秀美
看護協会通常総会	沖縄県看護協会	院外	2015 年 6 月 20 日	大城星乃
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 27 日	大城星乃、田原美郁
リフレッシュ研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 11 日	大城星乃、田原美郁、松川幸樹
中堅研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 24 日	宮城美那
日本手術看護学会九州地区分会	日本手術看護学会	院内	2015 年 7 月 18 日	新垣徹司、前村明菜、安達暁美、米田梓、久手堅緑

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
2 年目研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 31 日	大城星乃、田原美郁
中堅研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 8 月 21 日	宮城美那
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 10 月 3 日	
周術期管理セミナー	日本麻酔科学会	院外	2015 年	冨田賢一、松川幸樹
中堅研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 10 月 30 日	宮城美那
3 年目研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 11 月 1 日	松川幸樹
1 年目症例報告会	看護部教育委員会	院内	2015 年 12 月 13 日	
2 年目症例報告会	看護部教育委員会	院内	2015 年 12 月 18 日	大城星乃、田原美郁
プリセプター研修	看護部教育委員会	院内	2016 年 1 月 22 日	冨田暁美、米田梓
1 年目フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2016 年 2 月 27 日	大城星乃、田原美郁
日本手術看護学会九州地区分会	日本手術看護学会	院外	2016 年 3 月 7 日	久手堅緑、前村明菜、小濱千絵、安達暁美、名波唯奈、大城星乃、神里歩、許田敏行、冨田賢一

実績報告資料等



ICU

ICU 師長　安村　公均

職員数

総数　26 名

正看護師　25 名　　看護助手　1 名

月平均入院患者状況

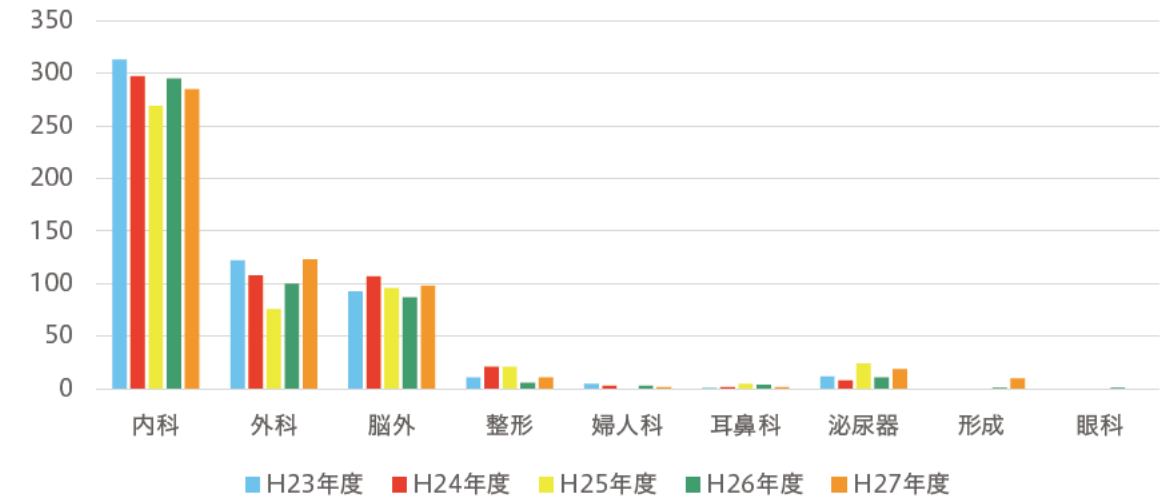
新規入院患者数　29.8 名

病床利用数　4.3 床

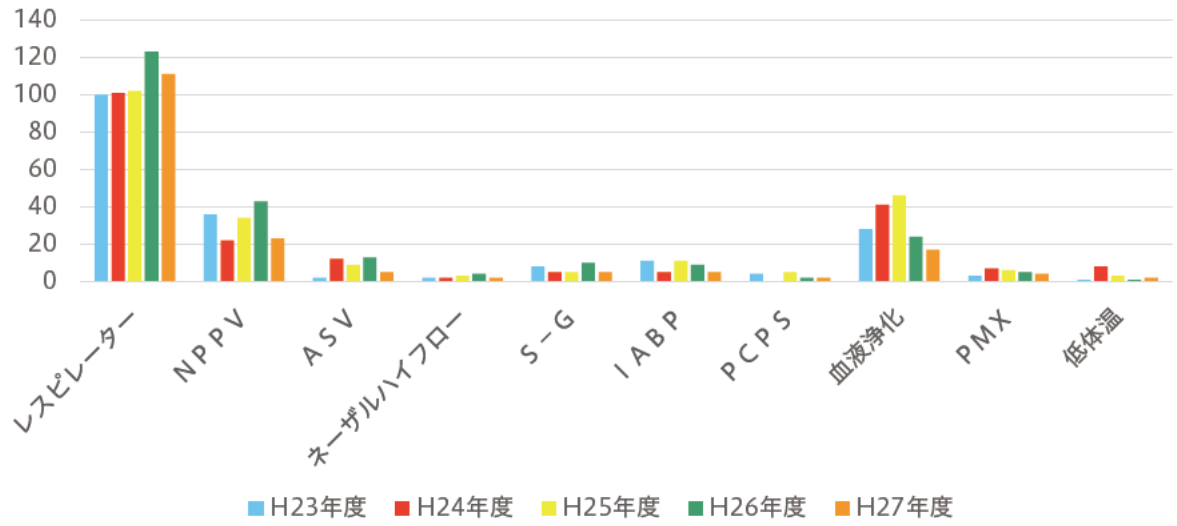
在院日数　7.3 日

業務実績

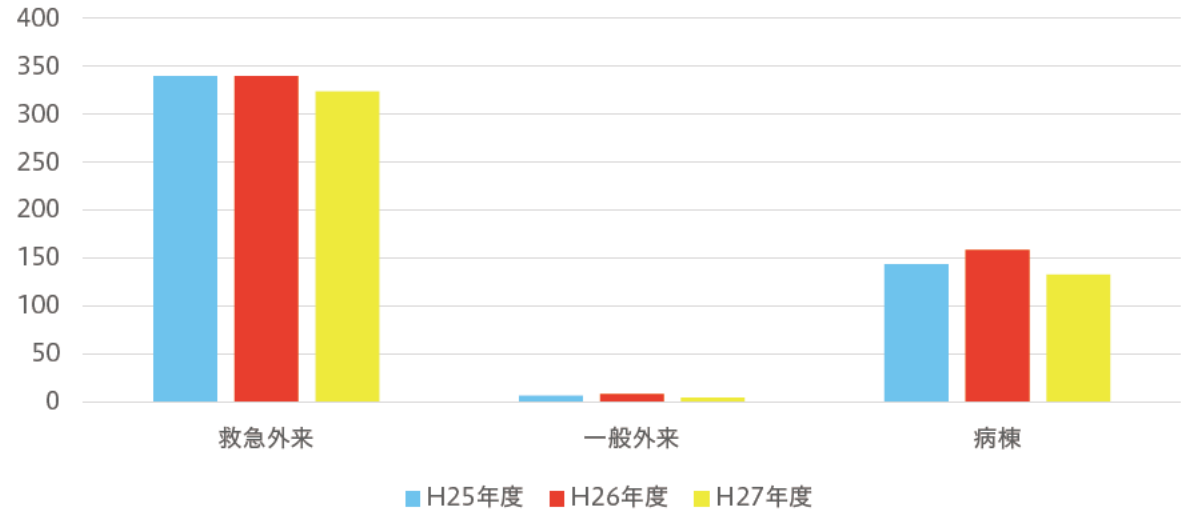
科別入院患者数



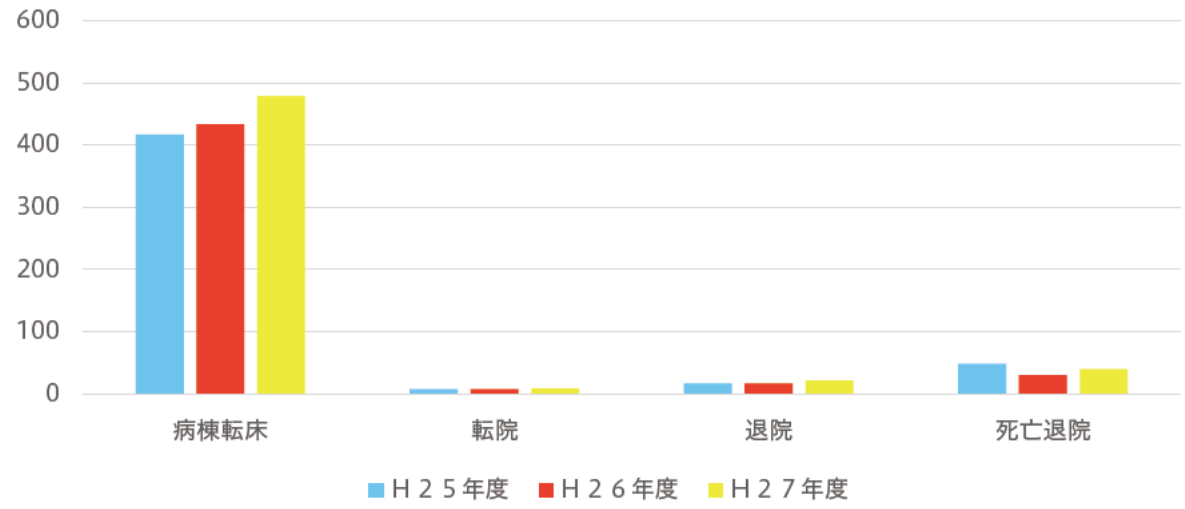
特殊治療の動向



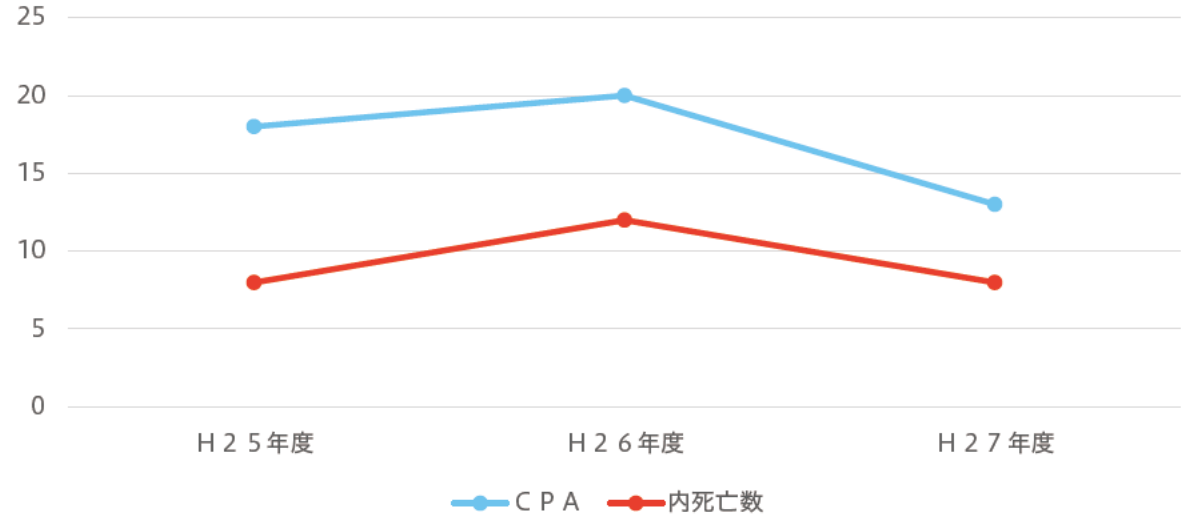
入室経路



退院経路



CPA 件数（死亡数）動向



研究業績

学会発表

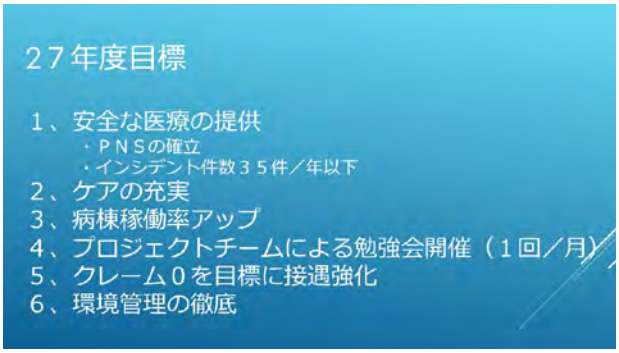
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
早期リハビリへの取り組み	日本集中治療医学会	神戸	2015 年 2 月 12 日～2 月 14 日	又吉愛美、新川愛実、勝連しのぶ

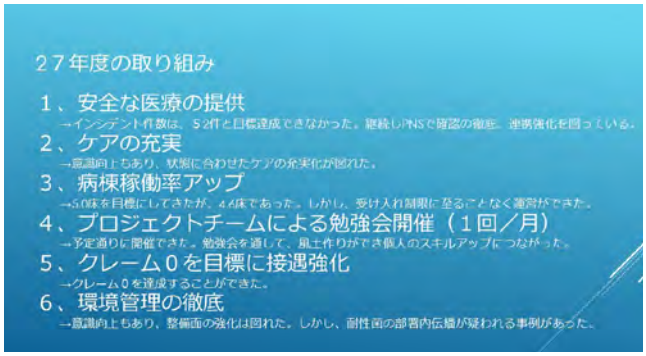
活動実績

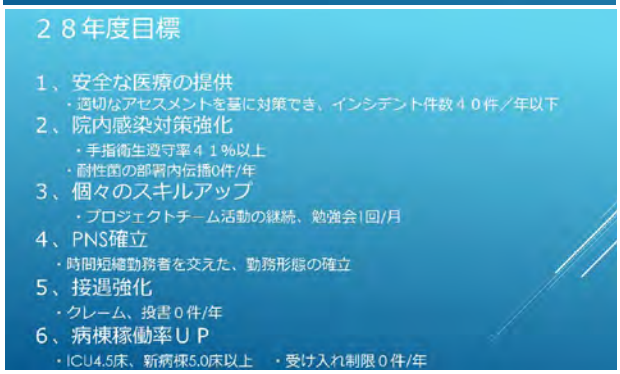
院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新人入職者研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 4 月 1 日～4 月 15 日	池根悠太、洲鎌正子、勝連しのぶ、城間克也
助手研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 5 月 1 日	宮里ともみ、与那嶺敬子
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 5 月 26 日	山城奈保子
BLS	救急部門	院内	2015 年 5 月 30 日	安村公均
フレッシュマン研修	沖縄看護協会	看護協会	2015 年 6 月 13 日	池根悠太
助手研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 5 日	新里由美
沖縄クリティカル研修	クリティカル委員会	琉大	2015 年 6 月 21 日	池根悠太、勝連しのぶ、謝花奈緒
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 30 日	仲尾寿々奈、今井久代
感染領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 23 日	山城奈保子
3 か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 6 月 26 日	池根悠太、謝花奈緒
糖尿病領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 1 日	松田早希
リフレッシュ研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 15 日	池根悠太
救急領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 17 日	新川愛実
中堅看護師研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 24 日	宮里伸也
心電図講習会	看護部教育委員会	院内	2015 年 7 月 28 日	池根悠太
BLS	救急部門	院内	2015 年 8 月 15 日	安村公均
中堅看護師研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 8 月 21 日	宮里伸也
沖縄クリティカル研修	クリティカル委員会	琉大	2015 年 8 月 22 日	池根悠太、勝連しのぶ、謝花奈緒
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 8 月 24 日	仲尾寿々奈、今井久代
慢性心不全領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 9 月 9 日	比嘉若菜、仲眞菜都美
中堅看護師研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 9 月 18 日	宮里伸也
6 か月フォローアップ研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 9 月 25 日	池根悠太、謝花奈緒
師長・主任合同研修	看護部	院内	2015 年 10 月 6 日	安村公均、洲鎌正子、勝連しのぶ
慢性心不全領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 10 月 14 日	比嘉若菜、与那嶺史子
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 10 月 26 日	仲尾寿々奈、今井久代
中堅看護師研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 10 月 30 日	宮里伸也
沖縄クリティカル研修	クリティカル委員会	琉大	2015 年 10 月 31 日	池根悠太、勝連しのぶ、謝花奈緒
救急領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 11 月 7 日	江口まり子
慢性心不全領域研修	看護部教育委員会	院内	2015 年 11 月 11 日	比嘉若菜
安全領域研修	看護部教育委員会	院内	2016 年 2 月 29 日	仲尾寿々奈、今井久代
師長・主任合同研修	看護部	院内	2016 年 3 月 8 日	安村公均、洲鎌正子、勝連しのぶ
沖縄クリティカル研修	クリティカル委員会	琉大	2016 年 3 月 12 日	勝連しのぶ

実績報告資料等


２７年度目標
１、安全な医療の提供
・ＰＮＳの確立
・インシデント件数３５件／年以下
２、ケアの充実
３、病棟稼働率アップ
４、プロジェクトチームによる勉強会開催（１回／月）
５、クレーム０を目標に接遇強化
６、環境管理の徹底


２７年度の取り組み
１、安全な医療の提供
→インシデント件数は、５２件と目標達成できなかった。継続しPNSで確認の徹底、連携強化を図っている。
２、ケアの充実
→意識向上もあり、状態に合わせたケアの充実化が図れた。
３、病棟稼働率アップ
→5.0床を目標にしてきたが、4.4床であった。しかし、受け入れ制限に至ることなく運営ができた。
４、プロジェクトチームによる勉強会開催（１回／月）
→予定通りに開催できた。勉強会を通して、風土作りができ個人のスキルアップにつながった。
５、クレーム０を目標に接遇強化
→クレーム０を達成することができた。
６、環境管理の徹底
→意識向上もあり、整備面の強化は図れた。しかし、耐性菌の部署内伝播が疑われる事例があった。


２８年度目標
１、安全な医療の提供
・適切なアセスメントを基に対策でき、インシデント件数４０件／年以下
２、院内感染対策強化
・手指衛生遵守率４１%以上
・耐性菌の部署内伝播0件/年
３、個々のスキルアップ
・プロジェクトチーム活動の継続、勉強会1回/月
４、PNS確立
・時間短縮勤務者を交えた、勤務形態の確立
５、接遇強化
・クレーム、投書０件/年
６、病棟稼働率ＵＰ
・ICU4.5床、新病棟5.0床以上　・受け入れ制限０件/年

西 2 階病棟（産婦人科）

西 2 階病棟師長　諸喜田　久美

職員数

総数 30 名

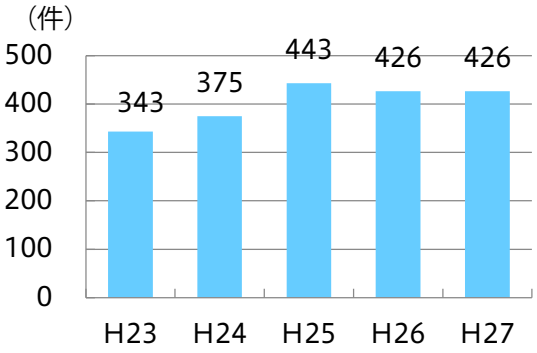
助産師　18 名
正看護師　7 名
准看護師　1 名
看護助手　3 名
クラーク　1 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数　81.9 名
病床利用数　17.3 床
在院日数　5.8 日

業務実績

分娩件数



研究業績

学会発表

学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
業務改善報告会	院内	2015 年 10 月 17 日	平屋敷加代

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	看護部教育委員	当院	2015 年 4 月 1 日	渡邊みなみ、古謝奈津紀
看護助手研修	看護部教育委員	当院	2015 年 5 月 1 日	上江洲淳子、榮野川摩美
看護協会代議員研修	日本看護協会	看護協会	2015 年 5 月 24 日	諸喜田久美
看護助手研修	看護部教育委員	当院	2015 年 6 月 5 日	宮城美和子
日本看護協会通常総会	日本看護協会	幕張メッセ	2015 年 6 月 8 日～6 月 11 日	諸喜田久美
中堅研修①	看護部教育委員	当院	2015 年 6 月 19 日	本村いずみ
沖縄県看護協会通常総会	沖縄県看護協会	看護協会	2015 年 6 月 20 日	諸喜田久美

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　助産ケアと倫理	日本看護協会　沖縄	看護協会	2015 年 6 月 21 日	諸喜田久美、渡邊みなみ
領域別研修感染②	看護部教育委員	当院	2015 年 6 月 23 日	本村いずみ
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　CTG モニター	日本看護協会	当院伝達講習	2015 年 7 月 14 日	諸喜田久美、平屋敷加代、又吉志菜子、上原ちえみ、中根汐香、世嘉良裕美、下浦陽子、神谷富士子、古謝奈津紀、山城杏菜、原順子
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　産科領域フィジカルアセスメント	日本看護協会　沖縄	看護協会	2015 年 7 月 15 日	原順子、渡邉みなみ、新城真鶴
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　医療安全と助産記録、子宮収縮薬	日本看護協会　沖縄	看護協会	2015 年 7 月 16 日	渡邊みなみ、原順子、新城真鶴
領域別研修救急	看護部教育委員	当院	2015 年 7 月 17 日	上原美佳、仲地春代
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　看護実戦能力を育てる	日本看護協会　沖縄	看護協会	2015 年 7 月 18 日	渡邉みなみ、新城真鶴
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　医療安全と産科記録	日本看護協会	当院オンデマンド	2015 年 7 月 18 日	平屋敷加代、仲地春代、上原ちえみ、下浦陽子、上原美佳、古謝奈津紀、又吉志菜子、狩俣愛
領域別研修感染③	看護部教育委員	当院	2015 年 7 月 21 日	仲地春代
中堅研修②	看護部教育委員	当院	2015 年 7 月 24 日	本村いずみ
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　　出血時の対応	日本看護協会	当院オンデマンド	2015 年 7 月 25 日	原順子、諸喜田久美、山城杏菜、新城真鶴、平屋敷加代、神谷富士子、下浦陽子、古謝奈津紀、上原美佳、上原ちえみ、下柿元恵理
心電図講習会	看護部教育委員	当院	2015 年 7 月 28 日	山城杏菜、新城真鶴
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　子宮収縮薬使用時の助産ケアのポイント	日本看護境界	当院オンデマンド	2015 年 8 月 1 日	狩俣愛、又吉志菜子、上原ちえみ、平屋敷加代、下浦陽子、古謝奈津紀、上原美佳、下柿元恵理、神谷富士子
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　脳神経外科のフィジカルアセスメント	日本看護協会	当院オンデマンド	2015 年 8 月 8 日	平屋敷加代、、下浦陽子、仲地春代、上原美佳、、神谷富士子、、下柿元恵理
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　脳神経･呼吸器･循環器･代謝系のフィジカルアセスメント	日本看護協会	当院オンデマンド	2015 年 8 月 15 日	新城真鶴、渡邊みなみ、原順子
領域別研修化学療法①	看護部教育委員	当院	2015 年 8 月 21 日	成田明日香、仲地春代、本村いずみ
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　呼吸器･循環器系のフィジカルアセスメント	日本看護協会	当院オンデマンド	2015 年 8 月 22 日	仲地春代、又吉志菜子、下浦陽子、山城杏菜、古謝奈津紀、平屋敷加代、諸喜田久美、世嘉良裕美
助産師クリニカルラダーレベルIII習得の必須研修　代謝系のフィジカルアセスメント	日本看護協会	当院オンデマンド	2015 年 8 月 29 日	又吉志菜子、下浦陽子、古謝奈津紀、上原美佳、平屋敷加代、諸喜田久美、神谷富士子、下柿元恵理
領域別研修慢性心不全①	看護部教育委員	当院	2015 年 9 月 9 日	仲地春代
がん看護研修	沖縄県看護協会	看護協会	2015 年 9 月 9 日	仲地春代
中堅研修③	看護部教育委員	当院	2015 年 9 月 18 日	本村いずみ
医療安全管理者養成講習会	沖縄県看護協会	看護協会	2015 年 9 月 19 日	仲地春代
医療者安全管理者養成研修公開講座	沖縄県看護協会	看護協会	2015 年 9 月 24 日	原順子
看護の本質を再確認しよう	沖縄県看護協会	看護協会	2015 年 9 月 25 日	仲地春代
領域別研修感染①	看護部教育委員	当院	2015 年 10 月 20 日	上原美佳
領域別研修安全②	看護部教育委員	当院	2015 年 10 月 26 日	新城真鶴
中堅研修④	看護部教育委員	当院	2015 年 10 月 30 日	本村いずみ
おきなわ周産期セミナー	おきなわ周産期セミナー実行委員会		2015 年 10 月 31 日	古謝奈津紀

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
いいお産の日	沖縄県助産師会	子供の国	2015 年 11 月 3 日	平屋敷加代、新城真鶴、中根汐香、神谷富士子
3年目研修	看護部教育委員	当院	2015 年 11 月 13 日	山城杏菜
クリニカルパス学会	日本クリニカルパス学会		2015 年 11 月 14 日	諸喜田久美、成田明日香
領域別研修感染②	看護部教育委員	当院	2015 年 11 月 17 日	上原美佳
緩和ケア研修	ハートライフ病院	当院	2015 年 11 月 21 日	成田明日香、本村いずみ
母乳育児支援学習会	JALC		2015 年 11 月 22 日	中根汐香、渡邉みなみ
中堅研修⑤	看護部教育委員	当院	2015 年 11 月 27 日	本村いずみ
新生児蘇生法講習会	沖縄県医師会	南部医療センター	2015 年 11 月 28 日	山城杏菜、上原美佳
医療安全の基礎知識	沖縄県看護協会	看護協会	2015 年 11 月 30 日	新城真鶴、仲地春代
領域別研修感染③	看護部教育委員	当院	2015 年 12 月 15 日	上原美佳
領域別研修安全③	看護部教育委員	当院	2015 年 12 月 21 日	新城真鶴
中堅研修ふりかえり		当院	2015 年 12 月 22 日	本村いずみ
沖縄県看護大学　助産学生症例発表会	沖縄県看護大学	沖縄県看護大学	2015 年 12 月 24 日	原順子
骨盤ケア	トコ企画	ゆいクリニック	2016 年 1 月 10 日～11 日	新城真鶴
領域別研修感染④	看護部教育委員	当院	2016 年 1 月 19 日	上原美佳
ハイリスク妊産婦研修会	中部地区保健所、産科医療機関	中部福祉保健所	2016 年 3 月 1 日	平屋敷加代
師長主任副主任合同研修	看護部教育委員	当院	2016 年 3 月 8 日	崎山久美、平屋敷加代、成田明日香

実績報告資料等

平成27年度目標

1.安全な医療の提供
★マニュアルの徹底・決定事項の確実な実施
★ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄの共有と速やかな問題分析と対策
★術後創部離開の防止と早期発見・処置
2.人材育成
★個々の目標達成のための取り組み
★NCPRの継続した実施
3.私たちが目指す周産期・婦人科看護の提供
★助産師外来の継続した実施
★外来⇔病棟の継続した看護

平成27年度総括

◎3指標に関しては、新規入院患者が目標達成していない。
◎外来述べ患者数が約1000人減。分娩件数は昨年同様をkeep。
◎産科医師1人の退職があり、また中堅助産師の産休・育児休暇等で人員不足の1年であった。西2階は他病棟とのローテーションなく、休暇中・復帰後の人員の確保と総数のバランスの調整が難しい。出産・子育て者を支える病棟環境体制の構築が課題。
◎病棟目標に対しては、発生したｲﾝｼﾃﾞﾝﾄや決定事項に関しての伝達方法を導入したが上手く活用できていない。マニュアルの文書化がなされていないことは次年度の課題。人材育成に関しては、助産師ラダーを導入しレベルⅢの認定を5人出せた。部署教育へラダーをのせていくことが課題
◎目指す周産期・婦人科看護の提供に関しては、助産師外来継続中。周産期カンファでの情報を共有。婦人科患者の継続看護も引き続き課題。

平成28年度目標

1.安全な医療の提供
☆ｲﾝｼﾃﾞﾝﾄの共有と速やかな問題分析と対策
☆患者誤認発生0件・転倒転落防止策の徹底
☆術後創部離開の防止と早期発見・対策
2.人材の育成
☆助産師ラダーﾚﾍﾞﾙⅢ認定者を増やす
☆部署間研修の実施
☆NCPRの継続した実施
3.私たちが目指す周産期・婦人科看護の提供
☆助産師外来の継続・評価
☆骨盤ｹｱ教室開始のための準備
☆外来⇔病棟との継続看護

3 階病棟（整形外科・脳神経外科・眼科・形成外科）

3 階病棟師長　外間　真紀子

職員数

総数　　36 名

正看護師　34 名

准看護師　 2 名

看護助手　5 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数　103.8 名

病床利用数　55.7 床

在院日数　15.1 日

3 階病棟入院患者手術件数

整形外科　　545 件

脳神経外科　　58 件

形成外科　　168 件

眼科　　221 件

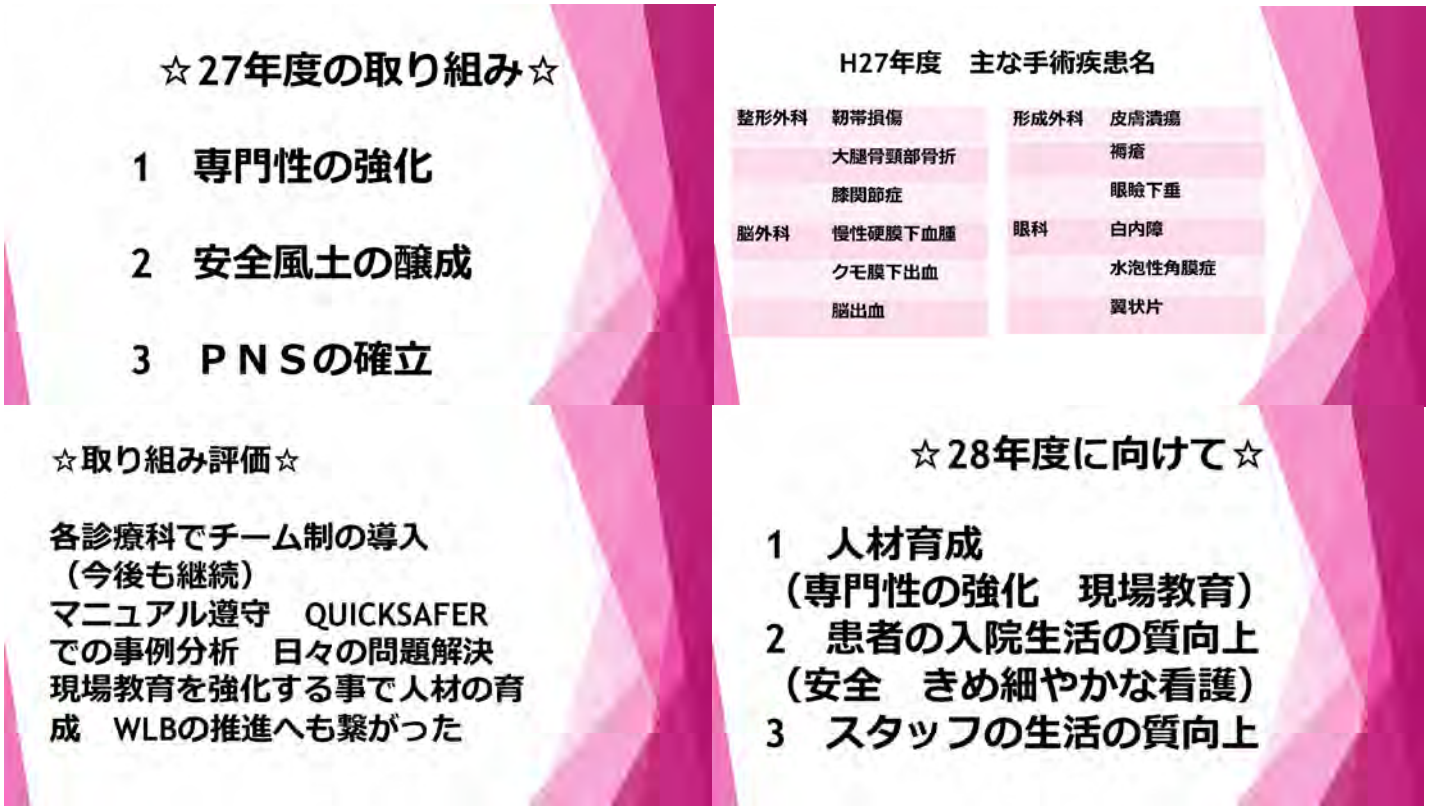
活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者 オリエンテーション	看護部	当院	2015 年 4 月 1 日～ 4 月 20 日	比嘉優、宮城守寿
助手研修①	看護部	当院	2015 年 5 月 1 日	池原大介、小波津忍
感染領域研修①	看護部	当院	2015 年 5 月 26 日	松村優美、宮里誠
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	南風原町	2015 年 6 月 13 日	比嘉優、宮城守寿
助手研修②	看護部	当院	2015 年 6 月 5 日	新里優子、小波津忍
安全領域研修①	看護部	当院	2015 年 6 月 30 日	久下泰代、原結里加
感染領域研修②	看護部	当院	2015 年 6 月 23 日	松村優美、宮里誠
中堅研修①	看護部	当院	2015 年 6 月 19 日	伊敷よし乃
3 ヵ月フォローアップ研修	看護部	当院	2015 年 6 月 26 日	比嘉優、宮城守寿
DM領域研修①	看護部	当院	2015 年 7 月 1 日	足立聖子、大城幸江
DM領域研修②	看護部	当院	2015 年 7 月 8 日	足立聖子、大城幸江
救急領域研修	看護部	当院	2015 年 7 月 17 日	山城優子
感染領域研修③	看護部	当院	2015 年 7 月 21 日	松村優美、宮里誠
中堅研修②	看護部	当院	2015 年 7 月 24 日	伊敷よし乃
心電図講習会	看護部	当院	2015 年 7 月 28 日	渡具知つばさ、山城優子
2 年目フォローアップ研修	看護部	当院	2015 年 7 月 31 日	金城実花、名波美香 平良勝郎、宇地原麗奈
安全領域研修②	看護部	当院	2015 年 8 月 24 日	久下泰代、原結里加
中堅研修③	看護部	当院	2015 年 9 月 18 日	伊敷よし乃
6 ヵ月フォローアップ研修	看護部	当院	2015 年 9 月 25 日	比嘉優、宮城守寿
師長主任合同研修	看護部	当院	2015 年 10 月 6 日	外間真紀子、屋宜鮎美、當間さゆり
安全領域研修③	看護部	当院	201510 月 26 日	久下泰代、原結里加

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
中堅研修④	看護部	当院	2015 年 10 月 30 日	伊敷よし乃
3 年目研修	看護部	当院	2015 年 11 月 13 日	久下泰代、原結里加 伊敷よし乃、松村優美、川原佐知子
救急領域研修	看護部	当院	2015 年 11 月 12 日	山城優子
中堅研修⑤	看護部	当院	2015 年 11 月 27 日	伊敷よし乃
緩和ケア研修	ハートライフ病院	当院	2015 年 11 月 21 日	平良勝郎
H 28 年度プリセプター研修	看護部	当院	2016 年 1 月 22 日	金城実花、名波美香 久下泰代、川原佐知子
1 年目症例報告会	看護部	当院	2016 年 1 月 29 日	比嘉優
臨地実習指導者研修	看護学校		2016 年 2 月 13 日	屋宜鮎美
1 年目フォローアップ研修	看護部	当院	2016 年 2 月 26 日	比嘉優、宮城守寿
安全領域研修④	看護部	当院	2016 年 2 月 29 日	久下泰代、原結里加
師長主任合同会議	看護部	当院	2016 年 3 月 8 日	外間真紀子、屋宜鮎美、當間さゆり

実績報告資料等



3 階新病棟

3 階新病棟師長　安村　公均

職員数

総数　14 名

正看護師　12 名　　看護助手　2 名

月平均入院患者状況

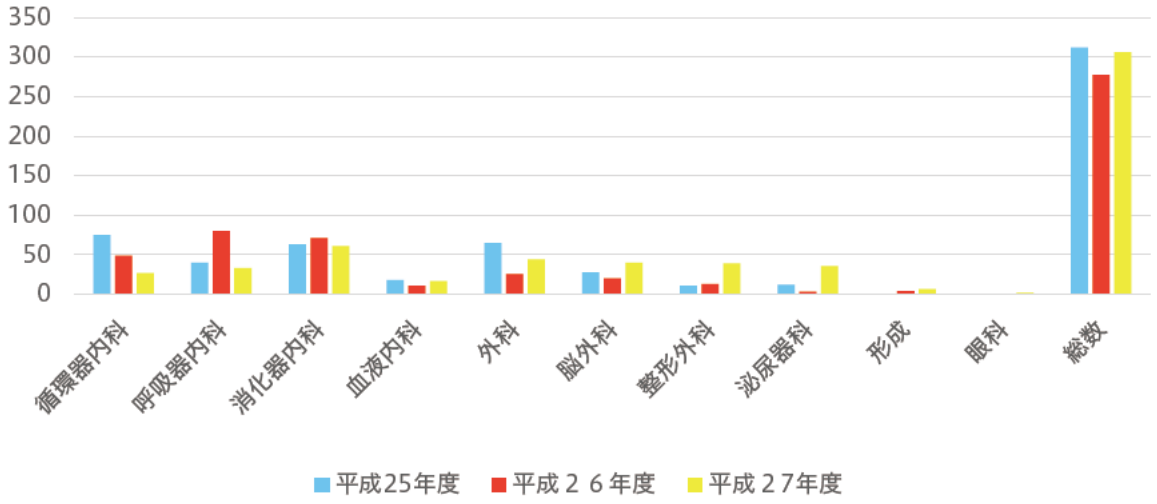
新規入院患者数　20.8 名

病床利用数　5.1 床

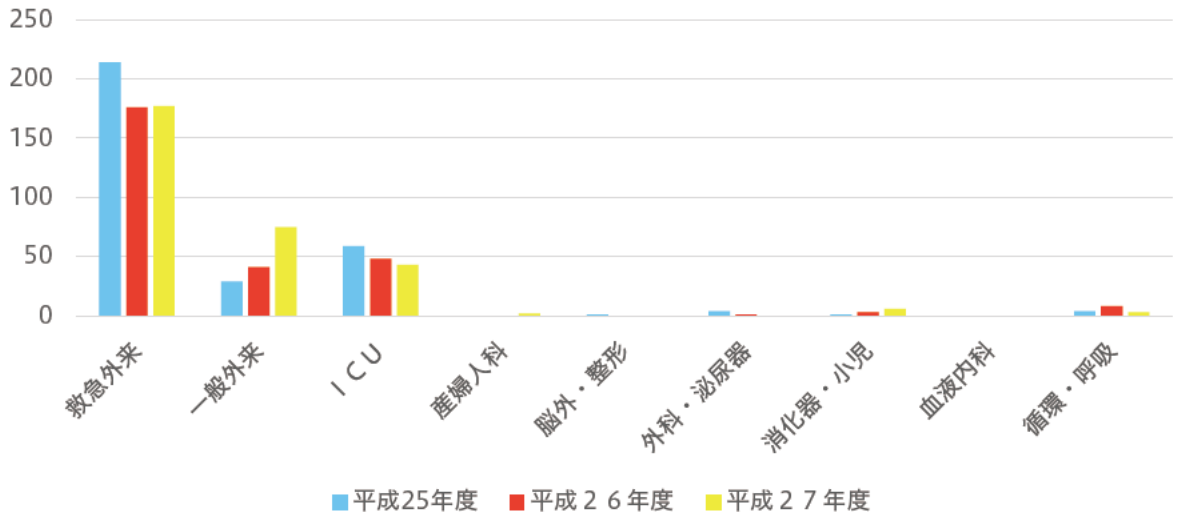
在院日数　10 日

業務実績

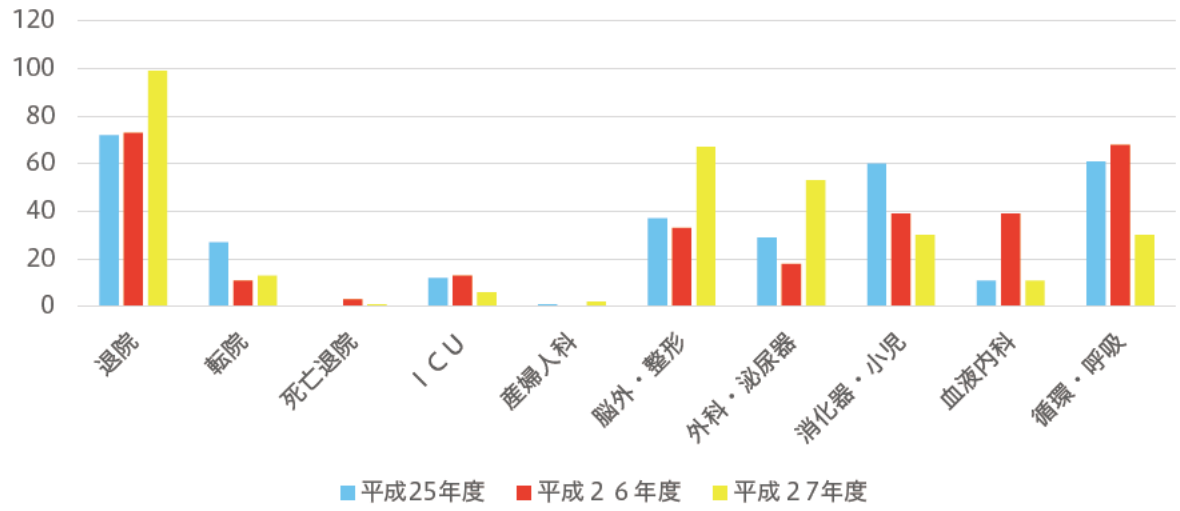
科別入院患者数



入院経路



退出経路


120
100
80
60
40
20
0
退院
転院
死亡退院
ＩＣＵ
産婦人科
脳外・整形
外科・泌尿器
消化器・小児
血液内科
循環・呼吸
平成25年度
平成２６年度
平成２7年度

4 階病棟（外科・泌尿器科・耳鼻咽喉科）

4 階病棟師長　宮城　つかさ

職員数

総数　　44 名

正看護師　37 名　　看護助手　5 名

准看護師　 1 名　　クラーク　1 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数　116.1 名

病床利用数　49.0 床

在院日数　12.9 日

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職研修	看護部	当院	2015 年 4 月 1 日～	末吉彩夏、新川綾香、伊佐杏澄
新人研修（トランスファー）	看護部	当院	2015 年 4 月 3 日	新里紗希果
新人研修（電子カルテ）	看護部	当院	2015 年 4 月 8 日	金城昭子
シュミレーション研修	沖縄看護専門学校	豊見城	2015 年 4 月 20 日	新里瀬名
清潔操作	看護部	当院	2015 年 4 月 22 日	末吉彩夏、新川綾香、伊佐杏澄、与那覇亜紀子、徳元千里
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2015 年 5 月 20 日	末吉彩夏、新川綾香、伊佐杏澄、新里紗希果
ストーマ研修	看護協会	南風原町	2015 年 4/25	宮平良太、宮城辰吏
看護助手研修	看護部	当院	2015 年 5 月 1 日	知念樹奈
ふれあい看護	看護部	当院	2015 年 5 月 23 日	徳元千里
新人対象 BLS	看護部	当院	2015 年 5 月 30 日	末吉彩夏、新川綾香、伊佐杏澄
オペ室研修	病棟	当院	2015 年 6 月 1 日～ 30 日	池原勇弥
看護助手研修	看護部	当院	2015 年 6 月 5 日	津覇恵理子
中堅研修	看護部	当院	2015 年 6 月 19 日	与那覇亜紀子
看護連盟通常総会	看護協会	宜野湾	2015 年 5 月 24 日	末吉彩夏
感染管理研修	看護協会	南風原町	2015 年 6 月 17 日	林俊介
ストーマケア研修	琉球興和	宜野湾	2015 年 6 月 4 日	新里紗希果、玉城亜衣
ストーマケア研修	琉球興和	南風原町	2015 年 6 月 5 日	与那嶺美咲、新里瀬名
3 ヶ月フォローアップ研修	看護部	当院	2015 年 6 月 26 日	末吉彩夏、新川綾香、伊佐杏澄
リフレッシュ研修	看護部	沖縄市	2015 年 7 月 15 日」	末吉彩夏、新川綾香、伊佐杏澄、新里紗希果、平良勇
領域研修・医療安全	看護部	当院	2015 年 6 月 30 日	与那覇亜紀子、外間幸代
領域研修・救急看護	看護部	当院	2016 年 7 月 17 日	平良桐、野国夕貴
癌看護 I	看護協会	南風原町	2015 年 7 月 4 日	徳元千里
オリブ山病院創立記念シンポジュム：もう一度ホスピスを考える	オリブ山病院	那覇市	2015 年 7 月 4 日	宮城つかさ、高宮里沙、有働七海
部署間研修（ICU）	ICU	当院	2015 年 7 月 21 ～ 8 月 20 日	林俊介
看護実践能力を育てる	看護協会	南風原町	2015 年 7 月 18 日	野国夕貴
火災訓練事前講習会	災害対策委員会	当院	2015 年 7 月 27 日	池原勇弥、野国夕貴
心電図講習会	日本光電株式会社	当院	2015 年 7 月 28 日	新里紗希果、玉城亜衣

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
2 年目症例研修	看護部	当院	2015 年 6 月 1 日～30 日	池原勇弥、与那嶺美咲、野国夕貴、新里瀬名
TENA 排泄ケアセミナー	ユニチャーム	院外	2015 年 8 月 1 日	外間幸代、新地博美、池原勇弥
防災訓練		当院	2015 年 7 月 30 日	野国夕貴、池原勇弥
2 年目研修	看護部	当院	2015 年 7 月 31 日	池原勇弥、野国夕貴、与那嶺美咲、新里瀬名
人工呼吸器基礎と患者のケア	看護協会	南風原町	2015 年 8 月 7 日	与那覇亜紀子
癌看護Ⅱ	看護協会	南風原町	2015 年 8 月 8 日	徳元千里、玉城久美子
領域研修：癌看護	看護部	当院	2015 年 8 月 21 日	高宮里沙
領域研修：医療安全	看護部	当院	2015 年 8 月 24 日	平田美加、外間幸代
領域研修：慢性心不全	看護部	当院	2015 年 9 月 9 日	宮平良太、新里紗希果
癌看護Ⅲ	看護協会	南風原町	2015 年 9 月 9 日	徳元千里、玉城久美子
領域研修：救急看護	看護部	当院	2015 年 9 月 18 日	下地睦
中堅研修	看護部	当院	2015 年 9 月 18 日	与那覇亜紀子
6 カ月フォローアップ研修	看護部	当院	2015 年 9 月 25 日	末吉彩夏、新川綾香、玉城久美子
領域研修：癌看護	看護部	当院	2015 年 9 月 30 日	高宮里沙
プリセプター研修	看護部	当院	2015 年 10 月 2 日	新里紗希果
師長・主任合同研修	看護部	当院	2015 年 10 月 6 日	宮城つかさ、平良勇、与那覇亜紀子
領域研修：慢性心不全	看護部	当院	2015 年 10 月 14 日	宮平良太、新里紗希果
WLB	看護協会	南風原町	2015 年 10 月 15 日	宮城つかさ
領域研修：癌看護	看護部	当院	2015 年 10 月 16 日	高宮里沙
感染管理Ⅱ	看護協会	南風原町	2015 年 10 月 17 日	林俊介
領域研修：感染	看護部	当院	2015 年 10 月 20 日	川崎聖信
TA 研修	おもと会看護学校	院外	2015 年 10 月 21 日	与那覇亜紀子
エレニック J	琉球大学	院外	2015 年 10 月 22 日	渡真利久美子
領域研修：医療安全	看護部	当院	2015 年 10 月 26 日	外間幸代
エレニック J	琉球大学	院外	2015 年 10 月 29 日	渡真利久美子
エレニック J	琉球大学	院外	2015 年 11 月 5 日	渡真利久美子
創傷・褥創ケア	看護協会	南風原町	2015 年 11 月 5 日	平田美加、池原勇弥
エレニック J	琉球大学	院外	2015 年 11 月 5 日	渡真利久美子
創傷・褥創ケア	看護協会	南風原町	2015 年 11 月 6 日	外間幸代、新地博美
エレニック J	琉球大学	院外	2015 年 11 月 12 日	渡真利久美子
領域研修：救急看護	看護部	当院	2015 年 11 月 12 日	与那嶺美咲
緩和ケア研修会	緩和ケア委員会	当院	2015 年 11 月 21 日	渡真利久美子、高宮里沙
エレニック J	琉球大学	院外	2015 年 11 月 26 日	渡真利久美子
領域研修：感染	看護部	当院	2015 年 11 月 27 日	川崎聖信
中堅研修報告会	看護部	当院	2015 年 11 月 27 日	与那覇亜紀子
災害訓練事前講習会	災害対策委員会	当院	2015 年 11 月 28 日	与那嶺美咲
エレニック J	琉球大学	院外	2015 年 12 月 3 日	渡真利久美子
災害訓練	災害対策委員会	当院	2015 年 12 月 9 日	与那嶺美咲
エレニック J	琉球大学	院外	2015 年 12 月 9 日	渡真利久美子
エレニック J	琉球大学	院外	2015 年 12 月 17 日	渡真利久美子
2 年目症例発表	看護部	当院	2015 年 12 月 18 日	池原勇弥、与那嶺美咲、穴井夕貴、新里瀬名
エレニック J	琉球大学	院外	2016 年 1 月 7 日	渡真利久美子
創傷・褥創ケア	看護協会	南風原町	2016 年 1 月 8 日	平田美加
平成 28 年度・プリセプター研修	看護部	当院	2016 年 1 月 22 日	玉城亜衣、池原勇弥
エレニック J	琉球大学	院外	2016 年 1 月 28 日	渡真利久美子
1 年目症例報告会	看護部	当院	2016 年 1 月 29 日	末吉彩夏、新川綾香
緩和ケア研修会	緩和ケア委員会	当院	2016 年 I 月 30 日	高宮里沙
緩和ケア研修会	緩和ケア委員会	当院	2016 年 I 月 31 日	高宮里沙
1 年目フォローアップ研修	看護部	当院	2016 年 2 月 26 日	末吉彩夏、新川綾香、平良勇
師長・主任合同研修	看護部	当院	2016 年 3 月 8 日	宮城つかさ、平良勇、与那覇亜紀子

実績報告資料等

平成27年度病棟目標

1・安全な医療
⇒5Rの確認・照合を徹底し患者誤認ゼロ

2・PNSの確立⇒良好なコミュニケーション

3・人材育成　⇒院外・部署間研修・スキルup

4・ワークライフバランス⇒声かけ合って定時終了

平成２７年度の取り組み

- ・決まり事の周知徹底する体制作り
- ・部署間研修（5月・OR1名；7月ICU・1名）
- ・リーダNS育成（3年目・3名）
- ・Drからのオペ後の申し送りの実施
- ・月1回drによる勉強会の開催
- ・リンクNSによる勉強会の実施
- ・時間内終了の意識づけ（タイムアウトの徹底）
- ・PNSマインドの意識づけ
- ・情報同知のための表の作成と活用

☆取り組みの成果☆

- 情報同知のための表を活用し　重要な事は伝達したが　評価までには至っていない。次年度は　評価と運用方法の検討が必要
- 人材育成に関して：部署間研修を行った。研修に参加することで　スキルup・モチベーションupに繋がった。次年度も継続して行っていきたい。
- 今年度新たに　主治医から術後　術式や観察のポイント等の申し送りを行う取り組みをdr協力のもと行えた。スタッフの知識向上に繋がった。次年度もdrと連携をとり継続して行っていく。
- WLBに関して：タイムアウトはその日の手術件数や　入院数により（その日の忙しさ）残務調整がうまく行えないのが現状である。今年度は　PNSの確立を目標に挙げていたが　確立に至っていない事も　残務調整がうまくできていない原因である。
- 次年度はPNSを確立して安全・人材育成・WLBに取り組んでいく。

平成28年度病棟目標

1　安全な医療⇒インシデントの低減

2　ワークライフバランス
⇒業務の効率化　助け合いで残業を減らす

3　人材育成
⇒部署間研修　院外研修　勉強会の実施⇒スキルup

4　接遇の徹底
⇒「次も病院にくるならここ」と言ってもらえる病棟を目指す

5 階病棟（消化器内科・小児科）

5 階病棟師長　米須　智子

職員数

総数　　42 名

正看護師　34 名　　看護助手　5 名

准看護師　2 名　　保育士　1 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数　172.3 名

病床利用数　48.3 床

在院日数　8.6 日

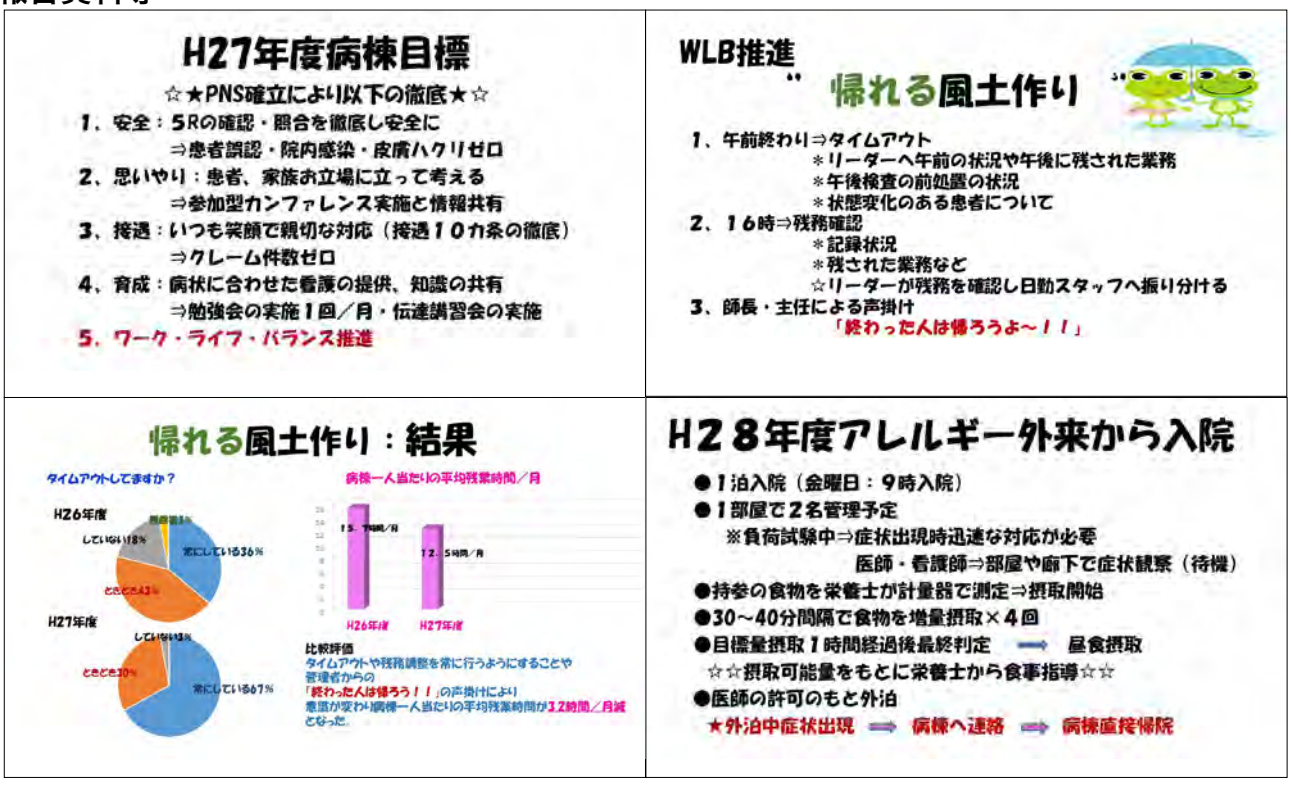
活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職オリエンテーション	看護部	院内	2015 年4月1日～4月２0日	宮里夏樹、上原春菜、照喜名朝邦
看護助手研修	看護部	院内	2015 年5月1日	比嘉夏鈴、島袋加奈恵
領域別研修（感染①）	看護部	院内	2015 年5月２6日	玉城千春、大城瑞乃
小児勉強会（小児の一次救命処置）	病棟	病棟	2015 年6月17日	米須智子、鈴木千恵、多和田三由紀、高良梓、佐藤友美、佐藤寛子、与那城友子、諸見里佳奈、宮里愛香、安里恵美子、冨里理恵、友寄聡子、仲松
フレッシュマン研修	看護協会	院外	2015 年6月13日・２0日・２7日	宮里夏樹、上原春菜、照喜名朝邦
看護助手研修	看護部	院内	2015 年6月5日	尾崎聖子、仲村嶺子、金城義乃
領域別研修（安全①）	看護部	院内	2015 年6月３0日	友寄慎也
領域別研修（感染②）	看護部	院内	2015 年6月２3日	玉城千春、大城瑞乃
中堅研修①	看護部	院内	2015 年6月19日	新垣涼香
３ヶ月フォローアップ研修	看護部	院内	2015 年6月２6日	宮里夏樹、上原春菜、照喜名朝邦
領域別研修（糖尿病①） インスリン自己注射指導について	看護部	院内	2015 年7月1日	米須智子、多和田三由紀、友寄聡子、与那城友子、安里恵美子、前田利枝子、佐藤寛子、佐藤友美、比嘉君代、近藤祐可、與那嶺祐、照喜名朝久邦、宮里夏樹、上原春菜
領域別研修（糖尿病②）インスリンと糖尿病薬について	看護部	院内	2015 年7月8日	米須智子、多和田三由紀、鈴木千恵、与那城友子、安里恵美子、与那城茂子、岡田真美江、吉川麻香、比嘉君代、緒方恵理、與那嶺祐、諸見里佳奈、大城瑞乃
領域別研修（救急）	看護部	院内	2015 年7月17日	大宮那保、近藤祐可、佐藤寛子、大城瑞乃
領域別研修（感染③）	看護部	院内	2015 年7月２1日	玉城千春
中堅研修②	看護部	院内	2015 年7月２4日	新垣涼香
心電図講習会		院内	2015 年7月２8日	與那嶺祐、諸見里佳奈、玉城千春

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
２年目フォローアップ研修	看護部	院内	2015 年７月３１日	宮里愛香
救急看護～急変予測と対応～	看護協会	院外	2015 年８月５日	近藤祐可
がん看護研修Ⅱ	看護協会	院外	2015 年８月８日	佐藤友美
沖縄県地域肝炎治療コーディネーター養成講座	沖縄県保健医療部健康長寿課	院外	2015 年８月１７日	緒方理恵、宮里愛香
領域別研修（がん看護①）	看護部	院内	2015 年８月２１日	佐藤友美、森春香
領域別研修（安全②）	看護部	院内	2015 年８月２４日	友寄慎也
がん看護Ⅲ	看護協会	院外	2015 年９月９日	森春香
領域別研修（慢性心不全①）	看護部	院内	2015 年９月９日日	比嘉君代、友寄聡子
中堅研修③	看護部	院内	2015 年９月１８日	新垣涼香
６ヶ月フォローアップ研修	看護部	院内	2015 年９月２５日	宮里夏樹、照喜名朝邦
経口負荷試験		院外	2015 年９月２９日～１０月３日	米須智子、多和田三由紀
師長・主任合同研修	看護部	院内	2015 年１０月６日	米須智子、鈴木千恵、市川祐鼓
領域別研修（慢性心不全②）	看護部	院内	2015 年１０月１４日	比嘉君代、友寄聡子
領域別研修（がん看護②）	看護部	院内	2015 年１０月１６日	佐藤友美
領域別研修（安全③）	看護部	院内	2015 年１０月２６日	友寄慎也
中堅研修④	看護部	院内	2015 年１０月３０日	新垣涼香
領域別研修（慢性心不全③）	看護部	院内	2015 年１１月１１日	比嘉君代、友寄聡子
３年目研修	看護部	院内	2015 年１１月１３日	與那嶺祐、玉城千春
領域別研修（救急）	看護部	院内	2015 年１１月１２日	吉川麻香、佐藤寛子
緩和ケア研修	ハートライフ病院	院内	2015 年１１月２１日	佐藤友美、鈴木千恵、高良梓
緩和ケア病棟見学研修	ハートライフ病院	院外	2015 年１１月２５日	鈴木千恵、佐藤友美
	ハートライフ病院	院外	2015 年１１月２７日	佐藤友美、高良梓
中堅研修⑤	看護部	院内	2015 年１１月２７日	新垣涼香
Ｈ２８年度プセプター研修	看護部	院内	2016 年１月２２日	友寄慎也
１年目症例報告会	看護部	院内	2016 年１月２９日	宮里夏樹、照喜名朝邦
１年目フォローアップ研修	看護部	院内	2016 年２月２６日	宮里夏樹、照喜名朝邦
師長・主任・副主任合同研修	看護部	院内	2016 年３月８日	米須智子

実績報告資料等



6 階病棟 （血液内科・腎臓内科）

6 階病棟師長　比嘉　暢

職員数

総数 43 名

正看護師　36 名

准看護師　1 名

看護助手　6 名

月平均入院患者状況

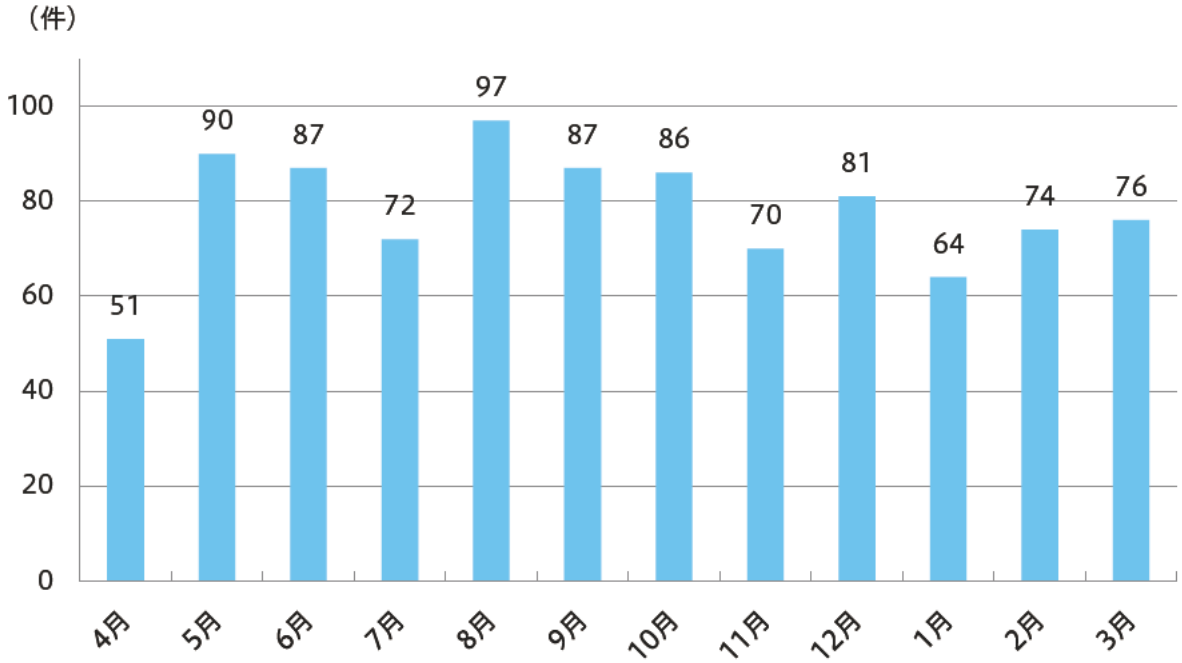
新規入院患者数　50.2 名

病床利用数　46.8 床

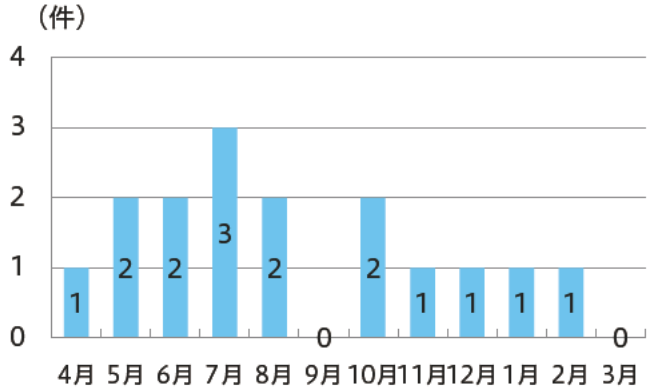
在院日数　27.5 日

業務実績

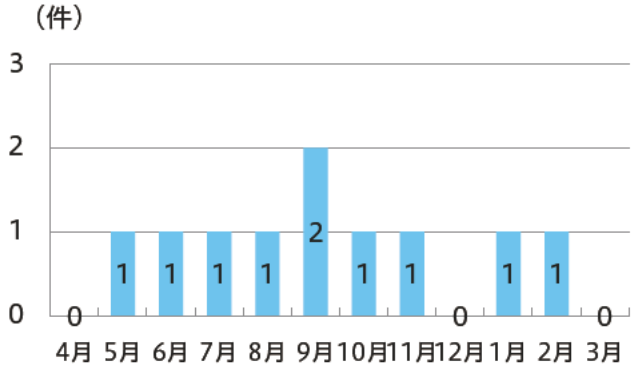
化学療法件数



移植件数



バンクドナー採取件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
ピアサポート相談室用務	琉球大学医学部附属病院（沖縄県地域統括相談支援センター）	西原町		仲田ひろ子
ポスター発表「末梢血幹細胞採取に関するアンケート調査」	第63回日本輸血細胞治療学会総会	東京都	平成27年5月28日	金城隆也、比嘉暢
非常勤講師「血液・造血器機能障害をもつ対象の看護」	中部地区医師会立ぐしかわ看護専門学校	うるま市		比嘉暢
非常勤講師「血液造血機能障害のある対象の看護」	公益社団法人北部地区医師会　北部看護学校	名護市		比嘉暢
沖縄看護専門学校TA	学校法人おもと会　沖縄看護専門学校	与那原町		金城隆也
ポスター発表「Approach to introducing Partnership Nursing System in hematology department.」	The 20th Annual Congress of Asia-Pacific Blood and Marrow Transplantation Group in Okinawa 2015	名護市	平成27年10月31日	比嘉暢、中野久乃(看護部)、仲地ますみ(看護部)、西銘宣子(看護部)、平良直也(血液内科部長)
シンポジウム　輸血医療と看護師「学会認定・アフェレーシスナースとしての取り組み　～勉強会後のアンケート調査から見えてきた課題～」	日本輸血細胞治療学会　九州支部会　第62回総会・第83回例会	那覇市	平成27年12月12日	比嘉暢
看護一般口演「造血幹細胞移植施設を有する血液・一般内科病棟の現状と課題　～7対1一般病棟入院基本料の施設基準要件を念頭においた病棟運用を振り返って～」	第38回日本造血細胞移植学会総会	愛知県	平成28年3月4日	比嘉暢、粟盛信子(看護部)、西銘宣子(看護部)、平良直也(血液内科部長)
看護ポスター発表「造血幹細胞移植看護習得に向けた取り組み～感染管理に着目して～」	第38回日本造血細胞移植学会総会	愛知県	平成28年3月5日	本郷朋美、金城隆也、仲田ひろ子、仲宗根ちひろ(医療技術部薬局)

活動実績

院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
ジーラスタ®Web講演会	協和発酵キリン株式会社	当院	平成27年4月21日	富盛真希、比嘉暢、安里紀子、平良りりー
沖縄リンパ系悪性腫瘍講演会 ～ジーラスタ®発売記念・ポテリジオ®適応拡大記念～	協和発酵キリン株式会社	那覇市	平成27年4月24日	比嘉暢
看護研究入門編～看護現場から見出す研究課題～	沖縄県看護協会	南風原町	平成27年5月9日	本郷朋美
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	南風原町	平成27年5月13日	城間ほたる、比嘉智代
血液造血機能障害のある対象の看護①		病棟	平成27年5月19日	比嘉暢、川端みゆき、寺本めぐみ、富盛真希、城間ほたる、知念真名美、樋口真美、新垣健司、宮城杏子、嘉川夕菜、比嘉智代、上運天明穂、金城裕太、平良ゆかり、松井美保、木村有希
フレッシュマン研修	沖縄県看護協会	南風原町	平成27年5月20日	新垣健司、金城裕太
平成27年度沖縄県看護連盟通常総会・政策集会	沖縄県看護連盟	宜野湾市	平成27年5月24日	比嘉暢

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
BDファシールTMシステム勉強会	日本ベクトン･ディッキンソン株式会社	病棟	平成27年5月28日	仲田ひろ子、寺本めぐみ、城間ほたる、下地久美子、知念真名美、樋口真美、宮城杏子、福地樹、比嘉智代、備瀬結香、上運天明穂、金城裕太、松井美保、屋良絢子
第63回日本輸血細胞治療学会総会	日本輸血細胞治療学会	東京都	平成27年5月28日～30日	比嘉暢、金城隆也
血液造血機能障害のある対象の看護②		病棟	平成27年6月2日	比嘉暢、寺本めぐみ、宮里瀬菜、城間ほたる、宮城杏子、新垣健司、福地樹、真栄田さつき、比嘉智代、備瀬結香、沼口香代、平良りりー、金城裕太、平良ゆかり、松井美保、木村有希、上原拓也
突出痛に関する最近の話題とオキノーム®散を活用した疼痛管理	塩野義製薬株式会社	当院	平成27年6月15日	比嘉暢、城間ほたる、新垣健司
平成27年度沖縄県看護協会通常総会	沖縄県看護協会	南風原町	平成27年6月20日	比嘉暢
ナース･救急隊員のための心電図セミナー　基礎･不整脈コース	メディカルシステム研修所	那覇市	平成27年6月24日	城間ほたる、新垣健司、比嘉智代、金城裕太
がん看護研修Ⅰ	沖縄県看護協会	南風原町	平成27年7月4日	呉屋友美
特定医療法人葦の会オリブ山病院創立57年特別記念講演･シンポジウム	特定医療法人　葦の会	那覇市	平成27年7月4日	吉田美香
日本光電心電図モニター講習会	日本光電九州株式会社	当院	平成27年7月28日	山城由衣、平良りりー
SCTカンファレンス	協和発酵キリン株式会社	西原町	平成27年7月31日	比嘉暢
Meeting of APBMT 2015 in Okinawa	Keio University School of Medicine	那覇市	平成27年7月31日	比嘉暢
TENA排泄ケアセミナー	ユニ･チャーム　メンリッケ株式会社	那覇市	平成27年8月1日	富盛真希
救急看護　急変予測と対応	沖縄県看護協会	南風原町	平成25年8月4日･5日	真栄田さつき、上原拓也、樋口真美、上運天明穂
がん看護研修Ⅱ	沖縄県看護協会	南風原町	平成27年8月8日	呉屋友美
血液造血機能障害のある対象の看護③		病棟	平成27年8月17日	比嘉暢、城間ほたる、山城由衣、樋口真美、新垣健司、真栄田さつき、長間希望、比嘉智代、備瀬結香、平良りりー、上運天明穂、金城裕太、上原拓也
卒業後1年目　里帰りトレーニング	那覇市医師会　那覇看護専門学校	豊見城市	平成27年8月21日	城間ほたる
がん看護研修Ⅲ	沖縄県看護協会	南風原町	平成27年9月9日	呉屋友美
第5回カミングスクールデイ	学校法人おもと会　沖縄看護専門学校	与那原町	平成27年9月11日	新垣健司
第4回　沖縄県緩和ケア研修会2015	地方独立行政法人　那覇市立病院	那覇市	平成27年9月13日･27日	比嘉暢
沖縄県保健師助産師看護師実習指導者講習会	沖縄県看護協会	南風原町	平成27年9月28日～11月27日	宮城杏子
The 20th Annual Congress of Asia-Pacific Blood and Marrow Transplantation Group in Okinawa　2015	Asia-Pacific Blood and Marrow Transplantation Group	名護市	平成27年10月30日～11月1日	比嘉暢
平成27年度緩和ケア研修会	がん対策推進委員会/緩和ケア委員会	当院	平成27年11月21日	屋嘉比あかね、比嘉暢
Chugai Nursing Seminar in Hematology　血液病棟で遭遇する合併症　～輸血に伴う有害事象～	中外製薬株式会社	病棟	平成27年11月25日	比嘉暢、仲田ひろ子、城間ほたる、知念真名美、樋口真美、玉城直美、福地樹、長間希望、安里紀子、沼口香代、平良りりー、本郷朋美
日本輸血細胞治療学会　九州支部会　第62回総会･第83回例会	日本輸血細胞治療学会九州支部会	那覇市	平成27年12月12日	比嘉暢

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
腹膜透析勉強会	テルモ株式会社	病棟	平成27年12月16日	比嘉暢、仲田ひろ子、下地久美子、知念真名美、新垣健司、宮城杏子、福地樹、石川サチ子、比嘉智代、備瀬結香、金城裕太、平良ゆかり
第7回　沖縄県緩和ケア研修会2015 ファシリテーター	がん対策推進委員会/緩和ケア委員会	当院	平成28年1月30日・31日	比嘉暢、仲田ひろ子
酸素療法・人工呼吸器の基礎と呼吸アセスメント	一般社団法人　日本離床研究会	那覇市	平成28年2月27日	富盛真希、知念真名美
第38回日本造血細胞移植学会総会	日本造血細胞移植学会	愛知県	平成28年3月3日～5日	比嘉暢、金城隆也、本郷朋美

実績報告資料等

学会発表

- **末梢血幹細胞採取に関するアンケート調査**

〇金城隆也　比嘉暢

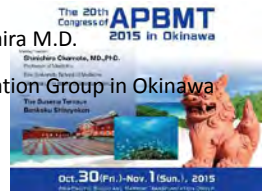
第63回日本輸血・細胞治療学会総会　一般演題（ポスター）　P-53

- **Approach to Introducing Partnership Nursing System in Hematology Department**

＊Toru Higa, Hisano Nakano, Masumi Nakachi, Noriko Nisime, Naoya Taira M.D.

The 20th Annual Congress of Asia-Pacific Blood and Marrow Transplantation Group in Okinawa

Poster Sessions P-1307



学会発表

- **学会認定・アフェレーシスナースとしての取り組み**
  ～勉強会後のアンケート調査から見えてきた課題～

比嘉暢

日本輸血・細胞治療学会　九州支部会　第62回総会・第83回例会　シンポジウム2　輸血医療と看護師

- **造血幹細胞移植施設を有する血液・一般内科病棟の現状と課題**
  ～7対1一般病棟入院基本料の施設基準要件を念頭においた病棟運用を振り返って～

〇比嘉暢　粟盛信子　西銘宣子　平良直也

第38回日本造血細胞移植学会総会　看護一般口演1　看O1-4

- **造血幹細胞移植看護習得に向けた取り組み～感染管理に着目し**

〇本郷朋美　金城隆也　仲田ひろ子　仲宗根ちひろ

第38回日本造血細胞移植学会総会　看護ポスター発表7　看P7-6

7 階病棟（呼吸器内科・循環器内科）

7 階病棟師長　宮平　典子

職員数

総数 46 名

正看護師　37 名

准看護師　3 名

看護助手　6 名

月平均入院患者状況

新規入院患者数　106.1 名

病床利用数　48.9 床

在院日数　13.4 日

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
活用状況と修正点	クリティカルパス大会	当院	2015 年 7 月 8 日	仲村和士
	TENA セミナー	那覇市	2015 年 8 月 1 日	宮平典子、半嶺梢、新川優子、宮城久美子、米須さやか、松堂かおり
沖縄看護専門学校 TA	学校法人おもと会　沖縄看護専門学校	与那原町	2015 年 8 月 13 日	半嶺梢
安全な医療の提供転倒・転落を防ぐために　～対策と今後の課題～	院内研究発表会	当院	2015 年 11 月 13 日	仲里寛、長嶺厚子、奈良成明、知念恵子、真玉橋幸

論文著書

演題名	雑誌名	掲載年・号・頁	発表者と研究者
抗凝固療法の適応と禁忌、副作用対策について	これだけは知っておきたい循環器ナーシング　Q & A	ナーシングケア Q & A 第 51 号　2014 年 10 月 2 日発行第 1 版第 1 刷 Page104-106	島袋すが子
慢性心不全看護認定看護師として働くということ	心不全まるわかり BOOK	ハートナーシング 2016 年春季増刊	島袋すが子

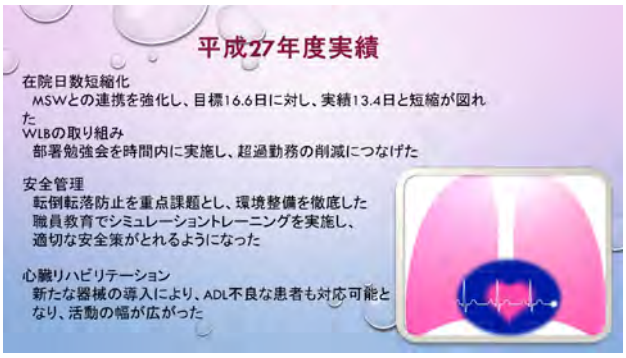
活動実績

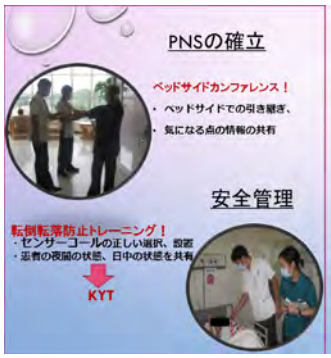
院内・院外研修実績

研修名	主催	開催地	開催日	参加者
新入職者オリエンテーション	看護部	当院	2015 年 4 月 3 日～4 月 20 日	新川優子、知念恵子、半嶺梢、比嘉明日美、與那城未咲、仲村和士、真玉橋幸
プリセプター報告会①	看護部	当院	2015 年 4 月 28 日	半嶺梢、比嘉明日美、仲村和士
プリセプター報告会②	看護部	当院	2015 年 5 月 27 日	半嶺梢、與那城未咲、仲村和士
プリセプター報告会③	看護部	当院	2015 年 8 月 28 日	半嶺梢、仲村和士
フレッシュマン研修	看護協会	南風原町	2015 年 5 月 13 日	川上さくら、松原賛美、照屋杏奈
感染管理領域別研修①	看護部	当院	2015 年 5 月 26 日	嶺井慎二、仲村真弓
感染管理領域別研修②	看護部	当院	2015 年 7 月 21 日	嶺井慎二、仲村真弓
感染管理領域別研修③	看護部	当院	2015 年 8 月 18 日	嶺井慎二、仲村真弓
感染管理領域別研修④	看護部	当院	2015 年 9 月 15 日	嶺井慎二、仲村真弓
感染管理領域別研修①	看護部	当院	2015 年 10 月 20 日	米須さやか、真玉橋幸

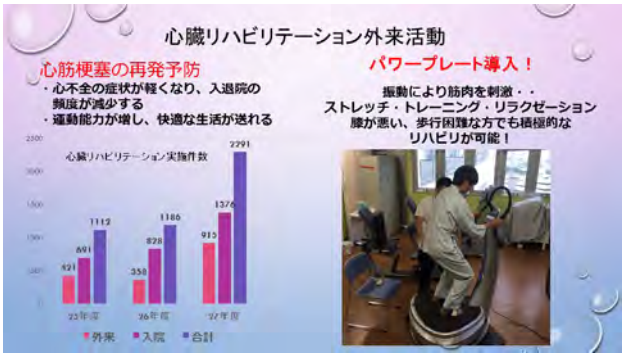
研修名	主催	開催地	開催日	参加者
感染管理領域別研修②	看護部	当院	2015 年 11 月 17 日	米須さやか、
3 ヵ月フォローアップ研修	看護部	当院	2015 年 6 月 26 日	半嶺梢、新川優子、仲村和士、川上さくら、松原賛美、照屋杏奈
安全管理領域別研修①	看護部	当院	2015 年 6 月 30 日	奈良成明、安次嶺徹
安全管理領域別研修②	看護部	当院	2015 年 8 月 24 日	奈良成明、安次嶺徹
安全管理領域別研修③	看護部	当院	2015 年 10 月 26 日	奈良成明、安次嶺徹
安全管理領域別研修④	看護部	当院	2016 年 2 月 22 日	奈良成明、安次嶺徹
看護職と倫理（入門編）　～患者の権利擁護を考える～	看護協会	南風原町	2015 年 7 月 11 日	半嶺梢
リフレッシュ研修	看護部	沖縄市	2015 年 7 月 15 日	半嶺梢、與那城未咲、仲村和士、川上さくら、松原賛美、照屋杏奈
がん看護領域別研修①	看護部	当院	2015 年 7 月 17 日	新垣仕言、渡口純
がん看護領域別研修②	看護部	当院	2015 年 8 月 21 日	新垣仕言、渡口純
がん看護領域別研修③	看護部	当院	2015 年 9 月 30 日	新垣仕言、渡口純
救急領域別研修	看護部	当院	2015 年 7 月 17 日	嶺井慎二、宮城梨乃
救急領域別研修	看護部	当院	2015 年 9 月 18 日	嶺井慎二、仲村和士
救急領域別研修	看護部	当院	2016 年 1 月 15 日	東江幸恵
中堅研修	看護部	当院	2015 年 7 月 24 日	安次嶺徹
ﾓﾆﾀｰ講習会	日本光電	当院	2015 年 7 月 28 日	與那城未咲、嶺井慎二、宮城梨乃、仲村和士
呼吸領域別研修①	看護部	当院	2015 年 8 月 14 日	與那城未咲、宮城梨乃、仲村和士
呼吸領域別研修②	看護部	当院	2015 年 9 月 11 日	與那城未咲、宮城梨乃、仲村和士
呼吸領域別研修①	看護部	当院	2015 年 11 月 20 日	奈良成明、與那城未咲、嶺井慎二
リーダー研修①	看護部	当院	2015 年 8 月 21 日	安次嶺徹
リーダー研修②	看護部	当院	2015 年 9 月 18 日	安次嶺徹
リーダー研修③	看護部	当院	2015 年 10 月 30 日	安次嶺徹
看護の本質を再確認しよう！～看護の臨床の「知」から～	看護協会	南風原町	2015 年 9 月 5 日	宮城久美子、長嶺厚子
慢性心不全領域別研修①	看護部	当院	2015 年 9 月 9 日	新川優子、米須さやか、真玉橋幸
慢性心不全領域別研修②	看護部	当院	2015 年 10 月 14 日	新川優子、米須さやか、真玉橋幸
慢性心不全領域別研修③	看護部	当院	2015 年 11 月 11 日	新川優子、米須さやか、真玉橋幸
6 ヵ月フォローアップ研修	看護部	当院	2015 年 9 月 25 日	半嶺梢、川上さくら、松原賛美、照屋杏奈
ICU 研修	看護部	当院 ICU	2015 年 9 月 24 日～10 月 20 日	嶺井慎二
ICU 研修	看護部	当院 ICU	2015 年 10 月 23 日～11 月 20 日	宮城梨乃
プリセプター研修	看護部	当院	2015 年 10 月 2 日	半嶺梢、與那城未咲、仲村和士、
師長・主任合同研修①	看護部	当院	2015 年 10 月 6 日	宮平典子、半嶺梢、新川優子
師長・主任合同研修②	看護部	当院	2016 年 3 月 8 日	島袋すが子、半嶺梢、新川優子
新人看護職員研修教育担当者研修	看護協会	南風原町	2016 年 2 月 12 日～16 日	半嶺梢
臨地実習指導研修			2016 年 2 月 13 日	仲里寛、安次嶺徹

実績報告資料等


平成27年度実績
在院日数短縮化
MSWとの連携を強化し、目標16.6日に対し、実績13.4日と短縮が図れた
WLBの取り組み
部署勉強会を時間内に実施し、超過勤務の削減につなげた
安全管理
転倒転落防止を重点課題とし、環境整備を徹底した
職員教育でシミュレーショントレーニングを実施し、
適切な安全策がとれるようになった
心臓リハビリテーション
新たな器械の導入により、ADL不良な患者も対応可能となり、活動の幅が広がった


PNSの確立
ベッドサイドカンファレンス！
・ベッドサイドでの引き継ぎ、
・気になる点の情報の共有
安全管理
転倒転落防止トレーニング！
・センサーコールの正しい選択、設置
・患者の夜間の状態、日中の状態を共有
KYT

WLB推進
週一回の早朝勉強会！
医師・看護師・コメディカルを含め勤務時間内での勉強会を実施


心臓リハビリテーション外来活動
心筋梗塞の再発予防
・心不全の症状が軽くなり、入退院の頻度が減少する
・運動能力が増し、快適な生活が送れる
心臓リハビリテーション実施件数
421
691
1112
358
828
1186
915
1376
2291
外来
入院
合計
パワープレート導入！
振動により筋肉を刺激・・
ストレッチ・トレーニング・リラクゼーション
膝が悪い、歩行困難な方でも積極的なリハビリが可能！

内視鏡センター

内視鏡センター師長　古波蔵　美登利

職員数

総数 18 名（看護部所属）

看護師	12 名	助手	3 名
准看護士	3 名		

認定・資格

氏名	認定・資格名
古波倉美登利	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師Ⅰ 第 1 種衛生管理
喜屋武香織	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師Ⅰ
国仲トモ子	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師Ⅰ
渡久山すえの	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師Ⅰ

氏名	認定・資格名
野原さやか	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師Ⅱ
大城　敦	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師Ⅰ
有馬ゆかり	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師Ⅰ
宮城愛子	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師Ⅰ

検査・治療件数

内視鏡検査及び内視鏡的治療

種別	合計
胃内視鏡	9,586
大腸内視鏡	3,052

種別	合計
ＥＲＣＰ	134
小腸内視鏡	0
気管支鏡	78

詳細な検査・治療実績は「その他の部門　内視鏡センター」をご覧下さい。

研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
大腸前処置説明の時間短縮を試みてー説明用ＤＶＤの作成と活用からー	第　67 回九州消化器内視鏡技師会	長崎	平成 27 年 6 月 20 日	渡久山すえの
座長	沖縄県消化器内視鏡技師会主催教育講演	西原町	平成 27 年 11 月 28 日	古波倉美登利
座長	第　68 回九州消化器内視鏡技師会	福岡県	平成 27 年 12 月 5 日	古波倉美登利

活動実績

院内外研修・勉強会参加実績

名称	開催地	年月日	参加者
「ループスネアの取り扱い」	当院	2015 年 4 月 22 日	古波倉、國仲、渡久山、野原、前田山内、照屋、赤嶺、森川
「止血術について」	当院	2015 年 5 月 7 日	古波倉、喜屋武、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋、森川、兼本
オリンパス主催「スケルトンスコープを用いての構造について」	当院	2015 年 5 月 21 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、前田、山内、照屋、森川、兼本、伊佐
「TSB チューブ・ストマックバルーンの取り扱い」	当院	2015 年 6 月 4 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山 、大城、前田、照屋、森川、宮城、兼本
「キシロカインについて」	当院	2015 年 6 月 5 日	古波倉、喜屋武、野原、大城、前田、山内、照屋、赤嶺、兼本
第 67 回九州消化器内視鏡技師会	長崎	2015 年 6 月 20 日	古波倉、渡久山
オリンパス主催「ERCP 処置具の取り扱い」	当院	2015 年 7 月 16 日	喜屋武、國仲、渡久山、前田、山内 、照屋、森川、兼本、伊佐
味の素主催「大腸内視鏡検査～モビプレップの有用性と安全性について」	当院	2015 年 7 月 30 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城
「用手圧迫について」	当院	2015 年 8 月 21 日	喜屋武、國仲、野原、山内、照屋、森川、兼本、伊佐
オリンパス主催「スケルトンスコープを用いての構造について」	当院	2015 年 10 月 14 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、前田、山内、兼本、伊佐小嶺、山口、幸地
「PPI の内服作用と種類について」	当院	2015 年 11 月	喜屋武、國仲、前田、照屋、兼本、伊佐
「スネアを使用しての高周波取り扱い」	当院	2015 年 11 月 11 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋、兼本、伊佐
沖縄県消化器内視鏡主催　教育講演「明日から使える内視鏡看護」	琉球大学	2015 年 11 月 28 日	古波倉、喜屋武、大城、兼本、照屋、
第 68 回九州消化器内視鏡技師会	福岡	2015 年 12 月 5 日	古波倉
「大腸圧迫法について」	当院	2015 年 12 月 22 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、前田、山内、照屋、兼本、伊佐
「ERBE・ICC200　事前のチェック方法について」	当院	2016 年 1 月	古波倉、國仲、渡久山、野原、大城、前田、照屋、兼本、伊佐
「高周波について」	当院	2016 年 1 月	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城、前田、照屋、兼本、伊佐
ジョンソン＆ジョンソン主催「コーチングについて」	当院	20016 年 1 月 28 日	古波倉、國仲、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋、兼本、伊佐
カイゲン主催「大腸内視鏡専用検査食・ファイン」	当院	2016 年 1 月 29 日	古波倉師長、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋、兼本、伊佐
オリンパス主催　「高周波について」	当院	2016 年 1 月	古波倉師長、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋
沖縄県消化器内視鏡技師会主催　教育講演「麻酔科から見る内視鏡検査に於ける鎮静剤ガイドラインの解釈」	琉球大学	2016 年 3 月 19 日	古波倉、喜屋武、国仲、兼本、前田、伊佐、照屋、野原、大城

内視鏡センター年度総括

内視鏡センターでは平成 27 年度、以下の 2 点を部署目標に掲げ、取り組みを進めていきました。

1. 自分が受けたい内視鏡看護の提供
　①笑顔と思いやりのあるサービス　②安全な医療　③感染管理の徹底
2　働きやすくやりがいのある職場環境
　① PNS の確率　②チーム力を高める　③人材育成　④係活動を積極的に行う

目標 1 では、検査時の注意事項や検査の流れのパンフレットを作成し、検査を受ける方へ参照してもらう取り組みが実行できた事は大きな成果です。また、患者さんのみでなく付き添い家族への配慮も徹底してきました。安全な医療の提供では、レベル 1 の報告件数が 9 件と前年より 4 件増となりましたが、そのつど対策立案に取り組み PDCA サイクルを機能させ、改善につなげています。

目標 2 の職場環境づくりに関しては、PNS の確率はほぼ達成し、日々の看護活動への成果が感じられるようになりましたが、委員会や係活動への活用は十分でなく次年度も引き続き取り組んでいきます。

人材育成で大きなチャレンジだったのが新卒者の受け入れでした。スタッフ間で情報を共有し、全員で育成に関わる体制を作り上げたことで新卒者 2 人が目標通り成長できたのはスタッフの自信にもつながり、部署の大きな成果となりました。

また､チーム力に関しては､内視鏡実施件数増加に大きく反映した年度でもありました。検査件数は年々増加傾向にあり胃カメラの年間目標件数 8,500 件に対し 9,586 件　前年度比 639 件の増、大腸カメラの年間目標件数 2,500 件に対し 3,052 件と前年度比 192 件の増となっています。胃カメラ増加の背景には、ドック受診者の胃カメラ枠を増やす為に開始時間を早め対応時間枠を拡大したことが奏功しました。これは医師を始めスタッフ全員のチーム力の賜物だと評価しています。更には、去年 10 月に POEM が県内初の先進医療認定を受けたことをきっかけに今年度は 10 件と増加しており、対応に向けた体制の強化、業務マニュアル作成に取り組みました。今後も内視鏡関連の検査・治療件数は増加が見込こまれることから、引き続き患者及び受検者の安全確保を重視し、自分自身が受けたいと思える内視鏡看護の実践に務めます。

次年度に向けては今年度同様、受けたい内視鏡看護の提供と働きやすくやりがいのある職場環境を目標に、患者、受検者には待ち時間の短縮を図りサービスの質を上げること、スタッフについてはＷＬ Ｂを向上させる取り組みを計画しています。

看護部　年度総括

看護部長
宮平　典子

4 月に新卒看護師 18 人を迎え、心を新たに新年度がスタートしました。これまでと同様に安全を第一、患者さんとご家族に安心・満足していただける看護ケアの提供を実践すべく以下の 2 点を中心に様々な取り組みを進めてきました。

平成 27 年度看護部目標

1、安全

2、看護方式―PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）の確立

安全については、転倒転落によるインシデントが多発している状況をふまえ、予防策に重点を置き、高リスク状況を共有できるシステムづくり、評価方法の見直しを行いアセスメント力の強化を図りました。また、患者さんの病室、トイレへのポスター掲示で注意を促し、転倒転落防止シューズを売店に用意するなど、患者さん向けの啓蒙活動にも力を入れました。発生件数は前年度より 20 件余り減少しています。また、月 1 回の師長ラウンドを実施し、誤薬防止、患者誤認防止策の順守状況を把握し、現場へはフィードバック、インシデントの際にはクイックセーファー（分析手法）を活用、集合研修ではシミュレーションを取り入れ、安全教育を強化しました。

看護方式 PNS（パートナーシップ・ナーシング・システム）に関しては、昨年度は導入、今年度は確立を目指しましたが、部署によって進捗状況に差もあり、確立には至っていません。まだ評価の段階ではありませんが、今年度新人の離職者がなかったこと、超過勤務が前年比で短縮したことは、PNS が定着し効果を出しつつあると考えます。相互に影響し合う PNS はの安全行動を促し、スタッフの育成、WLB の向上など看護の質を上げるうえでも様々な効果が期待でき、今後も取り組みを継続していきます。

その他年度の主な取り組みとして、人材育成、WLB の推進を図りました。認定看護師の育成では新たに「皮膚・排泄ケア認定看護師」研修へ 1 名が参加しました。看護職の育成では通年の研修を中心に認定看護師による領域研修を実施しました。WLB については、看護協会が主催する WLB 推進事業に参加して 2 年目の今年、「帰れる職場風土」を目標に意識改革を基本方針とし、タイムアウトの徹底に取り組みました。部署ごとに業務の見直しを始め、加えて 17 時 20 分の終業チャイムが開始されたことで、昨年よりも平均残業時間が短縮されました。職員アンケートからも意識改革による時間外低減が図られたとの回答もあり成果を挙げました。職場環境の改善では手術件数の増加を受け、手術室看護師 3 名を増員し対応しました。

12 月には看護部長の交代で新体制となりました。次年度は病院の増改築も控えており、今後とも患者さん、ご家族に満足していただける安全な療養環境、きめ細やかな看護を提供できるよう豊かな人材育成、より良い職場環境づくりに努めてまいります。

医療技術部

部門紹介

医療技術部門は放射線科、臨床検査科、臨床工学科、栄養科、薬局、リハビリテーション科の 6 部署で構成され、チーム医療の一員として各診療科と連携し、それぞれ専門の有資格者が検査・治療及び機器管理の様々な面から診療をサポートしています。

各部署概要・実績

放射線科

放射線科技師長　仲座　義富

平成 27 年度は DR マンモグラフィ装置として Dimensions（日立メディコ社）を導入しました。今回当院に導入した Dimensions はステレオガイド下マンモトーム生検法が可能となっており、県内で 4 番目のマンモトーム生検法の実施できる施設となっています。マンモグラフィ検査で石灰化という所見だけが指摘され、しこりとして触れない、エコーでは分かりにくい微少石灰化の組織検体を採取し、組織診断をおこないます。今まではエコー下マンモトームしかできず、石灰化を伴った症例は他施設に紹介していましたが、これからは検査から手術まで一貫して当院で完結することが可能となりました。

平成 28 年度は 8F にある検診用マンモグラフィと共に検査件数を伸ばし、県民の乳がん撲滅の一助になればと考えています。

職員数

総数

18 名

職種別

診療放射線技師　17 名

助手　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格
宮城竜也	基準撮影認定員
	胃がん検診専門技師
仲座義富	第一種衛生管理者
	衛生工学衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
大城盛寛	医用画像情報管理士
	核医学検査技能検定 3 級
与古田　拡	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者

氏名	認定・資格
大城雅史	第一種放射線取扱主任者
松田優二	Ｘ線ＣＴ撮影認定技師
	第一種衛生管理者
	エックス線作業主任者
	ガンマ線透過写真撮影作業主任者
新垣弘扇	検診マンモグラフィ認定技師
津波　麻利子	検診マンモグラフィ認定技師
新垣　千登勢	検診マンモグラフィ認定技師
程岡美貴	検診マンモグラフィ認定技師

氏名	認定・資格
出津利恵	検診マンモグラフィ認定技師
	X線CT撮影認定技師
神谷己代	検診マンモグラフィ認定技師

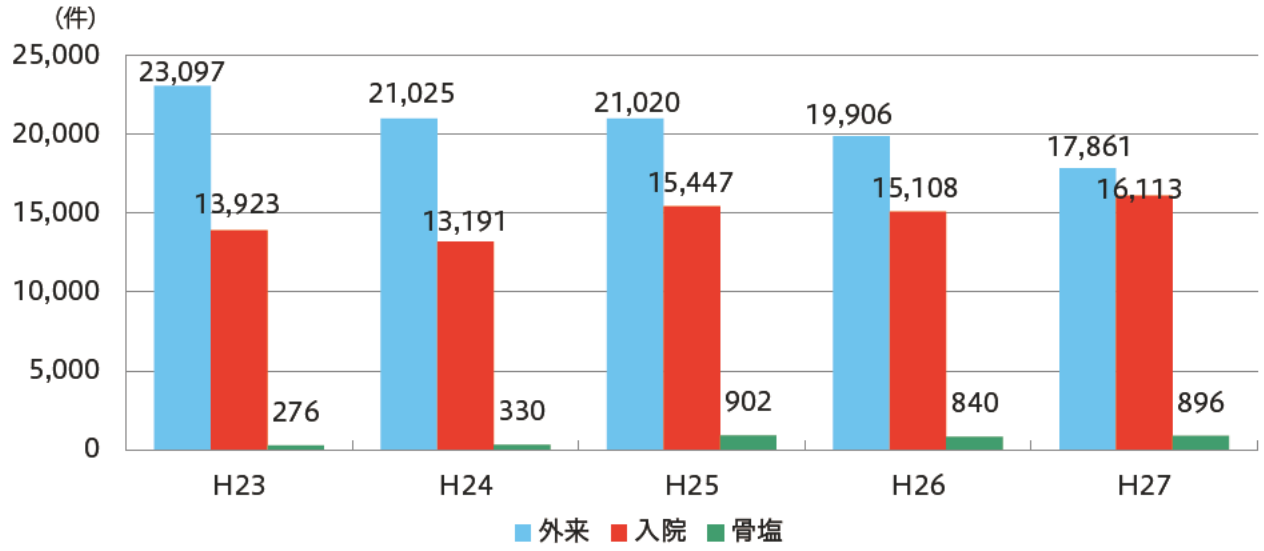
氏名	認定・資格
高木恵夢	検診マンモグラフィ認定技師
友利亮子	検診マンモグラフィ認定技師

運営方針

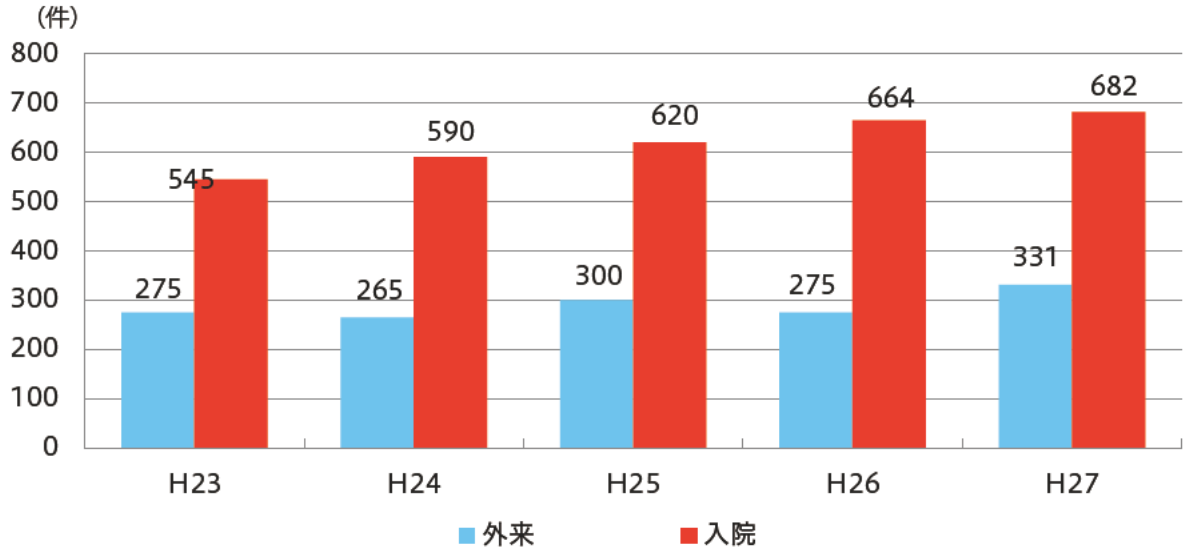
1. 患者さんの医療被ばく低減
2. 患者さんが安心して検査を受けられるためのインフォームドコンセント
3. 技師の技術向上
4. 安全な検査のための機器保守点検

検査・治療実績

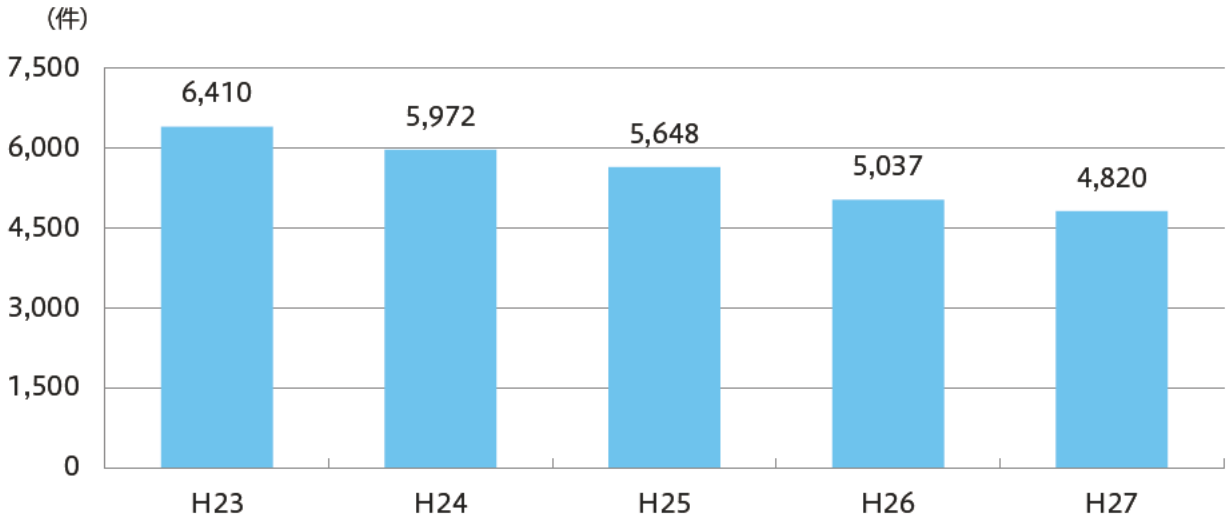
一般撮影



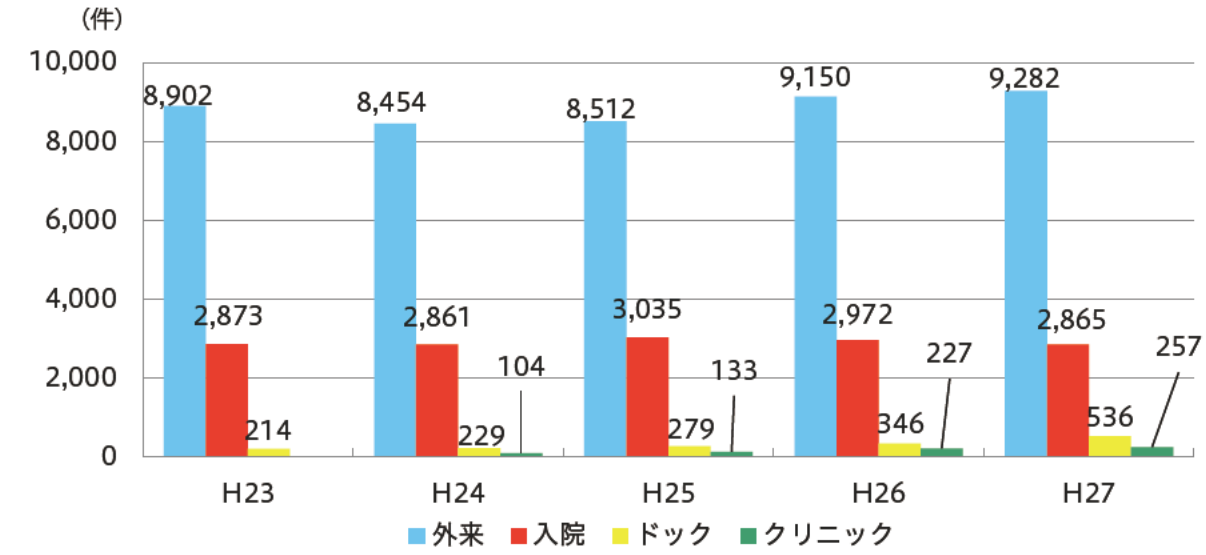
透視検査



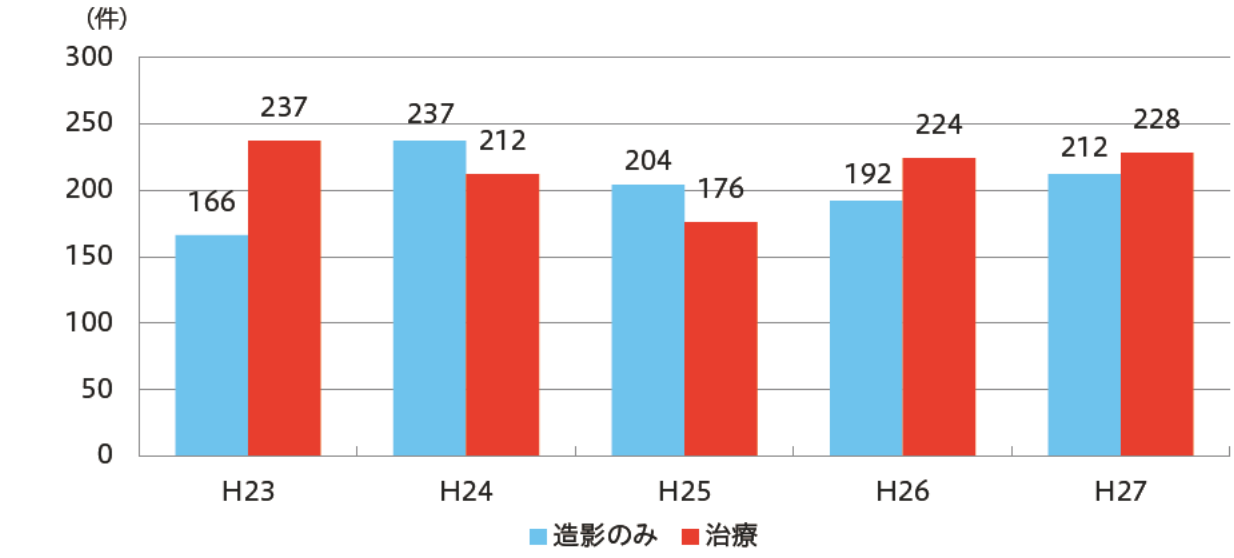
透視検査（人間ドック）



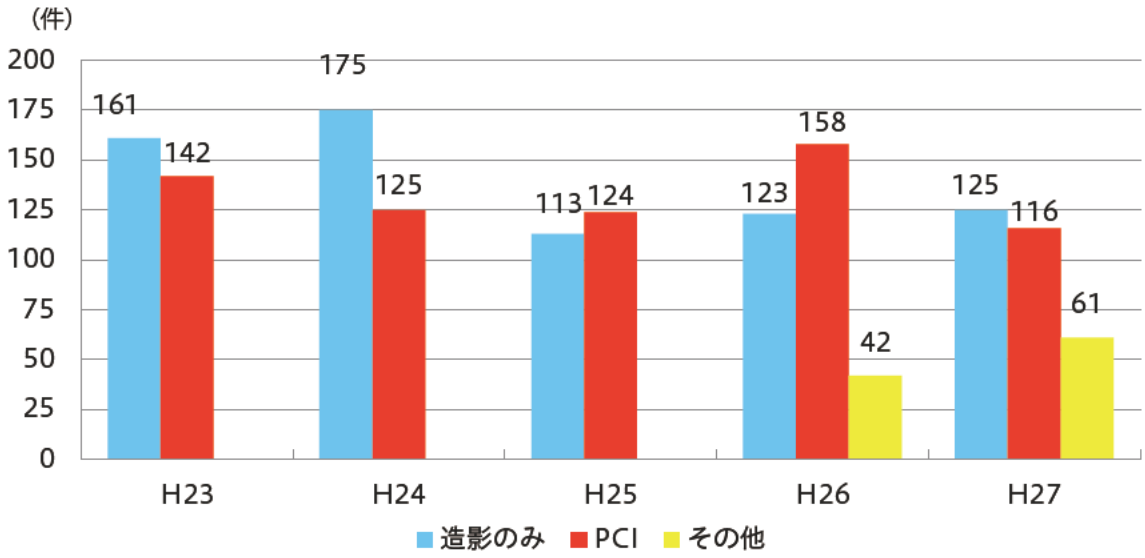
CT 検査



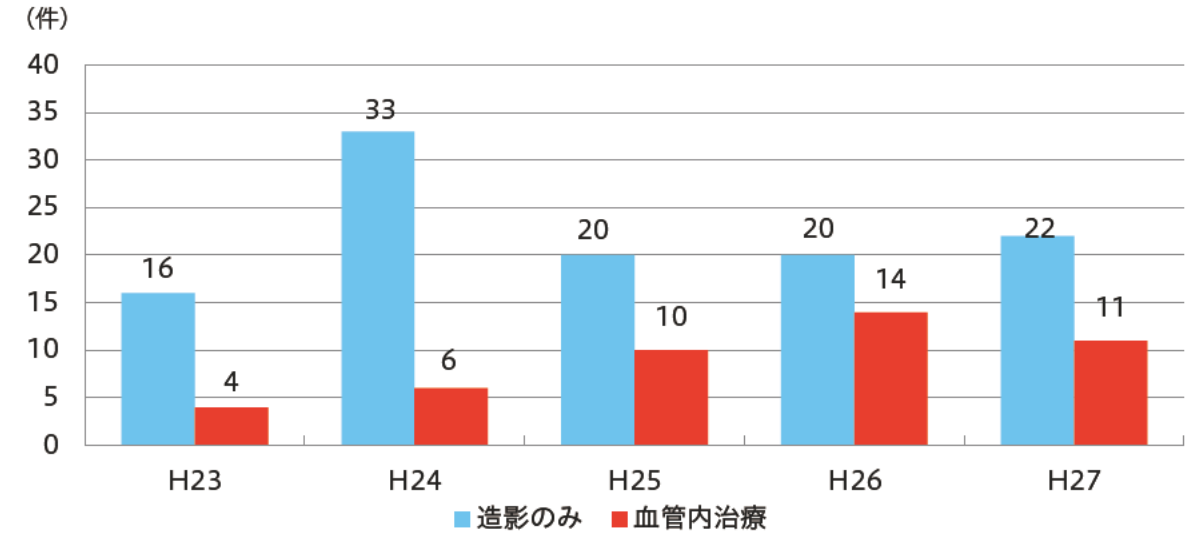
angio 総計



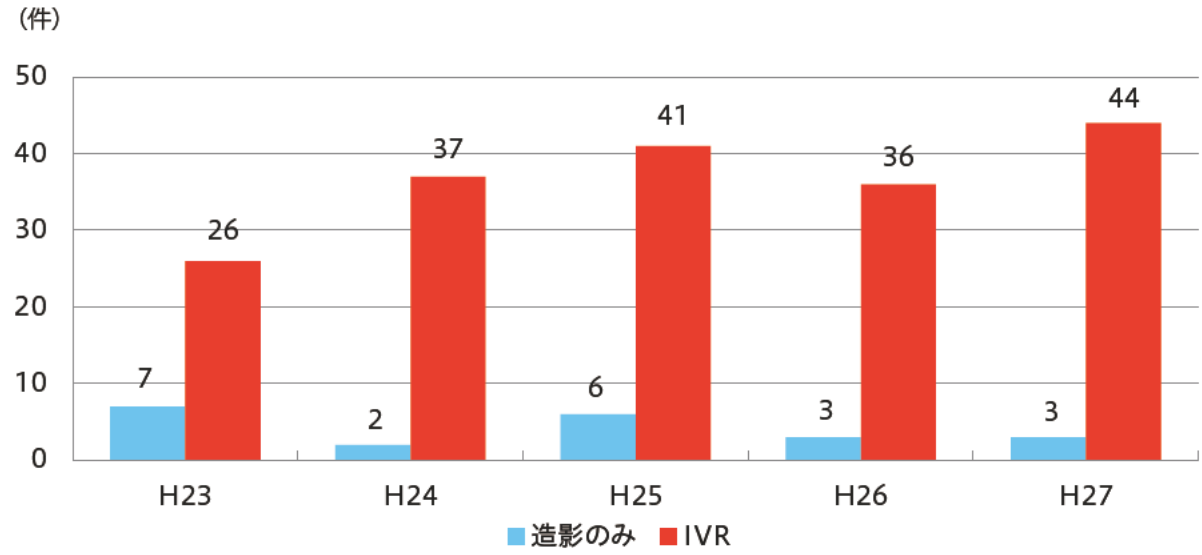
心臓カテーテル



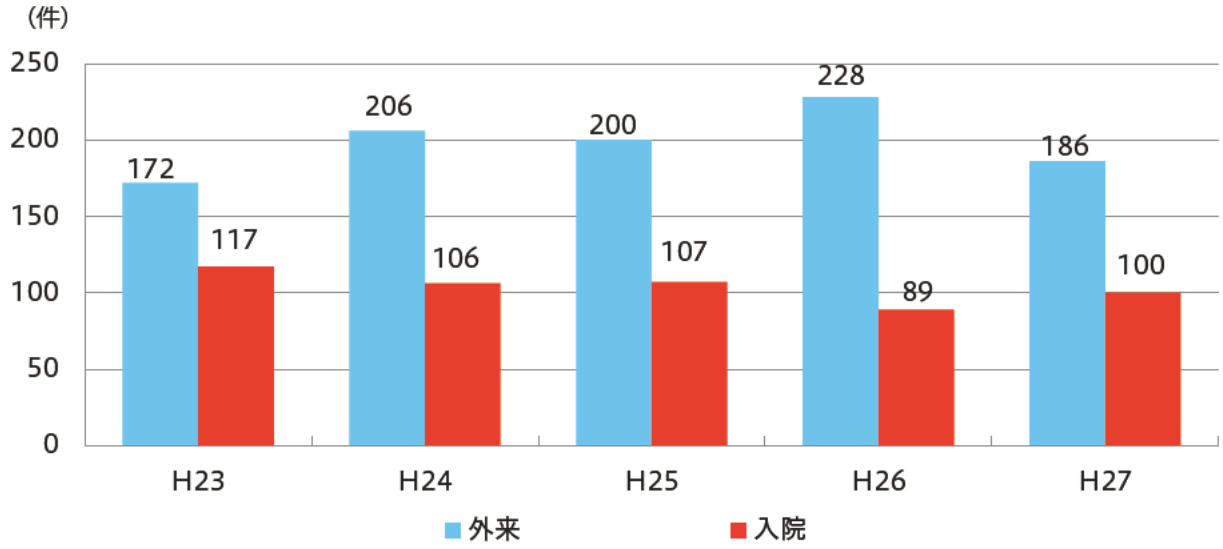
脳アンギオ



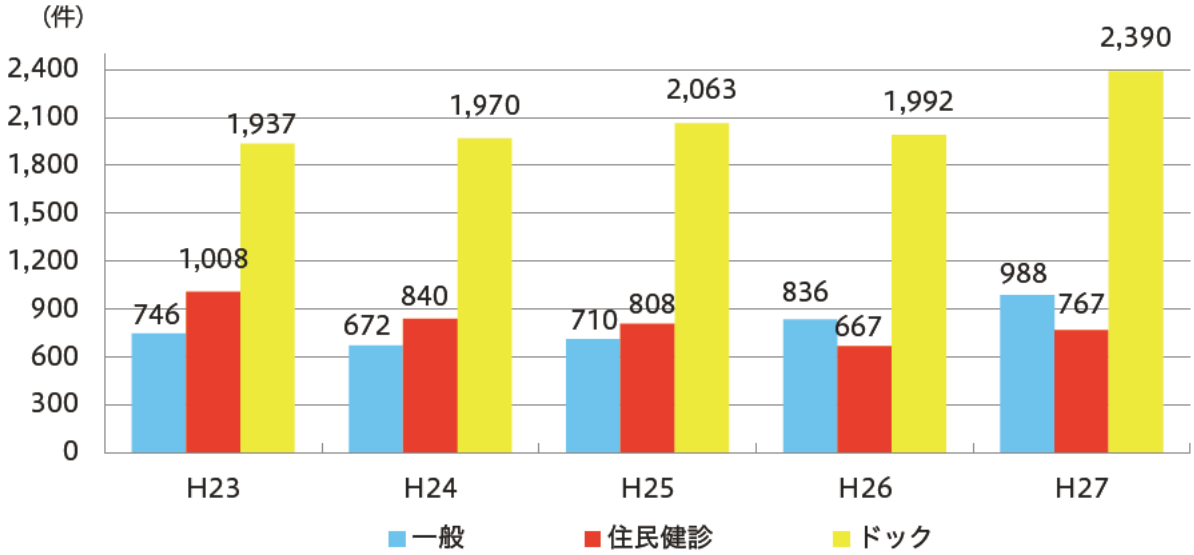
腹部アンギオ



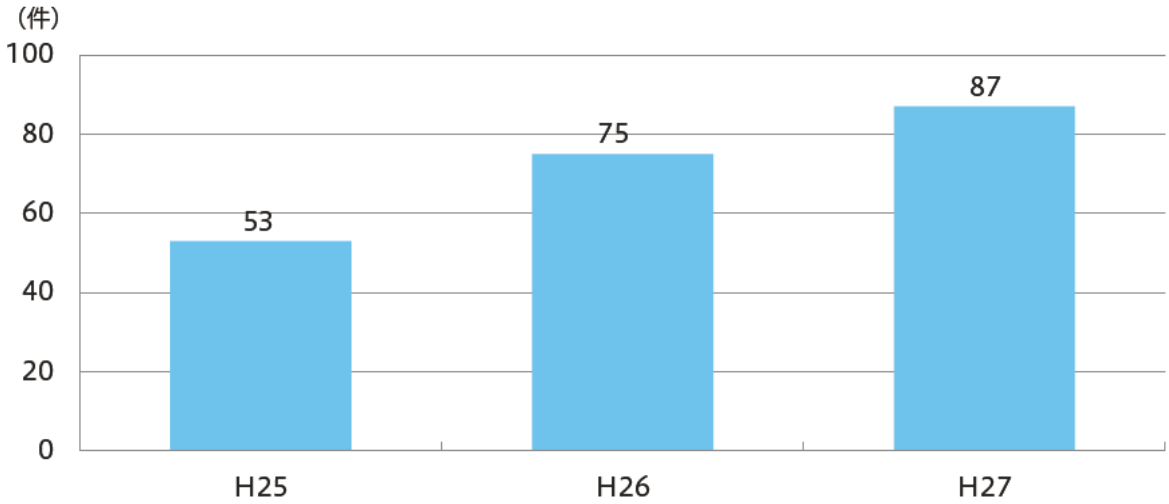
RI 検査



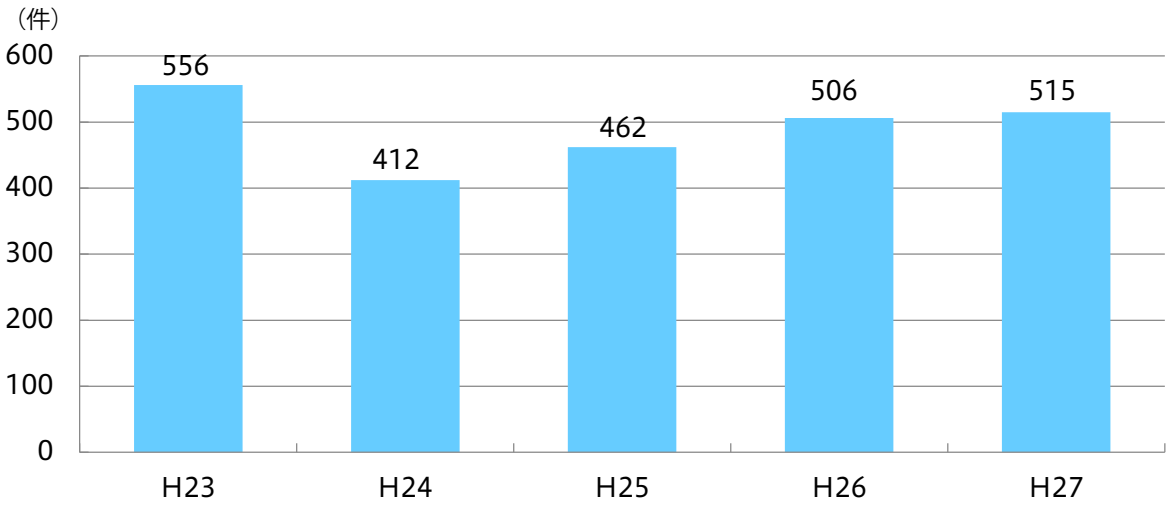
マンモグラフィ検査



大腸 CT



冠動脈 CT



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
当院の注腸 X 線検査における精度向上のための症例検討	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	沖縄市	2015 年 5 月 24 日	程岡美貴
食道 X 線造影における動画撮影の有用性～食道アカラシアに対する POEM の症例を経験して～	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	沖縄市	2015 年 5 月 24 日	津波　麻利子
仮想透視画像を用いた IVC フィルター留置術の有用性	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	沖縄市	2015 年 5 月 24 日	島尻豊久
当院における多発性外傷 TraumaPanscan の試み	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	沖縄市	2015 年 5 月 24 日	喜屋武　結子
心肺蘇生後の脳血流検査（99mTc 製剤）画像についての検討	沖縄県放射線技師会学術研究発表会	沖縄市	2015 年 5 月 24 日	大城雅史
当院の職種別放射線被ばくの現状	第 65 回日本病院学会	軽井沢市	2015 年 6 月 18 日	仲座義富
放射線科における患者誤認対策について	第 57 回全日本病院学会	札幌市	2015 年 9 月 12 日	石原　悟
当院の注腸 X 線検査における精度向上のための症例検討	第 10 回九州放射線医療技術学術大会	宮崎市	2015 年 10 月 31 日	程岡美貴
仮想透視画像を用いた IVC フィルター留置術の有用性	第 31 回日本診療放射線技師学術大会	京都市	2015 年 11 月 21 日	与古田　拡

活動実績

勉強会

名称	会名	開催地	日時	参加者・発表者
陥凹性病変　組織型について	銀杏会	沖縄市	2015 年 4 月 24 日	新垣弘扇
当院における CTC の役割と今後の課題	第 4 回東芝ユーザーミーティング	浦添市	2015 年 7 月 18 日	松田優二
機器管理　「年点検」	乳房画像研究会	沖縄市	2015 年 7 月 27 日	新垣　千登勢
機器管理　「日常点検」	乳房画像研究会	沖縄市	2015 年 7 月 27 日	喜屋武　結子
撮影法とポジショニングについて	乳房画像研究会	当院	2015 年 9 月 28 日	友利亮子
GIST について	銀杏会	沖縄市	2015 年 10 月 23 日	津波　麻利子
仮想透視画像を用いた IVC フィルター留置術	第 22 回院内研究発表会医療技術部予選	当院	2015 年 10 月 23 日	島尻豊久
胸部の読影ポイント	慢性心不全勉強会	当院	2015 年 11 月 5 日	仲座義富
皆で考えよう　正しい肘関節側面の撮影法	第 7 回放射線技師のための勉強会	南風原町	2015 年 11 月 6 日	島尻豊久
仮想透視画像を用いた IVC フィルター留置術	第 22 回院内研究発表会本選	当院	2015 年 11 月 13 日	島尻豊久
乳腺超音波検査法の読影	第 8 回放射線技師のための勉強会	南風原町	2016 年 2 月 20 日	大隣幸代
陥凹性病変について	銀杏会	沖縄市	2016 年 2 月 26 日	宮城竜也

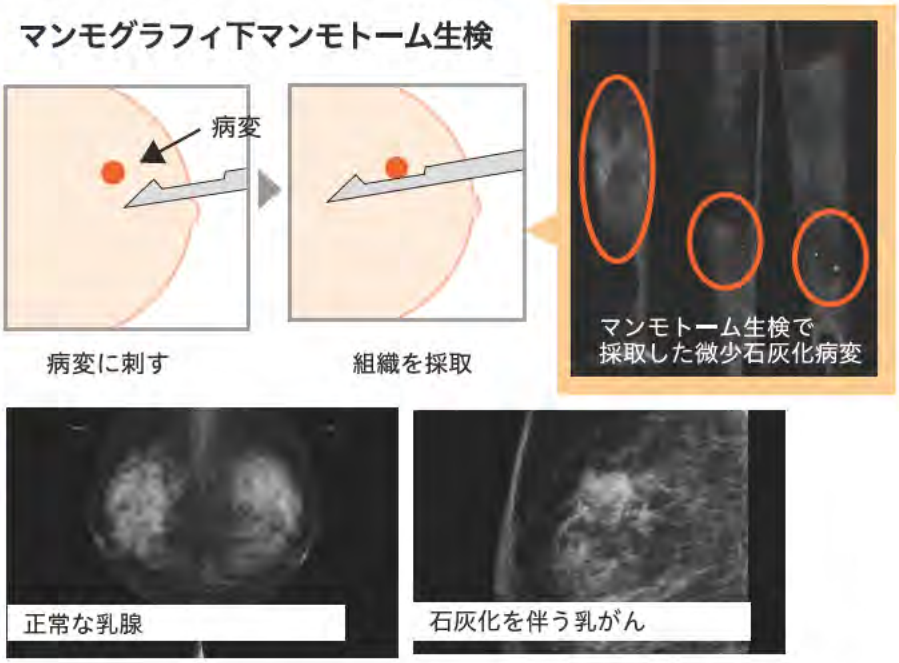
科内勉強会

名称	会名	開催地	日時	参加者・発表者
CT 造影検査における危険因子の確認と技師の対応について	早朝勉強会	科内	2015 年 4 月 28 日	石原　悟
胃隆起性病変	早朝勉強会	科内	2015 年 6 月 13 日	津波　麻利子
当院における職種別放射線被ばくの現状	早朝勉強会	科内	2015 年 6 月 13 日	仲座義富
BRTO について	早朝勉強会	科内	2015 年 6 月 27 日	宮城直哉
マンモトームとは	早朝勉強会	科内	2015 年 7 月 31 日	程岡美貴
TraumaPanscan の実践　PART II	早朝勉強会	科内	2015 年 8 月 22 日	出津利恵
小児の整形　足編	早朝勉強会	科内	2015 年 10 月 30 日	島尻豊久
心電図　PART2	早朝勉強会	科内	2015 年 11 月 10 日	喜屋武　結子
マンモグラフィ装置品質管理について	早朝勉強会	科内	2015 年 11 月 20 日	新垣　千登勢
災害現場医療対応の原則	早朝勉強会	科内	2015 年 12 月 29 日	与古田　拡
TraumaPanscan の実践　PART III	早朝勉強会	科内	2016 年 1 月 16 日	松田　優二
イレウスについて	早朝勉強会	科内	2016 年 3 月 10 日	大城雅史

実績報告資料

平成 27 年度導入マンモグラフィ　Dimensions（日立メディコ社）

今回の導入でステレオガイド下マンモトーム生検法が可能になりました。ステレオガイド下マンモトーム生検の利点として、一回の穿刺で複数の検体採取が可能となり標本が挫滅しにくく、細胞診やコア針生検よりも多く組織を採取出来る為、情報量が多く、より確実な診断をすることが可能です。



臨床検査科

臨床検査科技師長　神谷　乗敏

平成 27 年度は非アルコール性肝硬変の幹細胞移植事業も終了しましたが、血液内科の骨髄移植も細胞調整室を使用し 6 例行いました、5 月の連休明けには当直技師全員が緊急脳 MRI の撮影ができるようになり、何時でも脳梗塞、脳出血に対応できるようになりました。5 月には 2 台目の生化学自動分析機器の更新を行い人間ドックの報告、外来の待ち時間短縮に貢献できました。6 月、8 月、9 月には日本臨床検査技師会、沖縄県医師会、臨床検査技師会、日本医師会の外部精度管理事業にも参加し良好な結果が得られました。

院内、院外の学会研究発表にも参加し、全国の座長や沖縄県医学検査学会には 3 演題の発表があり、その他乳癌学会、県内自治体の教養講座講演会など地域社会事業にも参加しました。ABI 機器更新、TCPO2 機器導入、細菌検査業務の院内検査導入拡大、夜間危機的出血時の緊急輸血体制の構築の為 FFP 溶解装置導入、PIVKA Ⅱ、RF、マイコプラズマ抗原検査等少しずつ院内導入項目の拡大を行い診療支援に貢献できたと思います。教育研修システムとして平成 28 年 4 月より東京の多摩癌センタ－へ細胞検査士養成施設へ研修準備、超音波検査士、骨髄検査技師、その他スキルアップの為の支援も構築しつつあります。12 月からはハ－トライフクリニック検査室の業務支援、人材、技術、等を行っております。

熊本や岡山の大学からの学生の長期現地実習も受け入れ教育システムも構築し次年度も受け入れ予定です。

職員数

総数

3 名

職種別

臨床検査技師	28 名	眼科助手（OMA）	1 名
視能訓練士	1 名	検査助手	2 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
比嘉一廣	国際細胞検査士 細胞検査士 上級健康食品管理士
神谷乗敏	上級健康食品管理士
斎藤辰好	超音波検査士
島袋泰彦	超音波検査士 衛生管理者

氏名	認定・資格名
仲松勝彦	超音波検査士 衛生管理者
照屋祥子	超音波検査士
安里奈美	超音波検査士
津波克幸	細胞検査士
新垣和史	緊急検査士
宮城　健	2 級臨床検査士（微生物）
森山武志	衛生管理者

運営方針

臨床検査は①疾病の診断②治療方針決定③予後の判定にかかわる重要な情報である。迅速・正確なデータの提供を目的とする。

研究業績

学会発表

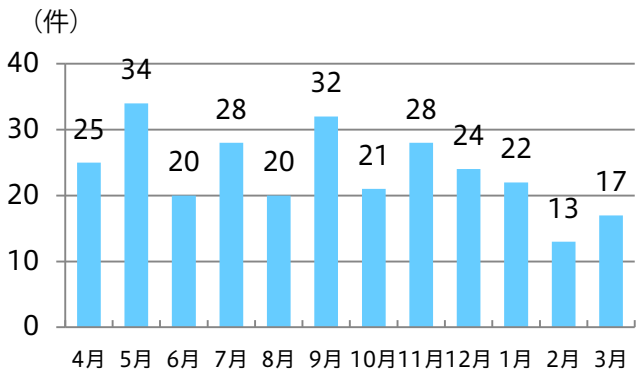
演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者、研究者
座長	第 64 回日本医学検査学会	福岡県	平成 27 年 5 月 27 日	我如古靖
症例発表	沖縄県臨床細胞学会・定例会	那覇市		津波克幸
当院で経験したアポクリン癌の 2 例	日本乳癌学会九州地方会	福岡県	平成 27 年 4 月	神谷真衣子
体からの声 (検査値) を理解しよう	健康食品講演会・市民講座	浦添市	平成 27 年 9 月	神谷乗敏
血液培養を院内に導入して	第 22 回院内研究発表会医療技術部予選会	当院	平成 27 年 10 月	森山武志
症例発表	慢性心疾患領域別研修会	沖縄県	平成 27 年 10 月	我如古靖
当院における心臓 MRI 検査の初期経験と課題	沖縄県医学検査学会	西原町	平成 27 年 6 月	◎島袋泰彦、仲松勝彦、我如古靖、斉藤辰好、神谷乗敏、高良誠
原発不明の転移性骨髄腫瘍を認めた一症例	沖縄県医学検査学会	西原町	平成 27 年 6 月	◎新垣和史、今畑友理子、呉屋江合奈、具志堅善則、神谷乗敏
胸水中に見られたｺﾚｽﾃﾛ - ル結晶の 1 例	沖縄県医学検査学会	西原町	平成 27 年 6 月	◎呉屋江合奈、新垣和史、武島万林、津波克幸、今畑友理子、神谷乗敏、比嘉一廣
形態診断が困難であった APL variant の 1 症例	119 回沖縄臨床血液研究会	南風原町	平成 28 年 2 月	◎新垣和史、今畑友理子、呉屋江合奈、神谷乗敏

検査・治療実績

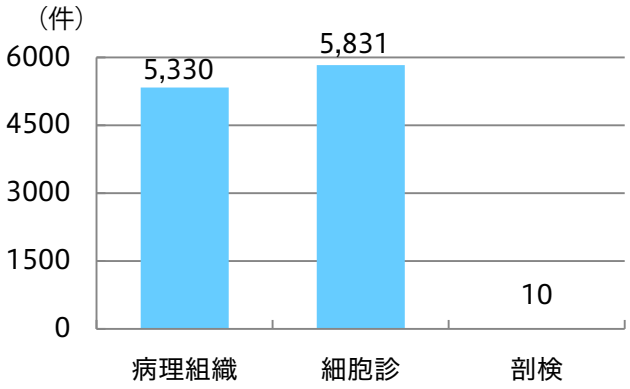
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
心電図	526	450	503	490	486	452	485	482	484	479	481	482	5,800
CVR-R-ECG	1	0	0	1	0	0	1	0	1	2	1	1	8
マスター心電図	12	22	20	29	32	17	17	16	13	13	20	25	236
トレッドミル負荷心電図	7	9	6	3	5	2	2	1	1	3	1	1	41
ホルター心電図	16	8	10	11	7	8	15	15	15	17	17	12	151
24 時間血圧測定	3	3	2	0	0	0	0	0	6	4	0	3	21
肺機能検査 2 項目	54	58	63	64	70	50	60	79	64	73	66	54	755
肺機能検査 4 項目	24	20	30	29	18	15	39	25	17	13	11	17	258
ABI 測定	18	18	10	18	20	18	11	17	20	9	23	15	197
サーモグラフィ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
呼気中尿素試験	68	55	73	65	57	63	58	54	63	57	76	66	755
脳波検査・誘発脳波	11	4	2	7	7	8	7	5	5	4	8	6	74
筋電図誘発筋電図	5	8	1	4	5	5	10	3	2	4	2	4	53
終夜睡眠ポリグラフィー	5	6	5	4	0	4	5	2	2	3	0	5	41
心肺運動負荷試験	5	5	4	1	2	5	7	3	4	3	1	3	43
心エコー	258	214	228	242	210	208	207	196	186	222	238	214	2,623
腹部エコー	404	396	407	375	363	420	404	352	368	342	358	339	4,528
泌尿器科エコー	129	132	102	155	110	115	111	146	126	114	118	140	1,498
表在エコー	189	169	266	244	239	205	331	251	231	196	200	189	2,710
血管エコー	103	96	89	133	102	124	93	69	76	133	90	82	1,190
胎児エコ -	29	31	33	25	39	26	37	24	27	37	22	26	356

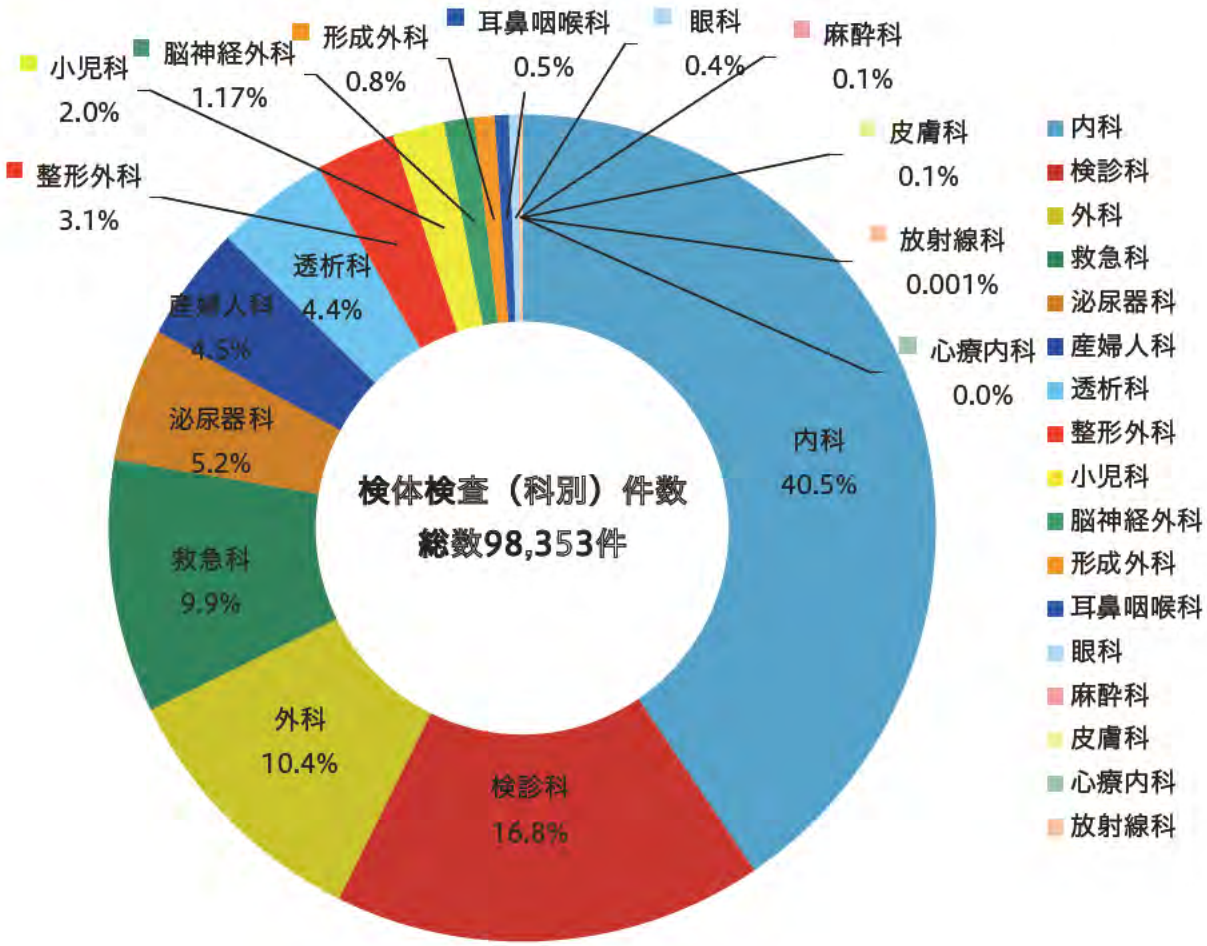
	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
経食道エコー	0	3	3	2	1	0	1	3	2	3	6	3	27
聴力検査	54	60	66	64	51	62	73	106	68	54	55	76	789
ティンパノメトリー	15	20	18	19	12	20	15	28	24	10	6	17	204
MRI	353	361	366	365	351	343	413	371	373	352	338	333	4,319
食道 PH モニター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経直腸エコー	1	0	1	1	1	1	0	0	0	1	0	2	8
ENOG	2	5	1	3	0	3	2	1	1	1	6	0	25
アブミ骨反射検査	2	3	0	0	0	1	1	0	1	1	0	0	9
SRPP　TcPo2													0
合計	2,294	2,156	2,309	2,354	2,188	2,175	2,405	2,249	2,181	2,150	2,145	2,115	26,721

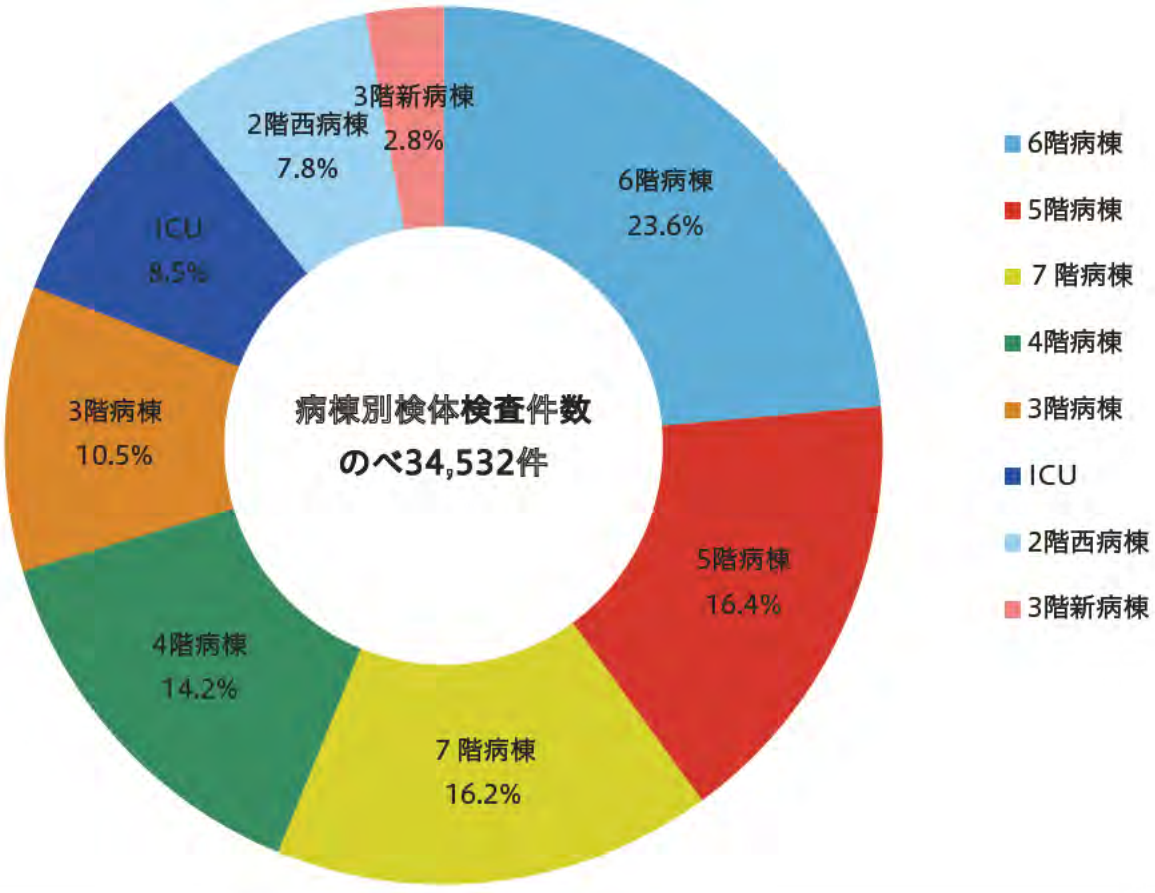
骨髄像分類



病理細胞診




検体検査（科別）件数
総数98,353件
内科 40.5%
検診科 16.8%
外科 10.4%
救急科 9.9%
泌尿器科 5.2%
産婦人科 4.5%
透析科 4.4%
整形外科 3.1%
小児科 2.0%
脳神経外科 1.17%
形成外科 0.8%
耳鼻咽喉科 0.5%
眼科 0.4%
麻酔科 0.1%
皮膚科 0.1%
放射線科 0.001%
心療内科 0.0%
内科
検診科
外科
救急科
泌尿器科
産婦人科
透析科
整形外科
小児科
脳神経外科
形成外科
耳鼻咽喉科
眼科
麻酔科
皮膚科
心療内科
放射線科


病棟別検体検査件数
のべ34,532件
6階病棟 23.6%
5階病棟 16.4%
7 階病棟 16.2%
4階病棟 14.2%
3階病棟 10.5%
ICU 8.5%
2階西病棟 7.8%
3階新病棟 2.8%
6階病棟
5階病棟
7 階病棟
4階病棟
3階病棟
ICU
2階西病棟
3階新病棟

臨床工学科

臨床工学科技士長　大城　安

平成２７年度は総勢１１名体制にて事業推進を図りました。

血液浄化部門は血液浄化関連機器の保守点検を計画通り実施し、機器の安全使用に寄与しました。

ME 機器管理部門は医療機器に関する研修会を企画し研修を実施しました。その結果 51 件の研修会を実施し、総勢 415 名のスタッフが受講しました。

循環器部門は心臓カテーテル・PM 以外にＡＳＯや透析患者さんのＰＣＩ及びＰＰＩ立会業務を実施しました。新年度は技士全体のスキルアップを図りながら、事業計画に準じ事業の達成に努力してまいります。

特に、ＭＥ機器管理部門は手術室の ME 機器管理の充実を図り、手術室業務が安全に行える様取り組みます。また、携帯電話院内使用基準改定が平成 26 年 8 月に総務省 / 電波環境協議会より発表され、当院では臨床工学科がＭＥ機器への影響調査（安全性）を実施し安全性に問題が無い結果が出た為、平成 28 年度には院内携帯電話使用規定を見直す予定です。

職員数

総数

11 名

職種別

臨床工学士　11 名

認定・資格

氏　名	認　定　・　資　格　名
大城安	透析技術認定士 呼吸療法認定士 医療機器情報コミュニケータ(MDIC) 医療ガス保安管理技術者 VELA保守管理研修終了者 EVT-4保守管理研修終了者 OT-707保守管理研修終了者
野原剛	透析技術認定士 呼吸療法認定士 第2種ME技術実力検定試験 実習指導者講習会終了者 ペースメーカ関連業務習得(セミナー第Ⅰ期) ペースメーカ関連業務習得(セミナー第Ⅱ期) VELA保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 EVT-4保守管理研修終了者 カンガルー 624型ポンプ保守管理研修終了者 フットポンプSC-D700保守管理研修終了者 日機装コンソール(DCS-27･28･73)保守管理研修終了者

氏　名	認　定　・　資　格　名
豊川真理	医療機器情報コミュニケータ(MDIC) 第2種ME技術実力検定試験 VELA保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 EVT-4保守管理研修終了者 OT-707保守管理研修終了者 JMS輸液ポンプ(OT-808C)保守管理研修終了者 TE-161S保守管理研修終了者 TE-331S保守管理研修終了者 カンガルー 624型ポンプ保守管理研修終了者 トップTOP-6100保守管理研修終了者 コンパクトドレーンユニット保守管理研修終了者 日機装コンソール(DCS-27･28･73)保守管理研修終了者 フットポンプSC-D700保守管理研修終了者 シリンジポンプ(TE-35型)保守管理講習会修了者

氏　名	認　定　・　資　格　名
弓濵義之	透析技術認定士 透析液安全管理責任者 ペースメーカ関連業務習得(セミナー第Ⅰ期) ペースメーカ関連業務習得(セミナー第Ⅱ期) 第2種ME技術実力検定試験 ACLS VELA保守管理研修終了者 OT-707保守管理研修終了者 カンガルー 624型ポンプ保守管理研修終了者 日機装コンソール(DCS-27・28・73)保守管理研修終了者 フットポンプSC-D700保守管理研修終了者 日機装コンソール(DCS-100NX)保守管理研修終了者 第一種衛生管理者
仲松晋也	第1種ME技術実力検定試験/臨床ME専門認定士 透析技術認定士 呼吸療法認定士 実習指導者講習会終了者 透析液安全管理者 VELA保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 EVT-4保守管理研修終了者 OT-707保守管理研修終了者 トップTOP-6100保守管理研修終了者 JMS輸液ポンプ(OT-808C)保守管理研修終了者 コンパクトドレーンユニット保守管理研修終了者 電気メス(Force Triad)保守管理研修終了者 日機装コンソール(DCS-27・28・73)保守管理研修終了者 フットポンプSC-D700保守管理研修終了者 シリンジポンプ(TE-35型)保守管理講習会修了者
大濵明日香	第2種ME技術実力検定試験 OT-707保守管理研修終了者 VELA保守管理研修終了者 日機装コンソール(DCS-27・28・73)保守管理研修終了者 ACH-Σメンテナンス技術講習会修了者 日機装コンソール(DCS-100NX)保守管理研修終了者

氏　名	認　定　・　資　格　名
内里司	呼吸療法認定士 透析技術認定士 VELA保守管理研修終了者 ザビーナ保守管理研修終了者 EVT-4保守管理研修終了者 OT-707保守管理研修終了者 カンガルー 624型ポンプ保守管理研修終了者 トップTOP-6100保守管理研修終了者 電気メス(Force Triad)保守管理研修終了者 フットポンプSC-D700保守管理研修終了者 日機装コンソール(DCS-27・28・73)保守管理研修終了者
宮城直史	第2種ME技術実力検定試験 EVT-4保守管理研修終了者 OT-707保守管理研修終了者 トップTOP-6100保守管理研修終了者 JMS輸液ポンプ(OT-808C)保守管理研修終了者 ニプロ個人用透析装置(NDF-21)保守管理研修終了者 日機装コンソール(DCS-27・28・73)保守管理研修終了者 シリンジポンプ(TE-35型)保守管理講習会修了者
新川桂一朗	第2種ME技術実力検定試験 VELA保守管理研修終了者 OT-707保守管理研修終了者 トップTOP-6100保守管理研修終了者 JMS輸液ポンプ(OT-808C)保守管理研修終了者 日機装コンソール(DCS-27・28・73)保守管理研修終了者 シリンジポンプ(TE-35型)保守管理講習会修了者
平敷幸大	第2種ME技術実力検定試験 日機装コンソール(DCS-27・28・73)保守管理研修終了者
仲程通孝	日機装コンソール(DCS-100NX)保守管理研修終了者

平成 27 年度技士取得ライセンス

名称	認定資格	主催	開催地	実施・取得年月日	氏名
第一種衛生管理者試験	第一種衛生管理者	厚生労働省	沖縄県 (琉球大学)	2016 年2月10日	弓濵義之

理念

臨床工学科は急性期医療としての役割を遂行する為に他部門との連携を密にし、高度な医療技術の提供および機器の保守管理を行い、安心かつ安全な医療の提供を行います。

運営方針

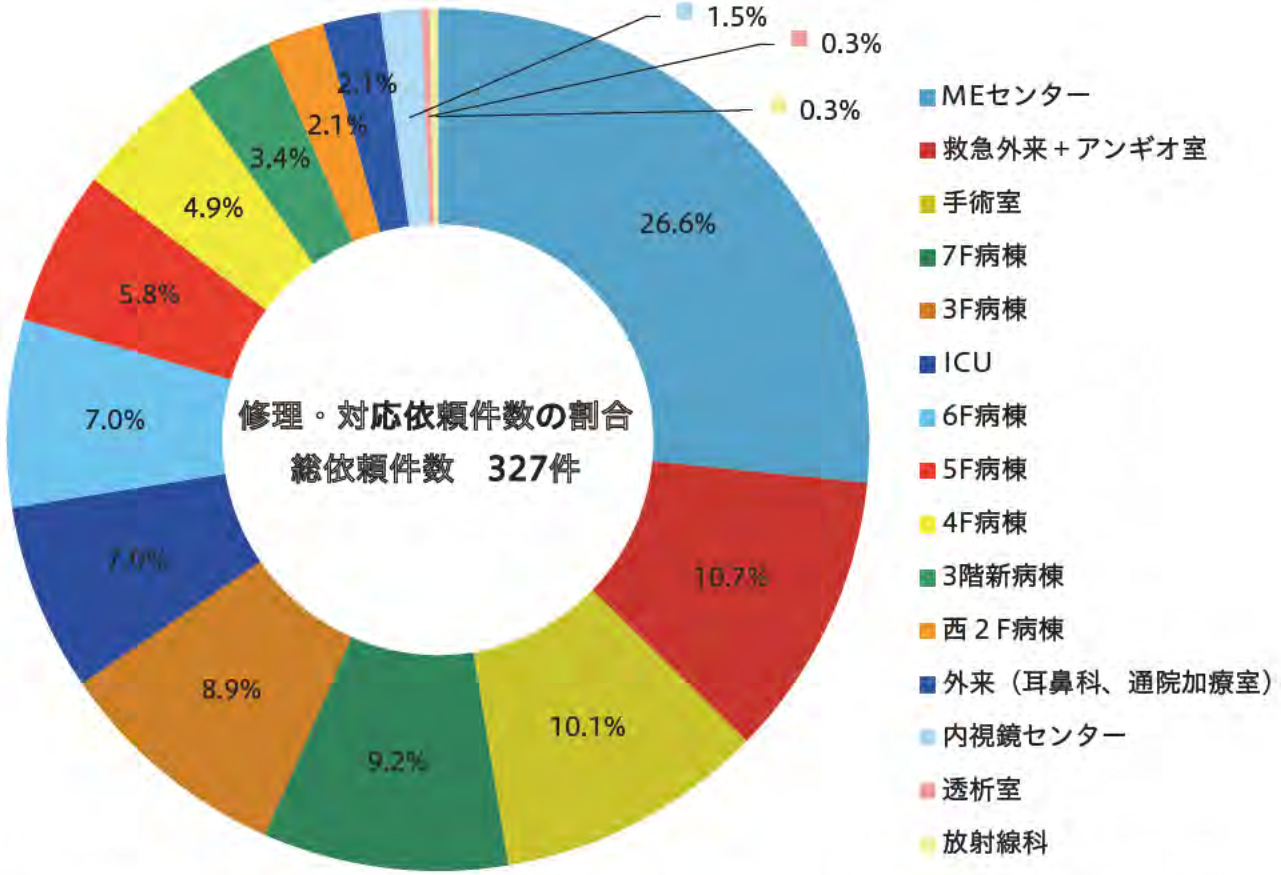
1. 良質な診療支援を行うため、組織、業務の改善に努める。
2. 安心・安全で信頼される診療技術の提供に努める。
3. 医療機器の医療事故防止に努める。
4. 高度医療機器の効率的運用と安全性の確保
5. 医療機器の標準化・機種統一を積極的に進める。

業務実績

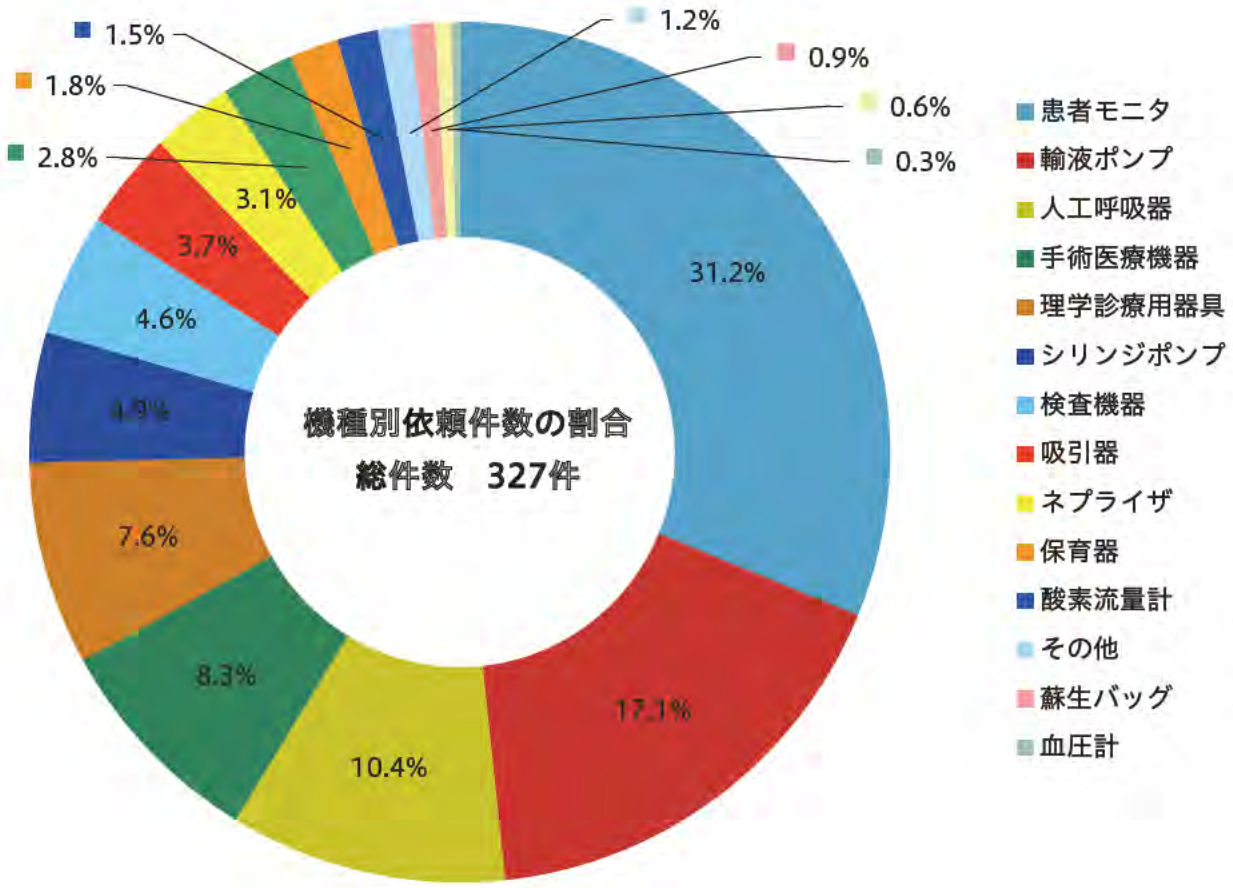
【ME 機器管理実績】

修理・対応依頼件数年度別推移

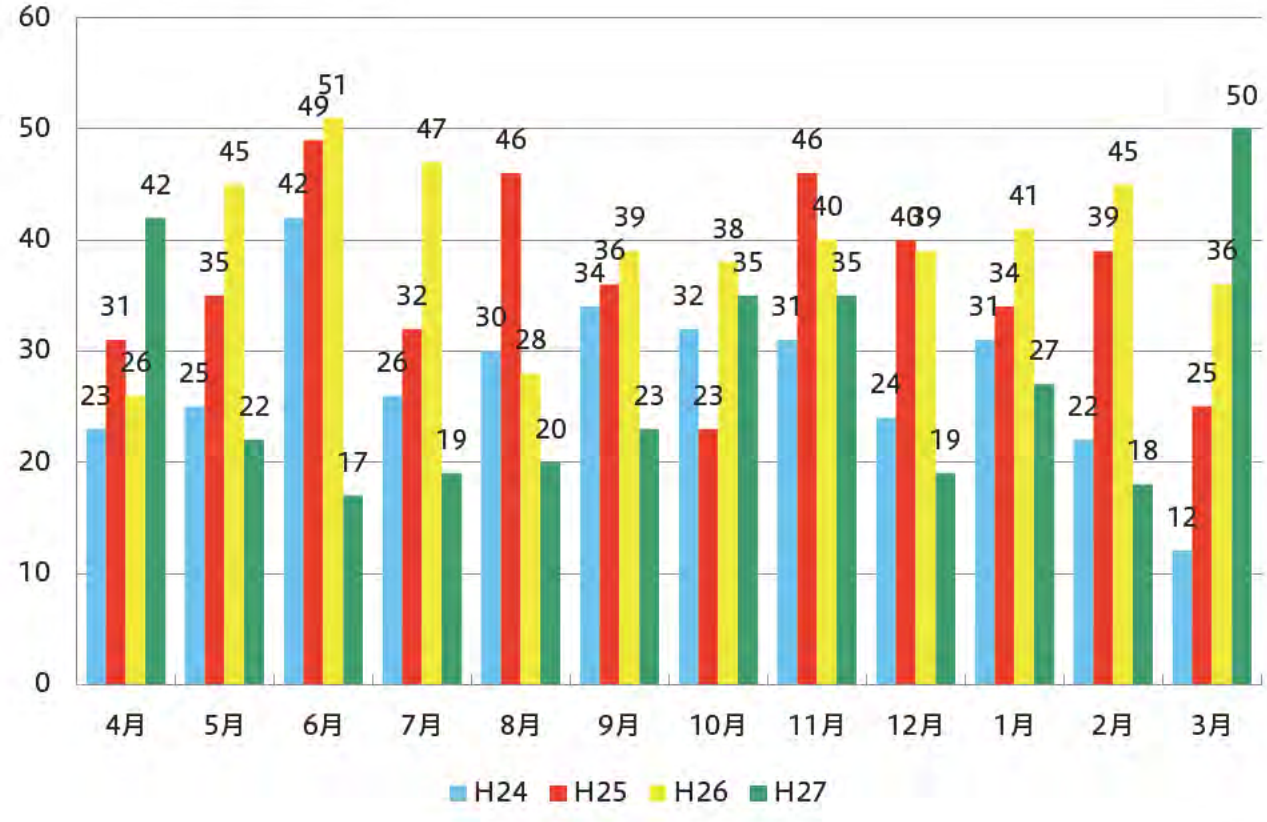
■業務見直しを行い、在庫管理方法変更したため、減少しました。



■ 327 件中約 27%を ME センターで発見。1 日平均 1.0 件発生。各階病棟から依頼を受けている現状である。一方、臨床工学科が発見し病院への依頼としている件数が 1/4 を締め、ME の保守で予防的に対応できていることが伺えます。

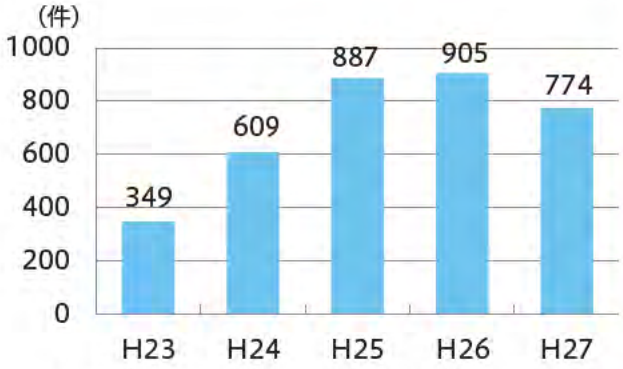


修理・対応依頼件数の月別推移

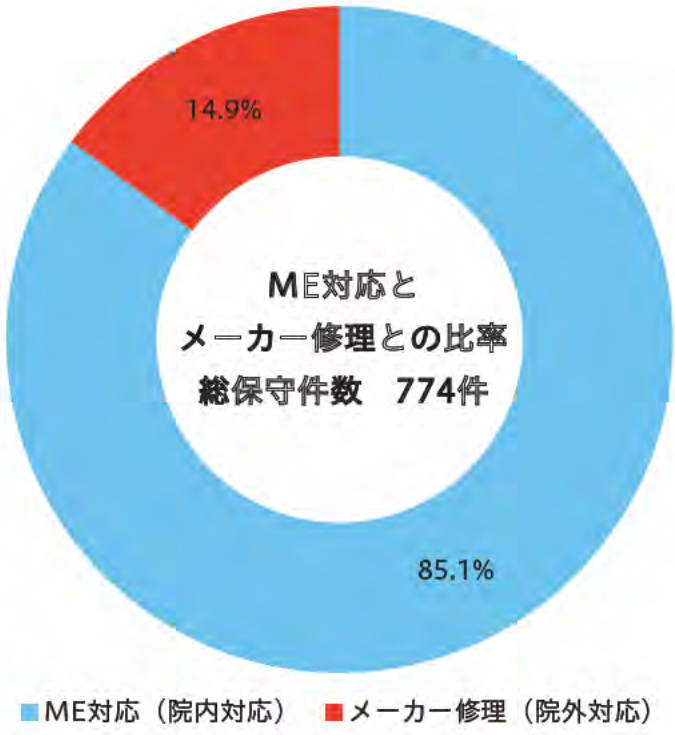


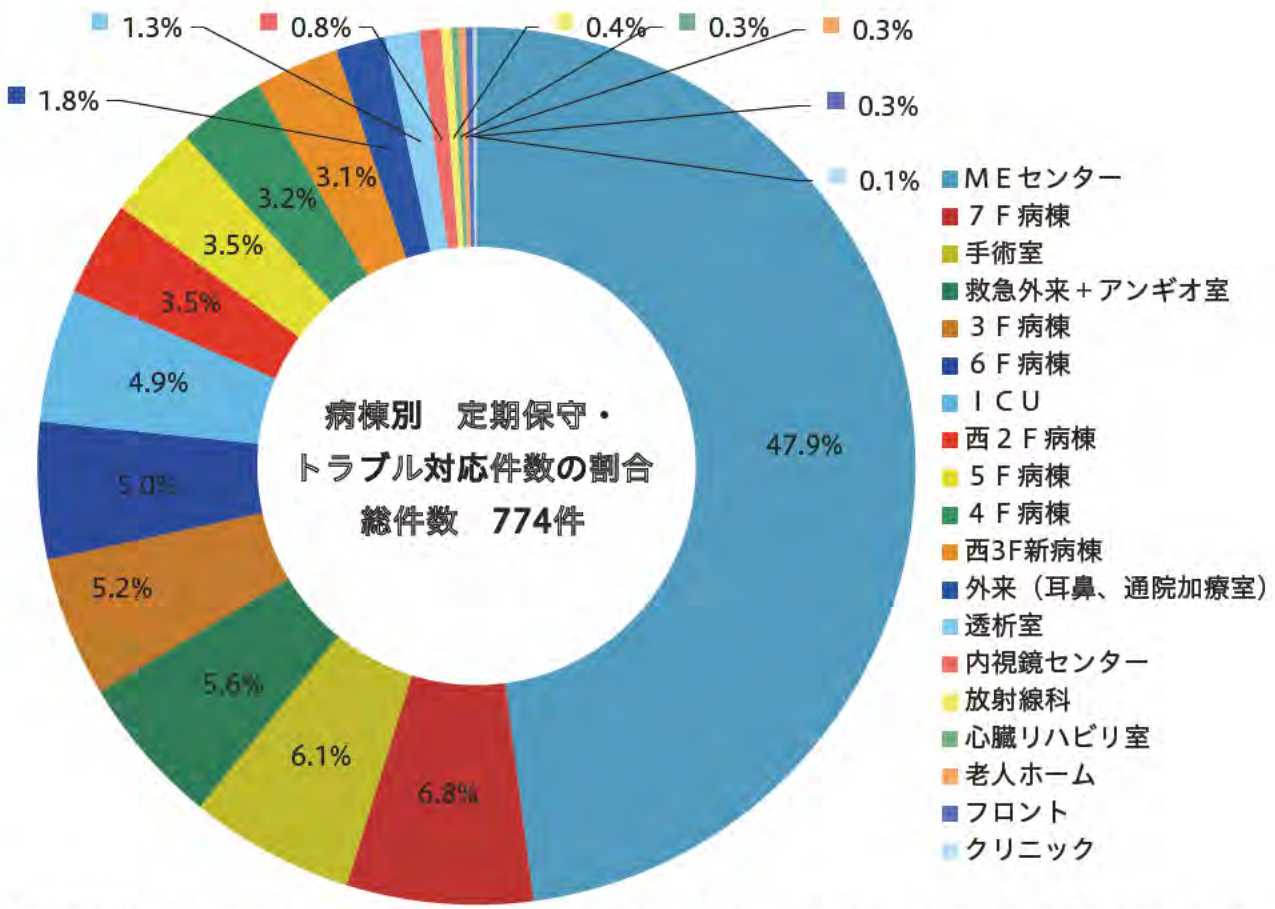
1. 修理依頼・対応依頼件数

定期保守・トラブル対応件数の年度別推移

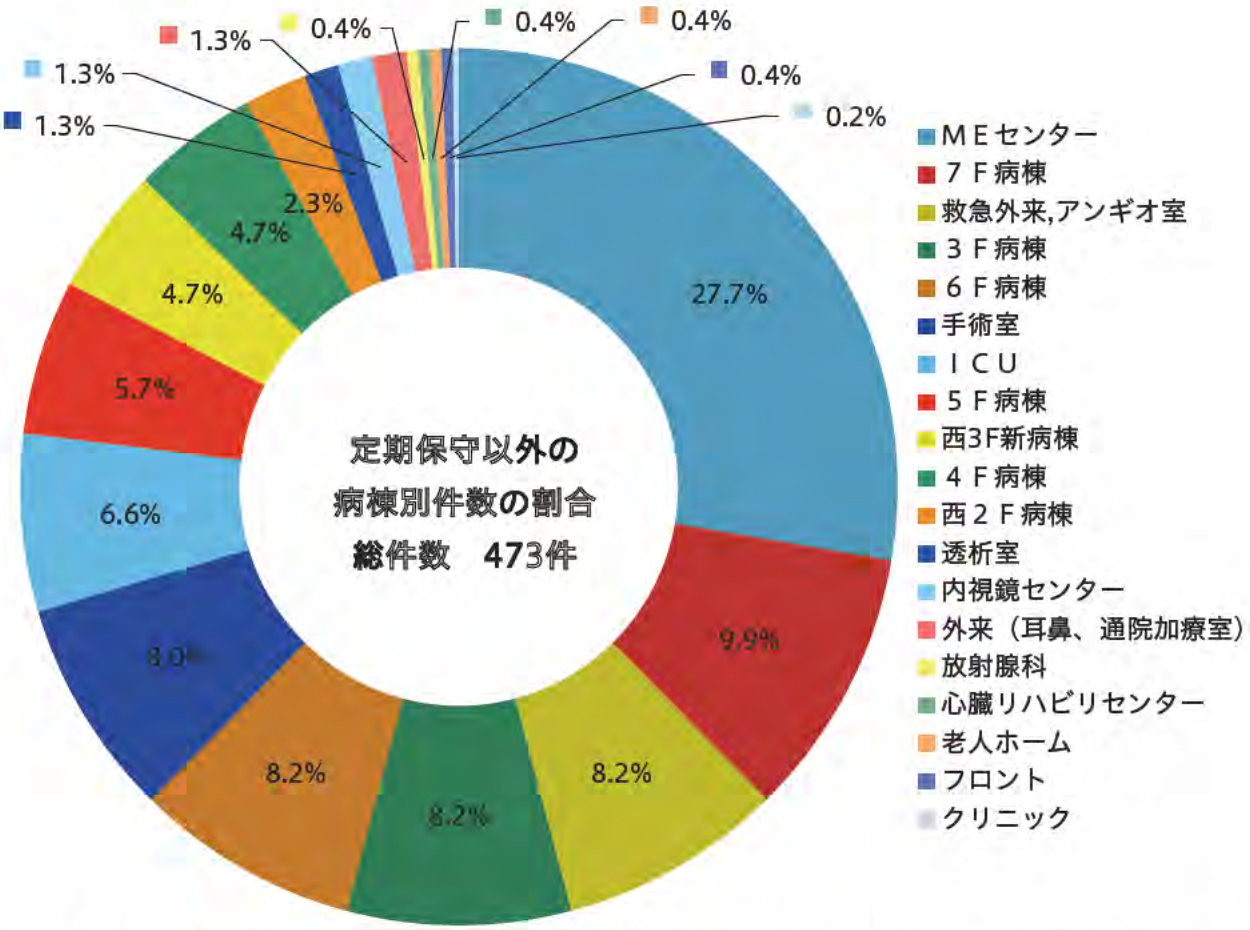


■全体の約 85％を ME のみで解決に至っており、臨床工学技士が対応し、院内で解決する割合が高い状況です。また、メーカ修理に至る際にも臨床工学科が現場との橋渡しとなり、スムーズに修理が進むようにサポートしています。そのため上記 774 件に対して臨床工学科は全てに関与しています。1 日平均 2.5 件の対応をしています。





■約 48％は臨床工学科による定期保守に加え、臨床工学技士が発見対応したトラブルを未然に防いだ例が多い。

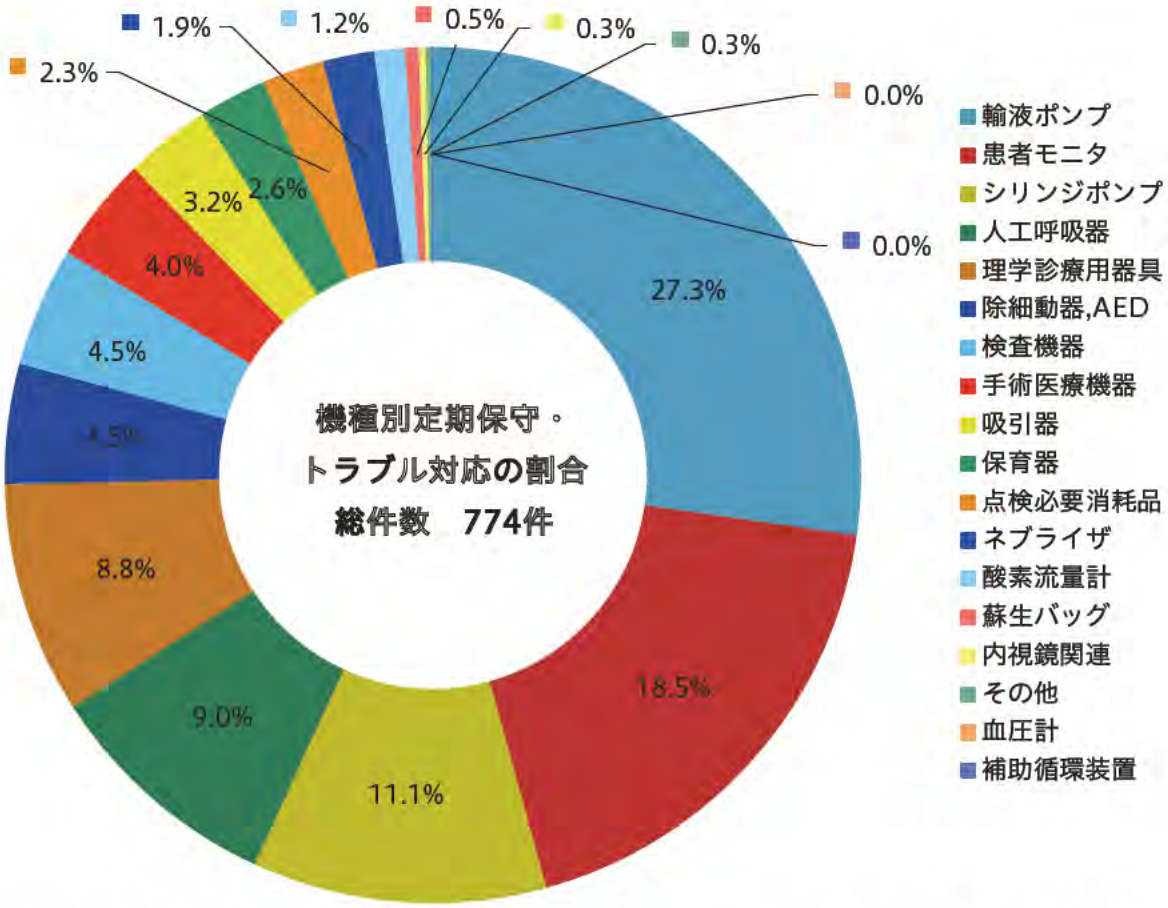


■定期保守を除外した場合においてもトラブルを未然に防いだ割合は大きい。さらに多くの病棟で医療機器のトラブルが発生していることがわかります。

対応種別　保守・トラブル対応件数

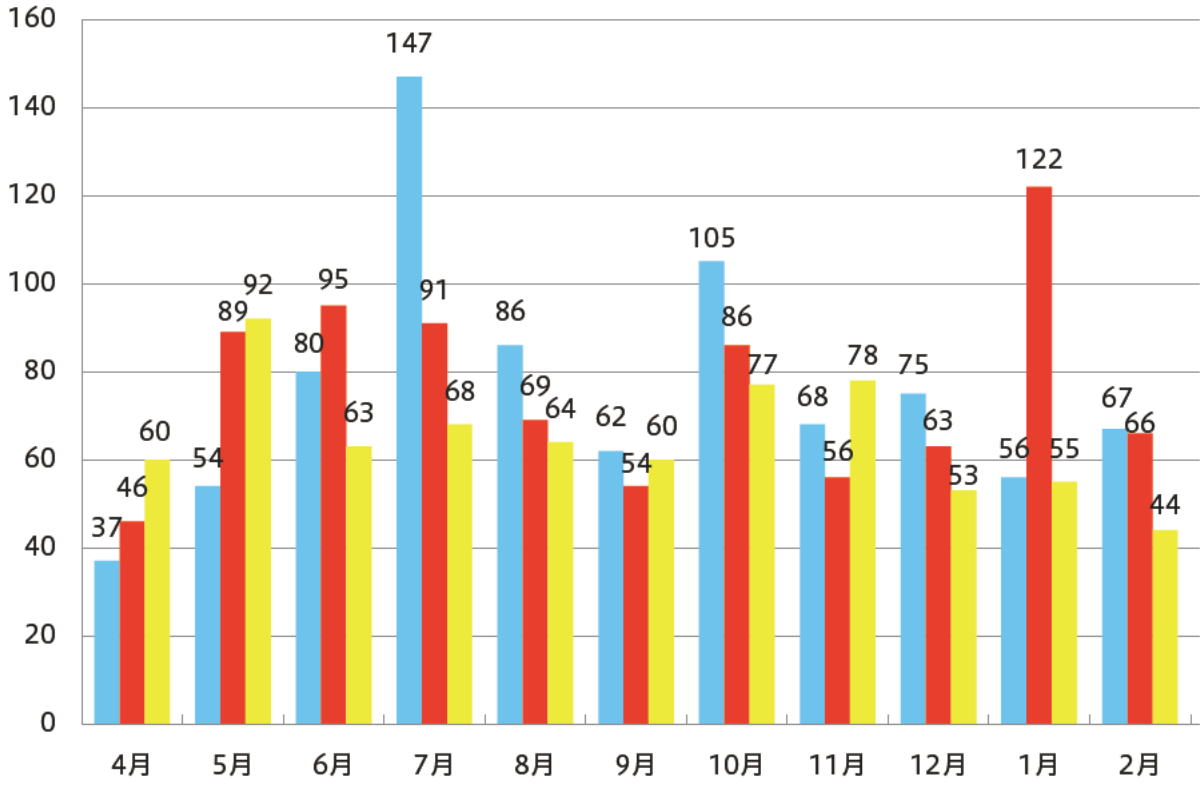
作業内容	件数
1年点検	244
3ヶ月点検	11
6ヶ月点検	20
定期部品交換	2
点検	47
バッテリーリフレッシュ	23
バッテリー交換	12
部品交換	143
部品交換（中古）	25
修理	38
製品不良⇒新品入替	2
清拭	5
操作説明	12
調整	42
動作確認	65

作業内容	件数
修理見送り	4
改修	2
廃棄	11
定期校正	1
O2 センサ交換	4
現象聴取	2
フローセンサ交換	1
トラブル対応	16
ソフトウェア VerUP	19
納品時点検	7
貸出調整	1
更新	1
その他	14
全件数	774



■機種を問わず対応しています。中央管理機器（輸液ポンプ、シリンジポンプ等）は特に台数が多く、定期保守を確実に施行し高い割合となりました。また、今年度から、酸素流量計や吸引瓶の点検を開始しており、前年度から件数が増加となりました。

月別保守件数の推移



■毎月コンスタントに保守、トラブル対応を行い、月平均にすると 64.5 件の定期保守、トラブル対応を行っています。ME が管理しているため、中古部品で対応することやメーカに点検を出すと費用が発生する場合にも院内で動作確認を行い、保守費用の削減をしています。また、納品時に点検することで納品時にすでに動作が不良のものを見つけることができています。ME では改修情報を確認し、メーカに対応状況の確認から、改修期間の現場との調整を一括して行い、不具合防止に努めています。

3. 日常点検集計

人工呼吸器について（年）

点検種類	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
始業点検	221	227	400	551	301
終業点検	246	263	327	359	366
使用中点検（ラウンド点検）	0	2,643	2,507	2,576	2,073

ポンプについて（年）

機種	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
輸液ポンプ	1,913	2,048	2,093	2,377	2,230
シリンジポンプ	1,118	1,126	1,377	1,423	1,385
経腸栄養ポンプ	9	19	46	29	23
フットポンプ	0	0	262	415	523
ドリップアイ	0	0	30	267	8

4. 臨床支援業務

肝腫瘍ラジオ波焼灼術　立ち会い件数の推移

年度	内科	外科	内科（中止）	外科（中止）	総数
H21	2	0	0	0	2
H22	7	4	3	0	14
H23	10	2	1	0	13
H24	27	1	0	1	29
H25	29	1	0	2	32
H26	37	7	1	0	45
H27	28	13	2	0	43

在宅酸素療法対応件数

業者別対応件数

	フクダ	テイジン（南西）	オカノ	総数
H23	17	11	0	28
H24	12	11	2	25
H25	20	8	4	32
H26	22	16	8	46
H27	25	16	0	41

対応種別件数

	導入	指示変更	中止	外泊	その他
H23	27	0	1	0	0
H24	23	0	0	1	1
H25	17	7	1	1	5
H26	27	5	1	1	12
H27	27	1	0	1	12

レンタル対応（開始、返却）

	NPPV(VISION)	NPPV(ASV-CS)	NHF ネーザルハイフロー
H24	74	76	0
H25	58	41	11
H26	106	75	18
H27	79	29	4

【循環器実績】

心カテ・ＰＭ埋込症例数

月	カテーテル検査							PMI	PMC	IVCF	PPI
	CAG	PCI	緊急	総ＰＣＩ	IABP	PCPS	TPM	Med	PM		
４月	17	8	4	12	0	0	4	5	19	1	4
５月	9	5	3	8	0	0	1	1	18	0	2
６月	13	5	8	13	1	1	0	0	16	1	8
７月	8	4	1	5	0	0	1	4	21	0	3
８月	7	8	4	12	0	0	0	1	16	0	7
９月	17	10	3	13	0	0	0	2	15	0	10
10 月	11	2	7	9	2	0	2	0	26	0	2
11 月	7	6	4	10	0	0	1	2	16	0	0
12 月	8	4	7	11	0	0	2	2	20	1	1
１月	8	4	3	7	1	1	1	5	19	1	8
２月	11	3	3	6	1	3	0	3	16	0	7
３月	9	8	2	10	1	1	1	1	18	0	5
総合計	125	67	49	116	6	6	13	26	220	4	57

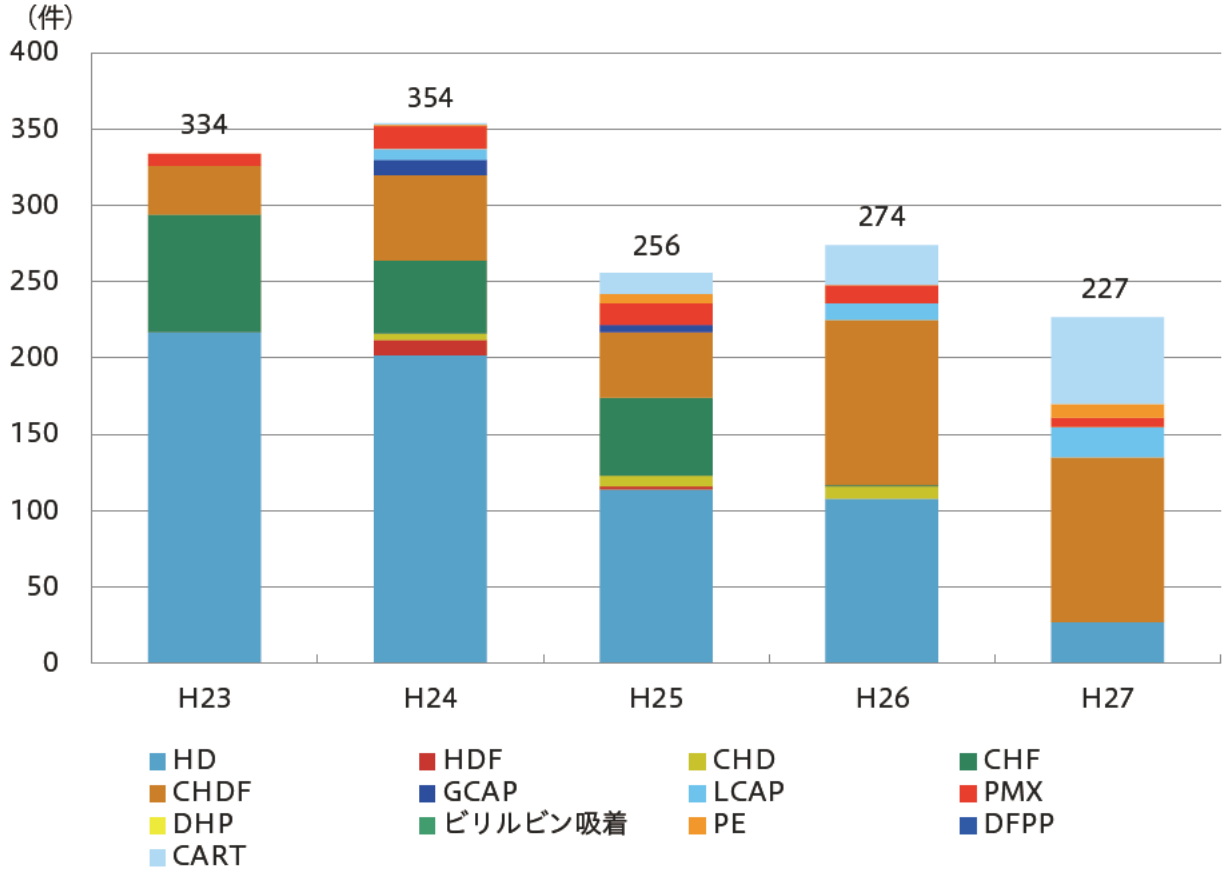
※ CAG は検査のみ、PCI+ 緊急が総 PCI 数になります。

PMI: ペースメーカ植え込み術。PMC: ペースメーカクリニック。PPI: 経皮的末梢動脈形成術。

IVCF: 下大静脈内留置フィルター。TPM: 体外式ペースメーカ

【血液浄化部実績】

出張血液浄化実績



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
座長	第 60 回沖縄県 CE 技術交流会	沖縄県（カルチャーリゾートフェストーネ）	2015 年 5 月 10 日	○仲松晋也
延長チューブ、針が輸液流量に与える影響	第 90 回日本医療機器学会大会	神奈川県（パシフィコ横浜）	2015 年 5 月 28 日～ 5 月 30 日	○仲松晋也、宮城直史、豊川真理、大城安
当院の台風災害対策　～台風 8 号沖縄本島接近時の対応～	第 60 回日本透析医学会学術集会・総会	神奈川県横浜市　パシフィコ横浜	2015 年 6 月 28 日	○内里司、栄野川盛広、宮城幸江、野原剛、竹本直美、大城安
非侵襲的陽圧換気法（NPPV）におけるマスクフィッティングの体験型勉強会の取り組み	第 10 回九州臨床工学会	鹿児島県（かごしま県民交流センター）	2015 年 9 月 5 日	○宮城直史、仲松晋也、豊川真理、野原剛、大城安
VA・透析モニタリング	第 1 回　腎代替療法研究会	那覇市医師会館	2016 年 2 月 20 日	○大濵明日香
透析用留置針変更に伴う緊急離脱法の検討	第 21 回日本集団災害医学会総会・学術集会	山形県	2016 年 2 月 27 日	○野原剛

活動実績

院内外研修実績

テーマ	実施年月日	開　催　地	参加者
沖縄県デバイスセミナー	2015 年 5 月 2 日	沖縄県（ラグナガーデンホテル）	弓濵義之
第 60 回沖縄県 CE 技術交流会	2015 年 5 月 10 日	沖縄県（カルチャーリゾートフェストーネ）	大城安、野原剛、豊川真理、仲松晋也、平敷幸大、宮城直史、新川桂一朗、仲程通孝
第 90 回日本医療機器学会大会	2015 年 5 月 28 日～ 5 月 30 日	神奈川県横浜市（パシフィコ横浜）	仲松晋也
第 60 回日本透析医学会学術集会・総会	2015 年 6 月 27 日～ 6 月 28 日	神奈川県横浜市（パシフィコ横浜）	内里司、野原剛
第 3 回日本災害医療ロジスティック研修	2015 年 7 月 21 日	岩手県（岩手医科大学・大船渡病院）	野原剛
BLS	2015 年 8 月 15 日	ハートライフ病院	仲松晋也
第 10 回九州臨床工学会	2015 年 9 月 5 日～ 9 月 6 日	鹿児島県（かごしま県民交流センター）	宮城直史
第 2 6 回沖縄呼吸ケア研究会セミナー	2015 年 9 月 19 日	沖縄薬剤師会館	仲松　晋也
第 1 回　中部南・浦添地区透析セミナー	2015 年 10 月 29 日	カルチャーリゾートフェストーネ	新川　桂一朗
沖縄県内視鏡外科手術機器取扱いセミナー	2015 年 10 月 31 日	沖縄県男女共同参画センター【ているる】	仲松晋也
第 61 回沖縄県 CE 技術交流会	2015 年 11 月 15 日	SOLA 沖縄保険医療工学院	新川　桂一朗、
九州保健福祉大学バイザー会議	2014 年 12 月 6 日	宮崎県延岡市（キャトルセゾン・マツイ）	大城安
日本輸血・細胞治療学会　九州支部会　　第 62 回総会・第 83 回例会	2015 年 12 月 12 日	沖縄県市町村自治会館ホール	大城安、野原剛
卒後臨床工学技士基礎セミナー	201 6年 1 月 15 日～1 6日	東京都（ソラシティカンファレンスセンター）	平敷幸大
インフェクションコントロール研修会	2016 年 1 月 23 日	浦添市産業振興センター	平敷幸大
第 18 回沖縄呼吸療法研究会	2016 年 1 月 23 日	宜野湾市（フェストーネ）	弓濵義之
電気メスフォーストライアッド点検講習会	2016 年 2 月 6 日	ハートライフ病院	豊川真理、仲松　晋也
第 43 回日本集中治療医学会学術総会	2016 年 2 月 12 日～ 14 日	神戸国際展示場	野原剛、中程通孝
第 15 回医療機器安全対策研究会	2016 年 2 月 13 日	国立劇場おきなわ	豊川真理
バイオメンテナンス講習会	2016 年 2 月 13 日	ハートライフ病院	豊川真理

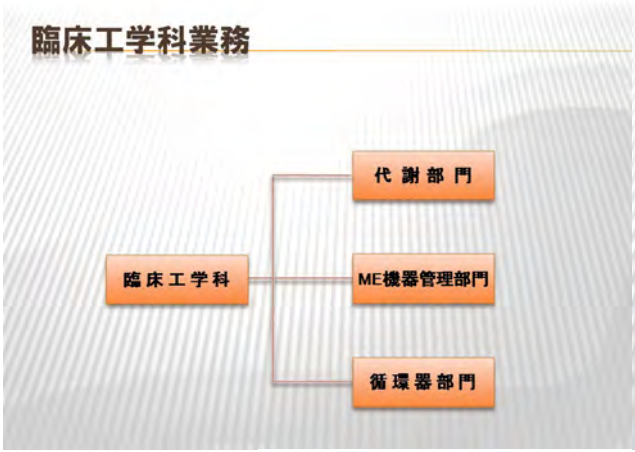
テーマ	実施年月日	開　催　地	参加者
第 1 回　腎代替療法研究会	2016 年 2 月 20 日	那覇市医師会館	大濵明日香、大城安、新川桂一朗
COM.TEC 講習会	2016 年 3 月 3 日	沖縄県	内里司、野原剛、大城安
透析用留置針変更に伴う緊急離脱法の検討	2016 年 2 月 27 日～ 3 月 1 日	山形ビックウィング	野原剛
呼吸教室トリロジー、呼吸のフィジカルアセスメント実技セミナー	2016 年 3 月 12 日～ 3 月 13 日	沖縄県　SOLA・知花ホール	弓濵義之
第 34 回沖縄県人工透析研究会	2016 年 3 月 13 日	沖縄コンベンションセンター	野原剛、内里司、新川桂一朗、城間秀史
第 27 回沖縄呼吸ケアセミナー	2016 年 3 月 26 日	沖縄産業支援センター	大城安、弓濵義之、内里司

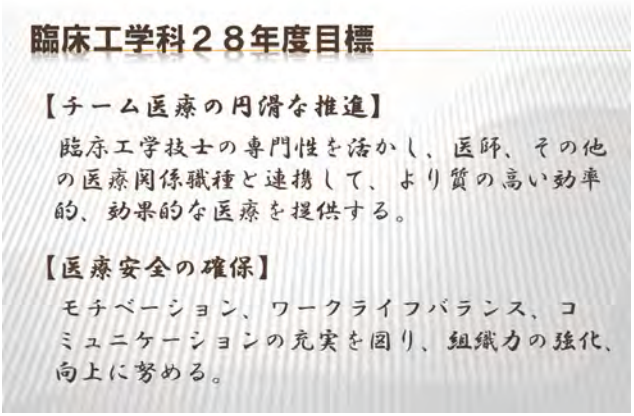
院内研修講義実績

テーマ	実施年月日	開　催　地	主　催・共　催
NPPV マスクフィッティング	2015 年 4 月 2 日	新 3 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
NPPV マスクフィッティング	2015 年 4 月 23 日	新 3 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
吸引器の取り扱い説明会	2015 年 4 月 9 日	内視鏡センター	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
エビタ 4　換気モードについて	2015 年 4 月 14 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
人工呼吸器ベラビスタ　デモ開始の勉強会	2015 年 4 月 14 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
酸素療法器具（酸素マスク）のデモのための勉強会	2015 年 4 月 15 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
助手研修	2015 年 5 月 1 日	2 階講堂	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
在宅人工呼吸器の使用方法	2015 年 5 月 13 日	7 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
日本光電 WEP-5208 操作説明	2015 年 5 月 14 日	外来通院治療室	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
人工呼吸器（ベラ）の設定方法、アラームについて	2015 年 6 月 1 日	4 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
助手研修	2015 年 6 月 5 日	2 階講堂	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
NPPV マスクフィッティング	2015 年 6 月 10 日	5 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
人工呼吸器について	2015 年 6 月 12 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
NPPV マスクフィッティング	2015 年 6 月 15 日	5 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
NPPV マスクフィッティング	2015 年 6 月 15 日	7 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
輸液ポンプ / シリンジポンプ使用方法	2015 年 6 月 26 日	2 階講堂	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
モニタの使用方法	2015 年 6 月 26 日	2 階講堂	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
人工呼吸器について	2015 年 7 月 16 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
日本光電　モニタ講習会（ベーシック）	2015 年 7 月 28 日	2 階講堂	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
ジェットネブライザ使用方法、運用	2015 年 8 月 12 日	6 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
オートセット CS-A　使用方法	2015 年 8 月 13 日	6 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
手術用顕微鏡の使用方法	2015 年 8 月 8 日	手術室	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
モナール T60　新換気モード等説明会	2015 年 8 月 26 日	救急外来	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
日本光電　LifeScope　モニタ勉強会	2015 年 8 月 10 日	救急外来	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
日本光電　LifeScope　モニタ勉強会	2015 年 8 月 11 日	救急外来	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
人工呼吸器ベラビスタ　デモ開始の勉強会	2015 年 9 月 24 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
人工呼吸器ベラビスタ　デモ開始の勉強会	2015 年 9 月 25 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
ASV-CS　運用変更のための説明会	2015 年 10 月 6 日	救急外来	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
領域別研修(呼吸)　NPPV マスクフィッティング	2015 年 10 月 9 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
コンパクトドレーンユニット使用方法　説明会	2015 年 10 月 14 日	救急外来	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
コンパクトドレーンユニット使用方法　説明会	2015 年 10 月 15 日	救急外来	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
人工呼吸器（ザビーナ 300）　デモ開始の勉強会	2015 年 10 月 15 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
コンパクトドレーンユニット使用方法　説明会	2015 年 10 月 16 日	7 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
携帯型受信機の使用方法	2015 年 10 月 30 日	7 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
コンパクトドレーンユニット使用方法　説明会	2015 年 11 月 7 日	手術室	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科

テーマ	実施年月日	開　催　地	主　催・共　催
ジェットネブライザ操作説明会	2015 年 11 月 6 日	4 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
ジェットネブライザ操作説明会	2015 年 12 月 11 日	西 2 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
テレメータ送信機　操作説明会	2015 年 12 月 14 日	西 2 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
EV1000　説明会	2015 年 12 月 16 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
コンパクトドレーンユニット使用方法　説明会	2016 年 1 月 9 日	手術室	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
Intellivue MP2/X2　取扱説明会	2016 年 1 月 19 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
セントラルモニタ　CNS6201　操作説明	2016 年 1 月 20 日	7 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
セントラルモニタ　CNS6201　操作説明	2016 年 1 月 27 日	7 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
ジェットネブライザ操作説明会	2016 年 2 月 1 日	7 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
EV1000　説明会	2016 年 2 月 6 日	手術室	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
小児・新生児用モニタの設定方法説明会	2016 年 2 月 19 日	5 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
トリロジー使用方法説明会	2016 年 3 月 3 日	7 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
人工呼吸器の説明	2016 年 1 月	ME 機器管理室	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
ベラ使用方法説明会	2016 年 1 月 4 日	4 階	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
ベラビスタ使用方法説明会	2016 年 3 月 3 日	ICU	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科
新人対象　人工呼吸器勉強会	2016 年 1 月 25 日	心臓リハビリ室	主：医療機器安全管理委員会 / 共：ＣＥ科

実績報告資料等





栄養科

栄養科科長　久場　徳子

平成 27 年度は栄養科の資質向上を目的にコーチングに取り組んでいます。一人ひとりが美味しい食事、見た目にもきれいな食事が提供できるよう取り組んでいます。

職員数

総数

29 名

職種別

管理栄養士　6 名
調　理　師　10 名
調理補助　6 名
食器洗浄　6 名
事　　務　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
久場徳子	健康運動指導士 糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士
真栄城ゆかり	糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士

氏名	認定・資格名
渡真利ゆりか	健康運動指導士 沖縄県地域糖尿病療養指導士
高屋美希	沖縄県地域糖尿病療養指導士
當真結子	沖縄県地域糖尿病療養指導士 栄養サポート専門療法士
棚原佳世	沖縄県地域糖尿病療養指導士

運営方針

・患者様のニーズに応える食事を提供します。
・衛生面かつ安全面に配慮した業務を行います。
・患者様の病態に応じた食事の支援をいたします。

研究業績

研究発表

演題名	学会名	開催地	年月日	発表者と研究者
効率の良い業務を目指して	院内研究発表（医療技術部予選会）	院内	2015 年 10 月 23 日	棚原佳世

活動実績

科内研修

名称	開催地	実施年月日	講師
インスタント食品の塩分	栄養科	2015 年 4 月 28 日	真栄城
大量調理の方法と技術	栄養科	2015 年 5 月 20 日	幸地
油脂百科	栄養科	2015 年 6 月 22 日	久場
時間栄養学	栄養科	2015 年 8 月 11 日	真栄城

名称	開催地	実施年月日	講師
5 割高く見える盛り付け	栄養科	2015 年 9 月 8 日	當間
手軽に利用できる飾り切り	栄養科	2015 年 10 月 17 日	池味
食物アレルギー	栄養科	2015 年 10 月 30 日	棚原
シナプソロジー（脳トレ）	栄養科	2015 年 11 月 30 日	真栄城、吉岡
大規模災害訓練	栄養科	2015 年 12 月 29 日	當間、吉岡
ノロウイルスの勉強会に参加して	栄養科	平成 28 年 1 月 14 日	徳永
ビタミンについて	栄養科	平成 28 年 2 月 26 日	真栄城
アレルギー・調理について	栄養科	平成 28 年 3 月 28 日	棚原

勉強会

名称	開催地	年月日	参加者
看護部慢性疾患勉強会　高血圧・脂質異常症の食事	栄養科	2015 年 9 月 9 日	真栄城ゆかり
緩和ケア勉強会　がん患者の栄養管理	当院	2016 年 1 月 19 日	當間結子
健康増進委員　ビタミンと栄養		2016 年 2 月 23 日	當間結子

患者さんを招いての昼食会

題名	開催地	実施年月日	参加者
糖尿病患者会～ドレッシングサロン～	ハートライフクリニック	平成 28 年 1 月 31 日	渡真利ゆりか

研修受講実績

研修名	開催地	実施年月日	参加者
給食施設研修会	中部保健所	2015 年 6 月 9 日	久場徳子、真栄城ゆかり
沖縄臨床栄養懇話会	国立劇場おきなわ	2015 年 6 月 20 日	當間結子
沖縄県糖尿病学術講演会	沖縄県立博物館	2015 年 6 月 20 日	當間結子
糖尿病療養部会総会	ヤクルト会館	2015 年 6 月 13 日	當間結子
ＮＳＴ学術講演会	那覇市立病院	2015 年 6 月 26 日	久場徳子
糖尿病に関わる医療スタッフの為の研修会	浦添市てだこホール	2015 年 8 月 19 日	高屋美希
糖尿病看護実践力開発セミナー in 沖縄	沖縄県看護協会	2015 年 8 月 22 日	久場徳子
公衆衛生講習会	沖縄産業支援センター	2015 年 9 月 11 日	津嘉山朝子、奥間恵子
介護食調理実演会	ホシザキ沖縄	2015 年 9 月 17 日	花城清次、我部文香
沖縄県の現状を踏まえた糖尿病診療を考える	沖縄県医師会館	2015 年 9 月 19 日	久場徳子
沖縄肝不全研究会	ホテル日航那覇グランドキャッスル	2015 年 9 月 24 日	久場徳子、真栄城ゆかり、棚原佳世
高齢者ソフト食講習会	ホシザキ沖縄	2015 年 10 月 7 日	當間結子
カーボカウントの基礎を学習する	沖縄県栄養士会	2015 年 10 月 16 日	渡真利ゆりか、當間結子
ゼリー食調理セミナー	カエルぴあ那覇	2015 年 10 月 28 日	吉岡綾子
インスリングラルギン発売記念講演会	沖縄県医師会館	2015 年 11 月 17 日	渡真利ゆりか、高屋美希
沖縄県心臓血管リハビリテーション研究会	沖縄県医師会館	2015 年 11 月 30 日	久場徳子
ノロウイルス食中毒の予防と対策講習会	西原町民交流センター	2015 年 12 月 10 日	徳永育枝、多和田美恵子
ＮＫ活性を高める生活習慣と乳酸菌セミナー	ロワジールホテル沖縄	2015 年 12 月 2 日	久場徳子、高屋美希
中城村産業まつり（健康増進委員）	中城吉の浦会館	2015 年 12 月 5.6 日	當間結子
栄養士の歴史と輝く未来への活動	沖縄都ホテル	2016 年 1 月 23 日	渡真利ゆりか
BASIC FIRST AID PROVIDER 講習会	沖縄船員会館	2016 年 2 月 14 日	渡真利ゆりか
糖質制限食について　糖尿病予防推進リーダー研修会	中部保健所	2016 年 2 月 23 日	渡真利ゆりか
糖尿病の治療・看護・指導のための講習会	沖縄県看護協会	2016 年 2 月 27 日	渡真利ゆりか、高屋美希
沖縄ＮＳＴフオーラム	国立劇場おきなわ	2016 年 3 月 12 日	真栄城ゆかり、當間結子

研修名	開催地	実施年月日	参加者
糖尿病療養部会研修会	沖縄県総合福祉センター	2016 年 3 月 15 日	當間結子
医療事業部研修会	ヤクルト会館	2016 年 3 月 20 日	久場徳子、真栄城ゆかり

イベント参加

名称	内容	開催地	発表年月日	参加者
小児糖尿病サマーキャンップ	食事指導	少年自然の家	2015 年 7 月 2 日	當眞
糖尿病週間	食事指導	パレット久茂地	2015 年 11 月 7 日	當眞

実績報告等

平成27年度から質向上を目的に外部から講師を招いてコーチングを実施

2015年11月19日　18:30から

2016年　3月　8日　18:30から
「テーマ」

薬局

薬局長　田中　健嗣

今年は薬剤師 10 名（欠員 7 名）で新年度を迎え、2 名退職したものの産休者の復職や新しい薬剤師の入職により年度内は 10 名を維持する事が出来ました。昨年度に引き続き人員確保のため在職者の母校をはじめ、各大学へ積極的な PR 活動をしています。また、少人数で運用ができる様に、業務内容の見直しを行い、事務作業や薬剤師業務の移行、薬局内の確認作業の簡略化、日常業務の簡素化を図りました。

職員数

総数

17 名

職種別

薬剤師　　10 名

薬局助手　　4 名

看護師　　1 名

一般事務　2 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
田中　泉	認定実務実習指導薬剤師
大関秀和	認定実務実習指導薬剤師

氏名	認定・資格名
義田育美	NST 専門療法士
知念尚恵	糖尿病療養指導士

理念

- 私たちは心と心を結ぶ信頼される医療を目指します。
- 患者さんが喜ぶ医療を目指します。

運営方針

- 全ての入院患者さんの状況把握と関与
- 医薬品の適正使用
- 「より安全な薬物療法」と「より質の高い薬物療法」

活動実績

講師・発表実績

内容	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
演者	沖縄県薬剤師学術大会	沖縄県	2015 年 11 月 11 日	仲原大介
講師	フィジカルアセスメント研修会	沖縄県	2015 年 5 月～ 2016 年 3 月	大関秀和
講師	沖縄県緩和ケア研修	沖縄県	2014 年 8 月 2 日～ 3 日	田中健嗣

平成 27 年度計画及び実績

計画	目標	実績
薬剤管理指導	月間 500 件 年間 6,000 件	240 件 2,880 件
DI ニュース・情報配信		DI ニュース :5 報 薬事審議結果 :8 報 薬剤切り替え :57 報 名称変更 :2 報 厚労省通知 :2 報 メーカーの通知 :15 報 その他 :17 報
薬剤師	23 名体制	10 名 /17 名枠
学会参加	9 件	沖縄県薬剤師学術大会
学会発表	3 題	沖縄県薬剤師学術大会
薬剤師病棟配置		複数病棟を兼任で配置（未算定）
スタッフ育成・ 認定専門薬剤師育成		フィジカルアセスメント研修会へ参加しインストラクターを育成
実習・研修（専門病院派遣）		■薬局内勉強会　90 件 ■県内勉強会　40 件 ■県外講演会 治験事務局 日本緩和医療薬学会 ＰＭ研究会 九州大腸がんセミナーなど　10 件

その他の実績

- 薬局専属看護師の雇用
- 水剤台の買い換え（補修部品の製造中止に伴い）
- 錠剤台の一部買い換え（管理薬剤（毒薬）の増加に伴い）
- 内服処方箋・薬袋発行機の買い換え（経年劣化に伴い故障が頻発したため）
- 麻薬薬管理記録簿の電子化
- 治験管理事務局の設置・強化（事務局員の固定化）
- 透析処方を院外処方への切り替え開始（平成 28 年 8 月頃全面切り替え予定）
- アンプルピッカーの導入準備（看護部への説明準備・資料作成）
- がん認定薬剤師、認定取得へ向けての活動（単位取得・学会登録）
- 薬局 SE を固定化（正社員化）
- 部署ストックのバーコード発注を全部署に拡大
- 助手人員枠の増員

リハビリテーション科

リハビリテーション科療法士長　玉城　義彦

現在、当院リハビリテーション科は、脳血管疾患リハⅠ、運動器疾患リハⅠ、呼吸器疾患リハⅠ、がんのリハⅠ、心大血管リハⅠの 5 つの疾患別リハビリの施設基準が認可されています。

この 2 年間で、がんのリハ研修修了者の増員を行い体制の強化を図り、現在は心大血管リハの体制強化のため、心臓リハビリ指導士の育成に取り組んでいます。また、リハビリテーション科内の勉強会に加え、様々な診療科の医師をはじめ、看護師や技師を招いて行う勉強会の回数も増やしました。知識や技術の向上に留まらず、各職種間のスムースな連携に繋がってきています。

平成 28 年度も引き続き、専門療法士育成等の推進、各職種間の連携の推進に取り組み、救急及び急性期リハビリの充実、拡充に向けて取り組んでいきます。

職員数

総数

27 名（助手 1 名含む）

職種別

理学療法士	15 名（育休職員含む）	言語聴覚士	5 名
作業療法士	6 名	助手	1 名

認定・資格

理学療法士	
氏名	資格・認定資格
玉城　義彦	介護支援専門員 地域包括ケア推進リーダー （日本理学療法士協会認定） 介護予防推進リーダー （日本理学療法士協会認定）
新垣　健	がんのリハビリテーション研修終了
神里　祥子	がんのリハビリテーション研修終了
玉栄　優子	がんのリハビリテーション研修終了
金城　勝一朗	がんのリハビリテーション研修終了
波平　静香	呼吸療法認定士
狩俣　貴康	呼吸療法認定士
福地　美香	呼吸療法認定士

理学療法士	
氏名	資格・認定資格
弘岡　亮	心臓リハビリテーション指導士
作業療法士	
氏名	資格・認定資格
栄野比　智也	がんのリハビリテーション研修終了
富永　涼子	がんのリハビリテーション研修終了
宮城　奈津希	がんのリハビリテーション研修終了 呼吸療法認定士
言語聴覚士	
氏名	資格・認定資格
大城　盛彦	がんのリハビリテーション研修終了
松川　玲子	高次脳機能障害認定言語聴覚士 （日本言語聴覚士会認定）

理念

患者さんの目標（家庭復帰等）に向かって、機能的予後予測に即した、リハビリテーション全体をマネージメントする。

運営方針

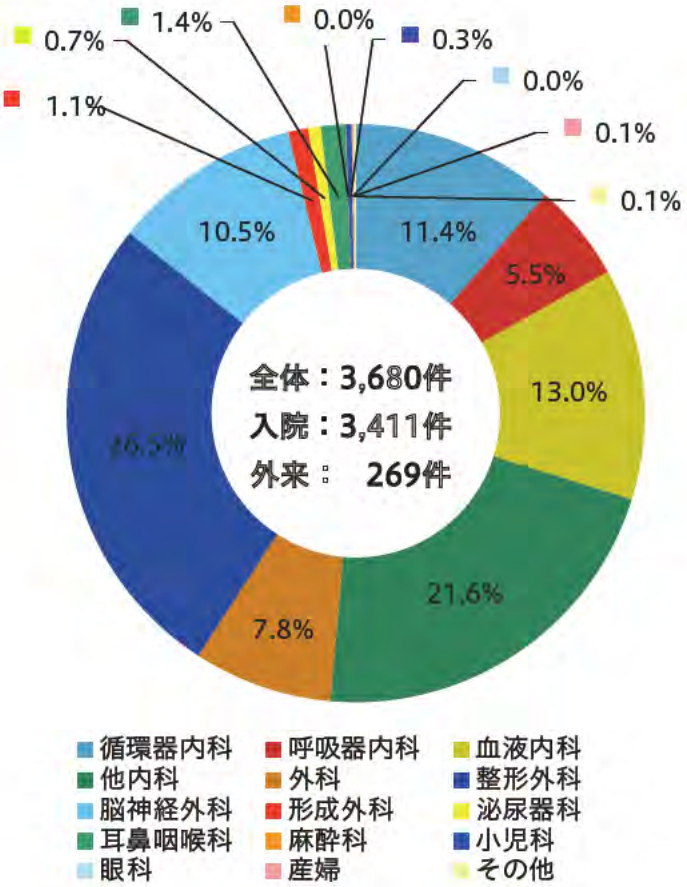
急性期病院におけるリハビリテーションを担い、その役割を明確にし、実践する。

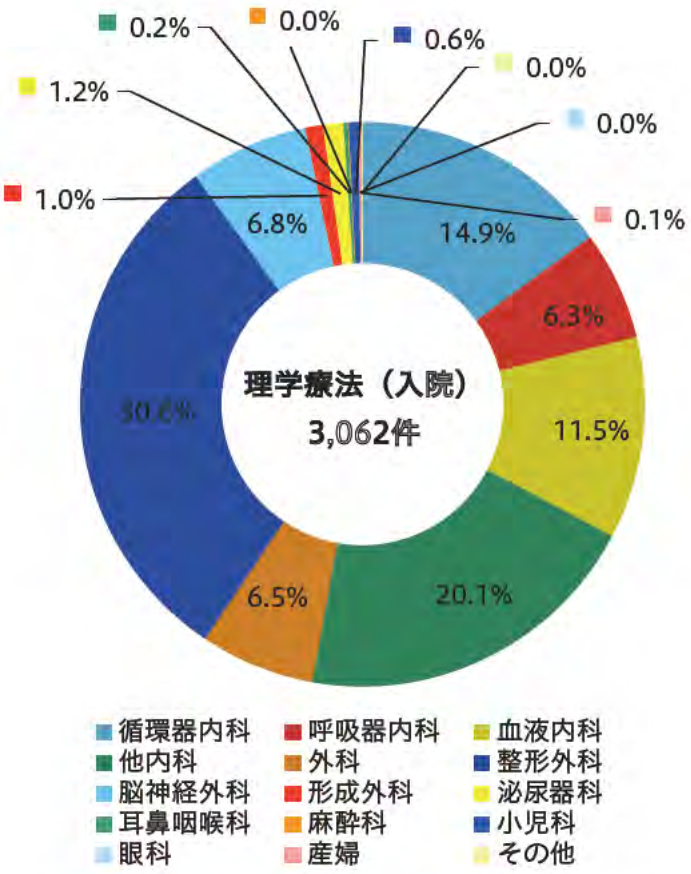
院内外の関連職種間とのコミュニケーションや連携の強化を図る。

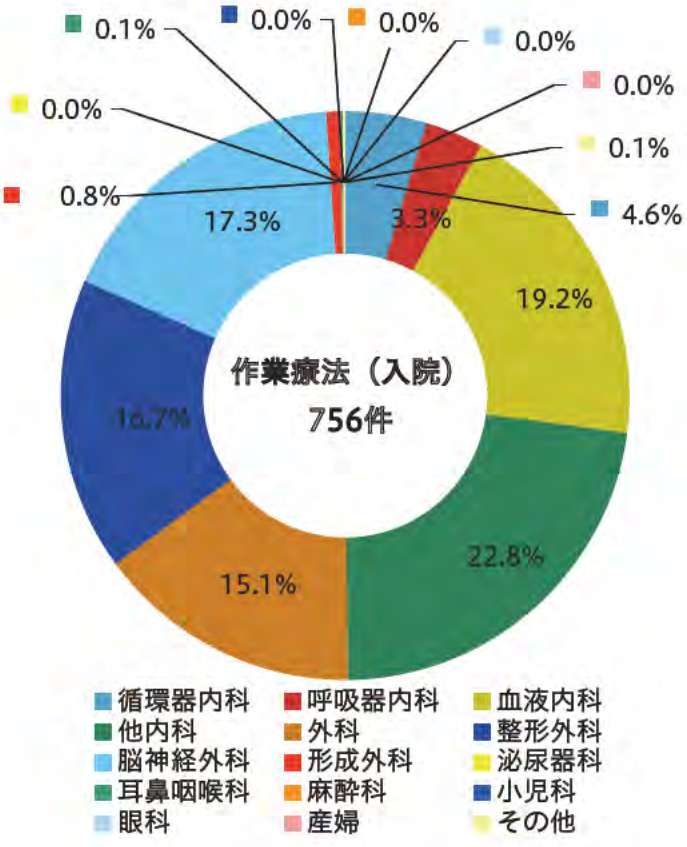
部及び個々の診療技術の向上を目指す

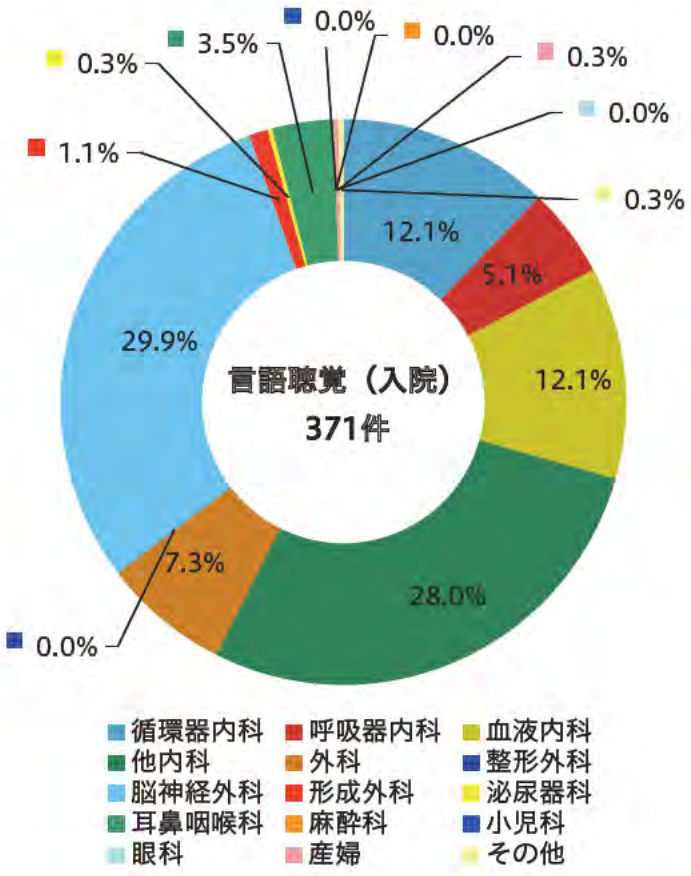
検査・治療実績

診療科別リハビリテーション処方状況

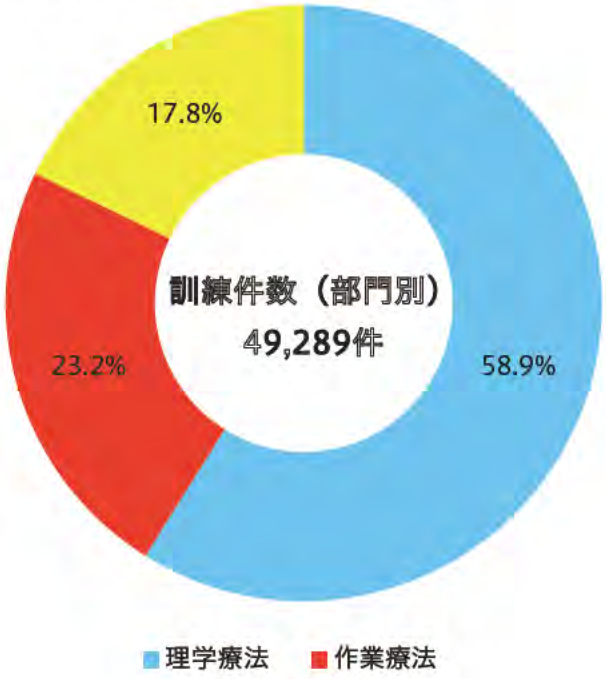


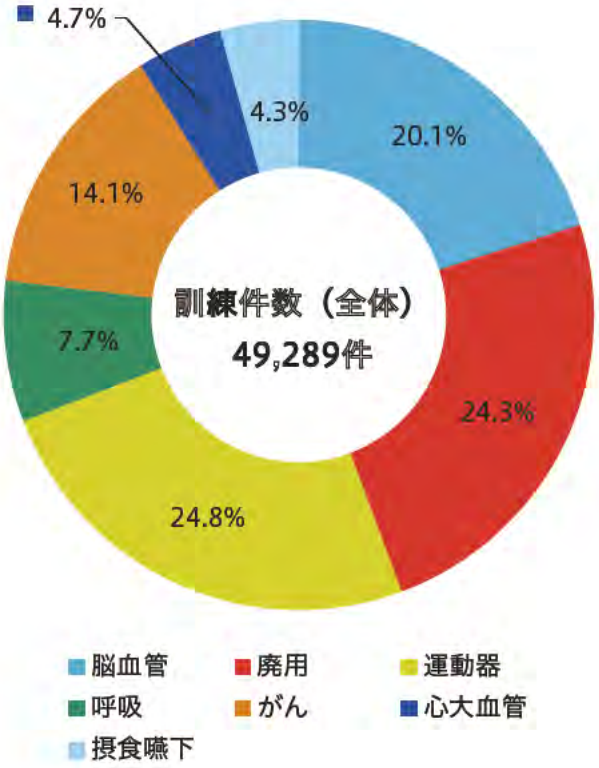




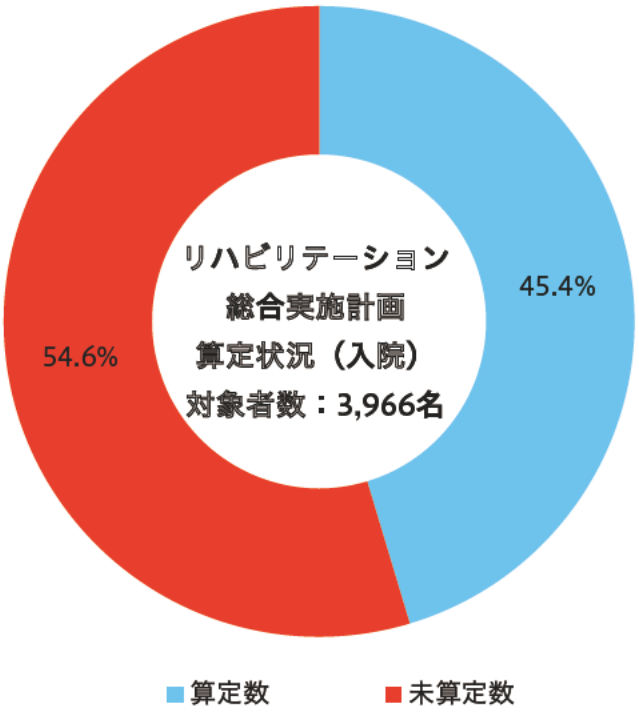


疾患別リハビリテーション実施状況





リハビリテーション総合実施計画



算定状況	
対象新患数	3,966
算定数	1,799
未算定数	2,167
算定率	45.4%
未算定率	54.6%
算定点数	539,700
未算定点数	650,100

活動実績

院内外活動

	名称	開催地	年月日	氏名
院外	がんのリハビリテーション研修会 / ファシリテーター	沖縄県	平成 27 年 11 月 28 日～29 日	大城盛彦
	沖縄県作業療法士学会 / 座長	金武町（琉球リハ）	平成 28 年 1 月 24 日	栄野比智也 大見謝勝人
	沖縄県理学療法学術大会 / ランチョンセミナー講師	豊見城市(中央公民館)	平成 28 年 2 月 21 日	玉城義彦
院内	名称	開催地	年月日	氏名
	新人看護研修会（口腔ケア）/ 講師	ハートライフ病院	平成 27 年 4 月	富田美智代
	領域別看護勉強会（呼吸リハについて）/ 講師	ハートライフ病院	平成 27 年 8 月 19 日	狩俣貴康
	緩和ケア委員会勉強会（がんのリハビリ）/ 講師	ハートライフ病院	平成 27 年 11 月 11 日	玉榮優子
	領域別看護勉強会（呼吸リハについて）/ 講師	ハートライフ病院	平成 27 年 11 月 20 日	狩俣貴康
	領域別看護勉強会（心リハでの運動）/ 講師	ハートライフ病院	平成 27 年 11 月	弘岡亮

実績報告資料等

平成27年度　目標達成状況①

◎ 実績の把握・分析の活用、施設基準・人員に見合う実績の評価を行い業務改善や増員の必要性の検討を行う

○作業療法士定員１名増員
→ 6名⇒7名

○がん研修セラピスト8名維持

○呼吸療法認定士1名増
→ 3名⇒4名：PT3名　OT1名

○心臓ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ指導士1名維持
→ 体制安定のため数名育成中

○老朽化治療機器更新プラン検討
→ 超音波治療器更新済　重錘バンド更新済

平成27年度　目標達成状況②

◎ 各病棟との連携充実のため

①カンファレンス（症例検討会等）の継続と質的向上
→ 各病棟でのカンファレンス実施継続
ICUでの呼吸挿管カンファレンス不定期開催。

②ケースワーカーとの連携充実とスムーズな退院・転院への取り組み
→ リハ実施日数の短縮横這い → スムースな転・退院推進

③回診等へ参加し医師との連携を強める
（早期開始・経過報告・リハ実施患者の確保等）
→ 整形外科、脳外科、外科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科
回診へ参加継続。
リハ処方数の増加継続 → リハ必要性の認識定着
入院日からリハ開始の日数短縮横這い → 早期リハの推進

平成27年度　目標達成状況③

◎ 未請求算定項目の改善

④ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ総合計画料の60%以上算定可能なシステムの構築
→ 未達成！　取り組み継続中
リハビリ総合実施計画料について、電子カルテ利用し看護師、相談員、リハスタッフがそれぞれ担当項目を決め入力継続中
※算定率　42% → 45%　2%増加（全ﾘﾊ登録患者対象）

⑤初期加算（14日以内）及び外来管理加算が算定可能な診療体制構築
→ 未達成！　取り組み継続中
医師体制が、人件費や採算性の課題で未構築

⑥各指導料算定の強化
→ 各指導料についてはその都度算定実施中

平成27年度　目標達成状況④

◎ 医療の質の向上のため

⑦病院機能評価に準じたシステムの構築
→ マニュアルの電子化実施（案２ﾗｲﾌﾞﾗﾘｰ）、改定作業継続
備品、物品の整理整頓 → 備品の確認と管理実施継続
回診やカンファレンスなど病棟との連携推進会議継続
リハスタッフに加え、医師、病棟と連携しての勉強会継続

課　題

◎ リハビリテーション専門医師の確保
（病院機能評価、監査・返還、指導に耐えうる体制）

◎ 未請求算定項目　リハビリテーション実施計画料等）

◎ セラピスト適正人員の分析、増員の必要性の検討
（産・育休、介護施設開院に伴う補充等の必要性）

◎ 専門性の獲得　（各種認定・専門セラピスト）

◎ 研修・講習会への参加、学会発表　（部費：研修費予算の制限）

◎ 病棟担当の検討　（各病棟にあわせた連携の獲得）

◎ 請求（単位）制限と影響因子
回診、委員会活動、患者予定の変更（遅刻・検査・体調不良等）
診療報酬改定後の減額報酬の対策

◎ リハビリテーション機器の老朽化と更新

◎ 増築に伴うリハビリテーション訓練室移動への対策

平成28年度　目　標

◎ 実績の把握・分析の活用、施設基準・人員に見合う実績の評価を行い業務改善や増員の必要性の検討を行う

◎ 各病棟との連携充実のため
①カンファレンス（症例検討会等）の継続と質的向上
②ケースワーカーとの連携充実とスムーズな退院・転院への取り組み
③回診等へ参加し医師との連携を強める
（早期開始・経過報告・リハ実施患者の確保等）

◎ 未請求減額算定項目の改善
④ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ総合計画料の60%以上算定可能なシステムの構築
⑤初期加算（14日以内）及び外来管理加算が算定可能な診療体制構築
⑥各指導料算定の強化

◎ 医療の質の向上のため
⑦病院機能評価改善指摘項目の改善計画と実践
⑧老朽化したリハビリテーション機器の計画的更新

◎ リハビリテーション訓練室移動に向けての計画策定

医療技術部　年度総括

医療技術部部長
宮城　竜也

平成 27 年度は 3 年前から取り組んできた学会発表、個人のスキルアップ、人材確保等の成果が少しずつ実現できた年になりました。学会発表では臨床工学科を始め放射線科でも県内外での発表が多くみられました。

細胞検査士の県外派遣も承認され次年度には細胞検査士が誕生する予定です。また、細胞検査士を取得した検査技師は県内には少なく厳しい状態にありましたが、平成 27 年度暮れに 1 名の新卒者の細胞検査士が採用されました。将来は細胞検査士を 5 名体制にする予定です。

心臓リハビリテーション指導士取得に関しては 2 年前から取り組んでおり平成 29 年度の取得に向けて進んでいます。

各科の人材不足は解消されてきていますが、薬剤師の確保が未だに難しく大学訪問を続けています。昨年は新卒 1 名・県内から経験者が 1 名採用され、育休中の 1 名が復帰しました。次年度には 1 名の新卒者の採用が決定し、育休中の 1 名も復帰予定です。今後も定員の 17 名確保に向けて進めていきます。

医療技術部の講演会も数回開催し各科の交流を含めた活動を行いました。

サブリーダー会が発足し数年が経過しましたが、次の世代を担うリーダーの養成機関として機能しています。新しい成果としてはハートライフ病院のホームページにコメディカルのブログを立ち上げ、各科もち回りで色々な出来事を投稿しています。

個人のスキルアップに関しては積極的に病院がサポートしてくれていて多くの研修会や講習会へ参加しています。

平成 28 年度は新館の建設に伴い新規の医療機器の購入をはじめ、人員配置やスタッフ確保に向けて各科で取り組んでいきたいと思います。

事務部

部門紹介

事務部は総務課、経理課、請求業務課、管財課、診療情報管理室、経営企画室、地域医療連携室の 7 部署で構成されており、164 名の職員が所属しています。

職員数

総数

164 名

職種別

一般事務	122 名	施設技術者	5 名
診療情報管理士	4 名	調理師（収益部門）	3 名
医療ソーシャルワーカー	6 名	その他	24 名

各部署概要・実績

総務課

総務課課長　吉川　忍

職員数

総数

25 名

職種別

一般事務	10 名	患者送迎サービス係	8 名
秘書	5 名	司書	1 名
警備員	1 名		

運営方針

事務処理の迅速化を図る

各部署に対する支援強化を図る

職場環境の整備に努める

ワークライフバランスの推進

活動実績

院内行事運営など

年月日	名称
2015 年 4 月 1 日	入職式・新入職員オリエンテーション（1 日目）
〃	新入職者歓迎会
〃	春季 職員健診（35 歳未満：4/1 ～ 11、35 歳以上：4/1 ～ 30）
2015 年 4 月 2 日	新入職員オリエンテーション（2 日目）
2015 年 4 月 27 日	院内合同慰霊祭
2015 年 6 月 27 日	「住宅型有料老人ホームはーとらいふ」「デイサービスはーとらいふ」開設祝賀会及び内覧会
2015 年 7 月 23 日	院内献血
2015 年 8 月 22 日	ハートライフ病院 開院２７周年
2015 年 11 月 27 日	医療監視（中部保健所による立入検査）
2015 年 12 月 26 日	本院増改築工事起工式
2015 年 12 月 30 日	御用納め 納会
2016 年 1 月 4 日	仕事始め
2016 年 1 月 8 日	新春もちつき大会
2016 年 1 月 27 日	院内献血

経理課

事務副部長　比嘉　靖

職員数

総数

3 名

職種別

一般事務　3 名

運営方針

1. 経理・財務内容の的確な開示を行い、経営実態の理解を図る。
2. 正確且つ迅速に経理に関する経営資料を作成する。
3. 各部門予算執行状況の把握。
4. 経理予算業務のマニュアル化を図る。

年度目標

1. 更なる業務の効率化
2. 課内業務のローテート
3. 経費削減に向けた積極的な提案
4. 新経理システムを活用した、迅速な財務報告資料の作成

活動実績

研修・セミナー参加等

日時	名称
7 月	マイナンバー制度について
8 月	土地の購入、借地権に係る会計処理・税務の問題について
9 月	リース会計について
10 月	介護施設の消費税について
11 月	国外居住親族の扶養控除改正について
	ストレスチェックについて
12 月	H28 税制改正について
1 月	社会医療法人の治験収益について

管財課

課長　宮里　毅

管財課用度係

職員数

総数

5 名

職種別

一般事務　5 名

運営方針

物品の安全供給

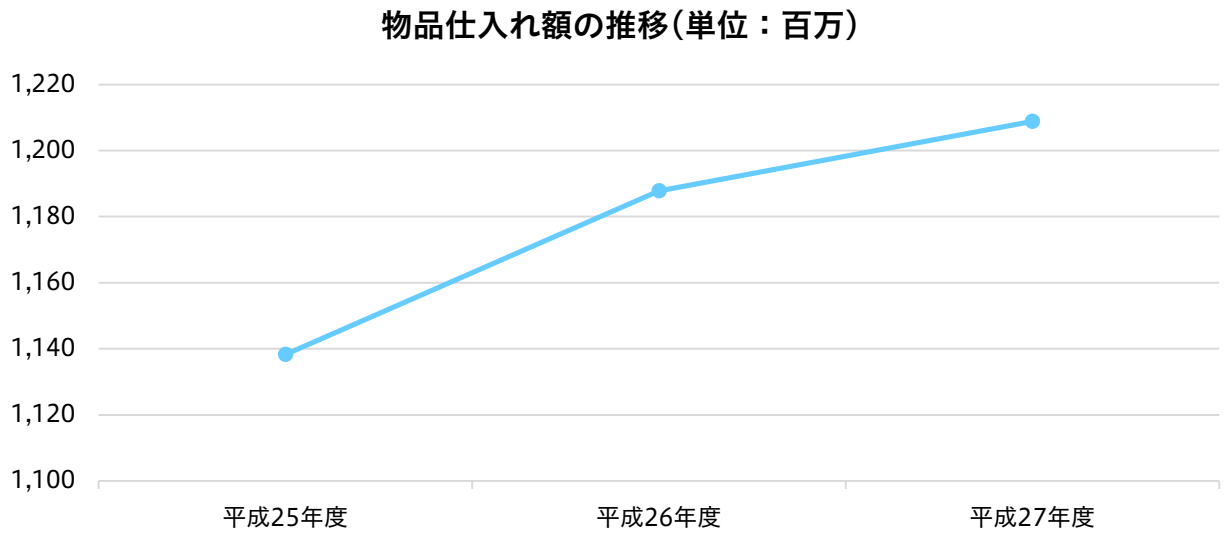
物品の管理（在庫・定数管理）の強化

課員の教育

理念

患者の安心・安全のため、部署として、病院職員として出来る最善の策（行為）を日々、研究・実践する。

用度係実績



平成 27 年度目標の達成度

項目
①用度係物品倉庫の整理と不要在庫の整理
②クリニックと地域包括支援センター物品管理の強化
③医療機器の資産管理運用の検討（廃棄処分などの管理）
④用度職員増員と業務拡充の検討

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	年月日	参加者
診療情報管理士資格受験	2016 年 2 月	諸見里副主任

管財課施設管理係

職員数

総数

5 名

職種別

施設技術者　5 名

認定・資格

認定・資格名	人数
第 3 種電気主任技術者	2
第 1 種電気工事士	2
第 2 種電気工事士	5
2 級ボイラー技士	5
危険物取扱者 乙種 4 類	5
消防設備士乙 4 類	3
消防設備士甲種 1 類	2

認定・資格名	人数
1 級電気工事施工管理技士	1
消防設備士甲種 2 ～ 7 類、特類	1
2 級管工事施工管理技士	1
第二種冷凍機械	2
2 級土木施工管理士	1

運営方針

安全管理と節電に努める

理念

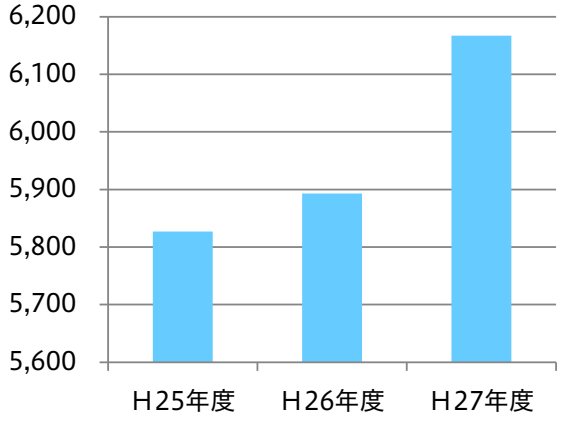
関係法令等を遵守し、建築物の設備及びその環境を常に最良の状態に維持するとともに、事故を防止し更に予防保全的業務を実施することにより耐用年数の延長を図り、省エネルギーの達成に務める。

業務実績

ハートライフ病院

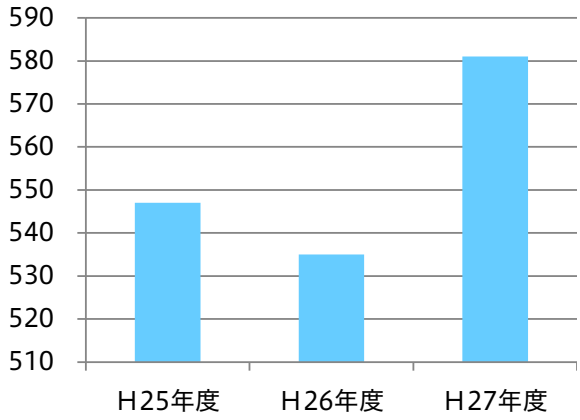
総電力量　（単位：千ｋｗｈ）

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
総電力量	5,827	5,893	6,167
対前年比	3.0%減	1.1%増	4.6%増



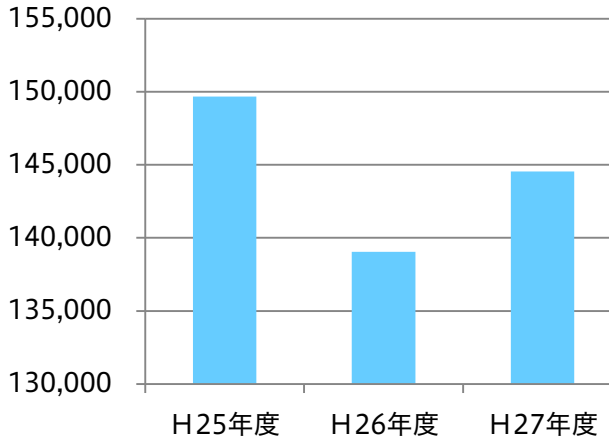
蓄熱電力量　（単位：千ｋｗｈ）

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
蓄熱電力量	547	535	581
対前年比	13.4%減	2.2%減	8.5%増



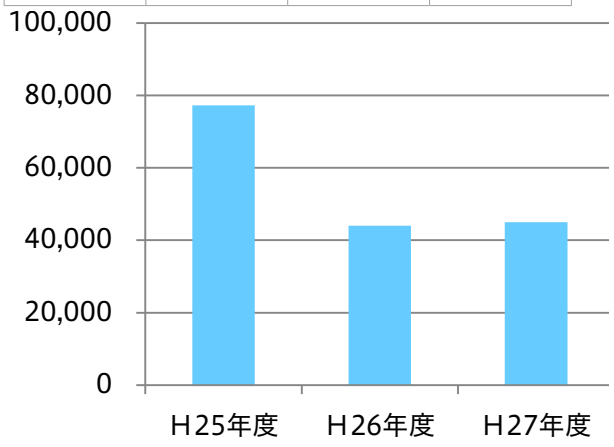
A重油使用量 (ボイラ) （単位：ℓ）

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
A重油使用量 (ボイラ)	149,664	139,058	144,553
対前年比	0.1%増	7.0%減	3.9%増



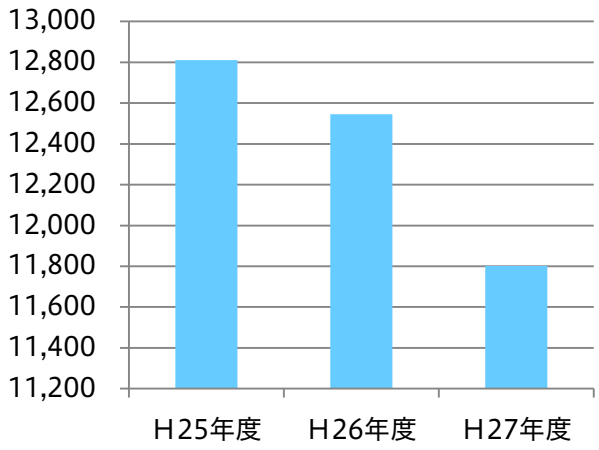
A重油使用量（常用発電機）（単位：ℓ）

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
A重油使用量 (常用発電機)	77,225	44,029	44,975
対前年比	33%増	43%減	2.1%増



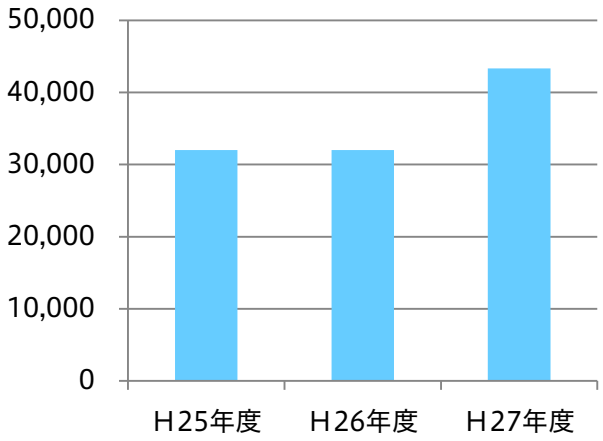
ＬＰＧ使用量（厨房）（単位：㎥）

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
ＬＰＧ使用量 (厨房)	12,810	12,545	11,802
対前年比	1.1%減	2.1%減	6.0%減



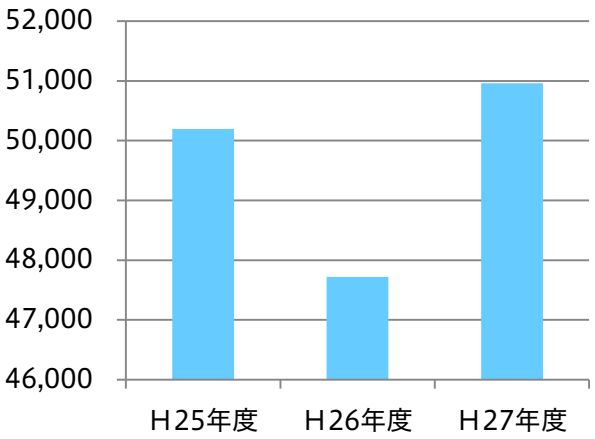
ＬＰＧ使用量（吸収式冷凍機）（単位：㎥）

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
ＬＰＧ使用量 (吸収式冷凍機)	32,025	32,033	43,341
対前年比	1.0%増	0.02%増	35%増



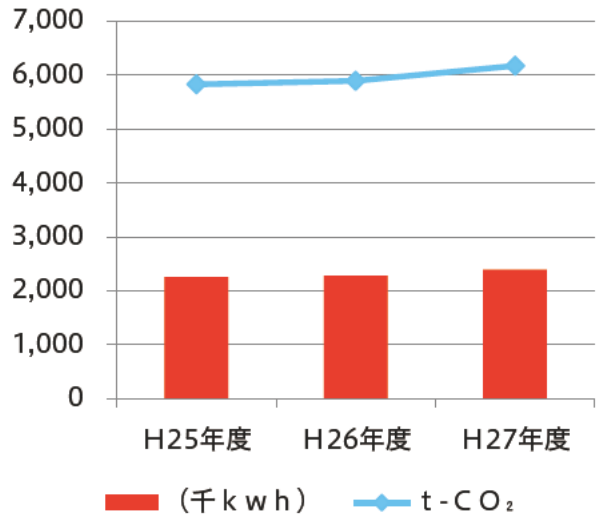
上水道使用量（単位：㎥）

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
上水道使用量	50,195	47,717	50,960
対前年比	0.7%増	5.0%減	6.8%増



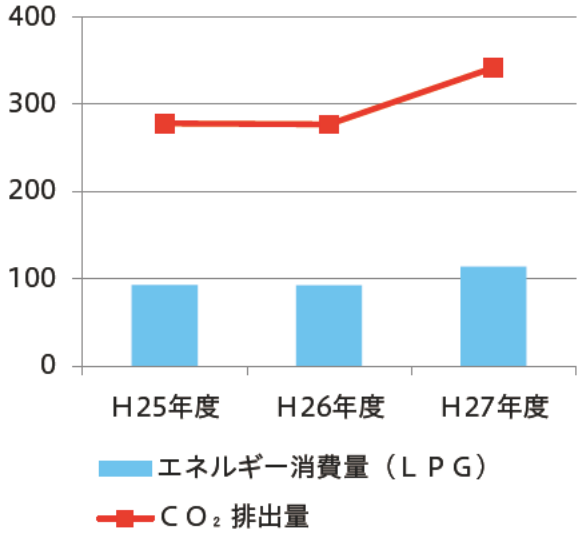
エネルギー消費量（電力）・CO_2排出量

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
エネルギー消費量（電力）	5,827	5,893	6,167
CO_2排出量（t-CO_2）	2,255	2,280	2,387



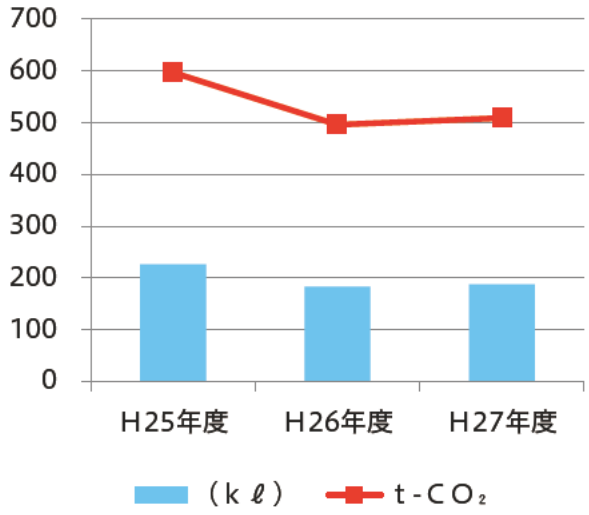
エネルギー消費量（ＬＰＧ）・CO_2排出量

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
エネルギー消費量（ＬＰＧ）	92.8	92.3	114.1
CO_2排出量（t-CO_2）	278	277	342



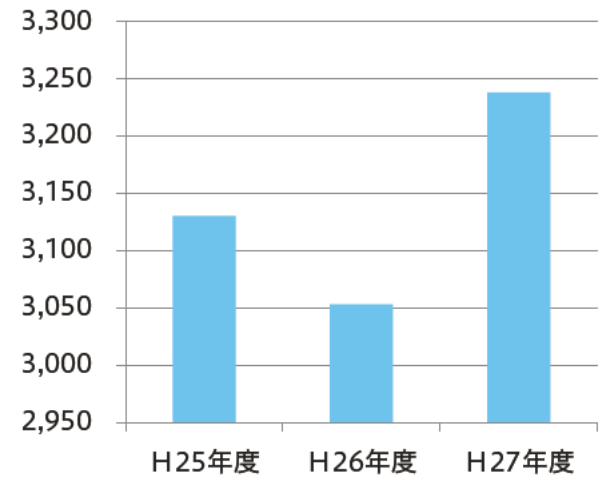
エネルギー消費量（Ａ重油）・CO_2 排出量

	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
エネルギー消費量（Ａ重油）	226	183	188
CO_2排出量（t-CO_2）	597	496	509



CO_2総排出量（t - CO_2）

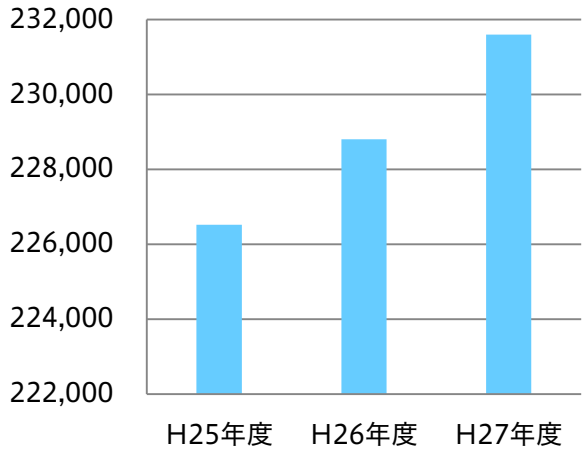
	H 25 年度	H 26 年度	H 27 年度
CO_2 総排出量	3,130	3,053	3,238
対前年比	1.0%減	2.4%減	6.0%減



ハートライフクリニック

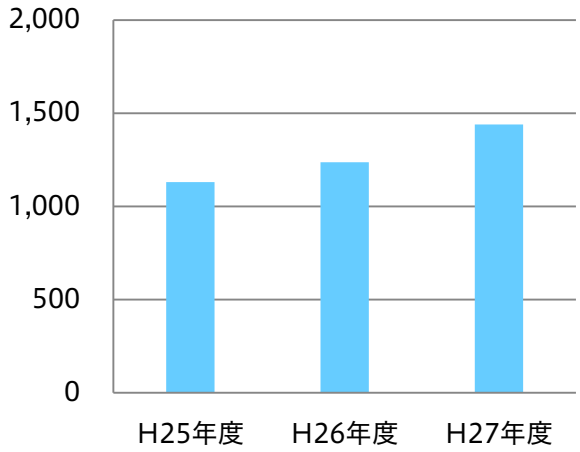
総電力量（単位：ｋｗｈ）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
総電力量	226,519	228,800	231,599
対前年比	7.3%増	1.0%増	1.2%増



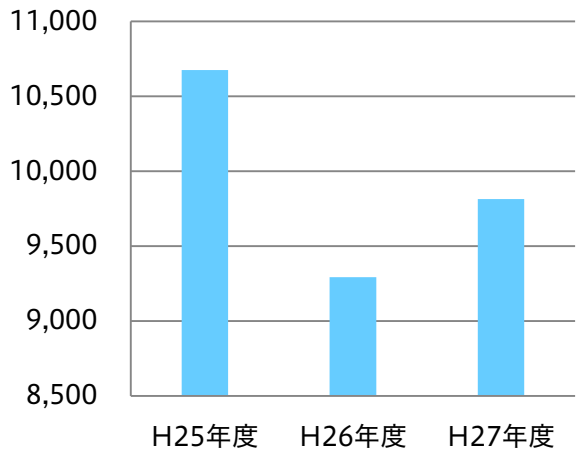
上水道使用量（単位：㎥）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
上水道使用量	1,130	1,237	1,440
対前年比	7.9%増	9.5%増	16.4%増



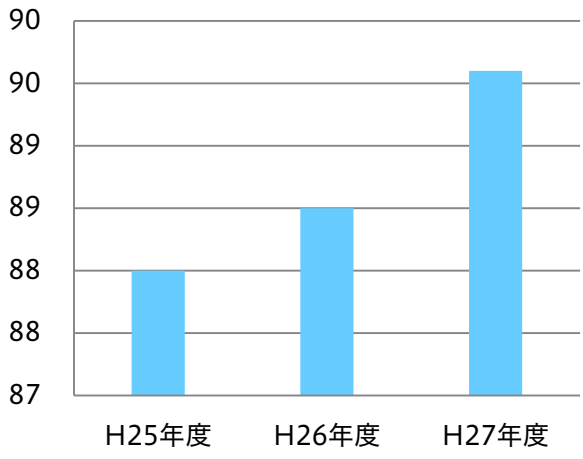
LPG 使用量（単位：㎥）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
LPG 使用量	10,675	9,293	9,815
対前年比	5.5%減	12.9%減	5.6%増



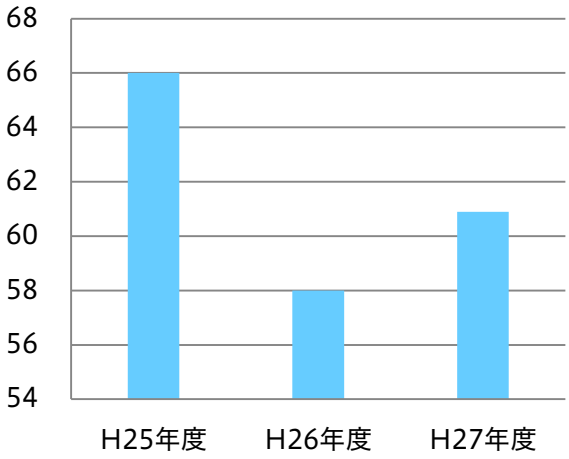
エネルギー消費量（電力）：CO ₂ 排出量（ｔ）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
エネルギー消費量（電力）	88	89	90
対前年比	7.3%増	1.1%増	1.1%増



エネルギー消費量（LPG）：CO_2排出量（t）

	H25 年度	H26 年度	H27 年度
エネルギー消費量（LPG）	66	58	61
対前年比	5.7%減	12.1%減	5.1%増



活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	氏名
電気設備保安講習会	福岡市	2016 年 6 月 17 日、18 日	具志堅徳明
医療ガス安全勉強会	当　院	2016 年 7 月 7 日	具志堅徳明
医療ガス保安講習	那覇市	2016 年 7 月 17 日	宜保　卓
危険物取扱者講習会	沖縄市	2016 年 9 月 3 日	比屋根　斉
省エネ使用合理化シンポジウム	那覇市	2016 年 2 月 5 日	具志堅徳明
労働安全特別教育講習会・(電気高圧)	福岡市	2016 年 2 月 17 日、18 日	比屋根　宗

防災訓練

名称	開催地	年月日	氏名
新入職員向け消防訓練	当院	平成 27 年 4 月 1 日	比屋根　斉
消防総合訓練	クリニック	平成 27 年 9 月 3 日	比屋根　斉
消防総合訓練	当院	平成 27 年 9 月 25 日	比屋根　斉

電気、水道、消防、建築、医療ガス等、各設備法定点検・検査及び定期自主点検の実施

2015 年	4 月	消防訓練・エレベーター点検・浄化槽設備点検・常用発電機点検
		第一種圧力容器検査・
	5 月	簡易専用水道検査（本院・クリニック）・エレベーター点検
		浄化槽設備点検・常用発電機点検・温水ボイラーばい煙測定
	6 月	消防設備点検・衛生害虫防除（厨房・病棟）・エレベーター点検
		浄化槽設備点検・常用発電機点検・電話交換機取替工事
	7 月	特殊建築物・設備点検検査・エレベーター点検
		浄化槽設備点検・常用発電機点検・消防訓練
	8 月	消防設備点検（クリニック）・院内フィルター、換気扇清掃
		第一種圧力容器検査・エレベーター点検・浄化槽設備点検
	9 月	衛生害虫防除（厨房）・医療ガス設備保守点検・エレベーター点検
		浄化槽設備点検・常用発電機点検
	10 月	受変電設備精密点検・エレベーター点検・浄化槽設備点検
		常用発電機点検
	11 月	消防設備点検・上水道タンク清掃・エレベーター点検
		浄化槽設備点検・常用発電機点検
	12 月	衛生害虫防除（厨房・病棟）・エレベーター点検・浄化槽設備点検
		衛生害虫防除（老人ホーム）
2016 年	1 月	防火・防災対象物点検・エレベーター点検・浄化槽設備点検
		常用発電機点検
	2 月	非常用発電設備点検・エレベーター点検・浄化槽設備点検
		常用発電機点検
	3 月	衛生害虫防除（厨房）・エレベーター点検・浄化槽設備点検

診療情報管理室

診療情報管理室課長　柳　学

職員数

総数

9 名

職種別

診療情報管理士　7 名

一般事務　2 名

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	7

事業計画・評価

項目	概要	達成率	評価
業務(収入)計画	○　DPCの機能評価係数Ⅱアップに向けて。 ○　病院指標の作成と公開他	80%	機能評価係数Ⅱは合計で、0.00269アップした。(保険診療係数▲0.00001、効率性係数+0.00133、複雑性係数+0.00095、カバー率係数▲0.00011、救急医療係数+0.00062、地域医療係数+0.00173、後発医薬品係数▲0.00182)
	○ 診療録の監査(量的・質的)の実施の継続及び内容の充実を図る。	80%	診療録管理委員会にて2か月に1回、ランダムに1診療科から1冊、診療録を抽出し監査を実施し継続している。今後内容の充実を図りたい。
	○ 診療・研究・経営に役立つ統計・分析資料の作成 ○ 診療データ分析及び院内へのフィードバック ○「MEDI-ARROWS」のさらなる活用の拡充	50%	ほとんどが依頼があってからの統計・分析資料の作成となっている。定型・定例の報告や診療情報管理室からの積極的なデータ提供がまだまだ不十分。
	○ データ精度向上への取組み	0%	業務、チェック体制の見直し等の課題あり。各担当のスキルアップも図る。
	○ カルテ廃棄の作業。(保管スペースの確保)	0%	H14・H15・16年死亡カルテの廃棄が未。(保管スペースの確保未)
	○ 整理・整頓	50%	
要員計画	○ 契約職員2名の資格取得後の正職員へ起用	100%	契約職員2名、診療情報管理士の試験合格で正規職員へ。
教育研修計画	○ 平成27年度「第23回院内研究発表会」へ演題発表	50%	事務部予選会へ1題発表、本選出場ならず。
	○ 沖縄県診療情報管理研究会定例勉強会(毎月)への参加及び発表	0%	本年度は、沖縄県診療情報管理研究会の活動がなかった。
	○ 平成27年度「沖縄県診療情報管理研究会主催セミナー」での発表	0%	未開催。
	○ 沖縄県がん診療連携協議会がん登録部会主催の院内がん登録研修会への参加(年4回)	100%	がん登録担当者は全て参加。(年２回)
	○ DPC夏季セミナーへの参加	0%	参加出来ず。
	○ その他のDPCに関連する研修会等への参加	80%	県内でいくつかの研修会へ参加。
	○ ITスキルの向上(Excel・Access・FileMaker・QlikView・GIS分析等)	20%	Excelの勉強会のみ。
	○請求業務課入院係りの各病棟担当勉強会へ診療情報管理室からも参加	20%	７階病棟(呼吸器内科)への参加。
	○請求業務課とのExcel等勉強会の継続	80%	毎月第4月曜日に請求業務課、診療情報管理室を対象にExcel等勉強会を開催。
設備計画	○ QlikViewの院内への普及とシステム導入の検討	0%	分析報告等での活用機会を増やし、導入へ向けて努力する。

活動実績

研修・勉強会などへの参加

題名・タイトル	目的	場所	日時	参加者氏名
平成 27 年度第 1 回沖縄県がん診療連携協議会・傍聴	沖縄県の今後のがん対策について最新情報を収集する為	琉球大学医学部附属病院・管理棟 3 階	2015 年 5 月 1 日	宮平奈美子
平成 27 年度第 1 回院内がん登録研修会・参加	学会発表のための基本知識を習得する為	琉球大学医学部附属病院・1 階小講義棟	2015 年 5 月 16 日	宮平奈美子・兼濱亜紀・比嘉貴子・真栄平久美子・大城克枝
第 2 回 MDV 沖縄地区勉強会・参加	「地域医療構想策定ガイドライン」がテーマ、事例発表の公聴とグループディスカッション	ちばなクリニック・ちばなホール	2015 年 5 月 30 日	柳学
平成 27 年度院内がん登録実務 中級認定者研修会	がん登録実務に関わる知識・医術の向上	東京・国立がん研究センター築地キャンパス	2015 年 6 月 1 日	宮平奈美子
医療情報可視化セミナー in 沖縄(アシスト主催)	「医療情報の二次利用の事例紹介」、「病院ビックデータの可視化から何をひきだすか」拝聴	沖縄産業支援センター 3F 会議室	2015 年 10 月 31 日	柳学
院内がん登録実務中級修了者研修	がん主要 5 部位以外の UICTNM 分類などの病期分類のコーディングを行なうことができ、また各種がん取扱い規約の内容も理解できるレベルの実務者の育成	国立がん研究センター	2015 年 8 月 1 日	兼濱亜紀
平成２７年度第 3 回沖縄県がん診療連携協議会・傍聴	沖縄県の今後のがん対策について最新情報を収集する為	琉球大学医学部附属病院・管理棟 3 階	2015 年 11 月 13 日	柳学
第 3 回 MDV 沖縄地区勉強会	「EVE を活用した自院データの分析・改善」事例発表の拝聴、グループディスカッションへの参加	沖縄協同病院　3 階講堂	2015 年 11 月 14 日	柳学
「全国がん登録」施行に向けた説明会（実務担当者対象）	2016 年から「全国がん登録」制度施行される為、今後のがん登録届方法や変更内容の確認	沖縄県庁 4 階	2015 年 12 月 7 日	宮平奈美子・兼濱亜紀
平成 27 年度第 2 回院内がん登録研修会・参加	がん登録実務者のための新標準登録様式について	琉球大学医学部附属病院・1 階小講義棟	2016 年 2 月 10 日	宮平奈美子・兼濱亜紀・雨宮絢
院内がん登録新標準登録様式と運用に関する研修会	2016 年対象症例から適用される、院内がん登録の新しい標準登録様式、標準的な運用に関する情報を周知し、院内がん登録データの質の向上を目的とする	国立がん研究センター・築地キャンパス内	2016 年 3 月 3 日	宮平奈美子
2016 年度診療報酬改定に向けて～病院を中心に～	2016 年度診療報酬改定の情報収集	㈱アトル沖縄ビル 2F 会議室	2016 年 2 月 25 日	柳学
医療経営セミナー～次期改定から読み解く今後の医療機関経営～	2016 年度診療報酬改定の情報収集	㈱琉薬　第一ホール	2016 年 2 月 25 日	柳学
診療報酬改定セミナー 2016 年 4 月診療報酬改定の完全解説とシミュレーション	2016 年度診療報酬改定の情報収集	沖縄県医師会館 3F 大ホール	2016 年 2 月 26 日	柳学
第 9 回全国大会 in 東京　平成２８年度診療報酬改定の全貌～改定のポイントから疑義解釈まで～	平成２８年度診療報酬改定の情報収集と情報交換会参加	東京・東医保健会館	2016 年 3 月 24 日	柳学

院内勉強会

演題名	勉強会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
DPC 制度（DPC/PDPS）の見直しについて	H28 年度診療報酬改定勉強会	当院	2016 年 2 月 2 日	柳　学

請求業務課

請求業務課 課長　宮城　淳

職員数

総数

41 名

職種別

一般事務　41 名（うち診療情報管理士資格取得者　2 名）

認定・資格

認定・資格名	人数
診療情報管理士	2

運営方針

1. 患者さんには（目配り・気配り・誠心誠意）
2. 細分化業務の早期構築　（量から質の人材育成）
3. 請求漏れ発生の防止（診療では補助・保険では本業の心）
4. 新入職員及び職員教育・研修の充実と実施

業務計画

①病院収入の確保とサポート

・減点査定・レセプト返戻の対策と強化

・診療報酬改定の早期対策と強化

・医療保険制度改革の早期対策と強化

・新規施設基準の届け出と強化

②保険請求知識の向上

・請求漏れ防止の対策強化

・職員への指導及び教育。査定・返戻の減少対策及び勉強会

③窓口サービスの強化・患者誤認の防止の徹底

・患者さんへの目配り、気配り

・氏名、生年月日の再確認

活動実績

セミナー・勉強会などへの参加

名称	開催地	年月日	参加者
三水会医事定例勉強会	中部徳洲会	2015 年 5 月 20 日	請求業務課
障害者事業支援ワークショップ（第 2 回）	那覇市	2015 年 6 月 26 日	請求業務課（1 人）
三水会医療講演会	県医師会	2015 年 7 月 13 日	請求業務課
障害者事業支援ワークショップ（第 4 回）	那覇市	2015 年 8 月 7 日	請求業務課（1 人）

名称	開催地	年月日	参加者
障害者事業支援ワークショップ (第 3 回)	那覇市	2015 年 8 月 25 日	請求業務課 (1 人)
三水会医事定例勉強会	中部徳洲会	2015 年 9 月 16 日	請求業務課
医療情報可視化セミナー	那覇市	2015 年 10 月 31 日	請求業務課・診療情報管理室
労災診療費算定実務研修会	県医師会	2015 年 11 月 5 日	請求業務課 (2 人)
結核指定医療機関連絡会議 (公費事務担当)	沖縄市	2015 年 11 月 10 日	請求業務課 (2 人)
三水会医事定例勉強会	中部徳洲会	2015 年 11 月 25 日	請求業務課
SSK セミナー 「2016 年診療報酬改定への対応と対策」	東京都	2016 年 1 月 15 日～ 2016 年 1 月 16 日	請求業務課
北部地区医療連携講演会	名護市	2015 年 12 月 1 日	請求業務課・地域医療連携室
医療経営セミナー (アトル)	与那原町	2016 年 2 月 15 日	請求業務課
医療経営セミナー (三水会)	県医師会	2016 年 2 月 16 日	請求業務課
診療報酬説明会 (全日病)	東京都	2016 年 3 月 14 日	請求業務課
診療報酬説明会 (県医師会)	宜野湾市	2016 年 3 月 17 日	請求業務課
地域医療；連携ウェブ講演会	当院	2016 年 1 月 12 日	請求業務課・地域医療連携室
協会けんぽオンライン資格確認事業説明会	那覇市	2016 年 2 月 15 日	請求業務課 (1 人)

実習生受け入れ

実習校	期間	受入れ人数
那覇日経ビジネス 1 年生企業見学	2015 年 5 月 14 日	6 人
KBC 学園エルケア医療保育専門学校	2015 年 8 月 25 日～ 9 月 12 日	1 人
名桜大学 (診療情報管理室実習)	2015 年 8 月 10 日	1 人
ＩＬＰ御茶ノ水医療福祉専門学校 (診療情報管理室実習)	2016 年 2 月 19 日	1 人

その他

名称	開催地	年月日	参加人数
那覇日経専門学校授業へ講師派遣	那覇市	2015 年 6 月 16 日	1 人

実績報告資料等

総合入院体制加算

【 算定率式 】

$$\frac{D+E+F+G}{A-(B+C)}$$

取り組み状況

H27年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
A 総退院患者数	688	627	686	698	658	701	675	604	687	591	653	696	7,964
B 死亡退院患者数	20	25	25	24	17	24	23	23	17	32	30	30	290
C 化学療法施行患者数	25	28	33	20	25	23	24	21	25	23	22	24	293
D 診療情報提供料1(添付加算)あり患者数	118	117	125	168	138	175	140	141	147	134	152	163	1,718
E 治癒患者数(老人保健施設等含)	101	95	104	92	72	79	77	66	84	74	74	91	1,009
F 連携パス算定患者数	21	13	22	12	18	4	9	13	9	10	14	16	161
G 退院後外来にて情報提供料1(添付加算)算定患者数	19	29	15	31	25	25	19	14	27	25	26	31	286
総合入院体制加算40%以上	40.3%	44.3%	42.4%	46.3%	41.1%	43.3%	39.0%	41.8%	41.4%	45.3%	44.3%	46.9%	43.0%
≪参照≫ H26年度	42.7%	38.7%	41.1%	43.4%	41.8%	44.7%	41.0%	47.0%	46.5%	46.7%	42.4%	41.0%	43.1%

27年度 緊急入院・予定入院・緊急入院(救急医療除く)

平成27年	患者数		患者数		患者数	
月	27年度予定入院	26年度	27年度緊急入院	26年度	27年度A:緊急入院(救急医療入院を除く)	26年度
4月	190	173	308	295	106	100
5月	158	161	318	320	106	99
6月	173	191	286	282	144	118
7月	168	157	254	366	174	101
8月	156	175	141	329	277	82
9月	181	148	140	294	280	105
10月	155	154	125	311	287	96
11月	163	143	102	275	270	98
12月	179	152	109	307	262	90
1月	177	138	122	342	276	94
2月	189	162	121	244	289	90
3月	214	191	185	302	430	94
合計	2103	1945	2211	3667	2901	1167

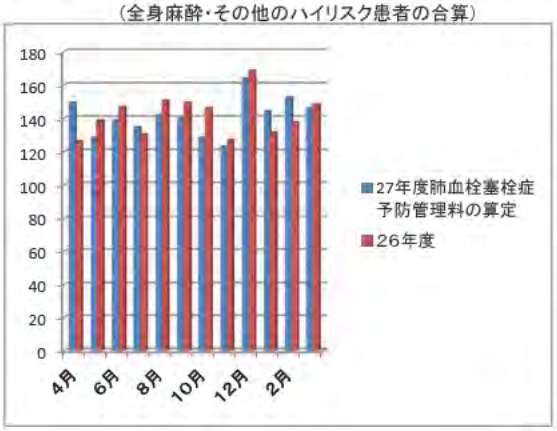
肺血栓塞栓予防管理料の算定状況

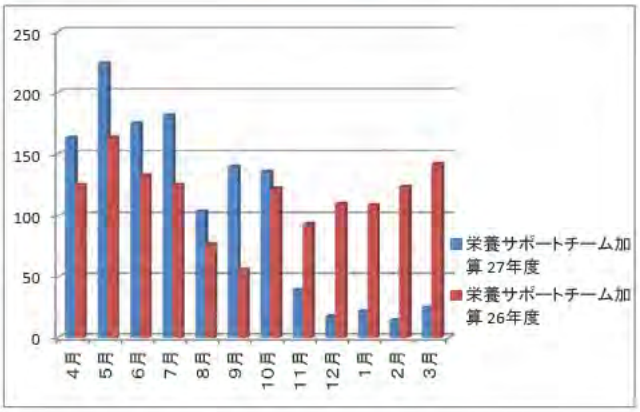
月	27年度肺血栓塞栓症予防管理料の算定	26年度
4月	150	126
5月	129	139
6月	139	147
7月	135	131
8月	142	151
9月	140	150
10月	129	146
11月	123	127
12月	164	169
1月	144	132
2月	153	138
3月	146	149
合計	1694	1705

栄養サポートチーム加算

月	27年度	26年度
4月	164	125
5月	224	164
6月	175	133
7月	182	125
8月	104	77
9月	140	56
10月	136	122
11月	39	93
12月	17	110
1月	22	109
2月	14	123
3月	25	142
合計	1242	1379

(全身麻酔・その他のハイリスク患者の合算)





地域医療連携室

地域医療連携室 主任　砂川　直樹

職員数

総数

14 名

職種別

一般事務	8 名	入退院調整看護師	1 名
医療ソーシャルワーカー	5 名		

認定・資格

認定・資格名	人数
社会福祉士	5

認定・資格名	人数
医療福祉連携士	1

理念

ハートライフ病院地域医療連携室は、「患者さん」を中心として「地域社会・連携先各機関」と「ハートライフ病院」がスムーズに連携出来るように機能することを目的として存在する。

運営方針

①患者さんとそのご家族、連携先各機関の信頼に応える支援を目指す。

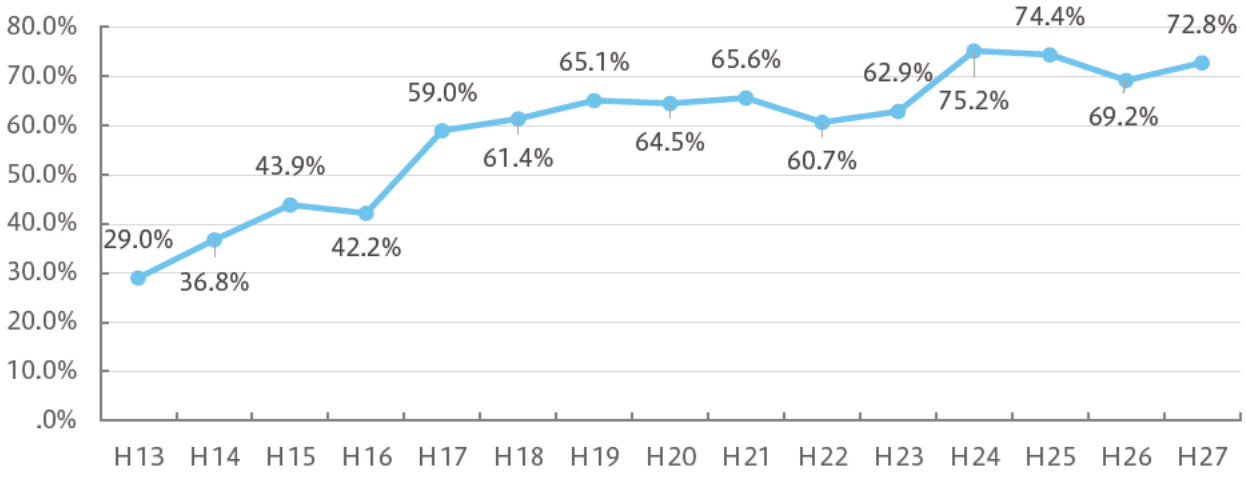
②院内各部署、院外関連機関とのより良い連携体制の構築に努める。

③常に、部署のチーム力と接遇スキルの向上を目指し続ける。

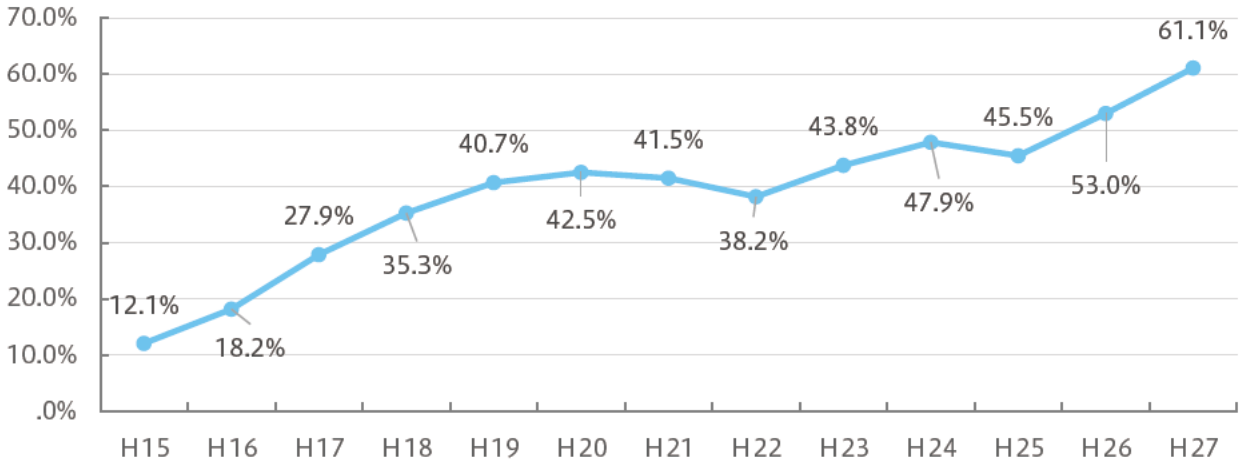
業務実績

【前方連携（事務）担当の実績報告】

地域医療支援病院紹介率の実績（月平均紹介率　　基準値 65%　目標値 71%）



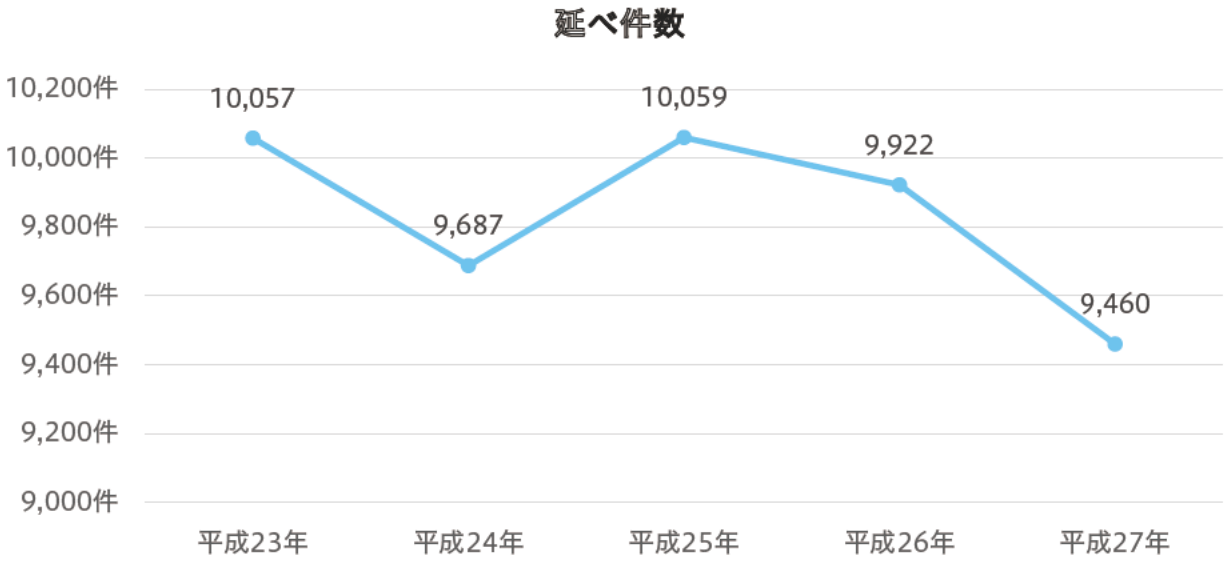
地域医療支援病院逆紹介率の実績（月平均逆紹介率　　基準値 40%　目標値 55%）

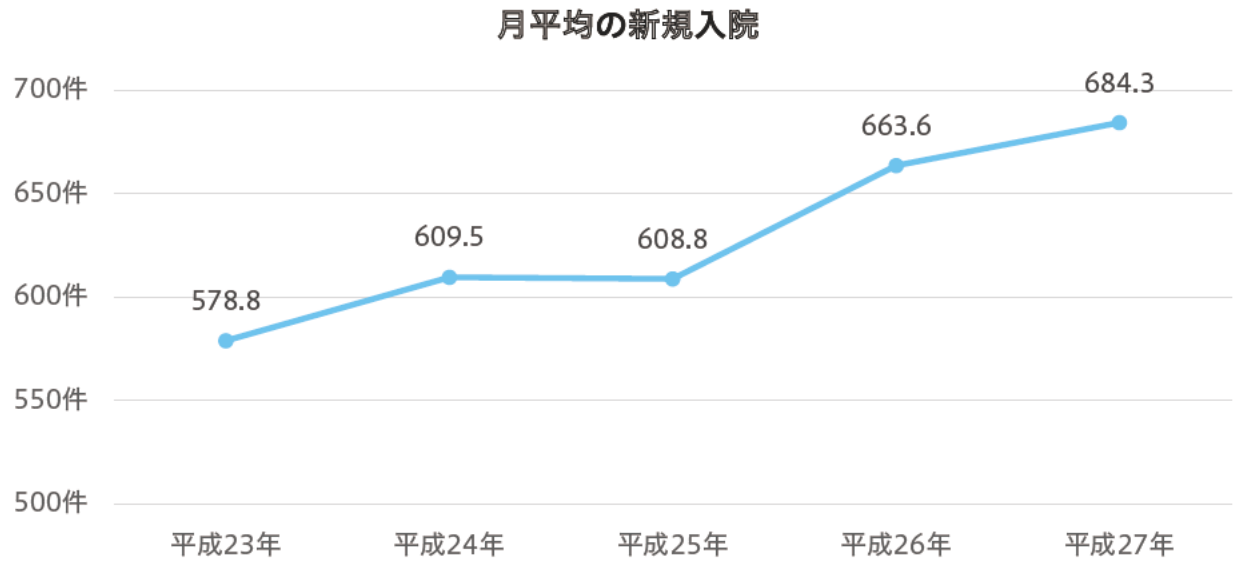


【後方連携（医療ソーシャルワーカー）担当の実績報告】

全体の相談件数の推移

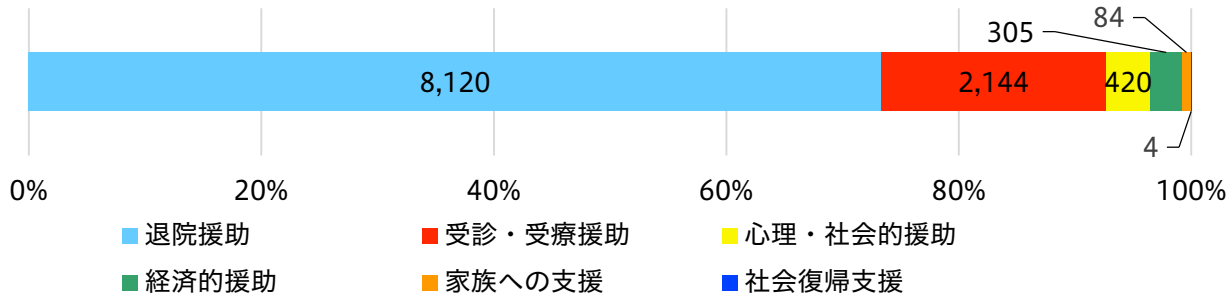
	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年
延べ件数	10,057	9,687	10,059	9,922	9,460
月平均の延べ件数	838	807	838	826	788
月平均の新規入院	578.8	609.5	608.8	663.6	684.3
病床利用人数	279.7	279.3	276.8	277	275.7
在院日数	14.6	13.9	13.7	12.6	12.2



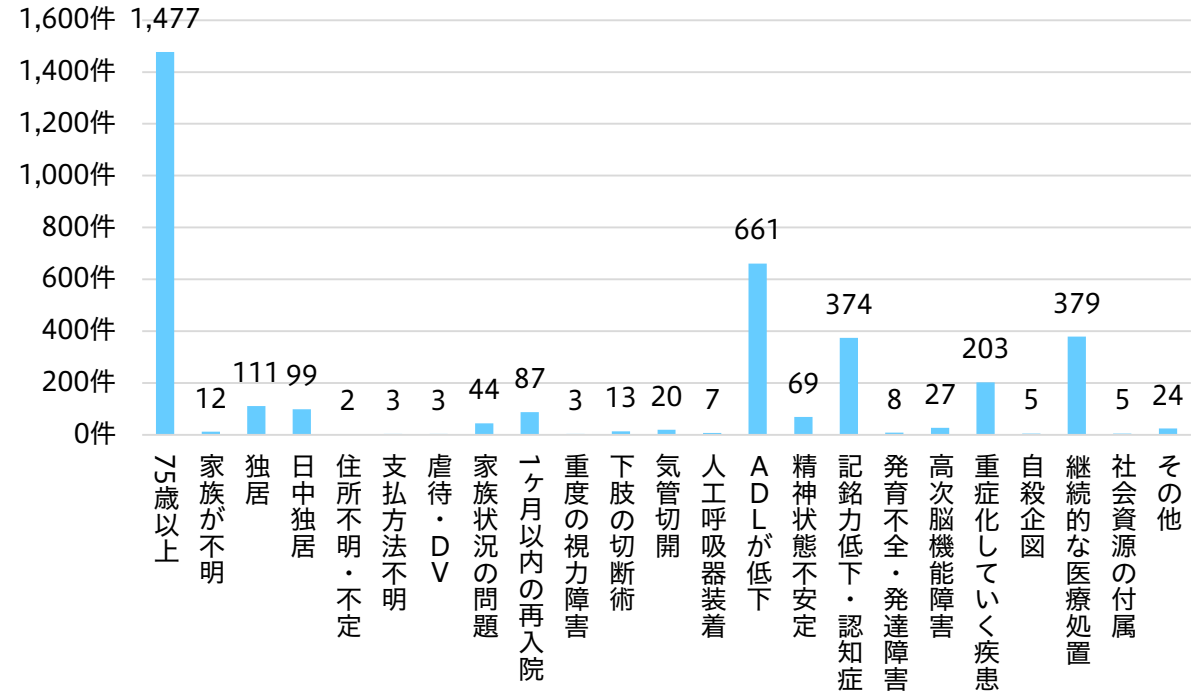


【相談援助ケース（入院）の概要】

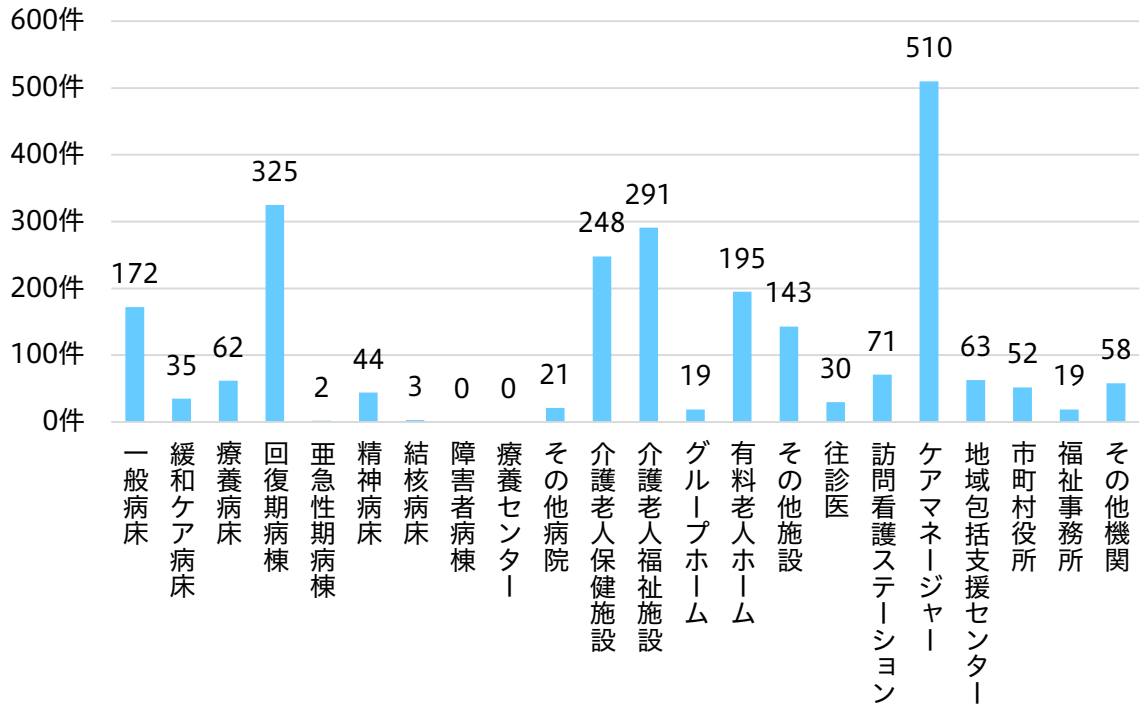
相談援助内容



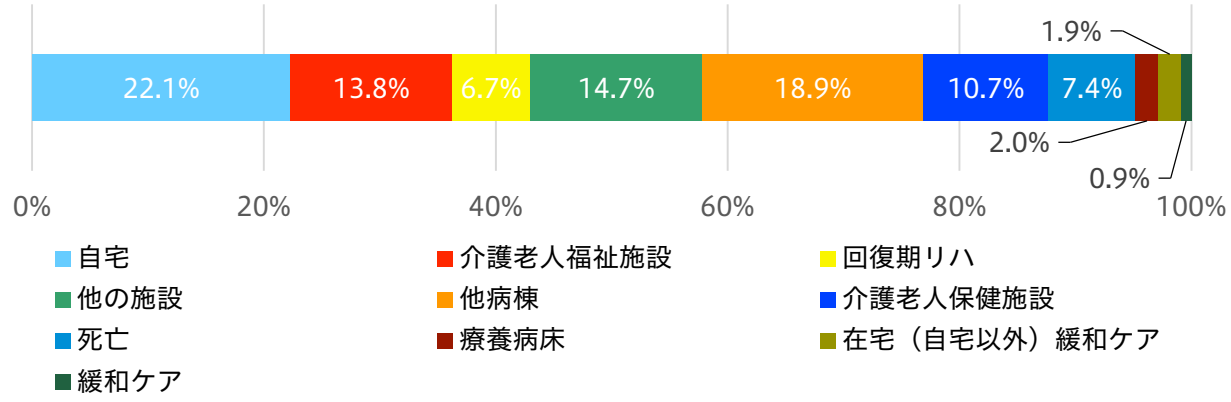
援助を行ったケースの特徴（入院）



援助中に調整した機関（入院）



MSW 援助後の退院先種別



【卒後臨床研修事務局の実績報告】

卒後臨床研修事務局主催のセミナーや懇談会など

内容	開催地	日程
新研修医オリエンテーション	当院	2015 年 4 月 2 日～ 6 日
福井大学医学部附属病院　林寛之先生による講演会	当院	2015 年 7 月 2 日
厚生労働省 亀山大介先生による講演会	当院	2015 年 8 月 21 日
東京女子医科大学 櫻井裕之先生による講演会	当院	2015 年 9 月 16 日
平成 27 年度第 1 回卒後臨床研修管理委員会開催	当院	2015 年 6 月 4 日
公立久米島病院見学、久米島マラソンへの参加	久米島町	2015 年 10 月 24 日～ 25 日
ハートライフ病院後期・専門研修医募集説明会	当院	2015 年 12 月 10 日
平成 27 年度第 2 回卒後臨床研修管理委員会開催	当院	2016 年 3 月 3 日
平成 27 年度初期臨床研修医修了式・修了パーティー開催	西原町	2016 年 3 月 23 日

セミナー・勉強会などへの参加

内容	開催地	日程
群星沖縄新研修医オリエンテーション	宜野湾市	2015 年 4 月 9 日～ 10 日
沖縄県医師会新研修医歓迎レセプションへの参加	南風原町	2015 年 4 月 3 日
群星沖縄会議	浦添市	2015 年 4 月 13 日～ 2016 年 3 月 14 日
平成 27 年度臨床研修医確保対策合同説明会参加モデル事業第 1 回作業部会への参加	南風原町	2015 年 6 月 10 日
平成 27 年度臨床研修医確保対策合同説明会参加モデル事業第 2 回作業部会への参加	南風原町	2015 年 8 月 13 日
臨床研修医師数調整会議への参加	那覇市	2015 年 6 月 17 日
新たな専門医の仕組みに係る関係者会議への参加	那覇市	2015 年 11 月 19 日
琉球大学医学部クリニカルクラークシップに関する会議	西原町	2015 年 11 月 27 日
平成 27 年度沖縄県医師会勤務医部会講演会「オール沖縄の次なる挑戦！ - これからの専門医にどう取り組むか -」への参加	南風原町	2015 年 12 月 7 日
群星沖縄ポートフォリオ大会・忘年会への参加	那覇市	2015 年 12 月 14 日
初期臨床研修運営協議会	当院	毎月第 2・第 4 火曜日
後期・専門研修運営協議会	当院	毎月第 3 火曜日
基本的臨床能力評価試験	当院	2016 年 2 月 5 日、2 月 6 日
群星沖縄修了式への参加	宜野湾市	2016 年 3 月 2 日

医学生・院外研修医の受け入れ

内容	日程
琉球大学医学部クリニカルクラークシップ学生（5 ～ 6 年次）受け入れ（延べ 67 名）	2015 年 1 月 19 日～ 10 月 2 日
琉球大学医学 5 ～ 6 年次学生 1 日泌尿器実習受け入れ（延べ 20 名）	2015 年 1 月 26 日～ 9 月 14 日
医学生病院見学受け入れ（延べ 22 名：県外 8 名、県内 14 名）	2015 年 4 月 23 日～ 2016 年 3 月 25 日
琉球大学医学部附属病院　1 年目研修医受け入れ（延べ 5 名：救急 5 名）	2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日
琉球大学医学部附属病院　2 年目研修医受け入れ（延べ 11 名：救急 3 名、循環器内科 1 名、血液内科 2 名、腎臓内科（ICU）1 名、小児科 1 名、麻酔科 1 名、放射線科 2 名）	2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日
大浜第一病院　2 年目研修医受け入れ（延べ 1 名：産婦人科）	2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日
中部徳洲会病院　2 年目研修医受け入れ（延べ 1 名：産婦人科）	2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日
中頭病院　2 年目研修医受け入れ（延べ 2 名：血液内科、形成外科）	2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日
沖縄協同病院　2 年目研修医受け入れ（延べ 1 名：眼科）	2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日
浦添総合病院　1 年目研修医受け入れ（延べ 2 名：産婦人科、小児科）	2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日

リクルート活動

内容	開催地	日程
琉球大学医学部にて初期臨床研修病院説明会への参加	西原町	2015 年 5 月 30 日

内容	開催地	日程
レジナビフェア大阪（研修病院説明会）への参加	大阪府	2015 年 7 月 5 日
レジナビフェア東京（研修病院説明会）への参加	東京都	2015 年 7 月 19 日
レジナビフェア福岡（研修病院説明会）への参加	福岡県	2016 年 3 月 6 日
レジナビフェア東京（研修病院説明会）への参加	東京都	2016 年 3 月 20 日

研修参加実績

内容	開催地	日程
院内 BLS・ICLS（1 年目研修医 6 名参加）	当院	2015 年 4 月 4 日
院内 JPTEC・JATEC	当院	2015 年 4 月 11 日
新臨床研修医　RyuMIC 講習会 AHA BLS Provider コース(G2010)（1 年目研修医 5 名参加）	西原町	2015 年 4 月 25 日
新臨床研修医　RyuMIC 講習会 AHA ACLS Provider コース（G2010）（1 年目研修医 5 名）	西原町	2015 年 5 月 23 日～ 24 日
JPTEC in Okinawa（1 年目研修医 4 名参加）	中城村	2015 年 6 月 21 日、2015 年 11 月 15 日、2016 年 2 月 7 日
エコー合宿	宜野座村	2015 年 6 月 27 日～ 28 日
エコー勉強会	当院	2015 年 11 月 28 日

その他

内容	開催地	日程
徳洲会主催臨床研修指導者養成講習会（医師 1 名参加）	八重瀬町	2015 年 7 月 11 日～ 12 日

活動実績

各種勉強会

開催年月日	担当科	開催場所	院外参加者	院内参加者
2015 年 5 月 12 日 (火) 18：00　～　19：00	講習会（感染）	講　堂	0	100
2015 年 5 月 15 日 (金) 18：00　～　19：00	講習会（手洗い講習会）	講　堂	0	71
2015 年 5 月 21 日 (木) 19：00　～　21：00	消化器	講　堂	4	22
2015 年 5 月 29 日 (金) 18：00　～　20：00	医療講演会	講　堂	4	58
2015 年 6 月 27 日 (土) 16：00　～　18：00	市民公開講座	講　堂	16	10
2015 年 7 月 23 日 (木) 19：00　～　20：30	消化器	講　堂	4	24
2015 年 8 月 11 日 (火) 18：00　～　19：30	講習会（感染）	講　堂	1	86
2015 年 8 月 20 日 (木) 19：00　～　21：00	中部地区医師会 (消化器)	講　堂	3	3
2015 年 9 月 11 日 (金) 18：00　～　20：00	消化器（膵臓）	講　堂	5	37
2015 年 9 月 24 日 (木) 19：00　～　20：00	消化器	講　堂	3	17
2015 年 11 月 26 日 (木) 19：00　～　20：00	消化器	講　堂	3	15
2016 年 1 月 12 日 (火) 18：00　～　19：30	地域連携勉強会	講　堂	10	8
2016 年 1 月 28 日 (木) 19：00　～　20：30	消化器	講　堂	5	18
2016 年 3 月 10 日 (木) 19：00　～　20：10	地域連携講演会	講　堂	34	10
2016 年 3 月 24 日 (木) 19：00　～　20：10	消化器	講　堂	3	23

地域医療連携室主催の研究会や懇談会など

名称	開催地	年月日	参加者
地域医療支援病院運営委員会	当院	2015 年 7 月 29 日	前方連携全員
第 12 回地域医療連携懇談会	西原町	2015 年 10 月 1 日	連携室全員

講演会・懇談会などへの参加実績

名称	開催地	開催年月日	参加者
オリブ山病院 57 周年記念講演会・シンポジウム	那覇市	2015 年 7 月 4 日	桑江
那覇市立病院連携交流会参加	那覇市	2015 年 9 月 16 日	新垣・喜納・仲本
浦添総合病院地域医療連携懇談会	那覇市	2016 年 1 月 13 日	新垣・砂川

名称	開催地	開催年月日	参加者
県立中部病院地域医療連携懇談会	北谷町	2016 年 1 月 21 日	砂川・喜納
中頭病院地域医療連携懇談会	沖縄市	2016 年 1 月 28 日	喜納
健康経営フォーラム 2015 参加	浦添市	2016 年 2 月 9 日	喜納
豊見城中央病院地域医療連携懇談会	那覇市	2016 年 2 月 25 日	新垣・砂川
医療経営講演会	当院	2016 年 2 月 26 日	新垣・砂川
南部徳洲会病院地域連携懇談会	那覇市	2016 年 3 月 8 日	新垣・砂川・喜納

勉強会・研修会などへの参加

	名称	開催地	開催年月日	参加者
院内	クリックビューの使用方法の講習会	当院	2015 年 5 月 29 日	新垣・砂川
	院内パス大会	当院	2015 年 7 月 8 日	桑江
	西原町ケアマネ連絡会	当施設	2015 年 8 月 13 日	桑江・徳盛・高澤
	BLS 講習	当院	2015 年 8 月 15 日	徳盛・高澤
	メンタルヘルス研修会	当院	2015 年 11 月 20 日	粟盛・砂川・喜納
	総合入院体制加算勉強会（事務部）	当院	2015 年 12 月 7 日	新垣・砂川・喜納・西田・桑江
	地域医療連携勉強会（Ｗｅｂ講演会）	当院	2016 年 1 月 12 日	全員
	診療報酬改定勉強会	当院	2016 年 2 月 2 日	新垣・砂川
	めだかの学校リーダーミーティング	当院	2016 年 3 月 10 日	桑江
	院内緩和ケア研修会	当院	2015 年 11 月 21 日	川満
	沖縄県医療ソーシャルワーカー協会定例会（計 5 回）	当院	2015 年 12 月 19 日～2016 年 2 月 17 日	望月・西田・桑江・川満・徳盛・高澤
	MSW 定例会（計 13 回）	当院	2015 年 4 月 13 日～2016 年 3 月 30 日	望月・西田・桑江・川満・徳盛・高澤
	めだかの学校　（計 9 回）	当院	2015 年 4 月 14 日～2016 年 3 月 22 日	望月・桑江・川満・徳盛・高澤

	名称	開催地	開催年月日	参加者
院外	中部保健所管内における救急告示病院と精神科医療機関との連絡会議（計 2 回）	当施設	2015 年 9 月 14 日～ 2016 年 2 月 8 日	西田
	医療メディエーター研修会（2 日間）	北中城村	2015 年 5 月 23 日～ 24 日	嶋崎・川満
	医療マネジメント学会（2 日間）	大阪府	2015 年 6 月 12 日～ 13 日	新垣
	メディエーター定例勉強会	中頭病院	2015 年 6 月 25 日	嶋崎
	地域医療連携勉強会（地域包括ケアシステム）	名護市	2015 年 12 月 1 日	新垣・砂川・西田
	医療経営セミナー	与那原町	2016 年 2 月 25 日	新垣・砂川
	地域包括ケアをすすめるネットワークづくりセミナー「在宅医療・介護連携のあり方」	浦添市	2015 年 6 月 24 日	西田
	中部地区連携研究会（計 3 回）	うるま市	2015 年 6 月 27 日～ 2016 年 2 月 25 日	川満
	実習生を受け入れ勉強会	沖縄市	2015 年 7 月 14 日	西田・徳盛
	中部地区在宅医療連携ネットワーク研修会（計 3 回）	沖縄市	2015 年 8 月 18 日～ 2016 年 1 月 26 日	川満・徳盛・高澤
	緩和ケア意見交換会	沖縄病院	2015 年 5 月 27 日	西田
	MSW 協会定例会・総会	北中城村	2015 年 5 月 13 日	望月・川満・高澤
	緩和ケア交流会	宜野湾市	2016 年 3 月 3 日	西田・川満・高澤
	在宅医療連携推進会議	北谷町	2015 年 6 月 2 日	望月
	実習指導者講習会	北谷町	2015 年 12 月 5 日，6 日	桑江
	第 1 回病院医療ソーシャルワーカー研修会	東京	2015/7/8 ～ 7/9	西田
	SWHS ｿｰｼｬﾙﾜｰｸﾃﾞｰﾀｼｽﾃﾑ講習会・体験会	東京都	2015 年 9 月 26 日	高澤
	沖縄県医療ソーシャルワーカー協会宿泊研修	今帰仁村	2015 年 11 月 7 日、8 日	望月・川満・徳盛
	沖縄県医療ソーシャルワーカー協会理事会(計 12 回)	那覇市	2015 年 4 月 1 日～ 2016 年 3 月 31 日	望月
	いのちとこころとくらしをサポートする在宅医療研修会（計 3 回）	那覇市	2015 年 4 月 20 日～ 2015 年 7 月 11 日	望月・桑江・川満・徳盛・高澤
	南城市介護保険関係者　研修会・交流会	南城市	2015 年 11 月 20 日	徳盛
	南城市入退院連携シート活用意見交換会	南城市	2015 年 6 月 22 日	望月・桑江
	南城市入退院連携デザイン検討会（計 2 回）	南城市	2015 年 9 月 9 日～ 2015 年 12 月 22 日	桑江
	沖縄県がん診療連携協議会　相談支援部会(計 4 回)	西原町	2015 年 4 月 30 日～ 2016 年 3 月 3 日	西田
	がんサポートハンドブックワーキング（計 5 回）	西原町	2015 年 6 月 22 日～ 2016 年 2 月 24 日	西田
	がん相談支援員実務者研修会	西原町	2015 年 9 月 25 日	望月・西田・桑江
	西原町高齢者虐待対策協議会･実務者会議（計 4 回）	西原町	2015 年 7 月 21 日～ 2016 年 3 月 4 日	桑江・西田
	MSW 協会南風原ジャスコイベント	南風原町	2015 年 10 月 10 日	桑江・川満・高澤
	那覇市在宅ケア「顔合わせ会」（計 2 回）	南風原町	2015 年 6 月 11 日～ 2015 年 11 月 6 日	桑江・川満
	おきなわ脳卒中地域連携委員会総会（計 3 回）	南風原町他	2015 年 6 月 1 日～ 2016 年 2 月 15 日	川満・徳盛
	県民健康フェア	宜野湾市	2015 年 8 月 9 日	川満・徳盛

学会発表

名称	学会名	開催地	開催年月日	参加者
退院支援スクリーニングがもたらす効果について	院内研究発表会	当院	2015 年 10 月 15 日	発表者：川満（後方連携）

業務サポート関連

名称	開催地	開催年月日	参加者
おきなわ多発性骨髄腫患者の会サポート（計 10 回）	当院	2015 年 4 月 11 日～ 2016 年 3 月 12 日	西田
ハート教室「講師」（計 3 回）	当院	2015 年 5 月 8 日	西田
糖尿病患者会サポート「打合せ」	当施設	2015 年 5 月 20 日	桑江・川満・徳盛

名称	開催地	開催年月日	参加者
1 型糖尿病患者会医療費レクチャー「講師」	当クリニック	2015 年 6 月 10 日	桑江
ホスピスについての講義「講師」	当院	2015 年 8 月 17 日	桑江
院内緩和ケア研修会「運営サポート」（計 3 回）	当院	2015 年 11 月 21 日	粟盛・新垣・西田・桑江
沖縄県緩和ケア研修会「運営サポート」（計 3 回）	当院	2016 年 1 月 25 日～31 日	粟盛・新垣・西田・桑江
乳癌患者会「サポート」	当院	2015 年 10 月 25 日	桑江
アドベンチストメディカルセンター「ﾎｽﾋﾟｽ病棟見学・引率」	西原町	2015 年 11 月 27 日	川満
沖縄病院「ホスピス病棟見学引率」	宜野湾市	2016 年 11 月 25 日	高澤

血液内移植サポート業務

名称	開催地	開催年月日	対応者
血縁ﾄﾞﾅｰ対応	当院	2015 年 4 月～ 3 月	西田
臍帯血運搬費用関連	当院	2015 年 4 月～ 3 月	西田
骨髄バンク運搬費用関連	当院	2015 年 4 月～ 3 月	西田・新垣
骨髄移植の覚書・運搬調整関連	当院	2015 年 4 月～ 3 月	新垣
骨髄採取の覚書関連	当院	2015 年 4 月～ 3 月	新垣

出前健康講話

演　　題	依　頼　元	日付	講演担当医師
一次救命処置　BLS	西原町立西原東小学校	2015 年 4 月 22 日	救急看護認定看護師　兼本　愛美
目のお話～白内障・緑内障～	池田自治会事務所	2015 年 6 月 24 日	眼科部長　照屋　明子
転倒骨折を予防するためには	津波構造改善センター	2015 年 7 月 27 日	理学療法士　長嶺　敦司
目のお話～白内障・緑内障～	安室公民館	2015 年 9 月 24 日	眼科部長　照屋　明子
目のお話　～白内障・緑内障について～	西原台団地自治会館	2015 年 10 月 29 日	眼科部長　照屋　明子

実習生受け入れ

名称	開催地	開催年月日	対応者
中部病院 MSW 研修受け入れ	当院	2015 年 7 月 23 日	西田・桑江・高澤
池田苑実習生受け入れ	当院	2015 年 8 月 18 日	桑江・西田・川満
職場体験実習（中城中学校／ 3 名）	当院	2015 年 9 月 16 日	喜納
ぐしかわ看護専門学校統合実習受け入れ（4 日間）	当院	2015 年 11 月 4 日～11 日	砂川・喜納・仲本・嶋崎・西田・桑江
おもと会看護専門学校統合実習受け入れ（3 日間）	当院	2015 年 12 月 1 日～7 日	西田・桑江

実績報告資料等

平成27年度の目標

Ⅰ．社会医療法人としての役割強化
夜間・休日の救急車受け入れ件数1,700件／年↑
僻地医療の検討と取り組み
Ⅱ．地域医療支援病院（紹介率65%↑・
逆紹介率40%↑）としての役割強化
目標　紹介率71%・逆紹介率55%
Ⅲ．新規入院患者数増　目標649人／月
Ⅳ．病床利用率93.7%の達成
（93.7%＝平均利用率281床）
Ⅴ．平均在院日数の短縮　目標12.7日以内

達成度（実績）

① 救急隊への毎月の訪問、救急症例検討会の内容の充実、心電図伝送システムの運用を開始し救急隊と積極的に顔の見える連携を強化した。
夜間救急受け入れの目標は未達成。
② 紹介率 72.8%・逆紹介率 61.1%　⇒　『達成』
③ 各種勉強会、地域医療連携懇談会の開催。
④ 新規入院患者数は684.3/月、平均在院日数12.2日と目標『達成』。病床利用率は275.7床と目標未達成。

平成28年度の目標

Ⅰ．社会医療法人としての役割強化
夜間・休日の救急車受け入れ件数1,700件／年↑
僻地医療の検討と取り組み
Ⅱ．地域医療支援病院（紹介率65%↑・
逆紹介率40%↑）としての役割強化
目標　紹介率74%・逆紹介率60%
Ⅲ．新規入院患者数増　目標690人／月
Ⅳ．病床利用率93.7%の達成
（93.7%＝平均利用率281床）
Ⅴ．平均在院日数の短縮　目標12.4日以内

ハートライフ病院 企画室・法人事務局 経営企画室

課長　安里　竜

当課は、現在・過去・未来の 3 つのステージで法人運営の課題を発見し、それに取り組み、必要な準備を進める部署です。各種診療支援･経営支援の分析､事業計画の取りまとめ､医療制度に関する情報収集、新規事業の企画等を主な業務としています。平成 24 年度の組織改編に伴い、企画室の配下に、IT・システム業務を行うための電算係と、内外への広報・広告を行うための広報係、再生医療に関する臨床研究及び治験・倫理委員会の事務補助を行うための臨床研究推進事務局があり、業務の幅がとても広い特徴があります。

平成 26 年度には、前任者までの運営方針を刷新し、今後の法人の成長に具体的に寄与するための方針を立て、それに沿って事業を推進しました。本年度は、DMAT の設立と各種訓練をサポートする活動に始まり、増改築プロジェクトにおける手術室増築計画に関する各種調整、QlikView を用いた圏域の受療予測分析データベースの整備、コスト削減に向けた薬価交渉への参画、外科系各診療科の診療実績の報告体制の構築、平成 27 年度より厳格化される治験・倫理審議体制の強化、音声外来（ボイス外来）などの専門外来の企画と準備に、主に着手しました。

次年度は、診療支援・経営支援への取り組みをさらに強化し、臨床研究支援への取り組みとして、臨床倫理・治験体制の強化を継続してサポートします。次年度に特に強化したい点として、各種基金・補助金を積極的に活用しつつ、今後の経営基盤の更なる安定化に向けて、DPC データを活用した診療支援活動の拡大、及び、収支構造の把握と最適化対策を、現場から各委員会、理事会へと PDCA スパイラルに乗せるために、分析体制の構築（管理会計・原価計算システムの導入）を低投資最大効果となることを念頭におきながら、具体的に検討したいと考えています。また、短期的には国の示す病床機能分化に際して、ハートライフ病院の高度急性期・急性期機能の維持は法人経営上重要な課題となりえます。そのための課題抽出と事業推進の中心的な役割を担う部署になるよう、企画室の運営方針をより具体化しました。最後に、企画室配下部署における担当業務の拡大に伴い、業務体制の強化が喫緊の課題となっていることから、企画室とその配下部署の 5 年後を見据えた教育研修体制の強化にも取り組みます。

総数

10 名

職種別

企画室	事務職 1 名	安里 竜
電算係	事務職 4 名	宮城 克己、高橋 慎二、前原 純樹、安里 健二
広報係	事務職 2 名	知念 政治、仲田 尚正
臨床研究推進事務局	事務職 3 名	赤石 三千正、譜久村 泰子、幾乃 伸夫（薬局 SE 兼任）

運営方針

1. 新規事業への早期取組

   a. 新規事業の経営企画面での関与（介護事業、本院増改築事業）

b. 診療体制の活性化

c. 研究体制の活性化（臨床倫理・治験体制の強化）

2. 診療支援・経営支援のための情報収集と分析

a. 診療実績と収支構造の把握と分析

① DPC データの積極活用

②原価計算・管理会計の導入

③ベンチマーク

b. 診療マーケティング分析体制の構築

①事業拡大に向けた広報・地域医療連携への活用

c. 医療制度改革の方向性の把握と分析

①診療報酬改定

②介護報酬改定

③病床機能分化（病床機能報告制度・地域医療構想・地域包括ケア）

d. 上記取組の現場と経営層への積極的なフィードバック

3. 業務体制の強化

a. 経営感覚と現場感覚の両立

b. 配下部署の教育体制の強化

活動報告

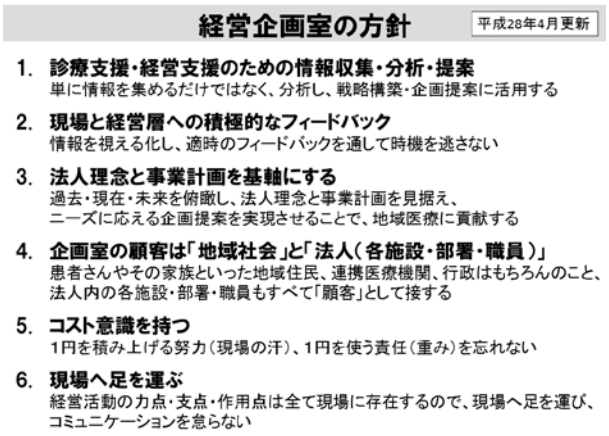
※企画室・経営企画室の主担当分のうち、一部実績を抜粋 ※配下部署はその項を参照、★は今年度新規

区　分	内　　容
プロジェクト	★病床機能分化の中央動向調査（7 対 1 体制の維持の提案・高度急性期の定義等）
	★平成 28 年度診療報酬改定の中央動向調査
	★新しい DPC 分析システム基盤の構築（病院ダッシュボード、材料ベンチ、他）
	★リンパ浮腫外来企画補佐
	★形成外科の診療企画（脂肪吸引、マゴット治療、下肢救済治療他）
	★本院増改築プロジェクト（IT・広報部分の統括）
	QlikView を用いた圏域受療予測データベースの構築（病床機能分化検討の基礎）
	薬局業務サポート（治験・倫理委員会事務局補佐）
	外科系診療実績報告体制の構築（毎月第三木曜の医局会後に定期開催）
	その他多数 …
事務局活動	★臍帯血移植施設事務局（契約事務）
	★先進医療申請事務局（ABMi 療法、POEM）
	★地域災害拠点病院申請準備事務局（申請事務）
	★透析薬院外処方化事務局（調整・提案補佐）
	★手術室改善ワーキンググループ事務局
	医療基盤活用型クラスター形成支援事業事務局（H26 年度県科学技術振興課受託分）
	財団法人骨髄移植推進財団非血縁者間骨髄移植・採取認定施設更新事務局（H26 年度分）
	おきなわ津梁ネットワーク導入推進事務局
	医療バランストスコアカード導入推進事務局
	災害医療派遣チーム（DMAT）事務局
	院内クリニカルパス推進事務局（パス委員会事務局）
	治験・倫理委員会事務局（薬局の補佐）
その他業務	配下部署（電算係、広報係、臨床研究推進事務局）の業務管理
	電子カルテユーザー会システム管理者部会役員

活動実績

研究事業報告会

名称	開催地	年月日	参加者
電子カルテユーザー会システム管理者部会	本院	2015 年 5 月 29 日	SS システム部会役員
院内講演会「QlikView を用いた診療支援」	本院	2015 年 5 月 29 日	全職員
日本医療マネジメント学会学術総会	大阪	2015 年 6 月 12 日	学会員他
当院における QI 活動（ポスター発表）			
電子カルテユーザー会	大阪	2015 年 8 月 22 日	SS システムユーザー
（システム管理者部会役員・部会座長）			
保険外併用療養費制度と患者申出療養制度	本院	2015 年 10 月 23 日	事務部職員
原価計算報告会・勉強会	本院	2015 年 11 月 13 日	事務部職員
外科系診療実績報告	医局	医局会後定期	外科系診療科部長
電子カルテユーザー会システム管理者部会	大阪	2016 年 1 月 29 日	SS システム部会役員
平成 28 年度診療報酬改定勉強会	本院	2016 年 2 月 3 日	全職員
医療基盤活用型クラスター形成支援事業　研究開発委員会	県内	2016 年 2 月 7 日	沖縄県、クラスタ参加施設
研究開発委員会			
平成 28 年度診療報酬改定勉強会	本院	2016 年 3 月 8 日	看護部
平成 28 年度診療報酬改定勉強会（報告）	本院	2016 年 3 月 11 日	救急総合診療部委員会
平成 28 年度診療報酬改定勉強会	本院	2016 年 3 月 18 日	内視鏡センター
平成 28 年度診療報酬改定勉強会	本院	2016 年 3 月 18 日	薬局



電算係

認定・資格

認定・資格名
第二種情報処理技術者
システムアドミニストレータ
第一級陸上特殊無線技士
デジタル第 1 種工事担当者
ソフトウェア開発技術者

認定・資格名
日本商工会議所簿記検定試験 2 級
cisco certified network associate
cisco certified network professional (BSCI)
cisco certified network professional (BCMSN)
microsoft certified professional (70-270)

運営方針

1. 院内ネットワークの有効活用
2. 電子カルテ・部門システムの理解と磨き上げ
3. スキルの向上
   a. プログラミング、ドキュメント化技術の向上
   b. 病院業務への理解を深める

理念

IT への理解力と応用力を身に付け、院内 IT 環境の充実に努める

活動報告

8. ネットワーク障害対応
9. 台風 9 号によるインターネット回線不具合対応
10. インターネットスポットのパスワード管理（月ごとに変更）
11. 電子カルテ用ウィルスチェックソフトのライセンス更新
12. 電子カルテ定期サービスパック適用
13. 平成 28 年度医療改定
14. 平成 28 年度介護システム改定対応
15. 沖縄県緩和ケア研修会、IT サポート
16. 業務系ネットワーク機器更改
17. 患者待ち時間調査結果集計
18. 電子カルテサーバー保守契約更新
19. 救急外来、モバイル 12 誘導心電図伝送システム導入サポート
20. 人事課、広報、事務所引越し対応
21. 第 2 回クリニカルパス大会サポート
22. クリニカルパス：標準アウトカムマスターへの置き換えについての説明会開催
23. 検体検査オーダ重複チェック機能のリリース
24. 施設日誌管理システム開発
25. 内視鏡チェックシート作成
26. 転倒転落アセスメントシート変更サポート
27. 手術申込改善サポート（紙台帳の廃止）
28. 産婦人科・周産期システム入替計画サポート
29. 職員検査結果管理画面作成
30. オペ室一時的管理区域設定画面作成
31. 慢性疾患患者管理の外科への展開
32. 外来入院予約台帳画面作成
33. 第 22 回院内研究発表会へのエントリー（3 位入賞 ）
34. ハートライフ地域包括ケアセンター IT 機器設置・設定
35. IT 推進委員会の開催（1 回／月）
36. 財務統計処理
37. 不要 IT 機器の買い取り業者への売却
38. IT 機器の自前修理による修理費用、買換え費用の削減

＜進行中＞

- 本院増改築に伴うネットワーク敷設、IT 機器移設サポート
- 産婦人科／周産期システム入替
- PACS サーバーリプレイス

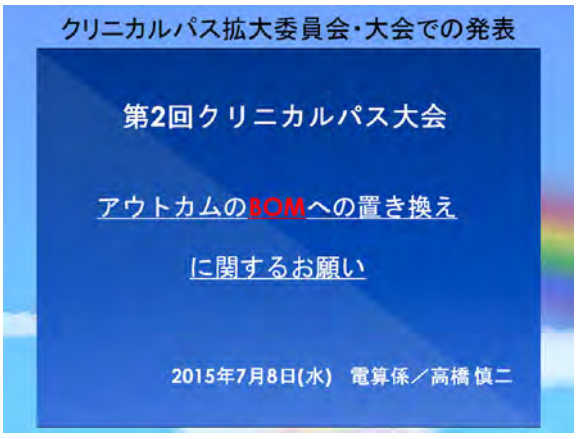
活動実績

名称	開催地	年月日	参加者
平成 27 年度第 1 回　クリニカルパス拡大委員会『アウトカムの BOM への置き換えに関するお願い』	当院	2015 年 5 月 27 日	パス関連スタッフ
第 2 回　クリニカルパス大会『アウトカムの BOM への置き換えに関するお願い』	当院	2015 年 7 月 8 日	全職員
院内研究発表会（予選）：『電子カルテ用ノートパソコンの自前修理におけるコスト削減の試み』	当院	2015 年 10 月 15 日	事務部
院内研究発表会（本選）：『電子カルテ用ノートパソコンの自前修理におけるコスト削減の試み』	当院	2015 年 11 月 13 日	全職員

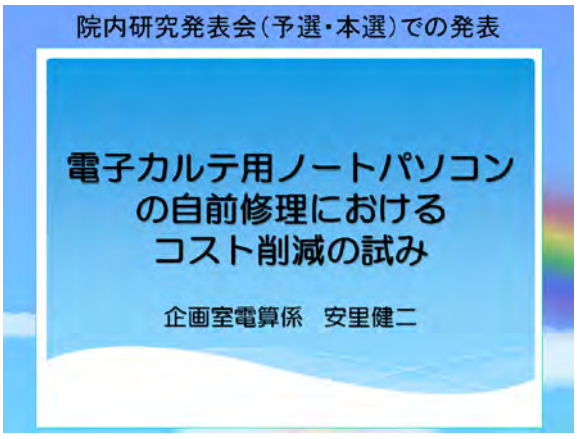
職員検査結果管理システムの開発

施設管理日誌の開発

クリニカルパス拡大委員会・大会での発表



院内研究発表会（予選・本選）での発表



次年度目標

- 本院増改築に伴うネットワーク敷設、IT 機器移設サポート
- 産婦人科／周産期システム入替
- PACS サーバーリプレイス
- 電子カルテサーバーリプレイス計画の推進

広報係

活動目的

広報専任担当者 2 名で、病院・クリニック・地域包括ケアセンターの各種広報活動を行っております。中心業務は各施設の現状や PR ポイント、新規業務などをホームページや広報誌、マスメディア等を通じ内外に発信する事ですが、その活動に関わる情報の収集から取材・撮影を行い、広報誌や公式サイト、デジタルサイネージコンテンツなどの作成を行ったり、報道機関向け資料の作成なども行います。また、定期的に開催される「かりゆし会広報委員会」事務局を運営し、施設内における掲示物などに関しての規定を作成・管理を行ったり、全体の広報方針や広告関連予算を審議し理事会への提案も行います。また、毎年度の年報作成についても「かりゆし会年報作成委員会」事務局を運営し､作成業務にあたっております。

認定・資格

認定・資格名	人数
初級システムアドミニストレータ	1
サーティファイ　web クリエイター能力検定試験　上級	1

認定・資格名	人数
サーティファイ　Flash クリエイター能力認定試験　上級	1
ユニバーサルデザインコーディネーター　準 2 級	1

活動報告

＜かりゆし会＞

・公式ホームページ維持・更新
・採用ポータルサイト開設
・「ハートライフ」を医業分野で商標登録申請

＜ハートライフ病院＞

・院内サインの更新作業
・入院案内パンフレット
・臨床研修事務局関連作業
　修了証・アルバムの作成
　後期研修医募集パンフレット作成
　初期研修医募集パンフレット作成
　レジデントノート広告原稿作成
　研修医募集ポスター作成
・平成 26 年度年報作成
・QI プロジェクト広報
・講演会ポスター作成
・その他院内掲示ポスター作成
・広報誌あすなろ№ 80 ～ 83　計 4 回の発行
・講演会、勉強会、イベントのサポート
　（写真・動画撮影など）
・デジタルサイネージシステム構築
・デジタルサイネージコンテンツ作成
・診療体制表の改良および
　プリントサービスの提供
・増改築プロジェクト
　（広報活動・ユニバーサルデザイン導入）
・その他付随業務

＜クリニック＞

・糖尿病教室ポスター作成
・その他付随業務

＜地域包括ケアセンター＞

・入居者募集に係わるホームページ、チラシ、パンフレット、動画などの作成

主な報道・取材対応

内容	年月日
POEM 治療で県内初の先進医療認定を取得（取材対応 / 沖縄タイムス社・琉球新報社）	2015 年 10 月 5 日
導入事例取材「クラウド型 12 誘導心電図・画像伝送システム」（取材対応 /NTTDoCoMo）	2015 年 11 月
沖縄 21 世紀ビジョン「考えよう家族のこと かふ～かふ～2016 / 職場で取り組む子育て支援」（TV 出演 / 沖縄県）	2016 年 2 月 27 日

事務局運営

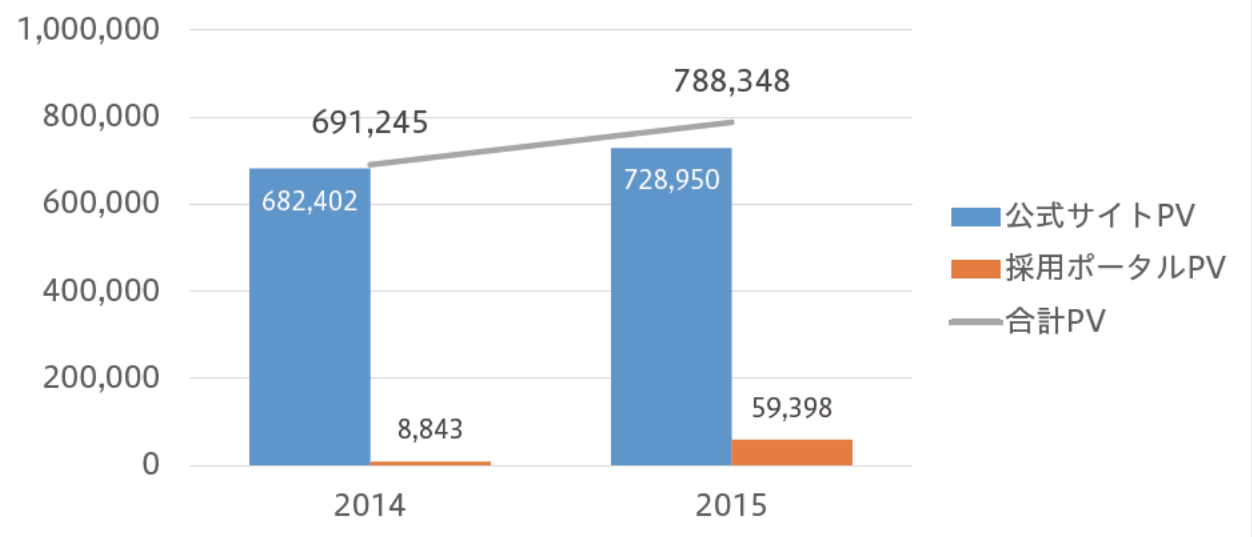
広報委員会　　年報作成委員会

活動実績

名称	開催地	年月日	参加者
個人情報保護「～情報を守ることは自分自身を守ること～」	当院	2015 年 4 月 1 日	新入職員対象
院内研究発表会（事務部予選） 「ユニバーサルデザイン（UD）―伝わるデザインを目指して―」	当院	2015 年 10 月 15 日	事務部
院内研究発表会（本選） 「ユニバーサルデザイン（UD）―伝わるデザインを目指して―」	当院	2015 年 11 月 13 日	全職員 （2 位入賞）
ユニバーサルデザイン講習会（事務職対象伝達講習会）	当院	2016 年 1 月 21 日	具志堅 徳明（施設管理）、金城 司（予防医学センター）、仲田 尚正（広報係）

公式サイト統計

ページ閲覧数（PV）推移



※ 2014 年 8 月 18 日より採用情報専用ポータルを立ち上げ、公式サイトより情報を分離しました。

※ 2014 年より現在の集計方法に変更

臨床研究事務係

運営方針

1. 臨床研究事業の推進と円滑な運営サポート
2. 治験・倫理委員会の円滑な運営サポート

活動実績

種別	内　　容
事務局活動	医療基盤活用型クラスター形成支援事業（沖縄県企画部科学技術振興課・平成 25 ～ 27 年度委託事業）
	食道アカラシアなどに対する経口内視鏡的筋層切開術（POEM）先進医療申請事務局
	治験審査委員会事務局
	倫理委員会事務局

学会発表

演題名	開催地	年月日	発表者と研究者
医療基盤活用型クラスター形成支援事業 第 5 回研究開発委員会（主催事務局）	沖縄県	2015 年 9 月 26 日	沖縄県企画部科学技術振興課、クラスター参加研究機関
医療基盤活用型クラスター形成支援事業 第 6 回研究開発委員会（主催事務局）	沖縄県	2016 年 2 月 7 日	沖縄県企画部科学技術振興課、クラスター参加研究機関

料飲・販売

事務副部長　比嘉　靖

職員数

総数

14 名

職種別

調理師　2 名　　その他　12 名

運営方針

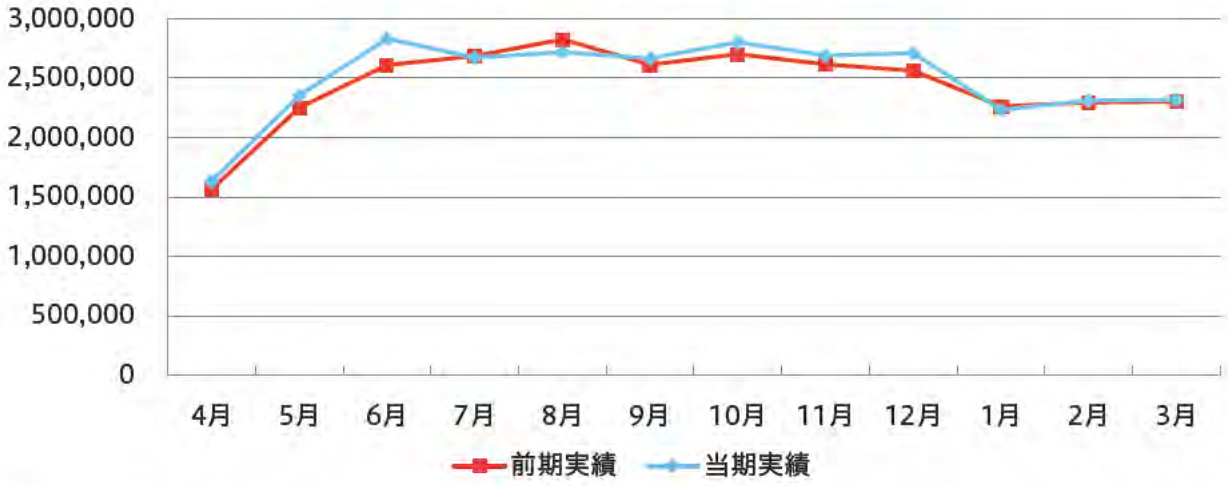
食の安全とより良いサービスの提供

理念

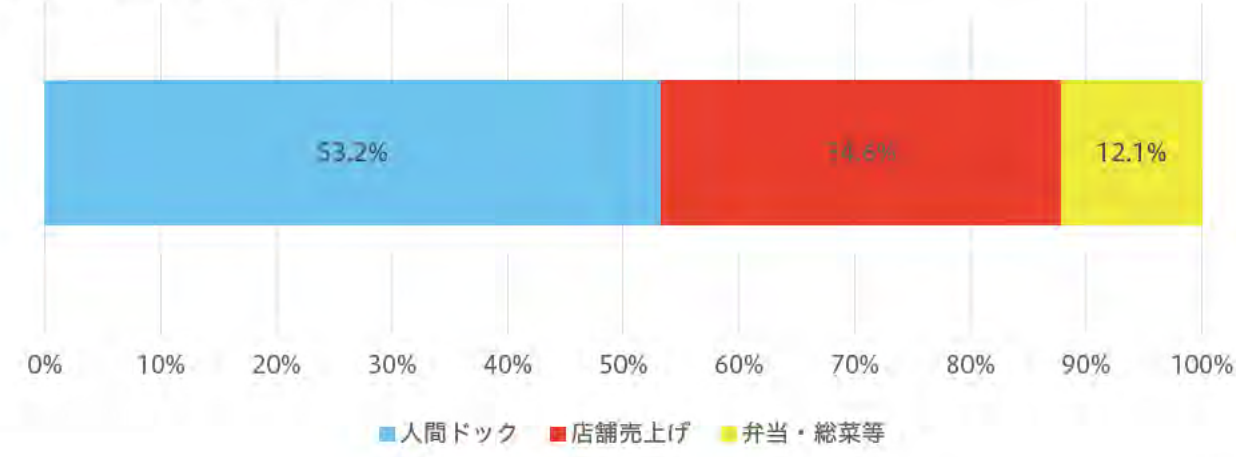
目配り・気配り・思いやり

業務実績

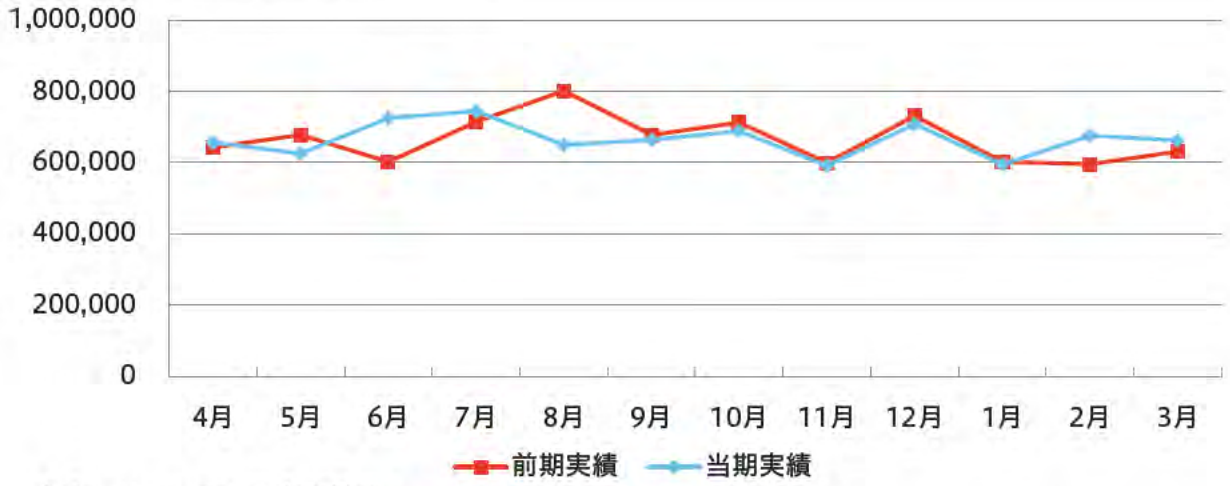
食堂　トマト　売上推移



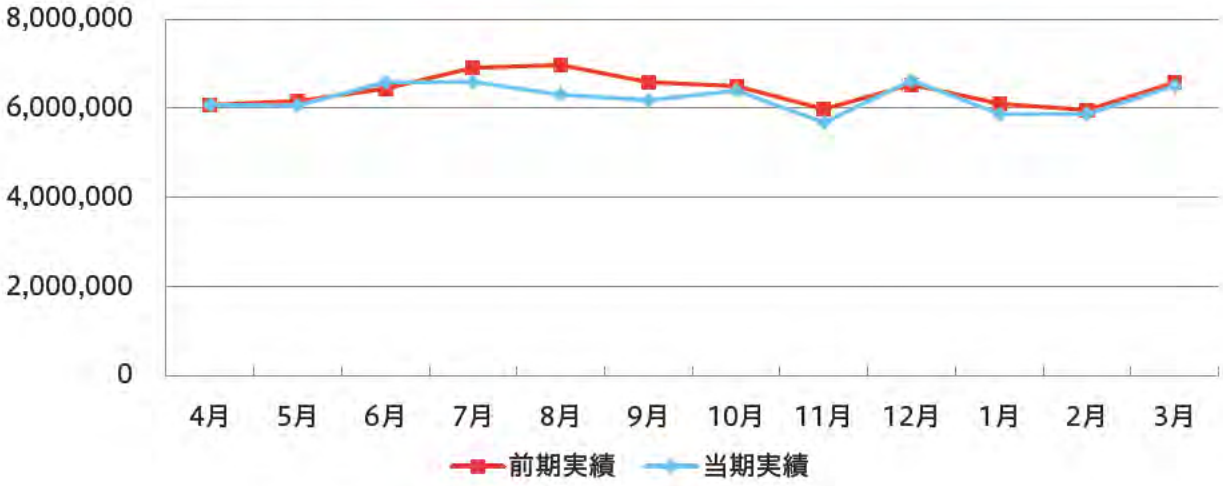
食堂　トマト　売上割合



喫茶　グリーン　ケイブルズ売上推移



売店　ハートストア売上推移



人事課（法人事務局）

課長　比嘉　康文

職員数

総数

4 名

職種別

一般事務　3 名　　臨床心理士　1 名

運営方針

1．「組織は人」＜人を大切にする＞

（1）人材育成（人間性やスキルを伸ばす）

（2）労務環境改善（ワークライフバランス）

（3）公平な人事考課制度の確立

（4）職員の精神衛生の充実

2．「人材確保」

（1）計画採用の確立

（2）人材の活性化（再雇用制度・短時間勤務制度・異動・障がい者雇用）

（3）離職率の低下対策

活動実績

沿革

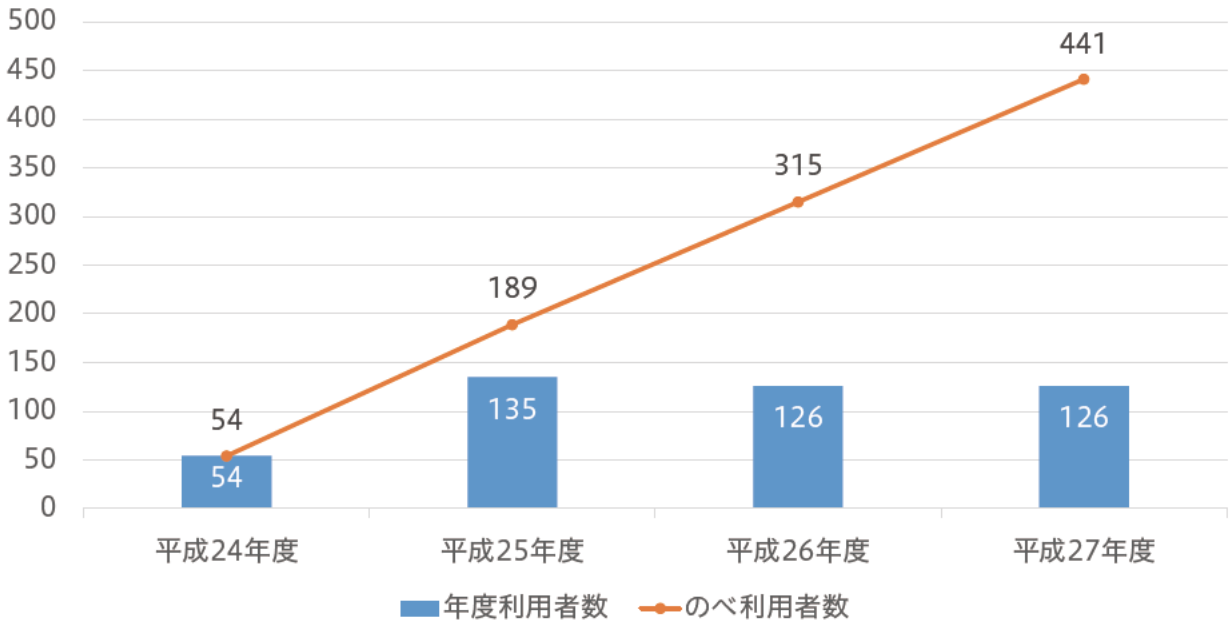
年月日		名称
2015 年	11 月	法人事務局　人事課　設置
2015 年	12 月	赴任手当規定（案）作成　理事会承認
2015 年	12 月～	年俸制医師・人事考課制度導入に向けて（定性評価・定量評価）検討開始
2016 年	～2 月	
2016 年	3 月	年俸制医師・人事考課制度導入を検討することで理事会承認
2016 年	3 月	昇進昇格制度の導入案作成　理事会承認

主な活動

年月日		名称
2016 年	1 月～	退職者（一身上都合）面談開始
2016 年	1 月	平成 28 年度　看護部入職者　オリエンテーション
2016 年	3 月	年俸制医師・年俸契約及び面談

かりゆし会病児保育室　利用実績推移

かりゆし会では職員の働きやすさ実現のために平成 24 年 8 月より、ハートライフクリニック内に職員向け病児保育室を設置しています。



事務部　年度総括

事務部長
當銘　秀之

平成 27 年度の事務部は、総務課、経理課、請求業務課、管財課、診療情報管理室、経営企画室、地域医療連携室、人財開発室の構成でスタートしました。これまで作業の効率化を図るために、組織の見直しスリム化を行ってきましが、当病院の規模では必要不可欠な人事課が設置されていませんでした。平成 27 年度は、長年の計画・立案を経て、法人事務局に念願の人事課を設置しました。人財開発室を廃止し、総務課、経理課、人財開発室に分散していた業務を法人事務局人事課に集約して、業務の更なる効率化を図ることができるようになりました。人事課はまだスタートしたばかりで、体制や要員、職務内容に問題や課題が多々ありますがご理解とご了承の程、宜しくお願い致します。今後、人事課が法人全体の人事の役割を担うことになりますので、人事課の活躍に期待しています。

さて、平成 25 年より三年近く掛けて行ってきました病院増改築の設計業務が、平成 27 年 12 月末をもって終了し、同月に無事起工式を執り行うことができました。これも設計業務に関わって頂きました関係者各位のご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

年が明け増築工事がスタートしましたが、未解決問題が散在しています。平成 29 年中の新棟工事完成、平成 30 年中の改修工事完了に向けて今後も努力していきますので、職員皆さま方の更なるご協力も宜しくお願い申し上げます。

平成 28 年度は診療報酬改定の年です。病院にとって厳しい改定率、また、急性期病院には厳しい改定内容が既に公表されています。具体的な課題、改善策を早々に洗い出して、今後の対応策を講じていく予定です。それと同時に経営改善活動も実施し、事務部全体で増収増益に向けて努力していく所存です。

平成 28 年度も変化、多様化する医療制度に組織として取り組めるように、職員一丸となって、「笑顔で親切」のスローガンのもと、より良い病院作りに邁進します。

医療安全管理室

部門紹介

医療安全管理者　中野　久乃

平成 19 年に当院の医療安全部門として、組織横断的活動を行うために病院長を直属とする医療安全管理室が設置されました。統括責任者を副院長の久場とし、看護師 1 名を医療安全管理者（リスクマネジャー）として専従配置しています。また、医療安全管理室が事務局となっている医療安全管理委員会は、診療部門、看護部門、医療技術部門、事務部門の各部門の代表者が参加する総勢 23 名のメンバーで構成され、毎月会議を開催しています。

医療安全管理室　理念

1．心と心を結ぶ信頼される医療を目指す

2．医療行為は、治療を目的としたものでなければならない

医療安全管理室　運営方針

1．医療事故防止の為の安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上を図る

2．医療安全に関する職員への教育・研修、情報の分析、対策の立案、事故発生時の初動対応、再発防止立案、発生予防及び発生した事故の影響拡大の防止等に努める

3．安全管理体制を組織内に根付かせ機能させる事で、医療機関における安全文化を醸成を促進する

職員数

総数

1 名

職種別

医療安全管理室　専従看護師　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
中野　久乃	医療安全管理者認定

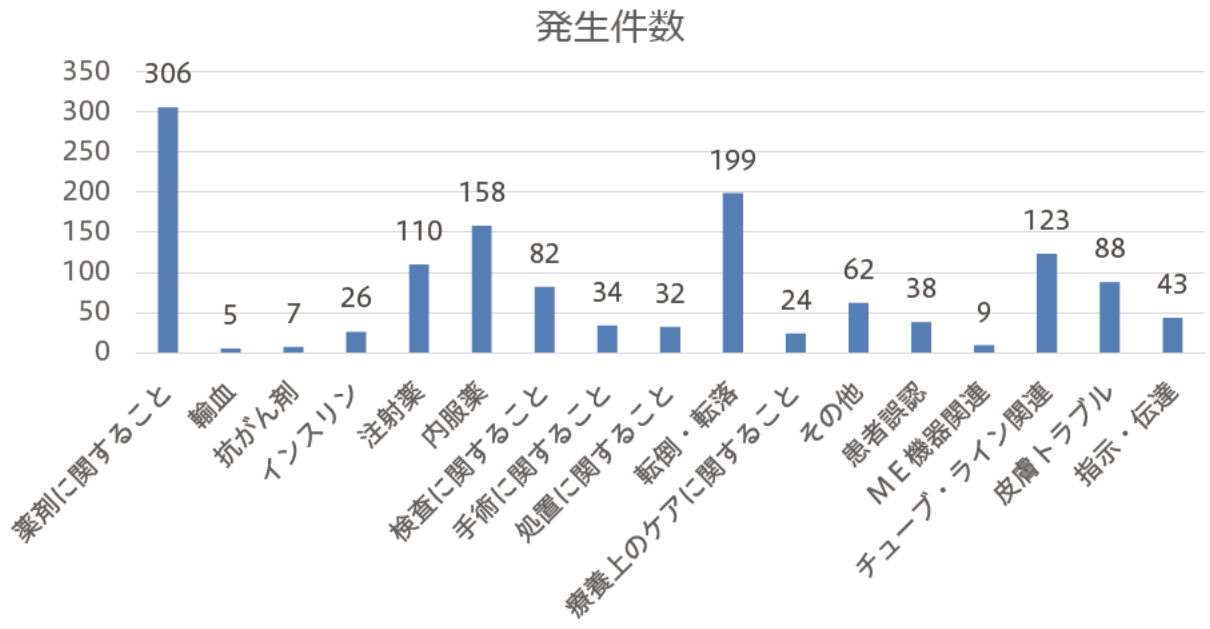
活動実績

インシデント報告件数

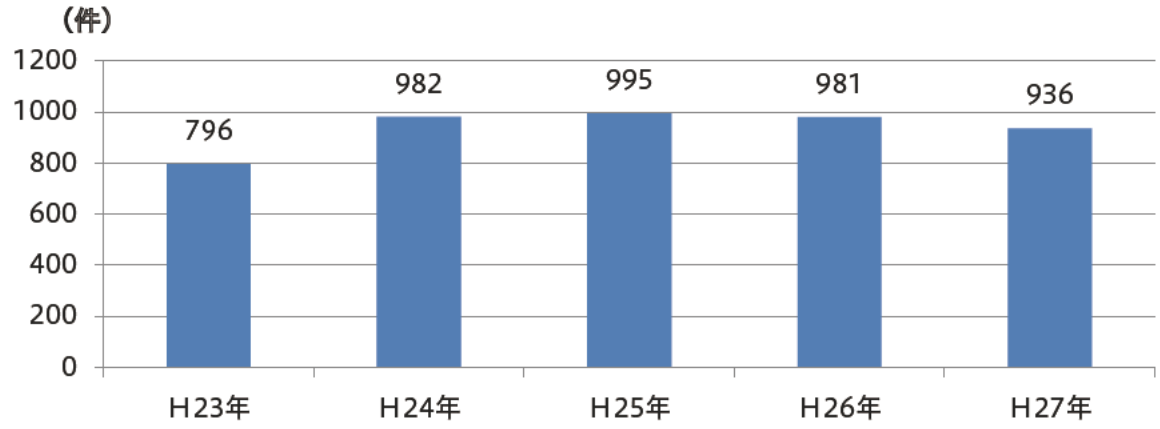
毎年、安全文化の醸成、医療事故の低減を目標に活動を行っております。
昨年度より新報告システムを運用することで、入力が簡便になり事例の原因分析が迅速に行われるようになりました。また、新しい分析手法を導入し、必要な対策がタイムリーに検討・実施され、現場で活かされるよう働きかけております。

特に患者誤認防止策では、直前照合を徹底することにより医療安全活動の本質である未然防止が強化され、その結果、薬剤関連のインシデント件数も減少傾向となっております。また、10 月より医療事故調査制度が施行され、制度の理解を行うため勉強会、講演会などを開催し事故発生時の対応マニュアルなどの作成・整備を行っております。

今後は、患者・ご家族と共に行う医療安全を強化し、安全文化の確立に努めていきたいと思います。



インシデント件数年次推移



勉強会・講習会開催

（データ作成　医療安全管理室　中野）

研修名	主催	開催地	開催日	講師
新入職オリエンテーション：医療事故対策について	総務課	当院	平成 27 年 4 月 1 日	久場良也
新入職者研修：療養環境と医療安全	看護部	当院	平成 27 年 4 月 3 日	外間真紀子、安村公均
研修医 1 年目基礎研修：医療安全講習～初級編～	研修事務局	当院	平成 27 年 4 月 6 日	中野久乃
医療安全講演会：医療におけるヒューマンエラー	医療安全管理室	当院	平成 27 年 6 月 9 日	久場良也
3 ヵ月フォローアップ：医療安全講習　～初級編～	看護部	当院	平成 27 年 6 月 26 日	中野久乃
領域研修①：即効性 ImSAFER=QuickSAFER	看護部	当院	平成 27 年 6 月 30 日	中野久乃
2 年目研修	看護部	当院	平成 27 年 7 月 31 日	中野久乃
領域研修②：KYT	看護部	当院	平成 27 年 10 月 20 日	
ぐしかわ看護専門学校：医療安全講習　～初級編～	看護部	当院	平成 27 年 11 月 2 日	中野久乃
3 年目研修：リーダーシップとは？	看護部	当院	平成 27 年 11 月 13 日	
医療事故調査制度について	医局	当院	平成 27 年 11 月 19 日	弁護士法人ひかり法律事務所 弁護士　植松 孝則
医療安全講演会：医療事故調査制度セミナー	医療安全管理室	当院	平成 27 年 12 月 3 日	損保ジャパン
領域研修③：患者誤認防止について（事例検討）	看護部	当院	平成 27 年 12 月 21 日	中野久乃
領域研修④	看護部	当院	平成 28 年 2 月 22 日	安村公均
1 年目ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ研修	看護部	当院	平成 28 年 2 月 26 日	中野久乃

研修等参加実績

（データ作成　医療安全管理室　中野）

研修名	開催地	開催日	参加者
医療安全管理者講習「コミュニケーション」	南風原町（沖縄看護協会）	平成 27 年 9 月 19 日	中野久乃
医療安全管理者講習	南風原町（沖縄看護協会）	平成 27 年 9 月 26 日	中野久乃

医療安全管理室　年度総括

医療安全管理室
中野　久乃

当院では、H26 年度より新報告システムを運用することで入力が簡便になり、より報告しやすい環境作りを行っております。また、新たな分析手法を導入した事で、たとえ影響レベルが低い事例でも早急な対応が必要な場合は、現場と共に原因分析を行い迅速に対策を講じ実施評価（PDCA サイクルを回す事）をする事で安全管理体制の強化を行っております。

感染対策管理室

部門紹介

感染対策管理室　石川　由希

感染対策管理室は平成 20 年に院長直下の感染に関する諮問機関として設置され、平成 24 年には 1 人目の感染管理認定看護師が誕生、平成 26 年からは感染管理認定看護師が 3 名となり専従看護師 1 名と手術室に 1 名、ICU に 1 名の配置となりました。専従看護師は病院全体に関わる感染管理業務を行い、兼任看護師は現場で看護ケアを行いながら感染対策を実践しております。感染対策教育は新人教育、研修医研修、感染管理領域別研修、助手研修、部署別研修、手指衛生などを専従、兼任で分担し実施しています。感染対策管理室では日々病棟をラウンドし感染対策の実施状況を確認、スタッフへ手袋やエプロンの着脱、手指衛生タイミングの指導や、感染に関する相談を受けます。

院内感染対策委員会やコメディカル部門も含めた各部署より選出されたメンバーで構成される感染対策小委員会などの企画運営を行います。

その他に週一回の耐性菌・抗菌薬ラウンドを ICT（infection control team）で実施し、ラウンド後に ICT ミーティングを行い現場での感染対策実践に繋げています。また、院外活動として中部地区感染症ネットワークに参加したり看護協会の感染管理研修を担当し病院だけでなく地域に貢献できるよう努めています。今後も病院、地域全体で感染対策が徹底出来るよう活動していきます。

感染管理対策室　理念

感染管理をとおして、患者さんが病院を信頼し、安心して質の高い医療を提供できることを目指し活動しています。

職員数

総数

2 名

職種別

感染対策管理室　専従看護師　1 名

一般事務　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
石川由希	感染管理認定看護師 第一種衛生管理 呼吸療法認定士 医療環境管理士
宮城美那	感染管理認定看護師
城間克也	感染管理認定看護師

活動実績

平成 27 年度の目標と実績（実績 / 目標）

MRSA 院内発生	針刺し		アルコール製剤使用量
	切創	粘膜汚染	
67 件 /50 件以下	22 件 /15 件以下	5 件 /15 件以下	9.34ℓ /1,000 患者に対し 5ℓ以上

研修・学会参加

名称	開催地	年月日	主催	参加者
沖縄県認定看護師研究会定例会	浦添総合病院	2015 年 5 月 1 日	沖縄県認定看護師研究会	石川由希
蚊媒介感染症：専門医療機関講習会	砂防会館別館（シェーンバッハ・サボー）利根	2015 年 6 月 7 日	一般社団法人日本感染症学会	石川由希、宮城好美
介護福祉向け感染対策研修	青年会館	2015 年 6 月 20 日	SARAYA	宮城美那（発表）
沖縄県認定看護師研究会定例会	沖縄県看護協会	2015 年 9 月 4 日	沖縄県認定看護師研究会	石川由希
第 25 回日本産業衛生学会　産業医・産業看護全国協議会	山口県	2015 年 9 月 16 日～ 19 日	日本産業衛生学会	石川由希（発表）
第 2 回沖縄県感染管理認定看護師会	沖縄県立南部医療センター・こども病院	2015 年 10 月 24 日	沖縄県感染管理認定看護師会	石川由希、宮城美那
第 29 回沖縄県感染管理研究会	国立劇場おきなわ　小劇場	2015 年 10 月 24 日	沖縄県感染管理研究会	石川由希（発表）、宮城美那
第 3 回沖縄県 ICN ネットワーク勉強会	琉大保健学科棟 2 階会議室	2015 年 12 月 4 日	沖縄県 ICN ネットワーク	石川由希
平成 27 年度院内感染対策講習会	神戸国際会議場メインホール	2015 年 12 月 7 日～ 8 日	一般社団法人日本感染症学会	森山武志
第 6 回沖縄県インフェクションコントロール研修会 最適な栄養輸液と透析療法を安全にサポートする感染対策～輸液ラインの皮膚・手指・環境消毒の重要性～	浦添市産業振興センター・結の街 3F 大研修室	2016 年 1 月 23 日	沖縄県インフェクションコントロール研修会	石川由希、宮城美那、城間克也、米須真由美、宮里誠、林俊介、平敷幸大
第 31 回日本環境感染学会総会学術集会	京都府	2016 年 2 月 19 日～ 20 日	日本環境感染学会	石川由希（発表）、森山武志、普天間光彦
第 10 回沖縄県 ICN ネットワークセミナー 10 周年記念大会　疥癬･糞線虫･レジオネラ･便失禁皮膚感染から身を守るには！	沖縄県医師会館	2016 年 3 月 5 日	沖縄県 ICN ネットワーク勉強会	石川由希（座長）、城間克也

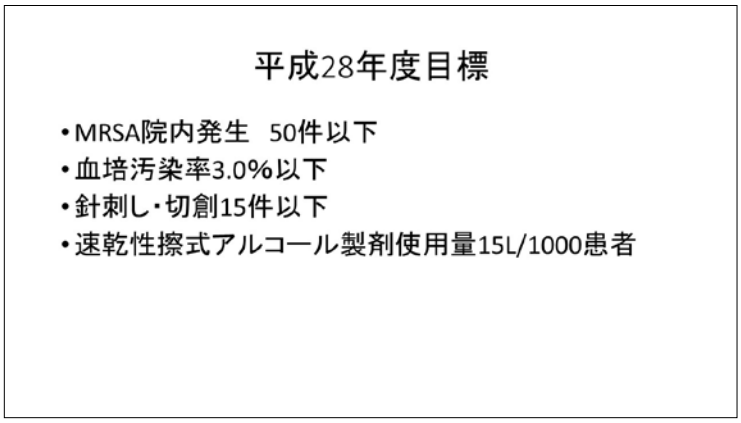
勉強会実施実績

名称	開催地	年月日	演者	対象
院内感染対策について	当院	2015 年 4 月 1 日	石川由希	新入職者全員
院内感染対策研修医ｵﾘｴﾝﾃｰｼｮﾝ	当院	2015 年 4 月 2 日	石川由希	研修医 1 年目
看護部入職者研修 療養環境と感染対策、PPE 着脱、手指衛生	当院	2015 年 4 月 3 日	石川由希、宮城美那、城間克也	看護部新入職者
洗浄・消毒・滅菌	当院	2015 年 4 月 4 日	宮城美那	看護部新入職者
血液培養採取	当院	2015 年 4 月 16 日	城間克也	看護部新入職者
職業感染～針刺し～	当院	2015 年 4 月 20 日	石川由希	看護部新入職者
清潔操作 ～おさえよう！清潔操作！尿路感染の基礎知識～	当院	2015 年 4 月 22 日	宮城美那、城間克也	看護部新入職者
洗浄・消毒・滅菌	当院	2015 年 5 月 1 日	石川由希	看護助手研修
手洗い講習会	当院	2015 年 5 月 14 日	石川由希	栄養科
地域住民向け看護フェア ～手指衛生～	沖縄県看護協会	2015 年 5 月 16 日	石川由希	地域住民

名称	開催地	年月日	演者	対象
標準予防策・手洗い講習会	当院	2015 年 5 月 15 日	普天間光彦、城間克也、石川由希、標準予防策 G	全職員対象
領域別研修① 隔離予防策 ～職種なんて関係ない感染対策やることは一緒さ !!～	当院	2015 年 5 月 26 日	城間克也	領域研修（看護部）
安全機能付留置針と閉鎖式末梢ライン説明	当院	2015 年 5 月	石川由希	各部署
手洗い講習会	クリニック	2015 年 6 月 3 日	石川由希	クリニック
洗浄・消毒・滅菌	当院	2015 年 6 月 5 日	石川由希	看護助手研修
職業感染～患者さん、そして自分を守るために～	当院	2015 年 6 月 8 日	石川由希	6F 病棟
新人看護研修 「患者と自分自身を守るための感染管理の基礎知識」	沖縄県看護協会	2015 年 6 月 11 日	石川由希	沖縄県看護協会 新人看護師
領域別研修② 職業感染 ～針刺し・感染性胃腸炎・ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ～	当院	2015 年 6 月 23 日	石川由希、城間克也	領域研修（看護部）
手洗い講習会	ハートライフ地域包括ケアセンター	2015 年 6 月 25 日	石川由希	ハートライフ地域包括ケアセンター
正しい点滴調剤と輸液管理	当院	2015 年 6 月 26 日	城間克也	看護部 3 ヶ月フォローアップ研修
領域別研修③ SSI/ 洗浄・消毒・滅菌	当院	2015 年 7 月 21 日	宮城美那	領域研修（看護部）
手指衛生の5つのタイミング	当院	2015 年 7 月 31 日	石川由希	看護部 2 年目研修
「血液を介して起こる医療関連感染」 肝炎ウイルス感染の基礎知識	当院	2015 年 8 月 11 日	佐久川廣	全職員対象
手指衛生を行うべき5つのタイミングについて	当院	2015 年 8 月 14 日	石川由希	2F 西病棟
領域別研修④ 細菌検査学の基礎知識 /BSI	当院	2015 年 8 月 18 日	森山武志、石川由希	領域研修（看護部）
手指衛生の5つのタイミング	当院	2015 年 9 月 8 日	城間克也	5F/7F リンクナース合同
針刺し防止勉強会	当院	2015 年 9 月 9 日	石川由希	透析室
領域別研修⑤ 抗菌薬について /UTI	当院	2015 年 9 月 15 日	大関秀和、城間克也	領域研修（看護部）
手指衛生5つのタイミング	当院	2015 年 9 月 16 日	石川由希	看護部主任会
手指衛生 5 つのタイミング	当院	2015 年 9 月 24 日	石川由希	ﾘﾊﾋﾞﾘ室
職業感染防止対策 ～針刺し・切創・粘膜汚染後の対応～	当院	2015 年 9 月 25 日	宮城美那	看護部 6 ヶ月フォローアップ研修
手指衛生 5 つのタイミング	当院	2015 年 9 月 29 日	石川由希	4F 病棟
手指衛生 5 つのタイミング	当院	2015 年 9 月 30 日	石川由希	ぐしかわ看護専門学校生
手指衛生 5 つのタイミング	当院	2015 年 10 月 13 日	石川由希	3F 病棟
領域別研修① 隔離予防策 ～職種なんて関係ない感染対策やることは一緒さ !!～	当院	2015 年 10 月 20 日	城間克也	領域研修（看護部）
感染管理	当院	2015 年 11 月 2 日	石川由希	ぐしかわ看護専門学校生
領域別研修② 職業感染 ～針刺し・感染性胃腸炎・ｲﾝﾌﾙｴﾝｻﾞ～	当院	2015 年 11 月 17 日	石川由希、城間克也	領域研修（看護部）
感染管理	当院	2015 年 11 月 27 日	石川由希	おもと会沖縄看護専門学校
領域別研修③ SSI/ 洗浄・消毒・滅菌 /UTI	当院	2015 年 12 月 15 日	城間克也、石川由希	領域研修（看護部）
領域別研修④ 細菌検査学の基礎知識 /BSI	当院	2016 年 1 月 19 日	森山武志、石川由希	領域研修（看護部）

名称	開催地	年月日	演者	対象
感染性胃腸炎	ハートライフ地域包括ケアセンター	2016 年 1 月 25 日	石川由希	ハートライフ地域包括ケアセンター
感染性胃腸炎	当院	2016 年 2 月 26 日	石川由希	看護部 1 年目フォローアップ研修
手指衛生調査報告会	当院	2016 年 3 月 23 日	城間克也、石川由希	全職員

実績報告資料



感染対策管理室　年度総括

感染対策管理室
石川　由希

平成 27 年度は手指衛生教育に力を入れました。全職員に手指衛生テクニックとして蛍光塗料を使用した手洗いチェックを実施しました。感染対策講演会での手洗い講習会を始め、毎月委員会前に手洗い講習会の機会を設け、所属長へ未受講者の参加を促し、医局会や病棟会等部署の集まりで手洗い講習会を実施し、リンクスタッフにも協力頂き受講率 88.3%を達成しました。手指衛生の遵守率をみる直接観察法で手指衛生遵守の調査、その結果を「手指衛生調査報告会」で周知しました。当院はアルコール携帯ポーチ着用していますが、「消毒携帯が当たり前、携帯せずには働けない！」の風土づくりが出来るよう努力していきます。

また、感染防止対策加算 I 同士の相互ラウンドでも今年度からは手指衛生遵守率もチェック項目の一つに加え、お互い刺激しあいながら連携を行うことができました。

病棟において臨床工学部と共働しジェットネブライザーを導入、ジェットネブライザーの洗浄を各部署から中央化することができました。

毎週の ICT（infection control team）ラウンドに加え、リンクスタッフによる病院環境ラウンドを強化し、各部署年に 2 回以上ラウンドすることができました。包交車のラウンドも実施し清潔エリアの確立、物品の整理を行いました。

今年度は閉鎖式末梢輸液ラインを導入、静脈留置針を安全機能付に変更することができました。しかし、安全機能のない中空針や縫合針での針刺しが見られました。安全器材を導入するだけでなく針捨て容器の活用や鋭利器材の取り扱いについての指導を行っていきたいと思います。

栄養サポート室

部門紹介

栄養サポート室　真栄城　ゆかり

栄養サポート（以下 NST）とは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハビリなどの専門スタッフが連携し、それぞれの知識や技術を持ち合い患者さんにとって最適な方法で栄養支援を行う医療チームの事を言います。

当院 NST は、平成 17 年に院長直下の委員会として発足し、同年に NST 稼働施設認定を取得しました。翌 18 年には褥瘡対策委員会と合併し NST・褥瘡対策委員会として協働で活動しています。

栄養サポート室　理念

医療チームの一員として、それぞれの専門スタッフが知識や技術を持ち合い患者さんに最適な方法で栄養支援を行う。

栄養サポート室　運営方針

入院患者さんに対し個々の栄養状態を把握し最もふさわしい栄養管理を提言することで、早期回復を助け患者さんの QOL 向上に貢献する。

職員数

総数

1 名

職種別

栄養サポート室　管理栄養士　1 名

認定・資格

氏名	認定・資格名
真栄城　ゆかり	栄養サポートチーム専門療法士
	日本静脈経腸栄養学会員

NST 回診＆カンファレンスについて

NST 対象患者選択

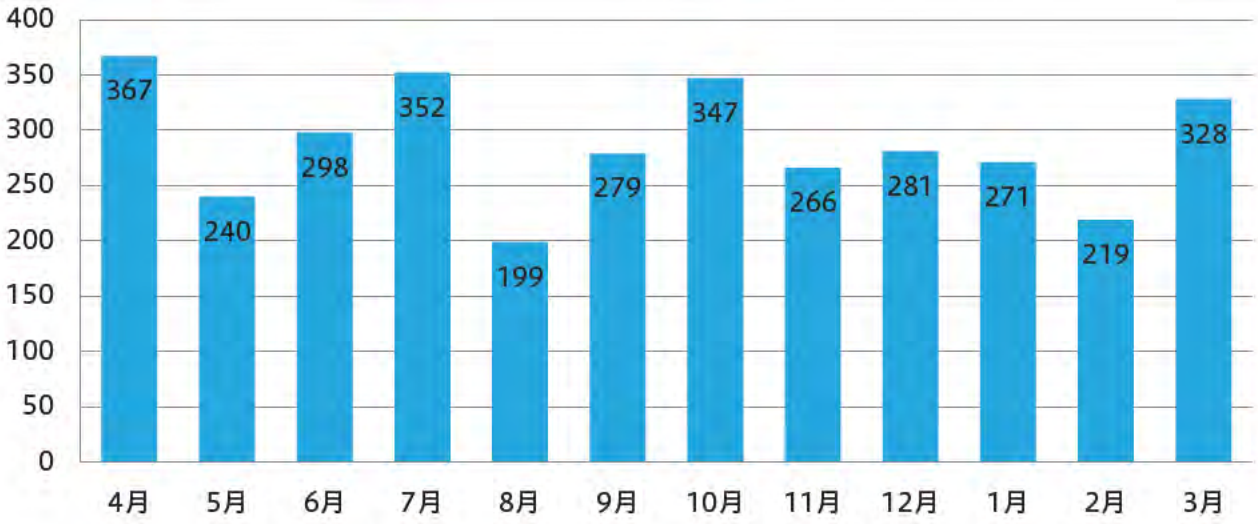
●回診前週の採血でアルブミン値 3.0㎎ /dl 以下の患者
●褥瘡を有してる
●摂食・嚥下障害がある
●経腸栄養中のトラブル（下痢・便秘・胃食道逆流・瘻孔トラブルなど）

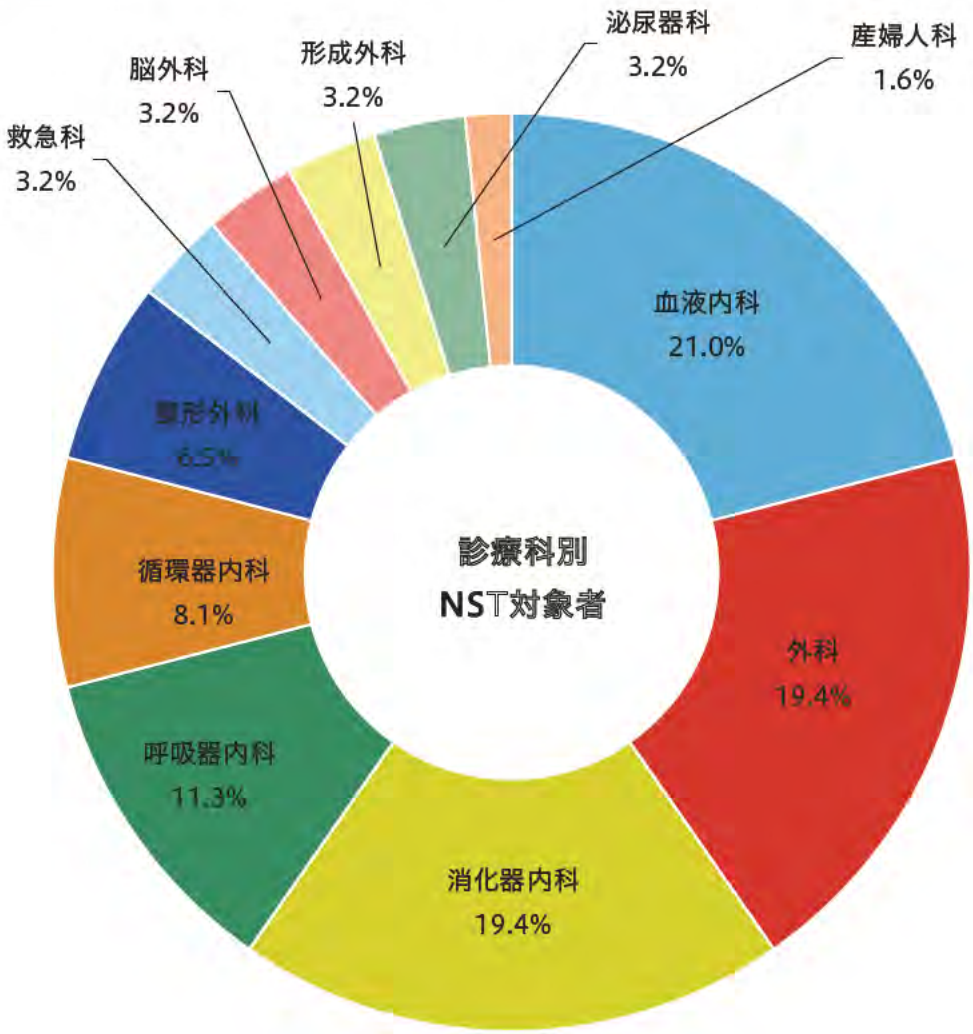
NST 対象除外

●術後の採血でアルブミン値が 3.0㎎ /dl 以下
●ターミナル期の患者（予後が短く介入困難）
●化学療法中などの患者でも摂食が十分な場合

業務実績

NST 対象者件数





活動実績

研修会実績

研修名	主催	開催地	開催日
がん終末期の栄養管理	旭化成ファーマ	那覇市	平成 27 年 6 月 26 日
V.A.C 治療システム基礎知識と管理について	委員会	院内	平成 27 年 7 月 16 日
TENA 排泄ケアセミナー	ユニチャーム	那覇市	平成 27 年 8 月 1 日
NST 研修会	ネスレ	市立病院	平成 27 年 8 月 1 日
モルテンエアマットの勉強会	モルテン	院内	平成 27 年 8 月 17 日
粘度調整栄養剤勉強会	委員会	院内	平成 27 年 10 月 8 日
消化態栄養剤勉強会	ネスレ	院内	平成 28 年 1 月 21 日
粘度調整食品勉強会	明治	院内	平成 28 年 2 月 18 日
第 10 回　沖縄 NST フォーラム	大塚製薬	那覇市	平成 28 年 3 月 12 日
第 4 回　リハビリテーション栄養研究会	沖縄リハビリテーション栄養研究会	那覇市	平成 28 年 3 月 26 日

栄養サポート室　年度総括

栄養サポート室
真栄城　ゆかり

平成 27 年度は、外科部長を栄養サポート室委員長、外科医師 1 名、消化器内科医師 1 名を副委員長とし、看護師 31 名、医療技術部 11 名で構成しています。
栄養サポート室では全入院患者さんに対し、採血結果 Alb 値 3.0g/dL 以下でカンファレンス対象者のリスト作成を行い、リンクナースは NST 回診及びカンファレンスの対象となる患者さんをリストアップし、毎週月曜日に病棟回診とカンファレンスを実施しています。
カンファレンスでは、適切な経腸栄養剤の選択、食事形態や食事量の検討を行い主治医や病棟スタッフに対し提案・助言をフィードバックし栄養状態の改善に努めました。

栄養管理は、すべての疾患治療の上で共通する基本的医療のひとつです。症状や疾患に対する専門的な栄養療法の知識を習得し、患者さん個々に応じた栄養管理が実施できるよう取り組んでいきたいと考えております。

栄養サポート室は、褥瘡委員会と協働で活動しており、平成 26 年度からは形成外科医が常勤となり、褥瘡の予防からケアに至るまで強化する事ができたと思います。

内視鏡センター

部門紹介

内視鏡センター長　折田　均

内視鏡センターは日本内視鏡学会の認定指導施設で、内視鏡センターには指導医や専門医、消化器内視鏡技師を含む看護スタッフなど 32 名が従事しています。当センターでは通常検査や予防医学センターの検査のほか、消化管出血などに対する緊急内視鏡処置も多数行っており、総胆管結石などの胆・膵の処置（ERCP 関連）や従来は外科的手術が必要だった、病変が広い早期食道がんや胃がん、大腸がんに対して、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）を取り入れています。

職員数

総数 32 名

職種別

指導医　4 名

専門医　4 名

その他　7 名

内視鏡技師　Ⅰ種　7 名

Ⅱ種　1 名

看護師　9 名

助手　3 名

担当医師

	氏名	学会認定など
院長	奥島 憲彦	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会指導医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医 検診マンモグラフィ読影認定医 日本食道学会認定医 日本体育協会公認スポーツドクター 日本がん治療認定医機構暫定教育医
副院長 内科部長	佐久川 廣	日本肝臓病学会指導医 日本感染症学会指導医 インフェクションコントロールドクター 日本感染症学会専門医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 AMO Advanced Femtosecond Laser
内視鏡センター長	折田 均	日本消化器内視鏡学会指導医 日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会指導医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医
内視鏡センター 副センター長	仲本 学	日本内科学会認定内科医 日本消化器病学会専門医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器内視鏡学会指導医 日本消化器がん検診学会認定医 日本がん治療認定医機構認定医

	氏名	学会認定など
予防医学センター 副センター長	宮里 稔	日本消化器内視鏡学会専門医 日本東洋医学会認定医
消化器内科部長 5 階病棟医長	宮城 純	日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器がん検診学会認定医 日本内科学会認定内科医
大腸・肛門外科医長	阿嘉 裕之	日本大腸肛門病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本外科学会認定登録医
	洲鎌 理知子	
消化器内科医長	柴田 大介	
	中村 献（非常勤）	

技師　認定・資格

氏名	認定・資格名
古波倉美登利	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師 第 1 種衛生管理
喜屋武香織	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
国仲トモ子	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
渡久山すえの	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師

氏名	認定・資格名
野原さやか	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
大城　敦	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
有馬ゆかり	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師
宮城愛子	日本消化器内視鏡学会認定　消化器内視鏡技師

内視鏡センター　運営方針

1. インフォームドコンセントを充実させ、受検者の満足に答える医療サービスを提供する。
2. 安全性を確保しつつより高いレベルへの診断能の向上、内視鏡治療の質の向上をめざす。
3. 消化器内視鏡指導施設として、医師及びコメディカルスタッフの指導・育成を行う。

目標

（1）より高い診療技術の向上

（2）患者安全の確保

（3）洗浄・消毒の徹底と管理

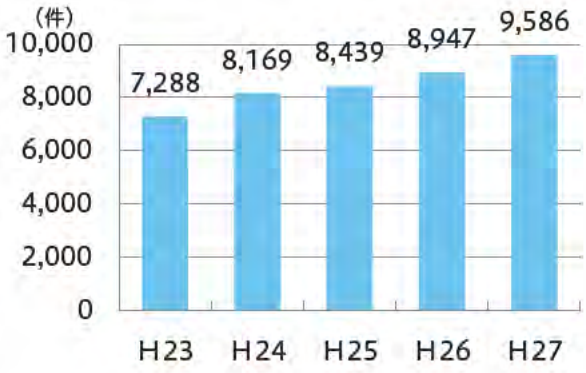
検査・治療件数

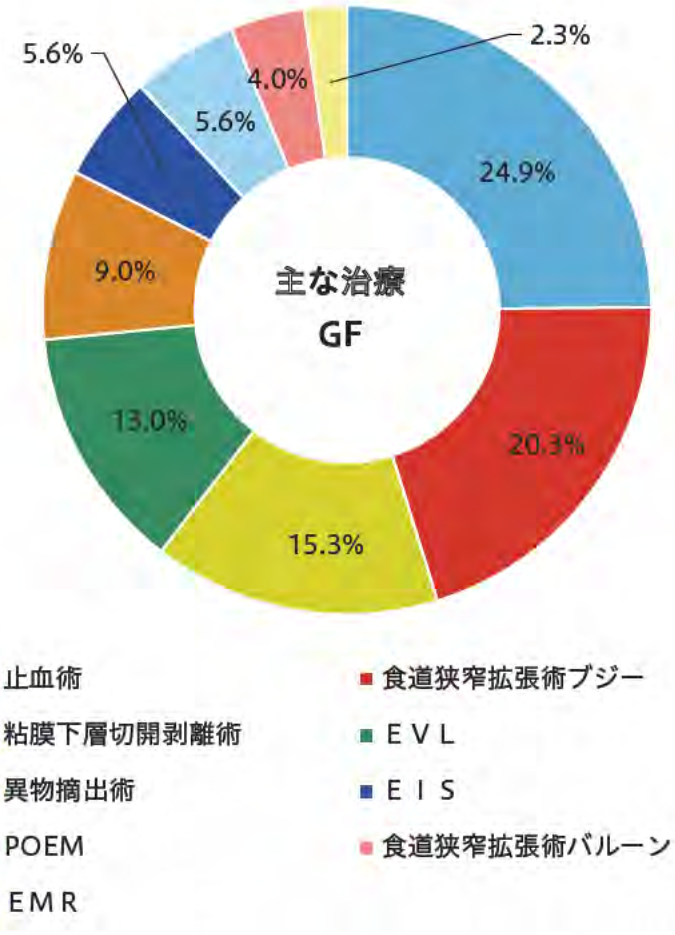
内視鏡検査及び内視鏡的治療

種別	合計
胃内視鏡	9,586
大腸内視鏡	3,052
ERCP	134
小腸内視鏡	0
気管支鏡	75
上部消化管（内訳）	
止血術	44
EMR	4
EVL	23
EIS	10
食道狭窄拡張術バルーン	7
食道狭窄拡張術ブジー	36
食道ステント留置術	4
焼灼術	43
異物摘出術	16
胃瘻造設術	36
粘膜下層切開剥離術	27
マーキング	1
イレウスチューブ挿入	5
POEM	10
胃・十二指腸・小腸拡張	6
超音波内視鏡	23

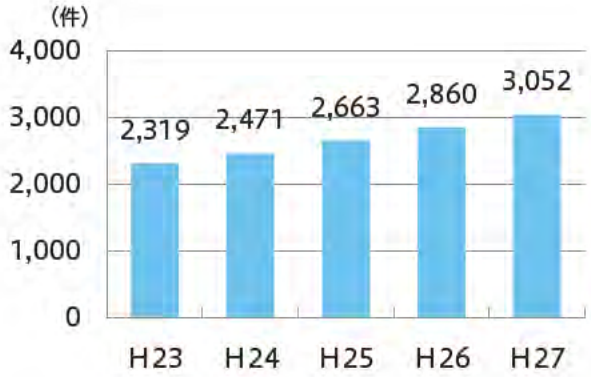
下部消化管（内訳）	
EMR	355
止血術	23
直腸狭窄拡張術	14
異物摘出術	1
超音波内視鏡	0
粘膜下層切開剥離術	6
ステント	0
イレウスチューブ挿入	0
マーキング	1
胆道・膵管（内訳）	
乳頭切開術（EST）	51
乳頭拡張術（EPBD）	5
総胆管結石砕石 / 採石術	36
経鼻胆管ドレナージ（ENBD）	7
胆管 stent	73
膵管 stent	17
ENPD	1
気管支鏡（内訳）	
経気管支肺生検（TBLB）	33
肺胞洗浄（BAL）	39
異物摘出術	4
ステント挿入	2

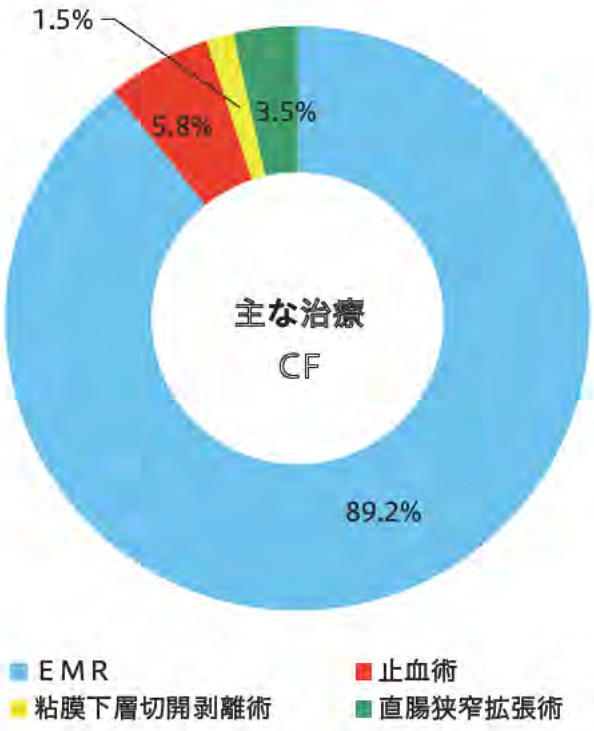
GF 件数



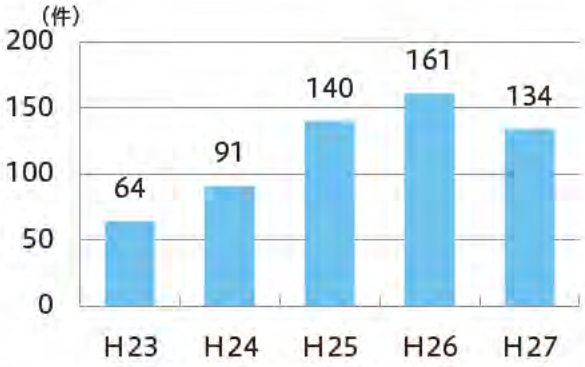


CF 件数

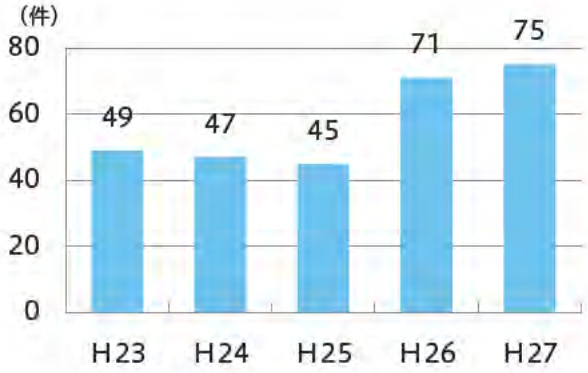




ERCP 件数



BF 件数



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
大腸前処置説明の時間短縮を試みて―説明用DVDの作成と活用から―	第　67 回九州消化器内視鏡技師会	長崎	平成 27 年 6 月 20 日	渡久山すえの
座長	沖縄県消化器内視鏡技師会主催教育講演	西原町	平成 27 年 11 月 28 日	古波倉美登利
座長	第　68 回九州消化器内視鏡技師会	福岡県	平成 27 年 12 月 5 日	古波倉美登利

活動実績

院内外研修・勉強会参加実績

名称	開催地	年月日	参加者
「ループスネアの取り扱い」	当院	2015 年 4 月 22 日	古波倉、國仲、渡久山、野原、前田山内、照屋、赤嶺、森川
「止血術について」	当院	2015 年 5 月 7 日	古波倉、喜屋武、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋、森川、兼本
オリンパス主催「スケルトンスコープを用いての構造について」	当院	2015 年 5 月 21 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、前田、山内、照屋、森川、兼本、伊佐
「TSB チューブ・ストマックバルーンの取り扱い」	当院	2015 年 6 月 4 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山 、大城、前田、照屋、森川、宮城、兼本
「キシロカインについて」	当院	2015 年 6 月 5 日	古波倉、喜屋武、野原、大城、前田、山内、照屋、赤嶺、兼本
第 67 回九州消化器内視鏡技師会	長崎	2015 年 6 月 20 日	古波倉、渡久山
オリンパス主催「ERCP 処置具の取り扱い」	当院	2015 年 7 月 16 日	喜屋武、國仲、渡久山、前田、山内 、照屋、森川、兼本、伊佐
味の素主催「大腸内視鏡検査～モビプレップの有用性と安全性について」	当院	2015 年 7 月 30 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城
「用手圧迫について」	当院	2015 年 8 月 21 日	喜屋武、國仲、野原、山内、照屋、森川、兼本、伊佐
オリンパス主催「スケルトンスコープを用いての構造について」	当院	2015 年 10 月 14 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、前田、山内、兼本、伊佐小嶺、山口、幸地
「PPI の内服作用と種類について」	当院	2015 年 11 月	喜屋武、國仲、前田、照屋、兼本、伊佐
「スネアを使用しての高周波取り扱い」	当院	2015 年 11 月 11 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋、兼本、伊佐
沖縄県消化器内視鏡主催　教育講演「明日から使える内視鏡看護」	琉球大学	2015 年 11 月 28 日	古波倉、喜屋武、大城、兼本、照屋、
第 68 回九州消化器内視鏡技師会	福岡	2015 年 12 月 5 日	古波倉
「大腸圧迫法について」	当院	2015 年 12 月 22 日	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、前田、山内、照屋、兼本、伊佐
「ERBE・ICC200　事前のチェック方法について」	当院	2016 年 1 月	古波倉、國仲、渡久山、野原、大城、前田、照屋、兼本、伊佐
「高周波について」	当院	2016 年 1 月	古波倉、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城、前田、照屋、兼本、伊佐
ジョンソン＆ジョンソン主催「コーチングについて」	当院	20016 年 1 月 28 日	古波倉、國仲、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋、兼本、伊佐
カイゲン主催「大腸内視鏡専用検査食・ファイン」	当院	2016 年 1 月 29 日	古波倉師長、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋、兼本、伊佐
オリンパス主催　「高周波について」	当院	2016 年 1 月	古波倉師長、喜屋武、國仲、渡久山、野原、大城、前田、山内、照屋
沖縄県消化器内視鏡技師会主催　教育講演「麻酔科から見る内視鏡検査に於ける鎮静剤ガイドラインの解釈」	琉球大学	2016 年 3 月 19 日	古波倉、喜屋武、国仲、兼本、前田、伊佐、照屋、野原、大城

内視鏡センター　年度総括

内視鏡センター長
折田　均

平成 27 年度の内視鏡件数は上部下部内視鏡検査ともに過去最高の件数でした。その要因としては内視鏡医の人員がある程度充足したことが挙げられます。ただし現行の体制では、検査件数も飽和状態に達しつつあります。

2 年後には内視鏡センターの拡充が予定されており、施設がフル稼働すれば、検査件数も飛躍的に増えることが予想されます。そのためには、その時に向けて人員（内視鏡医や内視鏡技師など）の確保を進めなければなりません。

予防医学センター

部門紹介

予防医学センター長　謝花　隆光

予防医学センターは昭和 63 年の開院時からスタートしており、当初は外来部分に位置し、平成 3 年に 9 階建ての建物が完成し 8 階へ移動しました。

スタート時の受診者はドックが 46 名、健診が 197 名でしたが、9 階へさらにの拡張しハード・ソフト面で受診者の受け入れ態勢を充実させた結果、平成 27 年度には、ドックが 12,115 名、健診が 1,575 名となりました。総受診者数は 14,696 名で、前年度より 648 名増となっています。

職員数

総数

48 名

職種別

医　　師　7 名
看 護 師　11 名
保 健 師　5 名
一般事務　10 名
クラーク　7 名
検査技師　7 名
助　　手　2 名

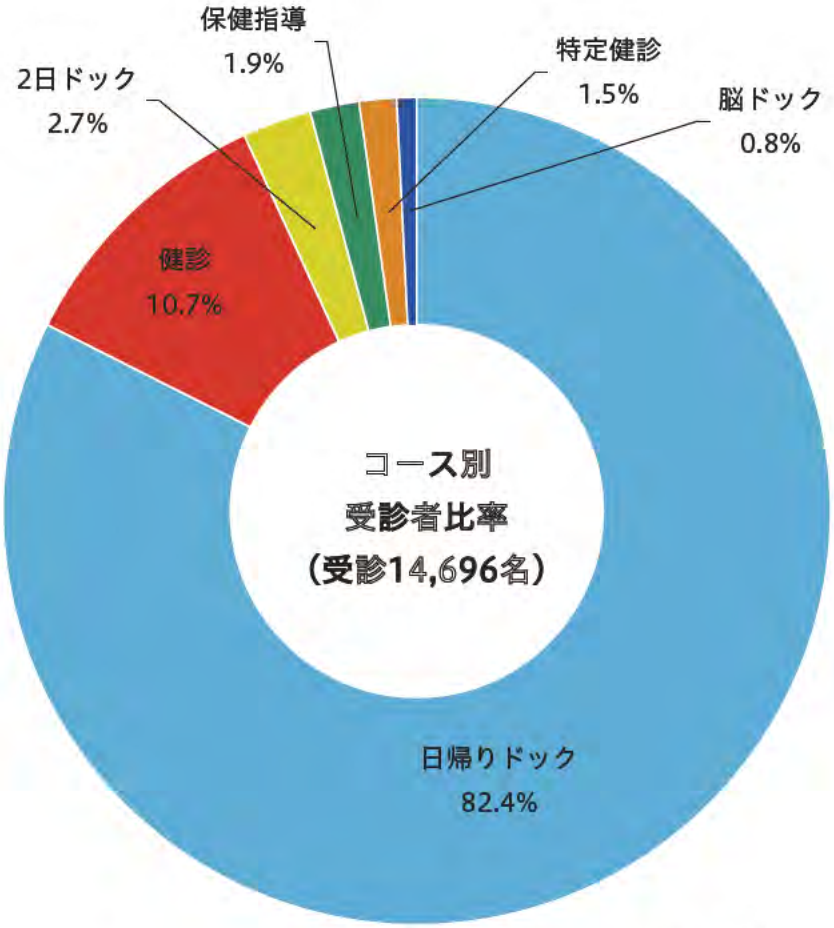
予防医学センター　理念

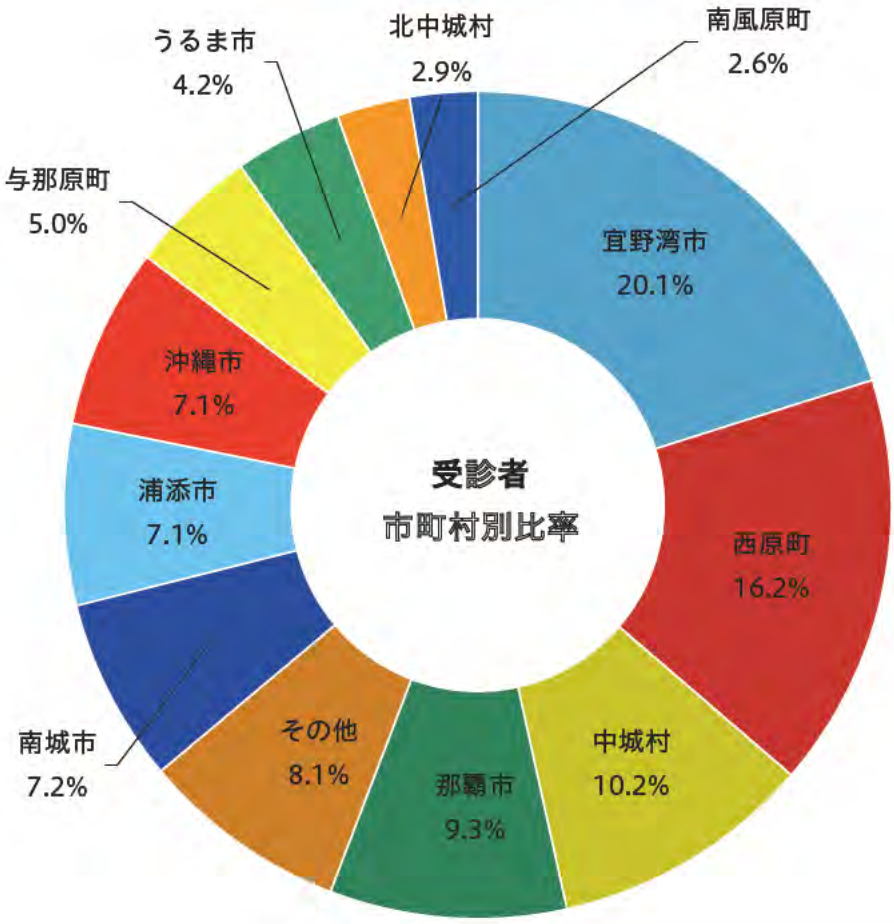
1. 受診者に満足いただけるよう、心のこもった親切・丁寧な接遇につとめます
2. 診断技術と検査の精度向上に心がけ、質の高い信頼される健診に努めます
3. 医師、保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師、事務職などスタッフ全員が相互連携協力して、最良の健診サービスに努めます
4. 受診者に満足していただけるよう、健診結果を十分に説明し、かつ事後の健康支援に努めます

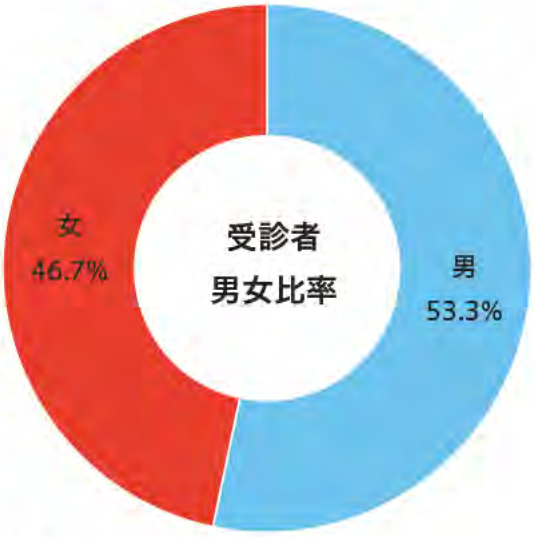
予防医学センター　運営方針

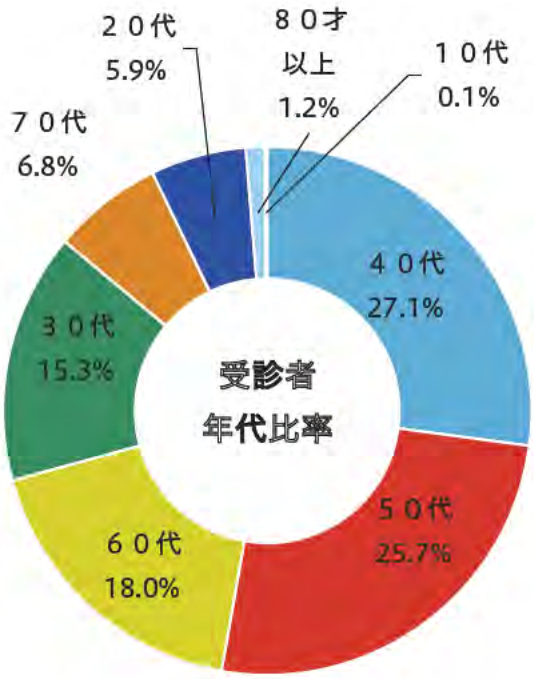
私たちは、受診者との心のふれあいを大切に信頼される予防医学をめざします。

検査件数

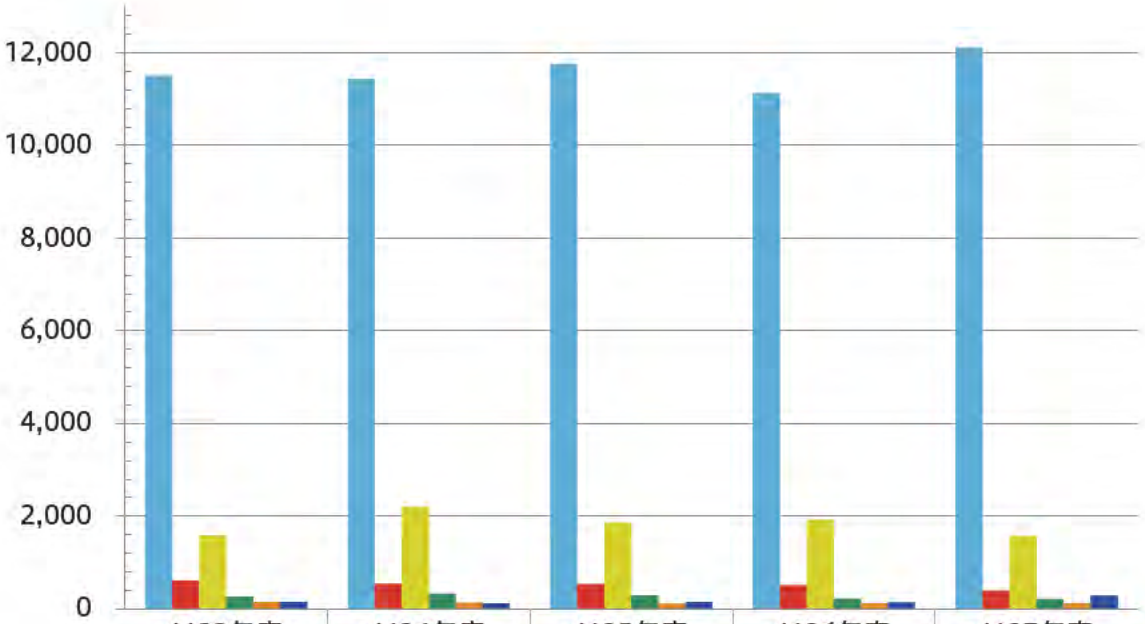

保健指導
1.9%
特定健診
1.5%
2日ドック
2.7%
脳ドック
0.8%
健診
10.7%
コース別
受診者比率
（受診14,696名）
日帰りドック
82.4%


うるま市
4.2%
北中城村
2.9%
南風原町
2.6%
与那原町
5.0%
宜野湾市
20.1%
沖縄市
7.1%
受診者
市町村別比率
浦添市
7.1%
西原町
16.2%
南城市
7.2%
その他
8.1%
那覇市
9.3%
中城村
10.2%



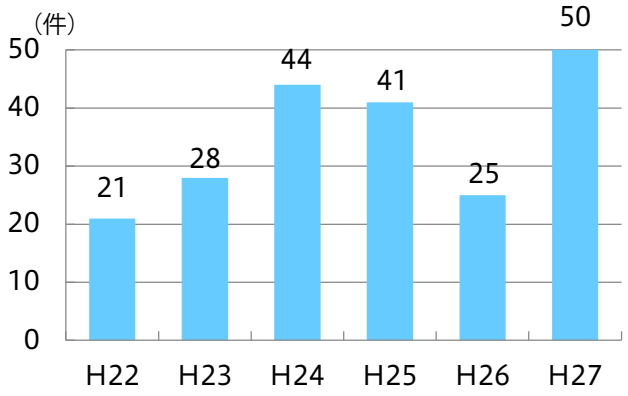


受診者数の推移

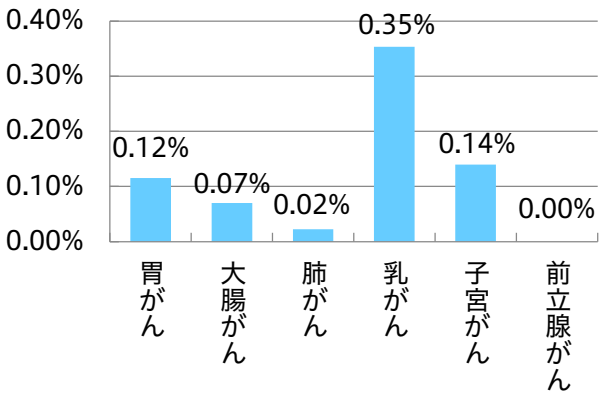


	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
日帰りドック	11,511	11,440	11,762	11,136	12,115
2日ドック	604	546	530	510	396
健診	1,589	2,194	1,859	1,926	1,575
特定健診	260	323	289	217	214
脳ドック	145	127	111	119	114
保健指導	146	115	145	140	282

悪性腫瘍発見報告数



全受診者に対する悪性腫瘍発見率



活動実績

院外勉強会

演題名	主催（学会名）	会場	日時	参加者
特定保健指導関係事務担当者合同打合せ会	健康保険組合連合会沖縄連合会	りゅうぎん健保会館	平成 27 年 4 月 28 日	金城　司、甲斐博子
2015 年世界禁煙デーのテーマ解説	沖縄ニコチン依存症研究会	沖縄県医師会館	平成 27 年 5 月 30 日	呉屋みなみ
宜野湾市二次健診勉強会	宜野湾市福祉保健課	翔南病院	平成 27 年 6 月 17 日	高屋美希
人間ドック検診情報管理指導師研修会	日本人間ドック学会	東京都　大崎ブライトコアコール	平成 27 年 6 月 5 日～ 6 月 6 日	安次富　道代
ストレスチェック制度実施者向け研修	沖縄県医師会	沖縄県医師会館	平成 27 年 11 月 9 日	金城　司、屋我裕子
宜野湾市二次健診勉強会　第 2 回	宜野湾市福祉保健課	宜野湾海邦病院	平成 28 年 1 月 19 日	屋我裕子、桃原勝美、高屋美希
ストレスチェック実施者養成研修	株式会社　チーム医療	沖縄県立博物館・講義室	平成 28 年 2 月 23 日	小橋川　広美
特定保健指導担当者合同会議及び研修	全国健康保険協会　沖縄支部	沖縄県産業支援センター	平成 28 年 3 月 10 日	呉屋　みなみ、桃原勝美

院内勉強会

演題名	講師	場所	日時	参加人数
毎日の生活に取り入れようらくらく運動療法	長嶺敦司	9 階　検査フロア	平成 27 年 8 月 25 日	19 人
生理検査の案内	砂川実	9 階　検査フロア	平成 27 年 9 月 2 日	22 人
看護部領域研修　糖尿病	療養指導師　堀江	9 階　検査フロア	平成 27 年 12 月 3 日	21 人
多発性嚢胞腎（ADPKD）	大塚製薬株式会社	9 階　検査フロア	平成 27 年 12 月 15 日	22 人
乳腺勉強会 1　総論	野村寛徳	9 階　検査フロア	平成 28 年 1 月 16 日	34 人
乳腺勉強会 2　総論	野村寛徳	9 階　検査フロア	平成 28 年 2 月 15 日	15 人

実績報告資料等

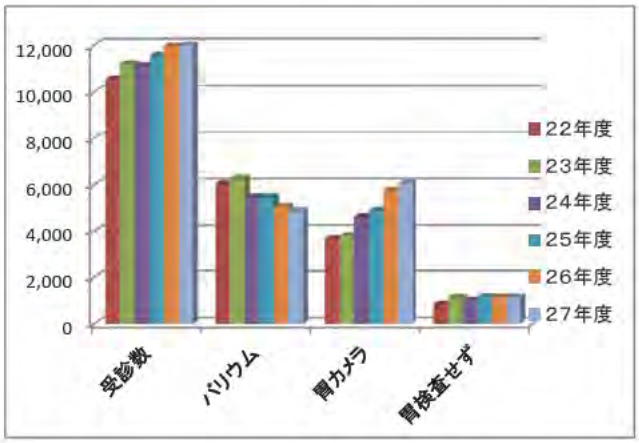
日帰りドックの胃検診の推移（件数）

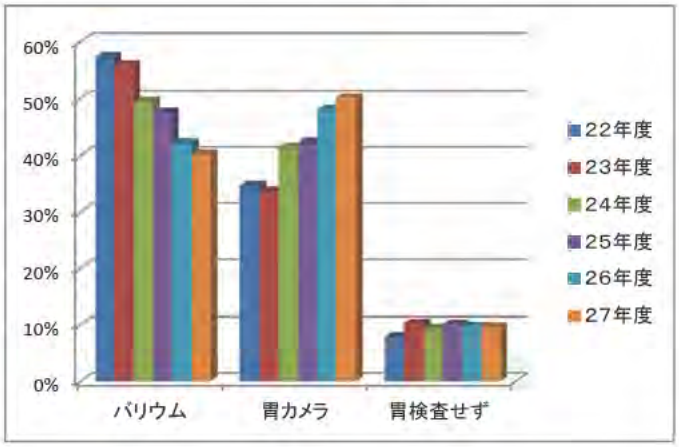
年度	受診数	バリウム	胃カメラ	胃検査せず
２２年度	10,532	6,052	3,650	830
２３年度	11,215	6,270	3,788	1,157
２４年度	11,137	5,499	4,613	1,025
２５年度	11,561	5,498	4,886	1,177
２６年度	11,967	5,041	5,755	1,171
２７年度	12,115	4,874	6,072	1,169

日帰りドックの胃検診割合の推移（割合%）

年度	バリウム	胃カメラ	胃検査せず
２２年度	57%	35%	8%
２３年度	56%	34%	10%
２４年度	49%	41%	9%
２５年度	48%	42%	10%
２６年度	42%	48%	10%
２７年度	40%	50%	10%

年々、胃カメラの受診者が増えており、２６年度からは胃カメラの数がバリウムを上回っている





予防医学センター　年度総括

予防医学センター
センター長
謝花　隆光

予防医学センターの平成 27 年度は、人間ドック健診施設認定機能評価受審が大きな目標でした。人間ドック･健診受診者数増加、受診者の視点に立った業務改善、スタッフ教育の充実による健診・ドックの質の向上、オプション検査の充実はもちろんのこと、人間ドック機能評価に向けての各種マニュアル整備、環境整備などの具体的な準備に取り組みました。

1. 平成 27 年 6 月 26 日に、日本人間ドック学会健診施設認定機能評価を受審し、同年 9 月に認定合格通知を頂きました。
2. 人間ドック・健診受診者数は 14,696 人で、前年度より 648 人の増加となりました。大きな要因は消化器内科と内視鏡センターの協力により、胃カメラ検査に　おいて経鼻内視鏡導入および早朝検査枠設置による検査枠の拡大を図ったことに　よるものと考えられます。
3. 受診者の視点にたったサービスを提供するため、投書、ゆいまーるノート（健診ドック終了後、自由に意見を記入してもらったもの）の意見、苦情、提案に対　して対応を行い、改善した点を貼り出し受診者にフィードバックしています。
4. 平成 27 年度より､2 日ドックがホテルでの宿泊コースと自宅からの通院 2 日コースの選択となり、院内での宿泊が廃止となりました。
5. 大腸カメラ検査、CT 検査や MRI 検査、乳腺エコー検査、マンモグラフィーなど、その他ほとんどのオプション検査項目で検査数が増加しています。平成 28 年度からはオプションとして、血清ピロリ菌検査が加わります。また琉球大学放射線　科との提携により、PET 検査もオプションとして選択できるようになります。
6. 平成 27 年 12 月より、企業・事業所が雇用している労働者のストレスチェックが改正労働安全衛生法により義務化され、該当する企業・事業所に対して、当セ　ンターでもストレスチェックを開始します。
7. 医師や看護師・保健師チーム、検査科、外部からの講師による勉強会を頻回に行い、　また病院の勉強会にも積極的に参加して、スタッフ間の共有知識を増やし、日常　業務に役立てています。平成 27 年度は、機能評価受審に向けた取り組みのため、　学会発表はありませんでしたが、平成 28 年度は人間ドック学会学術大会で 2 題　の演題発表を予定しております。

平成 27 年度も、診察や読影に御協力して下さった医局の先生方、看護部、放射線科、臨床検査科、各外来診療科、救急室、内視鏡センター、ハートライフクリニック、薬局、地域医療連携室、栄養科、厨房、食堂とまと、その他各部署の御協力に深く感謝申し上げます。

委員会活動

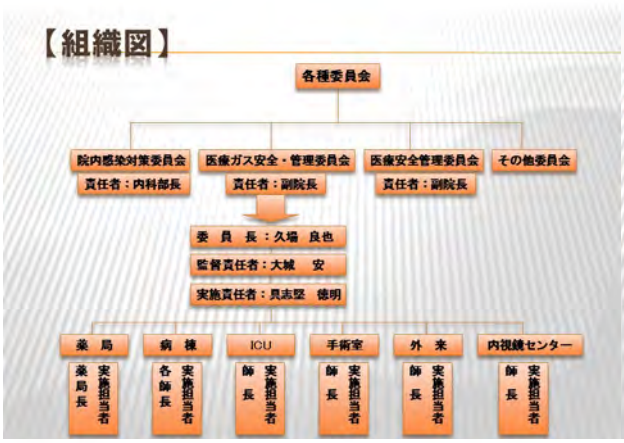
医療安全管理委員会

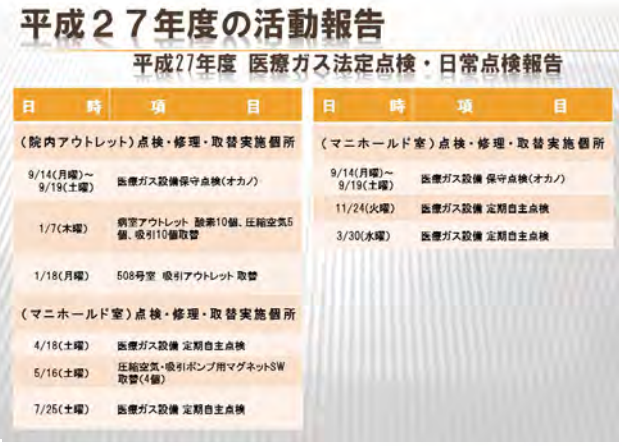
委員会名	医療安全管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	25 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	中野久乃
委員名	【医局】久場良也、末吉健次、普久原　朝規、上原博香、山田義貴 【看護部】宮平典子、外間真紀子、安村公均、古波倉美登利、池村久美子 (臨床心理士)、堀江恭子 (糖尿病療養指導士)、甲斐博子 【医療技術部】神谷乗敏、田中健嗣、大城　安、久場徳子、石原悟、松川玲子、照屋俊樹、斉藤辰好、翁長宏人 【事務部】仲地智俊、宮城淳、河上裕一 【ハートライフクリニック】林　広江		
活動目的	1）医療事故防止のための安全管理体制を確立し、患者中心の医療そして医療全体の質の向上をはかる。 2）医療事故やニアミスの情報を収集し、分析して具体的な事故防止対策に役立てる。		
活動内容	1）医療事故防止策の検討及び研究に関すること 2）医療事故の分析及び再発防止策の検討に関すること 3）医療事故防止のための職員に対する指示に関すること 4）医療事故防止のために行う提言に関すること 5）医療事故発生防止のための啓発、教育、広報及び出版に関すること 6）リスクマネージャーの養成に関すること 7）その他医療事故の防止に関すること ※委員会開催：毎月第 3 金曜日　17:00 ～		
備考			

医療ガス安全・管理委員会

委員会名	医療ガス安全・管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	18 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城　安
委員名	【医　局】久場良也 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、諸喜田久美、屋良ちえみ、中野久乃、安村公均、外間真紀子、比嘉　暢、米須智子、宮平典子、古波倉美登利、竹本直美、宮城　つかさ 【医療技術部】大城　安、田中 健嗣 【事務部】比嘉　靖、具志堅徳明		
活動目的	医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的とする。		
活動内容	1. 医療ガス設備について実施責任者に保守点検を行わせること。監督責任者は、実施責任者による業務を指導、監督する。 2. 帳簿を備え、行った保守点検業務について記録を作成し保存する。 3. 医療ガス設備に係る新設及び増設工事・部分改造・修理等にあたっては臨床各部門にその旨周知徹底を図り、使用に先立って厳正な試験・検査を行い、安全を確保する。 4. 医療施設内の各部門に医療ガスにかかわる知識を普及し、啓発に努める。 5. その他医療ガスに関わる事項。		
備考	平成 27 年度の振り返り 医療ガス安全・管理委員会は医療ガス（診療に供給する酸素、各種麻酔ガス、吸引、医療用圧縮空気、窒素をいう）設備の安全管理を図り、患者の安全を確保することを目的に取り組んでいます。 医療ガス安全管理教育として 4 年前より株式会社オカノのご協力を得て、職員へ医療ガス安全管理教育の講義、実演を行っていましたが、平成 27 年度は当院の医療ガス安全･管理委員が医療ガスの種類、取扱い、点検方法をテーマに講義と実演を解り易く行いました。 平成 28 年度に向けた展望 平成 28 度も医療ガスの安全管理教育を当院の医療ガス安全・管理委員が行う予定です。 また、医療ガス法定点検及び自主点検を確実に実施します。		

実績報告資料等





医療事故対策委員会

委員会名	医療事故対策委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	13 名
事務局・担当部署	医療安全管理室	担当者名	中野久乃
委員名	【医　局】久場良也、佐久川　廣、西原　実、宮平　工、與座　一、末吉健次 【医療安全管理室】中野久乃（専従看護師） 【看護部】宮平典子、池村久美子（メディエーター） 【事務部】當銘秀之、仲地智俊、宮城　淳、河上裕一		
活動目的	病院で発生する医療事故、訴訟問題に迅速に対応するとともに適切な対応を図るため		
活動内容	1）医療事故発生の事実及び経過の確認に関すること 2）医療事故の原因調査に関すること 3）医療事故発生に伴う対応策に関すること 4）訴訟等の対応策に関すること		
備考			

医療廃棄物委員会

委員会名	医療廃棄物委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	27 人
事務局・担当部署	医療技術部	担当者名	宮城竜也
委員名	【医　局】普天間光彦 【看護部】宮平典子、屋良ちえみ、内間幸人、中野久乃、安村公均、外間真紀子、、米須智子、比嘉　暢、諸喜田久美、島袋　すが子、比嘉憲貴、宮城つかさ、古波蔵　美登利、竹本直美、石川由希 【医療技術部】宮城竜也、仲座義富、玉城義彦、斎藤辰好、神谷乗敏、久場徳子、田中健嗣、砂川　実 【事務部】吉川　忍、宮里　毅、大城利信(国際ビル)		
活動目的	医療廃棄物の管理に関する基準を定め、医療廃棄物を適正に処理し、感染を防止する。		
活動内容	年 1 回以上、必要に応じて管理委員会を開催する。 1）年 1 回、4 月入職者へのオリエンテーション 2）国際ビル産業職員への処理及び取り扱い、感染対策等の説明指導 3）処理法変更時、各部署へ説明指導		
備考			

実績報告資料

院内感染対策委員会

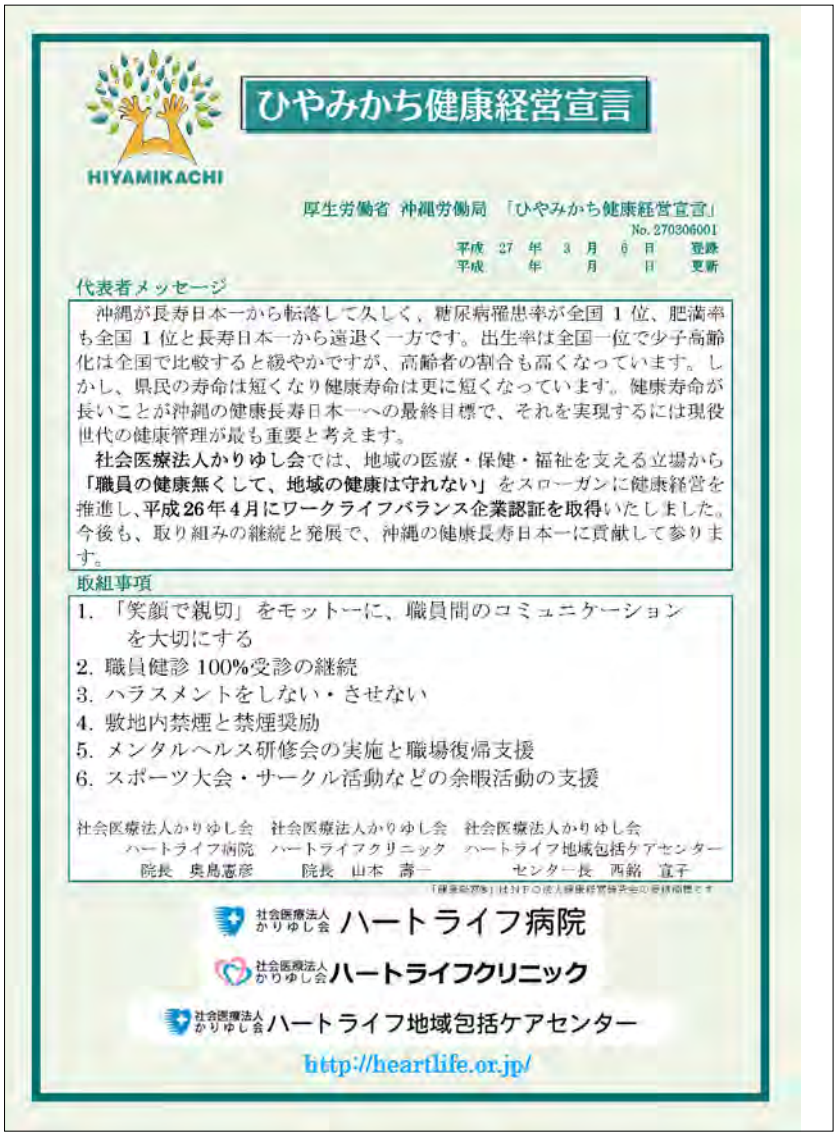
委員会名	院内感染対策委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	18 名
事務局・担当部署	感染対策管理室	担当者名	石川由希
委員名	【感染対策管理室】石川由希（感染管理認定看護師）、宮城好美（事務） 【医　局】普天間光彦、奥島憲彦、宮平　工、国島知子、国吉史雄、研修医（輪番） 【看護部】西銘宣子、諸喜田久美、比嘉憲貴、宮城美那（手術室 / 感染管理認定看護師）、城間克也（ICU/感染管理認定看護師） 【医療技術部】神谷乗敏、田中健嗣、森山武志 【事務部】當銘秀之、桑江　高		
活動目的	1）感染発生の予防と防止 2）感染発生時の発生源の調査、拡散防止、治療 3）再発防止 4）アウトブレイク時の早期対応 5）サーベイランスの実施		
活動内容	1）サーベイランスの計画、実施、評価 2）アウトブレイクの調査と対策への直接関与 3）医療従事者への教育 4）感染委員会のマネジメント 5）感染管理に関する相談 6）厚生労働省サーベイランス JANIS への参加 7）部署のラウンドとチェック、指導 ＊耐性菌ラウンド：毎週月曜日 14 時～ ＊感染対策委員会：毎月第3月曜日17時～ ＊ ICT 会議：毎週月曜日14時30分～		
備考			

実績報告資料等

衛生委員会

委員会名	衛生委員会		
委員長名	奥島　憲彦	構成人数	15 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	吉川　忍
委員名	【医　局】奥島憲彦、菅谷明子、菅野善一郎 【看護部】西銘宣子、池村久美子、石川由希、屋我裕子 【医療技術部】神谷乗敏、仲座義富、田中健嗣 【事務部】吉川　忍、波平　勇一郎、大山　朝史、宮城さおり 【ハートライフクリニック】大家聡樹		
活動目的	職員の健康保持及び、健康増進を図る 職員のメンタル不調の予防		
活動内容	●春季職員健診、秋季職員健診の実施 ●メンタルヘルス研修会の開催（全職員対象、役職者対象を各3回） ●職業性ストレス簡易評価（Ｗｅｂ）の実施 ●職員Ｂ型ワクチン接種3回実施 ●職員インフルエンザワクチン接種の啓蒙 ●針刺し事故に対するフォロー実施 ●喫煙に関するアンケート調査実施 ●職員満足度調査（H27.11）ワークライフバランス委員会と共同 ●ひやみかち健康経営宣言登録（沖縄労働局） ●第１種衛生管理者資格取得（15 名） ●衛生工学衛生管理者資格取得（2 名）		
備考			

実績報告資料等



ひやみかち健康経営宣言

HIYAMIKACHI

厚生労働省 沖縄労働局 「ひやみかち健康経営宣言」
No. 270306001
平成 27 年 3 月 6 日 登録
平成 年 月 日 更新

代表者メッセージ

沖縄が長寿日本一から転落して久しく、糖尿病罹患率が全国１位、肥満率も全国１位と長寿日本一から遠退く一方です。出生率は全国一位で少子高齢化は全国で比較すると緩やかですが、高齢者の割合も高くなっています。しかし、県民の寿命は短くなり健康寿命は更に短くなっています。健康寿命が長いことが沖縄の健康長寿日本一への最終目標で、それを実現するには現役世代の健康管理が最も重要と考えます。

社会医療法人かりゆし会では、地域の医療・保健・福祉を支える立場から**「職員の健康無くして、地域の健康は守れない」**をスローガンに健康経営を推進し、**平成26年4月にワークライフバランス企業認証を取得**いたしました。今後も、取り組みの継続と発展で、沖縄の健康長寿日本一に貢献して参ります。

取組事項

1. 「笑顔で親切」をモットーに、職員間のコミュニケーションを大切にする
2. 職員健診 100%受診の継続
3. ハラスメントをしない・させない
4. 敷地内禁煙と禁煙奨励
5. メンタルヘルス研修会の実施と職場復帰支援
6. スポーツ大会・サークル活動などの余暇活動の支援

社会医療法人かりゆし会　社会医療法人かりゆし会　社会医療法人かりゆし会
ハートライフ病院　ハートライフクリニック　ハートライフ地域包括ケアセンター
院長　奥島憲彦　院長　山本　壽一　センター長　西銘　宣子

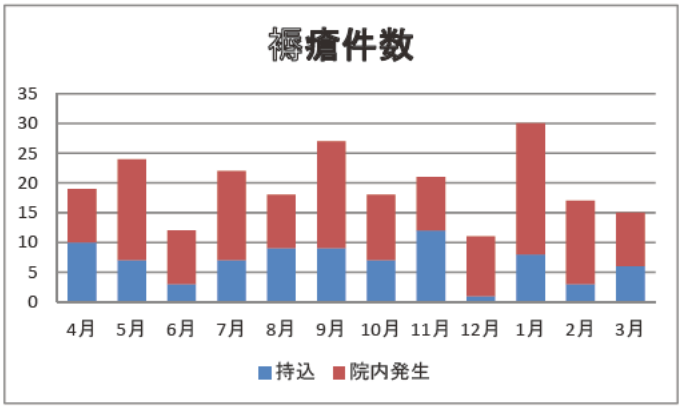
「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です

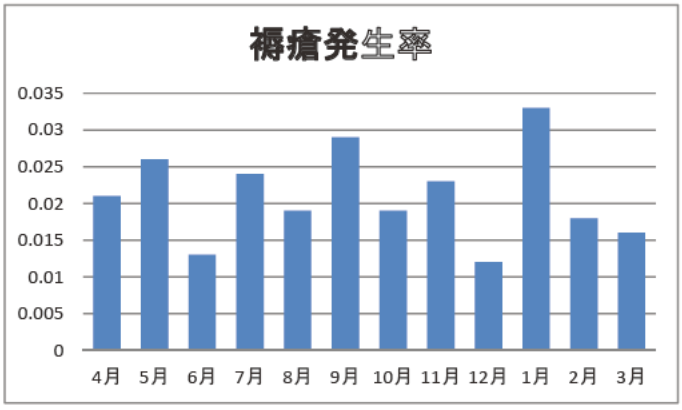
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ病院
社会医療法人かりゆし会 ハートライフクリニック
社会医療法人かりゆし会 ハートライフ地域包括ケアセンター
http://heartlife.or.jp/

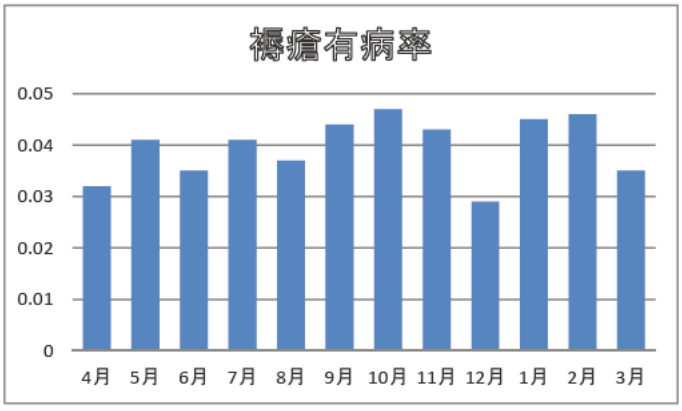
NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会

委員会名	NST・褥瘡対策・排泄ケア委員会		
委員長名	宮平　工（NST）/ 東盛貴光（褥瘡）	構成人数	48 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	嘉数智子
委員名	【医　局】宮城　純、阿嘉裕之、林　健太郎、溝渕貴俊 【看護部】宮平典子、當真さゆり、新川優子、金城隆也、嘉数智子（専従）、橋本絵理、比嘉若菜、具志堅弘美、本村いずみ、大城幸江、足立聖子、宇地原麗奈、平良勝朗、外間幸代、新地博美、岡田さつき、與那嶺美咲、鈴木千恵、新垣涼香、与那城友子、前田利枝子、與那嶺裕、下地久美子、玉木夕菜、福地樹、冨盛真希、知念真名実、松堂かおり、宮城久美子、新垣仕言、米須さやか、屋比久義昴 【医療技術部】真栄城ゆかり、翁長寛人、田中　泉、富田美智代、松川玲子、大城盛彦、島田真紀子、内間真紀子、川本桂子、新垣　健		
活動目的	1. 入院患者の褥瘡発生を予防する 2. 褥瘡発生（入院時より有する）患者に対して適切なケアを実施する 3. 褥瘡ケアに対する質の向上 4. 低栄養にある患者のアセスメントを行い適切な栄養療法のアドバイスの実施		
活動内容	毎週１回（木曜日）、形成外科医師、管理栄養士、薬剤師、理学療法士、NST 専従看護師にて回診を実施。医師による処置だけではなく、低栄養にある患者の場合は栄養士や NST が介入し、理学療法士によるポジショニングの指導などをおこなっている。		
備考	NST 専従者の変更あり（看護師嘉数より管理栄養士真栄城へ変更）		

実績報告資料等



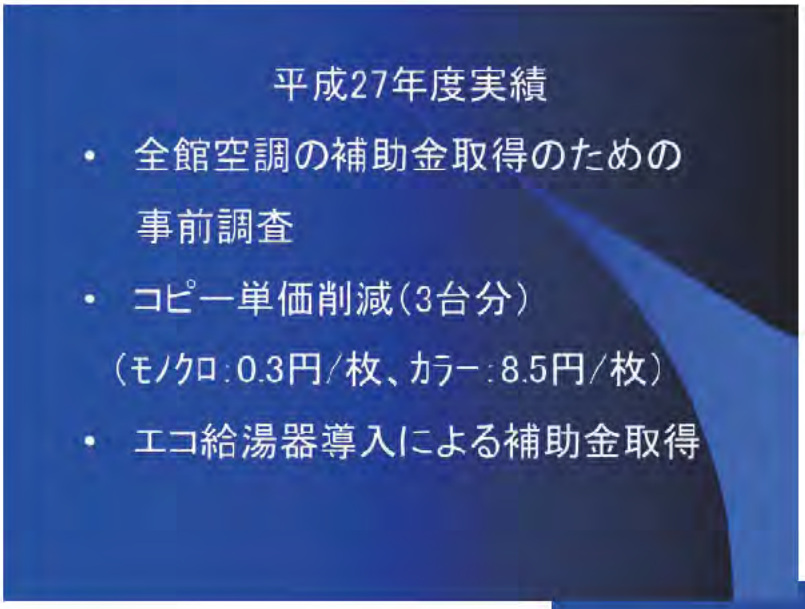


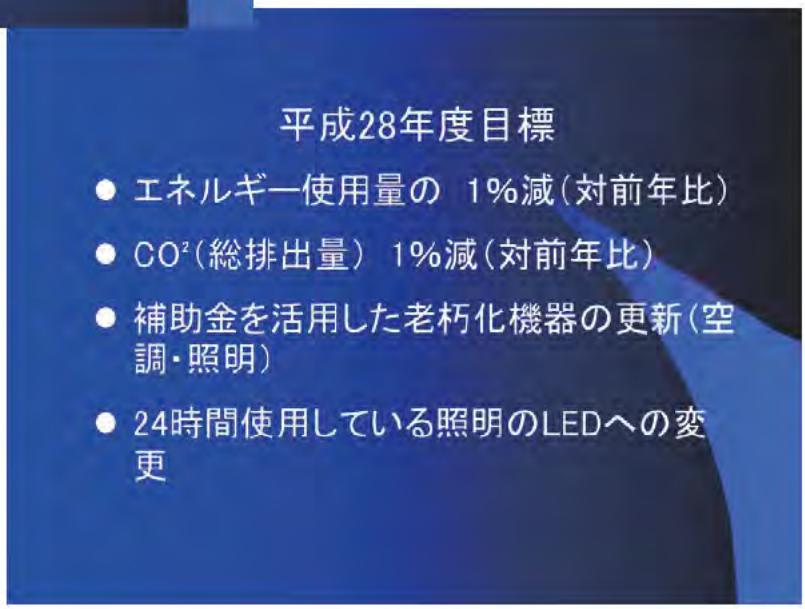


エネルギー管理委員会

委員会名	エネルギー管理委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	7 名
事務局・担当部署	管財課施設管理係	担当者名	宮里　毅
委員名	【医　局】松元　悟 【看護部】宮平典子 【医療技術部】仲座義富 【事務部】當銘秀之、宮里　毅、具志堅　徳明 【クリニック】野村　拓		
活動目的	・各事業所の光熱費などが適正に使用されているかを年間を通して管理する。 ・省エネ器具や補助金などを活用して、費用削減に努める。		
活動内容	1．毎月第 2 金曜日に委員を開催し、省エネの検討を行い理事会にて提案する。 2．コピー機のランニングコスト削減を行った。 3．契約電力の見直しを継続して行っており、最適化を行っている。 4．エネルギー合理化補助金を取得するために、業者と調整中。		
備考			

実績報告資料等

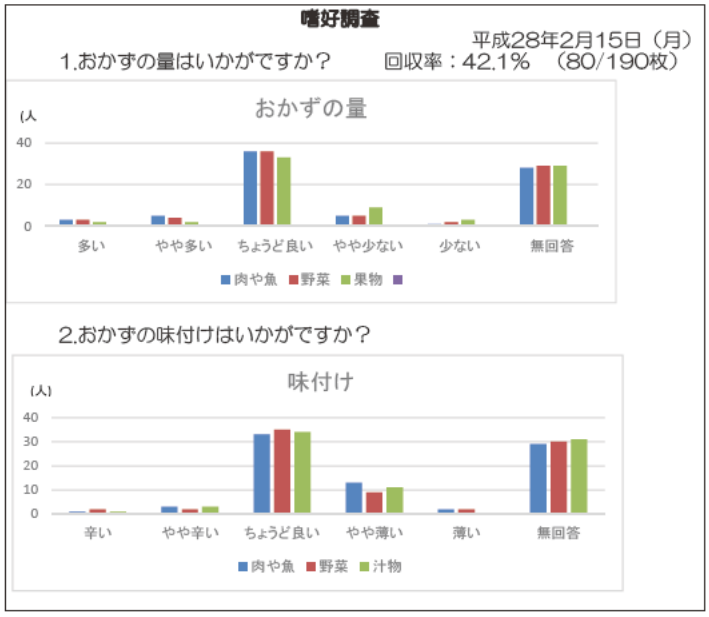


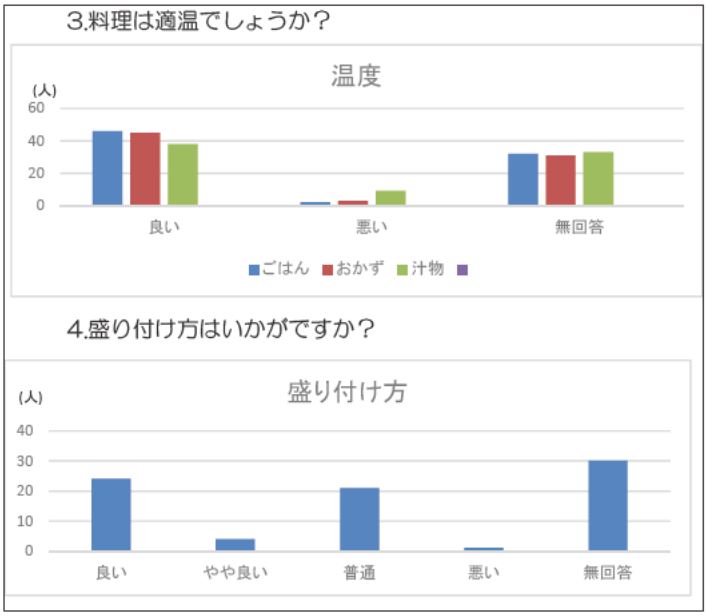


栄養管理委員会

委員会名	栄養管理委員会		
委員長名	宮平　工	構成人数	14 人
事務局・担当部署	栄養科	担当者名	久場徳子
委員名	【医　局】宮平　工 【看護部】宮平典子、仲地ますみ、崎山久美、外間　真紀子、宮城つかさ、米須智子、比嘉暢、島袋すが子、安村公均、竹本直美、屋良ちえみ 【医療技術部】久場徳子 【事務部】宮城　淳		
活動目的	栄養管理の充実・向上とその適正な運営を図る		
活動内容	・嗜好調査、喫食調査（年４回） ・栄養管理の体制、食事計画、改善などの食事に関する検討と対策 ・上記の対策に対する評価		
備考			

実績報告資料等





平成２８年２月１５日（月）

ご意見

・骨付きの魚は食べにくい。揚げ魚よりムニエルが良い（常食）　→軟菜：魚骨なしに変
・ぜんざいは甘い物なので、夕よりも昼がいいのでは？（常食）
・ハンペンを使ったあの料理（常食）
・朝食の時は味噌汁はいらない（常食）
・おいしくてびっくりしています。色々な食材が使われているので勉強になります。（常
・玄米ご飯美味しく頂きました。（常食）
・もう少し色を付けてほしい（軟菜）
・揚げ物、チキン等の料理で盛り付けがさびしい時がある（ｴﾈﾙｷﾞｰ塩分食）
・昨日か２日前の切干大根みたいなのが塩辛かった（ｴﾈﾙｷﾞｰ塩分食）
・家で食べるより味が薄い（ｴﾈﾙｷﾞｰ塩分食）
・とてもおいしいです（ｴﾈﾙｷﾞｰ塩分食）
・とてもおいしいです（軟菜ｴﾈﾙｷﾞｰ食）

希望料理

・貝類、卵、チーズを使った料理をお願いします。（常食）
・種類を増やして欲しい（常食）
・豆腐チャンプルーなどのﾁｬﾝﾌﾟﾙｰ料理やパスタ料理（常食）
・たまごｻﾝﾄﾞｲｯﾁ、チーズとハムのホットサンド、ﾌﾙｰﾂﾖｰｸﾞﾙﾄ（ｼﾘｱﾙ入り）
・チャーハン（常食）
・南瓜、刺身（軟菜）
・刺身を月１回だけでなく増やして欲しい（ｴﾈﾙｷﾞｰ塩分食）
・ゴーヤーチャンプルー（ｴﾈﾙｷﾞｰ塩分食）
・サラダがもっとほしい（軟菜ｴﾈﾙｷﾞｰ食）

化学療法委員会

委員会名	化学療法委員会		
委員長名	西原　実	構成人数	13 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	大関秀和
委員名	【医　局】西原　実、平良直也 【医療安全管理室】玉城秀美（専従看護師） 【看護部】屋良ちえみ、小橋川春子、内間幸人、本田由佳理、比嘉　暢、山内美咲 【医療技術部】田中健嗣、谷山美紗子、大関秀和 【事務部】望月祥子		
活動目的	当院で実施するすべての化学療法の医学的、薬学的、安全性及び経済学的評価を行い、その選択、購入、配布、及び使用等に関する勧告を行う。		
活動内容	1）化学療法の運用上の改善を行う。 2）化学療法に係る環境の整備を行う。 3）院内で使用されるレジメンの検証を行う。 4）使用薬剤、器具の整備を行う。 5）勉強会、講演の企画を行う。 6）その他、化学療法に関わるすべての事項に関して検討・対応を行う。 ※委員会開催：毎月第一木曜日		
備考			

実績報告資料等

H27年度活動内容

- プロトコールシステムの整備・改定
- マニュアルの整備改定（CVポート使用マニュアル）
- 基礎教育研修講演会の開催
- 外来化学療法加算　850件
- 通院治療室　化学療法剤　総件数1289件
- 新外来通院治療室のレイアウト作成
- がん治療学会発表
- 院外講師による講演会の開催（篠崎先生）
- 化療により発生するB型肝炎対策ガイドライン作成

H28年度の活動目標

- プロトコールシステムの整備・改定
- マニュアルの整備・改定
- 学会への参加・発表
- 新通院治療室の備品の検討
- 癌治療認定薬剤師の育成
- セミナー・学会への積極的な参加
- 抗がん剤調製監査システムの導入検討
- 化学療法同意書の改定

がん対策推進委員会

委員会名	がん対策推進委員会		
委員長名	西原　実	構成人数	11名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	宮平奈美子
委員名	【医　局】西原　実、比嘉須奈子（メディカルクラーク） 【看護部】仲地ますみ、本田由佳理 【医療技術部】田中健嗣 【事務部】宮平奈美子、粟盛信子（入退院調整担当 / 看護師長）、新垣りか、桑江高、兼濱亜紀、西田悠希子		
活動目的	がん診療を行う医療機関として、県、他医療機関との連携を取りながら、より充実したがん医療の提供の推進を図る。		
活動内容	1）セカンドオピニオン 2）緩和ケア病院への紹介 3）がん患者さんの在宅退院への支援 4）地域がん登録提出 5）緩和ケア研修会開催（沖縄県・院内向け） 6）沖縄県がん診療連携協議会聴講参加 7）研修会受講の推進 8）その他		
備考			

実績報告資料等

Ⅰ.セカンドオピニオン

受け入れ	件数
血液内科	7
消化器内科	4
婦人科	3
外科	2
脳神経外科	1
形成外科	1
計	18

他院へ紹介	件数
外科	22
婦人科	7
血液内科	6
消化器内科	5
呼吸器内科	3
整形外科	1
泌尿器科	1
脳神経外科	1
形成外科	1
計	47

Ⅱ.緩和ケア病院への紹介

病院別	件数
AMC	10
沖縄病院	4
オリブ山病院	2
南部病院	2
待機中に死亡	8
計	26

科別	件数
外科	8
血液内科	5
耳鼻科	5
消化器内科	3
呼吸器内科	3
泌尿器科	1
産婦人科	1
計	26

Ⅲ.がん患者在宅退院への支援

科別	件数
外科	14
消化器内科	7
血液内科	5
呼吸器内科	2
産婦人科	2
泌尿器科	1
計	31

Ⅳ. 地域がん登録提出

年度別	件数
平成16年度	623
平成17年度	337
平成18年度	379
平成19年度	249
平成20年度	197
平成21年度	313
平成22年度	23
平成23年度	81
平成24年度	662
平成25年度	763
平成26年度	1,022
平成27年度	600
総計	5,249

Ⅴ. 緩和ケア研修会開催

沖縄県緩和ケア研修会開催	期日：H28年1月30日（土）・31日（日）場所：当院
院内緩和ケア研修会開催	期日：H27年11月26日（土）場所：当院

Ⅵ. 沖縄県がん診療連携協議会聴講参加

第1回～第4回　計4回

Ⅶ. 研修会受講の推進

沖縄県緩和ケア研修会
院内緩和ケア研修会
院内がん登録実務者中級者研修・中級修了者研修

Ⅷ. アンケート提出

沖縄県保健医療部　「沖縄県がん対策推進計画中間評価に係る医療従事者アンケート」
がん対策推進企業アクション　「平成27年度がん検診受診率・がん対策に関するアンケート」

Ⅸ. その他

①「子宮頸がん、乳がん検診調査票」受診率把握の為の女性職員アンケート実施4月
②おきなわがんサポートハンドブック2015年版4月配布
③しんざと内科作成「ガンを防ごう」パンフレット配布8月
④沖縄県がん診療連携協議会ホームページ「がん種別セカンドオピニオンリスト」更新8月
⑤沖赤主催：沖縄県緩和ケア研修会 講師／ファシリテーター 西原実8月
⑥がん対策推進企業アクション がん検診のススメニュースレター配布2015 vol.1～3配布
⑦院内がん登録2013年症例QI研究参加7月
⑧院内がん登録2012年症例QI研究解析報告8月
⑨院内がん登録2014年症例 国立がんセンター提出10月
⑩沖縄県院内がん登録2013年集計参加（16病院）11月

呼吸器ケア委員会

委員会名	呼吸器ケア委員会		
委員長名	普天間光彦	構成人数	8 名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医　局】普天間光彦、菅谷明子 【看護部】内間幸人、宮城美那 【医療技術部】豊川真理、仲松晋也、波平静香、狩俣貴康 【感染管理対策室】石川由希（専従看護師）		
活動目的	1）人工呼吸器からの離脱に向けての支援（ウィニング計画立案・実施・コンサルテーション） 2）人工呼吸器装着患者の合併症予防のための支援		
活動内容	1）1 回 / 週のラウンドの実施　対象患者は、人工呼吸器装着中（NPPV 含む）で離脱を目指している患者 2）呼吸ケア関連の勉強会の開催		
備考			

個人情報保護委員会

委員会名	個人情報保護委員会		
委員長名	仲地智俊	構成人数	5 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	仲地智俊
委員名	【医　局】佐久川　廣（個人情報保護監査責任者） 【看護部】西銘宣子（部門責任者）、宮平典子（部門責任者） 【医療技術部】宮城 竜也（部門責任者） 【事務部】當銘秀之（部門責任者）、仲地智俊（個人情報保護管理責任者）		
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院において、個人情報保護計画を策定し、実施・評価・改善を行い、当院職員に対して、個人情報保護を遵守する重要性を理解させ、実際に個人情報が適切に取り扱われることを活動目的とする。		
活動内容	1. 個人情報保護委員会における各委員の選出 2. 個人情報保護規定指針（ガイドライン）の策定・公示 3. 内部規定の策定 4. 個人情報の取り扱いに関わる同意書の整備 5. 個人情報漏洩時の報告および連絡体制の構築 6. 個人情報の取り扱いに関する相談窓口の設置 7. 個人情報保護にかかわる職員教育の実施 8. 委託業者の監督		
備考	主な実績報告 ①平成 27 年 4 月 1 日　新職員オリエンテーションにて個人情報保護に関する説明を実施（広報係より） ②平成 27 年 1 月　不審電話への対応強化のため、一部規定を改定		

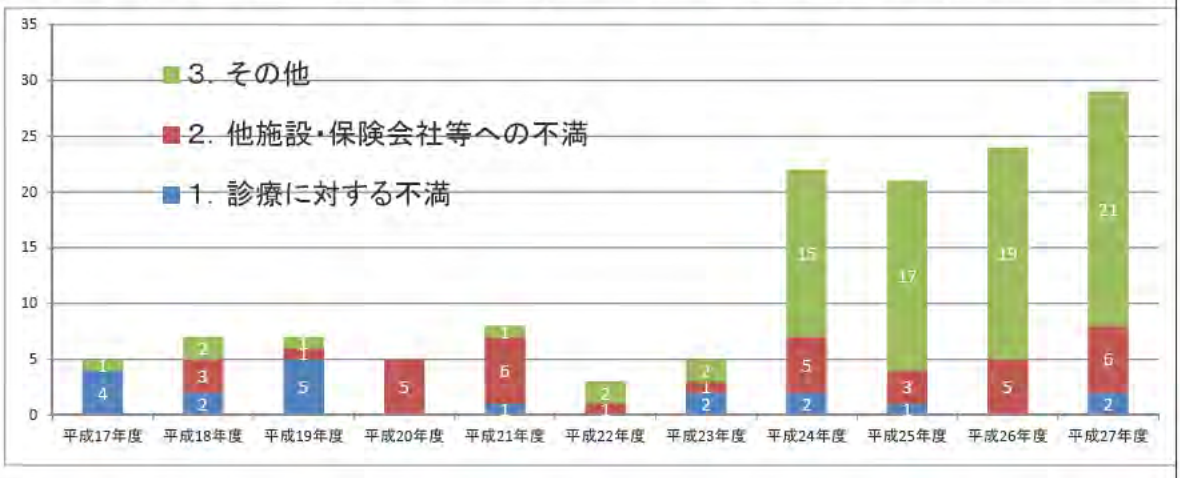
診療録管理委員会

委員会名	診療録管理委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	15 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳　学
委員名	【医　局】佐久川　廣、普天間光彦 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】神谷乗敏、久場徳子、田中健嗣、石原　悟、新垣　健、豊川真理 【医療安全管理室】中野久乃 【事務部】柳　学、金城泰、宮城克己、比嘉　須奈子、大城克枝 【ハートライフクリニック】野村　拓		
活動目的	診療録管理委員会は、診療録帳票の検討、記載要領及び診療録の適切で効率的な利用、保管の為の必要な事項を調査、検討するため、また、診療情報の適用の可否を審議することを目的とする。		
活動内容	委員会毎月１回定例とし、第４水曜日に開催することを原則とする。 1) 検査伝票、診療帳票等の新規作成、改定に関すること 2) 入院、外来診療録の整備と質的向上の為の諸条件に関すること 3) 診療に関する諸様式の整備改定に関すること 4) 診療情報管理室の効率的な管理運営に関すること 5) 診療録管理に関すること 6) 診療情報の提供に関すること 7) その他		
備考			

実績報告資料等

診療録開示件数の推移(申請理由

年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
1. 診療に対する不満	4	2	5	0	1	0	2	2	1	0	2
2. 他施設・保険会社等への不満	0	3	1	5	6	1	1	5	3	5	6
3. その他	1	2	1	0	1	2	2	15	17	19	21
計	5	7	7	5	8	3	5	22	21	24	29



卒後臨床研修管理委員会

委員会名	卒後臨床研修管理委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	47 名
事務局・担当部署	卒後臨床研修事務局	担当者名	當銘麻子
委員名	【医　局】奥島憲彦、普天間光彦、久場良也、佐久川　廣、西原　実、山本壽一、宮平　工、平良直也、宮城　純、與座　一、安里義秀、国島知子、渡慶次学、大西　勉、武田　理、嘉川春生、末吉健次、伊藤　誠、上原千晶、上原博香、立津朝成、田中悠也、普久原朝規、石川瀬里、根間優美、牟田宏樹、山田義貴、湧川　林 【看護部】西銘宣子（～平成 27 年度第1回まで）宮平典子（平成 27 年度第2回より） 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、當銘麻子、新屋瑞希 【外部委員】川平　稔、垣花　学、佐藤香代子、渡部　尚、涌波淳子、涌波　満、中田安彦、深谷幸雄、阿部好弘、新里　脩、朝戸末男、安里尚彦、松本ノリス、今井千春、富原素子 ※敬称略、順不同。		
活動目的	本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。また、卒後臨床修研修管理委員会の運営に関し必要な事項を審議するため、卒後臨床研修委員会運営協議会を設置している。		
活動内容	1. 平成 27 年度採用初期研修医第 12 期生（5 名）の紹介 2. 平成 26 年度臨床研修費等補助金に係る配分額の承認 3. 研修スケジュールの確認 4. 評価票の改定 5. 平成 26 年度採用初期研修医第 11 期生（6 名）の修了判定 6. 平成 29 年度初期臨床研修医募集要項の確認 7. 研修医からの意見・要望等の取り入れ・検討		
備考			

実績報告資料等

卒後臨床研修管理委員会

活動目的

本委員会は、当院研修プログラムの管理及び研修計画の円滑な実施や研修管理委員会に関する事項について連携し、より具体的な業務を行う。

また、卒後臨床研修管理委員会の運営に関し必要な事項を審議するため、卒後臨床研修運営協議会を設置している。

活動内容

1．平成２７年度採用初期研修医第１２期生（５名）の紹介
2．平成２６年度臨床研修費等補助金に係る配分額の承認
3．研修スケジュールの確認
4．平成２６年度採用初期研修医第１１期生（６名）の修了判定
5．平成２９年度初期臨床研修医募集要項の確認
6．研修医からの意見・要望等の検討、取り入れ

RyuMIC・群星共同ハートライフ病院研修管理運営組織と責任者

- RyuMIC・群星共同ハートライフ病院初期臨床研修プログラムによる初期臨床研修の最終責任者は、ハートライフ病院長であり、研修修了の認定は病院長が行う。
- RyuMIC・群星共同ハートライフ病院初期臨床研修プログラムを統括・管理し、実効のある研修を実施するため、本病院群（RyuMIC・群星共同プログラム）に研修管理委員会を設置している。また、実際の研修計画の策定及び円滑な実施、カリキュラム管理、研修医のサポートを行うため、ハートライフ病院長の下に卒後臨床研修管理委員会を設置している。

平成27年度第1回卒後臨床研修管理委員会（平成27年6月4日開催）
平成27年度第2回卒後臨床研修管理委員会（平成28年3月3日開催）

地域医療支援病院運営委員会

委員会名	地域医療支援病院運営委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	15 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	新垣りか・砂川直樹・仲地智俊
委員名	【医局】奥島憲彦、松元悟、久場良也、佐久川廣 【看護部】西銘宣子 【事務部】當銘秀之 【外部委員】中城村長　浜田京介、西原町長　上間明、宜野湾市長　佐喜眞淳 中城北中城消防本部　消防長　比嘉　信博、東部消防組合消防本部　消防長　嘉手苅右和 宜野湾市消防本部　消防長　浜川秀雄、中部地区医師会理事　今井千春 中部地区薬剤師会　会長　前原信照、中部地区婦人連合会会長　比嘉光子 ※敬称略、順不同。		
活動目的	ハートライフ病院が地域のかかりつけ医、かかりつけ歯科医などからの要請に適切に対応し、地域における医療の確保に必要な支援を行うため、ハートライフ病院地域医療支援病院運営委員会を設置する。		
活動内容	地域医療支援病院の認定に係る次の各項目について、内外の委員を招集し検討を行い、認定要件を満たしているかの確認および向上を図る。 （1）開設者　（2）紹介率（紹介率・逆紹介率）　（3）共同利用　（4）救急医療 （5）研修　（6）病床数　（7）構造設備　（8）諸記録　（9）委員会 （10）患者相談　（11）その他　（12）居宅等		
備考	年度に 1 回以上委員会を開催する。		

地域医療支援病院認定に係わる以下の情報

地域医療支援病院認定に係わる以下の情報は､｢病院概要｣および｢患者統計･病歴統計｣をご参照ください。

（1）開設者　（2）紹介率（紹介率・逆紹介率）　（3）共同利用　（4）救急医療
（5）研修　（6）病床数

（7）構造設備

「集中治療室、化学・細菌及び病理の検査施設、病理解剖室、研究室、講義室、図書室、救急用または患者輸送用自動車、医薬品情報管理室」の設置が承認要件で、当院は満たしております。

（8）諸記録

諸記録の①保存・管理や②閲覧など、日本医療機能評価機構の基準をクリアしており、診療情報管理室を中心に質の向上を図っております。

（9）委員会

本委員会の設置にてクリアしております。

（10）患者相談

専用の面談室あり。医療ソーシャルワーカー 5 名および医療メディエーター 1 名を配置して対応しております。

（11）その他

患者相談業務および地域の診療所等と、円滑に連携が行われる体制がとられております。

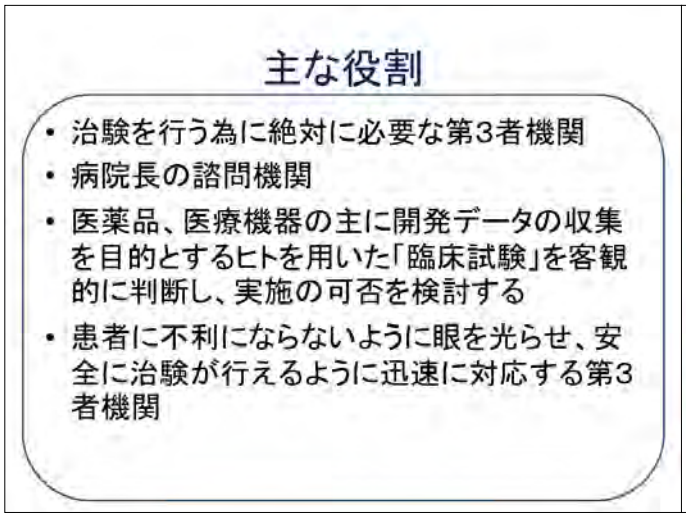
（12）居宅等

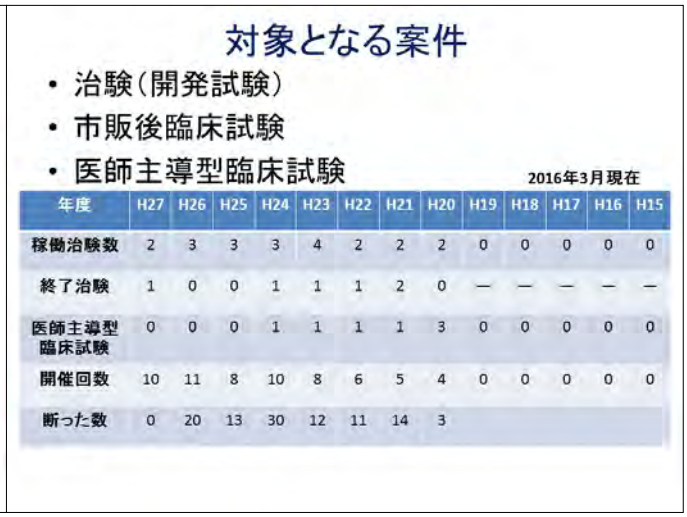
主に在宅支援診療所や訪問看護ステーションなどの､在宅医療を担う医療機関との連携を行っております。

治験審査委員会

委員会名	治験審査委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	8 名
事務局・担当部署	治験管理センター、薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医局】松元　悟、佐久川　廣、嘉川春生 【医療技術部】田中健嗣 【事務部】比嘉　靖、宮城　淳 【外部委員】2 名		
活動目的	治験を行う為に必要な第 3 者機関（院長の諮問機関）として、「治験の原則」に従って、すべての被験者の人権の保護、安全の保持および福祉の向上を図ることを目的とする。治験を開始する前から終了後に至るまで、その責務は継続するものである。		
活動内容	稼働治験数 :2 件		
備考			

実績報告資料等





年度	H27	H26	H25	H24	H23	H22	H21	H20	H19	H18	H17	H16	H15
稼働治験数	2	3	3	3	4	2	2	2	0	0	0	0	0
終了治験	1	0	0	1	1	1	2	0	—	—	—	—	—
医師主導型臨床試験	0	0	0	1	1	1	1	3	0	0	0	0	0
開催回数	10	11	8	10	8	6	5	4	0	0	0	0	0
断った数	0	20	13	30	12	11	14	3					

薬事審議委員会

委員会名	薬事審議委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	9 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医　局】松元　悟、久場良也、佐久川　廣、普天間光彦 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】田中健嗣、翁長寛人 【事務部】當銘秀之、宮城　淳、幾野　伸夫		
活動目的	毎年、多くの医薬品が開発され、新たに薬価収載されている。この数多くの市販されている医薬品の中から、患者個々の病態や経済性にも考慮した医薬品を選定することは、薬物療法を適正に行うにあたって重要な事である。また、同種・同効の医薬品ならびに後発医薬品が多く薬価収載されており、これらの医薬品を無秩序に購入し使用することは、医学・薬学・経済面から見ても合理的であるとはいえない。さらに新規購入医薬品が増えることで、使用されなくなった薬剤の削除を行わない限り、採用医薬品は増加し過剰在庫による経済的負担と、医薬品を管理する人的、スペース的負担を増加させる危険がある。従って薬物療法の適正化と、医薬品管理業務における、医薬品の流通を円滑に行う為に、薬事審議委員会を設置する。		
活動内容	委員会の役割 ●新規採用医薬品の採用 ●後発医薬品の採用方法 ●既採用医薬品の再評価の必要性 ●陳旧化した医薬品の取り扱い ●同種・同効薬の再評価 ●医薬品の適正な使用方法の協議 ●医薬品の副作用及び感染症の協議 ●在庫医薬品の適切な管理と運用 ●病院医薬品集・医薬品情報等について ●臨床試用医薬品の採否の決定 ●院内製剤の採否の決定		
備考			

実績報告資料等

		27-1	27-2	27-3	27-4	27-5	27-6	27-7	27-8	合計
審査品目		19	38	31	6	8	17	9	21	149
薬剤種別										
先発品・新薬		10	12	4	1	4	4	3	11	49
後発品		4	30	34	5	1	18	5	4	101
院内製剤										0
その他		7	6	4	2	4	2	2	8	35
審査内容										
新規採用		3	12	3	1	2	2	3	10	36
切り替え採用		9	28	32	7	2	17	5	2	102
採用規格追加		2	4	0	0	6	0	0	2	14
採用状況の変更		2	0	0	0	6	1	0	4	13
臨時採用		2	0	6	0	0	1	0	2	11
採用削除		4	5	0	1	0	2	0	1	13
限定設定状況										
患者限定		1	4			1			5	11
医師限定				1						1
診療科限定		1	10	1	1	5	2	2	7	29
外来限定		3				1	1			5
申請レベル別審査										
内科系	消化器	1	1	1		1	2			6
	呼吸器					1		1		2
	循環器	1								1
	血液		1			1			4	6
	心療									0
外科系	消化器		1							1
	乳腺									0
	形成		3				4			7
脳外科								1	1	2
整形外科										0
眼科		2							1	3
耳鼻科				1						1
泌尿器科									2	2
産婦人科										0
小児科					1	3			1	5
麻酔科										0
クリニック					1			1	1	3
薬局		14	27	24	5	3	11	5	6	95
その他		1		2				1		4

その他の審議事項

- 複数規格が採用になっている薬剤で、使用量が極端に少ない製剤の統一化を図った・
- 薬事審議会専門委員の退職に伴い、構成メンバーを変更した。
- 薬局から医師へのバンコマイシンＴＤＭ測定の推奨を承認した。
- 早急な後発率向上に向け、使用量上位の薬剤を中心に切り替えを行った。
- 事務局スタッフ退職に伴い、薬審事務局補佐員の変更を承認した。
- 薬剤師の減少に伴い、開催日を隔月（偶数月）に変更した。
- インフルエンザの値上げに伴い、接種料金の検討を行った
- 次年度、小児科アレルギー外来開設に伴い、アレルゲン検査薬の追加採用を行った。
- 肝炎治療の変更に伴い、インターフェロン製剤の整理を行った。
- 後発率向上のため、後発率調査・報告を定例化した。
- 化血研の隠蔽事件の発覚に伴い、化血研製剤の取り扱いの見直しを行った。
- ステロイド軟膏剤の後発への切り替えに伴い、グレード別の採用数・剤形の整理を行った。
- フォルテオの運用内容を調査し、見直しを行った。
- 院内での使用量の少ない薬剤を抽出し、整理を行った。（下表参照）

院内採用削除及び院外限定切り替え薬剤一覧

薬品名	薬価	薬品名	薬価	薬品名	薬価
アスコルビン酸注	500mg	ピジクリア錠	50mg	コメリアンコーワ錠	100mg
プラノバール配合錠		フィニバックス注	0.5g	ポンタールカプセル	250mg
テオロング錠	50mg	ジルテック錠	5mg	ドロキシドパカプセル	100mg
インテバン坐剤	50mg	ニフレック配合剤		リーバクト配合顆粒	4.15g
ドロキシドパカプセル	100mg	ペガシス皮下注	90μg	ペグイントロン皮下注	50μg
	200mg		180μg		100μg
ブロメライン軟膏	5万	キネックス錠	50mg		150μg

平成28年度目標

- 後発品使用率の向上。
- 院内採用薬を見直し、不動在庫の削減。
- 薬価改定に伴う、価格交渉と値引き率の維持。
- 同種・同効品の再評価

輸血療法委員会

委員会名	輸血療法委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	8 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	蔵下　恒
委員名	【医局】佐久川　廣、阿嘉　裕之 【看護部】安村　公均、比嘉　暢 【医療技術部】神谷　乗敏、蔵下　恒、仲宗根　ちひろ 【事務部】桑江　高		
活動目的	輸血療法の安全な実施及び血液製剤の適正使用を図ることを目的し、輸血療法に係る全般を議題、検討内容する。		
活動内容	1）手順書の作成 ①輸血医療に係る手順書を随時作成、改訂を行う ②手順書の内容を啓蒙する 2）輸血ミスの防止 ①インシデント発生時、原因追究、対処法の検討をおこなう ②対処法に添った手順書の改訂や啓蒙を行う 3）適正使用の実施 ①“輸血療法の適正化に関する指針”に則した使用を目指す ②“輸血療法の適正化に関する指針”の啓蒙を行う ③適正使用に則さない場合、指導、検討を行う 4）輸血製剤の有効利用を促進する ①各種血液製剤使用量、廃棄量の報告を行う ②問題がある場合、個別に内容、対処法の検討を行う 5）副作用、感染症の報告を行う 6）その他、輸血療法全般に関する全てを議題内容とする		
備考			

実績報告資料等

平成27年度　血液製剤使用状況報告

①血液製剤使用状況　　※( )内は、H26年分(前年度)を表記

	単位	使用量 本数	使用単位数(U)	使用金額(円)	廃棄本数	廃棄単位数	廃棄金額(円)	減損率(%)
RBC	1U	6 (3)	6 (3)	53,184 (26 592)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	2U	1805 (1856)	3610 (3712)	31,995,430 (32 892 076)	14 (11)	28 (22)	248,164 (194 986)	0.78 (0 59)
合計		1811 (1859)	3616 (3715)	32,048,614 (32 918 668)	14 (11)	28 (22)	248,164 (194 986)	0.77 (0 59)
FFP	120	4 (6)	4 (6)	35,820 (53,730)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	240	157 (144)	314 (288)	2,812,184 (2 578 830)	1 (1)	2 (2)	17,912 (17 912)	0.63 (0 69)
	480	338 (209)	1352 (836)	7,982.546 (4 931 361)	5 (3)	20 (12)	118,085 (69 539)	1.48 (1 43)
合計		499 (359)	1670 (1130)	(10,830,550) (7 563 921)	6 (4)	22 (14)	135,997 (87 451)	1.2 (1 11)
PC	5U	2 (2)	10 (10)	79,800 (79,800)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	10U	1058 (631)	10580 (6310)	84,087,724 (50,148,410)	3 (1)	30 (10)	238,434 (79,478)	0.28 (0.16)
	15U	107 (153)	1605 (2295)	(12,754,828) (18 238 212)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	20U	29 (17)	580 (340)	4,609,202 (2 701 946)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計		1196 (803)	12775 (8955)	101,531,554 (71 168 368)	3 (1)	30 (10)	238,434 (79 478)	0.25 (0 25)
HLA-PC	10U	52 (46)	520 (460)	4,968,444 (4,395,162)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	15U	2 (0)	30 (0)	286,276 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	20U	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
合計		54 (46)	550 (460)	5254720 (4 395 162)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
総計		3592 (3067)	18611 (142601)	150 380 740 (116 046 119)	26 (16)	80 (46)	622 595 (361 915)	0 72 (0 52)

※HLA-PC-10×52のなかで、10×3は洗浄処理済血小板

②自己血使用状況（診療科毎）　　※（ ）内は前年度（H26）実績

診療科	婦人科		血液内科		整形		総数	
患者数	0名(1)		11名（9）		1名（1）		12名（11）	
採血量	200	400	200	400	200	400	200	400
採血数	0（0）	0（2）	2（2）	20（15）	3（4）	1（0）	5（6）	21（17）
使用数	0（0）	0（2）	2（2）	20（12）	0（4）	1（0）	2（6）	21（14）
使用合計	0（2）		22（14）		1(4)		23（20）	
廃棄数	0（0）		0（3）		3（0）		3（3）	
使用単位	0（4）		42U（26）		2U（4）		44U（34）	

③廃棄製剤状況（自己血含む）：総数29件（H26年度 19件）　※( )内は、H26年度を表記

○血液型毎

血液型	A型	B型	O型	AB型
廃棄件数	8(4)	6(3)	4(5)	8(7)

○製剤毎

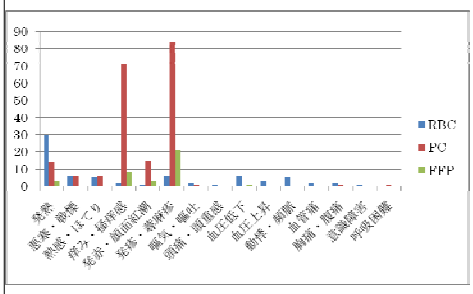
製剤名	RBC	FFP	PC	自己血
廃棄件数	14(11)	6(4)	3(1)	3(3)

○廃棄理由

廃棄理由	期限切れ	トラブル	自己血未使用
件数	18(16)	4(0)	3(3)

④副作用報告件数

症状	発熱	悪寒戦慄	熱感ほてり	痒み掻痒感	発赤顔面紅潮	発疹蕁麻疹	嘔気嘔吐	頭痛頭重感	血圧低下	血圧上昇	動悸頻脈	血管痛	胸痛腹痛	意識障害	呼吸困難
RBC	30	6	5	2	1	6	2	1	6	3	5	2	2	1	0
RBC	14	6	6	71	15	84	1	0	0	0	0	0	1	0	1
RBC	3	0	0	8	3	21	0	0	1	0	0	0	0	0	0
RBC	47	12	11	79	19	107	3	1	7	3	5	2	3	1	1
RBC	48	9	3	25	3	22	2	2	4	10	1	2	1	0	0



臨床検査適正委員会

委員会名	臨床検査適正委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	6 名
事務局・担当部署	臨床検査科	担当者名	神谷乗敏
委員名	【医　局】佐久川　廣 【看護部】中野久乃 【医療技術部】神谷乗敏、具志堅善則、斎藤辰好 【事務部】宮城　淳		
活動目的	臨床検査は診療の補助として行われるもので①疾病の診断②治療③予後を判断するための重要な情報を提供するものであるので質の高い検査データを提供することを目的とする。		
活動内容	1. 臨床検査が関わる業務の範囲の検討 2. 検査精度、機器選定並びに導入計画 3. 検査項目や正常値の検討 4. その他検査にかかわる必要事項の検討を行う		
備考	年3回開催を基本とし必要に応じ開催する		

実績報告資料等

参加外部精度管理業務
1、日本医師会精度管理
2、日本臨床衛生検査技師会精度管理
3、沖縄県医師会、臨床検査技師会精度管理
4、アボットジャパン
5、シスメックス
6、東ソー

日本医師会精度管理実積
平成23年98,6点
平成24年98,2点
平成25年94,6点
平成26年90,6点
平成28年95,4点

日本臨床検査技師会
平成28年29年度精度保証認証施設取得(更新)

機器更新及び検査導入実積
5月、夜間の緊急頭部MRI撮影開始(当直者による)
6月、SRPP(皮膚再潅流圧)検査機器導入及び開始、生化学自動分析機器2号機の更新
7月、尿定性自動分析機器の更新
8月、沖縄県医師会、臨床検査技師会精度管理参加
9月、日本医師会臨床検査精度管理参加
　　FFP溶解装置導入
11月、PIVKAⅡ検査の院内化
12月、ハートライフクリニックの業務、人材の支援開始
28年1月、RF検査の院内化開始

倫理委員会

委員会名	倫理委員会		
委員長名	與座　一	構成人数	10 名
事務局・担当部署	薬局	担当者名	田中健嗣
委員名	【医　局】與座　一、宮城　敬 【看護部】西銘宣子、小橋川弘美 【医療技術部】田中健嗣 【事務部】比嘉　靖、安里　竜、宮城　淳		
活動目的	社会医療法人かりゆし会ハートライフ病院（以下、「病院」という。）の職員が行う医療行為および医学研究（以下、「医療行為等」という。）において、「ヘルシンキ宣言」（2000 年エジンバラ修正、2002 年ワシントン総会で注釈追加）を尊重し、国内の倫理指針の趣旨にそって、倫理的配慮が図られているかどうかを審議することを目的とする。		
活動内容	1）　医療にかかる法律の順守に関する事項 2）　患者の権利に関する事項 3）　医療行為等をめぐる生命倫理に関する事項 4）　臓器移植および新治療法の採用に関する事項 5）　その他、病院長または委員長が必要と認めた事項 議題数：29 件		
備考	新法に則った、倫理委員会の体制作りに取り組んでおります。		

実績報告資料等

審査内容

- 医療にかかる法律の順守に関する事項
- 患者の権利に関する事項
- 医療行為等をめぐる生命倫理に関わる事項
- 臓器移植および新治療法の採用に関す事項
- その他、病院長または委員長が必要と認めた事項

※輸血に関すること、臓器移植に関すること
※生殖医療に関すること
※末期患者の治療に関すること、告知に関すること
※その他医療行為全般に係る患者の基本的擁護に関すること

当委員会は前項に係る所掌事項の検討機関であって、決定機関ではない。

案件内容・判断事項

- 医療倫理
- 職業倫理
- 臨床における倫理
- 臨床研究に関する倫理

- 治験の倫理　⇒　治験審査委員会

27年度審議内容一覧

第27－1	ヒトアクリル（NBCA）・リピドールの適応外使用について
第27－2	小児および若年成人における T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多施設共同第Ⅱ相臨床試験（JPLSG ALL-T11/JALSG T-ALL-211-U）
第27－3	成人Precursor T 細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法による第Ⅱ相臨床試験（JALSG T-ALL213-0）
第27－4	成人Burkitt白血病に対する多剤併用化学療法による第Ⅱ相臨床試験（JALSG Burkitt-ALL213）
第27－5	成人フィラデルフィア染色体陰性precursor B 細胞性急性リンパ性白血病に対する多剤併用化学療法による第Ⅱ相臨床試験（JALSG Ph(-)B-ALL213）
第27－6	初発フィラデルフィア染色体陽性成人急性リンパ性白血病を対象としたダサチニブ併用化学療法および同種造血幹細胞移植の第Ⅱ相臨床試験（JPLSG Ph+ALL213）
第27－7	非アルコール性脂肪肝炎（NASH）・非アルコール性脂肪肝疾患（NAFLD）患者におけるライソゾーム酸性リパーゼ活性の測定
第27－8	アシクロビル耐性上皮型角膜ヘルペス性角膜炎に対するトリフルオロチミジン（トリフロリジン点眼）の投与について
第27－9	成人T細胞白血病リンパ腫（ALT）の予後予測におけるFDG-PET/CTの有効性を明らかにする後方視的解析
第27－10	エポエチン ベータ ペゴル（ミルピラ）研究実施期間と研究支援費に関する変更
第27－11	術後せん妄に対する予防的薬物投与及びケア
第27－12	沖縄県の潜在患者集団におけるリソソーム酸性リパーゼ欠損症の出現頻度に関する検討
第27－13	C型肝炎ウィルス起因する肝硬変患者に対する自己骨髄細胞投与療法の有効性と安全性に関する研究への参加
第27－14	食道アカラシアに対する経口内視鏡的食道筋層切開術（POEM）の先進医療A届出について

27年度審議内容一覧

第27－15	「医療画像を用いた日本人の解剖的変異の解析とその遺伝要因の同定」研究に対する協力について
第27－16	【再審認C型肝炎ウィルス起因する肝硬変患者に対する自己骨髄細胞投与療法の有効性と安全性に関する研究への参加
第27－17	漢方薬剤型変更 坐薬作成及び使用について
第27－18	美容目的の脂肪吸引術の実施（自由診療）
第27－19	肛門括約筋低周波治療の実施について（自由診療）
第27－20	マゴットと治療の実施について
第27－21	皆川洋至先生の講演会開催について（ライブ治療の実施）
第27－22	日本人工関節登録制度参加について
第27－23	血液悪性疾患患者を対象とする化学療法に伴う糖代謝の影響に関する後ろ向き研究
第27－24	沖縄県におけるリンパ系悪性腫瘍生体試料バンキングの構築
第27－25	成人T細胞白血病リンパ腫（ALT）に関する後方視的臨床病理学的解析及び遺伝子解析
第27－26	びまん性大細胞型B細胞性リンパ腫（DLBCL）におけるJAK-STAT経路活性化の意義
第27－27	慢性動脈瘤に対するエコーガイド下トロンビン注入療法の実施
第27－28	「生活習慣病に起因する非代償期肝硬変（アルコール）に対する自己骨髄細胞投与法の有効性と安全性に関する研究」
第27－29	食道アカラシアに対する経口内視鏡的食道筋層切開術（POEM）の有効性・安全性に関する他施設共同研究への参加

※27年度倫理委員会 17回開催（迅速審議、持回り審議含む）

DPC 委員会

委員会名	DPC 委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	13 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳　学
委員名	【医　局】奥島憲彦、普天間光彦、内科系医師、外科系医師 【看護部】西銘宣子、粟盛信子（地域医療連携室） 【医療技術部】宮城竜也（放射線科）、神谷乗敏（臨床検査科）、田中健嗣（薬局） 【事務部】柳　学（診療情報管理室）、新垣　淳（事務部・請求業務課・入院）、高橋　慎二（事務部・企画室電算係）、田河　美智代（事務部・診療情報管理室）		
活動目的	DPC 委員会は、DPC 対象病院として DPC 業務の適正な運用を図るために審議検討をすることを目的とする。		
活動内容	1）適切なコーディングを行う体制に関すること。 2）診断及び治療方法の適正化標準に関すること。 3）院内で標準的な診断及び治療方法の周知徹底に関すること。 4）その他 DPC 業務に係る課題に関すること。		
備考			

実績報告資料等

DIC、敗血症、その他の真菌症、手術・処置の合併症の件数と請求率及び胃瘻造設術件数（DPC委員会にて報告）

H27年度		H27.04	5	6	7	8	9	10	11	12	H28.01	2	3
DIC（130100）	退院件数	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
	請求率	0.00%	0.14%	0.00%	0.13%	0.14%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
敗血症（180010）	退院件数	4	6	5	2	5	6	9	1	2	2	2	4
	請求率	0.53%	0.87%	0.68%	0.27%	0.71%	0.79%	1.23%	0.15%	0.27%	0.31%	0.28%	0.53%
その他の真菌症（180035）	退院件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	請求率	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.14%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%
手術・処置の合併症（180040）	退院件数	7	3	9	11	11	20	5	12	3	9	15	11
	請求率	0.92%	0.43%	1.22%	1.47%	1.56%	2.64%	0.68%	1.81%	0.41%	1.40%	2.12%	1.47%

胃瘻造設術	件数	4	3	2	4	4	1	3	3	3	1	6	5

退院患者数及びDPC入院期間別退院患者割合

退院患者数	平均	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総数
（電カル総数）	732	773	702	751	764	720	773	747	680	749	656	723	747	8,785
2015年度	719.2	759	692	741	750	704	758	733	667	737	645	707	737	8,630
（新生児自費）	31.1	42	40	27	27	29	35	30	35	29	23	31	25	373
（新生児重複）	12.9	14	10	10	14	16	15	14	13	12	11	16	10	155
（7日以内再入院A）	12.5	12	10	14	9	18	12	6	16	21	8	13	11	150
入院期間Ⅰ	20.5%	21.3%	21.7%	16.2%	21.4%	21.1%	19.9%	22.1%	19.9%	20.9%	21.0%	19.1%	21.3%	
入院期間Ⅱ	44.3%	46.3%	45.2%	46.8%	43.2%	41.8%	43.4%	41.4%	45.5%	45.2%	43.5%	45.1%	44.6%	
入院期間Ⅲ	26.9%	26.0%	25.1%	27.5%	27.2%	28.9%	28.9%	27.3%	25.2%	25.8%	27.0%	28.9%	25.4%	
2SD超え	8.2%	6.2%	7.9%	9.6%	8.1%	8.1%	7.8%	9.2%	9.2%	8.1%	8.5%	6.7%	8.6%	

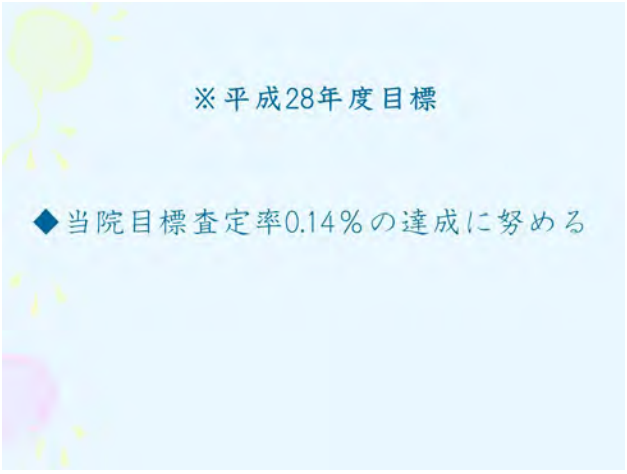
緩和ケア委員会

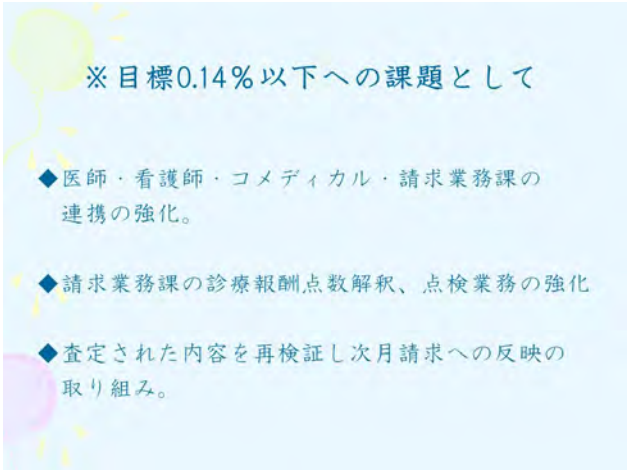
委員会名	緩和ケア委員会		
委員長名	花城直次	構成人数	27 名
事務局・担当部署	看護部	担当者名	比嘉　暢
委員名	【医局】　花城直次、菅野善一郎 【看護部】比嘉　暢、宮城つかさ、本田由佳里（がん化学療法認定看護師）、仲田ひろ子、成田明日香、東　初美、有働七海、徳元千里、高宮里沙、玉城久美子、佐藤友美、森　春香、与那城茂子、呉屋友美、吉田美香、沼口香代、内田　綾、宮城秀成、山内美咲 【医療技術部】　大関秀和、上地美和、玉栄優子、大城盛彦、神里祥子、當眞結子 【事務部】池村久美子（臨床心理士）、桑江幸子（MSW）		
活動目的	癌の治療開始、又は生命を脅かす病に関連する問題を早期に取り組み、患者及び家族の生活の質の向上のために、各部署の専門家が協力してチームを作り以下の項目を要件とするケアを提供する。		
活動内容	癌の治療開始、又は生命を脅かす病に関連する問題を早期に取り組み、患者及び家族の生活の質の向上のために、各部署の専門家が協力してチームを作り、以下の項目を要件とするケアを行う。1. 患者の痛みや、その他の不快な身体症状を緩和する 2. 患者に精神的・社会的・霊的な援助を行い、死が訪れるまで生きていることに意味を見いだせるようなケアを行なう 3. 患者の家族を患者の療養中から死別した後まで支える		
備考			

診療報酬対策委員会

委員会名	診療報酬対策委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	7 名
事務局・担当部署	請求業務課	担当者名	波平勇一郎
委員名	【医　局】佐久川　廣、松元　悟、西原　実 【医療技術部】神谷乗敏、田中健嗣 【事務部】伊集　準、波平　勇一郎		
活動目的	当院目標査定率 0.14% の達成に努める		
活動内容	1）保険診療に関すること 2）請求漏れ、査定減の対策に関すること 3）保険請求事務等の改善に関すること 4）レセプト作成、点検に関すること		
備考			

実績報告資料等

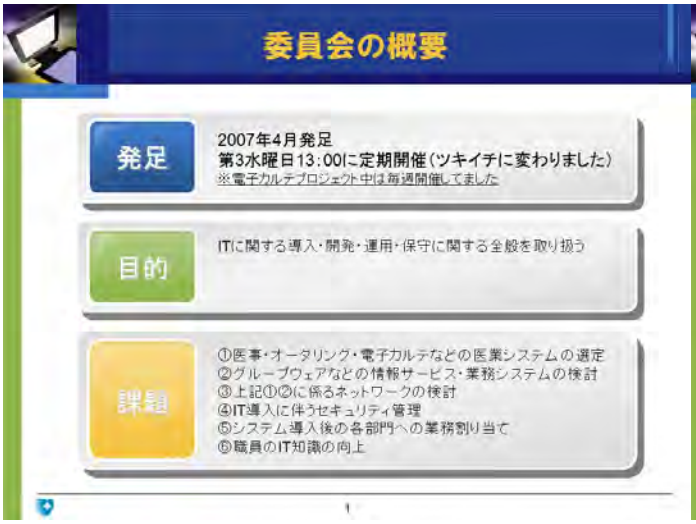


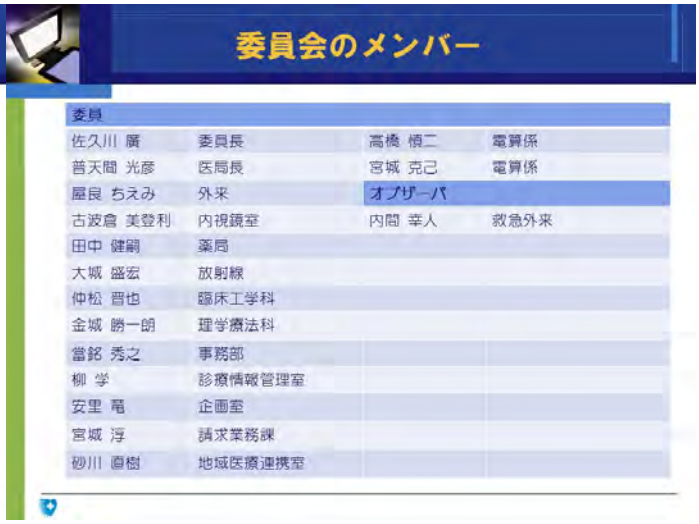


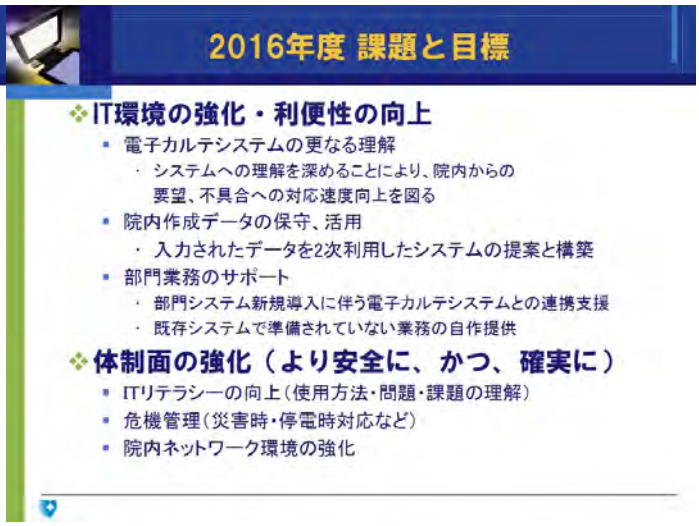
IT 推進委員会

委員会名	IT 推進委員会		
委員長名	佐久川　廣	構成人数	18 名
事務局・担当部署	企画室電算係	担当者名	宮城克己
委員名	【医　局】佐久川　廣、普天間光彦 【看護部】屋良ちえみ 【医療技術部】田中健嗣、大城盛寛、古波倉美登利、仲松晋也、金城勝一郎 【事務部】當銘秀之、柳　学、安里　竜、宮城　淳、砂川直樹、高橋慎二、宮城克己 オブザーバ：内間幸人		
活動目的	電子カルテ・オーダリングシステムをはじめとした院内情報システム（機器）の導入から開発、運営・保守に関する全般の検討を行い、院内 IT 環境の充足をはかる。		
活動内容	1）医事・オーダリング・電子カルテなどの医業システムの運用方法の検討 2）グループウェアなどの情報サービス・業務システムの検討 3）上記①②に係るネットワークの検討 4）IT 導入に伴うセキュリティ管理 5）各部門システムの導入、運用検討 6）職員の IT 知識の向上		
備考			

実績報告資料等







クリニカルパス委員会

委員会名	クリニカルパス委員会		
委員長名	宮平　工	構成人数	38 名
事務局・担当部署	企画室、企画室電算係	担当者名	安里　竜、髙橋慎二
委員名	【医局】宮平　工、大西　勉、折田　均、渡慶次　学、末吉健次、安里義秀、嘉川春生、照屋明子、普天間　光彦、與座　一、平良直也、東盛貴光、井上美里（メディカルクラーク）、大城真澄（メディカルクラーク）、山城チエ（メディカルクラーク） 【看護部】仲地　ますみ、諸喜田　久美、外間　真紀子、金城昭子、平良　勇、米須智子、比嘉　暢、宮平典子、粟盛信子 【医療技術部】久場徳子、神谷乗敏、仲座義富、田中健嗣、玉城義彦、宮里武行、大見謝　勝人、真栄城　ゆかり 【そのほかの部門】嘉数智子（栄養サポート室）、石川由希（感染管理対策室） 【事務部】安里　竜、桑江幸子、伊集　準、高橋慎二		
活動目的	クリニカルパスを充実することで，医療の質の向上を図る 患者中心の安全な医療を提供する クリニカルパスを充実させ，業務の効率化を図るとともに，職員の業務負担軽減を図る 在院日数の短縮を図るとともに，コスト削減を担う パス大会の円滑な運用を図る		
活動内容	パスの作成・運用、勉強会の開催、パス大会の開催、その他		
備考			

実績報告資料等

第2回クリニカルパス大会開催

テーマ　普及に向けて ～見えてきた課題～

開催日時：　平成27年7月8日（水）17:30～20:00
場　　所：　2F講堂
対　　象：　全職員
参加人数：　101名

□一般演題　座長：外科部長 宮平 工

部署	看護師	医師
西2F病棟	上原 ちえみ	大西 勉
3F病棟	外間 真紀子	立花 真理・久保田 徹也
4F病棟	平良 勇	宮平 工
5F病棟	鈴木 千恵	折田 均
7F病棟	仲村 和士	名嘉山 裕子

□特別講演　座長：産科部長 大西 勉

「中頭病院クリニカルパスの取り組みについて」
中頭病院 クリティカルパス担当師長　仲宗根 ゆかり 先生

外科	計472	適用率34.6%
腹腔鏡下胆嚢摘出術	89	
腹腔鏡下結腸切除術	26	
腹腔鏡下直腸切除術	6	
腹腔鏡下虫垂切除術	7	
腹腔鏡下虫垂切除術（手術申込みなし）	33	
腹会陰式直腸切除術	1	
開腹結腸切除術	16	
開腹直腸切除術	9	
胆嚢炎	2	
虫垂切除術	2	
胃全摘術	2	
胃切除術	14	
痔核手術（四段階注射法）外来出し一泊	10	
痔核手術（四段階注射法）病棟出し一泊	1	
痔核手術（四段階注射法）日帰り1日入院	10	
痔核手術（四段階注射法）日帰り	2	
痔核手術（根治手術）	4	
痔瘻根治術	3	

単径ヘルニア（TAPP）	78
単径ヘルニア（LPEC）生後6か月以上	50
単径ヘルニア（LPEC）生後6か月未満	4
単径ヘルニア	1
単径ヘルニア（LPEC）SDS	1
乳房温存術＋SLNB	20
乳房温存術or乳房切除術＋腋窩廓清術	23
乳腺腫瘍（全身麻酔用）	1
甲状腺手術（廓清あり）	7
経皮内視鏡下胃瘻造設術PEG	9
経皮内視鏡下胃瘻造設術PEG嚥下評価別	8
デイサージャリー	15
大腸EMR	9
化学療法（XELOX）	9

泌尿器科	計22	適用率11.8%
TUR－BT	20	
腎摘除術	1	
鼠径ヘルニア（TAPP）	1	

耳鼻科	計49	適用率27.8%
□蓋扁桃摘出術	4	
□蓋扁桃摘出術（小児）	5	
中耳炎（小児）	6	
鼻骨骨折	2	
鼻中隔彎曲矯正術，粘膜下下甲介切除術	12	
慢性副鼻腔炎術	3	
ラリンゴ	8	
良性腫瘍	9	

眼科	計328	適用率77.9%
白内障（左）	158	
白内障（右）	169	
翼状片（左）	1	

内科	計617	適用率16.2%
CAG（2）	2	
CAG（単径）	9	
CAG（橈骨）	41	
PCI（単径）	9	
PCI（橈骨）	41	
PSG	37	
PTA下肢	2	
PTA上肢（内シャント）	44	
肝生検	61	
気管支鏡検査	49	
大腸EMR	318	
ペースメーカー	3	
ペースメーカー当日植え込み	1	

形成外科	計25	適用率12.4%
眼瞼手術（局所麻酔）	19	
デイサージャリー	6	

産婦人科	計600	適用率90.0%
ほとんどパス使用	600	

整形外科	計193	適用率26.5%
ACL（全麻）	16	
ACL（腰麻）	30	
BHA（全麻）	38	
THA（腰麻）前日入院	14	
THA（腰麻）自宅退院	11	
TKA（全麻）前々日入院	1	
TKA（腰麻）前々日入院	1	
TKA（腰麻）前日入院	2	
γネイル・CCS（全麻）	78	
橈骨遠位端骨折	2	

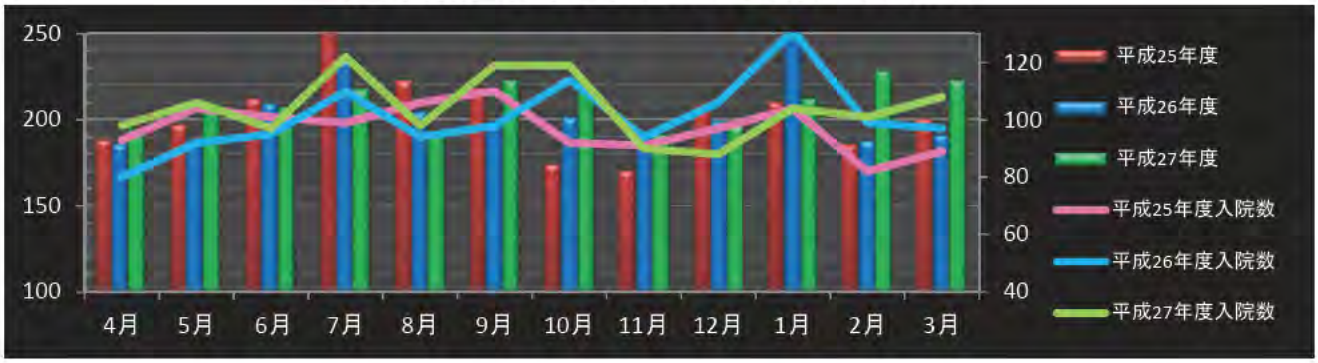
全体	計2306	適用率28.1%

救急総合診療部委員会

委員会名	救急総合診療部委員会		
委員長名	銘苅　正	構成人数	19 名
事務局・担当部署	地域医療連携室	担当者名	砂川直樹
委員名	【医　局】奥島憲彦、久場良也、銘苅正、宮平工、末吉健次、渡慶次学、安里義秀、三戸正人、仲本学 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、竹本健太、兼本愛美 【医療技術部】仲座義富、斉藤辰好 【事務部】後原保光、安里竜、平良美咲、砂川直樹		
活動目的	救急総合診療部の体制（人財確保を含む）を整える。問題点の検討や改善など要望を早めに対応できるような正式なルートをつくる。		
活動内容	救急車搬送患者、時間外救急患者の受け入れに関しての流れや問題点、救急総合診療部に係わるすべての職種のワークライフバランスを考えながら話し合いをもち解決策を考え活動目的を達成する。救急総合診療部小委員会にて初期問題を検討する。重要事項に関しては救急総合診療部委員会で再検討し、救急総合診療部委員会としての承認を得る。その後議事録は翌月の運営委員会で報告する。		
備考	救急総合診療部小委員会は、月に1回以上、救急総合診療部委員会は毎月（第 4 水曜日）1回開催とする。		

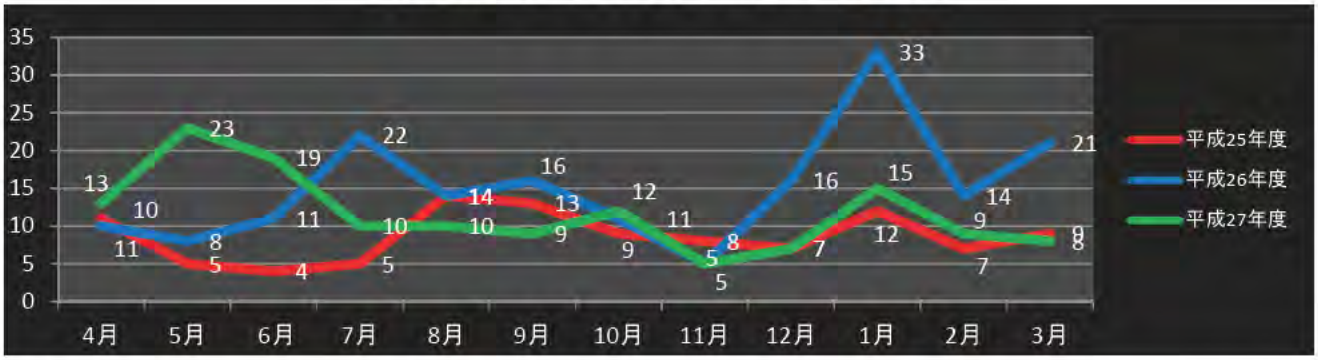
実績報告資料等

救急搬送患者受け入れ実数（年度別）



年　月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計	月平均入院率
平成25年度	188	197	212	259	222	218	174	170	208	210	185	200	2,443	204
	93	104	101	99	106	110	92	91	97	104	82	89	1,168	47.8%
平成26年度	185	188	209	235	204	197	201	193	199	262	187	191	2,451	204
	80	92	95	110	94	98	114	94	106	131	99	97	1,210	49.4%
平成27年度	194	209	206	217	192	222	218	191	196	212	228	222	2,507	209
	98	106	97	122	98	119	119	90	88	104	101	108	1,250	49.9%

救急搬送患者の断り実数（年度別）



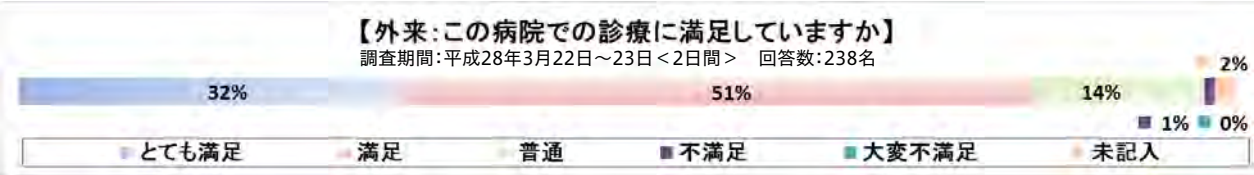
（救急車断り件数）・・・断り件数は救急外来、内間師長より

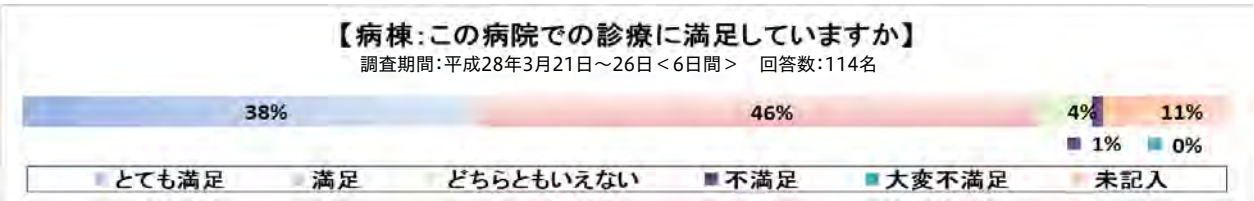
年　月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計	月平均
平成25年度	13	23	19	10	10	9	12	5	7	15	9	8	140	12
平成26年度	11	8	6	16	8	8	6	4	8	17	17	10	119	10
平成27年度	8	9	9	10	10	4	4	2	11	6	18	8	99	8

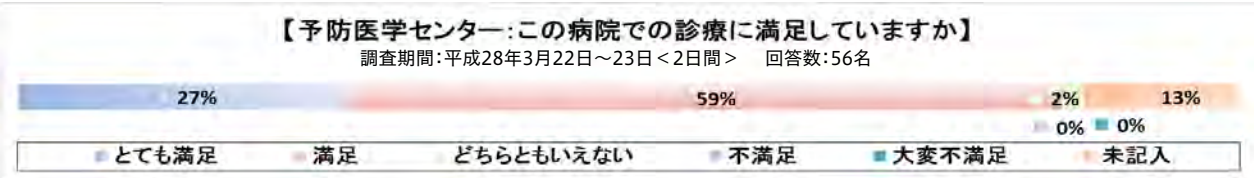
患者満足度向上委員会・投書対策委員会

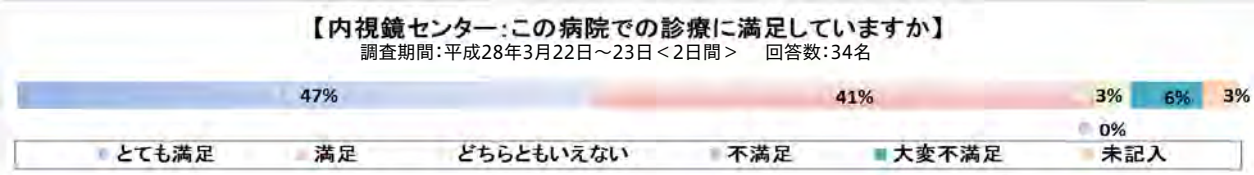
委員会名	患者満足度向上委員会・投書対策委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	11 名
事務局・担当部署	総務課	担当者名	冨里　等
委員名	【医　局】奥島憲彦（投書対策委員兼務）、松元　悟 【看護部】宮平典子（投書対策委員兼務）、古波倉美登利 【医療技術部】宮城竜也、仲座義富、狩俣貴康 【事務部】當銘秀之（投書対策委員兼務）、比嘉　靖、金城　泰、冨里等（投書対策委員兼務）		
活動目的	患者さんからの苦情相談に対して迅速に処理し、患者さんからの病院に対する信頼を向上する。		
活動内容	(1) 患者さんに対する接遇とコミュニケーションの質並びに待ち時間短縮の向上を図る。 (2) 患者さんからのクレームに対応する。 (3) 職員の接遇向上にむけた教育・研修・講演会等を企画立案する。 (4) 患者満足度調査。 (5) 快適な療養環境を図る。 (6) 接遇マニュアルの作成改定。		
備考	※投書対策委員会は毎月第 3 金曜日（原則）に開催。		

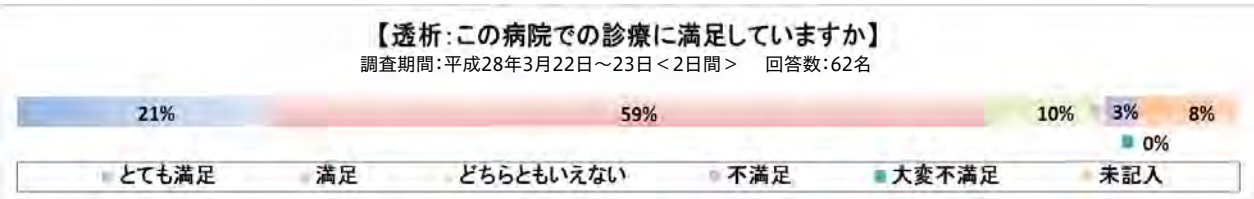
実績報告資料等







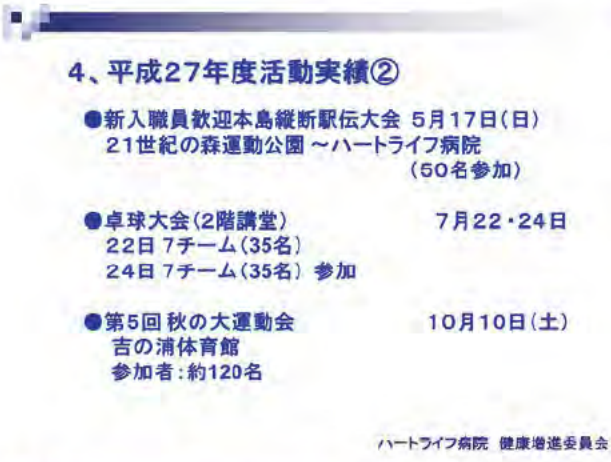


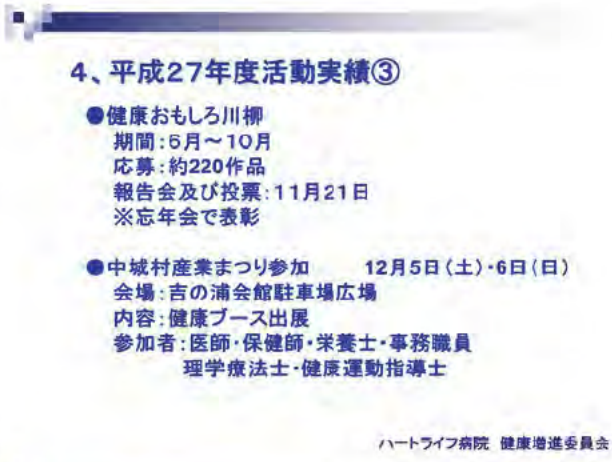


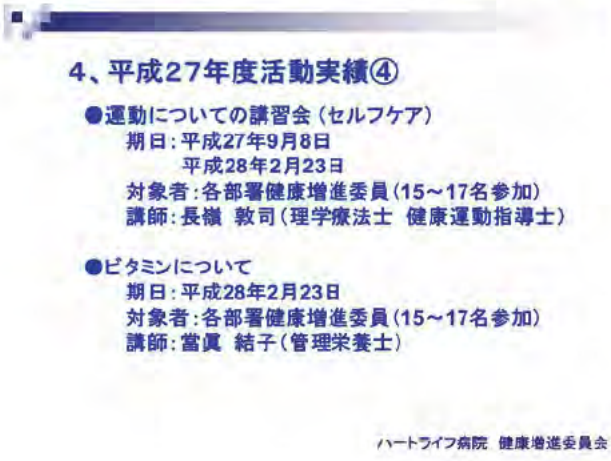
健康増進委員会

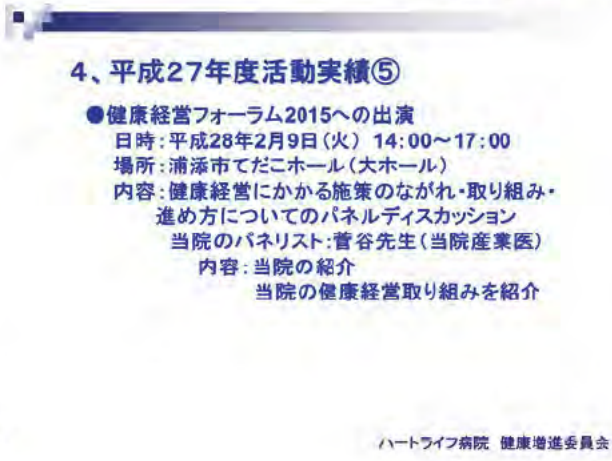
委員会名	健康増進委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	12 名
事務局・担当部署	事務部・医療技術部	担当者名	金城信矢（事務部） 玉城義彦（医療技術部）
委員名	ハートライフ病院 【医　局】奥島憲彦、松元　悟、菅野善一郎、菅谷明子 【看護部】仲地ますみ、屋我裕子、 【医療技術部】當眞結子、玉城義彦 【事務部】照屋尚美、金城信矢 ハートライフクリニック 【医　局】山本壽一 【リューザ】長嶺敦司		
活動目的	職員の健康増進活動を支援する。		
活動内容	1）健康増進に関する会議の開催 2）健康増進に関する相談・指導 3）健康増進のきっかけづくり 4）部署・サークルの健康増進活動への支援 5）健康増進に関する情報提供 6）健康増進に関するニーズの集約 7）健康増進に関する環境の整備 8）健診後の生活指導の支援		
備考			

実績報告資料等









医療機器安全管理委員会

委員会名	医療機器安全管理委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	8 名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	大城　安
委員名	【医　局】松元　悟 【医療安全管理室】中野　久乃 【看護部】西銘　宣子 【医療技術部】宮城　竜也 、神谷　乗敏 、玉城　義彦 、大城　安 【事務部】後原　保光		
活動目的	ハートライフ病院内で使用される医療機器に係る安全管理体制を図るため医療機器安全管理委員会を設置する。		
活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守点検 医療機器の保守点検に関する記録 医療機器の知識・情報の収集		
備考	平成 27 年度の振り返り 平成 27 年度は医療機器安全管理委員の取り組みで、スタッフ教育、機器保守管理を含め医療機器安全使用に寄与しました。 平成２８年度に向けた展望 1.　携帯電話院内使用基準改定が平成 26 年 8 月に総務省 / 電波環境協議会より発表され、当院では医療機器安全管理委員がＭＥ機器への影響調査 (安全性) を実施し安全性に問題が無い結果が出た為、平成 28 年度には院内携帯電話使用規定を見直す予定です。 2.　ＭＥ機器管理ソフト更新の必要性があり、機器管理ソフトの再導入に向け取り組みます。		

医療機器安全管理分科会

委員会名	医療機器安全管理分科会		
委員長名	豊川　真理 主任	構成人数	7名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	仲松　晋也
委員名	・豊川　真理 (医療技術部) ・仲松　晋也 (医療技術部) ・栄野比　智也 (医療技術部) ・大関 秀和 (医療技術部) ・齋藤 辰好 (医療技術部) ・石原 悟　 (医療技術部) ・安村 公均 (看護部)		
活動目的	医療機器安全管理分科会はハートライフ病院内で使用される医療機器に係る医療機器安全使用のための具体的方策などについて、指針を示すことにより、適切な医療機器安全管理を推進、安全な医療の提供に資することを目的とする。		
活動内容	医療機器の安全使用のための研修 医療機器の保守点検 医療機器の保守点検に関する記録 医療機器の知識・情報の収集		
備考			

医療機器安全管理委員会

委員会名	透析機器安全管理委員会		
委員長名	弓濵　義之 副主任	構成人数	6名
事務局・担当部署	臨床工学科	担当者名	内里　司
委員名	・弓濵　義之　（医療技術部） ・内里　司　　（医療技術部） ・野原　剛　　（医療技術部） ・大濵　明日香（医療技術部） ・平敷　幸大（医療技術部） ・竹本　直美　（看護部）		
活動目的	透析機器安全管理委員会は血液透析業務における医療設備、医療機器に関連した安全管理及び品質管理を目的とし設置する。		
活動内容	(1) 透析教育修練カリキュラムの整備に関すること。 (2) 透析液管理マニュアル完備に関すること。 (3) 透析機器及び水処理装置の保守・点検等の管理計画の策定に関すること。 (4) 管理記録、測定記録、報告書の作成並びに保管、管理に関すること。 (5) 職員への適正使用のための研修実施に関すること。 (6) 関連医療情報の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施に関すること。 (7) その他、透析液に関すること。		
備考			

実績報告資料等

広報委員会

委員会名	広報委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	7 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
委員名	【病院担当】安里　竜、知念政治、仲田尚正 【クリニック担当】松田　渚 【地域包括ケアセンター担当】比嘉康文 【地域連携担当】砂川直樹		
活動目的	1）院内の現状、新規業務などをホームページや広報誌、新聞等を通じて院外に PR する。 2）院内の情報を収集・審議し、広報方針を決定する。 3）広報・広告関連予算を審議し、理事会へ提案する。 4）院内における掲示物などに関して、規定を作成する。		
活動内容	企画室広報係より事業に関する広報・広告活動を提起し他職種で検討を行う。法律や条例、各評価機関の定めに従った情報提供。		
備考	平成 27 年度より従来の病院部門毎の担当構成から、各施設担当に委員構成を変更。		

年報作成員会

委員会名	年報作成員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	15 名
事務局・担当部署	企画室広報係	担当者名	知念政治
委員名	【医　局】奥島憲彦、嘉川春生、菅野善一郎 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】仲座義富、斎藤辰好 【事務部】當銘秀之、宮城映子、大城ますみ、仲松　泉、呉屋亮太、知念政治、仲田尚正 【クリニック】新垣優子 【地域包括ケアセンター】比嘉康文		
活動目的	病院年報の企画・データ収集・作成およびそれらのデータ保全。		
活動内容	病院年報の企画・データ収集・作成。 各科実績報告会の企画・運営。		
備考			

手術室運営委員会

委員会名	手術室運営委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	35 名
事務局・担当部署	手術室	担当者名	比嘉憲貴
委員名	【医　局】奥島憲彦、西原　実、嵩原裕夫、梁英樹、宮平　工、花城直次、阿嘉裕之、国吉史雄、尾下陽大、野村寛徳、松元　悟、渡慶次学、松田英敏、屋比久博巳、比嘉浩太郎、武田　理、大西勉、喜久本藍、上原博香、喜久山明、嘉川春生、末吉健次、上笹　航、親川　格、東盛貴光、溝渕貴俊、友寄毅昭、狩俣かおり、宮城　敬、山入端敦、仲本学、折田　均、島袋泰、釜野武志、喜屋武秀文		
活動目的	手術を安全に、確実に遂行していくためには手術室の円滑な運営が大切であり、病院の管理体制･職員･設備などをふまえ、効率よく管理運営される事を目的とする。		
活動内容	月 1 回。 ここでは手術スケジュールの調整に関する事、手術室の安全管理・感染管理に関する事、設備に関する事、機器の保守点検・新規購入等について協議し、その時々の問題解決機関となる。議事録は別ファイル「手術室運営会議録」に保管する。		
備考			

安全管理委員会（台風対策委員会）

委員会名	安全管理委員会（台風対策委員会）		
委員長名	松元　悟	構成人数	6 名
事務局・担当部署		担当者名	吉川　忍
委員名	【医　局】松元　悟、久場良也、普天間光彦 【医療技術部】宮城竜也 【看護部】宮平典子 【事務部】當銘秀之、吉川　忍		
活動目的	1.　コンディション発令（台風対策）の有無、病院診療及び、職員出勤の有無などを検討し決定する。 2.　コンディション解除の日時を検討し、病院診療時間および職員出勤時間などを決定する。		
活動内容	1.　コンディション発令時刻の決定 2.　コンディション解除時刻の決定 3.　診療時間の決定 　通常診療休診の決定 　通常診療開始の決定 4.　委員会開催日時の決定		
備考			

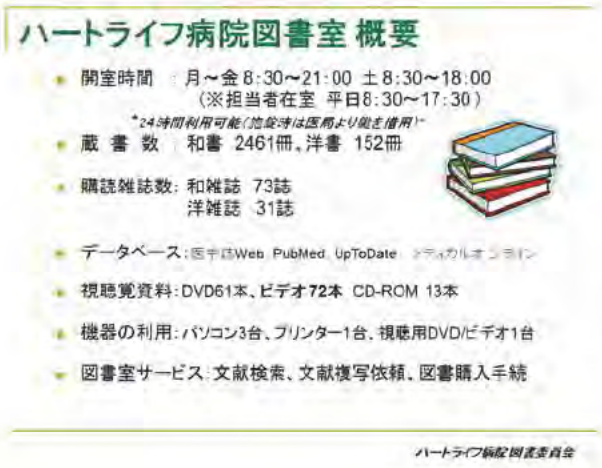
ICU・救急検討委員会

委員会名	ICU・救急検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	19 名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医　局】久場良也、佐久川　廣、與座　一、西原　実、末吉健次、嘉川春生、城間丈二、普天間光彦、平良直也、安里義秀、大西　勉、武田　理、照屋明子、銘苅正、三戸正人 【看護部】仲地ますみ、内間幸人、安村公均、粟盛信子		
活動目的	救急外来、ICU の運営上の諸問題、搬送患者の取り扱い、感染問題、治療実績、地域消防との連携、勉強会の開催等		
活動内容	1）BLS コース企画、運営 2）ICLS コース企画、運営 3）救急、災害フェアへの参加（地域召募との連携により近隣のショッピングセンターにおいて BLS 講習会を実施する）		
備考			

図書委員会

委員会名	図書委員会		
委員長名	宮平　工	構成人数	5 名
事務局・担当部署	総務課・図書係	担当者名	宮城映子
委員名	【医　局】宮平　工 【看護部】西銘　宣子 【医療技術部】石原　悟 【事務部】比嘉　靖、宮城映子		
活動目的	ハートライフ病院図書室の適正な管理運営をはかるため必要な事項等を審議検討することを目的とす。		
活動内容	図書委員会活動：委員長が招集し年 2 回開催。(4 月・10 月) 広報活動：「図書だより」を毎月 1 回発行し、院内各部署および他病院図書室などに配布。年 1 回所蔵目録の作成。		
備考			

実績報告資料等



図書室業務実績（平成27年度）

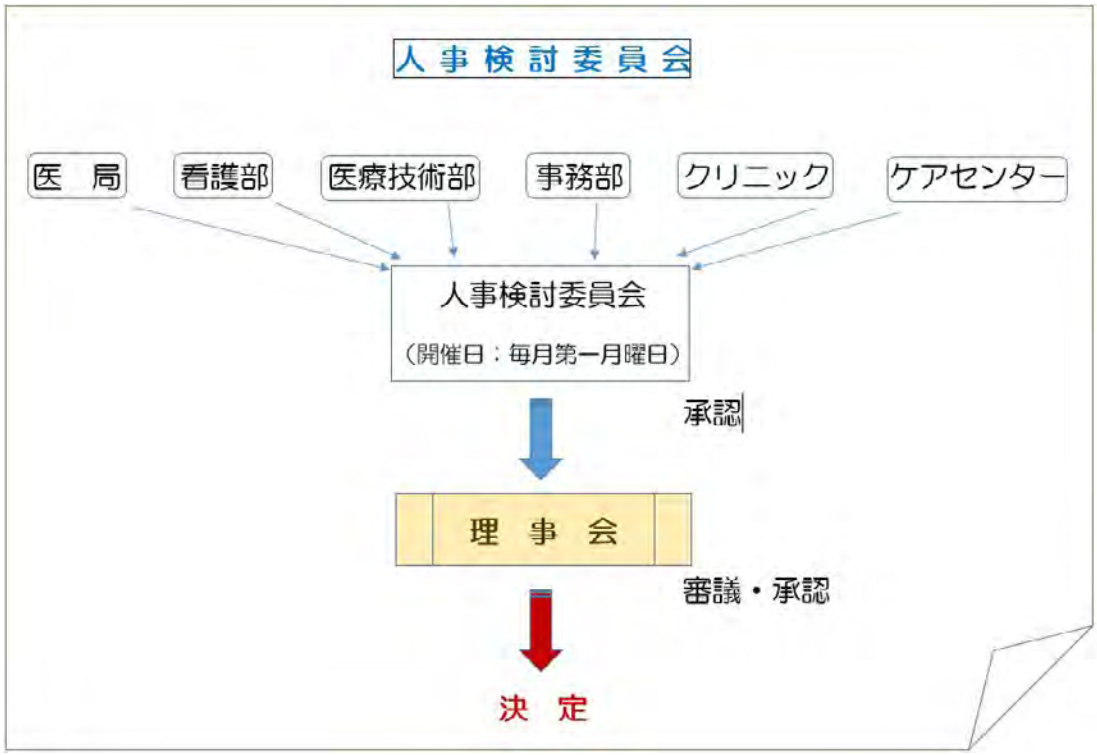
文献複写依頼	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
医局	780	389	307	547	573
看護部	40	20	57	35	21
コ・メディカル	3	1	61	13	65
事務部	1	5	4	1	13
クリニック[illegible]		75	312	97	122
その他(院外)	5	5	0	0	0
小　計	829	495	741	693	794
メディカルオンライン	5174	7070	6053	7063	6224
他施設からの依頼	259	289	154	179	121

受入資料	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
和雑誌(タイトル数)	75	66	72	74	73
洋雑誌(タイトル数)	33	34	30	30	31
図書(書籍)	179	240	151	183	159

人事検討委員会

委員会名	人事検討委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	5 名
事務局・担当部署	法人事務局　人事課	担当者名	比嘉康文
委員名	【医　局】奥島憲彦 【看護部】宮平　典子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之 【法人事務局人事課】　比嘉　康文		
活動目的	1.　医療の質、向上に寄与するための人材確保 2.　各部門の現状把握・分析をし、適正人員及び適正人件費を検討し経営に寄与する。 3.　職員の採用（増員・補充・異動、その他）は人事検討委員会を通して検討する。増員・補充に関しては理事会の承認を得る。 4.　昇進・昇格人事を検討し、理事会へ提案する。 5.　業務委託の検討		
活動内容	平成 27 年人事検討委員会開催数 13 回。承認された事案は理事会で審議され決定する。主な審議内容は、①昇進人事②業務拡張に伴う増員③退職・産休に伴う補充④給与表・資格手当の見直しなどがある。平成 27 年度は、かりゆし会全体で、216 名が入職した。		
備考	人事検討委員会に提出する事案には、部署体制図を必ず添付するようお願いします。委員会は毎月第一月曜日に行われますので、稟議書等資料は、前週水曜日までに紙ベースにて人事課へ提出をお願いします。		

実績報告資料等



教育研修管理委員会

委員会名	教育研修管理委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	5 名
事務局・担当部署	看護部、副部長	担当者名	仲地ますみ
委員名	【医　局】久場良也、普天間光彦 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】宮城竜也 【法人事務局人事課】比嘉康文		
活動目的	医療・看護・医療技術、組織管理・運営、患者接遇、医療連携（ネットワーク）、IT 等に関する教育・研修を充実させ、人材の育成と医療レベルの標準化・向上に寄与する。		
活動内容	1）病院全体の教育・研修実施状況について以下を把握する。 ①年間計画と実績 ②各部門の教育・研修の現状 ③学会発表、参加状況 ④研修会（講習会）への参加状況 ⑤研修後の報告の有無 ※①～⑤については、各部門、委員会、チーム責任者で推進し、実施と評価を行うものとする 2）外部からの研修（実習）実績の集約 3）その他		
備考			

実績報告資料等

【平成27年度実習･研修受け入れ状況】

医師卒後臨床研修	38	初期研修	34
		後期研修	4
看護学生臨床実習	315	沖縄看護専門学校	128
		ぐしかわ看護学校	59
		北部看護学校	8
		看護系大学	32
		福岡看護専門学校	78
		那覇看護専門学校	10
医療技術関連実習	110	医学生	80
		リハビリ	18
		事務系	7
		臨床検査	3
		薬学生	2
救急救命士臨床実習	138	中部地区MC	113
		他消防	21
		学生	4

【平成27年度院内研修･講演会実績】

内　容	実施件数	参加者(人)
医療安全	4	484
院内感染対策	3	259
教育	28	1149
発表･報告会	10	1001
教養その他	6	531
計	51	3429

診療材料等管理検討委員会

委員会名	診療材料等管理検討委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	17 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	諸見里和也
委員名	【医　局】久場良也、松元　悟 【看護部】仲地ますみ、諸喜田久美、屋良ちえみ、竹本直美、米須智子、比嘉　暢、内間幸人、中野久乃、安村公均、宮城つかさ、比嘉憲貴 【医療技術部】神谷乗敏、大城　安、宮城竜也 【事務部】諸見里和也		
活動目的	診療材料等に関する方針および懸案事項を審議、調整する。		
活動内容	1）診療材料・医療消耗品等に係る方針に関すること。 2）購買管理・在庫管理・使用管理に関すること。 3）発注事務等の改善に関すること。 4）職員教育及び啓蒙に関すること。 5）前各号に定めるものの他、理事長が必要と認める事項。		
備考			

実績報告資料等

平成27年度　診療材料検討委員会年間審議実績

委員会申請審議件名	申請部署	現状使用材料	変更・新規採用材料	備考
ｴｸｽﾃﾝｼｮﾝﾁｭｰﾌﾞのｻｲｽﾞ変更	ME・大濱	ｴｸｽﾃﾝｼｮﾝﾁｭｰﾌﾞ15cm	ｴｸｽﾃﾝｼｮﾝﾁｭｰﾌﾞ45cm	右ｼｬﾝﾄに対し透析機器の移動をしないことで機器破損を防ぐ。
ﾊｯﾋﾟｰｷｬｽ・ﾍﾟｲﾝﾚｽﾆｰﾄﾞﾙの導入	ME・大濱	ﾀﾞﾙｸﾗﾝﾌﾟﾆｰﾄﾞﾙ・ｯｾｰﾌﾚｯﾄｶﾆｭｰﾗ	ﾊｯﾋﾟｰｷｬｽﾍﾟｲﾝﾚｽﾆｰﾄﾞﾙ	月￥5000ｺｽﾄ削減
ｿｰﾌﾞｻﾝﾘﾎﾞﾝ採用の件	耳鼻科・平塚	止血ｶﾞｰｾﾞ	ｿｰﾌﾞｻﾝﾘﾎﾞﾝ	副鼻腔手術にｶﾞｰｾﾞの抜去が不要、材料償還￥1000収益
ｽｺｰﾌﾟﾜｲﾊﾟｰの採用願い	内視鏡・古波倉	滅菌ﾀｵﾙ	ﾊｲｾﾞｽｺｰﾌﾟﾜｲﾊﾟｰ	ｽｺｰﾌﾟに繊維詰りが有り故障の原因になっている為。
ｸｲｯｸﾌｨｯｸｽ新規採用	ICU・安村	ﾏﾙﾁﾎﾞｱﾃｰﾌﾟ	ｸｲｯｸﾌｨｯｸｽ	手技の統一。※不採用
ｿﾙｸﾄﾆｰﾄﾞﾙ採用の件	麻酔科・釜野	神経刺激用ﾌﾞﾛｯｸ針	ｿﾙｸﾄﾆｰﾄﾞﾙ	金額も同じで、患者への使用感も良い。
ﾃﾞｨｸﾞﾆｹｱの採用の件	形成外科・東森	該当なし	ﾃﾞｨｸﾞﾆｹｱ	排便による創汚染対策の為採用
薬剤耐性用三方活栓採用の件	放射線・高良	該当なし	ﾃﾙﾓ薬剤耐性三方活栓	ﾘﾋﾞｵﾄﾞｰﾙにより三方活栓に亀裂が入り液漏れを起こす為
ｻｰｼﾞｿｰﾌﾞ変更	用度・諸見里	ﾊﾞｲｸﾘﾙﾌﾟﾗｽVCP772D	ｻｰｼﾞｿｰﾌﾞSU091	年間￥190万のｺｽﾄを￥100万削減
ｵﾌﾟｻｲﾄをﾌﾞﾚｽﾛｰﾙへ変更	用度・諸見里	ｵﾌﾟｻｲﾄﾛｰﾙ	ﾌﾞﾚｽﾛｰﾙ	年間￥55万のｺｽﾄを￥28万削減
ｱﾄﾑ酸素鼻孔ｶﾆｭｰﾚ変更	用度・新垣	ｱﾄﾑ酸素鼻孔ｶﾆｭｰﾚ	ｲﾝﾀｰﾒﾄﾞ酸素ｶﾆｭｰﾚ	単価￥260から￥225と安価。

物品購入検討委員会

委員会名	物品購入検討委員会		
委員長名	松元　悟	構成人数	12 名
事務局・担当部署	用度課	担当者名	宮里　毅
委員名	【医　局】松元　悟、久場良也 【看護部】宮平典子、中野久乃 【医療技術部】宮城竜也、仲座義富、神谷乗敏、大城　安、斎藤辰好 【事務部】當銘秀之、宮城　淳、宮里　毅		
活動目的	・委員会の年間予算内で、現場に必要な物品を検討し優先順位をつけて必要物品を購入すること。 ・年度内に購入が難しい物品などは、次年度の予算で購入するように調整する。		
活動内容	1．毎月第一金曜日に委員を開催し、必要物品・機器の購入検討を行い理事会にて承認を得る。 2．承認を得た物品・機器を現金購入および割賦購入する。		
備考			

ワークライフバランス委員会

委員会名	ワークライフバランス委員会		
委員長名	當銘秀之	構成人数	8 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	冨里　等
委員名	【医局】奥島憲彦、菅谷明子 【看護部】西銘宣子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、吉川　忍、比嘉康文、冨里　等		
活動目的	全職員のワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を推進する		
活動内容	●医師の勤務負担軽減（医師勤務実績表を作成し当直明け休日を推進） ●「沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業」認証の取得（H26.4） ●職員満足度調査（H27.11）衛生委員会と共同 ●事務部　月次時間外勤務比較 ●就業規則変更「二重就職の禁止」 ●３６協定の順守		
備考			

実績報告資料等

ワーク・ライフ・バランス企業認証の認証式の様子
平成 26 年 4 月 23 日　沖縄県庁に於いて

患者サポート委員会

<table>
<tr><td>委員会名</td><td colspan="3">患者サポート委員会</td></tr>
<tr><td>委員長名</td><td>西原実</td><td>構成人数</td><td>8 名</td></tr>
<tr><td>事務局・担当部署</td><td>地域医療連携室</td><td>担当者名</td><td>西田悠希子</td></tr>
<tr><td>委員名</td><td colspan="3">【医局】西原　実
【医療技術部】仲座義富
【看護部】池村久美子
【事務部】吉川　忍、金城　泰、西田悠希子</td></tr>
<tr><td>活動目的</td><td colspan="3">1. 医療従事者と患者等との円滑なコミュニケーションを図る
2. 患者等の不安に寄り添い、入院生活を支援する
3. 患者サポート相談窓口担当者及び各部門の担当者等が患者等からの相談を円滑に実施できるよう支援する。</td></tr>
<tr><td>活動内容</td><td colspan="3">1. 開催日　毎週火曜日 16 時から 17 時（平成 27 年度計 46 回（通算 179 回）実施）
2. 場所　3 階第 1 会議室（毎月第 3 週は 2 階講堂）

（1）主な議事内容の分類（述べ件数、平成 27 年度）
<table>
<tr><td>医師の説明・対応</td><td>9</td></tr>
<tr><td>検査</td><td>2</td></tr>
<tr><td>接遇・配慮</td><td>13</td></tr>
<tr><td>受診・入院対応</td><td>6</td></tr>
<tr><td>医療費・診断書</td><td>1</td></tr>
<tr><td>組織上の問題</td><td>13</td></tr>
<tr><td>本委員会体制</td><td>11</td></tr>
<tr><td>連携上の問題</td><td>2</td></tr>
<tr><td>その他</td><td>6</td></tr>
<tr><td>計</td><td>63</td></tr>
</table>
（2）本委員会に寄せられた事例から、提案・改善に至ったもの
・不当な対応を訴える患者の対応について、医師、外来師長とカンファレンスを行い、対応に困った際にはメディエーターが待機し、スタッフへ対応についてアドバイスを行うこととなった
・メディエーター研修への参加要請…院内のメディエーター養成研修修了者は現在 31 人
・患者サポートカンファレンスを開催し、現場にフィードバックすることで、当委員会への相談は減少。現場で対応、解決する事例が増加したことが考えられる</td></tr>
<tr><td>備考</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

QI 委員会

委員会名	QI 委員会		
委員長名	奥島憲彦	構成人数	13 名
事務局・担当部署	診療情報管理室	担当者名	柳　学
委員名	【医局】奥島憲彦、末吉健次、平良直也、高良　誠 【看護部】中野久乃、嘉数智子 【事務部】柳　学、安里　竜、高橋慎二、前原純樹、知念政治、田中淳也、真栄平　久美子		
活動目的	当院は 2012 年度、2013 年度、2014 年度に引き続き日本病院会主催の「QI プロジェクト 2015」に参加しております。QI（Quality Indicator）とは「医療の質の指標」を意味しています。 標準的な診療が行われているか、その実施率等を数値化し客観的に評価して「医療の質改善」繋げていくことを目的としております。		
活動内容	下記３２項目の臨床指標データの収集。 １．患者満足度（外来患者） ２．患者満足度（入院患者） ３．死亡退院患者率 ４a．入院患者の転倒･転落発生率･４b．入院患者の転倒･転落による損傷発生率（レベル 2 以上）･４c．入院患者の転倒・転落による損傷発生率（レベル 4 以上） ５．褥瘡発生率 ６．紹介率 ７．逆紹介率 ８．尿道留置カテーテル使用率 ９．症候性尿路感染症発生率 １０．救急車・ホットラインの応需率 １１．特定術式における手術開始前 1 時間以内の予防的抗菌薬投与率 １２．特定術式における術後 24 時間（心臓手術は 48 時間）以内の予防的抗菌薬投与停止率 １３．特定術式における適切な予防的抗菌薬選択率 １４．糖尿病患者の血糖コントロール　HbA1c（NGSP）＜ 7.0%、１５．退院後 6 週間以内の救急医療入院率 １６．急性心筋梗塞患者における入院後早期アスピリン投与割合 １７．急性心筋梗塞患者における退院時アスピリン投与割合 １８．急性心筋梗塞患者における退院時βブロッカー投与割合 １９．急性心筋梗塞患者における退院時スタチン投与割合 ２０．急性心筋梗塞患者患者における退院時の ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合 ２１．急性心筋梗塞患者における ACE 阻害剤もしくはアンギオテンシンⅡ受容体阻害剤の投与割合 ２２．急性心筋梗塞患者の病院到着後 90 分以内の初回 PCI 実施割合 ２３．脳卒中患者のうち第２病日までに抗血栓治療を受けた患者の割合 ２４．脳卒中患者のうち退院時抗血小板薬を処方した割合 ２５．脳卒中患者の退院時スタチン処方割合 ２６．心房細動を伴う脳卒中患者への退院時の抗凝固薬処方割合 ２７．脳梗塞における入院後早期リハビリ実施症例の割合 ２８．喘息入院患者のうち吸入ステロイドを入院中に処方された割合 ２９．入院中にステロイドの経口・静注処方された小児喘息患者の割合 ３０．統合指標（手術） ３１．（虚血性心疾患） ３２．統合指標（脳卒中）		
備考			

実績報告資料等

本誌の 26 ページで医療の質 Quality Indicator（QI）のデータをご覧頂けます。

災害対策委員会

委員会名	災害対策委員会		
委員長名	久場良也	構成人数	10 名
事務局・担当部署	法人事務局　人事課	担当者名	比嘉康文
委員名	【医局】久場良也、西原　実、三戸正人 【看護部】仲地ますみ、内問幸人 【医療技術部】田中健嗣 【事務部】比嘉　靖、吉川　忍、宮里　毅（防災管理者） 【法人事務局】比嘉　康文		
活動目的	災害発生時、来院する多数の傷病者に対し、迅速・的確に対応し適切な災害医療を提供することを目的とする。		
活動内容	災害マニュアル作成委員会、災害訓練実施委員会、防災物品購入委員会を取りまとめ、マニュアル、火災訓練、大規模災害訓練実施の検討承認。		
備考	災害対策委員会（委員長）久場　良也 災害マニュアル作成委員会（委員長）吉川　忍 災害訓練実施委員会（委員長）三戸　正人 防災物品購入委員会（委員長）宮里　毅		

災害マニュアル作成委員会

委員会名	災害マニュアル作成委員会		
委員長名	吉川　忍	構成人数	11 名
事務局・担当部署	法人事務局　人事課	担当者名	比嘉康文
委員名	【医局】久場良也（副委員長）、西原　実 【看護部】仲地ますみ 【医療技術部】 田中　健嗣、大城　安、玉城義彦 【事務部】吉川　忍、柳　学、金城　司、砂川直樹 【法人事務局】比嘉　康文		
活動目的	災害発生時、来院する多数傷病者に対し、迅速・的確・安全に対応し、適切な災害医療を提供することを目的とする。		
活動内容	災害対応するにあたり、明確な指揮命令系統のもと情報伝達を正確及び迅速に行い、行動（アクションカード）に結び付け、適切な災害医療の提供を行う。災害対策本部指揮命令系統図作成、情報共有用紙作成、アクションカード作成。		
備考			

災害訓練実施委員会

委員会名	災害訓練実施委員会		
委員長名	三戸正人	構成人数	12 名
事務局・担当部署	救急外来	担当者名	内間幸人
委員名	【医局】久場良也、三戸正人 【看護部】内間幸人（副委員長）、仲地ますみ、外間真紀子、安村公均 【医療技術部】野原　剛、大城盛寛 【事務部】後原保光、吉川　忍、宮城　淳、比屋根　宗		
活動目的	大規模災害による多数傷病者発生を想定した訓練や院内での火災発生を想定した訓練などを通して、災害対策マニュアルとアクションカードを活用し、災害時の対応を効果的に行うとともに、病院スタッフの防災意識の醸成を図る事を目的とする。		
活動内容	・平成 27 年 7 月 30 日に院内火災訓練実施 ・平成 27 年 12 月 9 日に大規模災害発生による多数傷病者発生時の受け入れ訓練及び病院避難の訓練実施 ・平成 27 年 9 月 14 日非常放送設備点検実施		
備考			

防災物品購入委員会

委員会名	防災物品購入委員会		
委員長名	宮里　毅	構成人数	8 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	宮里　毅
委員名	【医局】久場良也 【看護部】内間幸人 【医療技術部】田中健嗣 (副委員長)、久場徳子 【事務部】比嘉　康文、比屋根斉		
活動目的	震災時に必要な薬品・診療材料・備品などの準備、即対応できる体制、物品の備蓄量、搬出方法などを検討する。		
活動内容	避難用ストレッチャーの検討		
備考			

増改築検討委員会

委員会名	増改築検討委員会		
委員長名	奥島　憲彦	構成人数	15 名
事務局・担当部署	事務部	担当者名	宮里　毅
委員名	【医局】奥島　憲彦、松元　悟、久場良也、佐久川　廣、西原　実、山本壽一、與座　一、普天間光彦 【看護部】宮平典子 【医療技術部】宮城竜也 【事務部】當銘秀之、安里竜、後原保光、新川進、比屋根宗、宮里毅		
活動目的	増改築計画の立案、および関連する業務・内容の検討・調整業務を行う。		
活動内容	1．毎週第２・第４水曜日開催。 2．工事関連部署との調整。 3．工事内容の検討・修整、および決定事項の周知。		
備考			

ハートライフクリニック
平成 27 年度　年次報告

Annual report of Heartlife Clinic 2015

理念

わたしたちは心と心を結ぶ信頼される医療をめざします

基本方針

1. 生活習慣病の自立支援

2. 小児プライマリー（初期）医療

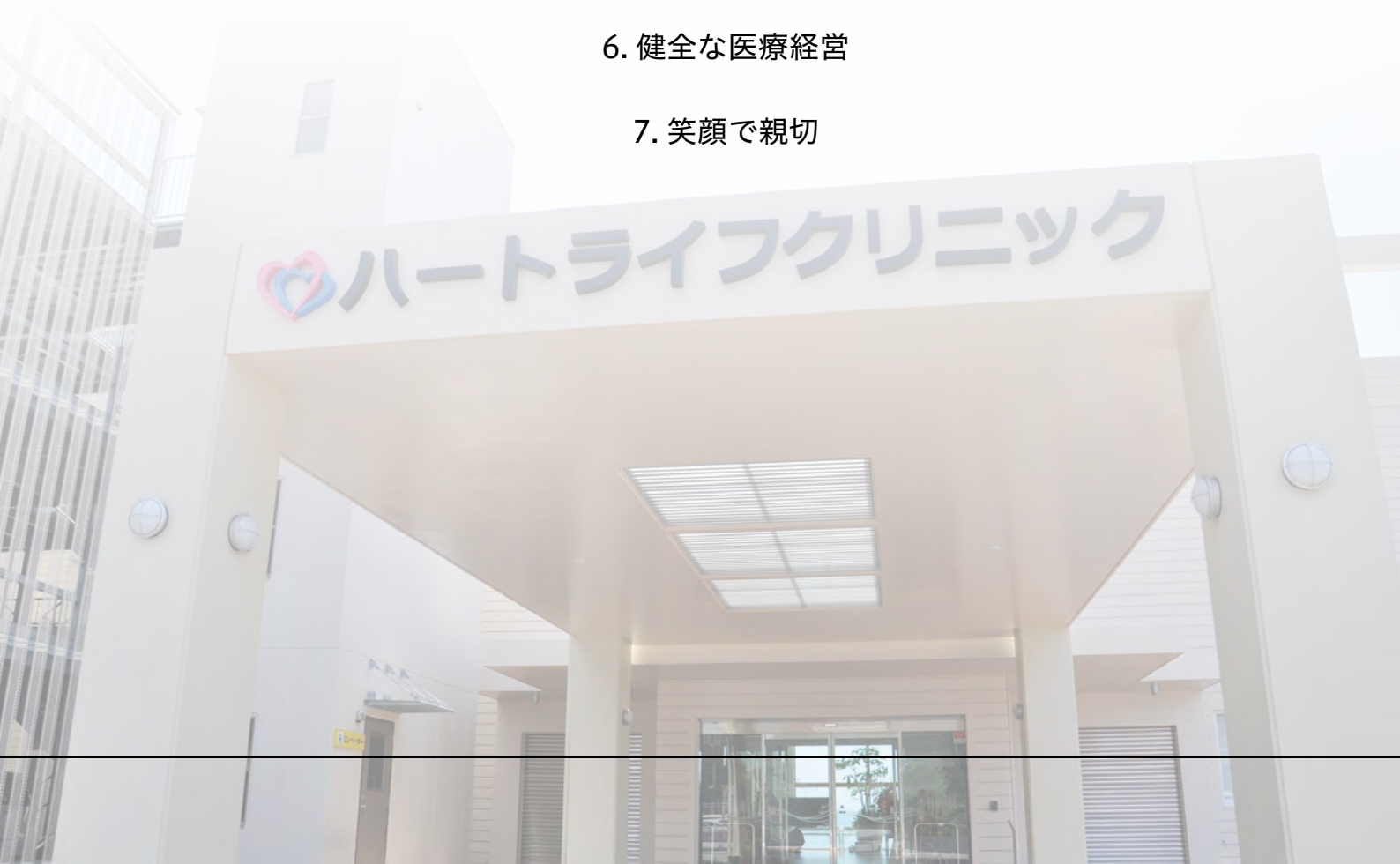
3. 地域循環型医療（かかりつけ医との連携）

4. 生活習慣病改善の指導で健康長寿を目指す

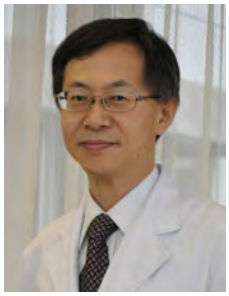
5. 研修教育クリニック（地域の医療関係者を含めて）

6. 健全な医療経営

7. 笑顔で親切



年報発刊によせての挨拶



ハートライフクリニックが誕生して 4 回目の年報となりました。クリニックへの受診患者さまは、開院以来、9,006 名、25,398 名、32,889 名、35,585 名と年々増加しています。

近隣の患者さまの受診が圧倒的に多く、また再診の患者さまが増加していることから、地域のプライマリーケアとして、また慢性疾患の治療拠点として認識されてきたことと思われます。さらに、離島から定期通院される患者さまや外国からの患者さまも増えつつあり、専門性の高い医療を求めて受診されているものと思われます。

平成 27 度のクリニック内科は仲田操医師が退職され一時的に患者数が減少しましたが、荒川幸弘医師を始めとして本院から循環器内科與座一部長と安里哲好理事長に援助して頂き患者数が大幅に増えました。

小児科においては安里義秀小児科部長の退職後は、本院からの国島知子副部長と川満豊医師、新里亜紀医師、譜久原夏医師、琉球大学小児科教室からの応援にて開院以来受診患者は増加の一途であります。特に、再診の患者さまが増えていることから、地域に根付いてきたと思われます。

糖尿病内科では 1 型糖尿病や重症合併症の紹介患者さまが多く、地域での糖尿病医療の専門性を発揮しています。透析予防チーム医療、フットケア外来、持続皮下血糖値モニター、インスリン持続皮下注射療法などの高度な糖尿病医療もおこなっています。土曜日には糖尿病教室と患者会を開催しています。

各科ともそれぞれの特徴を活かした診療を行っています。また、放射線科、臨床検査部門、業務課などクリニックでは最小人数で運営しているためハートライフ病院からの人的支援のお陰で医療の質が保たれています。本年報ではクリニックの状況がデータとして表現されています。今後とも皆さまのお力添えをお願い申し上げます。

社会医療法人かりゆし会
ハートライフクリニック
院長　山本　壽一

クリニック概要

（平成 27 年 4 月 1 日現在 / データ作成　ハートライフクリニック　野村）

組織概要

施設名

社会医療法人かりゆし会　ハートライフクリニック

所在地

〒 903-0101　沖縄県中頭郡西原町字掛保久 288 番地

連絡先

電話　（098）882-0810（代表）

FAX　（098）882-0820

ホームページ　http://www.heartlife.or.jp/clinic/

管理者一覧

理事長　　安　里　哲　好

院　長　　山　本　壽　一

施設概要

敷地面積及び建物概要

敷地面積　5,866.90㎡　　建築面積　2,674.97㎡　　延べ床面積　5,959.94㎡

規模構造　鉄筋コンクリート造　地上 2 階建

職員数

総数　49 名

職種別

（平成 27 年 4 月 1 日現在 / データ作成　ハートライフクリニック　野村）

職種	人数	職種	人数	職種	人数	職種	人数
常勤医師	2	クラーク	6	臨床心理士	1	その他	4
非常勤医師	12	保育士	1	管理栄養士	2		
看護師	9	臨床検査技師	3	理学療法士	1		
准看護師	1	放射線技師	1	一般事務	5		

指導医・専門医・認定医

（平成 27 年 9 月現在 / データ作成　企画室広報　知念）

名称	人数	名称	人数
日本内科学会総合内科専門医	2	日本小児科学会専門医	2
日本内分泌学会指導医	1	日本循環器学会専門医	2
日本糖尿病学会研修指導医	1	日本透析医学会専門医	1
日本糖尿病学会専門医	3	日本医師会認定産業医	1
日本内科学会認定医	6	日本内分泌学会指導医	1

指定医療一覧

1. 保険医療機関
2. 生活保護指定医療機関
3. 被爆者一般疾病医療機関
4. 特定疾患治療研究事業医療機関
5. 小児慢性特定疾患治療研究事業医療機関
6. 労災保険指定医療機関

診療体制

標榜診療科目

糖尿病内科・内科・小児科

その他、専門外来など

● 禁煙外来

受付時間

月曜日～金曜日　午前　8：00～ 11：30

午後　13：00～ 16：30

土曜日（内科・小児科）

午前 8：00～ 11：30

診療時間

月曜日～金曜日　午前　9：00 ～ 12：00

午後　14：00 ～ 17：30

土曜日（内科・小児科）

午前　9：00 ～ 12：00

休診日

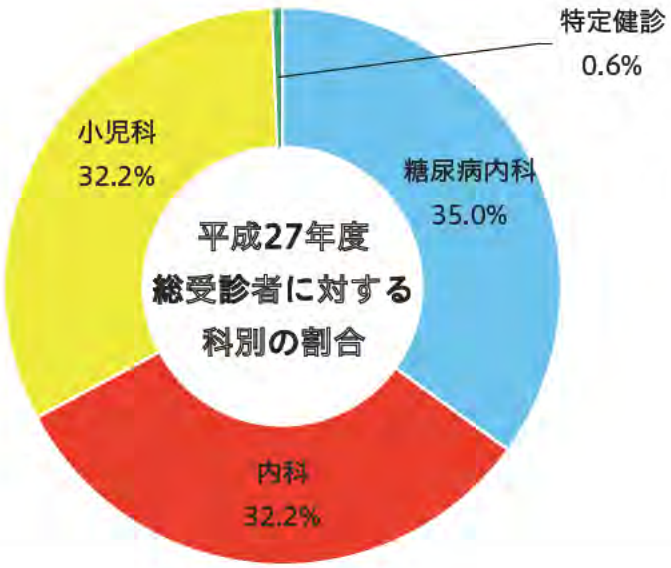
糖尿病内科/ 土曜日・日曜日・祝祭日

内科・小児科 / 土曜日午後・日曜日・祝祭日

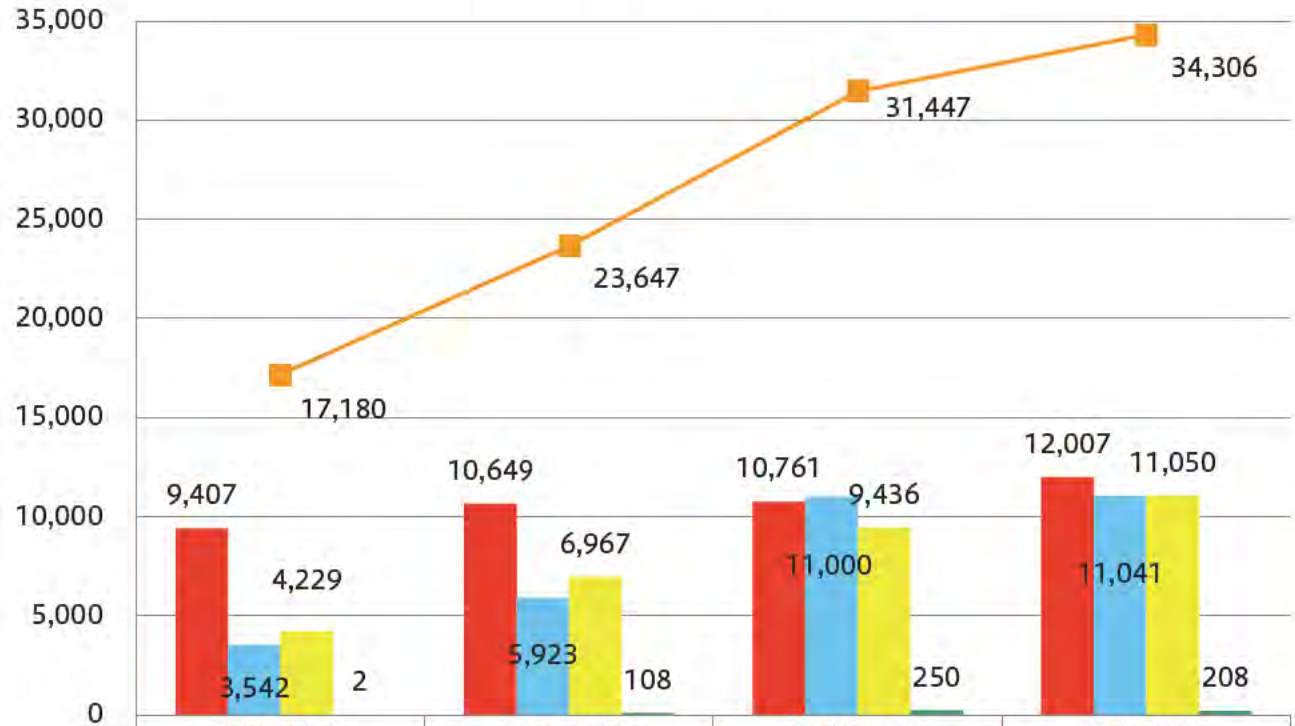
患者統計

月別外来受診者数
3500
3000
2500
2000
1500
1000
500
0
2,942
2,559
2,812
2,678
2,569
2,604
2,760
2,597
3,132
2,839
3,327
3,487
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月

科別受診者数
15,000
12,000
9,000
6,000
3,000
0
12,007
11,041
11,050
208
糖尿病内科
内科
小児科
特定健診

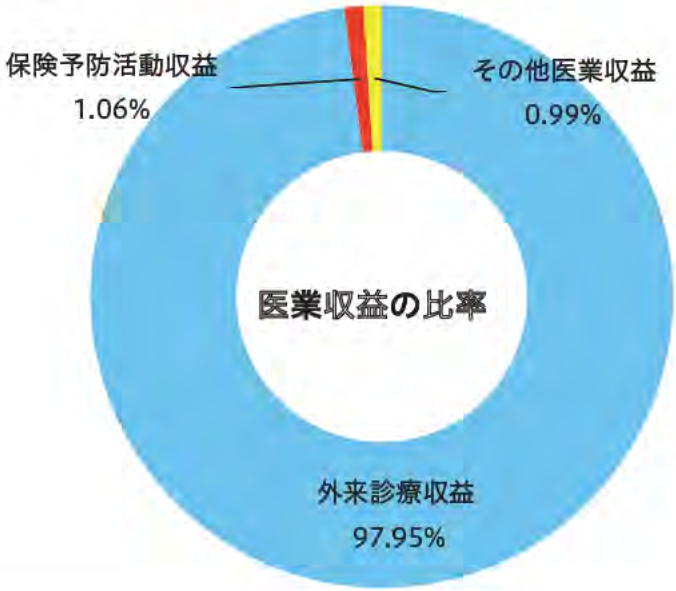

特定健診
0.6%
糖尿病内科
35.0%
内科
32.2%
小児科
32.2%
平成27年度
総受診者に対する
科別の割合

外来受診者数 年次推移



	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
糖尿病内科	9,407	10,649	10,761	12,007
内科	3,542	5,923	11,000	11,041
小児科	4,229	6,967	9,436	11,050
特定健診	2	108	250	208
合計	17,180	23,647	31,447	34,306

財務情報



ハートライフクリニック
業務実績

糖尿病内科

部門紹介

ハートライフクリニック糖尿病内科の特徴は、患者さまの生活習慣や価値観を尊重しながら、患者さまが糖尿病と共によりよい目標を目指して治療が続けられるように、サポートし続けることです。

糖尿病内科では、最新のインスリンポンプ療法やインクレチン自己注射療法、インスリン強化療法、7 日間 5 分間隔で血糖測定を自動でできる持続血糖皮下モニターＣＧＭなど、外来ベースで導入しています。重症の合併症を持つ患者さまも紹介で受け入れています。また、糖尿病治療による心理的負担で疲弊した患者さまが本島内だけでなく離島からも通院されています。インスリンがなければ生きていけない 1 型糖尿病患者さまも多数通院されています。

看護師、栄養士、検査技師、理学療法士、臨床心理士が糖尿病患者さまの療養指導を行います。日本糖尿病療養指導士の資格を持つスタッフは 6 名いて、透析予防のためのチーム医療、下肢の切断予防のためのフットケアなどの加算がとれる施設として厚生労働省から認定されています。

普段の診療以外では、糖尿病内科休診日である土曜日に外来教育コースや糖尿病患者会「ハッピーハート会」を定期的に開催しています。1 型糖尿病患者勉強会「ポパイの会」を年 3 回開催し多くの患者さまが参加されています。さらに、日本糖尿病協会主催のウォークラリーや糖尿病週間の一般市民への啓発運動などにも協力しています。

職員数

総数　17 名

医師	6 名（常勤 1 名、非常勤 5 名）	臨床心理士	1 名
看護師	5 名	メディカルクラーク	3 名
管理栄養士	2 名	クラーク	1 名
検査技師	1 名		

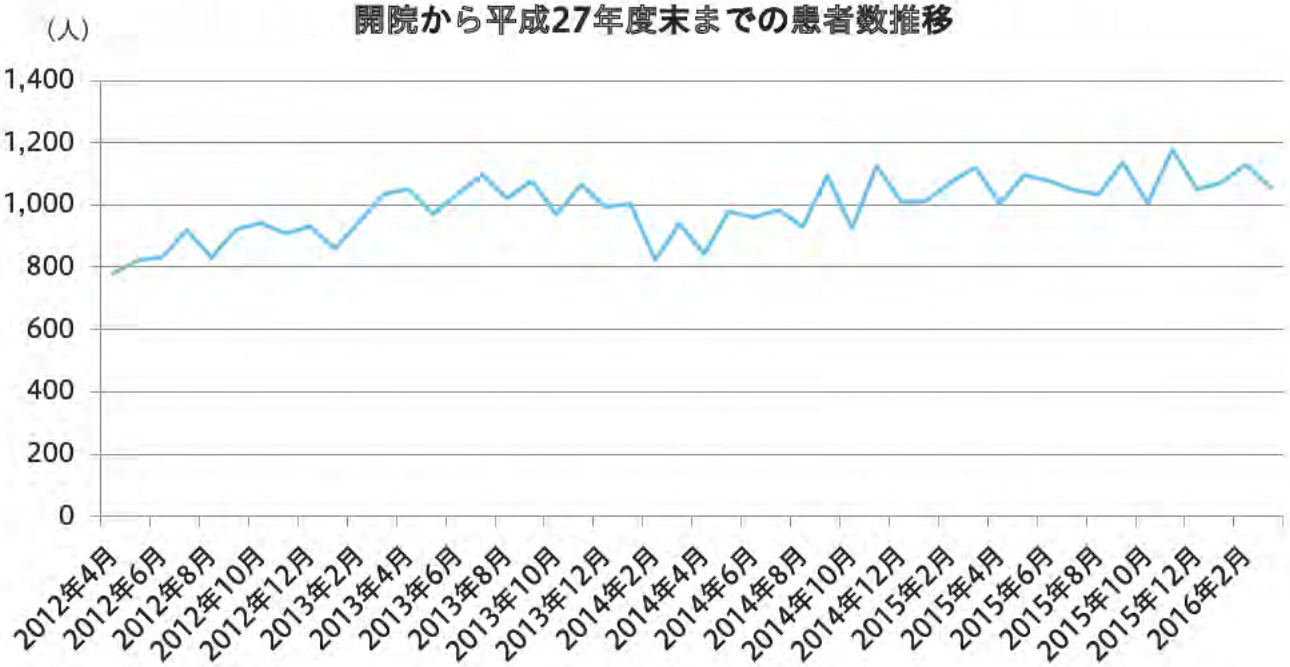
認定・資格

名称	人数
日本糖尿病療養指導士	6

名称	人数
沖縄県地域糖尿病療養指導士	3

業務実績

糖尿病内科　月別外来受診者数
(人)
1200
1000
800
600
400
200
0
995
900
1,005
991
973
955
1,049
928
1,109
992
1,013
1,097
860
782
912
877
910
849
979
815
1,000
918
900
959
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
H27年度
H26年度


開院から平成27年度末までの患者数推移
(人)
1,400
1,200
1,000
800
600
400
200
0
2012年4月
2012年6月
2012年8月
2012年10月
2012年12月
2013年2月
2013年4月
2013年6月
2013年8月
2013年10月
2013年12月
2014年2月
2014年4月
2014年6月
2014年8月
2014年10月
2014年12月
2015年2月
2015年4月
2015年6月
2015年8月
2015年10月
2015年12月
2016年2月

研究業績

学会発表・研究会・講習会等の参加実績

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病劇場	第 58 回日本糖尿病学会年次集会	山口県	2015 年 5 月 23 日	山本壽一、堀江恭子、長嶺淳司
糖尿病劇場	第 58 回日本糖尿病学会年次集会	山口県	2015 年 5 月 23 日	長嶺淳司、堀江恭子、山本壽一
診察間隔調査	第 58 回日本糖尿病学会年次集会	山口県	2015 年 5 月 23 日	玉那覇美幸、西原和枝、久高恵、島袋夕子、桃原須賀子、大家聡樹、長嶺敦司、仲里幸康、崎原みち代、山城小百合、山本壽一
当院通院中の1型糖尿病の現状分析	第 58 回日本糖尿病学会年次集会	山口県	2015 年 5 月 23 日	西原和枝、玉那覇美幸, 久高恵、島袋夕子、桃原須賀子、大家聡樹、仲里幸康、山城小百合, 崎原みち代、山本壽一
働き盛り世代の健康づくり 3 要素改善セミナー	北中城村マエストロ事業	沖縄県	2015 年 7 月 4 日	新垣優子
働き盛り世代の健康づくり 3 要素改善セミナー	北中城村マエストロ事業	沖縄県	2015 年 9 月 26 日	新垣優子
平成 27 年東北地区糖尿病療養指導士講習会	糖尿病患者の心理と行動	宮城県	2015 年 10 月 17 日	山本壽一
糖尿病患者診療の心理的アプローチ、症例検討会	奥口内科医院勉強会	宮城県	2015 年 10 月 17 日	山本壽一
持続性エキナセチド導入患者の臨床経過について	第 53 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡	2015 年 11 月 27 日	演者：山本壽一 玉那覇美幸、西原和枝、島袋夕子、久高恵、仲村武裕、福地万里
CSII ﾐﾆﾒﾄﾞ 620G への変更、SAP 療法の導入への関わり～看護師の立場として～	第 53 回日本糖尿病学会九州地方会	福岡	2015 年 11 月 27 日	久高恵、玉那覇美幸、西原和枝、島袋夕子、仲里幸康、宮城真紀子、山本壽一
働き盛り世代の健康づくり 3 要素改善セミナー	北中城村マエストロ事業	沖縄県	2015 年 11 月 28 日	新垣優子
食事療法・運動療法の進め方、薬物療法・血糖自己測定	CDEJ 更新者用講習会	沖縄県	2015 年 12 月 5 日	新垣優子
働き盛り世代の健康づくり 3 要素改善セミナー	北中城村マエストロ事業	沖縄県	2016 年 1 月 16 日	新垣優子
糖質制限食の落とし穴～最近の栄養指導の場面から～	平成 27 年度　中部地区糖尿病標準治療推進委員会第 6 回講義	沖縄県	2016 年 1 月 28 日	新垣優子
糖尿病の食事療法	中部地区保健所研修会	沖縄県	2016 年 2 月 23 日	新垣優子、渡真利ゆりか
糖尿病合併症とその予防と改善について	平成 27 年度第 1 回 NPO 法人日本健康運動指導士会研修会	沖縄県	2016 年 2 月 28 日	山本壽一

論文著書

題名	雑誌名	掲載年・号・頁	著者
糖尿病劇場チャレンジ日記、ファシリテーターより	糖尿病ケア	p86、13(1)、2016	山本壽一
中断に至る患者の思い	糖尿病心療マスター	p11、14(1)、2016	山本壽一

テレビ出演

番組名	放送日	寄稿者・取材対象者
ロハススタイル	2015 年 6 月 29 日～7 月 3 日	新垣優子

患者教育活動

ポパイの会開催

1 型糖尿病患者さんとご家族を対象に、勉強会や情報交換会を開催しています。

開催日	テーマ	参加者数
6 月 10 日（水）	医療助成について	21 名
	新型ポンプの説明	
	ディスカッション	
10 月 24 日（土）	災害時の対処について	21 名
	ディスカッション	
	Q & A タイム	
3 月 26 日（土）	体験談発表	17 名
	ディスカッション	
	Dr 山本よりメッセージ	

■災害時の備え

■新型ポンプの説明

ハッピーハート会

ハッピーハート会は患者、スタッフで構成されており、糖尿病に対する意識を深めること、また患者さん同士の親睦を図ることを目的としています。

テーマ	担当者	開催日	参加人数
みんなで歌って踊ろう～音楽会～	福治せりな	2015 年 5 月 30 日	12 人
外来教室＆山本先生のお話	山本壽一、看護師	2015 年 9 月 19 日	29 人
長嶺さんと一緒に楽しく歩こう	長嶺敦司	2015 年 10 月 31 日	16 人
第 9 回美ら海ウォークラリー		2015 年 11 月 16 日	23 人
ドレッシングサロン～栄養士～	栄養士	2016 年 1 月 30 日	23 人

■院長の山本による読み合わせ

■患者さんグループワーク

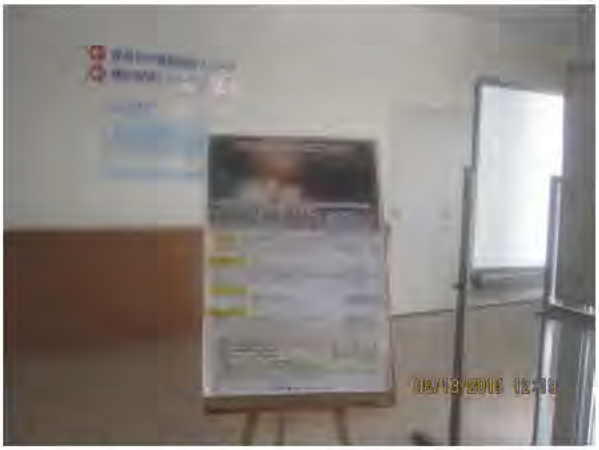
糖尿病教室

糖尿病教室とは、看護師や理学療法士など様々な専門家の講話を通して、糖尿病のセルフケアに役立つ情報や知識を学んでいただいたり、糖尿病の患者さん同士で自分なりのセルフケアの工夫や苦労話を話し合う場を設けるなど、より良いセルフケアを目指そうとするものです。

開催日	テーマ	職種 / 名前	参加人数
4 月 4 日	糖尿病運動療法の整理整頓～皆様からの質問・疑問をまとめました～	理学療法士 / 長嶺	7 名
	糖尿病知って理解しよう	看護師 / 玉那覇	
4 月 11 日	神経障害の検査～足にしびれはありませんか～	臨床検査技師 / 仲里	6 名
	糖尿病の神話と真実～こんな思い込みありませんか？（前編）～	臨床心理士 / 大家	
4 月 18 日	減塩食～糖尿病食と一緒に知っておこう～	管理栄養士 / 宮城	8 名
	糖尿病と足　あれこれ	看護師 / 島袋	
5 月	学会発表の為休講		
6 月 6 日	やってみよう運動療法「有酸素運動編」～ウォーキングだけじゃない！～	理学療法士 / 長嶺	13 名
	酒は百薬の長？～糖尿病とアルコール～	看護師／久高	
6 月 13 日	糖尿病病の食事療法～１日に食べてもらいたい食事ってどのくらい？～	管理栄養士 / 宮城	10 名
	網膜症の検査～物体の一部が欠けて見えませんか？～	臨床検査技師 / 仲里	
6 月 20 日	糖尿病と家族	臨床心理士 / 大家	3 名
	糖尿病連携手帳活用術～ HbA1c 下げ方のコツ～	看護師 / 西原	
7 月 4 日	やってみよう「運動療法筋力運動編」～あれ？これっていつもしているよ～	理学療法士 / 長嶺	9 名
	薬の話と相談	薬剤師 / 上地	
	糖尿病と言われたら	看護師 / 島袋	
7 月 11 日	糖尿病の食事～みんなで考えよう糖尿病クイズ～	管理栄養士 / 宮城	5 名
	腎症の検査～あなたの腎臓は元気？～	臨床検査技師 / 仲里	
7 月 18 日	糖尿病とうつ	臨床心理士 / 大家	7 名
	イベント対策（旧盆に向けて）	看護師 / 玉那覇	
8 月 1 日	糖尿病用語集あれ・これ”血糖・HbA1c・尿蛋白・クレアチニンなど”	看護師 / 西原	7 名
	糖尿病運動療法の整理整頓～皆様からの質問・疑問をまとめました～	理学療法士 / 長嶺	
8 月 8 日	糖尿病の食事～旧盆料理～	管理栄養士 / 宮城	6 名
	糖尿病腎症の検査について～あなたの血管年齢は？～	臨床検査技師 / 仲里	
8 月 15 日	糖尿病とこころ～あなたの糖尿病について話し合ってみよう～	臨床心理士 / 大家	9 名
	夏本番！ホットなフット情報～糖尿病と足～	看護師 / 久高	
9 月 5 日	これって！糖尿病	看護師 / 玉那覇	13 名
	心理テストをやってみよう！～風景を描く～	臨床心理士 / 大家	
	糖尿病の薬と相談	薬剤師 / 翁長	
9 月 12 日	コレステロールが高いと言われたら	管理栄養士 / 宮城	8 名
	歯周病”あなたの歯はぐらぐらしていませんか？”	臨床検査技師 / 仲里	
9 月 19 日	やってみよう運動療法「ストレッチ編」	理学療法士 / 長嶺	29 名
	何でも聞いてみよう	医師 / 山本院長	
10 月 3 日	糖尿病はじめて物語	看護師 / 久高	14 名
	糖尿病運動療法の整理整頓～皆様からの質問・疑問をまとめました～	理学療法士 / 長嶺	
10 月 10 日	糖尿病性腎症言われたら～どう違う？糖尿病の食事と腎症の食事～	管理栄養士 / 宮城	10 名
	健康食品について part Ⅰ～ありん・くりん～	臨床検査技師 / 仲里	
10 月 17 日	透析予防のための自己管理	看護師 / 西原	15 名
	糖尿病のこころ	臨床心理士 / 大家	
11 月 7 日	糖尿病あれ・これ～自分の糖尿病って	看護師 / 島袋	8 名
	やってみよう運動療法「有酸素運動編」	理学療法士 / 長嶺	
	薬について	薬剤師 / 上地	
11 月 14 日	”これなら出来る・今日から出来る”糖尿病の食事	管理栄養士 / 渡真利	8 名
	健康食品について part Ⅱ	臨床検査技師 / 仲里	
11 月 21 日	食事・運動わかっちゃいるが・・・？	看護師 / 玉那覇	6 名
	ポジティブな生活を送るには	臨床心理士 / 大家	
12 月 5 日	やってみよう運動療法「筋力運動編」	理学療法士 / 長嶺	8 名
	糖尿病　ウソ・ホント？～こんな思い込みありませんか？～	臨床心理士 / 大家	

開催日	テーマ	職種 / 名前	参加人数
12 月 12 日	1 年間を振り返って	臨床検査技師 / 仲里	8 名
	死の四重奏って何?～ HbA1c がすべてではありませんよ!～	看護師 / 西原	
12 月 19 日	糖尿病の食事～忘年会を乗り切ろう!!～	管理栄養士 / 渡真利	6 名
	はじめよう!年末年始対策 " ワールドカフェ方式 "	看護師 / 久高	
1 月 9 日	糖尿病知って理解しよう	看護師 / 玉那覇	9 名
	やってみよう運動療法 " 自宅で、職場で、できる運動編 "	理学療法士 / 長嶺	
1 月 16 日	食事で減らそう体内塩分	管理栄養士 / 渡真利	6 名
	足のトラブルないですか?	看護師 / 島袋	
1 月 23 日	検査について	医師 / 山本院長	13 名
	糖尿病のウソ?ホント?	臨床心理士 / 大家	
2 月 6 日	やってみよう運動療法「いつでもどこでもストレッチ」	理学療法士 / 長嶺	19 名
	糖尿病とこころ	臨床心理士 / 大家	
2 月 13 日	糖尿病の方の適正カロリーとご飯量について	看護師 / 西原	19 名
	ちょっとした工夫で脂質をコントロールしよう!	管理栄養士 / 渡真利	
2 月 20 日	血糖値を測ってみよう	臨床検査技師 / 仲里	14 名
	酒は百薬の長?～糖尿病とアルコール～	看護師 / 久高	
3 月 5 日	糖尿病のクイズ～一緒に考えてみよう!～	看護師 / 島袋	9 名
	糖尿病について話し合おう	臨床心理士 / 大家	
3 月 12 日	食生活を変えて本気で減量	管理栄養士 / 渡真利	8 名
	HbA1c について	臨床検査技師 / 仲里	
3 月 19 日	3kg減量で血糖・血圧・脂質を改善しよう	看護師 / 西原	12 名
	やってみよう運動療法 " 効果的な歩け歩け "	理学療法士 / 長嶺	

■ある日の外来教室



■外来教室案内

内科

内科医長　荒川　幸弘

部門紹介

平成 27 年度は常勤医師の退職に伴い、定期受診の患者数が一時減少しましたが、循環器外来の設置により、その後回復がみられています。

風邪症状・胃腸炎などの新患数も、昨年以上に増加がみられてきています。金曜日の腎臓内科外来も、着実に患者数を増やしており、慢性腎不全の進行予防に貢献していると考えられます。また、平成 27 年年 1 月から開設している土曜日外来の患者数も、順調に増加しつつあります。

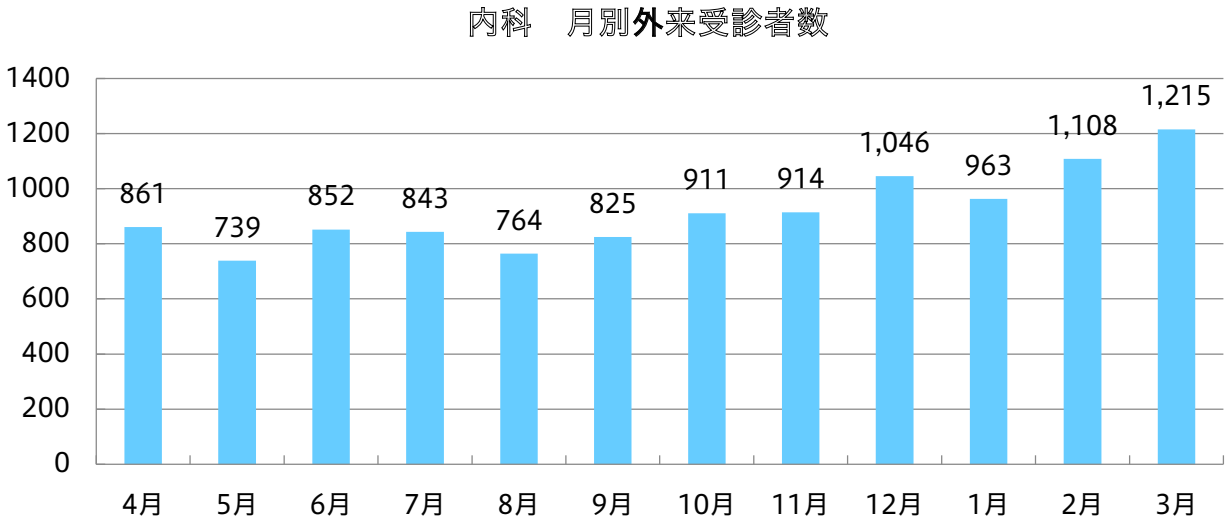
職員数

総数　8 名

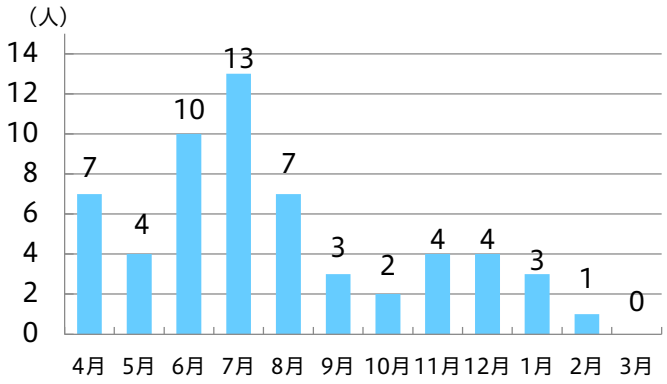
医師 4 名（常勤 1 名　非常勤 3 名）　　クラーク　1 名

看護師　3 名

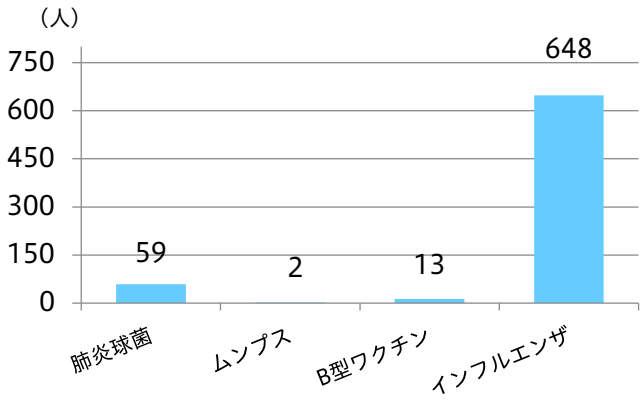
業務実績



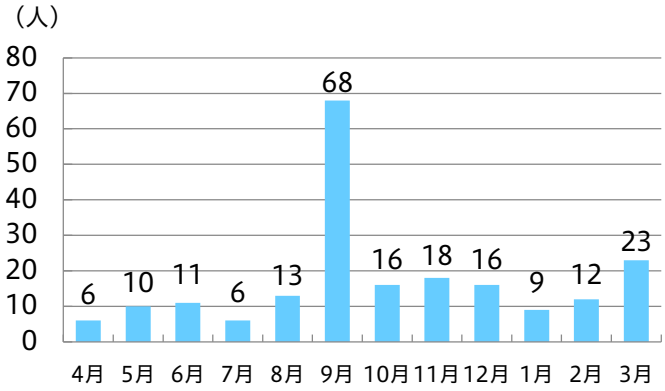
禁煙外来受診者数



予防接種・ワクチン接種実施数



特定健診受診者数



小児科

ハートライフ病院小児科副部長　国島　知子

部門紹介

小児科では一般外来を行っております。小児科内の壁面には、可愛らしいおさかなの壁紙を採用し、あがペェ子供造型教室のお子さんたちの絵画やオブジェの写真を掲示しています。お子さんが安心して怖がらずに来院できるような内装に配慮しました。

また、クリニック内では対応が困難な検査や、入院が必要となる専門的な治療は、他の医療機関やハートライフ病院などと連携して治療を行います。

職員数

総　数　11 名

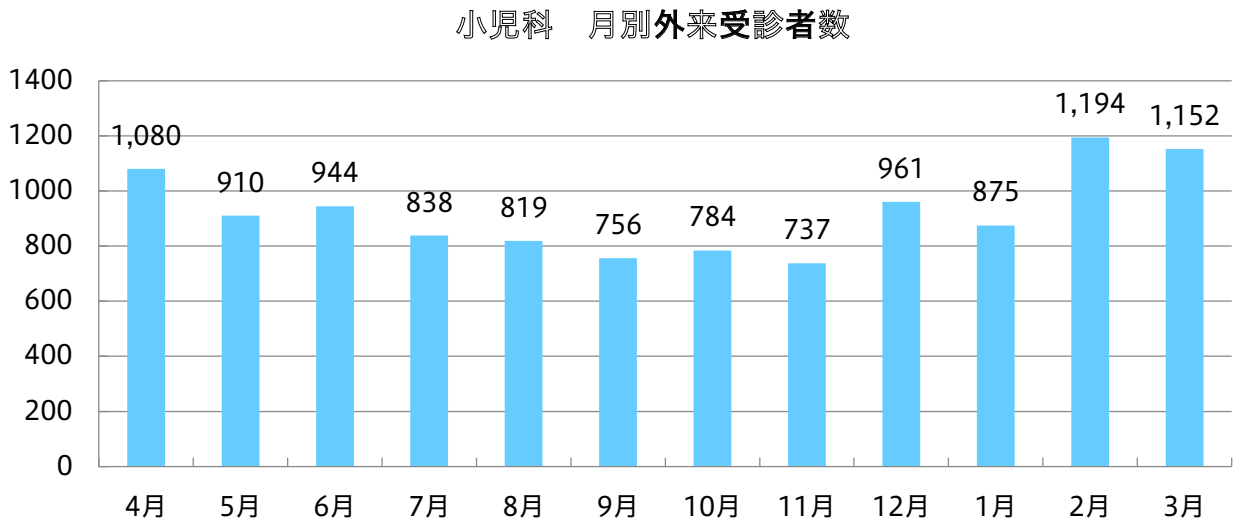
医　師　7 名（非常勤）

看護師　2 名

保育士　1 名

クラーク　1 名

業務実績



附属施設

疾病予防運動施設リューザ

疾病予防運動施設　リューザ　長嶺　敦司

部門紹介

疾病予防運動施設 Ryuew-ZA（リューザ）はハートライフクリニックと併設しているため、医師による運動処方箋をもとに医学的視点を加味し、安心で効果的な運動による疾病予防が可能です。

リューザでは、理学療法士が常駐しており、また、健康運動指導士といった運動の専門家が一人ひとりの身体の状態に合った運動プログラムを作成し、健康づくりを全面的にサポートします。

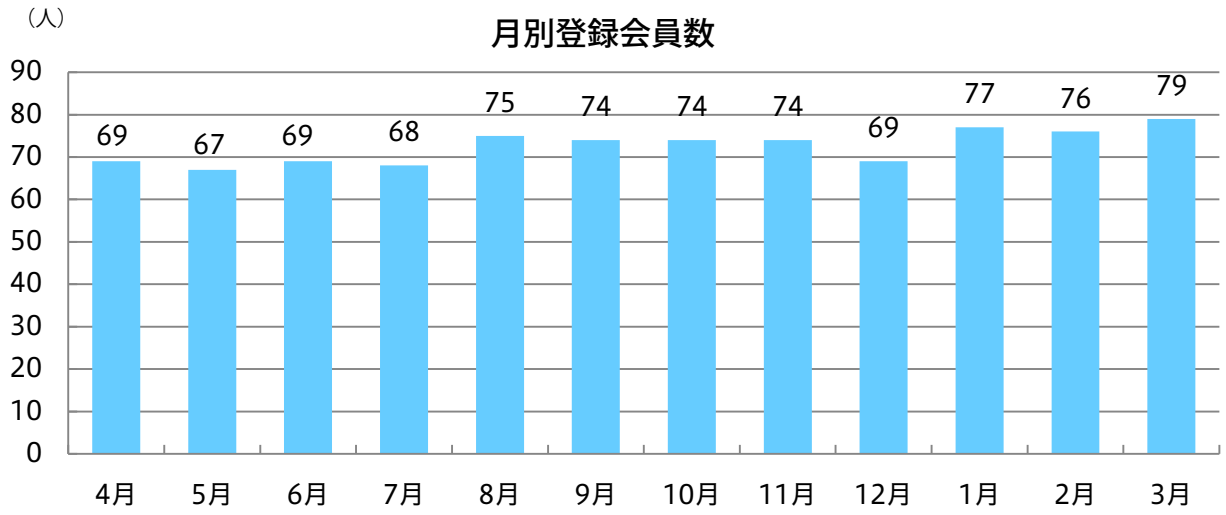
職員数

総数　2 名

理学療法士　1 名

健康運動指導士　1 名

業務実績



研究業績

学会発表

演題名	学会名	開催地	発表年月日	発表者と研究者
糖尿病劇場	第 58 回日本糖尿病学会年次学術集会	門司港ホテル（山口県下関市）	2015 年 5 月 23 日	長嶺敦司

論文著書

名称	雑誌名	掲載年・号・頁	執筆
コメディカル対象の糖尿病患者のトータルケア実践情報誌	T-POP ケア患者用指導箋「運動療法の入り口」	2015.5	長嶺敦司
災害時の運動療法	沖縄県日本糖尿病療養指導士会広報誌	2016.2	長嶺敦司

活動実績

講演会参加実施

名称	開催地	年月日	講師
働き盛り世代の健康づくり 3 要素改善セミナー：北中城村役場	EM ウエルネスリゾートコスタビスタ沖縄ホテル＆スパ（北中城村）	2015 年 7 月 4 日、9 月 26 日、11 月 28 日、2016 年 1 月 16 日	長嶺敦司
第 7 回アクアセラピーシンポジウム「糖尿病予防・改善に対するアクアエクササイズの考え方」	田園スイミングスクール（神奈川県）	2015 年 8 月 17 日	長嶺敦司
医療法人おもと会沖縄リハビリテーション福祉学院「糖尿病の運動療法」	沖縄リハビリテーション福祉学院（与那原町）	2015 年 11 月 9 日、12 日、16 日、19 日	長嶺敦司
第 2 回　糖尿病の治療・看護・指導のための講習会「災害時の運動種目はセルフケア」	沖縄県看護協会（南風原町）	2016 年 2 月 27 日	長嶺敦司
日本運動指導士会「生活習慣病を予防・改善する運動」	沖縄市武道館（沖縄市）	2016 年 2 月 28 日	長嶺敦司
名桜大学総合研究所「糖尿病予防のための運動実践」	名桜大学学生会館サクラウム（名護市）	2016 年 3 月 26 日	長嶺敦司

広報誌あすなろへの寄稿

タイトル	号	監修
椅子があればどこでもカラダ快適ストレッチ part 1「下半身編」	No.81 春号	長嶺敦司
椅子があればどこでもカラダ快適ストレッチ part2「下半身（股関節）編」	No.82 夏号	長嶺敦司
椅子があればどこでもカラダ快適ストレッチ Part3「上半身編」	No.83 秋号	長嶺敦司
椅子があればどこでもカラダ快適ストレッチ Part 4「手・腕・首回り編」	No.84 新年号	長嶺敦司

ヘルシーカフェ ohana

ヘルシーカフェ ohana　新垣　優子

部門紹介

ヘルシーカフェｏｈａｎａ（オハナ）は、ハートライフクリニックに来院される方や、生活習慣病が気になる方に低カロリー料理を提供しています。

カロリー計算されたモーニングセット・ランチや日替わり弁当、お客様の要望に合わせたオードブルやスイーツの予約注文も承っています。また、ハートライフ病院の産婦人科で出産された方へお祝い膳と特別コース料理、医局の当直弁当、院内講演会の軽食なども利用していただいてます。

また、平成 27 年度 4 月より、指定障がい福祉サービス事業所様へのヘルシー弁当の提供を開始しました。

今年度も衛生面に配慮し、お客様の食事サポートを行います。

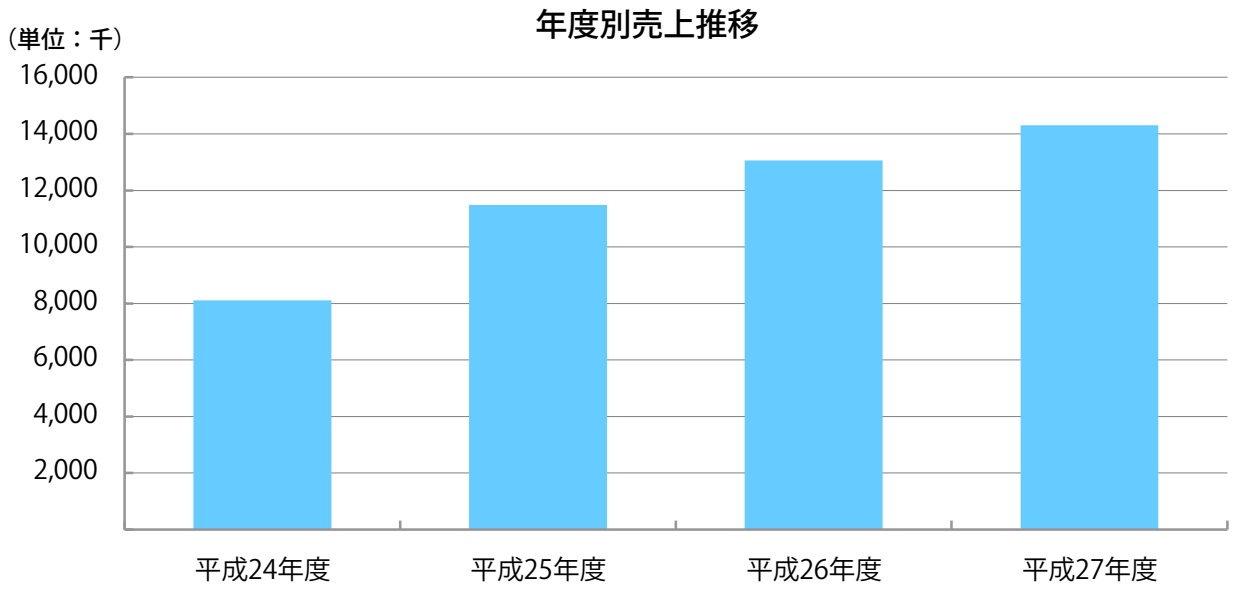
職員数

総数　3 名

調理師　2 名

フロア（配膳）　1 名

業務実績



ハートライフ地域包括ケアセンター
平成 27 年度　年次報告

Annual report of Heartlife area comprehensive care center 2015

施設概要

組織概要

施設名

ハートライフ地域包括ケアセンターを総称として、5 事業所で構成される。

1．住宅型有料老人ホームはーとらいふ
2．デイサービスはーとらいふ
3．ヘルパーステーションはーとらいふ
4．訪問看護ステーションはーとらいふ
5．ケアプランセンターはーとらいふ

所在地

〒 903-0103　沖縄県中頭郡西原町字小那覇 1606 番地

連絡先

電話　(098)944-3300（代表）
ホームページ　https://www.heartlife.or.jp/care/

管理者一覧

理　事　長　　安里　哲好
センター長　　西銘　宣子
副センター長　　比嘉　藤子

理念

「わたしたちは、心と心を結ぶ信頼される、医療と介護をめざします」

運営方針

1．自分や自分の家族がして欲しいと思うケアを提供します。
2．いつでも笑顔で親切なケアを提供します。
3．利用者の方の個性や楽しみを尊重し、その人らしく笑顔で日常生活を送れるように優しさと温かみのあるケアを提供します。
4．医療と介護の連携により、切れ目のない支援を提供します。
5．職員がやりがいと誇りを持って、働ける環境を作ります。

職員数

総数

47 名

内訳

センター長	1 名
副センター長（施設長兼）	1 名
業務課長（法人事務局人事課長兼）	1 名
事務職員	1 名

●有料老人ホーム

看護師 4 名、介護職員 12 名

相談員 1 名

●デイサービス

看護師 1 名、介護職員 13 名＋パート 3 名

柔道整復師 2 名

●訪問看護

看護師 3 名

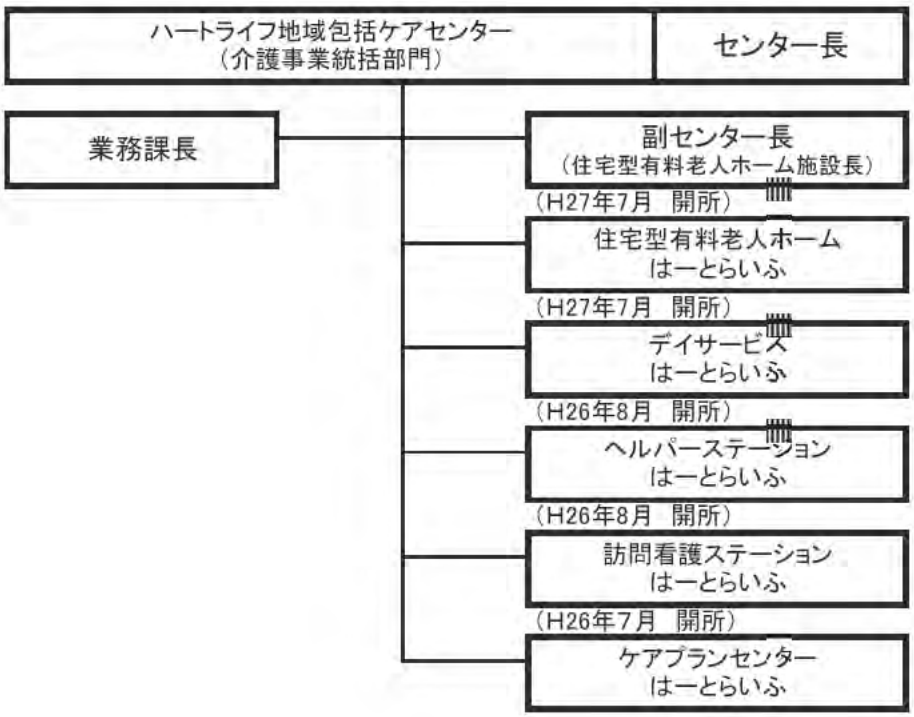
●訪問介護

介護職員 2 名＋パート 1 名

●ケアプランセンター

ケアマネージャー 2 名

組織図



活動実績

日時		名称
2015 年	5 月	住宅型有料老人ホーム　建物引渡し
	6 月	ハートライフ地域包括ケアセンター　落成式
	7 月	住宅型有料老人ホーム　はーとらいふ　開所　(2 階・5 階)
	7 月	デイサービスはーとらいふ　開所 (50 名定員)
	9 月	デイサービスはーとらいふ　敬老会
	9 月	ケアセンター　火災訓練
	9 月	住宅型有料老人ホーム　3 階オープン
	11 月	デイサービスはーとらいふ　(60 名定員へ)
	12 月	デイサービスはーとらいふ　クリスマスパーティー

研修について（資格取得支援）

資格・研修	人数
主任介護支援専門員研修	1 名
介護職員喀痰吸引研修	1 名

平成 27 年度　利用者実績

住宅型有料老人ホーム　はーとらいふ

稼働実績	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
新規入居者数				31	8	8	8	6	3	3	3	6	76
短期入所者数				1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
月末入居者数				30	38	45	53	52	53	55	57	62	—
退去者数				2	0	1	1	7	2	1	1	1	16
内：死亡者数				1 (1)	0	1 (0)	0	4 (1)	1 (1)	1 (0)	1 (0)	1 (1)	10 (4)
看取者数				0	0	1	0	3	0	1	1	0	6
入院者数				2	7	5	8	5	7	11	17	11	—
訪問診療利用者数				3	6	8	10	11	11	13	15	19	—
平均介護度				3.2	3.3	3	3.1	3.1	3.3	3.5	3.4	3.4	3.3

※死亡者数の（）は入院先で亡くなった方。

デイサービス　はーとらいふ

稼働実績	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用実人数				33	43	51	54	55	57	54	58	61	466
一日平均数				19	29	37	42	42	45	44	45	48	39.0
利用延べ人数				475	715	973	1129	1060	1208	1054	1117	1294	9,025
平均介護度				3.2	3.2	3.1	3.1	3.1	3.2	3.2	3.3	3.3	3.2

ヘルパーステーション　はーとらいふ

稼働実績	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
利用実人数	7	9	7	19	15	14	16	17	16	26	16	17	179
一日平均数	2	2	3	8	10	9	11	14	9	12	12	12	8.7
延べ人数	66	72	79	240	324	261	338	408	283	373	346	361	3,151

訪問看護ステーション　はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用実人数	12	13	13	21	23	22	24	26	28	30	29	29	270
一日平均数	3	2	3	4	5	6	8	9	6	6	7	7	5.5
延べ人数	94	72	89	131	148	192	244	257	185	176	194	211	1,993

ケアプランセンター　はーとらいふ

稼働実績	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用実人数	14	19	20	40	42	40	45	47	52	49	53	46	—

ハートライフ地域包括ケアセンター　年度総括

センター長
西銘　宣子

平成27年７月､かりゆし会の介護事業としてハートライフ地域包括ケアセンターが開所しました。５階建ての建物が５月末に完成し、６月には入居者、利用者受け入れの準備を進め、また前年にハートライフクリニック内に先行開所していた「訪問看護ステーションはーとらいふ」、「ヘルパーステーションはーとらいふ」、「ケアプランセンターはーとらいふ」も引っ越し､102室の「有料老人ホームはーとらいふ」と60名定員の「デイサービスはーとらいふ」の５事業所が同一の建物での運営を開始しました。

老人ホームは７月１日に２階と５階から運営をスタートし、９月には３階を開きました。残る４階も年度内に開く予定でしたが、入居希望者はあるものの介護職員の採用ができず、予定の稼働目標は達成できませんでした。老人ホームの開所から３月末までの新規入居は76名、退去が16名でそのうち亡くなられた方が10名、ホームでの看取りは６名でした。３月末の入居者数は62名で入居率は60％です。通院や救急外来受診、入院についてはハートライフクリニックとハートライフ病院で対応しており、スムーズな連携がなされています。訪問診療のニーズも高く、地域の４ヶ所のクリニックに依頼し対応してもらっています。デイサービスは、７月２日にオープンし入居者の増とともに利用者を増やしています。訪問看護、ヘルパーステーション、ケアプランセンターの利用者も入居者の増とともに増えてきました。

敬老会やクリスマス会などの行事も取り入れ、食事も行事食を工夫するなど、日々の健康管理や生活援助、レクレーション、機能維持訓練など、スタッフが協働し一生懸命に対応した１年でした。

次年度先ずは、介護職員を確保して４階を開き、開所１年後の８月～９月頃には入居率90％を目指します。まだまだ立ち上がりの段階で、フル稼働の状況がどのようになるのか未知の部分もありますが、入居者、利用者のニーズに対応できるよう協働の精神で職員一同努めて参りたいと思います。

かりゆし会の１年

写真で振り返る かりゆし会の1年

平成27年4月1日～平成28年3月31日

ハートライフ地域包括ケアセンター落成式

当院小児科医が乳幼児健康診査功労賞を受賞

講師：船曳 知弘先生　済生会横浜東部病院救急科副部長
講演会「時間を意識した外傷診療」

医療安全講演会「医療におけるヒューマンエラー」

科別実績報告会

12誘導心電図・画像伝送システムの運用を開始
東部消防組合消防本部との

6月

講師：八巻　隆先生　東京女子医科大学形成外科准教授
講演会「下肢静脈疾患の診断と治療」

講師：岩淵 勝好先生　山形市立病院済生館 呼吸器内科医長
講演会「診療支援のためのQikviewの活用事例」

事業計画説明会【役職者対象】

「①標準予防策を知ろう　②手指衛生から始めよう」
院内感染対策講演会

リンパ浮腫看護外来を開設

全島縦断駅伝大会（名護→ハートライフ病院）

5月

院内合同慰霊祭

入職式

膵臓外科・腎臓内科・音声外来を開設
ハートライフ病院

ハートライフクリニック　開院3周年

平成27年

4月

入職式

講演会「下肢静脈疾患の診断と治療」

全島

括ケアセンター落成式

ハートライフ病院 火災訓練

膵癌の診断と治療の最前線

7月

ハートライフ病院 開院27周年

講師：亀山 大介先生　厚生労働省医政局　救急医療対策専門官
～臨床・行政の視点から～」
救急医療講演会「救急医療に待ったなし

膵癌の診断と治療の最前線
講師：三重大学大学院医学系研究科　肝胆膵・移植外科学
授　伊佐地　秀司　先生

第91回中部合同カンファレンス

新入職員歓迎 ビアフェスタ

講師：屋良 尚美先生　沖縄県立中部病院 緩和ケア認定看護師
緩和ケア看護講演会「患者の意思決定支援」について

～肝炎ウィルス感染の基礎知識～」
講演会「血液を介して起こる医療関連感染」

講師：金城 隆展先生　琉球大学医学部附属病院 臨床心理士
講演会「臨床倫理について　～寛義ケアと倫理～」

演題「大腸がん（歴史と雑学）」
第19回 日本外科病理学会 市民公開講座

8月

ハートライフ病院 火災訓練

卓球大会

第2回 クリニカルパス大会　「普及に向けて」～見えてきた課題～
講師：林 寛之先生　福井大学医学部附属病院総合診療部 教授
講演会「回って回って回って回る…めまい！」

12誘導心電図・画像伝送システムの運用を開始
中城北中城消防本部との

ハートライフ地域包括ケアセンター開所

縦断駅伝大会

第2回 クリニカルパス大会

卓球大会

第5回 かりゆし会職員大運動会

地域医療連携懇談会

大規模災

9月

先進医療A認定を取得（県内初・全国7番目）
民間病院初の「経口内視鏡的筋層切開術（POEM／ポエム）」の

講師：篠崎 勝則先生　県立広島病院 臨床腫瘍科
化学療法講演会「切れ目のないがん医療を目指して」

院内研究発表会 事務部予選会

第5回 かりゆし会職員大運動会

地域医療連携懇談会

10月

ハートライフ地域包括ケアセンター　防災訓練

人間ドック・健診施設機能評価認定を取得

中城北中城消防署による立入検査

講師：櫻井 裕之先生　東京女子医科大学形成外科主任教授
講演会「テーラーメイド医療における形成再建手術の多様化」

講師：伊佐地 秀司先生　三重大学肝胆膵・移植外科 教授
講演会「膵癌の診断と治療の最前線」

11月

院内研究発表会 看護部予選会

院内研究発表会 医療技術部予選会

院内研究発表会 事務部予選会

～質を高く そして効率良い業務を目指して～
第22回 院内研究発表会 「心と心を結ぶ信頼される医療」

講師：鈴木 紀之先生　筑波メディカルセンター事務局長
メンタルヘルス研修会「ハートライフ病院 笑顔の改革」

12月

医療監視（中部保健所による立入検査）

ハートライフ地域包括ケアセンター　防災訓練

院内研究発表会

新春もち

平成28年

1月

- 御用納め 納会
- 本院増改築工事起工式
- かりゆし会大忘年会
- ハートライフクリニック　防災訓練
- 大規模災害訓練

2月

- 手洗い講習会
- 新春もちつき大会
- 仕事始め

3月

- 講師：皆川 洋至先生　城東整形外科 診療部長
  講演会「明日から使える！薬剤を使わない超音波ガイド下注射の実際」
- 講師：岡橋 伸浩先生　(株)アステム 事業開発部部長
  講演会「フットケア外来に必要なコンセプトと創傷除圧・フットウェアの実際」
- 東部消防組合消防本部　救急救命士　翁長 寿人 氏
  演題Ⅱ「心電図伝送装置(スクナ)の活用について」
  ハートライフ病院　救急総合診療部　副部長　三戸 正人
  演題Ⅰ「心電図・画像伝送システム導入の効果」
  地域医療連携講演会
- 第60回病院対抗テニス大会Bクラス優勝
- 卒後臨床研修修了式・修了パーティー
- ハートライフクリニック　防災訓練
- 講師：世古口 務先生　松坂市民病院 総合企画室副室長・診療部経営担当
  講演会「意識改革とチーム医療による病院経営改善」
- 講師：秋山 純一 先生　国立国際医療研究センター　消化器内科
  講演会「食道内圧検査の基本」

講演会「意識改革とチーム医療による病院経営改善」

ハートライフクリニック　防災訓練

災害訓練

卒後臨床研修修了式・修了パーティー

第60回病院対抗テニス大会 Bクラス優勝

つき大会

平成27年度　20年勤続者

かりゆし会に入職して 20 年。仲間とともに地域の皆様のお役に立てるよう努力して参りました。沖縄県医師会平成 27 年度永年勤続医療従事者表彰を受けた 6 名をご紹介いたします。

救急外来　内間　幸人

この勤続 20 年という結果は、まわりのスタッフの支えがあっての事なので心から感謝しています。これからもまわりのスタッフと協力し、より良い医療を提供できるよう努めていきたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。

予防医学センター　大城　幸美

まわりのスタッフや環境に恵まれ、気付けば 20 年。今まで学んだ事や経験を活かしつつ、新しい事にもチャレンジして日々成長できればと思っています。これからもよろしくお願いします。

秘書　高嶋　敬子

気付けばこんなに長く勤めていました。今振り返ってみると、私の周りにいる多くの方に支えられてきたんだなと改めて感謝の気持ちでいっぱいです。

予防医学センター　百名　智美

月日が経つのは早いもので、今回入職 20 年を迎える事ができました。20 年を言葉にすると長い年月と感じますが、あっという間の 20 年でした。20 年の経験を積んでも学習すべき事がたくさんあり、まだまだ勉強不足を実感する毎日です。時に契約会社の方であったり、時に健診受診者であったり、出会う方々から学ぶ事も沢山ありました。上司や周りの仲間が支えてくれた事に感謝しつつ、これからも日々学習と考え頑張っていきたいと思います。

予防医学センター　宮城　さおり

勤続 20 年を迎える事ができ、うれしく思います。家族の支えと働きやすい職場環境に感謝いたします。心を込めた接客に努め、「健診はハートライフで！」と思って頂けるよう、これからも頑張ります。

透析　與那覇　直子

自分でも信じられないような 20 年。育児をしながらこれまで働き続けてこられたのは、病院や部署のスタッフの皆様のおかげだと思っています。ありがとうございます。これからも初心を忘れずに頑張っていこうと思います。

サークル活動

サークル名	平成 27 年度の主な活動
アウトドアサークル	【4 月】 キャンプ（参加者 15 名） トレッキング（参加者 5 名） 【7 月】 トレッキング（参加者 8 名） 【8 月】 ボルダリング（参加者 3 名） 【9 月】 ボルダリング（参加者 5 名） ボルダリング（参加者 6 名） 【10 月】トレッキング（参加者 6 名） 【11 月】トレッキング（参加者 3 名） キャンプ（参加者 7 名）
エクササイズサークル	西原体育館での練習　3 回 吉の浦体育館　2 回 琉球大学との合同練習　2 回 ジムトレーニング　1 回
空　手	月 2 ～ 3 回の練習 【9 月】 昇段審査に向けた道場稽古
ゴルフ同好会	ハートライフ病院ゴルフ同好会合同コンペ（参加者 12 名） ハートライフ病院ゴルフ同好会合同コンペ（参加者 7 名）
三味線サークル	毎週 1 回の練習（年間 40 回） 【9 月】 ケアセンター敬老会での演奏会
写真・絵画サークル	6 月・8 月・12 月・1 月・3 月に写真の展示替え（ハートライフ病院講堂前）
テニス	吉の浦運動公園での練習（年間 6 回） 2 月　第 60 回病院対抗テニス大会
釣りサークル	磯釣り（馬天 / 参加者 2 名） 沖釣り（与論沖 / 参加者 4 名） ボート釣り（屋我地 / 参加者 4 名） 磯釣り（浦添漁港 / 参加者 3 名） 沖釣り（泡瀬沖 / 参加者 3 名） イカ釣り（牧港 / 参加者 2 名） 沖釣り半日（ケラマ沖 / 参加者 4 名） イカ釣り（牧港 / 参加者 2 名） 磯釣り（牧港 / 参加者 2 名）

サークル名	平成 27 年度の主な活動
バスケットサークル	月 1 ～ 2 回、計 23 回の活動（西原町体育館）
バレーボールサークル	毎週 1 回の練習を開催（H27 年度は 45 回） 【8 月】 331CUP 参加
フットサルサークル	フットサルパーク東浜での 15 回練習 7 月　病院対抗フットサル大会（参加者 18 名）
ボーリングサークル	【6 月】 宜野湾ボウル（参加者 9 名） 【8 月】 宜野湾ボウル(参加者 14 名) 【10 月】 宜野湾ボウル（参加者 12 名） 【12 月】 宜野湾ボウル(参加者 18 名) 【1 月】 宜野湾ボウル(参加者 16 名) 【2 月】 宜野湾ボウル(参加者 11 名) 【3 月】 宜野湾ボウル(参加者 10 名)
マリンスポーツサークル	ボートダイビング（参加者 6 名） ボートダイビング＆シュノーケル（参加者 7 名） SUP・シュノーケル（参加者 5 名） ボートダイビング（参加者 4 名）
ハートライフランナーズ	新入生歓迎本島縦断駅伝(参加者 9 名) 第 14 回尚巴志ハーフマラソン（参加者 3 名） 那覇マラソンに向けて合同練習（参加者 9 名） 第 31 回那覇マラソン（参加者 3 名） 第 24 回おきなわマラソン(参加者 7 名)

同好会

剣道	稽古日 / 毎月第三月曜日19時半～20時半

ハートライフランナーズ

写真・絵画サークル

平成27年度
『院内研究発表会』が行われました

去る11月13日(金)に「平成27年度 院内研究発表会」が行われました。4部門で予選を行う選抜方式で開催され、各部門から予選を勝ち抜いた計12題で本選が行われました。今年は看護部門の運営で開催され、審査員として奥島院長、普天間医局長、西銘看護部長、宮城医療技術部長、當銘事務部長にご参加頂きました。

3時間弱の発表、質疑が行われ見事入賞を果たした参加者は以下の通りです。

1位　薬　局　　仲原　大介
「貼付剤の剥がれ易さの検討について」
2位　企画室 広報　　知念　政治
「ユニバーサルデザイン　－伝わるデザインを目指して－」
3位　企画室 電算係　　安里　健二
「電子カルテ用ノートパソコンの自前修理におけるコスト削減の試み」

薬局　仲原　大介

企画室 広報　知念　政治

企画室 電算係　安里　健二

編集後記

平成 27 年度の年報を見ると年々ハートライフ病院が成長し、より質の高い病院になりつつあると感じます。また各部署における職員の成長を感じます。病院は「人材が宝」です。これからも 5 年後、10 年後を見据えて人材育成に全力をつくしたいと思います。今後も患者さんが病院を出るときに「ハートライフ病院に来て良かった。」と言っていただける病院でありたいものです。そのためにも全職員で日々努力をしていきましょう。

今年度も年報の完成が例年になくハイペースで進みました。これは広報の知念さんと仲田さんの尽力によるものが大きいです。また、毎月集まって議論や資料収集をして下さった年報委員の皆様に心から感謝申し上げます。これからも職員の意見を反映しより充実した年報になることを期待しています。

年報作成委員長　奥　島　憲　彦

データ収集にご協力頂いた、各部署の皆様ありがとうございました。

年報作成委員会の皆様お疲れ様でした。

◇年報作成委員会◇

委員長	奥　島　憲　彦（ハートライフ病院院長）
副委員長	嘉　川　春　生（泌尿器科部長）
委　員	菅　野　善一郎（心療内科医長）
	仲　地　ますみ（看護副部長）
	仲　座　義　富（放射線科技師長）
	斎　藤　辰　好（臨床検査科副技師長）
	當　銘　秀　之（事務部長）
	大　城　真　澄（メディカルクラーク）
	仲　松　　泉（メディカルクラーク）
	田　河　美智代（診療情報管理室）
	呉　屋　亮　太（診療情報管理室）
	宮　城　映　子（総務課図書係）
	新　垣　優　子（ヘルシーカフェ ohana 主任）
	比　嘉　康　文（ハートライフ地域包括ケアセンター業務課長）
企画調整	知　念　政　治（企画室広報係副主任）
編　集	仲　田　尚　正（企画室広報係）

社会医療法人かりゆし会　平成 27 年度年報
第 22 巻　平成 28 年 10 月

編集発行人　社会医療法人かりゆし会　ハートライフ病院
年報作成委員会
〒 901-2492　沖縄県中頭郡中城村字伊集 208 番地
電話 .（098）895-3255 ㈹　FAX.（098）895-2534
URL.　http://www.heartlife.or.jp/